

## 基本計画書

基本計画								
事項	記入欄						備考	
計画の区分	研究科の設置							
設置者	コリツダガクホシン シンシュウダガク 国立大学法人 信州大学							
大学の名称	シンシュウダガクダクイン 信州大学大学院 (Graduate School, Shinshu University)							
大学本部の位置	長野県松本市旭三丁目1番1号							
大学の目的	信州大学大学院(以下「本大学院」という。)は、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与することを目的とする。							
新設学部等の目的	人文科学から社会科学にわたる幅広い学問分野を網羅する利点を生かして、幾つかの要因が複雑に絡み合った地域社会の課題の原因を、確かな専門知識と技能に基づき、他分野の仲間と協力して分析解明し、解決する方策を提示するとともに、地域の特性を生かした新たなプロジェクトを創造提案できる人文・社会科学分野の地域中核人材を養成することを目的とする。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
	総合人文社会科学研究所 [Graduate School of Humanities and Social Sciences]  総合人文社会科学専攻 [Department of Humanities and Social Sciences]	年	人	年次人	人	修士 (文学) 【Master of Arts】  修士 (心理学) 【Master of Psychology】  修士 (経済学) 【Master of Economics】  修士 (法学) 【Master of Law】	平成32年4月 第1年次	長野県松本市旭三丁目1番1号  長野県長野市西長野6のロ
	計		36	-	72			
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）	[大学院] 人文科学研究科（廃止） 地域文化専攻 (△ 5) 言語文化専攻 (△ 5) ※平成32年4月学生募集停止  教育学研究科 学校教育専攻（廃止） (△20) 高度教職実践専攻（廃止） (△20) ※平成32年4月学生募集停止 高度教職実践専攻 ( 30) (平成31年4月事前伺い予定)  経済・社会政策科学研究科（廃止） 経済・社会政策科学専攻 (△ 6) イノベーション・マネジメント専攻 (△10) ※平成32年4月学生募集停止							

教育課程	新設学部等の名称		開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
			講義	演習	実験・実習	計				
	総合人文社会科学研究科 総合人文社会科学専攻		81 科目	175 科目	7 科目	263 科目	30 単位			
教 員 組 織 の 概 要	学部等の名称		専任教員等					兼任 教員等		
	新 設 分	総合人文社会科学研究科 総合人文社会科学専攻	人	人	人	人	人	人	人	
			30 (30)	34 (34)	7 (7)	1 (1)	72 (72)	0 (0)	10 (10)	
			8 (8)	7 (7)	0 (0)	1 (1)	16 (16)	0 (0)	60 (60)	
	計		38 (38)	41 (41)	7 (7)	2 (2)	88 (88)	0 (0)	70 (70)	
	既 設 分	総合理工学研究科 理学専攻		28 (29)	21 (21)	0 (0)	7 (7)	56 (57)	0 (0)	14 (14)
		工学専攻		47 (45)	54 (56)	2 (2)	22 (24)	125 (127)	0 (0)	0 (0)
		繊維学専攻		35 (35)	37 (37)	1 (1)	11 (11)	84 (84)	0 (0)	12 (12)
		農学専攻		23 (23)	22 (22)	1 (1)	18 (19)	67 (68)	3 (3)	7 (7)
		生命医工学専攻		7 (7)	9 (9)	1 (1)	7 (7)	21 (21)	0 (0)	22 (22)
		医学系研究科 医科学専攻		35 (35)	16 (16)	4 (4)	12 (12)	67 (67)	0 (0)	0 (0)
		保健学専攻		24 (24)	11 (11)	5 (5)	3 (3)	43 (43)	0 (0)	3 (2)
		総合医理工学研究科 医学系専攻		47 (47)	26 (26)	20 (20)	25 (25)	118 (118)	0 (0)	5 (5)
総合理工学専攻		130 (133)	142 (142)	2 (2)	49 (49)	323 (326)	0 (0)	20 (20)		
生命医工学専攻		7 (7)	12 (12)	2 (2)	13 (13)	34 (34)	0 (0)	124 (128)		
全学教育機構		11 (12)	12 (12)	1 (2)	4 (4)	28 (30)	0 (0)	85 (85)		
計		394 (397)	362 (364)	39 (40)	171 (174)	966 (975)	3 (3)	292 (295)		
合計		432 (435)	403 (405)	46 (47)	173 (176)	1,054 (1,063)	3 (3)	362 (364)		
教員以外の職員 の概要	職 種		専 任		兼 任		計			
	事 務 職 員		402 (402)		446 (446)		848 (848)			
	技 術 職 員		1,046 (1,046)		541 (541)		1,587 (1,587)			
	図 書 館 専 門 職 員		26 (26)		0 (0)		26 (26)			
	そ の 他 の 職 員		2 (2)		56 (56)		58 (58)			
計		1,476 (1,476)		1,043 (1,043)		2,519 (2,519)				
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計				
	校 舎 敷 地	538,595㎡	0㎡	0㎡		538,595㎡				
	運 動 場 用 地	208,855㎡	0㎡	0㎡		208,855㎡				
	小 計	747,450㎡	0㎡	0㎡		747,450㎡				
	そ の 他	5,694,841㎡	0㎡	0㎡		5,694,841㎡				
合 計		6,442,291㎡	0㎡	0㎡		6,442,291㎡				
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計				
		434,207㎡ (㎡)	0㎡ (㎡)	0㎡ (㎡)		434,207㎡ (㎡)				
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設		語学学習施設				
	247 室	282 室	921 室	12 室 (補助職員15人)		5 室 (補助職員1人)				
平成31年4月事前伺い予定										
大学全体										

専任教員研究室		新設学部等の名称			室数				
		総合人文社会科学研究科 総合人文社会科学専攻			68室				
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点		
	総合人文社会科学研究科	1,231,607 〔360,110〕 (1,231,607) (〔360,110〕)	26,597 〔9,057〕 (26,597) (〔9,057〕)	13,749 〔12,456〕 (13,749) (〔12,456〕)	4,178 (4,178)	58,388 (58,388)	147,488 (147,488)		
	計	1,231,607 〔360,110〕 (1,231,607) (〔360,110〕)	26,597 〔9,057〕 (26,597) (〔9,057〕)	13,749 〔12,456〕 (13,749) (〔12,456〕)	4,178 (4,178)	58,388 (58,388)	147,488 (147,488)		
図書館		面積		閲覧座席数		収納可能冊数			
		11,472㎡		1,081		935,389			
体育館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		8,085㎡		プール, テニスコート		武道場・弓道場			
経費の 見積り 及び 維持 方法 の概 要	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		教員1人当り研究費等							
		共同研究費等							
		図書購入費 設備購入費							
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要									
大学の名称		信州大学							
既設 大学 等 の 状 況	学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所在地
	人文学部	年	人	年次 人	人		倍		
	人間情報学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	平成7年度	長野県松本市旭3丁目1番1号
	文化コミュニケーション学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	平成7年度	
	人文学科	4	155	3年次 5	630	学士(文学)	1.05	平成25年度	
	教育学部							1.03	長野県長野市大字西長野6の口
	学校教育教員養成課程	4	240	—	920	学士(教育学)	1.03	平成11年度	
	特別支援学校教員養成課程	4	—	—	—	学士(教育学)	—	平成11年度	
	生涯スポーツ課程	4	—	—	—	学士(教育学)	—	平成11年度	
	教育カウンセリング課程	4	—	—	—	学士(教育学)	—	平成11年度	
	経済学部							—	長野県松本市旭3丁目1番1号
	経済学科	4	—	—	—	学士(経済学)	—	昭和53年度	
	経済システム法学科	4	—	—	—	学士(経済学)	—	平成7年度	
	経法学部							1.07	長野県松本市旭3丁目1番1号
応用経済学科	4	100	2年次 10	210	学士(経済学)	1.09	平成28年度		
総合法律学科	4	80	2年次 10	170	学士(法学)	1.06	平成28年度		
理学部							1.01	長野県松本市旭3丁目1番1号	
数理・自然情報科学科	4	—	—	—	学士(理学)	—	平成7年度		
物理科学科	4	—	—	—	学士(理学)	—	平成7年度		

化学科	4	—	—	—	学士(理学)	—	平成7年度		※平成27年度より 学生募集停止
地質科学科	4	—	—	—	学士(理学)	—	平成7年度		※平成27年度より 学生募集停止
生物科学科	4	—	—	—	学士(理学)	—	平成7年度		※平成27年度より 学生募集停止
物質循環学科	4	—	—	—	学士(理学)	—	平成7年度		※平成27年度より 学生募集停止
数学科	4	54	3年次 1	163	学士(理学)	1.02	平成27年度		
理学科	4	151	3年次 3	456	学士(理学)	1.01	平成27年度		
医学部						1.00		長野県松本市旭3丁 目1番1号	
医学科	6	120	—	715	学士(医学)	1.00	昭和26年度		
保健学科	4	143	3年次 17	606	学士(看護学) 学士(保健学)	1.02	平成15年度		
工学部						1.03		長野県長野市若里4 丁目17番1号	
機械システム工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成10年度		※平成28年度より 学生募集停止
電気電子工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成元年度		※平成28年度より 学生募集停止
土木工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成20年度		※平成28年度より 学生募集停止
建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成20年度		※平成28年度より 学生募集停止
物質工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成10年度		※平成28年度より 学生募集停止
情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成元年度		※平成28年度より 学生募集停止
環境機能工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成10年度		※平成28年度より 学生募集停止
物質化学科	4	95	—	190	学士(工学)	1.03	平成28年度		
電子情報システム工学科	4	170	—	340	学士(工学)	1.02	平成28年度		
水環境・土木工学科	4	60	—	120	学士(工学)	1.04	平成28年度		
機械システム工学科	4	100	—	200	学士(工学)	1.04	平成28年度		
建築学科	4	60	—	120	学士(工学)	1.04	平成28年度		
農学部						1.03		長野県上伊那郡南 箕輪村8304	
食料生産科学科	4	—	—	—	学士(農学)	—	平成9年度		※平成27年度より 学生募集停止
森林科学科	4	—	—	—	学士(農学)	—	平成9年度		※平成27年度より 学生募集停止
応用生命科学科	4	—	—	—	学士(農学)	—	平成9年度		※平成27年度より 学生募集停止
農学生命科学科	4	170	3年次 6	516	学士(農学)	1.03	平成27年度		
繊維学部						1.04		長野県上田市常田3 丁目15番1号	
先進繊維工学課程	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成20年度		※平成28年度より 学生募集停止
感性工学課程	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成20年度		※平成28年度より 学生募集停止
機能機械学課程	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成20年度		※平成28年度より 学生募集停止
バイオエンジニアリング課程	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成20年度		※平成28年度より 学生募集停止
応用化学課程	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成20年度		※平成28年度より 学生募集停止
材料化学工学課程	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成20年度		※平成28年度より 学生募集停止
機能高分子学課程	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成20年度		※平成28年度より 学生募集停止
生物機能科学課程	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成20年度		※平成28年度より 学生募集停止
生物資源・環境科学課程	4	—	—	—	学士(農学)	—	平成20年度		※平成28年度より 学生募集停止

先進繊維・感性工学科	4	65	—	130	学士（工学）	1.03	平成28年度		
機械・ロボット学科	4	60	—	120	学士（工学）	1.07	平成28年度		
化学・材料学科	4	105	—	210	学士（工学）	1.02	平成28年度		
応用生物科学科	4	50	—	100	学士（農学）	1.07	平成28年度		
人文科学研究科								長野県松本市旭3丁目1番1号	
地域文化専攻	2	—	—	—	修士（文学）	—	昭和57年度		※平成32年度より学生募集停止
言語文化専攻	2	—	—	—	修士（文学）	—	昭和57年度		※平成32年度より学生募集停止
教育学研究科								長野県長野市大字西長野6の口	
学校教育専攻	2	—	—	—	修士（教育学）	—	平成3年度		※平成32年度より学生募集停止
高度教職実践専攻	2	—	—	—	教職修士（専門職）	—	平成28年度		※平成32年度より学生募集停止
経済・社会政策科学研究科									
経済・社会政策科学専攻	2	—	—	—	修士（経済学）	—	平成元年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	※平成32年度より学生募集停止
イノベーション・マネジメント専攻	2	—	—	—	修士（マネジメント）	—	平成15年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	※平成32年度より学生募集停止
理工学系研究科									
地球生物圏科学専攻	2	—	—	—	修士（理学）	—	平成24年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	※平成28年度より学生募集停止
機械システム工学専攻	2	—	—	—	修士（工学）	—	平成24年度		※平成28年度より学生募集停止
電気電子工学専攻	2	—	—	—	修士（工学）	—	平成24年度		※平成28年度より学生募集停止
土木工学専攻	2	—	—	—	修士（工学）	—	平成24年度		※平成28年度より学生募集停止
建築学専攻	2	—	—	—	修士（工学）	—	平成24年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	※平成28年度より学生募集停止
物質工学専攻	2	—	—	—	修士（工学）	—	平成24年度		※平成28年度より学生募集停止
情報工学専攻	2	—	—	—	修士（工学）	—	平成24年度		※平成28年度より学生募集停止
環境機能工学専攻	2	—	—	—	修士（工学）	—	平成24年度		※平成28年度より学生募集停止
繊維・感性工学専攻	2	—	—	—	修士（工学）	—	平成24年度		※平成28年度より学生募集停止
機械・ロボット学専攻	2	—	—	—	修士（工学）	—	平成24年度		※平成28年度より学生募集停止
化学・材料専攻	2	—	—	—	修士（工学）	—	平成24年度	長野県上田市常田3丁目15番1号	※平成28年度より学生募集停止
応用生物科学専攻	2	—	—	—	修士（農学）	—	平成24年度		※平成28年度より学生募集停止
農学研究科									
森林科学専攻	2	—	—	—	修士（農学）	—	平成4年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304	※平成28年度より学生募集停止
総合理工学研究科						1.07			
理学専攻	2	75	—	150	修士（理学）	0.83	平成28年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
工学専攻	2	240	—	480	修士（工学）	1.20	平成28年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	
繊維学専攻	2	160	—	320	修士（工学） 修士（農学）	1.12	平成28年度	長野県上田市常田3丁目15番1号	
農学専攻	2	65	—	130	修士（農学）	0.80	平成28年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
生命医工学専攻	2	35	—	70	修士（医工学）	1.03	平成28年度	長野県松本市旭3丁目1番1号 長野県長野市若里4丁目17番1号 長野県上田市常田3丁目15番1号 長野県上伊那郡南箕輪村8304	
医学系研究科（修士・博士前期課程）						1.07		長野県松本市旭3丁目1番1号	
医科学専攻（修士課程）	2	12	—	24	修士（医科学）	0.95	平成14年度		
保健学専攻（博士前期課程）	2	14	—	28	修士（看護学） 修士（保健学）	1.17	平成19年度		

医学系研究科 (博士課程)											長野県松本市旭3丁目1番1号	
医学系専攻 (博士課程)	4	40	—	160	博士(医学)	—	平成24年度					※平成30年度より学生募集停止
疾患予防医科学系専攻 (博士課程)	4	8	—	32	博士(医学)	—	平成24年度					※平成30年度より学生募集停止
医学系専攻 (博士課程)	4	—	—	—	博士(医学)	—	平成15年度					※平成24年度より学生募集停止
臓器移植細胞工医学系専攻 (博士課程)	4	—	—	—	博士(医学)	—	平成12年度					※平成24年度より学生募集停止
医学系研究科 (博士後期課程)											長野県松本市旭3丁目1番1号	
保健学専攻 (博士後期課程)	3	4	—	12	博士(保健学)	—	平成21年度					※平成30年度より学生募集停止
総合工学系研究科												
生命機能・ファイバー工学専攻	3	15	—	45	博士(学術) 博士(理学) 博士(工学) 博士(農学)	—	平成17年度	長野県松本市旭3丁目1番1号 長野県長野市若里4丁目17番1号 長野県上田市常田3丁目15番1号 長野県上伊那郡南箕輪村8304	}	}	}	※平成30年度より学生募集停止
システム開発工学専攻	3	12	—	36		—	平成17年度					
物質創成科学専攻	3	7	—	21		—	平成17年度					
山岳地域環境科学専攻	3	8	—	24		—	平成17年度					
生物・食料科学専攻	3	7	—	21		—	平成17年度					
総合医理工学研究科												
医学系専攻	4	42	—	168	博士(医学)	}	1.06	平成30年度	}	}	}	}
	3	6	—	18	博士(保健学)		0.90	平成30年度				
総合理工学専攻	3	38	—	114	博士(学術) 博士(理学) 博士(工学) 博士(農学)		1.15	平成30年度				
生命医工学専攻	4	10	—	40	博士(医学)	}	}	}	}	}	}	}
	3	5	—	15	博士(医工学)							
附属施設の概要	<p>名称：医学部附属病院          目的：診療・教育・研究を遂行する。また先進的医療を行うとともに、次代を担う国際的な医療人の育成・研修の充実を図る。          所在地：長野県松本市旭3-1-1          設置年月：昭和24年5月          規模等：土地 松本キャンパス (313,679㎡) の一部          建物 81,856㎡</p>											
	<p>名称：中央図書館          目的：学術情報基盤組織として教育・研究を推進する。          所在地：長野県松本市旭3-1-1          設置年月：平成23年4月          規模等：土地 松本キャンパス (313,679㎡) の一部          建物 6,358㎡</p>											
	<p>名称：全学教育機構          目的：共通教育に係る教育課程の企画及び円滑な実施を図る。          所在地：長野県松本市旭3-1-1          設置年月：平成18年4月          規模等：土地 松本キャンパス (313,679㎡) の一部          建物 13,003㎡</p>											
	<p>名称：総合健康安全センター          目的：学生・教職員の健康管理や教育研究現場及び職場の快適な環境の実現を図る。          所在地：長野県松本市旭3-1-1          設置年月：平成22年4月          規模等：土地 松本キャンパス (313,679㎡) の一部          建物 本部 (16,764㎡) の一部</p>											

<p>名称：総合情報センター  目的：キャンパスを結ぶネットワークや情報処理システム等の維持・管理を行うと共に、学術研究、情報処理教育システムなどの開発・提供を行う。  所在地：長野県松本市旭3-1-1  設置年月：平成21年10月  規模等：土地 松本キャンパス (313,679㎡) の一部  建物 234㎡</p>	
<p>名称：男女共同参画推進センター  目的：男女が個性と能力を十分に発揮することができる職場・教育環境を実現するとともにワーク・ライフ・バランス推進を図る。  所在地：長野県松本市旭3-1-1  設置年月：平成27年9月  規模等：土地 松本キャンパス (313,679㎡) の一部  建物 本部 (16,764㎡) の一部</p>	
<p>名称：アドミッションセンター  目的：入学者選抜及びセンター試験の円滑な実施を図り、アドミッションポリシーに即した入試システムの研究開発と入学希望者に対する広報活動を行う。  所在地：長野県松本市旭3-1-1  設置年月：平成14年10月  規模等：土地 松本キャンパス (313,679㎡) の一部  建物 本部 (16,764㎡) の一部</p>	
<p>名称：高等教育研究センター  目的：大学における体系的な教育課程の構築を支援するとともに、教育の質保証に係る戦略及び教学関連の施策実施のための手法に係る研究開発を行う。  所在地：長野県松本市旭3-1-1  設置年月：平成23年4月  規模等：土地 松本キャンパス (313,679㎡) の一部  建物 全学教育機構 (13,003㎡) の一部</p>	
<p>名称：e-Learningセンター  目的：情報通信技術を活用した教育の改革と改善を支援する。  所在地：長野県松本市旭3-1-1  設置年月：平成19年4月  規模等：土地 松本キャンパス (313,679㎡) の一部  建物 全学教育機構 (13,003㎡) の一部</p>	
<p>名称：環境マインド推進センター  目的：自然と社会と個人の調和を生み出す環境マインド育成を推進する。  所在地：長野県松本市旭3-1-1  設置年月：平成20年4月  規模等：土地 松本キャンパス (313,679㎡) の一部  建物 本部 (16,764㎡) の一部</p>	
<p>名称：グローバル教育推進センター  目的：グローバル教育の推進、学生の海外留学を含む海外派遣の促進、外国人留学生の受入強化と日本語等に関する教育の実施及び国際交流方針の策定等を行う。  所在地：長野県松本市旭3-1-1  設置年月：平成27年4月  規模等：土地 松本キャンパス (313,679㎡) の一部  建物 全学教育機構 (13,003㎡) の一部</p>	
<p>名称：学生相談センター  目的：学生生活の悩み・不安などの相談を受け付け、学生の快適なキャンパスライフをサポートする。  所在地：長野県松本市旭3-1-1  設置年月：平成24年4月  規模等：土地 松本キャンパス (313,679㎡) の一部  建物 全学教育機構 (13,003㎡) の一部</p>	
<p>名称：学生総合支援センター  目的：一元的な学生支援体制を実現し、学生生活全般の教育・指導・支援を行う。  所在地：長野県松本市旭3-1-1  設置年月：平成18年4月  規模等：土地 松本キャンパス (313,679㎡) の一部  建物 全学教育機構 (13,003㎡) の一部</p>	

<p>名称：キャリア教育・サポートセンター  目的：学生のキャリア教育及び就職支援を推進する。  所在地：長野県松本市旭3-1-1  設置年月：平成28年4月  規模等：土地 松本キャンパス（313,679㎡）の一部  建物 全学教育機構（13,003㎡）の一部</p>	
<p>名称：教員免許更新支援センター  目的：教育職員免許法に規定する免許状更新講習の企画及び円滑な実施を図る。  所在地：長野県松本市旭3-1-1  設置年月：平成20年4月  規模等：土地 松本キャンパス（313,679㎡）の一部  建物 全学教育機構（13,003㎡）の一部</p>	
<p>名称：教職支援センター  目的：教職課程を有する学部 of 教職教育のカリキュラムの設計・管理・実施を支援する。  所在地：長野県松本市旭3-1-1  設置年月：平成28年4月  規模等：土地 松本キャンパス（313,679㎡）の一部  建物 全学教育機構（13,003㎡）の一部</p>	
<p>名称：基盤研究支援センター  目的：より高度な実験を、安全かつ効率的に実施するとともに、各分野にわたり総合的な支援のできる人材育成を行う。  所在地：長野県松本市旭3-1-1  設置年月：平成28年4月  規模等：土地 松本キャンパス（313,679㎡）の一部  建物 総合研究棟（7,140㎡） 臨床実験施設（5,176㎡）</p>	
<p>名称：地域防災減災センター  目的：地域の防災・減災に係る教育研究を推進するとともに、本学の研究成果等を活用し、地域連携による地域の防災・減災力の強化を図る。  所在地：長野県松本市旭3-1-1  設置年月：平成27年4月  規模等：土地 松本キャンパス（313,679㎡）の一部  建物 本部（16,764㎡）の一部</p>	
<p>名称：信州地域技術メディカル展開センター  目的：信州大学等の研究シーズ及び技術シーズを、メディカル領域へ展開して、地域のメディカル産業を飛躍的に発展させる。  所在地：長野県松本市旭3-1-1  設置年月：平成25年4月  規模等：土地 松本キャンパス（313,679㎡）の一部  建物 3,317㎡</p>	
<p>名称：オープンベンチャー・イノベーションセンター  目的：産学官連携体制を強化するとともに、オープンイノベーションの推進により、地域で生まれた研究開発成果の事業化を実現し、地域の雇用創出と経済活性化を図ることを目的とする。  所在地：長野県上田市踏入2丁目16番24号  設置年月：平成30年4月  規模等：土地 上田キャンパス（132,591㎡）の一部  建物 1,820㎡</p>	



国立大学法人信州大学 設置認可等に関わる組織の移行表

平成31年度

入学 編入学 収容  
定員 定員 定員

平成32年度

入学 編入学 収容  
定員 定員 定員

変更の事由

信州大学	入学定員	編入学定員	収容定員
人文学部		3年次	
人文学科	155	5	630
教育学部			
学校教育教員養成課程	240	—	960
経法学部		2年次	
応用経済学科	100	10	430
総合法律学科	80	10	350
理学部		3年次	
数学科	54	1	218
理学科	151	3	610
医学部		3年次	
医学科(6年制)	120	—	660
保健学科	143	17	606
工学部		3年次	
物質化学科	95	4	388
電子情報システム工学科	170	7	694
水環境・土木工学科	60	3	246
機械システム工学科	100	4	408
建築学科	60	2	244
農学部		3年次	
農学生命科学科	170	6	692
繊維学部		3年次	
先進繊維・感性工学科	65	2	264
機械・ロボット学科	60	2	244
化学・材料学科	105	4	428
応用生物科学科	50	2	104
<b>計</b>	<b>1978</b>	<b>20</b> 3年次 <b>62</b>	<b>8176</b>

信州大学	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
人文学部		3年次		
人文学科	155	5	630	
教育学部				
学校教育教員養成課程	240	—	960	
経法学部		2年次		
応用経済学科	100	10	430	
総合法律学科	80	10	350	
理学部		3年次		
数学科	54	1	218	
理学科	151	3	610	
医学部		3年次		
医学科(6年制)	120	—	660	
保健学科	143	17	606	
工学部		3年次		
物質化学科	95	4	388	
電子情報システム工学科	170	7	694	
水環境・土木工学科	60	3	246	
機械システム工学科	100	4	408	
建築学科	60	2	244	
農学部		3年次		
農学生命科学科	170	6	692	
繊維学部		3年次		
先進繊維・感性工学科	65	2	264	
機械・ロボット学科	60	2	244	
化学・材料学科	105	4	428	
応用生物科学科	50	2	104	
<b>計</b>	<b>1978</b>	<b>20</b> 3年次 <b>62</b>	<b>8176</b>	
信州大学大学院				
総合人文社会科学研究所				} 研究科の設置(意見伺い)
総合人文社会科学専攻	36	—	72	
人文科学研究科				} 平成32年4月学生募集停止
地域文化専攻(M)	5	—	10	
言語文化専攻(M)	5	—	10	
教育学研究所				} 平成32年4月学生募集停止
学校教育専攻(M)	20	—	40	
高度教職実践専攻(P)	20	—	40	
経済・社会政策科学研究科				} 平成32年4月学生募集停止
経済・社会政策科学専攻(M)	6	—	12	
イノベーション・マネジメント専攻(M)	10	—	20	
総合理工学研究科				
理学専攻(M)	75	—	150	
工学専攻(M)	240	—	480	
繊維学専攻(M)	160	—	320	
農学専攻(M)	65	—	130	
生命医工学専攻(M)	35	—	70	
医学系研究所				
医科学専攻(M)	12	—	24	
保健学専攻(M)	14	—	28	
総合医理工学研究科				
医学系専攻				
(4年制D)	42	—	168	
(3年制D)	6	—	18	
総合理工学専攻	38	—	114	
生命医工学専攻				
(4年制D)	10	—	40	
(3年制D)	5	—	15	
<b>計</b>	<b>768</b>	<b>—</b>	<b>1689</b>	



	日本文学実践演習 I (韻文)	1前	2		○	1	1					共同
	日本文学実践演習 II (散文)	1後	2		○	1	1					共同
	日本語学実践演習 I (古代語)	1前	2		○	1						
	日本語学実践演習 II (近代語)	1後	2		○	1						
	日本語教育学実践演習 I (言語研究と言語教育)	1前	2		○		1					
	日本語教育学実践演習 II (第二言語習得・学習)	1後	2		○		1					
	中国語学・文学実践演習 I (中国文学)	1前	2		○	1	1					共同
	中国語学・文学実践演習 II (現代中国語学)	1後	2		○	1	1					共同
	比較文学実践演習 I (詩)	1前	2		○	2						共同
	比較文学実践演習 II (小説)	1後	2		○	2						共同
	フランス語学・フランス文学実践演習 I (基礎的方法論)	1前	2		○	2						共同
	フランス語学・フランス文学実践演習 II (発展的方法論)	1後	2		○	2						共同
	ドイツ語学・ドイツ文学実践演習 I (ドイツ語学研究)	1前	2		○		1		1			共同
	ドイツ語学・ドイツ文学実践演習 II (文学研究方法論)	1後	2		○		1		1			共同
	英語学実践演習 I (英語学概論)	1前	2		○	1						
	英語学実践演習 II (英語学方法論研究)	1後	2		○	1						
	英語文学実践演習 I (イギリス文学文化)	1前	2		○	1	1					共同
	英語文学実践演習 II (アメリカ文学文化)	1後	2		○	1	1					共同
	芸術コミュニケーション実践演習 I (リサーチ・ベース)	1前	2		○	1	2					共同
	芸術コミュニケーション実践演習 II (パブリケーション・ベース)	1後	2		○	1	2					共同
	小計 (49科目)	—	98		—	16	13	0	1	0		
専門 発展 科目 群	哲学思想論AR I (哲学的対話の方法)	2前	2		○	2						オムニバス
	哲学思想論AR II (哲学的対話の実践)	2後	2		○	1	1					オムニバス
	文化情報論・社会学AR I (調査企画設計)	2前	2		○	1	3					オムニバス
	文化情報論・社会学AR II (総合調査法)	2後	2		○	1	3					オムニバス
	歴史学AR I (史料調査法・日本史)	2前	2		○	2						オムニバス
	歴史学AR II (史料調査法・西洋史・東洋史)	2後	2		○		2					オムニバス
	日本語文化AR I (コミュニケーションツールとしての日本語・日本文学)	2前	2		○		2					オムニバス
	日本語文化AR II (近代を中心とする日本語文庫コミュニケーション論)	2後	2		○	2						オムニバス
	英米言語文化AR I (英語学)	2前	2		○	2	1					オムニバス
	英米言語文化AR II (英米文学文化)	2後	2		○	2	1					オムニバス
	比較言語文化AR I (多文化交流サロン)	2前	2		○	3	1					オムニバス
	比較言語文化AR II (外国語サロン)	2後	2		○	3	1					オムニバス
	芸術コミュニケーションAR I (創作と芸術実践)	2前	2		○	1	2					オムニバス
	芸術コミュニケーションAR II (芸術実践と展開)	2後	2		○	1	2					オムニバス
小計 (14科目)	—	28		—	14	12	0	0	0			
人間 文化 学 分 野 発 展 科 目	哲学思想論研究 I (心と科学)	1後・2前	2		○	1						隔年
	哲学思想論研究 II (言語と形而上学)	1後・2前	2		○	1						隔年
	哲学思想論研究 III (西洋哲学)	1後・2前	2		○		1					隔年
	哲学思想論研究 IV (現代哲学)	1後・2前	2		○		1					隔年
	哲学思想論研究 V (比較思想の理論)	1後・2前	2		○	1						隔年
	哲学思想論研究 VI (比較思想の方法)	1後・2前	2		○	1						隔年
	哲学思想論研究 VII (中国思想)	1後・2前	2		○	1						隔年
	哲学思想論研究 VIII (東洋思想)	1後・2前	2		○	1						隔年
	社会学研究 I (社会学理論構築法)	1後・2前	2		○		1					隔年
	社会学研究 II (環境・地域社会学)	1後・2前	2		○		1					隔年
	文化情報論研究 I (批判的思考)	1後・2前	2		○	1						隔年
	文化情報論研究 II (科学的懐疑論)	1後・2前	2		○	1						隔年
	文化情報論研究 III (多変量解析)	1後・2前	2		○		1					隔年
	文化情報論研究 IV (消費行動)	1後・2前	2		○		1					隔年
	文化情報論研究 V (社会的行動)	1後・2前	2		○		1					隔年

文化情報論研究VI (メディアコミュニケーション)	1後・2前	2				○		1						隔年
日本史研究 I (日本近世史研究)	1後・2前	2				○	1							隔年
日本史研究 II (日本近世史料論)	1後・2前	2				○	1							隔年
日本史研究 III (日本近代社会史)	1後・2前	2				○	1							隔年
日本史研究 IV (日本現代社会史)	1後・2前	2				○	1							隔年
東洋史研究 I (アジア近世・近代史)	1後・2前	2				○		1						隔年
東洋史研究 II (中国近世・近代史)	1後・2前	2				○		1						隔年
西洋史研究 I (経済)	1後・2前	2				○		1						隔年
西洋史研究 II (社会)	1後・2前	2				○		1						隔年
日本文学研究 I (古代 - 中世期文学)	1後・2前	2				○	1							隔年
日本文学研究 II (散文)	1後・2前	2				○	1							隔年
日本文学研究 III (近世 - 明治期文学)	1後・2前	2				○		1						隔年
日本文学研究 IV (韻文)	1後・2前	2				○		1						隔年
日本語学研究 I (歴史言語学)	1後・2前	2				○	1							隔年
日本語学研究 II (言語の社会性)	1後・2前	2				○	1							隔年
日本語教育学研究 I (第二言語指導の理論と技術)	1後・2前	2				○		1						隔年
日本語教育学研究 II (第二言語学習者の特性)	1後・2前	2				○		1						隔年
中国文学研究 I (古典詩)	1後・2前	2				○	1							隔年
中国文学研究 II (古典文)	1後・2前	2				○	1							隔年
中国語学研究 I (現代中国語文法)	1後・2前	2				○		1						隔年
中国語学研究 II (現代中国語意味論)	1後・2前	2				○		1						隔年
比較文学研究 I (西洋古典韻文講読)	1後・2前	2				○	1							隔年
比較文学研究 II (西洋古典散文講読)	1後・2前	2				○	1							隔年
比較文学研究 III (近代詩)	1後・2前	2				○	1							隔年
比較文学研究 IV (近代小説)	1後・2前	2				○	1							隔年
フランス語学・フランス文学研究 I (文学と思想)	1後・2前	2				○	1							隔年
フランス語学・フランス文学研究 II (文学とメディア)	1後・2前	2				○	1							隔年
フランス語学・フランス文学研究 III (詩法)	1後・2前	2				○	1							隔年
フランス語学・フランス文学研究 IV (19世紀フランス詩研究)	1後・2前	2				○	1							隔年
ドイツ語学・ドイツ文学研究 I (ドイツ語造語論)	1後・2前	2				○		1						隔年
ドイツ語学・ドイツ文学研究 II (ドイツ語テキスト分析)	1後・2前	2				○		1						隔年
ドイツ語学・ドイツ文学研究 III (20世紀ドイツ文学)	1後・2前	2				○				1				隔年
ドイツ語学・ドイツ文学研究 IV (ドイツ文学と記憶)	1後・2前	2				○				1				隔年
英語学研究 I (通時の研究)	1後・2前	2				○	1							隔年
英語学研究 II (共時の研究)	1後・2前	2				○								隔年
英語学研究 III (英語構造論)	1後・2前	2				○								隔年
英語学研究 IV (英語テキスト分析)	1後・2前	2				○	1							隔年
英語文学研究 I (イギリス文学文化)	1後・2前	2				○	1							隔年
英語文学研究 II (英語圏文化と映画)	1後・2前	2				○		1						隔年
英語文学研究 III (アメリカ文学文化)	1後・2前	2				○	1							隔年
英語文学研究 IV (英語圏文化批評と映画)	1後・2前	2				○		1						隔年
芸術コミュニケーション研究 I (現代舞踊論)	1後・2前	2				○		1						隔年
芸術コミュニケーション研究 II (身体論)	1後・2前	2				○		1						隔年
芸術コミュニケーション研究 III (現代美術論)	1後・2前	2				○	1							隔年
芸術コミュニケーション研究 IV (彫刻論)	1後・2前	2				○	1							隔年
芸術コミュニケーション研究 V (音楽学研究)	1後・2前	2				○		1						隔年
芸術コミュニケーション研究 VI (音楽と社会)	1後・2前	2				○		1						隔年
(研究指導)	1~2通	-	-	-			16	13	0	1	0			
小計 (62科目)	-	0	124	0		-	16	13	0	1	0		兼1	



教育課程等の概要															
(総合人文社会科学研究科 総合人文社会科学専攻)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
心理学分野 専門基礎科目群	心理学研究指導Ⅰ	2前	2					○		4	7	1			共同 長野（教育）キャンパス在学生のみのみ 共同 共同 共同 オムニバス オムニバス
	心理学研究指導Ⅱ	2後	2					○		4	7	1			
	心理学総合演習Ⅰ	1前	2					○		4	7	1			
	心理学総合演習Ⅱ	1後	2					○		4	7	1			
	心理学理論研究	1前		2				○		1	2				
	心理学総合演習	1後		2				○		1	2				
	小計（6科目）	—	—	8	4	0			—	5	9	1	0	0	
心理学分野 専門発展科目	発達・教育心理学実習	2通		2				○		2	5	1			兼2 共同 長野（教育）キャンパス在学生のみのみ 共同
	実験心理学実習	2前		2				○		1	1				
	社会心理学実習	2前		2				○		1	1				
	小計（3科目）	—	0	6	0			—	5	9	1	0	0		
	人間の精神と社会環境特論	1前		2				○		1					兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 隔年集中 隔年集中
	人間の精神と社会環境演習	1後		2				○		1					
	学習過程論特論	1前		2				○							
	学習過程論演習	1後		2				○							
	人間形成論特論	1前		2				○			1				
	人間形成論演習	1後		2				○			1				
	音楽心理学特論	1前		2				○			1				
	音楽心理学演習	1後		2				○			1				
	野外教育グループカウンセリング特論	1前		2				○				1			
	野外教育グループカウンセリング演習	1後		2				○				1			
比較教育学特論	1前		2				○								
比較教育学演習	1後		2				○								
国際精神保健学特論	1前		2				○			1					
国際精神保健学演習	1後		2				○			1					
認知工学特論	1前		2				○			1					
認知工学演習	1後		2				○			1					
家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	1・2前・後		2				○								
学校カウンセリング総論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	1後		2				○		1						
学校臨床心理学演習（教育分野に関する理論と支援の展開）	1後		2				○			1					
教育心理学特論	1前		2				○		1						
教育心理学演習	1後		2				○		1						
司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	1・2前・後		2				○								
社会心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）	1・2前・後		2				○		1						
心の健康教育に関する理論と実践	1・2後		2				○			1					

精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	1・2前・後	2		○									兼1	隔年 集中
認知心理学特論	1前	2		○			1							
認知心理学演習	1後	2			○		1							
発達心理学特論	1前	2		○					1					
発達心理学演習	1後	2			○				1					
実験心理学研究	1後・2前	2			○		1							隔年
基礎心理学研究	1後・2前	2			○		1							隔年
認知心理学研究	1後・2前	2			○				1					隔年
生理心理学研究	1後・2前	2			○				1					隔年
社会心理学研究	1後・2前	2			○				1					隔年
グループダイナミックス (研究指導)	1後・2前	2			○				1	2				隔年
小計（35科目）	—	0	70	0	—		5	9	1	0	0	兼6		

教育課程等の概要															
(総合人文社会科学専攻)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
心理学分野 臨床心理学コース	心理学研究指導Ⅰ	2前	2					○		4	7	1			共同
	心理学研究指導Ⅱ	2後	2					○		4	7	1			共同
	心理学総合演習Ⅰ	1前	2					○		4	7	1			共同
	心理学総合演習Ⅱ	1後	2					○		4	7	1			共同
	小計(4科目)	—	8	0	0			—		4	7	1	0	0	
	臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習)	2通	2					○		2	2				兼1 共同
	発達・教育心理学実習	2通		2				○		2	5	1			兼2 共同
	臨床心理学基礎実習	1通		2				○		1	2				オムニバス
	臨床心理実習Ⅱ	2通		2				○		2	2				共同
	小計(4科目)	—	2	6	0			—		4	7	1	0	0	兼3
	人間の精神と社会環境特論	1前		2				○		1					
	人間の精神と社会環境演習	1後		2				○		1					
	学習過程論特論	1前		2				○							兼1
	学習過程論演習	1後		2				○							兼1
	人間形成論特論	1前		2				○			1				
	人間形成論演習	1後		2				○			1				
	音楽心理学特論	1前		2				○			1				
	音楽心理学演習	1後		2				○			1				
	野外教育グループカウンセリング特論	1前		2				○				1			
	野外教育グループカウンセリング演習	1後		2				○				1			
比較教育学特論	1前		2				○							兼1	
比較教育学演習	1後		2				○							兼1	
国際精神保健学特論	1前		2				○			1					
国際精神保健学演習	1後		2				○			1					
認知工学特論	1前		2				○			1					
認知工学演習	1後		2				○			1					
家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	1・2前・後		2				○							兼1 隔年集中	
学校カウンセリング総論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	1後		2				○		1						
学校臨床心理学演習(教育分野に関する理論と支援の展開)	1後		2				○			1					
学校臨床心理学特論	1・2前		2				○		1						
教育心理学特論	1前		2				○		1						
教育心理学演習	1後		2				○		1						
司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	1・2前・後		2				○							兼1 隔年集中	
社会心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	1・2前・後		2				○		1					隔年集中	



心の健康教育に関する理論と実践	1・2後	2	○			1								
精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	1・2前・後	2	○									兼1	隔年 集中	
認知心理学特論	1前	2	○			1								
認知心理学演習	1後	2		○		1								
発達心理学特論	1前	2	○				1							
発達心理学演習	1後	2		○			1							
臨床心理学特論Ⅰ	1前	2	○			1	1						オムニバス	
臨床心理学特論Ⅱ	1前	2	○				1							
臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）	1後	2		○		1								
臨床心理査定演習Ⅱ	1前・後	2		○								兼1	集中	
臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）	1前	2		○			1							
臨床心理面接特論Ⅱ	1後	2	○				1							
小計（36科目）	—	0	72	0	—	4	7	1	0	0	兼6			

教育課程等の概要															
(総合人文社会科学研究科 総合人文社会科学専攻)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
経済学分野	専門基礎科目群	経済学分野コア科目													
		上級ミクロ経済学	1前		2		○								
		上級マクロ経済学	1前		2		○				1				
		上級計量経済学	1前		2		○					1			
		財務会計特論	1後		2		○				1				
		法制度の経済分析特論	1後		2		○			1					
		環境経済学特論	1後		2		○					1			
	小計(6科目)	—	0	12	0	—	—	—	1	2	3	0	0		
専門発展科目群	アクションリサーチ系科目														
		経済政策演習	2前		2			○		1					
		社会政策演習	2前		2			○		1					
	小計(2科目)	—	0	4	0	—	—	—	2	0	0	0	0		
経済学分野発展科目		公共経済学特講	2前		2		○				1				兼1
		都市政策特講	2前		2		○				1				
		行動経済学特講	2前		2		○				1				
		ファイナンス論特講	2後		2		○				1				
		恐慌論	2後		2		○				1				兼1
		日本経済特講	2前		2		○			1					
		医療経済学特講	2前		2		○				1				
		ミクロ計量経済学	2前		2		○				1				
		マネジメント特論	2前		2		○				1				2単位 選択 必修
		労務管理特講	2後		2		○				1				
		理論経済学演習Ⅰ	1通		2			○			3	2			
		応用経済学演習Ⅰ	1通		2			○		4	5				
		理論経済学演習Ⅱ	2通		2			○			3	2			2単位 選択 必修
		応用経済学演習Ⅱ	2通		2			○		4	5				
	小計(14科目)	—	0	28	0	—	—	—	4	8	2			兼2	



教育課程等の概要															
(総合人文社会科学研究科 総合人文社会科学専攻)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
法学分野	専門基盤科目	憲法学	1前	2		○				1					
	法学分野コア科目	租税法	1後	2		○						1			
		特別刑法概論	1後	2		○						1			
		民法学Ⅰ	1前	2		○				1					
		民法学Ⅱ	1後	2		○				1					
		商法学	1前	2		○						1			
		小計(6科目)	—	0	12	0	—	—	—	1	2	3	0	0	
専門発展科目	アクションリサーチ系科目	地域法律実務演習	2通	2				○		1					
		地域プロジェクト演習	2通	2				○		1					
		小計(2科目)	—	0	4	0	—	—	—	2	0	0	0	0	
法学分野発展科目	比較憲法学	2後	2			○				1					4単位 選択 必修
	行政法学	2前	2			○				1					
	法人税法特論	2前	2			○					1				
	社会保障法学	2前	2			○				1					
	刑事手続法学	2前	2			○			1						2単位 選択 必修
	民事手続法特殊研究	2後	2			○			1						
	環境法学	2後	2			○			1						
	公法・刑事法学演習Ⅰ	1通	2					○	2	3	2				
	民事法学演習Ⅰ	1通	2					○	3	1	1				
	公法・刑事法学演習Ⅱ	2通	2					○	2	3	2				
民事法学演習Ⅱ	2通	2					○	3	1	1				2単位 選択 必修	
	小計(11科目)	—	0	22	0	—	—	—	5	4	3	0	0		
合計(264科目)			—	22	506	0	—	—	30	36	7	1	0		

学位又は称号	修士（文学）、修士（心理学）、修士（経済学）、修士（法学）	学位又は学科の分野	文学関係、経済学関係、法学関係	
卒業要件及び履修方法		授業期間等		
<p><b>【人間文化学分野】</b> 2年以上在学し、共通基盤科目群8単位以上、専門基盤科目群10単位以上、専門発展科目群8単位以上履修し、合計30単位以上（自身の所属する分野以外の分野の科目を1科目以上含む）を修得する。かつ当該課程の目的に応じ、修士論文についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p><b>【心理学分野】</b> 2年以上在学し、共通基幹科目群8単位以上、専門基盤科目群4単位以上、専門発展科目群16単位以上履修し、合計30単位以上（自身の所属する分野以外の分野の科目を1科目以上含む）を修得する。かつ当該課程の目的に応じ、修士論文についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p><b>【経済学分野】</b> 2年以上在学し、共通基幹科目群8単位以上、専門基盤科目群10単位以上、専門発展科目群8単位以上、合計30単位以上（自身の所属する分野以外の分野の科目を1科目以上含む）を修得する。かつ当該課程の目的に応じ、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p><b>【法学分野】</b> 2年以上在学し、共通基幹科目群8単位以上、専門基盤科目群10単位以上、専門発展科目群8単位以上、合計30単位以上（自身の所属する分野以外の分野の科目を1科目以上含む）を修得する。かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出してその審査及び最終試験に合格すること。</p>		1 学年の学期区分	2期	
		1 学期の授業期間	15週	
		1 時限の授業時間	90分	

教育課程等の概要															
(総合人文社会科学部 総合人文社会科学専攻)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通基幹科目群	共通基礎科目	解析手法論 I	1・2前	2		○			1	3	1			4単位選択必修	共同
		解析手法論 II	1・2後	2		○			2		1				共同
		人文社会科学研究者倫理A	1・2前	2		○			1	1					
		小計 (3科目)	—	0	6	0	—	—	4	4	1	0	0		
	分野横断科目	人文社会科学修論課題合同発表A	1通		2			○		6	7	2			兼2
	人文社会科学修論課題合同発表B	2通	2				○		6	7	2			兼2	共同・集中
	社会課題別PBL A	1後	2				○		6	7	1			兼2	共同
	社会課題別PBL B	2前		2			○		4	9	1			兼2	共同
	小計 (4科目)	—	4	4	0	—	—	9	9	2	0	0	兼2		
人間文化学分野	専門基盤科目	哲学思想論	1前	2		○			3	1				2単位選択必修 4単位選択必修	オムニバス
		文化情報論・社会学論	1前	2		○			1	1					オムニバス
		歴史学論	1前	2		○			2	2					オムニバス
		日本語文化論	1前	2		○			2						オムニバス
		英米言語文化論	1前	2		○			2	1					オムニバス
		比較言語文化論	1前	2		○			5	2		1			オムニバス
		芸術コミュニケーション論	1前	2		○			1	2					オムニバス
		哲学思想論総合演習 I (哲学総合)	1前	2			○		2						オムニバス
		哲学思想論総合演習 II (比較思想)	1後	2			○		1	1					オムニバス
		文化情報論・社会学総合演習 I (現代文化)	1前	2			○			2					オムニバス
		文化情報論・社会学総合演習 II (社会情報)	1後	2			○			2					オムニバス
		歴史学総合演習 I (日本史学研究法)	1前	2			○		2						オムニバス
		歴史学総合演習 II (西洋史・東洋史学研究法)	1後	2			○			2					オムニバス
		日本語文化総合演習 I (異文化としての日本語・日本文学)	1前	2			○			2					オムニバス
		日本語文化総合演習 II (古代日本語文献コミュニケーション論)	1後	2			○		2						オムニバス
		英米言語文化総合演習 I (英語学)	1前	2			○		2	1					オムニバス
		英米言語文化総合演習 II (英米文学文化)	1後	2			○		2	1					オムニバス
		比較言語文化総合演習 I (散文)	1前	2			○		2	1		1			オムニバス
		比較言語文化総合演習 II (韻文)	1後	2			○		2	1		1			オムニバス
		芸術コミュニケーション総合演習 I (理論と歴史)	1前	2			○		1	2					オムニバス
		芸術コミュニケーション総合演習 II (個別研究)	1後	2			○		1	2					オムニバス
		哲学思想論実践演習 I (アカデミックリテラシー)	1前	2			○		3	1					共同
		哲学思想論実践演習 II (イノベーションコンピテンシー)	1後	2			○		3	1					共同
		社会学実践演習 I (社会学の理論と実証)	1前	2			○			1					
		社会学実践演習 II (質的研究法)	1後	2			○			1					
		文化情報論実践演習 I (内容分析)	1前	2			○		1	2					共同
	文化情報論実践演習 II (行動調査)	1後	2			○		1	2				共同		
	歴史学実践演習 I (史学概論・日本史)	1前	2			○		2					共同		
	歴史学実践演習 II (史学概論・西洋史・東洋史)	1後	2			○			2				共同		

	日本文学実践演習 I (韻文)	1前	2		○	1	1					共同
	日本文学実践演習 II (散文)	1後	2		○	1	1					共同
	日本語学実践演習 I (古代語)	1前	2		○	1						
	日本語学実践演習 II (近代語)	1後	2		○	1						
	日本語教育学実践演習 I (言語研究と言語教育)	1前	2		○		1					
	日本語教育学実践演習 II (第二言語習得・学習)	1後	2		○		1					
	中国語学・文学実践演習 I (中国文学)	1前	2		○	1	1					共同
	中国語学・文学実践演習 II (現代中国語学)	1後	2		○	1	1					共同
	比較文学実践演習 I (詩)	1前	2		○	2						共同
	比較文学実践演習 II (小説)	1後	2		○	2						共同
	フランス語学・フランス文学実践演習 I (基礎的方法論)	1前	2		○	2						共同
	フランス語学・フランス文学実践演習 II (発展的方法論)	1後	2		○	2						共同
	ドイツ語学・ドイツ文学実践演習 I (ドイツ語学研究)	1前	2		○		1		1			共同
	ドイツ語学・ドイツ文学実践演習 II (文学研究方法論)	1後	2		○		1		1			共同
	英語学実践演習 I (英語学概論)	1前	2		○	1						
	英語学実践演習 II (英語学方法論研究)	1後	2		○	1						
	英語文学実践演習 I (イギリス文学文化)	1前	2		○	1	1					共同
	英語文学実践演習 II (アメリカ文学文化)	1後	2		○	1	1					共同
	芸術コミュニケーション実践演習 I (リサーチ・ベース)	1前	2		○	1	2					共同
	芸術コミュニケーション実践演習 II (パブリケーション・ベース)	1後	2		○	1	2					共同
	小計 (49科目)	—	98		—	16	13	0	1	0		
専門 発展 科目 群	哲学思想論AR I (哲学的対話の方法)	2前	2		○	2						オムニバス
	哲学思想論AR II (哲学的対話の実践)	2後	2		○	1	1					オムニバス
	文化情報論・社会学AR I (調査企画設計)	2前	2		○	1	3					オムニバス
	文化情報論・社会学AR II (総合調査法)	2後	2		○	1	3					オムニバス
	歴史学AR I (史料調査法・日本史)	2前	2		○	2						オムニバス
	歴史学AR II (史料調査法・西洋史・東洋史)	2後	2		○		2					オムニバス
	日本語文化AR I (コミュニケーションツールとしての日本語・日本文学)	2前	2		○		2					オムニバス
	日本語文化AR II (近代を中心とする日本語文脈コミュニケーション論)	2後	2		○	2						オムニバス
	英米言語文化AR I (英語学)	2前	2		○	2	1					オムニバス
	英米言語文化AR II (英米文学文化)	2後	2		○	2	1					オムニバス
	比較言語文化AR I (多文化交流サロン)	2前	2		○	3	1					オムニバス
	比較言語文化AR II (外国語サロン)	2後	2		○	3	1					オムニバス
	芸術コミュニケーションAR I (創作と芸術実践)	2前	2		○	1	2					オムニバス
	芸術コミュニケーションAR II (芸術実践と展開)	2後	2		○	1	2					オムニバス
小計 (14科目)	—	28		—	14	12	0	0	0			
人間 文化 学 分 野 発 展 科 目	哲学思想論研究 I (心と科学)	1後・2前	2		○	1						隔年
	哲学思想論研究 II (言語と形而上学)	1後・2前	2		○	1						隔年
	哲学思想論研究 III (西洋哲学)	1後・2前	2		○		1					隔年
	哲学思想論研究 IV (現代哲学)	1後・2前	2		○		1					隔年
	哲学思想論研究 V (比較思想の理論)	1後・2前	2		○	1						隔年
	哲学思想論研究 VI (比較思想の方法)	1後・2前	2		○	1						隔年
	哲学思想論研究 VII (中国思想)	1後・2前	2		○	1						隔年
	哲学思想論研究 VIII (東洋思想)	1後・2前	2		○	1						隔年
	社会学研究 I (社会学理論構築法)	1後・2前	2		○		1					隔年
	社会学研究 II (環境・地域社会学)	1後・2前	2		○		1					隔年
	文化情報論研究 I (批判的思考)	1後・2前	2		○	1						隔年
	文化情報論研究 II (科学的懐疑論)	1後・2前	2		○	1						隔年
	文化情報論研究 III (多変量解析)	1後・2前	2		○		1					隔年
	文化情報論研究 IV (消費行動)	1後・2前	2		○		1					隔年
	文化情報論研究 V (社会的行動)	1後・2前	2		○		1					隔年

文化情報論研究VI (メディアコミュニケーション)	1後・2前	2				○		1						隔年
日本史研究 I (日本近世史研究)	1後・2前	2				○	1							隔年
日本史研究 II (日本近世史料論)	1後・2前	2				○	1							隔年
日本史研究 III (日本近代史研究)	1後・2前	2				○	1							隔年
日本史研究 IV (日本現代史研究)	1後・2前	2				○	1							隔年
東洋史研究 I (アジア近世・近代史)	1後・2前	2				○		1						隔年
東洋史研究 II (中国近世・近代史)	1後・2前	2				○		1						隔年
西洋史研究 I (経済)	1後・2前	2				○		1						隔年
西洋史研究 II (社会)	1後・2前	2				○		1						隔年
日本文学研究 I (古代 - 中世期文学)	1後・2前	2				○	1							隔年
日本文学研究 II (散文)	1後・2前	2				○	1							隔年
日本文学研究 III (近世 - 明治期文学)	1後・2前	2				○		1						隔年
日本文学研究 IV (韻文)	1後・2前	2				○		1						隔年
日本語学研究 I (歴史言語学)	1後・2前	2				○	1							隔年
日本語学研究 II (言語の社会性)	1後・2前	2				○	1							隔年
日本語教育学研究 I (第二言語指導の理論と技術)	1後・2前	2				○		1						隔年
日本語教育学研究 II (第二言語学習者の特性)	1後・2前	2				○		1						隔年
中国文学研究 I (古典詩)	1後・2前	2				○	1							隔年
中国文学研究 II (古典文)	1後・2前	2				○	1							隔年
中国語学研究 I (現代中国語文法)	1後・2前	2				○		1						隔年
中国語学研究 II (現代中国語意味論)	1後・2前	2				○		1						隔年
比較文学研究 I (西洋古典韻文講読)	1後・2前	2				○	1							隔年
比較文学研究 II (西洋古典散文講読)	1後・2前	2				○	1							隔年
比較文学研究 III (近代詩)	1後・2前	2				○	1							隔年
比較文学研究 IV (近代小説)	1後・2前	2				○	1							隔年
フランス語学・フランス文学研究 I (文学と思想)	1後・2前	2				○	1							隔年
フランス語学・フランス文学研究 II (文学とメディア)	1後・2前	2				○	1							隔年
フランス語学・フランス文学研究 III (詩法)	1後・2前	2				○	1							隔年
フランス語学・フランス文学研究 IV (19世紀フランス詩研究)	1後・2前	2				○	1							隔年
ドイツ語学・ドイツ文学研究 I (ドイツ語造語論)	1後・2前	2				○		1						隔年
ドイツ語学・ドイツ文学研究 II (ドイツ語テキスト分析)	1後・2前	2				○		1						隔年
ドイツ語学・ドイツ文学研究 III (20世紀ドイツ文学)	1後・2前	2				○				1				隔年
ドイツ語学・ドイツ文学研究 IV (ドイツ文学と記憶)	1後・2前	2				○				1				隔年
英語学研究 I (通時の研究)	1後・2前	2				○	1							隔年
英語学研究 II (共時の研究)	1後・2前	2				○								隔年
英語学研究 III (英語構造論)	1後・2前	2				○								隔年
英語学研究 IV (英語テキスト分析)	1後・2前	2				○	1							隔年
英語文学研究 I (イギリス文学文化)	1後・2前	2				○	1							隔年
英語文学研究 II (英語圏文化と映画)	1後・2前	2				○		1						隔年
英語文学研究 III (アメリカ文学文化)	1後・2前	2				○	1							隔年
英語文学研究 IV (英語圏文化批評と映画)	1後・2前	2				○		1						隔年
芸術コミュニケーション研究 I (現代舞踊論)	1後・2前	2				○		1						隔年
芸術コミュニケーション研究 II (身体論)	1後・2前	2				○		1						隔年
芸術コミュニケーション研究 III (現代美術論)	1後・2前	2				○	1							隔年
芸術コミュニケーション研究 IV (彫刻論)	1後・2前	2				○	1							隔年
芸術コミュニケーション研究 V (音楽学研究)	1後・2前	2				○		1						隔年
芸術コミュニケーション研究 VI (音楽と社会)	1後・2前	2				○		1						隔年
(研究指導)	1~2通	-	-	-			16	13	0	1	0			
小計 (62科目)	-	0	124	0		-	16	13	0	1	0		兼1	





教育課程等の概要

(総合人文社会科学部 総合人文社会科学専攻)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
心理学分野	専門基礎科 心理学分野コア科目 心理学理論研究 心理学総合演習 小計(2科目)	1前		2				○		1	2					オムニバス	
		1後		2				○		1	2					オムニバス	
		—	0	4	0			—		1	2	0	0	0			
	専門発展科目群	実験心理学実習 社会心理学実習 小計(2科目)	2前		2				○		1	1					共同
			2前		2				○			1					
			—	0	4	0					1	2	0	0	0		
	心理学分野発展科目	実験心理学研究 基礎心理学研究 認知心理学研究 生理心理学研究 社会心理学研究 グループダイナミックス (研究指導) 小計(6科目)	1後・2前		2				○		1						隔年
			1後・2前		2				○		1						隔年
			1後・2前		2				○			1					隔年
			1後・2前		2				○			1					隔年
			1後・2前		2				○			1					隔年
			1後・2前		2				○			1					隔年
—	—	—	—	—					1	2							
—	0	12	0			—		1	2	0	0	0					



教 育 課 程 等 の 概 要

(総合人文社会科学部 総合人文社会科学専攻)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
経済学分野	専門基礎科目群 経済学分野コア科目	上級ミクロ経済学	1前	2			○										
		上級マクロ経済学	1前	2			○				1						
		上級計量経済学	1前	2			○					1					
		財務会計特論	1後	2			○				1						
		法制度の経済分析特論	1後	2			○										
		環境経済学特論	1後	2			○					1					
		小計 (6科目)	—	0	12	0			—	1	2	3	0	0			
	専門発展科目群 アクションリサーチ系科目	経済政策演習	2前		2				○		1						
		社会政策演習	2前		2				○		1						
		小計 (2科目)	—	0	4	0			—	2	0	0	0	0			
	経済学分野発展科目	公共経済学特講	2前		2			○				1					兼1
		都市政策特講	2前		2			○				1					
		行動経済学特講	2前		2			○									兼1
		ファイナンス論特講	2後		2			○				1					
恐慌論		2後		2			○				1						
日本経済特講		2前		2			○			1							
医療経済学特講		2前		2			○				1						
ミクロ計量経済学		2前		2			○										
マネジメント特論		2前		2			○				1						
労務管理特講		2後		2			○				1						
理論経済学演習 I		1通		2					○		3	2				2単位 選択 必修	
応用経済学演習 I	1通		2					○	4	5							
理論経済学演習 II	2通		2					○		3	2				2単位 選択 必修		
応用経済学演習 II	2通		2					○	4	5							
	小計 (14科目)	—	0	28	0			—	4	8	2				兼2		



教 育 課 程 等 の 概 要

(総合人文社会科学研究科 総合人文社会科学専攻)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
法学分野	憲法学	1前		2		○				1					
	租税法	1後		2		○					1				
	特別刑法概論	1後		2		○					1				
	民法学Ⅰ	1前		2		○				1					
	民法学Ⅱ	1後		2		○				1					
	商法学	1前		2		○						1			
	小計(6科目)	—	0	12	0	—	—	—	1	2	3	0	0		
専門発展科目	地域法律実務演習	2通		2				○		1					
	地域プロジェクト演習	2通		2				○		1					
	小計(2科目)	—	0	4	0	—	—	—	2	0	0	0	0		
法学分野発展科目	比較憲法学	2後		2		○				1					4単位 選択 必修
	行政法学	2前		2		○				1					
	法人税法特論	2前		2		○					1				
	社会保障法学	2前		2		○				1					
	刑事手続法学	2前		2		○				1					2単位 選択 必修
	民事手続法特殊研究	2後		2		○				1					
	環境法学	2後		2		○				1					
	公法・刑事法学演習Ⅰ	1通		2				○		2	3	2			
	民事法学演習Ⅰ	1通		2				○		3	1	1			
	公法・刑事法学演習Ⅱ	2通		2				○		2	3	2			
	民事法学演習Ⅱ	2通		2				○		3	1	1			
小計(11科目)	—	0	22	0	—	—	—	5	4	3	0	0			
合計(183科目)		—	4	362	0	—	—	—	30	36	7	1	0		

学位又は称号	修士（文学）、修士（心理学）、修士（経済学）、修士（法学）	学位又は学科の分野	文学関係、経済学関係、法学関係
卒業要件及び履修方法		授業期間等	
<p><b>【人間文化学分野】</b> 2年以上在学し、共通基盤科目群8単位以上、専門基盤科目群10単位以上、専門発展科目群8単位以上履修し、合計30単位以上（自身の所属する分野以外の分野の科目を1科目以上含む）を修得する。かつ当該課程の目的に応じ、修士論文についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p><b>【心理学分野】</b> 2年以上在学し、共通基幹科目群8単位以上、専門基盤科目群4単位以上、専門発展科目群16単位以上、合計30単位以上（自身の所属する分野以外の分野の科目を1科目以上含む）を修得する。かつ当該課程の目的に応じ、修士論文についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p><b>【経済学分野】</b> 2年以上在学し、共通基幹科目群8単位以上、専門基盤科目群10単位以上、専門発展科目群8単位以上、合計30単位以上（自身の所属する分野以外の分野の科目を1科目以上含む）を修得する。かつ当該課程の目的に応じ、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p><b>【法学分野】</b> 2年以上在学し、共通基幹科目群8単位以上、専門基盤科目群10単位以上、専門発展科目群8単位以上、合計30単位以上（自身の所属する分野以外の分野の科目を1科目以上含む）を修得する。かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出してその審査及び最終試験に合格すること。</p>		1 学年の学期区分	2期
		1 学期の授業期間	15週
		1 時限の授業時間	90分

教 育 課 程 等 の 概 要

(総合人文社会科学部 総合人文社会科学専攻)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
	解析手法論Ⅰ・心理統計法特論	1・2前		2		○			2						兼2 共同
	解析手法論Ⅱ・心理学研究法特論	1・2後		2		○			1						
	人文社会科学研究者倫理B	1・2前		2		○			4	7	1				
	小計(3科目)	—	0	6	0	—			4	7	1	0	0		
分野横断科目	人文社会科学修論課題合同発表A	1通		2			○		6	7	2				兼2 共同・集中
	人文社会科学修論課題合同発表B	2通	2				○		6	7	2				兼2 共同・集中
	社会課題別PBL A	1後	2				○		6	7	1				兼2 共同
	社会課題別PBL B	2前		2			○		4	9	1				兼2 共同
	小計(4科目)	—	4	4	0	—			9	9	2	0	0		兼2
心理学分野 専門基礎科目群	心理学研究指導Ⅰ	2前	2				○		4	7	1				共同
	心理学研究指導Ⅱ	2後	2				○		4	7	1				共同
	心理学総合演習Ⅰ	1前	2				○		4	7	1				共同
	心理学総合演習Ⅱ	1後	2				○		4	7	1				共同
	小計(4科目)	—	8	0	0	—			5	9	1	0	0		
心理学分野 専門発展科目	発達・教育心理学実習	2通		2				○	2	5	1				兼2 共同
	小計(1科目)	—	0	2	0	—			5	9	1	0	0		兼2
心理学分野 専門発展科目	人間の精神と社会環境特論	1前		2		○			1						兼1 兼1
	人間の精神と社会環境演習	1後		2			○		1						
	学習過程論特論	1前		2		○									兼1 兼1
	学習過程論演習	1後		2			○								
	人間形成論特論	1前		2		○				1					兼1 兼1
	人間形成論演習	1後		2			○			1					
	音楽心理学特論	1前		2		○				1					兼1 兼1
	音楽心理学演習	1後		2			○			1					
	野外教育グループカウンセリング特論	1前		2		○					1				兼1 兼1
	野外教育グループカウンセリング演習	1後		2			○				1				
	比較教育学特論	1前		2		○									兼1 兼1
	比較教育学演習	1後		2			○								
	国際精神保健学特論	1前		2		○				1					兼1 兼1
	国際精神保健学演習	1後		2			○			1					
	認知工学特論	1前		2		○				1					兼1 隔年集中
	認知工学演習	1後		2			○			1					
家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	1・2前・後		2		○									兼1 隔年集中	
学校カウンセリング総論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	1後		2		○			1							
学校臨床心理学演習(教育分野に関する理論と支援の展開)	1後		2		○				1					兼1 隔年集中	
教育心理学特論	1前		2		○			1							



教育心理学演習	1後	2			○	1								
司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	1・2前・後	2			○							兼1	隔年集中	
社会心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）	1・2前・後	2			○	1							隔年集中	
心の健康教育に関する理論と実践	1・2後	2			○		1							
精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	1・2前・後	2			○							兼1	隔年集中	
認知心理学特論	1前	2			○	1								
認知心理学演習	1後	2			○	1								
発達心理学特論	1前	2			○		1							
発達心理学演習	1後	2			○		1							
小計（29科目）	—	0	58	0	—	5	7	1	1	0	兼6			

教育課程等の概要															
(総合人文社会科学部 総合人文社会科学専攻)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
心理学分野 臨床心理学 心理学 心理学 心理学 心理学 心理学 心理学 心理学 心理学 心理学 心理学 心理学 心理学 心理学 心理学 心理学 心理学 心理学 心理学 心理学	心理学研究指導Ⅰ	2前	2				○		4	7	1			共同	
	心理学研究指導Ⅱ	2後	2				○		4	7	1			共同	
	心理学総合演習Ⅰ	1前	2				○		4	7	1			共同	
	心理学総合演習Ⅱ	1後	2				○		4	7	1			共同	
	小計(4科目)	—	8	0	0		—		4	7	1	0	0		
	臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習)	2通	2					○	2	2				兼1	共同
	発達・教育心理学実習	2通		2				○	2	5	1			兼2	共同
	臨床心理学基礎実習	1通		2				○	1	2					オムニバス
	臨床心理実習Ⅱ	2通		2				○	2	2					共同
	小計(4科目)	—	2	6	0		—		4	7	1	0	0	兼3	
	人間の精神と社会環境特論	1前		2			○		1						
	人間の精神と社会環境演習	1後		2				○	1						
	学習過程論特論	1前		2			○							兼1	
	学習過程論演習	1後		2				○						兼1	
	人間形成論特論	1前		2			○			1					
	人間形成論演習	1後		2				○		1					
	音楽心理学特論	1前		2			○			1					
	音楽心理学演習	1後		2				○		1					
	野外教育グループカウンセリング特論	1前		2			○				1				
	野外教育グループカウンセリング演習	1後		2				○			1				
比較教育学特論	1前		2			○							兼1		
比較教育学演習	1後		2				○						兼1		
国際精神保健学特論	1前		2			○			1						
国際精神保健学演習	1後		2				○		1						
認知工学特論	1前		2			○			1						
認知工学演習	1後		2				○		1						
家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	1・2前・後		2			○							兼1	隔年集中	
学校カウンセリング総論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	1後		2			○		1							
学校臨床心理学演習(教育分野に関する理論と支援の展開)	1後		2			○			1						
学校臨床心理学特論	1・2前		2			○		1							
教育心理学特論	1前		2			○		1							
教育心理学演習	1後		2				○	1							
司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	1・2前・後		2			○							兼1	隔年集中	

社会心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）	1・2前・後	2		○		1								隔年集中
心の健康教育に関する理論と実践	1・2後	2		○			1							
精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	1・2前・後	2		○				1					兼1	隔年集中
認知心理学特論	1前	2		○		1								
認知心理学演習	1後	2			○	1								
発達心理学特論	1前	2		○			1							
発達心理学演習	1後	2			○		1							
臨床心理学特論Ⅰ	1前	2		○		1	1							オムニバス
臨床心理学特論Ⅱ	1前	2		○			1							
臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）	1後	2			○	1								
臨床心理査定演習Ⅱ	1前・後	2			○								兼1	集中
臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）	1前	2			○		1							
臨床心理面接特論Ⅱ	1後	2			○		1							
小計（36科目）	—	0	72	0	—	4	7	1	0	0	兼6			
合計（85科目）	—	22	148	0	—	30	36	7	1	0				
学位又は称号	修士（心理学）		学位又は学科の分野			文学関係								
卒業要件及び履修方法						授業期間等								
【心理学分野】 2年以上在学し、共通基幹科目群8単位以上、専門基盤科目群4単位以上、専門発展科目群16単位以上、合計30単位以上（自身の所属する分野以外の分野の科目を1科目以上含む）を修得する。かつ当該課程の目的に応じ、修士論文についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。						1学年の学期区分			2期					
						1学期の授業期間			15週					
						1時限の授業時間			90分					

別記様式第2号 (その2の1)

基礎となる学部		教育課程等の概要															
(人文学部人文学科 哲学・芸術論コース)																	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
教養ゼミナール群	技術とエネルギーの入門ゼミ	1後		2				○								兼4	オムニバス
	生態資源論ゼミ	1前・後		2				○								兼1	
	地球白書ゼミ	1前・後		2				○								兼1	集中
	環境マインドを現場で体験するゼミ	1前		2				○								兼3	集中
	土壌学ゼミ	1前		2				○								兼1	
	植物生態学ゼミ	1前		2				○								兼1	集中
	環境マインドを現場で体験するゼミ (熱帯雨林)	1後		2				○								兼1	集中
	芸術教養美術ゼミ	1前・後		2				○								兼1	
	芸術教養音楽ゼミ	1後		2				○								兼7	オムニバス
	「時」について考えるゼミ	1後		2				○								兼1	
	アジアの中の日本ゼミ I	1前		2				○								兼1	
	アジアの中の日本ゼミ II	1後		2				○								兼1	
	原書で読むシャーロック・ホームズゼミ	1後		2				○								兼1	
	現代ドイツの言語と日常ゼミ	1前		2				○								兼1	
	現代ドイツ事情ゼミ	1後		2				○								兼1	
	異文化研究ゼミ	1後		2				○								兼1	
	感覚で攻める英文法ゼミ～覚える英文法から感じる英文法へ	1前・後		2				○								兼1	
	日本近現代史入門ゼミ	1後		2				○								兼1	
	西洋古典語の世界ゼミ	1後		2				○								兼1	
	古文書で学ぶ近世ゼミ	1前		2				○								兼1	
	比較哲学入門ゼミ	1後		2				○								兼1	
	フィールドワーク入門ゼミ	1前		2				○								兼1	
	日中比較文学ゼミ	1後		2				○								兼1	
	発信のためのやさしい英文文練習ゼミ	1前		2				○								兼1	
	中国古典小説ゼミ	1後		2				○								兼1	
	法言語学(司法制度とことば)ゼミ	1後		2				○								兼1	
	翻訳入門ゼミ	1後		2				○								兼1	
	シェイクスピアを読むゼミ	1後		2				○								兼1	
	異文化コミュニケーション (海外留学) ゼミ	1前・後		2				○								兼1	
	外国語教育を考えるゼミ	1後		2				○								兼1	
	ことばについて考えるゼミ	1後		2				○								兼1	
	中国思想の古典で学ぶゼミ	1前		2				○								兼1	
	変体仮名入門ゼミ	1前		2				○								兼1	
	フランス文学ゼミ	1前		2				○								兼1	
	英語資格試験対策ゼミ	1前		2				○								兼1	
	シルシル信知るゼミ	1前		2				○								兼2	オムニバス・集中
	もっと知りたい韓国ゼミ	1前		2				○								兼1	
	スポーツ・ホスピタリティゼミ 秋冬編(松本山雅FC連携ゼミ)	1後		2				○								兼1	
	スポーツ・ホスピタリティゼミ 春夏編(松本山雅FC連携ゼミ)	1前		2				○								兼1	
	スポーツ観戦文化論ゼミ	1前・後		2				○								兼1	
	テレビのメディアリテラシー (テレビ信州参与ゼミ)	1前		2				○								兼1	
	大学改革への学生参加ゼミ	1後		2				○								兼1	
「考える」ゼミ	1前・後		2				○								兼1		
しょうがいスポーツゼミ	1前		2				○								兼3	オムニバス	
心理学思考法ゼミ	1前		2				○								兼1		
身体心理学ゼミ	1後		2				○								兼1		
環境心理学ゼミ	1前		2				○								兼1		
経済学の視点で考える企業行動ゼミ 基礎編	1前		2				○			1							
経済学の視点で考える企業行動ゼミ 応用編	1後		2				○			1							
社会科学文献講読ゼミ I	1後		2				○								兼1		
社会科学文献講読ゼミ II	1後		2				○								兼1		
地域ブランド実践ゼミ	1後		2				○								兼3	オムニバス	

社会科学の方法ゼミ	1後	2			○					兼1	
社会格差を考えるゼミ：勝者と敗者の本当の姿	1後	2			○					兼1	
質問紙調査入門ゼミ	1後	2			○					兼1	
キャリアデザイン実践ゼミ	1後	2			○					兼3	
化学計算入門ゼミ	1前・後	2			○					兼1	
大学を知るゼミ	1後	2			○					兼1	
ロボティクス入門ゼミ	1前・後	2			○					兼1	
自然誌・博物学ゼミ	1前	2			○					兼3	オムニバス
ものづくり入門ゼミ	1後	2			○					兼2	オムニバス
文系学生のための野外地質学ゼミ	1前	2			○					兼3	集中
利己的遺伝子説から生物像を描くゼミ	1後	2			○					兼1	
統計図解ゼミ	1後	2			○					兼1	
アナログ再発見ゼミ	1前・後	2			○					兼1	
情報社会論ゼミ	1前・後	2			○					兼1	
Web制作ゼミ	1前・後	2			○					兼1	
新聞で広げる社会の見方ゼミ（信濃毎日新聞社寄付講義）	1後	2			○					兼1	
ネットワーク時代の古典を原著で読むゼミ	1後	2			○					兼1	
人工知能を知ろうゼミ	1前・後	2			○					兼1	
大学生基礎力ゼミ	1前・後	2			○					兼14	
新聞をつくろう！（MGプレス制作ゼミ）	1前	2			○					兼1	
スポーツ活動論ゼミⅠ	1前	2			○					兼1	
スポーツ活動論ゼミⅡ	1後	2			○					兼1	集中
ドイツ環境ゼミ	1後	2			○					兼1	集中
自然活動論ゼミ	1前	2			○					兼1	
自然と人間を考えるゼミ	1後	2			○					兼1	
臨床検査を体験するゼミ	1後	2			○					兼11	オムニバス
体と心のリハビリテーションを考えるゼミ	1前	2			○					兼11	オムニバス
身体運動科学ゼミ	1前	2			○					兼1	
課題解決実践ゼミ	1後	2			○					兼3	オムニバス
科学リテラシー入門ゼミ	1後	2			○					兼1	
経済数学ゼミⅠ	1前	2			○			1			
経済数学ゼミⅡ	1後	2			○			1			
民法入門ゼミ	1後	2			○					兼1	
税法入門ゼミ	1後	2			○					兼1	
リアル・プロジェクトマネジメントゼミ	1後	2			○					兼3	集中
国際関係論ゼミ	1後	2			○					兼1	
物理学入門ゼミ	1前	2			○					兼1	
幾何学入門ゼミ	1前	2			○					兼1	
素朴な集合論ゼミ	1前	2			○					兼1	
イノベーション・リテラシーゼミ	1前	2			○					兼3	集中
											※2単位 選択必修
環境社会学入門	1前・後	2			○					兼1	
熱帯雨林と社会	1前・後	2			○					兼1	
Low Energy Building（省エネルギー住宅）	1後	2			○					兼1	
ライフサイクルアセスメント入門	1前・後	2			○					兼1	
環境と生活とのかかわり	1前・後	2			○					兼1	
環境問題のしくみ	1前	2			○					兼1	
環境科学入門	1前	2			○					兼1	
グリーンテクノロジー	1前	2			○					兼9	オムニバス
環境配慮素材と自然エネルギー	1前	2			○					兼4	オムニバス
エコ水車の開発と地域バイオマス利用	1前	2			○					兼3	集中・オムニバス
地球環境の歴史	1前	2			○					兼1	
循環型社会入門	1前	2			○					兼1	
環境とエネルギー	1後	2			○					兼1	
環境エネルギー政策論	1後	2			○					兼1	
ネイチャーライティングのすすめ（環境文学Ⅰ）	1前	2			○					兼1	
環境文学のすすめ（環境文学Ⅱ）	1後	2			○					兼1	
自然環境と文化	1後	2			○					兼1	
環境法入門	1後	2			○					兼1	
材料の科学と技術（基礎編）	1前	2			○					兼13	オムニバス
材料の科学と技術（先端編）	1後	2			○					兼12	オムニバス

	生物と環境	1後	2	○							兼1	
	自然災害と環境	1前	2	○							兼2	オムニハス
	ナノテクと環境	1後	2	○							兼1	
	人とすまい	1前	2	○							兼6	
	水の環境科学	1後	2	○							兼1	
	森林サイエンス	1前	2	○							兼13	オムニハス
	農山村と環境	1前	2	○							兼10	オムニハス
	環境と緑の文化	1後	2	○							兼3	オムニハス
	農環境保全学	1後	2	○							兼4	オムニハス
	森林・環境共生学概論	1後	2	○							兼2	
	環境と生命の基礎化学	1後	2	○							兼1	
教養科目	映像・人類学	1前	2	○							兼1	
	Top Level English (トップレベルイングリッシュ)	1前・後	2	○							兼3	
	「田園環境健康都市須坂」を「共創」(須坂市寄付講義)	1後	2	○							兼1	
	映画史入門	1前	2	○							兼1	
	身体表現レクチャー&ワークショップ	1前	2	○							兼1	
	絶対王政期フランスの制度と社会	1前	2	○							兼1	
	モノの世界史	1前	2	○							兼1	
	世界の音楽	1前	2	○							兼1	
	方言からみた日本語	1後	2	○							兼1	
	江戸時代の本屋さんと本	1前	2	○							兼1	
	英語基礎Ⅰ(たてなおしの英語Ⅰ)	1前	2	○							兼1	
	英語基礎Ⅱ(たてなおしの英語Ⅱ)	1後	2	○							兼1	
	自己発見の方法	1後	2	○							兼1	
	日本古典文学入門	1前	2	○							兼1	
	中国古典小説	1前	2	○							兼1	
	生と死の哲学～哲学から宗教へ～	1前	2	○							兼1	
	文学と美術を歴史学で読み解く～日本古代史入門～	1前	2	○							兼1	
	山国信州の風土と暮らし(風土の中の衣食住)	1前	2	○							兼1	
	日本の屋根・信州の風土と暮らし	1後	2	○							兼1	
	モバイルデバイスで習うE-TOEICコース	1前・後	2	○							兼1	
	中世英語文献学入門	1後	2	○							兼1	
	「右肩下がり」の時代を生き抜くための倫理学	1前	2	○							兼1	
	言語哲学入門	1後	2	○							兼1	
	「優れた言語学習者」から考える日本語教育学	1後	2	○							兼1	
	恋愛小説を読むー比較文学への招待ー	1後	2	○							兼1	
	フランス文学概論	1前	2	○							兼1	
	日本文学概論	1後	2	○							兼1	
	映像で見て読んで考えるアメリカ	1後	2	○							兼1	
	時に挑む科学と文学	1後	2	○							兼1	
	アフリカ社会論	1前	2	○							兼1	
	韓国の文化(食文化)	1前	2	○							兼1	
	韓国の文化(映画で学ぶ)	1前	2	○							兼1	
	韓国の文化(若者の世界)	1後	2	○							兼1	
	韓国の文化(メディア)	1後	2	○							兼1	
	ドイツ語圏の文化Ⅰ	1前	2	○							兼2	オムニハス
	ドイツ語圏の文化Ⅱ	1後	2	○							兼2	オムニハス
	アフリカ文化論	1前	2	○							兼1	
	中国の文化(現代中国事情①)	1前	2	○							兼1	
	中国の文化(現代中国事情②)	1後	2	○							兼1	
	ロシアの文化(風土と歴史)	1前	2	○							兼1	
スペイン語圏の文化(ラテンアメリカ)	1後	2	○							兼1		
ドイツ語圏の文化Ⅲ	1前	2	○							兼1		
ドイツ語圏の文化Ⅳ	1後	2	○							兼1		
欧米文化(映画で見る未来像)	1前	2	○							兼1		
フランス語圏の文化	1後	2	○							兼1		
スペイン語圏の文化(スペイン)	1前	2	○							兼1		
科学論	1後	2	○							兼5	オムニハス	
囲碁で養う考える力	1前	2	○							兼1	集中	
明日を生きるための心理学 リスク社会と防災を学ぶ	1前	2	○							兼1		
ベンチャービジネス概論	1前	2	○							兼3	オムニハス	

共通教育科目	キャリアとしての公務員	1後	2	○					兼1		
	スポーツ考現学	1前・後	2	○					兼1		
	スポーツ文化を考える	1後	2	○					兼1		
	国際理解と多文化共生を考える I	1前	2	○					兼1		
	国際理解と多文化共生を考える II	1後	2	○					兼1		
	国際教養A	1前・後	2	○					兼2	集中	
	国際教養B	1前・後	2	○					兼2	集中	
	臨床心理学	1前	2	○					兼1		
	大学生が出会う法律問題	1前	2	○					兼14	オムニバス	
	世界経済の歩み	1後	2	○			1				
	家族と法	1前	2	○					兼1		
	メディア心理学	1後	2	○					兼1		
	ポジティブ心理学	1前	2	○					兼1		
	消費社会学入門	1前	2	○					兼1		
	コミュニティの社会心理学	1後	2	○					兼1		
	臨床心理学概論	1後	2	○					兼1		
	青年の海外ボランティア活動	1後	2	○					兼1		
	キャリア形成論 I	1前	2	○					兼2		
	キャリア形成論 II	1後	2	○					兼2		
	手話コミュニケーションと社会	1後	2	○					兼2		
	手話と社会	1前	2	○					兼2		
	日本国憲法	1前・後	2	○					兼3		
	地域活性化システム論	1前	2	○					兼3	オムニバス	
	公法入門	1後	2	○					兼1		
	法学入門	1前	2	○					兼1		
	現代政治分析	1前	2	○					兼1		
	社会科学群	ミクロ経済学入門	1後	2	○		2	2	1		オムニバス
		マクロ経済学入門	1前	2	○		3	2			オムニバス
		大学生が出会う経済・経営問題	1後	2	○		2	3			オムニバス
		障害と共生社会	1前	2	○					兼1	
		大学生から始めるキャリアデザイン	1前	2	○					兼3	オムニバス
		世界で今何が起きているのか? - I	1前	2	○					兼1	
		世界で今何が起きているのか? - II	1後	2	○					兼1	
		統計データから読み解く社会	1後	2	○					兼1	
		法学概論 I	1前	2	○					兼1	
		法学概論 II	1後	2	○					兼1	
		多様性の中で自分を活かす (異文化理解とコミュニケーション)	1前	2	○					兼1	
		多様性の中で自分を活かす (協働のスキル)	1後	2	○					兼1	
		グローバル人材論 (グローバルキャリアデザイン)	1前	2	○					兼1	
		グローバル人材論 (「グローバル」マインド養成)	1後	2	○					兼1	
		RESAS～教育を、社会を、地域研究を見据えたリーサス～	1後	2	○					兼1	
		心理学概論	1後	2	○					兼7	オムニバス
		知っておくべき知的財産と研究倫理の基本	1前	2	○					兼1	
		証券・投資から育む「生きる力・考える力」(監修証券寄附講義)	1前	2	○					兼1	
		この国はどんな国-グローバル社会を生きるために- I	1前	2	○					兼1	
		この国はどんな国-グローバル社会を生きるために- II	1後	2	○					兼1	
		戦後政策と公法	1後	2	○					兼1	
	ジェンダー論	1後	2	○					兼1		
	ヒューマンセクシュアリティ	1後	2	○					兼3	オムニバス	
	新聞と私たちの社会 (信濃毎日新聞社寄附講義)	1後	2	○					兼1		
	数を読む技術	1前・後	2	○					兼1		
	電子出版の現代	1前	2	○					兼1		
	家庭生活基礎A	1後	2	○					兼7	オムニバス	
	キャリアデザインと男女共同参画：誰もが輝く社会を考える	1前	2	○					兼5		
	プログラミング入門	1後	2	○	○			1			
	基本法学	1後	2	○					兼1		
	税法入門講義	1前	2	○					兼1		
	市民社会と法	1前	2	○	○				兼1		
	伝えておきたい数学	1前	2	○					兼1		
	教養としての物理学	1前	2	○					兼1		
	観測天文学入門	1後	2	○					兼1		
	生活のなかの天文学	1前	2	○					兼1		

	現代医療における物理学	1後		2		○								兼1		
	物理学の世界	1前		2		○								兼1		
	Activity-Based Astronomy--現代天文学入門	1前		2		○								兼1		
	時間と空間の物理学	1前		2		○								兼1		
	物理へのいざない	1後		2		○								兼11	オムニバス	
	応用化学～千夜一夜～	1前		2		○								兼13	オムニバス	
	生活の中の高分子	1前		2		○								兼13	オムニバス	
	基礎分子遺伝学の世界	1後		2		○								兼2	オムニバス	
	バイオリソースと生命科学	1後		2		○								兼2	オムニバス	
	生態学入門	1後		2		○								兼1		
	地域から学ぶ地球	1前		2		○								兼1		
	教養としての物質科学	1後		2		○								兼1		
自然科学群	ニューバイオテクノロジー入門	1後		2		○								兼5	オムニバス	
	動物と私たちの暮らし	1前		2		○								兼8	オムニバス	
	動物生命科学	1後		2		○								兼7	オムニバス	
	食と植物の文化論	1後		2		○								兼4	オムニバス	
	応用生物学への招待	1前		2		○								兼14	オムニバス	
	食と微生物	1後		2		○								兼9	オムニバス	
	ネットワーク社会における情報科学	1前・後		2		○								兼1		
	統計学の基礎	1前・後		2		○								兼1		
	検索の科学	1前・後		2		○								兼1		
	情報学入門 (コンピュータの構成、アルゴリズム)	1前		2		○								兼2	オムニバス	
	情報学入門 (プログラミング、ネットワーク)	1後		2		○								兼2	オムニバス	
	統計学入門	1前		2		○								兼1		
	ベイズ統計学入門	1後		2		○								兼1		
	脳の不思議を探る (認知神経科学入門)	1前		2		○								兼1		
	脳の不思議をもっと探る (認知神経科学入門)	1後		2		○								兼1		
	宇宙から原子への旅	1前		2		○								兼10	オムニバス	
	国際看護学 I	1前		2		○								兼1		
	国際技術論	1前		2		○								兼1		
	科学技術政策と研究開発	1後		2		○								兼1		
	健康管理と生活習慣【佐久大学開講】	1後		2		○								兼1		
	体育・スポーツ群	ソフトボール	1前		1		○								兼1	
		テニス	1前		1		○								兼1	
		アダブテッドスポーツ	1後		1		○								兼1	
		弓道	1前		1		○								兼1	
		コーディネーションエクササイズ	1前		1		○								兼1	
剣道形の世界		1前		1		○								兼1		
バドミントン		1前		1		○								兼2		
サッカー		1前・後		1		○								兼1		
バレーボール		1前		1		○								兼1		
フライングディスク		1前		1		○								兼1		
トレッキング		1前		1		○								兼5	集中	
ゴルフ		1前		1		○								兼2	集中	
スポーツフィッシング		1前		1		○								兼1	集中	
マリンスポーツ		1前		1		○								兼1	集中	
信大マラソン		1前		1		○								兼1	集中	
アウトドアの達人		1前		1		○								兼2	集中	
サバイバル活動		1前		1		○								兼1	集中	
スクーバダイビング		1後		1		○								兼2	集中	
レジャースポーツ		1前		1		○								兼1	集中	
スポーツボウリング		1後		1		○								兼1		
ニュースポーツ		1後		1		○								兼1	集中	
アスレティックトレーニング		1後		1		○								兼1		
バスケットボール		1後		1		○								兼1		
ネイチャースキー		1後		1		○								兼2	集中	
スノー・スポーツ		1後		1		○								兼12	集中	
アウトドアマスター I	2前		1		○								兼1	集中		
アウトドアマスター II	2前		1		○								兼4	集中		
ゴルフマスター I	2前		1		○								兼1	集中		
ゴルフマスター II	2前		1		○								兼1	集中		
	小計 (296科目)	—	0	563	0	—			7	8	2	0	0	兼345	—	



基礎科目 外国語科目	英語	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I (上級)	1前	1			○					兼11
		フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I (中級)	1前	1			○					兼17
		フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I (初級)	1前	1			○					兼14
		フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I	1前・後	1			○					兼3
		フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II (上級)	1後	1			○					兼11
		フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II (中級)	1後	1			○					兼15
		フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II (初級)	1後	1			○					兼14
		フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II	1後	1			○					兼1
		コミュニケーション・イングリッシュ I (上級)	1前	1			○					兼6
		コミュニケーション・イングリッシュ I (中級)	1前	1			○					兼5
		コミュニケーション・イングリッシュ I (初級)	1前	1			○					兼4
		コミュニケーション・イングリッシュ II (上級)	1後	1			○					兼5
		コミュニケーション・イングリッシュ II (中級)	1後	1			○					兼5
		コミュニケーション・イングリッシュ II (初級)	1後	1			○					兼4
		リスニング&リーディング I (上級)	1前	1			○					兼6
		リスニング&リーディング I (中級)	1前	1			○					兼5
		リスニング&リーディング I (初級)	1前	1			○					兼9
		リスニング&リーディング I	1前	1			○					兼1
		リスニング&リーディング II (上級)	1後	1			○					兼5
		リスニング&リーディング II (中級)	1後	1			○					兼5
		リスニング&リーディング II (初級)	1後	1			○					兼9
		リスニング&リーディング II	1後	1			○					兼1
		リーディング・プラス I	1前	1			○					兼1
		リーディング・プラス II	1後	1			○					兼1
		アカデミック・イングリッシュ I (上級)	2前	2			○					兼8
		アカデミック・イングリッシュ I (中級)	2前	2			○					兼19
		アカデミック・イングリッシュ I (初級)	2前	2			○					兼14
	アカデミック・イングリッシュ II (上級)	2後	2			○					兼8	
	アカデミック・イングリッシュ II (中級)	2後	2			○					兼20	
	アカデミック・イングリッシュ II (初級)	2後	2			○					兼17	
	ドイツ語	ドイツ語初級 (総合) I	1前	1			○					兼2
		ドイツ語初級 (総合) II	1後	1			○					兼2
		ドイツ語初級 (文法) I	1前	1			○					兼3
		ドイツ語初級 (文法) II	1前・後	1			○					兼3
		ドイツ語初級 (読解・会話) I	1前・後	1			○					兼2
		ドイツ語初級 (読解・会話) II	1後	1			○					兼2
		ドイツ語中級 (読解) I	2前	2			○					兼2
		ドイツ語中級 (読解) II	2後	2			○					兼1
		ドイツ語中級 (会話) I	2前	2			○					兼1
		ドイツ語中級 (会話) II	2後	2			○					兼1
		ドイツ語演習 I	2前	2			○					兼2
	ドイツ語演習 II	2後	2			○					兼2	
	フランス語	フランス語初級 (総合) I	1前	1			○					兼1
		フランス語初級 (総合) II	1後	1			○					兼1
		フランス語初級 (文法) I	1前	1			○					兼1
		フランス語初級 (文法) II	1後	1			○					兼1
		フランス語初級 (読解・会話) I	1前	1			○					兼2
フランス語初級 (読解・会話) II		1後	1			○					兼2	
フランス語中級 (読解・会話) I		2前	2			○					兼1	
フランス語中級 (読解・会話) II		2後	2			○					兼1	
フランス語演習 I		2前	2			○					兼1	
フランス語演習 II	2後	2			○					兼1		
中国語	中国語初級 (総合) I	1前	1			○					兼1	
	中国語初級 (総合) II	1後	1			○					兼1	
	中国語初級 (文法) I	1前	1			○					兼2	
	中国語初級 (文法) II	1後	1			○					兼2	
	中国語初級 (読解・会話) I	1前	1			○					兼4	
	中国語初級 (読解・会話) II	1後	1			○					兼4	
	中国語演習 I	2前	2			○					兼2	
中国語演習 II	2後	2			○					兼2		
ハンデル初級 (総合) I	ハンデル初級 (総合) I	1前	1			○					兼1	
	ハンデル初級 (総合) II	1後	1			○					兼1	
	ハンデル初級 (文法) I	1前	1			○					兼1	

ハン グ ル	ハングル初級（文法）Ⅱ	1後	1				○								兼1	
	ハングル初級（読解・会話）Ⅰ	1前	1				○								兼1	
	ハングル初級（読解・会話）Ⅱ	1後	1				○								兼1	
	ハングル中級（読解・会話）Ⅰ	2前	2				○								兼1	
	ハングル中級（読解・会話）Ⅱ	2後	2				○								兼1	
	ハングル中級Ⅰ	2前	2				○								兼1	
	ハングル中級Ⅱ	2後	2				○								兼1	
	ハングル演習Ⅰ	2前	2				○								兼1	
	ハングル演習Ⅱ	2後	2				○								兼1	
	ス ペ イ ン 語	スペイン語初級（総合）Ⅰ	1前	1				○								兼1
スペイン語初級（総合）Ⅱ		1後	1				○								兼1	
スペイン語初級（文法）Ⅰ		1前	1				○								兼2	
スペイン語初級（文法）Ⅱ		1前	1				○								兼2	
スペイン語初級（読解・会話）Ⅰ		1後	1				○								兼1	
スペイン語初級（読解・会話）Ⅱ		1後	1				○								兼1	
スペイン語中級（読解・会話）Ⅰ		2前	2				○								兼1	
スペイン語中級（読解・会話）Ⅱ		2後	2				○								兼1	
スペイン語演習Ⅰ		2前	2				○								兼1	
スペイン語演習Ⅱ		2後	2				○								兼1	
小計（82科目）	—	0	110	0	—			0	0	0	0	0	0	兼69	—	
健康科学・理論と実践	健康科学・理論と実践	1前	1				○								兼3	※実技・オムニバス
	小計（1科目）	—	1	0	0	—		0	0	0	0	0	0	兼3	—	
新入生ゼミナール	新入生ゼミナール	1前	2				○		9	8	0	0	0	兼7		
	小計（1科目）	—	2	0	0	—		9	8	0	0	0	0	兼7	—	
日 本 語 ・ 日 本 事 情	日 本 語	読解（日本語）Ⅰ	1前	1				○							兼2	※外国人留学生のみ
		読解（日本語）Ⅱ	1後	1				○							兼2	
		作文（日本語）Ⅰ	1前	1				○							兼2	
		作文（日本語）Ⅱ	1後	1				○							兼2	
		科学技術日本語Ⅰ	1前	1				○							兼1	
		科学技術日本語Ⅱ	1後	1				○							兼1	
		ビジネス・ジャパニーズⅠ	1前	1				○							兼1	
		ビジネス・ジャパニーズⅡ	1後	1				○							兼1	
		日本語表現・文型Ⅰ	1前	1				○							兼1	
		日本語表現・文型Ⅱ	1後	1				○							兼1	
	聴解（日本語）Ⅰ	1前	1				○							兼2		
	聴解（日本語）Ⅱ	1後	1				○							兼2		
	口頭表現Ⅰ	1前	1				○							兼1		
	口頭表現Ⅱ	1後	1				○							兼1		
	日 本 事 情	日本社会と日本人Ⅰ	1前	2				○							兼1	
日本社会と日本人Ⅱ		1後	2				○							兼1		
武道・伝統文化実習Ⅰ		1前	1				○							兼2		
武道・伝統文化実習Ⅱ		1後	1				○							兼2		
小計（18科目）	—	0	20	0	—		0	0	0	0	0	0	兼8	—		

導入科目	人文科学通論 I	1前	2		○		9	4				オムニバス
	人文科学通論 II	1後	2		○		9	4				オムニバス
基礎科目	哲学・思想概論 I	1・2前	2		○		1	1				
	哲学・思想概論 II	1・2後	2		○		1	1				
	芸術コミュニケーション概論 I	1・2前	2		○			1				
	芸術コミュニケーション概論 II	1・2後	2		○		1					
基幹科目	哲学・思想論特論 I	2・3前	2		○		1					隔年
	哲学・思想論特論 II	2・3前	2		○		1					隔年
	哲学・思想論特論 III	2・3前	2		○		1					隔年
	哲学・思想論特論 IV	2・3後	2		○		1					隔年
	哲学・思想論特論 V	2・3前	2		○			1				隔年
	哲学・思想論特論 VI	2・3後	2		○			1				隔年
	哲学・思想論特論 VII	2・3前	2		○			1				隔年
	哲学・思想論特論 VIII	2・3後	2		○			1				隔年
	哲学・思想論特論 IX	2・3前	2		○		1					隔年
	哲学・思想論特論 X	2・3後	2		○		1					隔年
	哲学・思想論特論 X I	2・3前	2		○		1					隔年
	哲学・思想論特論 X II	2・3後	2		○		1					隔年
	哲学・思想論特論 X III	2・3前	2		○		1					隔年
	哲学・思想論特論 X IV	2・3前	2		○		1					隔年
	哲学・思想論特論 X V	2・3前	2		○		1					隔年
	哲学・思想論基幹演習 I	2・3前	2			○	1					隔年
	哲学・思想論基幹演習 II	2・3後	2			○	1					隔年
	哲学・思想論基幹演習 III	2・3前	2			○	1					隔年
	哲学・思想論基幹演習 IV	2・3前	2			○	1					隔年
	哲学・思想論基幹演習 V	2・3前	2			○	1					隔年
	哲学・思想論基幹演習 VI	2・3前	2			○		1				隔年
	哲学・思想論基幹演習 VII	2・3前	2			○		1				隔年
	哲学・思想論基幹演習 VIII	2・3前	2			○		1				隔年
	哲学・思想論基幹演習 IX	2・3前	2			○	1					隔年
	哲学・思想論基幹演習 X	2・3前	2			○	1					隔年
	哲学・思想論基幹演習 X I	2・3前	2			○	1					隔年
	芸術コミュニケーション特論 I	2・3前	2			○	1					隔年
	芸術コミュニケーション特論 II	2・3後	2			○	1					隔年
	芸術コミュニケーション特論 III	2・3前	2			○	1					隔年
	芸術コミュニケーション特論 IV	2・3後	2			○	1					隔年
	芸術コミュニケーション特論 V	2・3前	2			○		1				隔年
	芸術コミュニケーション特論 VI	2・3後	2			○		1				隔年
	芸術コミュニケーション特論 VII	2・3前	2			○		1				隔年
	芸術コミュニケーション特論 VIII	2・3後	2			○		1				隔年
	芸術コミュニケーション特論 IX	2・3前	2			○		1				隔年
	芸術コミュニケーション特論 X	2・3後	2			○		1				隔年
芸術コミュニケーション特論 X I	2・3前	2			○		1				隔年	
芸術コミュニケーション特論 X II	2・3後	2			○		1				隔年	
芸術コミュニケーション基幹演習 I	2・3前	2				○	1				隔年	
芸術コミュニケーション基幹演習 II	2・3後	2				○		1			隔年	
芸術コミュニケーション基幹演習 III	2・3前	2				○		1			隔年	
芸術コミュニケーション基幹演習 IV	2・3後	2				○	1				隔年	
芸術コミュニケーション基幹演習 V	2・3前	2				○		1			隔年	
芸術コミュニケーション基幹演習 VI	2・3後	2				○	1				隔年	
芸術コミュニケーション基幹演習 VII	2・3前	2				○		1			隔年	
芸術コミュニケーション基幹演習 VIII	2・3後	2				○		1			隔年	
芸術コミュニケーション基幹演習 IX	2・3前	2				○		1			隔年	
専門科目	哲学・思想論発展演習 I	3・4後	2		○		1					隔年
	哲学・思想論発展演習 II	3・4前	2		○		1					隔年
	哲学・思想論発展演習 III	3・4後	2		○		1					隔年
	哲学・思想論発展演習 IV	3・4前	2		○			1				隔年
	哲学・思想論発展演習 V	3・4前	2		○			1				隔年
	哲学・思想論発展演習 VI	3・4後	2		○			1				隔年
	哲学・思想論発展演習 VII	3・4前	2		○		1					隔年
	哲学・思想論発展演習 VIII	3・4後	2		○		1					隔年
	哲学・思想論発展演習 IX	3・4前	2		○		1					隔年
	哲学・思想論発展演習 X	3・4後	2		○		1					隔年

発展 科目	哲学・思想論発展演習ⅩⅠ	3・4前	2		○		1								隔年
	哲学・思想論発展演習ⅩⅡ	3・4後	2		○		1								隔年
	芸術コミュニケーション発展演習Ⅰ	3・4前	2		○			1							隔年
	芸術コミュニケーション発展演習Ⅱ	3・4後	2		○		1								隔年
	芸術コミュニケーション発展演習Ⅲ	3・4前	2		○		1								隔年
	芸術コミュニケーション発展演習Ⅳ	3・4後	2		○		1								隔年
	芸術コミュニケーション発展演習Ⅴ	3・4前	2		○			1							隔年
	芸術コミュニケーション発展演習Ⅵ	3・4後	2		○			1							隔年
	芸術コミュニケーション発展演習Ⅶ	3・4前	2		○			1							隔年
	芸術コミュニケーション発展演習Ⅷ	3・4後	2		○			1							隔年
発展 科目	芸術コミュニケーション発展演習Ⅸ	3・4前	2		○			1							隔年
コー ス 般 科 目	法学Ⅰ	2・3前	2		○									兼1	隔年
	法学Ⅱ	2・3後	2		○									兼1	隔年
	法学Ⅲ	2・3前	4		○									兼1	隔年
	政治学Ⅰ	2・3後	2		○									兼1	隔年
	政治学Ⅱ	2・3前	2		○									兼1	隔年
	政治学Ⅲ	2・3後	2		○									兼1	隔年
	経済学Ⅰ	2・3前	2		○									兼1	隔年
経済学Ⅱ	2・3後	2		○									兼1	隔年	
経済学Ⅲ	2・3前	2		○									兼1	隔年	
古典語Ⅴ	2・3前	2			○			1						隔年	
古典語Ⅵ	2・3後	2			○			1						隔年	
探究 科目	卒業論文	4通	10		○		1	6							
	小計（86科目）	—	14	168	0	—	9	3	0	0	0			兼3	—
社会交流 科目	現代職業論Ⅰ	2・3前		2	○									兼2	
	現代職業論Ⅱ	2・3後		2	○			1							
	インターンシップ企業体験実習	3・4通	2			○	1								集中
学芸 関 係 科 目	生涯学習概論	1・2前	2		○									兼1	
	博物館概論	1・2後	2		○									兼1	
	博物館教育論	1・2前	2		○									兼1	
	博物館資料論	2・3後	2		○									兼4	
	博物館資料保存論	2・3前	2		○									兼7	
	博物館展示論	2・3後	2		○									兼3	
	博物館経営論	2・3前	2		○			1						兼1	
	博物館情報・メディア論	2・3後	2		○									兼3	
	博物館実習Ⅰ	3前	1			○	1	1							
	博物館実習Ⅱ	4後	1			○	1	1							
	博物館実習Ⅲ	4前	1			○	1	1							
特別 選 択 科 目	教職論	2・3前後		2	○									兼1	
	教育学概論	2・3前後		2	○									兼1	
	学校教育の歴史と現状（日本教育史）	2・3前後		1	○									兼1	
	教育思想論	2・3前後		1	○									兼1	
	教育心理学概論	2・3前後		2	○									兼1	
	発達心理学概論	2・3前後		2	○									兼1	
	特別支援教育の理論	2・3前後		1	○									兼1	
	発達障害の理解と指導	2・3前後		2	○									兼1	
	教育経営学概論	2・3前後		1	○									兼1	
	教育行政学概論	2・3前後		2	○									兼1	
	教育法学概論	2・3前後		2	○									兼1	
	教育社会学概論	2・3前後		2	○									兼1	
	教育課程の編成法	2・3前後		1	○									兼1	
	教育方法論	2・3前後		1	○									兼1	
	教育方法特論	2・3前後		1	○									兼1	
	道德教育の理論と実践	2・3前後		2	○									兼1	
	特別活動の理論と実践	2・3前後		1	○									兼1	
	生徒指導の理論と実践	2・3前後		2	○									兼1	
	キャリア教育の理論と実践	2・3前後		2	○									兼1	
	教育相談の理論と実践	2・3前後		2	○									兼1	
	カウンセリング概論	2・3前後		2	○									兼1	
	障害の理解と指導	2・3前後		1	○									兼1	
	現代社会と子どもの学習	2・3前後		2	○									兼1	
社会科・地理歴史科指導法	2・3前		2	○				1							
社会科・公民科指導法	2・3後		2	○				2							

科目	教職のための情報・メディア活用	2・3前		2	○		1												
	社会科・地理歴史科指導法特論Ⅰ	2・3前		2	○			1											
	社会科・地理歴史科指導法特論Ⅱ	2・3後		2	○				1										
	社会科・公民科指導法特論Ⅰ	2・3前		2	○					2									
	社会科・公民科指導法特論Ⅱ	2・3後		2	○						2								
	中学校教育実習	4前		4		○		1											
	国語科指導法Ⅰ	2・3前		2	○			1											
	国語科指導法Ⅱ	2・3後		2	○					1									
	英語科指導法Ⅰ	2・3前		2	○						1								
	英語科指導法Ⅱ	2・3後		2	○							1							
	ドイツ語科指導法Ⅰ	2・3前		2	○							1							
	ドイツ語科指導法Ⅱ	2・3後		2	○								1						
	中国語科指導法Ⅰ	2・3前		2	○								1						
	中国語科指導法Ⅱ	2・3後		2	○									1					
	国語科指導法特論Ⅰ	2・3前		2	○				1										
	国語科指導法特論Ⅱ	2・3後		2	○							1							
	英語科指導法特論Ⅰ	2・3前		2	○								1						
	英語科指導法特論Ⅱ	2・3後		2	○									1					
	中国語科指導法特論Ⅰ	2・3前		2	○								1						
	中国語科指導法特論Ⅱ	2・3後		2	○									1					
	教育実習事前・事後指導	4前後		1	○				1										
	高等学校教育実習	4前後		2			○		1										
	教職実践演習(中・高)	4前後		2		○								兼1					
公認心理士関係科目	発達心理学	2・3前		2	○									兼1					
	障害者・障害児心理学	2・3後		2	○									兼1					
	人体の構造と機能及び疾病	2・3前		2	○									兼1					
	精神疾患とその治療	2・3後		1	○									兼1					
	関係行政論	2・3前		2	○									兼1					
小計(67科目)			0	21	101	—		3	9	1	0	0	兼37	—					
合計(549科目)			17	884	101	—		17	15	0	1	0	兼439	—					
学位又は称号		学士(文学)		学位又は学科の分野			文学関係												
卒業要件及び履修方法										授業期間等									
1. 共通教育科目 38単位以上 (1) 教養科目 19単位以上 ①環境科学群 2単位以上 ②環境科学群, 人文科学群, 社会科学群, 自然科学群, 体育・スポーツ群のうち 3つ以上の科学群が必修 (2) 外国語科目 8単位 ①英語 8単位 ②初修外国語 8単位 (3) 健康科学科目 1単位 (4) 新入生ゼミナール科目 2単位 2. 専門科目 92単位以上 3. 履修科目の登録の上限 ①1年次は共通教育科目を含め1学期28単位 ②2年次以降1学期24単位										1学年の学期区分					2期				
										1学期の授業期間					15週				
										1時限の授業時間					90分				

別記様式第2号 (その2の1)

基礎となる学部		教育課程等の概要															
(人文学部人文学科 文化情報論・社会学コース)																	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
教養ゼミナール群	技術とエネルギーの入門ゼミ	1後		2				○								兼4	オムニバス
	生態資源論ゼミ	1前・後		2				○								兼1	
	地球白書ゼミ	1前・後		2				○								兼1	集中
	環境マインドを現場で体験するゼミ	1前		2				○								兼3	集中
	土壌学ゼミ	1前		2				○								兼1	
	植物生態学ゼミ	1前		2				○								兼1	集中
	環境マインドを現場で体験するゼミ (熱帯雨林)	1後		2				○								兼1	集中
	芸術教養美術ゼミ	1前・後		2				○								兼1	
	芸術教養音楽ゼミ	1後		2				○								兼7	オムニバス
	「時」について考えるゼミ	1後		2				○								兼1	
	アジアの中の日本ゼミ I	1前		2				○								兼1	
	アジアの中の日本ゼミ II	1後		2				○								兼1	
	原書で読むシャーロック・ホームズゼミ	1後		2				○								兼1	
	現代ドイツの言語と日常ゼミ	1前		2				○								兼1	
	現代ドイツ事情ゼミ	1後		2				○								兼1	
	異文化研究ゼミ	1後		2				○								兼1	
	感覚で攻める英文法ゼミ～覚える英文法から感じる英文法へ	1前・後		2				○								兼1	
	日本近現代史入門ゼミ	1後		2				○								兼1	
	西洋古典語の世界ゼミ	1後		2				○								兼1	
	古文書で学ぶ近世ゼミ	1前		2				○								兼1	
	比較哲学入門ゼミ	1後		2				○								兼1	
	フィールドワーク入門ゼミ	1前		2				○								兼1	
	日中比較文学ゼミ	1後		2				○								兼1	
	発信のためのやさしい英文文練習ゼミ	1前		2				○								兼1	
	中国古典小説ゼミ	1後		2				○								兼1	
	法言語学(司法制度とことば)ゼミ	1後		2				○								兼1	
	翻訳入門ゼミ	1後		2				○								兼1	
	シェイクスピアを読むゼミ	1後		2				○								兼1	
	異文化コミュニケーション(海外留学)ゼミ	1前・後		2				○								兼1	
	外国語教育を考えるゼミ	1後		2				○								兼1	
	ことばについて考えるゼミ	1後		2				○								兼1	
	中国思想の古典で学ぶゼミ	1前		2				○								兼1	
	変体仮名入門ゼミ	1前		2				○								兼1	
	フランス文学ゼミ	1前		2				○								兼1	
	英語資格試験対策ゼミ	1前		2				○								兼1	
	シルシル信知るゼミ	1前		2				○								兼2	オムニバス・集中
	もっと知りたい韓国ゼミ	1前		2				○								兼1	
	スポーツ・ホスピタリティゼミ 秋冬編(松本山雅FC連携ゼミ)	1後		2				○								兼1	
	スポーツ・ホスピタリティゼミ 春夏編(松本山雅FC連携ゼミ)	1前		2				○								兼1	
	スポーツ観戦文化論ゼミ	1前・後		2				○								兼1	
	テレビのメディアリテラシー(テレビ信州参与ゼミ)	1前		2				○								兼1	
	大学改革への学生参加ゼミ	1後		2				○								兼1	
「考える」ゼミ	1前・後		2				○								兼1		
しょうがいスポーツゼミ	1前		2				○								兼3	オムニバス	
心理学思考法ゼミ	1前		2				○								兼1		
身体心理学ゼミ	1後		2				○								兼1		
環境心理学ゼミ	1前		2				○								兼1		
経済学の視点で考える企業行動ゼミ 基礎編	1前		2				○			1							
経済学の視点で考える企業行動ゼミ 応用編	1後		2				○			1							
社会科学文献講読ゼミ I	1後		2				○								兼1		
社会科学文献講読ゼミ II	1後		2				○								兼1		
地域ブランド実践ゼミ	1後		2				○								兼3	オムニバス	

	社会科学の方法ゼミ	1後	2									兼1	
	社会格差を考えるゼミ：勝者と敗者の本当の姿	1後	2									兼1	
	質問紙調査入門ゼミ	1後	2									兼1	
	キャリアデザイン実践ゼミ	1後	2									兼3	
	化学計算入門ゼミ	1前・後	2									兼1	
	大学を知るゼミ	1後	2									兼1	
	ロボティクス入門ゼミ	1前・後	2									兼1	
	自然誌・博物学ゼミ	1前	2									兼3	オムニバス
	ものづくり入門ゼミ	1後	2									兼2	オムニバス
	文系学生のための野外地質学ゼミ	1前	2									兼3	集中
	利己的遺伝子説から生物像を描くゼミ	1後	2									兼1	
	統計図解ゼミ	1後	2									兼1	
	アナログ再発見ゼミ	1前・後	2									兼1	
	情報社会論ゼミ	1前・後	2									兼1	
	Web制作ゼミ	1前・後	2									兼1	
	新聞で広げる社会の見方ゼミ（信濃毎日新聞社寄付講義）	1後	2									兼1	
	ネットワーク時代の古典を原著で読むゼミ	1後	2									兼1	
	人工知能を知ろうゼミ	1前・後	2									兼1	
	大学生基礎力ゼミ	1前・後	2									兼14	
	新聞をつくろう！（MGプレス制作ゼミ）	1前	2									兼1	
	スポーツ活動論ゼミⅠ	1前	2									兼1	
	スポーツ活動論ゼミⅡ	1後	2									兼1	集中
	ドイツ環境ゼミ	1後	2									兼1	集中
	自然活動論ゼミ	1前	2									兼1	
	自然と人間を考えるゼミ	1後	2									兼1	
	臨床検査を体験するゼミ	1後	2									兼11	オムニバス
	体と心のリハビリテーションを考えるゼミ	1前	2									兼11	オムニバス
	身体運動科学ゼミ	1前	2									兼1	
	課題解決実践ゼミ	1後	2									兼3	オムニバス
	科学リテラシー入門ゼミ	1後	2									兼1	
	経済数学ゼミⅠ	1前	2						1				
	経済数学ゼミⅡ	1後	2						1				
	民法入門ゼミ	1後	2									兼1	
	税法入門ゼミ	1後	2									兼1	
	リアル・プロジェクトマネジメントゼミ	1後	2									兼3	集中
	国際関係論ゼミ	1後	2									兼1	
	物理学入門ゼミ	1前	2									兼1	
	幾何学入門ゼミ	1前	2									兼1	
	素朴な集合論ゼミ	1前	2									兼1	
	イノベーション・リテラシーゼミ	1前	2									兼3	集中
													※2単位 選択必修
	環境社会学入門	1前・後	2									兼1	
	熱帯雨林と社会	1前・後	2									兼1	
	Low Energy Building（省エネルギー住宅）	1後	2									兼1	
	ライフサイクルアセスメント入門	1前・後	2									兼1	
	環境と生活とのかかわり	1前・後	2									兼1	
	環境問題のしくみ	1前	2									兼1	
	環境科学入門	1前	2									兼1	
	グリーンテクノロジー	1前	2									兼9	オムニバス
	環境配慮素材と自然エネルギー	1前	2									兼4	オムニバス
	エコ水車の開発と地域バイオマス利用	1前	2									兼3	集中・オムニバス
	地球環境の歴史	1前	2									兼1	
	循環型社会入門	1前	2									兼1	
環境科学群	環境とエネルギー	1後	2									兼1	
	環境エネルギー政策論	1後	2									兼1	
	ネイチャーライティングのすすめ（環境文学Ⅰ）	1前	2									兼1	
	環境文学のすすめ（環境文学Ⅱ）	1後	2									兼1	
	自然環境と文化	1後	2									兼1	
	環境法入門	1後	2									兼1	
	材料の科学と技術（基礎編）	1前	2									兼13	オムニバス
	材料の科学と技術（先端編）	1後	2									兼12	オムニバス

	生物と環境	1後	2	○								兼1	
	自然災害と環境	1前	2	○								兼2	オムニハス
	ナノテクと環境	1後	2	○								兼1	
	人とすまい	1前	2	○								兼6	
	水の環境科学	1後	2	○								兼1	
	森林サイエンス	1前	2	○								兼13	オムニハス
	農山村と環境	1前	2	○								兼10	オムニハス
	環境と緑の文化	1後	2	○								兼3	オムニハス
	農環境保全学	1後	2	○								兼4	オムニハス
	森林・環境共生学概論	1後	2	○								兼2	
	環境と生命の基礎化学	1後	2	○								兼1	
教養科目	映像・人類学	1前	2	○								兼1	
	Top Level English (トップレベルイングリッシュ)	1前・後	2	○								兼3	
	「田園環境健康都市須坂」を「共創」(須坂市寄付講義)	1後	2	○								兼1	
	映画史入門	1前	2	○								兼1	
	身体表現レクチャー&ワークショップ	1前	2	○								兼1	
	絶対王政期フランスの制度と社会	1前	2	○								兼1	
	モノの世界史	1前	2	○								兼1	
	世界の音楽	1前	2	○								兼1	
	方言からみた日本語	1後	2	○								兼1	
	江戸時代の本屋さんと本	1前	2	○								兼1	
	英語基礎Ⅰ(たてなおしの英語Ⅰ)	1前	2	○								兼1	
	英語基礎Ⅱ(たてなおしの英語Ⅱ)	1後	2	○								兼1	
	自己発見の方法	1後	2	○								兼1	
	日本古典文学入門	1前	2	○								兼1	
	中国古典小説	1前	2	○								兼1	
	生と死の哲学～哲学から宗教へ～	1前	2	○								兼1	
	文学と美術を歴史学で読み解く～日本古代史入門～	1前	2	○								兼1	
	山国信州の風土と暮らし(風土の中の衣食住)	1前	2	○								兼1	
	日本の屋根・信州の風土と暮らし	1後	2	○								兼1	
	モバイルデバイスで習うE-TOEICコース	1前・後	2	○								兼1	
	中世英語文献学入門	1後	2	○								兼1	
	「右肩下がり」の時代を生き抜くための倫理学	1前	2	○								兼1	
	言語哲学入門	1後	2	○								兼1	
	「優れた言語学習者」から考える日本語教育学	1後	2	○								兼1	
	恋愛小説を読むー比較文学への招待ー	1後	2	○								兼1	
	フランス文学概論	1前	2	○								兼1	
	日本文学概論	1後	2	○								兼1	
	映像で見て読んで考えるアメリカ	1後	2	○								兼1	
	時に挑む科学と文学	1後	2	○								兼1	
	アフリカ社会論	1前	2	○								兼1	
	韓国の文化(食文化)	1前	2	○								兼1	
	韓国の文化(映画で学ぶ)	1前	2	○								兼1	
	韓国の文化(若者の世界)	1後	2	○								兼1	
	韓国の文化(メディア)	1後	2	○								兼1	
	ドイツ語圏の文化Ⅰ	1前	2	○								兼2	オムニハス
	ドイツ語圏の文化Ⅱ	1後	2	○								兼2	オムニハス
	アフリカ文化論	1前	2	○								兼1	
	中国の文化(現代中国事情①)	1前	2	○								兼1	
	中国の文化(現代中国事情②)	1後	2	○								兼1	
	ロシアの文化(風土と歴史)	1前	2	○								兼1	
	スペイン語圏の文化(ラテンアメリカ)	1後	2	○								兼1	
ドイツ語圏の文化Ⅲ	1前	2	○								兼1		
ドイツ語圏の文化Ⅳ	1後	2	○								兼1		
欧米文化(映画で見る未来像)	1前	2	○								兼1		
フランス語圏の文化	1後	2	○								兼1		
スペイン語圏の文化(スペイン)	1前	2	○								兼1		
科学論	1後	2	○								兼5	オムニハス	
囲碁で養う考える力	1前	2	○								兼1	集中	
明日を生きるための心理学 リスク社会と防災を学ぶ	1前	2	○								兼1		
ベンチャービジネス概論	1前	2	○								兼3	オムニハス	



共通教育科目	キャリアとしての公務員	1後	2	○									兼1	
	スポーツ考現学	1前・後	2	○									兼1	
	スポーツ文化を考える	1後	2	○									兼1	
	国際理解と多文化共生を考える I	1前	2	○									兼1	
	国際理解と多文化共生を考える II	1後	2	○									兼1	
	国際教養A	1前・後	2	○									兼2	集中
	国際教養B	1前・後	2	○									兼2	集中
	臨床心理学	1前	2	○									兼1	
	大学生が会おう法律問題	1前	2	○									兼14	オムニバス
	世界経済の歩み	1後	2	○				1						
	家族と法	1前	2	○									兼1	
	メディア心理学	1後	2	○									兼1	
	ポジティブ心理学	1前	2	○									兼1	
	消費社会学入門	1前	2	○									兼1	
	コミュニティの社会心理学	1後	2	○									兼1	
	臨床心理学概論	1後	2	○									兼1	
	青年の海外ボランティア活動	1後	2	○									兼1	
	キャリア形成論 I	1前	2	○									兼2	
	キャリア形成論 II	1後	2	○									兼2	
	手話コミュニケーションと社会	1後	2	○									兼2	
	手話と社会	1前	2	○									兼2	
	日本国憲法	1前・後	2	○									兼3	
	地域活性化システム論	1前	2	○									兼3	オムニバス
	公法入門	1後	2	○									兼1	
	法学入門	1前	2	○									兼1	
	現代政治分析	1前	2	○									兼1	
	社会科学群													
	ミクロ経済学入門	1後	2	○			2	2	1					オムニバス
	マクロ経済学入門	1前	2	○			3	2						オムニバス
	大学生が会おう経済・経営問題	1後	2	○			2	3						オムニバス
	障害と共生社会	1前	2	○									兼1	
	大学生から始めるキャリアデザイン	1前	2	○									兼3	オムニバス
	世界で今何が起きているのか? - I	1前	2	○									兼1	
	世界で今何が起きているのか? - II	1後	2	○									兼1	
	統計データから読み解く社会	1後	2	○									兼1	
	法学概論 I	1前	2	○									兼1	
	法学概論 II	1後	2	○									兼1	
	多様性の中で自分を活かす (異文化理解とコミュニケーション)	1前	2	○									兼1	
	多様性の中で自分を活かす (協働のスキル)	1後	2	○									兼1	
	グローバル人材論 (グローバルキャリアデザイン)	1前	2	○									兼1	
	グローバル人材論 (「グローバル」マインド養成)	1後	2	○									兼1	
	RESAS～教育を、社会を、地域研究を見据えたリーサス～	1後	2	○									兼1	
	心理学概論	1後	2	○									兼7	オムニバス
	知っておくべき知的財産と研究倫理の基本	1前	2	○									兼1	
	証券・投資から育む「生きる力・考える力」(証券証券寄付講義)	1前	2	○									兼1	
	この国はどんな国-グローバル社会を生きるために-I	1前	2	○									兼1	
	この国はどんな国-グローバル社会を生きるために-II	1後	2	○									兼1	
戦後政策と公法	1後	2	○									兼1		
ジェンダー論	1後	2	○									兼1		
ヒューマンセクシュアリティ	1後	2	○									兼3	オムニバス	
新聞と私たちの社会 (信濃毎日新聞社寄付講義)	1後	2	○									兼1		
教を読む技術	1前・後	2	○									兼1		
電子出版の現代	1前	2	○									兼1		
家庭生活基礎A	1後	2	○									兼7	オムニバス	
キャリアビジョンと男女共同参画:誰もが輝く社会を考える	1前	2	○									兼5		
プログラミング入門	1後	2	○	○				1						
基本法学	1後	2	○									兼1		
税法入門講義	1前	2	○									兼1		
市民社会と法	1前	2	○	○								兼1		
伝えておきたい数学	1前	2	○									兼1		
教養としての物理学	1前	2	○									兼1		
観測天文学入門	1後	2	○									兼1		
生活のなかの天文学	1前	2	○									兼1		

自然科学群	現代医療における物理学	1後	2	○							兼1		
	物理学の世界	1前	2	○							兼1		
	Activity-Based Astronomy--現代天文学入門	1前	2	○							兼1		
	時間と空間の物理学	1前	2	○							兼1		
	物理へのいざない	1後	2	○							兼11	オムニバス	
	応用化学～千夜一夜～	1前	2	○							兼13	オムニバス	
	生活の中の高分子	1前	2	○							兼13	オムニバス	
	基礎分子遺伝学の世界	1後	2	○							兼2	オムニバス	
	バイオリソースと生命科学	1後	2	○							兼2	オムニバス	
	生態学入門	1後	2	○							兼1		
	地域から学ぶ地球	1前	2	○							兼1		
	教養としての物質科学	1後	2	○							兼1		
	ニューバイオテクノロジー入門	1後	2	○							兼5	オムニバス	
	動物と私たちの暮らし	1前	2	○							兼8	オムニバス	
	動物生命科学	1後	2	○							兼7	オムニバス	
	食と植物の文化論	1後	2	○							兼4	オムニバス	
	応用生物学への招待	1前	2	○							兼14	オムニバス	
	食と微生物	1後	2	○							兼9	オムニバス	
	ネットワーク社会における情報科学	1前・後	2	○							兼1		
	統計学の基礎	1前・後	2	○							兼1		
	検索の科学	1前・後	2	○							兼1		
	情報学入門 (コンピュータの構成、アルゴリズム)	1前	2	○							兼2	オムニバス	
	情報学入門 (プログラミング、ネットワーク)	1後	2	○							兼2	オムニバス	
	統計学入門	1前	2	○							兼1		
	ベイズ統計学入門	1後	2	○							兼1		
	脳の不思議を探る (認知神経科学入門)	1前	2	○							兼1		
	脳の不思議をもっと探る (認知神経科学入門)	1後	2	○							兼1		
	宇宙から原子への旅	1前	2	○							兼10	オムニバス	
	国際看護学 I	1前	2	○							兼1		
	国際技術論	1前	2	○							兼1		
	科学技術政策と研究開発	1後	2	○							兼1		
	健康管理と生活習慣【佐久大学開講】	1後	2	○							兼1		
	体育・スポーツ群	ソフトボール	1前	1	○							兼1	
		テニス	1前	1	○							兼1	
		アダプテッドスポーツ	1後	1	○							兼1	
		弓道	1前	1	○							兼1	
		コーディネーションエクササイズ	1前	1	○							兼1	
		剣道形の世界	1前	1	○							兼1	
		バドミントン	1前	1	○							兼2	
サッカー		1前・後	1	○							兼1		
バレーボール		1前	1	○							兼1		
フライングディスク		1前	1	○							兼1		
トレッキング		1前	1	○							兼5	集中	
ゴルフ		1前	1	○							兼2	集中	
スポーツフィッシング		1前	1	○							兼1	集中	
マリンスポーツ		1前	1	○							兼1	集中	
信大マラソン		1前	1	○							兼1	集中	
アウトドアの達人		1前	1	○							兼2	集中	
サバイバル活動		1前	1	○							兼1	集中	
スクーバダイビング		1後	1	○							兼2	集中	
レジャースポーツ		1前	1	○							兼1	集中	
スポーツボウリング		1後	1	○							兼1		
ニュースポーツ		1後	1	○							兼1	集中	
アスレティックトレーニング		1後	1	○							兼1		
バスケットボール		1後	1	○							兼1		
ネイチャースキー		1後	1	○							兼2	集中	
スノー・スポーツ		1後	1	○							兼12	集中	
アウトドアマスター I		2前	1	○							兼1	集中	
アウトドアマスター II		2前	1	○							兼4	集中	
ゴルフマスター I	2前	1	○							兼1	集中		
ゴルフマスター II	2前	1	○							兼1	集中		
小計 (296科目)	—	0	563	0	—		7	8	2	0	0	兼345	—

基礎科目	外国語科目	英語	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅠ（上級）	1前	1			○					兼11	
			フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅠ（中級）	1前	1			○					兼17	
			フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅠ（初級）	1前	1			○					兼14	
			フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅠ	1前・後	1			○					兼3	
			フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅡ（上級）	1後	1			○					兼11	
			フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅡ（中級）	1後	1			○					兼15	
			フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅡ（初級）	1後	1			○					兼14	
			フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅡ	1後	1			○					兼1	
			コミュニケーション・イングリッシュⅠ（上級）	1前	1			○					兼6	
			コミュニケーション・イングリッシュⅠ（中級）	1前	1			○					兼5	
			コミュニケーション・イングリッシュⅠ（初級）	1前	1			○					兼4	
			コミュニケーション・イングリッシュⅡ（上級）	1後	1			○					兼5	
			コミュニケーション・イングリッシュⅡ（中級）	1後	1			○					兼5	
			コミュニケーション・イングリッシュⅡ（初級）	1後	1			○					兼4	
			リスニング&リーディングⅠ（上級）	1前	1			○					兼6	
			リスニング&リーディングⅠ（中級）	1前	1			○					兼5	
			リスニング&リーディングⅠ（初級）	1前	1			○					兼9	
			リスニング&リーディングⅠ	1前	1			○					兼1	
			リスニング&リーディングⅡ（上級）	1後	1			○					兼5	
			リスニング&リーディングⅡ（中級）	1後	1			○					兼5	
			リスニング&リーディングⅡ（初級）	1後	1			○					兼9	
			リスニング&リーディングⅡ	1後	1			○					兼1	
			リーディング・プラスⅠ	1前	1			○					兼1	
			リーディング・プラスⅡ	1後	1			○					兼1	
			アカデミック・イングリッシュⅠ（上級）	2前	2			○					兼8	
			アカデミック・イングリッシュⅠ（中級）	2前	2			○					兼19	
			アカデミック・イングリッシュⅠ（初級）	2前	2			○					兼14	
			アカデミック・イングリッシュⅡ（上級）	2後	2			○					兼8	
			アカデミック・イングリッシュⅡ（中級）	2後	2			○					兼20	
			アカデミック・イングリッシュⅡ（初級）	2後	2			○					兼17	
			ドイツ語	ドイツ語初級（総合）Ⅰ	1前	1			○					兼2
				ドイツ語初級（総合）Ⅱ	1後	1			○					兼2
				ドイツ語初級（文法）Ⅰ	1前	1			○					兼3
				ドイツ語初級（文法）Ⅱ	1前・後	1			○					兼3
				ドイツ語初級（読解・会話）Ⅰ	1前・後	1			○					兼2
				ドイツ語初級（読解・会話）Ⅱ	1後	1			○					兼2
				ドイツ語中級（読解）Ⅰ	2前	2			○					兼2
				ドイツ語中級（読解）Ⅱ	2後	2			○					兼1
				ドイツ語中級（会話）Ⅰ	2前	2			○					兼1
				ドイツ語中級（会話）Ⅱ	2後	2			○					兼1
				ドイツ語演習Ⅰ	2前	2			○					兼2
				ドイツ語演習Ⅱ	2後	2			○					兼2
				フランス語	フランス語初級（総合）Ⅰ	1前	1			○				
			フランス語初級（総合）Ⅱ		1後	1			○					兼1
			フランス語初級（文法）Ⅰ		1前	1			○					兼1
			フランス語初級（文法）Ⅱ		1後	1			○					兼1
			フランス語初級（読解・会話）Ⅰ		1前	1			○					兼2
フランス語初級（読解・会話）Ⅱ	1後	1				○					兼2			
フランス語中級（読解・会話）Ⅰ	2前	2				○					兼1			
フランス語中級（読解・会話）Ⅱ	2後	2				○					兼1			
フランス語演習Ⅰ	2前	2				○					兼1			
フランス語演習Ⅱ	2後	2				○					兼1			
中国語	中国語初級（総合）Ⅰ	1前	1			○					兼1			
	中国語初級（総合）Ⅱ	1後	1			○					兼1			
	中国語初級（文法）Ⅰ	1前	1			○					兼2			
	中国語初級（文法）Ⅱ	1後	1			○					兼2			
	中国語初級（読解・会話）Ⅰ	1前	1			○					兼4			
	中国語初級（読解・会話）Ⅱ	1後	1			○					兼4			
	中国語演習Ⅰ	2前	2			○					兼2			
	中国語演習Ⅱ	2後	2			○					兼2			
ハンデル初級（総合）Ⅰ	ハンデル初級（総合）Ⅰ	1前	1			○					兼1			
	ハンデル初級（総合）Ⅱ	1後	1			○					兼1			
	ハンデル初級（文法）Ⅰ	1前	1			○					兼1			

ハン グ ル	ハングル初級（文法）Ⅱ	1後	1			○								兼1	
	ハングル初級（読解・会話）Ⅰ	1前	1			○								兼1	
	ハングル初級（読解・会話）Ⅱ	1後	1			○								兼1	
	ハングル中級（読解・会話）Ⅰ	2前	2			○								兼1	
	ハングル中級（読解・会話）Ⅱ	2後	2			○								兼1	
	ハングル中級Ⅰ	2前	2			○								兼1	
	ハングル中級Ⅱ	2後	2			○								兼1	
	ハングル演習Ⅰ	2前	2			○								兼1	
	ハングル演習Ⅱ	2後	2			○								兼1	
	ス ペ イ ン 語	スペイン語初級（総合）Ⅰ	1前	1			○								兼1
スペイン語初級（総合）Ⅱ		1後	1			○								兼1	
スペイン語初級（文法）Ⅰ		1前	1			○								兼2	
スペイン語初級（文法）Ⅱ		1前	1			○								兼2	
スペイン語初級（読解・会話）Ⅰ		1後	1			○								兼1	
スペイン語初級（読解・会話）Ⅱ		1後	1			○								兼1	
スペイン語中級（読解・会話）Ⅰ		2前	2			○								兼1	
スペイン語中級（読解・会話）Ⅱ		2後	2			○								兼1	
スペイン語演習Ⅰ		2前	2			○								兼1	
スペイン語演習Ⅱ		2後	2			○								兼1	
小計（82科目）	—	0	110	0	—			0	0	0	0	0	0	兼69	—
健康科学・ 理 論 と 実 践	健康科学・理論と実践	1前	1			○								兼3	※実技・オムニバス
	小計（1科目）	—	1	0	0	—		0	0	0	0	0	0	兼3	—
	小計（1科目）	—	2	0	0	—		9	8	0	0	0	0	兼7	—
日 本 語 ・ 日 本 事 情	読解（日本語）Ⅰ	1前	1			○								兼2	※外国人 留 学 生 の み
	読解（日本語）Ⅱ	1後	1			○								兼2	
	作文（日本語）Ⅰ	1前	1			○								兼2	
	作文（日本語）Ⅱ	1後	1			○								兼2	
	科学技術日本語Ⅰ	1前	1			○								兼1	
	科学技術日本語Ⅱ	1後	1			○								兼1	
	ビジネス・ジャパニーズⅠ	1前	1			○								兼1	
	ビジネス・ジャパニーズⅡ	1後	1			○								兼1	
	日本語表現・文型Ⅰ	1前	1			○								兼1	
	日本語表現・文型Ⅱ	1後	1			○								兼1	
日 本 事 情	聴解（日本語）Ⅰ	1前	1			○								兼2	※外国人 留 学 生 の み オムニバス
	聴解（日本語）Ⅱ	1後	1			○								兼2	
	口頭表現Ⅰ	1前	1			○								兼1	
	口頭表現Ⅱ	1後	1			○								兼1	
	小計（18科目）	—	0	20	0	—		0	0	0	0	0	0	兼8	
導 入 科 目	人文科学通論Ⅰ	1前	2			○		9	4						オムニバス
	人文科学通論Ⅱ	1後	2			○		9	4						オムニバス
基 礎 科 目	文化情報論概論Ⅰ	1・2前	2			○			1	1					
	文化情報論概論Ⅱ	1・2後	2			○									
	社会学概論Ⅰ	1・2前	2			○				1					
	社会学概論Ⅱ	1・2後	2			○					1				
情 報 編 集 論 Ⅰ 情 報 編 集 論 Ⅱ デ ー タ 分 析 方 法 論 Ⅰ デ ー タ 分 析 方 法 論 Ⅱ 情 報 調 査 論 Ⅰ 情 報 調 査 論 Ⅱ 消 費 情 報 論 Ⅰ 消 費 情 報 論 Ⅱ 文 化 情 報 論 基 礎 実 習 Ⅰ 文 化 情 報 論 基 礎 実 習 Ⅱ 文 化 情 報 論 総 合 基 幹 演 習 Ⅰ 文 化 情 報 論 総 合 基 幹 演 習 Ⅱ 文 化 情 報 論 総 合 基 幹 演 習 Ⅲ 文 化 情 報 論 実 践 基 幹 演 習 Ⅰ	2・3前	2			○			1							
	2・3後	2			○			1							
	2・3前	2			○			1							
	2・3後	2			○			1							
	2・3前	2			○				1						隔年
	2・3後	2			○					1					隔年
	2・3前	2			○					1					隔年
	2・3後	2			○						1				隔年
	2・3前	2				○		1	2						
	2・3後	2				○		1	2						
	2・3前	2				○		1							隔年
	2・3前	2				○				1					隔年
	2・3前	2				○					1				隔年
2・3後	2				○						1			隔年	

專門科目	基幹科目	文化情報論実践基幹演習Ⅱ	2・3前	2		○		1			隔年		
		文化情報論実践基幹演習Ⅲ	2・3後	2		○		1			隔年		
		文化情報論特別基幹演習Ⅰ	2・3前	2		○		1			隔年		
		文化情報論特別基幹演習Ⅱ	2・3前	2		○		1			隔年		
		文化情報論特別基幹演習Ⅲ	2・3前	2		○		1			隔年		
		文化情報論応用基幹演習Ⅰ	2・3前	2		○			1		隔年		
		文化情報論応用基幹演習Ⅱ	2・3前	2		○			1		隔年		
		文化情報論応用基幹演習Ⅲ	2・3前	2		○			1		隔年		
		経験社会学基幹講義	2・3前	2		○				1		隔年	
		社会分析論Ⅰ	2・3前	2		○					兼1	隔年	
		社会分析論Ⅱ	2・3前	2		○					兼1	隔年	
		社会分析論Ⅲ	2・3前	2		○					兼1	隔年	
		社会分析論Ⅳ	2・3前	2		○					兼1	隔年	
		地域社会学Ⅰ	2・3後	2		○				1		隔年	
		地域社会学Ⅱ	2・3後	2		○				1		隔年	
		地域社会学Ⅲ	2・3後	2		○				1		隔年	
		地域社会学Ⅳ	2・3後	2		○				1		隔年	
		現代社会学基幹演習Ⅰ	2・3前	2			○			1		隔年	
		現代社会学基幹演習Ⅱ	2・3後	2			○			1		隔年	
		現代社会学基幹演習Ⅲ	2・3前	2			○			1		隔年	
		現代社会学基幹演習Ⅳ	2・3後	2			○			1		隔年	
		現代社会学基幹演習Ⅴ	2・3前	2			○			1		隔年	
		現代社会学基幹演習Ⅵ	2・3後	2			○			1		隔年	
		経験社会学基幹演習Ⅰ	2・3前	2			○			1		隔年	
		経験社会学基幹演習Ⅱ	2・3前	2			○			1		隔年	
		社会調査演習Ⅰ	2・3前	2			○			1		隔年	
		社会調査演習Ⅱ	2・3前	2			○			1		隔年	
		社会調査実習Ⅰ	2・3後	2				○		1		隔年	
		社会調査実習Ⅱ	2・3後	2				○		1		隔年	
		発展科目	発展科目	文化情報論特別発展演習Ⅰ	3・4前	2		○		1			隔年
				文化情報論特別発展演習Ⅱ	3・4後	2		○		1			隔年
				文化情報論特別発展演習Ⅲ	3・4前	2		○		1			隔年
				文化情報論発展演習Ⅰ	3・4前	2		○		1			隔年
				文化情報論発展演習Ⅱ	3・4後	2		○		1			隔年
文化情報論発展演習Ⅲ	3・4前			2		○		1			隔年		
文化情報論発展演習Ⅳ	3・4後			2		○		1			隔年		
文化情報論発展演習Ⅴ	3・4前			2		○			1		隔年		
文化情報論発展演習Ⅵ	3・4後			2		○			1		隔年		
文化情報論発展演習Ⅶ	3・4前			2		○			1		隔年		
文化情報論発展演習Ⅷ	3・4後			2		○			1		隔年		
文化情報論発展演習Ⅸ	3・4前			2		○			1		隔年		
文化情報論発展演習Ⅹ	3・4前			2		○			1		隔年		
文化情報論発展演習ⅩⅠ	3・4後			2		○			1		隔年		
文化情報論発展演習ⅩⅡ	3・4前			2		○			1		隔年		
文化情報論発展講義Ⅰ	3・4前			2		○		1			隔年		
文化情報論発展講義Ⅱ	3・4後			2		○			1		隔年		
文化情報論発展講義Ⅲ	3・4前			2		○			1		隔年		
文化情報論発展講義Ⅳ	3・4後			2		○			1		隔年		
文化情報論発展講義Ⅴ	3・4前			2		○			1		隔年		
文化情報論発展講義Ⅵ	3・4後			2		○			1		隔年		
文化情報論発展講義Ⅶ	3・4前			2		○		1			隔年		
文化情報論発展講義Ⅷ	3・4後			2		○		1			隔年		
文化情報論発展講義Ⅸ	3・4前			2		○		1			隔年		
文化情報論発展講義Ⅹ	3・4後			2		○			1		隔年		
文化情報論発展講義Ⅺ	3・4前			2		○			1		隔年		
文化情報論発展講義Ⅻ	3・4後			2		○			1		隔年		
経験社会学発展講義Ⅰ	3・4前			2		○				1	兼1	隔年	
経験社会学発展講義Ⅱ	3・4前			2		○					兼1	隔年	
経験社会学発展講義Ⅲ	3・4前			2		○					兼1	隔年	
社会学発展講義Ⅰ	3・4後	2		○					兼1	隔年			
社会学発展講義Ⅱ	3・4後	2		○					兼1	隔年			
社会学発展講義Ⅲ	3・4後	2		○					兼1	隔年			
社会学発展講義Ⅳ	3・4後	2		○					兼1	隔年			

	探究科目	卒業論文	4通	10			○			1	3					
		小計（84科目）	-	14	162	0	-			9	6	0	0	0	兼2	-
	社会交流科目	現代職業論Ⅰ	2・3前		2		○								兼2	
		現代職業論Ⅱ	2・3後		2		○				1					
		インターンシップ企業体験実習	3・4通		2			○		1						集中
	芸員関係科目	生涯学習概論	1・2前		2		○								兼1	
		博物館概論	1・2後		2		○								兼1	
		博物館教育論	1・2前		2		○								兼1	
		博物館資料論	2・3後		2		○								兼4	
		博物館資料保存論	2・3前		2		○								兼7	
		博物館展示論	2・3後		2		○								兼3	
		博物館経営論	2・3前		2		○				1				兼1	
		博物館情報・メディア論	2・3後		2		○								兼3	
		博物館実習Ⅰ	3前		1			○		1	1					
		博物館実習Ⅱ	4後		1			○		1	1					
		博物館実習Ⅲ	4前		1			○		1	1					
	特別選択科目	教職論	2・3前後		2		○								兼1	
		教育学概論	2・3前後		2		○								兼1	
		学校教育の歴史と現状（日本教育史）	2・3前後		1		○								兼1	
		教育思想論	2・3前後		1		○								兼1	
		教育心理学概論	2・3前後		2		○								兼1	
		発達心理学概論	2・3前後		2		○								兼1	
		特別支援教育の理論	2・3前後		1		○								兼1	
		発達障害の理解と指導	2・3前後		2		○								兼1	
		教育経営学概論	2・3前後		1		○								兼1	
		教育行政学概論	2・3前後		2		○								兼1	
		教育法学概論	2・3前後		2		○								兼1	
		教育社会学概論	2・3前後		2		○								兼1	
		教育課程の編成法	2・3前後		1		○								兼1	
		教育方法論	2・3前後		1		○								兼1	
		教育方法特論	2・3前後		1		○								兼1	
		道徳教育の理論と実践	2・3前後		2		○								兼1	
		特別活動の理論と実践	2・3前後		1		○								兼1	
		生徒指導の理論と実践	2・3前後		2		○								兼1	
		キャリア教育の理論と実践	2・3前後		2		○								兼1	
		教育相談の理論と実践	2・3前後		2		○								兼1	
		カウンセリング概論	2・3前後		2		○								兼1	
		障害の理解と指導	2・3前後		1		○								兼1	
		現代社会と子どもの学習	2・3前後		2		○								兼1	
		社会科・地理歴史科指導法	2・3前		2		○				1					
		社会科・公民科指導法	2・3後		2		○				2					
		教職のための情報・メディア活用	2・3前		2		○			1						
		社会科・地理歴史科指導法特論Ⅰ	2・3前		2		○				1					
		社会科・地理歴史科指導法特論Ⅱ	2・3後		2		○				1					
		社会科・公民科指導法特論Ⅰ	2・3前		2		○				2					
		社会科・公民科指導法特論Ⅱ	2・3後		2		○				2					
		中学校教育実習	4前		4			○		1						
		国語科指導法Ⅰ	2・3前		2		○			1						
		国語科指導法Ⅱ	2・3後		2		○				1					
		英語科指導法Ⅰ	2・3前		2		○				1					
		英語科指導法Ⅱ	2・3後		2		○				1					
		ドイツ語科指導法Ⅰ	2・3前		2		○				1					
		ドイツ語科指導法Ⅱ	2・3後		2		○				1					
		中国語科指導法Ⅰ	2・3前		2		○				1					
		中国語科指導法Ⅱ	2・3後		2		○				1					
		国語科指導法特論Ⅰ	2・3前		2		○			1						
		国語科指導法特論Ⅱ	2・3後		2		○				1					
		英語科指導法特論Ⅰ	2・3前		2		○				1					
		英語科指導法特論Ⅱ	2・3後		2		○				1					
		中国語科指導法特論Ⅰ	2・3前		2		○				1					
		中国語科指導法特論Ⅱ	2・3後		2		○				1					
		教育実習事前・事後指導	4前後		1		○			1						
		高等学校教育実習	4前後		2			○		1						

	教職実践演習（中・高）	4前後			2		○								兼1	
公認 心理 士関 係科 目	発達心理学	2・3前			2		○								兼1	
	障害者・障害児心理学	2・3後			2		○								兼1	
	人体の構造と機能及び疾病	2・3前			2		○								兼1	
	精神疾患とその治療	2・3後			1		○								兼1	
	関係行政論	2・3前			2		○								兼1	
	小計（67科目）	—	0	21	101	—		3	9	1	0	0		兼37	—	
合計（550科目）		—	17	876	101	—		17	15	0	1	0		兼438	—	
学位又は称号		学士（文学）		学位又は学科の分野				文学関係								
卒業要件及び履修方法							授業期間等									
1. 共通教育科目 38単位以上 (1) 教養科目 19単位以上 ①環境科学群 2単位以上 ②環境科学群, 人文科学群, 社会科学群, 自然科学群, 体育・スポーツ群のうち 3つ以上の科学群が必修 (2) 外国語科目 8単位 ①英語 8単位 ②初修外国語 8単位 (3) 健康科学科目 1単位 (4) 新入生ゼミナール科目 2単位 2. 専門科目 92単位以上 3. 履修科目の登録の上限 ①1年次は共通教育科目を含め1学期28単位 ②2年次以降1学期24単位							1学年の学期区分			2期						
							1学期の授業期間			15週						
							1時限の授業時間			90分						

別記様式第2号（その2の1）

基礎となる学部		教育課程等の概要														
(人文学部人文学科 心理学・社会心理学コース)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養ゼミナール群	技術とエネルギーの入門ゼミ	1後		2			○								兼4	オムニバス
	生態資源論ゼミ	1前・後		2			○								兼1	
	地球白書ゼミ	1前・後		2			○								兼1	集中
	環境マインドを現場で体験するゼミ	1前		2			○								兼3	集中
	土壌学ゼミ	1前		2			○								兼1	
	植物生態学ゼミ	1前		2			○								兼1	集中
	環境マインドを現場で体験するゼミ（熱帯雨林）	1後		2			○								兼1	集中
	芸術教養美術ゼミ	1前・後		2			○								兼1	
	芸術教養音楽ゼミ	1後		2			○								兼7	オムニバス
	「時」について考えるゼミ	1後		2			○								兼1	
	アジアの中の日本ゼミⅠ	1前		2			○								兼1	
	アジアの中の日本ゼミⅡ	1後		2			○								兼1	
	原書で読むシャーロック・ホームズゼミ	1後		2			○								兼1	
	現代ドイツの言語と日常ゼミ	1前		2			○								兼1	
	現代ドイツ事情ゼミ	1後		2			○								兼1	
	異文化研究ゼミ	1後		2			○								兼1	
	感覚で攻める英文法ゼミ～覚える英文法から感じる英文法へ	1前・後		2			○								兼1	
	日本近現代史入門ゼミ	1後		2			○								兼1	
	西洋古典語の世界ゼミ	1後		2			○								兼1	
	古文書で学ぶ近世ゼミ	1前		2			○								兼1	
	比較哲学入門ゼミ	1後		2			○								兼1	
	フィールドワーク入門ゼミ	1前		2			○								兼1	
	日中比較文学ゼミ	1後		2			○								兼1	
	発信のためのやさしい英文文練習ゼミ	1前		2			○								兼1	
	中国古典小説ゼミ	1後		2			○								兼1	
	法言語学(司法制度とことば)ゼミ	1後		2			○								兼1	
	翻訳入門ゼミ	1後		2			○								兼1	
	シェイクスピアを読むゼミ	1後		2			○								兼1	
	異文化コミュニケーション(海外留学)ゼミ	1前・後		2			○								兼1	
	外国語教育を考えるゼミ	1後		2			○								兼1	
	ことばについて考えるゼミ	1後		2			○								兼1	
	中国思想の古典で学ぶゼミ	1前		2			○								兼1	
	変体仮名入門ゼミ	1前		2			○								兼1	
	フランス文学ゼミ	1前		2			○								兼1	
	英語資格試験対策ゼミ	1前		2			○								兼1	
	シルシル信知るゼミ	1前		2			○								兼2	オムニバス・集中
	もっと知りたい韓国ゼミ	1前		2			○								兼1	
	スポーツ・ホスピタリティゼミ 秋冬編(松本山雅FC連携ゼミ)	1後		2			○								兼1	
	スポーツ・ホスピタリティゼミ 春夏編(松本山雅FC連携ゼミ)	1前		2			○								兼1	
	スポーツ観戦文化論ゼミ	1前・後		2			○								兼1	
	テレビのメディアリテラシー(テレビ信州参与ゼミ)	1前		2			○								兼1	
	大学改革への学生参加ゼミ	1後		2			○								兼1	
「考える」ゼミ	1前・後		2			○								兼1		
しょうがいスポーツゼミ	1前		2			○								兼3	オムニバス	
心理学思考法ゼミ	1前		2			○								兼1		
身体心理学ゼミ	1後		2			○								兼1		
環境心理学ゼミ	1前		2			○								兼1		
経済学の視点で考える企業行動ゼミ 基礎編	1前		2			○			1							
経済学の視点で考える企業行動ゼミ 応用編	1後		2			○			1							
社会科学文献講読ゼミⅠ	1後		2			○								兼1		
社会科学文献講読ゼミⅡ	1後		2			○								兼1		
地域ブランド実践ゼミ	1後		2			○								兼3	オムニバス	



	社会科学の方法ゼミ	1後	2		○							兼1	
	社会格差を考えるゼミ：勝者と敗者の本当の姿	1後	2		○							兼1	
	質問紙調査入門ゼミ	1後	2		○							兼1	
	キャリアデザイン実践ゼミ	1後	2		○							兼3	
	化学計算入門ゼミ	1前・後	2		○							兼1	
	大学を知るゼミ	1後	2		○							兼1	
	ロボティクス入門ゼミ	1前・後	2		○							兼1	
	自然誌・博物学ゼミ	1前	2		○							兼3	オムニバス
	ものづくり入門ゼミ	1後	2		○							兼2	オムニバス
	文系学生のための野外地質学ゼミ	1前	2		○							兼3	集中
	利己的遺伝子説から生物像を描くゼミ	1後	2		○							兼1	
	統計図解ゼミ	1後	2		○							兼1	
	アナログ再発見ゼミ	1前・後	2		○							兼1	
	情報社会論ゼミ	1前・後	2		○							兼1	
	Web制作ゼミ	1前・後	2		○							兼1	
	新聞で広げる社会の見方ゼミ（信濃毎日新聞社寄付講義）	1後	2		○							兼1	
	ネットワーク時代の古典を原著で読むゼミ	1後	2		○							兼1	
	人工知能を知ろうゼミ	1前・後	2		○							兼1	
	大学生基礎力ゼミ	1前・後	2		○							兼14	
	新聞をつくらう！（MGプレス制作ゼミ）	1前	2		○							兼1	
	スポーツ活動論ゼミⅠ	1前	2		○							兼1	
	スポーツ活動論ゼミⅡ	1後	2		○							兼1	集中
	ドイツ環境ゼミ	1後	2		○							兼1	集中
	自然活動論ゼミ	1前	2		○							兼1	
	自然と人間を考えるゼミ	1後	2		○							兼1	
	臨床検査を体験するゼミ	1後	2		○							兼11	オムニバス
	体と心のリハビリテーションを考えるゼミ	1前	2		○							兼11	オムニバス
	身体運動科学ゼミ	1前	2		○							兼1	
	課題解決実践ゼミ	1後	2		○							兼3	オムニバス
	科学リテラシー入門ゼミ	1後	2		○							兼1	
	経済数学ゼミⅠ	1前	2		○				1				
	経済数学ゼミⅡ	1後	2		○				1				
	民法入門ゼミ	1後	2		○							兼1	
	税法入門ゼミ	1後	2		○							兼1	
	リアル・プロジェクトマネジメントゼミ	1後	2		○							兼3	集中
	国際関係論ゼミ	1後	2		○							兼1	
	物理学入門ゼミ	1前	2		○							兼1	
	幾何学入門ゼミ	1前	2		○							兼1	
	素朴な集合論ゼミ	1前	2		○							兼1	
	イノベーション・リテラシーゼミ	1前	2		○							兼3	集中
													※2単位 選択必修
環境科学群	環境社会学入門	1前・後	2		○							兼1	
	熱帯雨林と社会	1前・後	2		○							兼1	
	Low Energy Building（省エネルギー住宅）	1後	2		○							兼1	
	ライフサイクルアセスメント入門	1前・後	2		○							兼1	
	環境と生活とのかかわり	1前・後	2		○							兼1	
	環境問題のしくみ	1前	2		○							兼1	
	環境科学入門	1前	2		○							兼1	
	グリーンテクノロジー	1前	2		○							兼9	オムニバス
	環境配慮素材と自然エネルギー	1前	2		○							兼4	オムニバス
	エコ水車の開発と地域バイオマス利用	1前	2		○							兼3	集中・オムニバス
	地球環境の歴史	1前	2		○							兼1	
	循環型社会入門	1前	2		○							兼1	
	環境とエネルギー	1後	2		○							兼1	
	環境エネルギー政策論	1後	2		○							兼1	
	ネイチャーライティングのすすめ（環境文学Ⅰ）	1前	2		○							兼1	
	環境文学のすすめ（環境文学Ⅱ）	1後	2		○							兼1	
	自然環境と文化	1後	2		○							兼1	
環境法入門	1後	2		○							兼1		
材料の科学と技術（基礎編）	1前	2		○							兼13	オムニバス	
材料の科学と技術（先端編）	1後	2		○							兼12	オムニバス	

	生物と環境	1後	2	○							兼1	
	自然災害と環境	1前	2	○							兼2	オムニハス
	ナノテクと環境	1後	2	○							兼1	
	人とすまい	1前	2	○							兼6	
	水の環境科学	1後	2	○							兼1	
	森林サイエンス	1前	2	○							兼13	オムニハス
	農山村と環境	1前	2	○							兼10	オムニハス
	環境と緑の文化	1後	2	○							兼3	オムニハス
	農環境保全学	1後	2	○							兼4	オムニハス
	森林・環境共生学概論	1後	2	○							兼2	
	環境と生命の基礎化学	1後	2	○							兼1	
教養科目	映像・人類学	1前	2	○							兼1	
	Top Level English (トップレベルイングリッシュ)	1前・後	2	○							兼3	
	「田園環境健康都市須坂」を「共創」(須坂市寄付講義)	1後	2	○							兼1	
	映画史入門	1前	2	○							兼1	
	身体表現レクチャー&ワークショップ	1前	2	○							兼1	
	絶対王政期フランスの制度と社会	1前	2	○							兼1	
	モノの世界史	1前	2	○							兼1	
	世界の音楽	1前	2	○							兼1	
	方言からみた日本語	1後	2	○							兼1	
	江戸時代の本屋さんと本	1前	2	○							兼1	
	英語基礎Ⅰ(たてなおしの英語Ⅰ)	1前	2	○							兼1	
	英語基礎Ⅱ(たてなおしの英語Ⅱ)	1後	2	○							兼1	
	自己発見の方法	1後	2	○							兼1	
	日本古典文学入門	1前	2	○							兼1	
	中国古典小説	1前	2	○							兼1	
	生と死の哲学～哲学から宗教へ～	1前	2	○							兼1	
	文学と美術を歴史学で読み解く～日本古代史入門～	1前	2	○							兼1	
	山国信州の風土と暮らし(風土の中の衣食住)	1前	2	○							兼1	
	日本の屋根・信州の風土と暮らし	1後	2	○							兼1	
	モバイルデバイスで習うE-TOEICコース	1前・後	2	○							兼1	
	中世英語文献学入門	1後	2	○							兼1	
	「右肩下がり」の時代を生き抜くための倫理学	1前	2	○							兼1	
	言語哲学入門	1後	2	○							兼1	
	「優れた言語学習者」から考える日本語教育学	1後	2	○							兼1	
	恋愛小説を読むー比較文学への招待ー	1後	2	○							兼1	
	フランス文学概論	1前	2	○							兼1	
	日本文学概論	1後	2	○							兼1	
	映像で見て読んで考えるアメリカ	1後	2	○							兼1	
	時に挑む科学と文学	1後	2	○							兼1	
	アフリカ社会論	1前	2	○							兼1	
	韓国の文化(食文化)	1前	2	○							兼1	
	韓国の文化(映画で学ぶ)	1前	2	○							兼1	
	韓国の文化(若者の世界)	1後	2	○							兼1	
	韓国の文化(メディア)	1後	2	○							兼1	
	ドイツ語圏の文化Ⅰ	1前	2	○							兼2	オムニハス
	ドイツ語圏の文化Ⅱ	1後	2	○							兼2	オムニハス
	アフリカ文化論	1前	2	○							兼1	
	中国の文化(現代中国事情①)	1前	2	○							兼1	
	中国の文化(現代中国事情②)	1後	2	○							兼1	
	ロシアの文化(風土と歴史)	1前	2	○							兼1	
	スペイン語圏の文化(ラテンアメリカ)	1後	2	○							兼1	
ドイツ語圏の文化Ⅲ	1前	2	○							兼1		
ドイツ語圏の文化Ⅳ	1後	2	○							兼1		
欧米文化(映画で見る未来像)	1前	2	○							兼1		
フランス語圏の文化	1後	2	○							兼1		
スペイン語圏の文化(スペイン)	1前	2	○							兼1		
科学論	1後	2	○							兼5	オムニハス	
囲碁で養う考える力	1前	2	○							兼1	集中	
明日を生きるための心理学 リスク社会と防災を学ぶ	1前	2	○							兼1		
ベンチャービジネス概論	1前	2	○							兼3	オムニハス	

共通教育科目	キャリアとしての公務員	1後	2	○							兼1	
	スポーツ考現学	1前・後	2	○							兼1	
	スポーツ文化を考える	1後	2	○							兼1	
	国際理解と多文化共生を考えるⅠ	1前	2	○							兼1	
	国際理解と多文化共生を考えるⅡ	1後	2	○							兼1	
	国際教養A	1前・後	2	○							兼2	集中
	国際教養B	1前・後	2	○							兼2	集中
	臨床心理学	1前	2	○							兼1	
	大学生が会おう法律問題	1前	2	○							兼14	オムニバス
	世界経済の歩み	1後	2	○				1				
	家族と法	1前	2	○							兼1	
	メディア心理学	1後	2	○							兼1	
	ポジティブ心理学	1前	2	○							兼1	
	消費社会学入門	1前	2	○							兼1	
	コミュニティの社会心理学	1後	2	○							兼1	
	臨床心理学概論	1後	2	○							兼1	
	青年の海外ボランティア活動	1後	2	○							兼1	
	キャリア形成論Ⅰ	1前	2	○							兼2	
	キャリア形成論Ⅱ	1後	2	○							兼2	
	手話コミュニケーションと社会	1後	2	○							兼2	
	手話と社会	1前	2	○							兼2	
	日本国憲法	1前・後	2	○							兼3	
	地域活性化システム論	1前	2	○							兼3	オムニバス
	公法入門	1後	2	○							兼1	
	法学入門	1前	2	○							兼1	
	現代政治分析	1前	2	○							兼1	
	社会学群	1後	2	○			2	2	1			オムニバス
	ミクロ経済学入門	1後	2	○			3	2				オムニバス
	マクロ経済学入門	1前	2	○			2	3				オムニバス
	大学生が会おう経済・経営問題	1後	2	○								
	障害と共生社会	1前	2	○							兼1	
	大学生から始めるキャリアデザイン	1前	2	○							兼3	オムニバス
	世界で今何が起きているのか?Ⅰ	1前	2	○							兼1	
	世界で今何が起きているのか?Ⅱ	1後	2	○							兼1	
	統計データから読み解く社会	1後	2	○							兼1	
	法学概論Ⅰ	1前	2	○							兼1	
	法学概論Ⅱ	1後	2	○							兼1	
	多様性の中で自分を活かす(異文化理解とコミュニケーション)	1前	2	○							兼1	
	多様性の中で自分を活かす(協働のスキル)	1後	2	○							兼1	
	グローバル人材論(グローバルキャリアデザイン)	1前	2	○							兼1	
	グローバル人材論(「グローバル」マインド養成)	1後	2	○							兼1	
	RESAS～教育を、社会を、地域研究を見据えたリソース～	1後	2	○							兼1	
	心理学概論	1後	2	○							兼7	オムニバス
	知っておくべき知的財産と研究倫理の基本	1前	2	○							兼1	
	証券・投資から育む「生きる力・考える力」(証券証券寄付講義)	1前	2	○							兼1	
	この国はどんな国-グローバル社会を生きるためにⅠ	1前	2	○							兼1	
この国はどんな国-グローバル社会を生きるためにⅡ	1後	2	○							兼1		
戦後政策と公法	1後	2	○							兼1		
ジェンダー論	1後	2	○							兼1		
ヒューマンセクシュアリティ	1後	2	○							兼3	オムニバス	
新聞と私たちの社会(信濃毎日新聞社寄付講義)	1後	2	○							兼1		
教を讀む技術	1前・後	2	○							兼1		
電子出版の現代	1前	2	○							兼1		
家庭生活基礎A	1後	2	○							兼7	オムニバス	
キャリアビジョンと男女共同参画:誰もが輝く社会を考える	1前	2	○							兼5		
プログラミング入門	1後	2	○	○			1					
基本法学	1後	2	○							兼1		
税法入門講義	1前	2	○							兼1		
市民社会と法	1前	2	○	○						兼1		
伝えておきたい数学	1前	2	○							兼1		
教養としての物理学	1前	2	○							兼1		
観測天文学入門	1後	2	○							兼1		
生活のなかの天文学	1前	2	○							兼1		

自然科学群	現代医療における物理学	1後	2	○								兼1		
	物理学の世界	1前	2	○								兼1		
	Activity-Based Astronomy--現代天文学入門	1前	2	○								兼1		
	時間と空間の物理学	1前	2	○								兼1		
	物理へのいざない	1後	2	○								兼11	オムニバス	
	応用化学～千夜一夜～	1前	2	○								兼13	オムニバス	
	生活の中の高分子	1前	2	○								兼13	オムニバス	
	基礎分子遺伝学の世界	1後	2	○								兼2	オムニバス	
	バイオリソースと生命科学	1後	2	○								兼2	オムニバス	
	生態学入門	1後	2	○								兼1		
	地域から学ぶ地球	1前	2	○								兼1		
	教養としての物質科学	1後	2	○								兼1		
	ニューバイオテクノロジー入門	1後	2	○								兼5	オムニバス	
	動物と私たちの暮らし	1前	2	○								兼8	オムニバス	
	動物生命科学	1後	2	○								兼7	オムニバス	
	食と植物の文化論	1後	2	○								兼4	オムニバス	
	応用生物学への招待	1前	2	○								兼14	オムニバス	
	食と微生物	1後	2	○								兼9	オムニバス	
	ネットワーク社会における情報科学	1前・後	2	○								兼1		
	統計学の基礎	1前・後	2	○								兼1		
	検索の科学	1前・後	2	○								兼1		
	情報学入門 (コンピュータの構成、アルゴリズム)	1前	2	○								兼2	オムニバス	
	情報学入門 (プログラミング、ネットワーク)	1後	2	○								兼2	オムニバス	
	統計学入門	1前	2	○								兼1		
	ベイズ統計学入門	1後	2	○								兼1		
	脳の不思議を探る (認知神経科学入門)	1前	2	○								兼1		
	脳の不思議をもっと探る (認知神経科学入門)	1後	2	○								兼1		
	宇宙から原子への旅	1前	2	○								兼10	オムニバス	
	国際看護学 I	1前	2	○								兼1		
	国際技術論	1前	2	○								兼1		
	科学技術政策と研究開発	1後	2	○								兼1		
	健康管理と生活習慣【佐久大学開講】	1後	2	○								兼1		
体育・スポーツ群	ソフトボール	1前	1	○							兼1			
	テニス	1前	1	○							兼1			
	アダブテッドスポーツ	1後	1	○							兼1			
	弓道	1前	1	○							兼1			
	コーディネーションエクササイズ	1前	1	○							兼1			
	剣道形の世界	1前	1	○							兼1			
	バドミントン	1前	1	○							兼2			
	サッカー	1前・後	1	○							兼1			
	バレーボール	1前	1	○							兼1			
	フライングディスク	1前	1	○							兼1			
	トレッキング	1前	1	○							兼5	集中		
	ゴルフ	1前	1	○							兼2	集中		
	スポーツフィッシング	1前	1	○							兼1	集中		
	マリンスポーツ	1前	1	○							兼1	集中		
	信大マラソン	1前	1	○							兼1	集中		
	アウトドアの達人	1前	1	○							兼2	集中		
	サバイバル活動	1前	1	○							兼1	集中		
	スクーバダイビング	1後	1	○							兼2	集中		
	レジャースポーツ	1前	1	○							兼1	集中		
	スポーツボウリング	1後	1	○							兼1			
	ニュースポーツ	1後	1	○							兼1	集中		
	アスレティックトレーニング	1後	1	○							兼1			
	バスケットボール	1後	1	○							兼1			
	ネイチャースキー	1後	1	○							兼2	集中		
スノー・スポーツ	1後	1	○							兼12	集中			
アウトドアマスター I	2前	1	○							兼1	集中			
アウトドアマスター II	2前	1	○							兼4	集中			
ゴルフマスター I	2前	1	○							兼1	集中			
ゴルフマスター II	2前	1	○							兼1	集中			
小計 (296科目)	—	0	563	0	—			7	8	2	0	0	兼345	—

基礎科目	外国語科目	英語	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅠ（上級）	1前	1			○					兼11	
			フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅠ（中級）	1前	1			○					兼17	
			フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅠ（初級）	1前	1			○					兼14	
			フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅠ	1前・後	1			○					兼3	
			フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅡ（上級）	1後	1			○					兼11	
			フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅡ（中級）	1後	1			○					兼15	
			フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅡ（初級）	1後	1			○					兼14	
			フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅡ	1後	1			○					兼1	
			コミュニケーション・イングリッシュⅠ（上級）	1前	1			○					兼6	
			コミュニケーション・イングリッシュⅠ（中級）	1前	1			○					兼5	
			コミュニケーション・イングリッシュⅠ（初級）	1前	1			○					兼4	
			コミュニケーション・イングリッシュⅡ（上級）	1後	1			○					兼5	
			コミュニケーション・イングリッシュⅡ（中級）	1後	1			○					兼5	
			コミュニケーション・イングリッシュⅡ（初級）	1後	1			○					兼4	
			リスニング&リーディングⅠ（上級）	1前	1			○					兼6	
			リスニング&リーディングⅠ（中級）	1前	1			○					兼5	
			リスニング&リーディングⅠ（初級）	1前	1			○					兼9	
			リスニング&リーディングⅠ	1前	1			○					兼1	
			リスニング&リーディングⅡ（上級）	1後	1			○					兼5	
			リスニング&リーディングⅡ（中級）	1後	1			○					兼5	
			リスニング&リーディングⅡ（初級）	1後	1			○					兼9	
			リスニング&リーディングⅡ	1後	1			○					兼1	
			リーディング・プラスⅠ	1前	1			○					兼1	
			リーディング・プラスⅡ	1後	1			○					兼1	
			アカデミック・イングリッシュⅠ（上級）	2前	2			○					兼8	
			アカデミック・イングリッシュⅠ（中級）	2前	2			○					兼19	
			アカデミック・イングリッシュⅠ（初級）	2前	2			○					兼14	
			アカデミック・イングリッシュⅡ（上級）	2後	2			○					兼8	
			アカデミック・イングリッシュⅡ（中級）	2後	2			○					兼20	
			アカデミック・イングリッシュⅡ（初級）	2後	2			○					兼17	
			ドイツ語	ドイツ語初級（総合）Ⅰ	1前	1			○					兼2
				ドイツ語初級（総合）Ⅱ	1後	1			○					兼2
				ドイツ語初級（文法）Ⅰ	1前	1			○					兼3
				ドイツ語初級（文法）Ⅱ	1前・後	1			○					兼3
				ドイツ語初級（読解・会話）Ⅰ	1前・後	1			○					兼2
				ドイツ語初級（読解・会話）Ⅱ	1後	1			○					兼2
				ドイツ語中級（読解）Ⅰ	2前	2			○					兼2
				ドイツ語中級（読解）Ⅱ	2後	2			○					兼1
				ドイツ語中級（会話）Ⅰ	2前	2			○					兼1
				ドイツ語中級（会話）Ⅱ	2後	2			○					兼1
				ドイツ語演習Ⅰ	2前	2			○					兼2
				ドイツ語演習Ⅱ	2後	2			○					兼2
フランス語	フランス語初級（総合）Ⅰ	1前		1			○					兼1		
	フランス語初級（総合）Ⅱ	1後	1			○					兼1			
	フランス語初級（文法）Ⅰ	1前	1			○					兼1			
	フランス語初級（文法）Ⅱ	1後	1			○					兼1			
	フランス語初級（読解・会話）Ⅰ	1前	1			○					兼2			
	フランス語初級（読解・会話）Ⅱ	1後	1			○					兼2			
	フランス語中級（読解・会話）Ⅰ	2前	2			○					兼1			
	フランス語中級（読解・会話）Ⅱ	2後	2			○					兼1			
	フランス語演習Ⅰ	2前	2			○					兼1			
フランス語演習Ⅱ	2後	2			○					兼1				
中国語	中国語初級（総合）Ⅰ	1前	1			○					兼1			
	中国語初級（総合）Ⅱ	1後	1			○					兼1			
	中国語初級（文法）Ⅰ	1前	1			○					兼2			
	中国語初級（文法）Ⅱ	1後	1			○					兼2			
	中国語初級（読解・会話）Ⅰ	1前	1			○					兼4			
	中国語初級（読解・会話）Ⅱ	1後	1			○					兼4			
	中国語演習Ⅰ	2前	2			○					兼2			
	中国語演習Ⅱ	2後	2			○					兼2			
ハンデル初級（総合）Ⅰ	ハンデル初級（総合）Ⅰ	1前	1			○					兼1			
	ハンデル初級（総合）Ⅱ	1後	1			○					兼1			
	ハンデル初級（文法）Ⅰ	1前	1			○					兼1			

ハン グ ル	ハングル初級（文法）Ⅱ	1後	1				○								兼1	
	ハングル初級（読解・会話）Ⅰ	1前	1				○								兼1	
	ハングル初級（読解・会話）Ⅱ	1後	1				○								兼1	
	ハングル中級（読解・会話）Ⅰ	2前	2				○								兼1	
	ハングル中級（読解・会話）Ⅱ	2後	2				○								兼1	
	ハングル中級Ⅰ	2前	2				○								兼1	
	ハングル中級Ⅱ	2後	2				○								兼1	
	ハングル演習Ⅰ	2前	2				○								兼1	
	ハングル演習Ⅱ	2後	2				○								兼1	
	ス ペ イ ン 語	スペイン語初級（総合）Ⅰ	1前	1				○								兼1
スペイン語初級（総合）Ⅱ	1後	1				○								兼1		
スペイン語初級（文法）Ⅰ	1前	1				○								兼2		
スペイン語初級（文法）Ⅱ	1前	1				○								兼2		
スペイン語初級（読解・会話）Ⅰ	1後	1				○								兼1		
スペイン語初級（読解・会話）Ⅱ	1後	1				○								兼1		
スペイン語中級（読解・会話）Ⅰ	2前	2				○								兼1		
スペイン語中級（読解・会話）Ⅱ	2後	2				○								兼1		
スペイン語演習Ⅰ	2前	2				○								兼1		
スペイン語演習Ⅱ	2後	2				○								兼1		
小計（82科目）	—	0	110	0	—				0	0	0	0	0	0	兼69	—
健康科学・理論と実践	1前	1				○									兼3	※実技・オムニバス
小計（1科目）	—	1	0	0	—				0	0	0	0	0	0	兼3	—
新入生ゼミナール	1前	2				○			9	8	0	0	0	0	兼7	
小計（1科目）	—	2	0	0	—				9	8	0	0	0	0	兼7	—
日 本 語 ・ 日 本 事 情 科 目	読解（日本語）Ⅰ	1前	1				○								兼2	※外国人留学生のみ
読解（日本語）Ⅱ	1後	1				○								兼2		
作文（日本語）Ⅰ	1前	1				○								兼2		
作文（日本語）Ⅱ	1後	1				○								兼2		
科学技術日本語Ⅰ	1前	1				○								兼1		
科学技術日本語Ⅱ	1後	1				○								兼1		
ビジネス・ジャパニーズⅠ	1前	1				○								兼1		
ビジネス・ジャパニーズⅡ	1後	1				○								兼1		
日本語表現・文型Ⅰ	1前	1				○								兼1		
日本語表現・文型Ⅱ	1後	1				○								兼1		
聴解（日本語）Ⅰ	1前	1				○								兼2		
聴解（日本語）Ⅱ	1後	1				○								兼2		
口頭表現Ⅰ	1前	1				○								兼1		
口頭表現Ⅱ	1後	1				○								兼1		
日本社会と日本人Ⅰ	1前	2				○								兼1	※外国人留学生のみ	
日本社会と日本人Ⅱ	1後	2				○								兼1		
武道・伝統文化実習Ⅰ	1前	1				○								兼2	オムニバス	
武道・伝統文化実習Ⅱ	1後	1				○								兼2	オムニバス	
小計（18科目）	—	0	20	0	—				0	0	0	0	0	0	兼8	—
専 門	導入科目	人文科学通論Ⅰ	1前	2			○		9	4						オムニバス
人文科学通論Ⅱ	1後	2				○		9	4						オムニバス	
基礎 科 目	心理学概論Ⅰ（心理学概論）	1・2前	2			○			1							
心理学概論Ⅱ（心理学概論）	1・2後	2				○				1						
社会心理学概論Ⅰ	1・2前	2				○					1					
社会心理学概論Ⅱ	1・2後	2				○						1				
基 幹 科 目	心理学特論Ⅲ（心理学研究法）	2・3前	2			○										隔年
心理学特論Ⅰ	2・3前	2				○			1							隔年
心理学特論Ⅱ	2・3後	2				○					1					隔年
心理学特論Ⅲ	2・3前	2				○			1							隔年
心理学特論Ⅳ	2・3後	2				○						1				隔年
心理学基礎実験Ⅰ	2前	2					○		1	1						
心理学基礎実験Ⅱ（心理学アセスメント）	2後	2					○		1	1						
心理学基幹演習Ⅰ（公認心理士の職責）	2・3前	2					○		1							
心理学基幹演習Ⅱ（司法・犯罪心理学）	2・3後	2					○				1					
心理学基幹演習Ⅲ	2・3前	2					○		1							
心理学基幹演習Ⅳ	2・3後	2					○					1				
社会心理学特論Ⅰ	2・3前	2				○						1				隔年
社会心理学特論Ⅱ	2・3後	2				○							1			隔年
社会心理学特論Ⅲ	2・3前	2				○								1		隔年

門科目	社会心理学特論Ⅳ	2・3前		2		○			1					隔年	
	社会心理学基礎実験Ⅰ	2前		2				○	3						
	社会心理学基礎実験Ⅱ	2後		2				○	3						
	社会心理学基幹演習Ⅰ	2・3前		2		○			1				隔年		
	社会心理学基幹演習Ⅱ	2・3前		2		○			1				隔年		
	社会心理学基幹演習Ⅲ	2・3前		2		○			1				隔年		
	社会心理学基幹演習Ⅳ	2・3前		2		○			1				隔年		
	発展科目	心理学特殊実験Ⅰ（心理学実験）	3前		2				○	1	1				
		心理学特殊実験Ⅱ	3後		2				○	1	1				
		心理学発展演習Ⅰ	3・4前		2		○			1				隔年	
		心理学発展演習Ⅱ	3・4後		2		○				1			隔年	
		心理学発展演習Ⅲ	3・4前		2		○			1				隔年	
		心理学発展演習Ⅳ	3・4後		2		○				1			隔年	
		社会心理学特殊実験Ⅰ	3前		2				○		3				
社会心理学特殊実験Ⅱ		3後		2				○		3					
社会心理学発展演習Ⅰ		3・4後		2		○				1			隔年		
社会心理学発展演習Ⅱ		3・4後		2		○				1			隔年		
社会心理学発展演習Ⅲ		3・4後		2		○				1			隔年		
社会心理学発展演習Ⅳ	3・4後		2		○				1			隔年			
卒業論文	4通	10			○			1	4						
小計（40科目）	—	14	74	0	—			9	7	0	0	0	—		
社会交流科目	現代職業論Ⅰ	2・3前			2	○							兼2		
	現代職業論Ⅱ	2・3後			2	○				1					
	インターンシップ企業体験実習	3・4通		2				○	1					集中	
学芸関係科目	生涯学習概論	1・2前		2		○								兼1	
	博物館概論	1・2後		2		○								兼1	
	博物館教育論	1・2前		2		○								兼1	
	博物館資料論	2・3後		2		○								兼4	
	博物館資料保存論	2・3前		2		○								兼7	
	博物館展示論	2・3後		2		○								兼3	
	博物館経営論	2・3前		2		○				1				兼1	
	博物館情報・メディア論	2・3後		2		○								兼3	
	博物館実習Ⅰ	3前		1				○	1	1					
	博物館実習Ⅱ	4後		1				○	1	1					
	博物館実習Ⅲ	4前		1				○	1	1					
	教職論	2・3前後			2		○							兼1	
	教育学概論	2・3前後			2		○							兼1	
	学校教育の歴史と現状（日本教育史）	2・3前後			1		○							兼1	
教育思想論	2・3前後			1		○							兼1		
教育心理学概論	2・3前後			2		○							兼1		
発達心理学概論	2・3前後			2		○							兼1		
特別支援教育の理論	2・3前後			1		○							兼1		
発達障害の理解と指導	2・3前後			2		○							兼1		
教育経営学概論	2・3前後			1		○							兼1		
教育行政学概論	2・3前後			2		○							兼1		
教育法学概論	2・3前後			2		○							兼1		
教育社会学概論	2・3前後			2		○							兼1		
教育課程の編成法	2・3前後			1		○							兼1		
教育方法論	2・3前後			1		○							兼1		
教育方法特論	2・3前後			1		○							兼1		
道徳教育の理論と実践	2・3前後			2		○							兼1		
特別活動の理論と実践	2・3前後			1		○							兼1		
生徒指導の理論と実践	2・3前後			2		○							兼1		
キャリア教育の理論と実践	2・3前後			2		○							兼1		
教育相談の理論と実践	2・3前後			2		○							兼1		
カウンセリング概論	2・3前後			2		○							兼1		
障害の理解と指導	2・3前後			1		○							兼1		
現代社会と子どもの学習	2・3前後			2		○							兼1		
社会科・地理歴史科指導法	2・3前			2		○				1					
社会科・公民科指導法	2・3後			2		○				2					
教職のための情報・メディア活用	2・3前			2		○		1							
社会科・地理歴史科指導法特論Ⅰ	2・3前			2		○				1					
社会科・地理歴史科指導法特論Ⅱ	2・3後			2		○				1					

	社会科・公民科指導法特論Ⅰ	2・3前		2	○			2						
	社会科・公民科指導法特論Ⅱ	2・3後		2	○			2						
	中学校教育実習	4前		4		○	1							
	国語科指導法Ⅰ	2・3前		2	○		1							
	国語科指導法Ⅱ	2・3後		2	○			1						
	英語科指導法Ⅰ	2・3前		2	○			1						
	英語科指導法Ⅱ	2・3後		2	○			1						
	ドイツ語科指導法Ⅰ	2・3前		2	○			1						
	ドイツ語科指導法Ⅱ	2・3後		2	○			1						
	中国語科指導法Ⅰ	2・3前		2	○			1						
	中国語科指導法Ⅱ	2・3後		2	○			1						
	国語科指導法特論Ⅰ	2・3前		2	○		1							
	国語科指導法特論Ⅱ	2・3後		2	○			1						
	英語科指導法特論Ⅰ	2・3前		2	○			1						
	英語科指導法特論Ⅱ	2・3後		2	○			1						
	中国語科指導法特論Ⅰ	2・3前		2	○			1						
	中国語科指導法特論Ⅱ	2・3後		2	○			1						
	教育実習事前・事後指導	4前後		1	○		1							
	高等学校教育実習	4前後		2		○	1							
	教職実践演習(中・高)	4前後		2		○							兼1	
公認 心理 士関 係科 目	発達心理学	2・3前		2	○								兼1	
	障害者・障害児心理学	2・3後		2	○								兼1	
	人体の構造と機能及び疾病	2・3前		2	○								兼1	
	精神疾患とその治療	2・3後		1	○								兼1	
	関係行政論	2・3前		2	○								兼1	
	小計(67科目)	-	0	21	101	-	3	9	1	0	0	兼37	-	
合計(505科目)		-	17	788	101	-	17	15	0	1	0	兼436	-	
学位又は称号		学士(文学)		学位又は学科の分野				文学関係						
卒業要件及び履修方法				授業期間等										
1. 共通教育科目 38単位以上 (1) 教養科目 19単位以上 ①環境科学群 2単位以上 ②環境科学群, 人文科学群, 社会科学群, 自然科学群, 体育・スポーツ群のうち 3つ以上の科学群が必修 (2) 外国語科目 8単位 ①英語 8単位 ②初修外国語 8単位 (3) 健康科学科目 1単位 (4) 新入生ゼミナール科目 2単位 2. 専門科目 92単位以上 3. 履修科目の登録の上限 ①1年次は共通教育科目を含め1学期28単位 ②2年次以降1学期24単位				1学年の学期区分				2期						
				1学期の授業期間				15週						
				1時限の授業時間				90分						





別記様式第2号 (その2の1)

基礎となる学部		教育課程等の概要														
(人文学部人文学科 歴史学コース)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養ゼミナール群	技術とエネルギーの入門ゼミ	1後		2				○							兼4	オムニバス
	生態資源論ゼミ	1前・後		2				○							兼1	
	地球白書ゼミ	1前・後		2				○							兼1	集中
	環境マインドを現場で体験するゼミ	1前		2				○							兼3	集中
	土壌学ゼミ	1前		2				○							兼1	
	植物生態学ゼミ	1前		2				○							兼1	
	環境マインドを現場で体験するゼミ (熱帯雨林)	1後		2				○							兼1	集中
	芸術教養美術ゼミ	1前・後		2				○							兼1	
	芸術教養音楽ゼミ	1後		2				○							兼7	オムニバス
	「時」について考えるゼミ	1後		2				○							兼1	
	アジアの中の日本ゼミ I	1前		2				○							兼1	
	アジアの中の日本ゼミ II	1後		2				○							兼1	
	原書で読むシャーロック・ホームズゼミ	1後		2				○							兼1	
	現代ドイツの言語と日常ゼミ	1前		2				○							兼1	
	現代ドイツ事情ゼミ	1後		2				○							兼1	
	異文化研究ゼミ	1後		2				○							兼1	
	感覚で攻める英文法ゼミ～覚える英文法から感じる英文法へ	1前・後		2				○							兼1	
	日本近現代史入門ゼミ	1後		2				○							兼1	
	西洋古典語の世界ゼミ	1後		2				○							兼1	
	古文書で学ぶ近世ゼミ	1前		2				○							兼1	
	比較哲学入門ゼミ	1後		2				○							兼1	
	フィールドワーク入門ゼミ	1前		2				○							兼1	
	日中比較文学ゼミ	1後		2				○							兼1	
	発信のためのやさしい英文文練習ゼミ	1前		2				○							兼1	
	中国古典小説ゼミ	1後		2				○							兼1	
	法言語学(司法制度とことば)ゼミ	1後		2				○							兼1	
	翻訳入門ゼミ	1後		2				○							兼1	
	シェイクスピアを読むゼミ	1後		2				○							兼1	
	異文化コミュニケーション(海外留学)ゼミ	1前・後		2				○							兼1	
	外国語教育を考えるゼミ	1後		2				○							兼1	
	ことばについて考えるゼミ	1後		2				○							兼1	
	中国思想の古典で学ぶゼミ	1前		2				○							兼1	
	変体仮名入門ゼミ	1前		2				○							兼1	
	フランス文学ゼミ	1前		2				○							兼1	
	英語資格試験対策ゼミ	1前		2				○							兼1	
	シルシル信知るゼミ	1前		2				○							兼2	オムニバス・集中
	もっと知りたい韓国ゼミ	1前		2				○							兼1	
	スポーツ・ホスピタリティゼミ 秋冬編(松本山雅FC連携ゼミ)	1後		2				○							兼1	
	スポーツ・ホスピタリティゼミ 春夏編(松本山雅FC連携ゼミ)	1前		2				○							兼1	
	スポーツ観戦文化論ゼミ	1前・後		2				○							兼1	
	テレビのメディアリテラシー(テレビ信州参与ゼミ)	1前		2				○							兼1	
	大学改革への学生参加ゼミ	1後		2				○							兼1	
「考える」ゼミ	1前・後		2				○							兼1		
しょうがいスポーツゼミ	1前		2				○							兼3	オムニバス	
心理学思考法ゼミ	1前		2				○							兼1		
身体心理学ゼミ	1後		2				○							兼1		
環境心理学ゼミ	1前		2				○							兼1		
経済学の視点で考える企業行動ゼミ 基礎編	1前		2				○			1						
経済学の視点で考える企業行動ゼミ 応用編	1後		2				○			1						
社会科学文献講読ゼミ I	1後		2				○							兼1		
社会科学文献講読ゼミ II	1後		2				○							兼1		
地域ブランド実践ゼミ	1後		2				○							兼3	オムニバス	

	社会科学の方法ゼミ	1後	2									兼1	
	社会格差を考えるゼミ：勝者と敗者の本当の姿	1後	2									兼1	
	質問紙調査入門ゼミ	1後	2									兼1	
	キャリアデザイン実践ゼミ	1後	2									兼3	
	化学計算入門ゼミ	1前・後	2									兼1	
	大学を知るゼミ	1後	2									兼1	
	ロボティクス入門ゼミ	1前・後	2									兼1	
	自然誌・博物学ゼミ	1前	2									兼3	オムニバス
	ものづくり入門ゼミ	1後	2									兼2	オムニバス
	文系学生のための野外地質学ゼミ	1前	2									兼3	集中
	利己的遺伝子説から生物像を描くゼミ	1後	2									兼1	
	統計図解ゼミ	1後	2									兼1	
	アナログ再発見ゼミ	1前・後	2									兼1	
	情報社会論ゼミ	1前・後	2									兼1	
	Web制作ゼミ	1前・後	2									兼1	
	新聞で広げる社会の見方ゼミ（信濃毎日新聞社寄付講義）	1後	2									兼1	
	ネットワーク時代の古典を原著で読むゼミ	1後	2									兼1	
	人工知能を知ろうゼミ	1前・後	2									兼1	
	大学生基礎力ゼミ	1前・後	2									兼14	
	新聞をつくらう！（MGプレス制作ゼミ）	1前	2									兼1	
	スポーツ活動論ゼミⅠ	1前	2									兼1	
	スポーツ活動論ゼミⅡ	1後	2									兼1	集中
	ドイツ環境ゼミ	1後	2									兼1	集中
	自然活動論ゼミ	1前	2									兼1	
	自然と人間を考えるゼミ	1後	2									兼1	
	臨床検査を体験するゼミ	1後	2									兼11	オムニバス
	体と心のリハビリテーションを考えるゼミ	1前	2									兼11	オムニバス
	身体運動科学ゼミ	1前	2									兼1	
	課題解決実践ゼミ	1後	2									兼3	オムニバス
	科学リテラシー入門ゼミ	1後	2									兼1	
	経済数学ゼミⅠ	1前	2						1				
	経済数学ゼミⅡ	1後	2						1				
	民法入門ゼミ	1後	2									兼1	
	税法入門ゼミ	1後	2									兼1	
	リアル・プロジェクトマネジメントゼミ	1後	2									兼3	集中
	国際関係論ゼミ	1後	2									兼1	
	物理学入門ゼミ	1前	2									兼1	
	幾何学入門ゼミ	1前	2									兼1	
	素朴な集合論ゼミ	1前	2									兼1	
	イノベーション・リテラシーゼミ	1前	2									兼3	集中
													※2単位 選択必修
	環境社会学入門	1前・後	2									兼1	
	熱帯雨林と社会	1前・後	2									兼1	
	Low Energy Building（省エネルギー住宅）	1後	2									兼1	
	ライフサイクルアセスメント入門	1前・後	2									兼1	
	環境と生活とのかかわり	1前・後	2									兼1	
	環境問題のしくみ	1前	2									兼1	
	環境科学入門	1前	2									兼1	
	グリーンテクノロジー	1前	2									兼9	オムニバス
	環境配慮素材と自然エネルギー	1前	2									兼4	オムニバス
	エコ水車の開発と地域バイオマス利用	1前	2									兼3	集中・オムニバス
	地球環境の歴史	1前	2									兼1	
	循環型社会入門	1前	2									兼1	
環境科学群	環境とエネルギー	1後	2									兼1	
	環境エネルギー政策論	1後	2									兼1	
	ネイチャーライティングのすすめ（環境文学Ⅰ）	1前	2									兼1	
	環境文学のすすめ（環境文学Ⅱ）	1後	2									兼1	
	自然環境と文化	1後	2									兼1	
	環境法入門	1後	2									兼1	
	材料の科学と技術（基礎編）	1前	2									兼13	オムニバス
	材料の科学と技術（先端編）	1後	2									兼12	オムニバス

	生物と環境	1後	2	○								兼1	
	自然災害と環境	1前	2	○								兼2	オムニハス
	ナノテクと環境	1後	2	○								兼1	
	人とすまい	1前	2	○								兼6	
	水の環境科学	1後	2	○								兼1	
	森林サイエンス	1前	2	○								兼13	オムニハス
	農山村と環境	1前	2	○								兼10	オムニハス
	環境と緑の文化	1後	2	○								兼3	オムニハス
	農環境保全学	1後	2	○								兼4	オムニハス
	森林・環境共生学概論	1後	2	○								兼2	
	環境と生命の基礎化学	1後	2	○								兼1	
教養科目	映像・人類学	1前	2	○								兼1	
	Top Level English (トップレベルイングリッシュ)	1前・後	2	○								兼3	
	「田園環境健康都市須坂」を「共創」(須坂市寄付講義)	1後	2	○								兼1	
	映画史入門	1前	2	○								兼1	
	身体表現レクチャー&ワークショップ	1前	2	○								兼1	
	絶対王政期フランスの制度と社会	1前	2	○								兼1	
	モノの世界史	1前	2	○								兼1	
	世界の音楽	1前	2	○								兼1	
	方言からみた日本語	1後	2	○								兼1	
	江戸時代の本屋さんと本	1前	2	○								兼1	
	英語基礎Ⅰ(たてなおしの英語Ⅰ)	1前	2	○								兼1	
	英語基礎Ⅱ(たてなおしの英語Ⅱ)	1後	2	○								兼1	
	自己発見の方法	1後	2	○								兼1	
	日本古典文学入門	1前	2	○								兼1	
	中国古典小説	1前	2	○								兼1	
	生と死の哲学～哲学から宗教へ～	1前	2	○								兼1	
	文学と美術を歴史学で読み解く～日本古代史入門～	1前	2	○								兼1	
	山国信州の風土と暮らし(風土の中の衣食住)	1前	2	○								兼1	
	日本の屋根・信州の風土と暮らし	1後	2	○								兼1	
	モバイルデバイスで習うE-TOEICコース	1前・後	2	○								兼1	
	中世英語文献学入門	1後	2	○								兼1	
	「右肩下がり」の時代を生き抜くための倫理学	1前	2	○								兼1	
	言語哲学入門	1後	2	○								兼1	
	「優れた言語学習者」から考える日本語教育学	1後	2	○								兼1	
	恋愛小説を読むー比較文学への招待ー	1後	2	○								兼1	
	フランス文学概論	1前	2	○								兼1	
	日本文学概論	1後	2	○								兼1	
	映像で見て読んで考えるアメリカ	1後	2	○								兼1	
	時に挑む科学と文学	1後	2	○								兼1	
	アフリカ社会論	1前	2	○								兼1	
	韓国の文化(食文化)	1前	2	○								兼1	
	韓国の文化(映画で学ぶ)	1前	2	○								兼1	
	韓国の文化(若者の世界)	1後	2	○								兼1	
	韓国の文化(メディア)	1後	2	○								兼1	
	ドイツ語圏の文化Ⅰ	1前	2	○								兼2	オムニハス
	ドイツ語圏の文化Ⅱ	1後	2	○								兼2	オムニハス
	アフリカ文化論	1前	2	○								兼1	
	中国の文化(現代中国事情①)	1前	2	○								兼1	
	中国の文化(現代中国事情②)	1後	2	○								兼1	
	ロシアの文化(風土と歴史)	1前	2	○								兼1	
	スペイン語圏の文化(ラテンアメリカ)	1後	2	○								兼1	
ドイツ語圏の文化Ⅲ	1前	2	○								兼1		
ドイツ語圏の文化Ⅳ	1後	2	○								兼1		
欧米文化(映画で見る未来像)	1前	2	○								兼1		
フランス語圏の文化	1後	2	○								兼1		
スペイン語圏の文化(スペイン)	1前	2	○								兼1		
科学論	1後	2	○								兼5	オムニハス	
囲碁で養う考える力	1前	2	○								兼1	集中	
明日を生きるための心理学 リスク社会と防災を学ぶ	1前	2	○								兼1		
ベンチャービジネス概論	1前	2	○								兼3	オムニハス	

共通教育科目	キャリアとしての公務員	1後	2	○									兼1	
	スポーツ考現学	1前・後	2	○									兼1	
	スポーツ文化を考える	1後	2	○									兼1	
	国際理解と多文化共生を考える I	1前	2	○									兼1	
	国際理解と多文化共生を考える II	1後	2	○									兼1	
	国際教養A	1前・後	2	○									兼2	集中
	国際教養B	1前・後	2	○									兼2	集中
	臨床心理学	1前	2	○									兼1	
	大学生が出会う法律問題	1前	2	○									兼14	オムニバス
	世界経済の歩み	1後	2	○				1						
	家族と法	1前	2	○									兼1	
	メディア心理学	1後	2	○									兼1	
	ポジティブ心理学	1前	2	○									兼1	
	消費社会学入門	1前	2	○									兼1	
	コミュニティの社会心理学	1後	2	○									兼1	
	臨床心理学概論	1後	2	○									兼1	
	青年の海外ボランティア活動	1後	2	○									兼1	
	キャリア形成論 I	1前	2	○									兼2	
	キャリア形成論 II	1後	2	○									兼2	
	手話コミュニケーションと社会	1後	2	○									兼2	
	手話と社会	1前	2	○									兼2	
	日本国憲法	1前・後	2	○									兼3	
	地域活性化システム論	1前	2	○									兼3	オムニバス
	公法入門	1後	2	○									兼1	
	法学入門	1前	2	○									兼1	
	現代政治分析	1前	2	○									兼1	
	社会科学群													
	ミクロ経済学入門	1後	2	○			2	2	1					オムニバス
	マクロ経済学入門	1前	2	○			3	2						オムニバス
	大学生が出会う経済・経営問題	1後	2	○			2	3						オムニバス
	障害と共生社会	1前	2	○									兼1	
	大学生から始めるキャリアデザイン	1前	2	○									兼3	オムニバス
	世界で今何が起きているのか? - I	1前	2	○									兼1	
	世界で今何が起きているのか? - II	1後	2	○									兼1	
	統計データから読み解く社会	1後	2	○									兼1	
	法学概論 I	1前	2	○									兼1	
	法学概論 II	1後	2	○									兼1	
	多様性の中で自分を活かす (異文化理解とコミュニケーション)	1前	2	○									兼1	
	多様性の中で自分を活かす (協働のスキル)	1後	2	○									兼1	
	グローバル人材論 (グローバルキャリアデザイン)	1前	2	○									兼1	
	グローバル人材論 (「グローバル」マインド養成)	1後	2	○									兼1	
	RESAS～教育を、社会を、地域研究を見据えたリーサス～	1後	2	○									兼1	
	心理学概論	1後	2	○									兼7	オムニバス
	知っておくべき知的財産と研究倫理の基本	1前	2	○									兼1	
	証券・投資から育む「生きる力・考える力」(証券証券寄付講義)	1前	2	○									兼1	
	この国はどんな国-グローバル社会を生きるために-I	1前	2	○									兼1	
	この国はどんな国-グローバル社会を生きるために-II	1後	2	○									兼1	
戦後政策と公法	1後	2	○									兼1		
ジェンダー論	1後	2	○									兼1		
ヒューマンセクシュアリティ	1後	2	○									兼3	オムニバス	
新聞と私たちの社会 (信濃毎日新聞社寄付講義)	1後	2	○									兼1		
教を読む技術	1前・後	2	○									兼1		
電子出版の現代	1前	2	○									兼1		
家庭生活基礎A	1後	2	○									兼7	オムニバス	
キャリアビジョンと男女共同参画:誰もが輝く社会を考える	1前	2	○									兼5		
プログラミング入門	1後	2	○	○				1						
基本法学	1後	2	○									兼1		
税法入門講義	1前	2	○									兼1		
市民社会と法	1前	2	○	○								兼1		
伝えておきたい数学	1前	2	○									兼1		
教養としての物理学	1前	2	○									兼1		
観測天文学入門	1後	2	○									兼1		
生活のなかの天文学	1前	2	○									兼1		

自然科学群	現代医療における物理学	1後	2	○											兼1		
	物理学の世界	1前	2	○											兼1		
	Activity-Based Astronomy--現代天文学入門	1前	2	○											兼1		
	時間と空間の物理学	1前	2	○											兼1		
	物理へのいざない	1後	2	○											兼11	オムニバス	
	応用化学～千夜一夜～	1前	2	○											兼13	オムニバス	
	生活の中の高分子	1前	2	○											兼13	オムニバス	
	基礎分子遺伝学の世界	1後	2	○											兼2	オムニバス	
	バイオリソースと生命科学	1後	2	○											兼2	オムニバス	
	生態学入門	1後	2	○											兼1		
	地域から学ぶ地球	1前	2	○											兼1		
	教養としての物質科学	1後	2	○											兼1		
	ニューバイオテクノロジー入門	1後	2	○											兼5	オムニバス	
	動物と私たちの暮らし	1前	2	○											兼8	オムニバス	
	動物生命科学	1後	2	○											兼7	オムニバス	
	食と植物の文化論	1後	2	○											兼4	オムニバス	
	応用生物学への招待	1前	2	○											兼14	オムニバス	
	食と微生物	1後	2	○											兼9	オムニバス	
	ネットワーク社会における情報科学	1前・後	2	○											兼1		
	統計学の基礎	1前・後	2	○											兼1		
	検索の科学	1前・後	2	○											兼1		
	情報学入門 (コンピュータの構成、アルゴリズム)	1前	2	○											兼2	オムニバス	
	情報学入門 (プログラミング、ネットワーク)	1後	2	○											兼2	オムニバス	
	統計学入門	1前	2	○											兼1		
	ベイズ統計学入門	1後	2	○											兼1		
	脳の不思議を探る (認知神経科学入門)	1前	2	○											兼1		
	脳の不思議をもっと探る (認知神経科学入門)	1後	2	○											兼1		
	宇宙から原子への旅	1前	2	○											兼10	オムニバス	
	国際看護学 I	1前	2	○											兼1		
	国際技術論	1前	2	○											兼1		
	科学技術政策と研究開発	1後	2	○											兼1		
	健康管理と生活習慣【佐久大学開講】	1後	2	○											兼1		
	体育・スポーツ群	ソフトボール	1前	1	○											兼1	
		テニス	1前	1	○											兼1	
		アダブテッドスポーツ	1後	1	○											兼1	
		弓道	1前	1	○											兼1	
コーディネーションエクササイズ		1前	1	○											兼1		
剣道形の世界		1前	1	○											兼1		
バドミントン		1前	1	○											兼2		
サッカー		1前・後	1	○											兼1		
バレーボール		1前	1	○											兼1		
フライングディスク		1前	1	○											兼1		
トレッキング		1前	1	○											兼5	集中	
ゴルフ		1前	1	○											兼2	集中	
スポーツフィッシング		1前	1	○											兼1	集中	
マリンスポーツ		1前	1	○											兼1	集中	
信大マラソン		1前	1	○											兼1	集中	
アウトドアの達人		1前	1	○											兼2	集中	
サバイバル活動		1前	1	○											兼1	集中	
スクーバダイビング		1後	1	○											兼2	集中	
レジャースポーツ		1前	1	○											兼1	集中	
スポーツボウリング		1後	1	○											兼1		
ニュースポーツ		1後	1	○											兼1	集中	
アスレティックトレーニング		1後	1	○											兼1		
バスケットボール		1後	1	○											兼1		
ネイチャースキー		1後	1	○											兼2	集中	
スノー・スポーツ		1後	1	○											兼12	集中	
アウトドアマスター I		2前	1	○											兼1	集中	
アウトドアマスター II		2前	1	○											兼4	集中	
ゴルフマスター I	2前	1	○											兼1	集中		
ゴルフマスター II	2前	1	○											兼1	集中		
小計 (296科目)	—	0	563	0	—				7	8	2	0	0	兼345	—		

基礎科目	外国語科目	英語	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I (上級)	1前	1			○								兼11			
			フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I (中級)	1前	1			○										兼17	
			フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I (初級)	1前	1			○										兼14	
			フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I	1前・後	1			○										兼3	
			フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II (上級)	1後	1			○										兼11	
			フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II (中級)	1後	1			○										兼15	
			フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II (初級)	1後	1			○										兼14	
			フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II	1後	1			○										兼1	
			コミュニケーション・イングリッシュ I (上級)	1前	1			○										兼6	
			コミュニケーション・イングリッシュ I (中級)	1前	1			○										兼5	
			コミュニケーション・イングリッシュ I (初級)	1前	1			○										兼4	
			コミュニケーション・イングリッシュ II (上級)	1後	1			○										兼5	
			コミュニケーション・イングリッシュ II (中級)	1後	1			○										兼5	
			コミュニケーション・イングリッシュ II (初級)	1後	1			○										兼4	
			リスニング&リーディング I (上級)	1前	1			○										兼6	
			リスニング&リーディング I (中級)	1前	1			○										兼5	
			リスニング&リーディング I (初級)	1前	1			○										兼9	
			リスニング&リーディング I	1前	1			○										兼1	
			リスニング&リーディング II (上級)	1後	1			○										兼5	
			リスニング&リーディング II (中級)	1後	1			○										兼5	
			リスニング&リーディング II (初級)	1後	1			○										兼9	
			リスニング&リーディング II	1後	1			○										兼1	
			リーディング・プラス I	1前	1			○										兼1	
			リーディング・プラス II	1後	1			○										兼1	
			アカデミック・イングリッシュ I (上級)	2前	2			○										兼8	
			アカデミック・イングリッシュ I (中級)	2前	2			○										兼19	
			アカデミック・イングリッシュ I (初級)	2前	2			○										兼14	
			アカデミック・イングリッシュ II (上級)	2後	2			○										兼8	
			アカデミック・イングリッシュ II (中級)	2後	2			○										兼20	
			アカデミック・イングリッシュ II (初級)	2後	2			○										兼17	
			ドイツ語	ドイツ語初級 (総合) I	1前	1			○										兼2
				ドイツ語初級 (総合) II	1後	1			○										兼2
				ドイツ語初級 (文法) I	1前	1			○										兼3
				ドイツ語初級 (文法) II	1前・後	1			○										兼3
				ドイツ語初級 (読解・会話) I	1前・後	1			○										兼2
				ドイツ語初級 (読解・会話) II	1後	1			○										兼2
				ドイツ語中級 (読解) I	2前	2			○										兼2
				ドイツ語中級 (読解) II	2後	2			○										兼1
				ドイツ語中級 (会話) I	2前	2			○										兼1
				ドイツ語中級 (会話) II	2後	2			○										兼1
				ドイツ語演習 I	2前	2			○										兼2
				ドイツ語演習 II	2後	2			○										兼2
				フランス語	フランス語初級 (総合) I	1前	1			○									
			フランス語初級 (総合) II		1後	1			○										兼1
			フランス語初級 (文法) I		1前	1			○										兼1
			フランス語初級 (文法) II		1後	1			○										兼1
			フランス語初級 (読解・会話) I		1前	1			○										兼2
フランス語初級 (読解・会話) II	1後	1				○										兼2			
フランス語中級 (読解・会話) I	2前	2				○										兼1			
フランス語中級 (読解・会話) II	2後	2				○										兼1			
フランス語演習 I	2前	2				○										兼1			
フランス語演習 II	2後	2			○										兼1				
中国語	中国語初級 (総合) I	1前	1			○										兼1			
	中国語初級 (総合) II	1後	1			○										兼1			
	中国語初級 (文法) I	1前	1			○										兼2			
	中国語初級 (文法) II	1後	1			○										兼2			
	中国語初級 (読解・会話) I	1前	1			○										兼4			
	中国語初級 (読解・会話) II	1後	1			○										兼4			
	中国語演習 I	2前	2			○										兼2			
	中国語演習 II	2後	2			○										兼2			
ハンデル初級 (総合) I	ハンデル初級 (総合) I	1前	1			○										兼1			
	ハンデル初級 (総合) II	1後	1			○										兼1			
	ハンデル初級 (文法) I	1前	1			○										兼1			

ハン グ ル	ハングル初級（文法）Ⅱ	1後	1			○						兼1		
	ハングル初級（読解・会話）Ⅰ	1前	1			○						兼1		
	ハングル初級（読解・会話）Ⅱ	1後	1			○						兼1		
	ハングル中級（読解・会話）Ⅰ	2前	2			○						兼1		
	ハングル中級（読解・会話）Ⅱ	2後	2			○						兼1		
	ハングル中級Ⅰ	2前	2			○						兼1		
	ハングル中級Ⅱ	2後	2			○						兼1		
	ハングル演習Ⅰ	2前	2			○						兼1		
	ハングル演習Ⅱ	2後	2			○						兼1		
	ス ペ イ ン 語	スペイン語初級（総合）Ⅰ	1前	1			○						兼1	
スペイン語初級（総合）Ⅱ		1後	1			○						兼1		
スペイン語初級（文法）Ⅰ		1前	1			○						兼2		
スペイン語初級（文法）Ⅱ		1前	1			○						兼2		
スペイン語初級（読解・会話）Ⅰ		1後	1			○						兼1		
スペイン語初級（読解・会話）Ⅱ		1後	1			○						兼1		
スペイン語中級（読解・会話）Ⅰ		2前	2			○						兼1		
スペイン語中級（読解・会話）Ⅱ		2後	2			○						兼1		
スペイン語演習Ⅰ		2前	2			○						兼1		
スペイン語演習Ⅱ		2後	2			○						兼1		
小計（82科目）	—	0	110	0	—			0	0	0	0	0	兼69	—
健康科学・ 実践	健康科学・理論と実践	1前	1			○							兼3	※実技・オムニバス
	小計（1科目）	—	1	0	0	—		0	0	0	0	0	兼3	—
	新入生ゼミナール	1前	2			○		9	8	0	0	0	兼7	—
小計（1科目）	—	2	0	0	—		9	8	0	0	0	兼7	—	
日 本 語 ・ 日 本 事 情 科 目	日 本 語	読解（日本語）Ⅰ	1前	1			○						兼2	※外国人留 学生のみ
		読解（日本語）Ⅱ	1後	1			○						兼2	
		作文（日本語）Ⅰ	1前	1			○						兼2	
		作文（日本語）Ⅱ	1後	1			○						兼2	
		科学技術日本語Ⅰ	1前	1			○						兼1	
		科学技術日本語Ⅱ	1後	1			○						兼1	
		ビジネス・ジャパニーズⅠ	1前	1			○						兼1	
		ビジネス・ジャパニーズⅡ	1後	1			○						兼1	
		日本語表現・文型Ⅰ	1前	1			○						兼1	
		日本語表現・文型Ⅱ	1後	1			○						兼1	
	日 本 事 情	聴解（日本語）Ⅰ	1前	1			○						兼2	※外国人留 学生のみ オムニバス オムニバス
		聴解（日本語）Ⅱ	1後	1			○						兼2	
		口頭表現Ⅰ	1前	1			○						兼1	
		口頭表現Ⅱ	1後	1			○						兼1	
		日本社会と日本人Ⅰ	1前	2			○						兼1	
		日本社会と日本人Ⅱ	1後	2			○						兼1	
		武道・伝統文化実習Ⅰ	1前	1			○						兼2	
		武道・伝統文化実習Ⅱ	1後	1			○						兼2	
小計（18科目）	—	0	20	0	—		0	0	0	0	0	兼8	—	
導 入 科 目	人文科学通論Ⅰ	1前	2			○		9	4					オムニバス
	人文科学通論Ⅱ	1後	2			○		9	4					オムニバス
基 礎 科 目	日本史概論Ⅰ	1・2前	2			○		1						兼1
	日本史概論Ⅱ	1・2後	2			○			1					
	東洋史概論Ⅰ	1・2前	2			○				1				
	東洋史概論Ⅱ	1・2後	2			○				1				
	西洋史概論Ⅰ	1・2前	2			○				1				
	西洋史概論Ⅱ	1・2後	2			○								
日 本 史 特 論	日本史特論Ⅰ	2・3前	2			○			1					隔年
	日本史特論Ⅱ	2・3後	2			○			1					隔年
	日本史特論Ⅲ	2・3前	2			○		1						隔年
	日本史特論Ⅳ	2・3後	2			○		1						隔年
	日本史特論Ⅴ	2・3前	2			○		1						隔年
	日本史特論Ⅵ	2・3後	2			○		1						隔年
	日本史特論Ⅶ	2・3前	2			○		1						隔年
	日本史基幹演習Ⅰ	2・3前	2			○		1						
	日本史基幹演習Ⅱ	2・3後	2			○		1						
	日本史基幹演習Ⅲ	2・3前	2			○				1				
	日本史基幹演習Ⅳ	2・3後	2			○				1				
	日本史基幹演習Ⅴ	2・3前	2			○		1						



専門科目	基幹科目	日本史基幹演習VI	2・3後		2			○	1							隔年		
		東洋史特論 I	2・3前		2			○	1		1						隔年	
		東洋史特論 II	2・3後		2			○	1		1						隔年	
		東洋史特論 III	2・3前		2			○	1		1						隔年	
		東洋史特論 IV	2・3後		2			○	1		1						隔年	
		東洋史特論 V	2・3前		2			○	1		1						隔年	
		東洋史基幹演習 I	2・3前		2						1							
		東洋史基幹演習 II	2・3後		2						1							
		東洋史基幹演習 III	2・3前		2						1							
		東洋史基幹演習 IV	2・3後		2													
		西洋史特論 I	2・3前		2				○						兼1		隔年	
		西洋史特論 II	2・3後		2				○						兼1		隔年	
		西洋史特論 III	2・3前		2				○			1					隔年	
		西洋史特論 IV	2・3後		2				○			1					隔年	
		西洋史特論 V	2・3前		2				○						兼1		隔年	
		西洋史基幹演習 I	2・3前		2							1					隔年	
		西洋史基幹演習 II	2・3後		2										兼1		隔年	
西洋史基幹演習 III	2・3前		2							1					隔年			
西洋史基幹演習 IV	2・3後		2										兼1		隔年			
発展科目	日本史発展演習 I	3・4前		2				○	1									
	日本史発展演習 II	3・4後		2				○	1									
	日本史発展演習 III	3・4前		2				○			1							
	日本史発展演習 IV	3・4後		2				○			1							
	日本史発展演習 V	3・4前		2				○	1									
	日本史発展演習 VI	3・4後		2				○	1									
	東洋史発展演習 I	3・4前		2				○			1					隔年		
	東洋史発展演習 II	3・4後		2				○			1					隔年		
	東洋史発展演習 III	3・4前		2				○			1					隔年		
	東洋史発展演習 IV	3・4後		2				○			1					隔年		
	東洋史発展演習 V	3・4前		2				○			1					隔年		
	東洋史発展演習 VI	3・4後		2				○			1					隔年		
	西洋史発展演習 I	3・4前		2				○			1					隔年		
	西洋史発展演習 II	3・4後		2				○						兼1		隔年		
	西洋史発展演習 III	3・4前		2				○			1					隔年		
	西洋史発展演習 IV	3・4後		2				○						兼1		隔年		
	西洋史発展演習 V	3・4前		2				○			1					隔年		
西洋史発展演習 VI	3・4後		2				○						兼1		隔年			
コア一般科目	人文地理学	2・3前		2				○							兼1			
	自然地理学	2・3後		2				○							兼1			
	法律学 I	2・3前		2			○							兼1		隔年		
	法律学 II	2・3後		2			○							兼1		隔年		
	法律学 III	2・3前		4			○							兼1		隔年		
	政治学 I	2・3後		2			○							兼1		隔年		
	政治学 II	2・3前		2			○							兼1		隔年		
	政治学 III	2・3後		2			○							兼1		隔年		
	経済学 I	2・3前		2			○							兼1		隔年		
	経済学 II	2・3後		2			○							兼1		隔年		
	経済学 III	2・3前		2			○							兼1		隔年		
地誌・地域研究	3・4前		2				○			2								
卒業論文	4通	10			○			2	5									
小計 (70科目)	—	14	136	0		—		9	6	0	0	0	兼6		—			
社会交流科目	現代職業論 I	2・3前			2		○								兼2			
	現代職業論 II	2・3後			2		○			1								
	インターンシップ企業体験実習	3・4通		2				○	1							集中		
学芸関係科目	生涯学習概論	1・2前		2			○								兼1			
	博物館概論	1・2後		2			○								兼1			
	博物館教育論	1・2前		2			○								兼1			
	博物館資料論	2・3後		2			○								兼4			
	博物館資料保存論	2・3前		2			○								兼7			
	博物館展示論	2・3後		2			○								兼3			
	博物館経営論	2・3前		2			○			1					兼1			
	博物館情報・メディア論	2・3後		2			○								兼1			
	博物館実習 I	3前		1				○	1	1								

	博物館実習Ⅱ	4後		1			○	1	1							
	博物館実習Ⅲ	4前		1			○	1	1							
	教職論	2・3前後			2	○									兼1	
	教育学概論	2・3前後			2	○									兼1	
	学校教育の歴史と現状（日本教育史）	2・3前後			1	○									兼1	
	教育思想論	2・3前後			1	○									兼1	
	教育心理学概論	2・3前後			2	○									兼1	
	発達心理学概論	2・3前後			2	○									兼1	
	特別支援教育の理論	2・3前後			1	○									兼1	
	発達障害の理解と指導	2・3前後			2	○									兼1	
	教育経営学概論	2・3前後			1	○									兼1	
	教育行政学概論	2・3前後			2	○									兼1	
	教育法学概論	2・3前後			2	○									兼1	
	教育社会学概論	2・3前後			2	○									兼1	
	教育課程の編成法	2・3前後			1	○									兼1	
	教育方法論	2・3前後			1	○									兼1	
	教育方法特論	2・3前後			1	○									兼1	
	道德教育の理論と実践	2・3前後			2	○									兼1	
	特別活動の理論と実践	2・3前後			1	○									兼1	
	生徒指導の理論と実践	2・3前後			2	○									兼1	
	キャリア教育の理論と実践	2・3前後			2	○									兼1	
	教育相談の理論と実践	2・3前後			2	○									兼1	
	カウンセリング概論	2・3前後			2	○									兼1	
	障害の理解と指導	2・3前後			1	○									兼1	
	現代社会と子どもの学習	2・3前後			2	○									兼1	
	社会科・地理歴史科指導法	2・3前			2	○				1						
	社会科・公民科指導法	2・3後			2	○					2					
	教職のための情報・メディア活用	2・3前			2	○			1							
	社会科・地理歴史科指導法特論Ⅰ	2・3前			2	○					1					
	社会科・地理歴史科指導法特論Ⅱ	2・3後			2	○						1				
	社会科・公民科指導法特論Ⅰ	2・3前			2	○						2				
	社会科・公民科指導法特論Ⅱ	2・3後			2	○							2			
	中学校教育実習	4前			4		○		1							
	国語科指導法Ⅰ	2・3前			2	○			1							
	国語科指導法Ⅱ	2・3後			2	○					1					
	英語科指導法Ⅰ	2・3前			2	○					1					
	英語科指導法Ⅱ	2・3後			2	○						1				
	ドイツ語科指導法Ⅰ	2・3前			2	○					1					
	ドイツ語科指導法Ⅱ	2・3後			2	○						1				
	中国語科指導法Ⅰ	2・3前			2	○						1				
	中国語科指導法Ⅱ	2・3後			2	○							1			
	国語科指導法特論Ⅰ	2・3前			2	○			1							
	国語科指導法特論Ⅱ	2・3後			2	○						1				
	英語科指導法特論Ⅰ	2・3前			2	○							1			
	英語科指導法特論Ⅱ	2・3後			2	○								1		
	中国語科指導法特論Ⅰ	2・3前			2	○								1		
	中国語科指導法特論Ⅱ	2・3後			2	○									1	
	教育実習事前・事後指導	4前後			1	○			1							
	高等学校教育実習	4前後			2		○		1							
	教職実践演習（中・高）	4前後			2		○								兼1	
公認心理士関係科目	発達心理学	2・3前			2		○								兼1	
	障害者・障害児心理学	2・3後			2		○								兼1	
	人体の構造と機能及び疾病	2・3前			2		○								兼1	
	精神疾患とその治療	2・3後			1		○								兼1	
	関係行政論	2・3前			2		○								兼1	
小計（67科目）		—	0	21	101	—	—	3	9	1	0	0	—	兼37	—	
合計（535科目）		—	17	853	101	—	—	17	15	0	1	0	—	兼439	—	
学位又は称号		学士（文学）		学位又は学科の分野				文学関係								
卒業要件及び履修方法							授業期間等									

<p>1. 共通教育科目 38単位以上  (1) 教養科目 19単位以上  ①環境科学群 2単位以上  ②環境科学群, 人文科学群, 社会科学群, 自然科学群, 体育・スポーツ群のうち  3つ以上の科学群が必修  (2) 外国語科目 8単位  ①英語 8単位  ②初修外国語 8単位  (3) 健康科学科目 1単位  (4) 新入生ゼミナール科目 2単位</p> <p>2. 専門科目 92単位以上</p> <p>3. 履修科目の登録の上限  ①1年次は共通教育科目を含め1学期28単位  ②2年次以降1学期24単位</p>	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	1 5 週
	1 時限の授業時間	9 0 分

別記様式第2号 (その2の1)

基礎となる学部		教育課程等の概要															
(人文学部人文学科 比較言語文化コース)																	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
教養ゼミナール群	技術とエネルギーの入門ゼミ	1後		2				○								兼4	オムニバス
	生態資源論ゼミ	1前・後		2				○								兼1	
	地球白書ゼミ	1前・後		2				○								兼1	集中
	環境マインドを現場で体験するゼミ	1前		2				○								兼3	集中
	土壌学ゼミ	1前		2				○								兼1	
	植物生態学ゼミ	1前		2				○								兼1	集中
	環境マインドを現場で体験するゼミ (熱帯雨林)	1後		2				○								兼1	集中
	芸術教養美術ゼミ	1前・後		2				○								兼1	
	芸術教養音楽ゼミ	1後		2				○								兼7	オムニバス
	「時」について考えるゼミ	1後		2				○								兼1	
	アジアの中の日本ゼミ I	1前		2				○								兼1	
	アジアの中の日本ゼミ II	1後		2				○								兼1	
	原書で読むシャーロック・ホームズゼミ	1後		2				○								兼1	
	現代ドイツの言語と日常ゼミ	1前		2				○								兼1	
	現代ドイツ事情ゼミ	1後		2				○								兼1	
	異文化研究ゼミ	1後		2				○								兼1	
	感覚で攻める英文法ゼミ～覚える英文法から感じる英文法へ	1前・後		2				○								兼1	
	日本近現代史入門ゼミ	1後		2				○								兼1	
	西洋古典語の世界ゼミ	1後		2				○								兼1	
	古文書で学ぶ近世ゼミ	1前		2				○								兼1	
	比較哲学入門ゼミ	1後		2				○								兼1	
	フィールドワーク入門ゼミ	1前		2				○								兼1	
	日中比較文学ゼミ	1後		2				○								兼1	
	発信のためのやさしい英文文練習ゼミ	1前		2				○								兼1	
	中国古典小説ゼミ	1後		2				○								兼1	
	法言語学(司法制度とことば)ゼミ	1後		2				○								兼1	
	翻訳入門ゼミ	1後		2				○								兼1	
	シェイクスピアを読むゼミ	1後		2				○								兼1	
	異文化コミュニケーション(海外留学)ゼミ	1前・後		2				○								兼1	
	外国語教育を考えるゼミ	1後		2				○								兼1	
	ことばについて考えるゼミ	1後		2				○								兼1	
	中国思想の古典で学ぶゼミ	1前		2				○								兼1	
	変体仮名入門ゼミ	1前		2				○								兼1	
	フランス文学ゼミ	1前		2				○								兼1	
	英語資格試験対策ゼミ	1前		2				○								兼1	
	シルシル信知るゼミ	1前		2				○								兼2	オムニバス・集中
	もっと知りたい韓国ゼミ	1前		2				○								兼1	
	スポーツ・ホスピタリティゼミ 秋冬編(松本山雅FC連携ゼミ)	1後		2				○								兼1	
	スポーツ・ホスピタリティゼミ 春夏編(松本山雅FC連携ゼミ)	1前		2				○								兼1	
	スポーツ観戦文化論ゼミ	1前・後		2				○								兼1	
	テレビのメディアリテラシー(テレビ信州参与ゼミ)	1前		2				○								兼1	
	大学改革への学生参加ゼミ	1後		2				○								兼1	
「考える」ゼミ	1前・後		2				○								兼1		
しょうがいスポーツゼミ	1前		2				○								兼3	オムニバス	
心理学思考法ゼミ	1前		2				○								兼1		
身体心理学ゼミ	1後		2				○								兼1		
環境心理学ゼミ	1前		2				○								兼1		
経済学の視点で考える企業行動ゼミ 基礎編	1前		2				○			1							
経済学の視点で考える企業行動ゼミ 応用編	1後		2				○			1							
社会科学文献講読ゼミ I	1後		2				○								兼1		
社会科学文献講読ゼミ II	1後		2				○								兼1		
地域ブランド実践ゼミ	1後		2				○								兼3	オムニバス	

社会科学の方法ゼミ	1後	2		○					兼1	
社会格差を考えるゼミ：勝者と敗者の本当の姿	1後	2		○					兼1	
質問紙調査入門ゼミ	1後	2		○					兼1	
キャリアデザイン実践ゼミ	1後	2		○					兼3	
化学計算入門ゼミ	1前・後	2		○					兼1	
大学を知るゼミ	1後	2		○					兼1	
ロボティクス入門ゼミ	1前・後	2		○					兼1	
自然誌・博物学ゼミ	1前	2		○					兼3	オムニバス
ものづくり入門ゼミ	1後	2		○					兼2	オムニバス
文系学生のための野外地質学ゼミ	1前	2		○					兼3	集中
利己的遺伝子説から生物像を描くゼミ	1後	2		○					兼1	
統計図解ゼミ	1後	2		○					兼1	
アナログ再発見ゼミ	1前・後	2		○					兼1	
情報社会論ゼミ	1前・後	2		○					兼1	
Web制作ゼミ	1前・後	2		○					兼1	
新聞で広げる社会の見方ゼミ（信濃毎日新聞社寄付講義）	1後	2		○					兼1	
ネットワーク時代の古典を原著で読むゼミ	1後	2		○					兼1	
人工知能を知ろうゼミ	1前・後	2		○					兼1	
大学生基礎力ゼミ	1前・後	2		○					兼14	
新聞をつくろう！（MGプレス制作ゼミ）	1前	2		○					兼1	
スポーツ活動論ゼミⅠ	1前	2		○					兼1	
スポーツ活動論ゼミⅡ	1後	2		○					兼1	集中
ドイツ環境ゼミ	1後	2		○					兼1	集中
自然活動論ゼミ	1前	2		○					兼1	
自然と人間を考えるゼミ	1後	2		○					兼1	
臨床検査を体験するゼミ	1後	2		○					兼11	オムニバス
体と心のリハビリテーションを考えるゼミ	1前	2		○					兼11	オムニバス
身体運動科学ゼミ	1前	2		○					兼1	
課題解決実践ゼミ	1後	2		○					兼3	オムニバス
科学リテラシー入門ゼミ	1後	2		○					兼1	
経済数学ゼミⅠ	1前	2		○			1			
経済数学ゼミⅡ	1後	2		○			1			
民法入門ゼミ	1後	2		○					兼1	
税法入門ゼミ	1後	2		○					兼1	
リアル・プロジェクトマネジメントゼミ	1後	2		○					兼3	集中
国際関係論ゼミ	1後	2		○					兼1	
物理学入門ゼミ	1前	2		○					兼1	
幾何学入門ゼミ	1前	2		○					兼1	
素朴な集合論ゼミ	1前	2		○					兼1	
イノベーション・リテラシーゼミ	1前	2		○					兼3	集中
										※2単位 選択必修
環境社会学入門	1前・後	2		○					兼1	
熱帯雨林と社会	1前・後	2		○					兼1	
Low Energy Building（省エネルギー住宅）	1後	2		○					兼1	
ライフサイクルアセスメント入門	1前・後	2		○					兼1	
環境と生活とのかかわり	1前・後	2		○					兼1	
環境問題のしくみ	1前	2		○					兼1	
環境科学入門	1前	2		○					兼1	
グリーンテクノロジー	1前	2		○					兼9	オムニバス
環境配慮素材と自然エネルギー	1前	2		○					兼4	オムニバス
エコ水車の開発と地域バイオマス利用	1前	2		○					兼3	集中・オムニバス
地球環境の歴史	1前	2		○					兼1	
循環型社会入門	1前	2		○					兼1	
環境とエネルギー	1後	2		○					兼1	
環境エネルギー政策論	1後	2		○					兼1	
ネイチャーライティングのすすめ（環境文学Ⅰ）	1前	2		○					兼1	
環境文学のすすめ（環境文学Ⅱ）	1後	2		○					兼1	
自然環境と文化	1後	2		○					兼1	
環境法入門	1後	2		○					兼1	
材料の科学と技術（基礎編）	1前	2		○					兼13	オムニバス
材料の科学と技術（先端編）	1後	2		○					兼12	オムニバス

	生物と環境	1後	2	○								兼1	
	自然災害と環境	1前	2	○								兼2	オムニハス
	ナノテクと環境	1後	2	○								兼1	
	人とすまい	1前	2	○								兼6	
	水の環境科学	1後	2	○								兼1	
	森林サイエンス	1前	2	○								兼13	オムニハス
	農山村と環境	1前	2	○								兼10	オムニハス
	環境と緑の文化	1後	2	○								兼3	オムニハス
	農環境保全学	1後	2	○								兼4	オムニハス
	森林・環境共生学概論	1後	2	○								兼2	
	環境と生命の基礎化学	1後	2	○								兼1	
教養科目	映像・人類学	1前	2	○								兼1	
	Top Level English (トップレベルイングリッシュ)	1前・後	2	○								兼3	
	「田園環境健康都市須坂」を「共創」(須坂市寄付講義)	1後	2	○								兼1	
	映画史入門	1前	2	○								兼1	
	身体表現レクチャー&ワークショップ	1前	2	○								兼1	
	絶対王政期フランスの制度と社会	1前	2	○								兼1	
	モノの世界史	1前	2	○								兼1	
	世界の音楽	1前	2	○								兼1	
	方言からみた日本語	1後	2	○								兼1	
	江戸時代の本屋さんと本	1前	2	○								兼1	
	英語基礎Ⅰ(たてなおしの英語Ⅰ)	1前	2	○								兼1	
	英語基礎Ⅱ(たてなおしの英語Ⅱ)	1後	2	○								兼1	
	自己発見の方法	1後	2	○								兼1	
	日本古典文学入門	1前	2	○								兼1	
	中国古典小説	1前	2	○								兼1	
	生と死の哲学～哲学から宗教へ～	1前	2	○								兼1	
	文学と美術を歴史学で読み解く～日本古代史入門～	1前	2	○								兼1	
	山国信州の風土と暮らし(風土の中の衣食住)	1前	2	○								兼1	
	日本の屋根・信州の風土と暮らし	1後	2	○								兼1	
	モバイルデバイスで習うE-TOEICコース	1前・後	2	○								兼1	
	中世英語文献学入門	1後	2	○								兼1	
	「右肩下がり」の時代を生き抜くための倫理学	1前	2	○								兼1	
	言語哲学入門	1後	2	○								兼1	
	「優れた言語学習者」から考える日本語教育学	1後	2	○								兼1	
	恋愛小説を読むー比較文学への招待ー	1後	2	○								兼1	
	フランス文学概論	1前	2	○								兼1	
	日本文学概論	1後	2	○								兼1	
	映像で見て読んで考えるアメリカ	1後	2	○								兼1	
	時に挑む科学と文学	1後	2	○								兼1	
	アフリカ社会論	1前	2	○								兼1	
	韓国の文化(食文化)	1前	2	○								兼1	
	韓国の文化(映画で学ぶ)	1前	2	○								兼1	
	韓国の文化(若者の世界)	1後	2	○								兼1	
	韓国の文化(メディア)	1後	2	○								兼1	
	ドイツ語圏の文化Ⅰ	1前	2	○								兼2	オムニハス
	ドイツ語圏の文化Ⅱ	1後	2	○								兼2	オムニハス
	アフリカ文化論	1前	2	○								兼1	
	中国の文化(現代中国事情①)	1前	2	○								兼1	
	中国の文化(現代中国事情②)	1後	2	○								兼1	
	ロシアの文化(風土と歴史)	1前	2	○								兼1	
	スペイン語圏の文化(ラテンアメリカ)	1後	2	○								兼1	
ドイツ語圏の文化Ⅲ	1前	2	○								兼1		
ドイツ語圏の文化Ⅳ	1後	2	○								兼1		
欧米文化(映画で見る未来像)	1前	2	○								兼1		
フランス語圏の文化	1後	2	○								兼1		
スペイン語圏の文化(スペイン)	1前	2	○								兼1		
科学論	1後	2	○								兼5	オムニハス	
囲碁で養う考える力	1前	2	○								兼1	集中	
明日を生きるための心理学 リスク社会と防災を学ぶ	1前	2	○								兼1		
ベンチャービジネス概論	1前	2	○								兼3	オムニハス	

共通教育科目	キャリアとしての公務員	1後	2	○							兼1	
	スポーツ考現学	1前・後	2	○							兼1	
	スポーツ文化を考える	1後	2	○							兼1	
	国際理解と多文化共生を考える I	1前	2	○							兼1	
	国際理解と多文化共生を考える II	1後	2	○							兼1	
	国際教養A	1前・後	2	○							兼2	集中
	国際教養B	1前・後	2	○							兼2	集中
	臨床心理学	1前	2	○							兼1	
	大学生が出会う法律問題	1前	2	○							兼14	オムニバス
	世界経済の歩み	1後	2	○				1				
	家族と法	1前	2	○							兼1	
	メディア心理学	1後	2	○							兼1	
	ポジティブ心理学	1前	2	○							兼1	
	消費社会学入門	1前	2	○							兼1	
	コミュニティの社会心理学	1後	2	○							兼1	
	臨床心理学概論	1後	2	○							兼1	
	青年の海外ボランティア活動	1後	2	○							兼1	
	キャリア形成論 I	1前	2	○							兼2	
	キャリア形成論 II	1後	2	○							兼2	
	手話コミュニケーションと社会	1後	2	○							兼2	
	手話と社会	1前	2	○							兼2	
	日本国憲法	1前・後	2	○							兼3	
	地域活性化システム論	1前	2	○							兼3	オムニバス
	公法入門	1後	2	○							兼1	
	法学入門	1前	2	○							兼1	
	現代政治分析	1前	2	○							兼1	
	社会学群	ミクロ経済学入門	1後	2	○		2	2	1			オムニバス
		マクロ経済学入門	1前	2	○		3	2				オムニバス
		大学生が出会う経済・経営問題	1後	2	○		2	3				オムニバス
		障害と共生社会	1前	2	○						兼1	
		大学生から始めるキャリアデザイン	1前	2	○						兼3	オムニバス
		世界で今何が起きているのか? - I	1前	2	○						兼1	
		世界で今何が起きているのか? - II	1後	2	○						兼1	
		統計データから読み解く社会	1後	2	○						兼1	
		法学概論 I	1前	2	○						兼1	
		法学概論 II	1後	2	○						兼1	
		多様性の中で自分を活かす (異文化理解とコミュニケーション)	1前	2	○						兼1	
		多様性の中で自分を活かす (協働のスキル)	1後	2	○						兼1	
		グローバル人材論 (グローバルキャリアデザイン)	1前	2	○						兼1	
		グローバル人材論 (「グローバル」マインド養成)	1後	2	○						兼1	
		RESAS～教育を、社会を、地域研究を見据えたリーサス～	1後	2	○						兼1	
	心理学概論	1後	2	○						兼7	オムニバス	
	知っておくべき知的財産と研究倫理の基本	1前	2	○						兼1		
	証券・投資から育む「生きる力・考える力」(証券証券寄付講義)	1前	2	○						兼1		
	この国はどんな国-グローバル社会を生きるために-I	1前	2	○						兼1		
	この国はどんな国-グローバル社会を生きるために-II	1後	2	○						兼1		
	戦後政策と公法	1後	2	○						兼1		
	ジェンダー論	1後	2	○						兼1		
	ヒューマンセクシュアリティ	1後	2	○						兼3	オムニバス	
	新聞と私たちの社会 (信濃毎日新聞社寄付講義)	1後	2	○						兼1		
	教を読む技術	1前・後	2	○						兼1		
	電子出版の現代	1前	2	○						兼1		
	家庭生活基礎A	1後	2	○						兼7	オムニバス	
	キャリアビジョンと男女共同参画：誰もが輝く社会を考える	1前	2	○						兼5		
	プログラミング入門	1後	2	○			1					
	基本法学	1後	2	○						兼1		
	税法入門講義	1前	2	○						兼1		
	市民社会と法	1前	2	○						兼1		
	伝えておきたい数学	1前	2	○						兼1		
	教養としての物理学	1前	2	○						兼1		
	観測天文学入門	1後	2	○						兼1		
	生活のなかの天文学	1前	2	○						兼1		

自然科学群	現代医療における物理学	1後	2	○							兼1			
	物理学の世界	1前	2	○							兼1			
	Activity-Based Astronomy--現代天文学入門	1前	2	○							兼1			
	時間と空間の物理学	1前	2	○							兼1			
	物理へのいざない	1後	2	○							兼11	オムニバス		
	応用化学～千夜一夜～	1前	2	○							兼13	オムニバス		
	生活の中の高分子	1前	2	○							兼13	オムニバス		
	基礎分子遺伝学の世界	1後	2	○							兼2	オムニバス		
	バイオリソースと生命科学	1後	2	○							兼2	オムニバス		
	生態学入門	1後	2	○							兼1			
	地域から学ぶ地球	1前	2	○							兼1			
	教養としての物質科学	1後	2	○							兼1			
	ニューバイオテクノロジー入門	1後	2	○							兼5	オムニバス		
	動物と私たちの暮らし	1前	2	○							兼8	オムニバス		
	動物生命科学	1後	2	○							兼7	オムニバス		
	食と植物の文化論	1後	2	○							兼4	オムニバス		
	応用生物学への招待	1前	2	○							兼14	オムニバス		
	食と微生物	1後	2	○							兼9	オムニバス		
	ネットワーク社会における情報科学	1前・後	2	○							兼1			
	統計学の基礎	1前・後	2	○							兼1			
	検索の科学	1前・後	2	○							兼1			
	情報学入門 (コンピュータの構成、アルゴリズム)	1前	2	○							兼2	オムニバス		
	情報学入門 (プログラミング、ネットワーク)	1後	2	○							兼2	オムニバス		
	統計学入門	1前	2	○							兼1			
	ベイズ統計学入門	1後	2	○							兼1			
	脳の不思議を探る (認知神経科学入門)	1前	2	○							兼1			
	脳の不思議をもっと探る (認知神経科学入門)	1後	2	○							兼1			
	宇宙から原子への旅	1前	2	○							兼10	オムニバス		
	国際看護学 I	1前	2	○							兼1			
	国際技術論	1前	2	○							兼1			
	科学技術政策と研究開発	1後	2	○							兼1			
	健康管理と生活習慣【佐久大学開講】	1後	2	○							兼1			
	体育・スポーツ群	ソフトボール	1前	1		○						兼1		
		テニス	1前	1		○						兼1		
		アダブテッドスポーツ	1後	1		○						兼1		
		弓道	1前	1		○						兼1		
コーディネーションエクササイズ		1前	1		○						兼1			
剣道形の世界		1前	1		○						兼1			
バドミントン		1前	1		○						兼2			
サッカー		1前・後	1		○						兼1			
バレーボール		1前	1		○						兼1			
フライングディスク		1前	1		○						兼1			
トレッキング		1前	1		○						兼5	集中		
ゴルフ		1前	1		○						兼2	集中		
スポーツフィッシング		1前	1		○						兼1	集中		
マリンスポーツ		1前	1		○						兼1	集中		
信大マラソン		1前	1		○						兼1	集中		
アウトドアの達人		1前	1		○						兼2	集中		
サバイバル活動		1前	1		○						兼1	集中		
スクーバダイビング		1後	1		○						兼2	集中		
レジャースポーツ		1前	1		○						兼1	集中		
スポーツボウリング		1後	1		○						兼1			
ニュースポーツ		1後	1		○						兼1	集中		
アスレティックトレーニング		1後	1		○						兼1			
バスケットボール		1後	1		○						兼1			
ネイチャースキー		1後	1		○						兼2	集中		
スノー・スポーツ		1後	1		○						兼12	集中		
アウトドアマスター I		2前	1		○						兼1	集中		
アウトドアマスター II	2前	1		○						兼4	集中			
ゴルフマスター I	2前	1		○						兼1	集中			
ゴルフマスター II	2前	1		○						兼1	集中			
小計 (296科目)	—	0	563	0	—			7	8	2	0	0	兼345	—



基礎科目	外国語科目	英語	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅠ（上級）	1前	1			○					兼11	
			フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅠ（中級）	1前	1			○					兼17	
			フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅠ（初級）	1前	1			○					兼14	
			フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅠ	1前・後	1			○					兼3	
			フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅡ（上級）	1後	1			○					兼11	
			フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅡ（中級）	1後	1			○					兼15	
			フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅡ（初級）	1後	1			○					兼14	
			フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅡ	1後	1			○					兼1	
			コミュニケーション・イングリッシュⅠ（上級）	1前	1			○					兼6	
			コミュニケーション・イングリッシュⅠ（中級）	1前	1			○					兼5	
			コミュニケーション・イングリッシュⅠ（初級）	1前	1			○					兼4	
			コミュニケーション・イングリッシュⅡ（上級）	1後	1			○					兼5	
			コミュニケーション・イングリッシュⅡ（中級）	1後	1			○					兼5	
			コミュニケーション・イングリッシュⅡ（初級）	1後	1			○					兼4	
			リスニング&リーディングⅠ（上級）	1前	1			○					兼6	
			リスニング&リーディングⅠ（中級）	1前	1			○					兼5	
			リスニング&リーディングⅠ（初級）	1前	1			○					兼9	
			リスニング&リーディングⅠ	1前	1			○					兼1	
			リスニング&リーディングⅡ（上級）	1後	1			○					兼5	
			リスニング&リーディングⅡ（中級）	1後	1			○					兼5	
			リスニング&リーディングⅡ（初級）	1後	1			○					兼9	
			リスニング&リーディングⅡ	1後	1			○					兼1	
			リーディング・プラスⅠ	1前	1			○					兼1	
			リーディング・プラスⅡ	1後	1			○					兼1	
			アカデミック・イングリッシュⅠ（上級）	2前	2			○					兼8	
			アカデミック・イングリッシュⅠ（中級）	2前	2			○					兼19	
			アカデミック・イングリッシュⅠ（初級）	2前	2			○					兼14	
			アカデミック・イングリッシュⅡ（上級）	2後	2			○					兼8	
			アカデミック・イングリッシュⅡ（中級）	2後	2			○					兼20	
			アカデミック・イングリッシュⅡ（初級）	2後	2			○					兼17	
			ドイツ語	ドイツ語初級（総合）Ⅰ	1前	1			○					兼2
				ドイツ語初級（総合）Ⅱ	1後	1			○					兼2
				ドイツ語初級（文法）Ⅰ	1前	1			○					兼3
				ドイツ語初級（文法）Ⅱ	1前・後	1			○					兼3
				ドイツ語初級（読解・会話）Ⅰ	1前・後	1			○					兼2
				ドイツ語初級（読解・会話）Ⅱ	1後	1			○					兼2
				ドイツ語中級（読解）Ⅰ	2前	2			○					兼2
				ドイツ語中級（読解）Ⅱ	2後	2			○					兼1
				ドイツ語中級（会話）Ⅰ	2前	2			○					兼1
				ドイツ語中級（会話）Ⅱ	2後	2			○					兼1
				ドイツ語演習Ⅰ	2前	2			○					兼2
				ドイツ語演習Ⅱ	2後	2			○					兼2
フランス語	フランス語初級（総合）Ⅰ	1前		1			○					兼1		
	フランス語初級（総合）Ⅱ	1後	1			○					兼1			
	フランス語初級（文法）Ⅰ	1前	1			○					兼1			
	フランス語初級（文法）Ⅱ	1後	1			○					兼1			
	フランス語初級（読解・会話）Ⅰ	1前	1			○					兼2			
	フランス語初級（読解・会話）Ⅱ	1後	1			○					兼2			
	フランス語中級（読解・会話）Ⅰ	2前	2			○					兼1			
	フランス語中級（読解・会話）Ⅱ	2後	2			○					兼1			
	フランス語演習Ⅰ	2前	2			○					兼1			
	フランス語演習Ⅱ	2後	2			○					兼1			
中国語	中国語初級（総合）Ⅰ	1前	1			○					兼1			
	中国語初級（総合）Ⅱ	1後	1			○					兼1			
	中国語初級（文法）Ⅰ	1前	1			○					兼2			
	中国語初級（文法）Ⅱ	1後	1			○					兼2			
	中国語初級（読解・会話）Ⅰ	1前	1			○					兼4			
	中国語初級（読解・会話）Ⅱ	1後	1			○					兼4			
	中国語演習Ⅰ	2前	2			○					兼2			
	中国語演習Ⅱ	2後	2			○					兼2			
ハンデル初級（総合）Ⅰ	ハンデル初級（総合）Ⅰ	1前	1			○					兼1			
	ハンデル初級（総合）Ⅱ	1後	1			○					兼1			
	ハンデル初級（文法）Ⅰ	1前	1			○					兼1			

ハン グ ル	ハングル初級（文法）Ⅱ	1後	1				○									兼1	
	ハングル初級（読解・会話）Ⅰ	1前	1				○									兼1	
	ハングル初級（読解・会話）Ⅱ	1後	1				○									兼1	
	ハングル中級（読解・会話）Ⅰ	2前	2				○									兼1	
	ハングル中級（読解・会話）Ⅱ	2後	2				○									兼1	
	ハングル中級Ⅰ	2前	2				○									兼1	
	ハングル中級Ⅱ	2後	2				○									兼1	
	ハングル演習Ⅰ	2前	2				○									兼1	
ハングル演習Ⅱ	2後	2				○									兼1		
ス ペ イ ン 語	スペイン語初級（総合）Ⅰ	1前	1						○							兼1	
	スペイン語初級（総合）Ⅱ	1後	1						○							兼1	
	スペイン語初級（文法）Ⅰ	1前	1						○							兼2	
	スペイン語初級（文法）Ⅱ	1前	1						○							兼2	
	スペイン語初級（読解・会話）Ⅰ	1後	1						○							兼1	
	スペイン語初級（読解・会話）Ⅱ	1後	1						○							兼1	
	スペイン語中級（読解・会話）Ⅰ	2前	2					○								兼1	
	スペイン語中級（読解・会話）Ⅱ	2後	2					○								兼1	
スペイン語演習Ⅰ	2前	2					○								兼1		
スペイン語演習Ⅱ	2後	2					○								兼1		
小計（82科目）	—	0	110	0	—				0	0	0	0	0	0	0	兼69	—
健康科学・理論と実践	1前	1					○									兼3	※実技・オムニバス
小計（1科目）	—	1	0	0	—				0	0	0	0	0	0	0	兼3	—
新入生ゼミナール	1前	2					○		9	8	0	0	0	0	0	兼7	—
小計（1科目）	—	2	0	0	—				9	8	0	0	0	0	0	兼7	—
日 本 語 ・ 日 本 事 情	日 本 語	読解（日本語）Ⅰ	1前	1												兼2	※外国人留學生のみ
		読解（日本語）Ⅱ	1後	1												兼2	
		作文（日本語）Ⅰ	1前	1												兼2	
		作文（日本語）Ⅱ	1後	1												兼2	
		科学技術日本語Ⅰ	1前	1												兼1	
		科学技術日本語Ⅱ	1後	1												兼1	
		ビジネス・ジャパニーズⅠ	1前	1												兼1	
		ビジネス・ジャパニーズⅡ	1後	1												兼1	
		日本語表現・文型Ⅰ	1前	1												兼1	
	日本語表現・文型Ⅱ	1後	1												兼1		
	聴解（日本語）Ⅰ	1前	1												兼2		
	聴解（日本語）Ⅱ	1後	1												兼2		
	口頭表現Ⅰ	1前	1												兼1		
	口頭表現Ⅱ	1後	1												兼1		
	日 本 事 情	日本社会と日本人Ⅰ	1前	2				○									
日本社会と日本人Ⅱ		1後	2				○									兼1	
武道・伝統文化実習Ⅰ		1前	1												兼2		
武道・伝統文化実習Ⅱ		1後	1												兼2		
小計（18科目）	—	0	20	0	—				0	0	0	0	0	0	0	兼8	—
導 入 科 目	人文科学通論Ⅰ	1前	2				○		9	4							オムニバス
	人文科学通論Ⅱ	1後	2				○		9	4							オムニバス
基 礎 科 目	比較文学概論Ⅰ	1・2前	2				○		1								
	比較文学概論Ⅱ	1・2後	2				○		1								
	中国文学概論Ⅰ	1・2前	2				○		1								
	中国文学概論Ⅱ	1・2後	2				○		1								
	中国語学概論Ⅰ	1・2前	2				○			1							
	中国語学概論Ⅱ	1・2後	2				○			1							
	ドイツ言語文化概論Ⅰ	1・2前	2				○			1							
	ドイツ言語文化概論Ⅱ	1・2後	2				○					1					
	フランス言語文化概論Ⅰ	1・2前	2				○		1					1			
	フランス言語文化概論Ⅱ	1・2後	2				○			1							
比 較 文 学	比較文学特論Ⅰ	2・3後	2				○		1								隔年
	比較文学特論Ⅱ	2・3後	2				○		1								隔年
	比較文学特論Ⅲ	2・3前	2				○		1								隔年
	比較文学特論Ⅳ	2・3後	2				○		1								隔年
	比較文学特論Ⅴ	2・3前	2				○		1								隔年
	比較文学特論Ⅵ	2・3後	2				○		1								隔年
	比較文学基幹演習Ⅰ	2・3前	2				○		1								隔年
	比較文学基幹演習Ⅱ	2・3後	2				○		1								隔年

専 門 科 目	基 幹 科 目	比較文学基幹演習Ⅲ	2・3前	2		○	1					隔年	
		比較文学基幹演習Ⅳ	2・3後	2		○	1					隔年	
		中国語学・中国文学特論Ⅰ	2・3前	2		○	1					隔年	
		中国語学・中国文学特論Ⅱ	2・3後	2		○	1					隔年	
		中国語学・中国文学特論Ⅲ	2・3前	2		○	1					隔年	
		中国語学・中国文学特論Ⅳ	2・3後	2		○		1				隔年	
		中国語学・中国文学特論Ⅴ	2・3前	2		○		1				隔年	
		中国語学・中国文学特論Ⅵ	2・3後	2		○		1				隔年	
		中国語学・中国文学基幹演習Ⅰ	2・3前	2			○	1				隔年	
		中国語学・中国文学基幹演習Ⅱ	2・3後	2			○	1				隔年	
		中国語学・中国文学基幹演習Ⅲ	2・3前	2			○	1				隔年	
		中国語学・中国文学基幹演習Ⅳ	2・3後	2			○		1			隔年	
		中国語学・中国文学基幹演習Ⅴ	2・3前	2			○		1			隔年	
		中国語学・中国文学基幹演習Ⅵ	2・3前	2			○		1			隔年	
		西洋文化事情Ⅰ	2・3前	2			○						兼1
		西洋文化事情Ⅱ	2・3後	2			○						兼1
		ドイツ言語文化特論Ⅰ	2・3後	2			○						兼1
		ドイツ言語文化特論Ⅱ	2・3後	2			○						兼1
		ドイツ言語文化特論Ⅲ	2・3前	2			○						兼1
		ドイツ言語文化特論Ⅳ	2・3前	2			○						兼1
		ドイツ言語文化特論Ⅴ	2・3前	2			○			1			
		ドイツ言語文化特論Ⅵ	2・3前	2			○			1			
		ドイツ言語文化基幹演習Ⅰ	2・3前	2				○			1		
		ドイツ言語文化基幹演習Ⅱ	2・3前	2				○		1			
		ドイツ言語文化基幹演習Ⅲ	2・3前	2				○				1	兼1
		ドイツ言語文化基幹演習Ⅳ	2・3前	2				○				1	
		ドイツ言語文化基幹演習Ⅴ	2・3前	2				○				1	
		ドイツ言語文化基幹演習Ⅵ	2・3後	2				○				1	
		フランス言語文化特論Ⅰ	2・3前	2			○		1				隔年
		フランス言語文化特論Ⅱ	2・3後	2			○		1				隔年
		フランス言語文化特論Ⅲ	2・3前	2			○		1				隔年
		フランス言語文化特論Ⅳ	2・3後	2			○			1			隔年
		フランス言語文化特論Ⅴ	2・3前	2			○			1			隔年
		フランス言語文化特論Ⅵ	2・3後	2			○			1			隔年
		フランス言語文化基幹演習Ⅰ	2・3前	2				○	1				隔年
		フランス言語文化基幹演習Ⅱ	2・3後	2				○	1				隔年
フランス言語文化基幹演習Ⅲ	2・3前	2				○	1				隔年		
フランス言語文化基幹演習Ⅳ	2・3後	2				○	1				隔年		
フランス言語文化基幹演習Ⅴ	2・3前	2				○	1				隔年		
フランス言語文化基幹演習Ⅵ	2・3後	2				○	1				隔年		
専 門 科 目	発 展 科 目	比較文学発展演習Ⅰ	3・4前	2		○	1					隔年	
		比較文学発展演習Ⅱ	3・4後	2		○	1					隔年	
		比較文学発展演習Ⅲ	3・4前	2			○	1				隔年	
		比較文学発展演習Ⅳ	3・4後	2			○	1				隔年	
		中国語学・中国文学発展演習Ⅰ	3・4前	2			○	1				隔年	
		中国語学・中国文学発展演習Ⅰ	3・4後	2			○	1				隔年	
		中国語学・中国文学発展演習Ⅰ	3・4前	2			○	1				隔年	
		中国語学・中国文学発展演習Ⅰ	3・4後	2			○		1			隔年	
		中国語学・中国文学発展演習Ⅰ	3・4前	2			○		1			隔年	
		中国語学・中国文学発展演習Ⅰ	3・4前	2			○		1			隔年	
		ドイツ言語文化発展講義Ⅰ	3・4前	2			○			1			
		ドイツ言語文化発展講義Ⅱ	3・4前	2			○				1		
		ドイツ言語文化発展講義Ⅲ	3・4後	2			○				1		
		ドイツ言語文化発展講義Ⅳ	3・4後	2			○				1		
		ドイツ言語文化発展講義Ⅴ	3・4後	2			○			1			隔年
		ドイツ言語文化発展講義Ⅵ	3・4後	2			○				1		隔年
		海外短期研修Ⅰ	3・4通	2				○	1				
		フランス言語文化発展演習Ⅰ	3・4前	2			○		1				隔年
		フランス言語文化発展演習Ⅱ	3・4後	2			○		1				隔年
		フランス言語文化発展演習Ⅲ	3・4前	2			○		1				隔年
		フランス言語文化発展演習Ⅳ	3・4後	2			○			1			隔年
		フランス言語文化発展演習Ⅴ	3・4前	2				○		1			隔年
フランス言語文化発展演習Ⅵ	3・4後	2				○		1			隔年		

コース一般科目	古典語Ⅰ	2・3前	2	○		1							隔年	
	古典語Ⅱ	2・3後	2	○		1							隔年	
	古典語Ⅲ	2・3前	2	○			1						隔年	
	古典語Ⅳ	2・3後	2	○			1						隔年	
	ドイツ語コミュニケーション中級Ⅰ	2前	1		○								兼1	
	ドイツ語コミュニケーション中級Ⅱ	2後	1		○								兼1	
	ドイツ語コミュニケーション上級Ⅰ	3・4前	1		○								兼1	
	ドイツ語コミュニケーション上級Ⅱ	3・4後	1		○								兼1	
	フランス語コミュニケーション中級Ⅰ	2前	1		○		1						隔年	
	フランス語コミュニケーション中級Ⅱ	2後	1		○		1						隔年	
	フランス語コミュニケーション上級Ⅰ	3・4前	1		○								兼1	
	フランス語コミュニケーション上級Ⅱ	3・4前	1		○								兼1	
	中国語コミュニケーション中級Ⅰ	3・4前	1		○								兼1	
	中国語コミュニケーション中級Ⅱ	3・4後	1		○								兼1	
	中国語コミュニケーション上級Ⅰ	3・4前	1		○								兼1	
	中国語コミュニケーション上級Ⅱ	3・4後	1		○								兼1	
	西洋文化事情Ⅰ	2・3前	2		○								兼1	
	西洋文化事情Ⅱ	2・3後	2		○								兼1	
	東洋文化事情Ⅰ	2・3前	2		○								兼1	
	東洋文化事情Ⅱ	2・3後	2		○								兼1	
朝鮮言語文化特論Ⅰ	2・3前	2		○								兼1		
朝鮮言語文化特論Ⅱ	2・3後	2		○								兼1		
海外短期研修Ⅰ	3・4通	2			○							兼1		
研究科目	卒業論文	4通	10		○		4	2	0	1	0			
	小計(107科目)	—	14	196	0	—	13	4	0	1	0		兼7	
社会交流科目	現代職業論Ⅰ	2・3前		2	○								兼2	
	現代職業論Ⅱ	2・3後		2	○			1						
	インターンシップ企業体験実習	3・4通		2		○	1						集中	
芸員関係科目	生涯学習概論	1・2前		2	○								兼1	
	博物館概論	1・2後		2	○								兼1	
	博物館教育論	1・2前		2	○								兼1	
	博物館資料論	2・3後		2	○								兼4	
	博物館資料保存論	2・3前		2	○								兼7	
	博物館展示論	2・3後		2	○								兼3	
	博物館経営論	2・3前		2	○			1					兼1	
	博物館情報・メディア論	2・3後		2	○								兼3	
	博物館実習Ⅰ	3前		1		○	1	1						
	博物館実習Ⅱ	4後		1		○	1	1						
	博物館実習Ⅲ	4前		1		○	1	1						
	特別選択科目	教職論	2・3前後		2	○								兼1
		教育学概論	2・3前後		2	○								兼1
学校教育の歴史と現状(日本教育史)		2・3前後		1	○								兼1	
教育思想論		2・3前後		1	○								兼1	
教育心理学概論		2・3前後		2	○								兼1	
発達心理学概論		2・3前後		2	○								兼1	
特別支援教育の理論		2・3前後		1	○								兼1	
発達障害の理解と指導		2・3前後		2	○								兼1	
教育経営学概論		2・3前後		1	○								兼1	
教育行政学概論		2・3前後		2	○								兼1	
教育法学概論		2・3前後		2	○								兼1	
教育社会学概論		2・3前後		2	○								兼1	
教育課程の編成法		2・3前後		1	○								兼1	
教育方法論		2・3前後		1	○								兼1	
教育方法特論		2・3前後		1	○								兼1	
道德教育の理論と実践		2・3前後		2	○								兼1	
特別活動の理論と実践		2・3前後		1	○								兼1	
生徒指導の理論と実践		2・3前後		2	○								兼1	
キャリア教育の理論と実践		2・3前後		2	○								兼1	
教育相談の理論と実践		2・3前後		2	○								兼1	
カウンセリング概論		2・3前後		2	○								兼1	
障害の理解と指導		2・3前後		1	○								兼1	
現代社会と子どもの学習		2・3前後		2	○								兼1	
社会科・地理歴史科指導法	2・3前		2	○				1						

係科目	社会科・公民科指導法	2・3後		2	○				2										
	教職のための情報・メディア活用	2・3前		2	○		1												
	社会科・地理歴史科指導法特論Ⅰ	2・3前		2	○				1										
	社会科・地理歴史科指導法特論Ⅱ	2・3後		2	○						1								
	社会科・公民科指導法特論Ⅰ	2・3前		2	○								2						
	社会科・公民科指導法特論Ⅱ	2・3後		2	○									2					
	中学校教育実習	4前		4		○		1											
	国語科指導法Ⅰ	2・3前		2	○			1											
	国語科指導法Ⅱ	2・3後		2	○								1						
	英語科指導法Ⅰ	2・3前		2	○									1					
	英語科指導法Ⅱ	2・3後		2	○										1				
	ドイツ語科指導法Ⅰ	2・3前		2	○										1				
	ドイツ語科指導法Ⅱ	2・3後		2	○											1			
	中国語科指導法Ⅰ	2・3前		2	○										1				
	中国語科指導法Ⅱ	2・3後		2	○											1			
	国語科指導法特論Ⅰ	2・3前		2	○				1										
	国語科指導法特論Ⅱ	2・3後		2	○									1					
	英語科指導法特論Ⅰ	2・3前		2	○										1				
	英語科指導法特論Ⅱ	2・3後		2	○											1			
	中国語科指導法特論Ⅰ	2・3前		2	○											1			
	中国語科指導法特論Ⅱ	2・3後		2	○												1		
	教育実習事前・事後指導	4前後		1	○				1										
	高等学校教育実習	4前後		2				○	1										
	教職実践演習（中・高）	4前後		2		○												兼1	
	公認心理士関係科目	発達心理学	2・3前		2	○													兼1
		障害者・障害児心理学	2・3後		2	○													兼1
		人体の構造と機能及び疾病	2・3前		2	○													兼1
		精神疾患とその治療	2・3後		1	○													兼1
		関係行政論	2・3前		2	○													兼1
		小計（67科目）		—	0	21	101	—	3	9	1	0	0	0	0	0	0	0	兼37
	合計（572科目）			—	17	912	101	—	17	15	0	1	0	0	0	0	0	0	兼439
	学位又は称号		学士（文学）	学位又は学科の分野				文学関係											
卒業要件及び履修方法							授業期間等												
1. 共通教育科目 38単位以上 (1) 教養科目 19単位以上 ①環境科学群 2単位以上 ②環境科学群, 人文科学群, 社会科学群, 自然科学群, 体育・スポーツ群のうち 3つ以上の科学群が必修 (2) 外国語科目 8単位 ①英語 8単位 ②初修外国語 8単位 (3) 健康科学科目 1単位 (4) 新入生ゼミナル科目 2単位 2. 専門科目 92単位以上 3. 履修科目の登録の上限 ①1年次は共通教育科目を含め1学期28単位 ②2年次以降1学期24単位							1学年の学期区分			2期									
							1学期の授業期間			15週									
							1時限の授業時間			90分									

別記様式第2号 (その2の1)

基礎となる学部		教育課程等の概要														
(人文学部人文学科 英米言語文化コース)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
	技術とエネルギーの入門ゼミ	1後		2				○							兼4	オムニバス
	生態資源論ゼミ	1前・後		2				○							兼1	
	地球白書ゼミ	1前・後		2				○							兼1	集中
	環境マインドを現場で体験するゼミ	1前		2				○							兼3	
	土壌学ゼミ	1前		2				○							兼1	
	植物生態学ゼミ	1前		2				○							兼1	
	環境マインドを現場で体験するゼミ (熱帯雨林)	1後		2				○							兼1	集中
	芸術教養美術ゼミ	1前・後		2				○							兼1	
	芸術教養音楽ゼミ	1後		2				○							兼7	オムニバス
	「時」について考えるゼミ	1後		2				○							兼1	
	アジアの中の日本ゼミ I	1前		2				○							兼1	
	アジアの中の日本ゼミ II	1後		2				○							兼1	
	原書で読むシャーロック・ホームズゼミ	1後		2				○							兼1	
	現代ドイツの言語と日常ゼミ	1前		2				○							兼1	
	現代ドイツ事情ゼミ	1後		2				○							兼1	
	異文化研究ゼミ	1後		2				○							兼1	
	感覚で攻める英文法ゼミ～覚える英文法から感じる英文法へ	1前・後		2				○							兼1	
	日本近現代史入門ゼミ	1後		2				○							兼1	
	西洋古典語の世界ゼミ	1後		2				○							兼1	
	古文書で学ぶ近世ゼミ	1前		2				○							兼1	
	比較哲学入門ゼミ	1後		2				○							兼1	
	フィールドワーク入門ゼミ	1前		2				○							兼1	
	日中比較文学ゼミ	1後		2				○							兼1	
	発信のためのやさしい英文文練習ゼミ	1前		2				○							兼1	
	中国古典小説ゼミ	1後		2				○							兼1	
	法言語学(司法制度とことば)ゼミ	1後		2				○							兼1	
	翻訳入門ゼミ	1後		2				○							兼1	
	シェイクスピアを読むゼミ	1後		2				○							兼1	
	異文化コミュニケーション (海外留学)ゼミ	1前・後		2				○							兼1	
	外国語教育を考えるゼミ	1後		2				○							兼1	
	ことばについて考えるゼミ	1後		2				○							兼1	
	中国思想の古典で学ぶゼミ	1前		2				○							兼1	
	変体仮名入門ゼミ	1前		2				○							兼1	
	フランス文学ゼミ	1前		2				○							兼1	
	英語資格試験対策ゼミ	1前		2				○							兼1	
	シルシル信知るゼミ	1前		2				○							兼2	オムニバス・集中
	もっと知りたい韓国ゼミ	1前		2				○							兼1	
	スポーツ・ホスピタリティゼミ 秋冬編(松本山雅FC連携ゼミ)	1後		2				○							兼1	
	スポーツ・ホスピタリティゼミ 春夏編(松本山雅FC連携ゼミ)	1前		2				○							兼1	
	スポーツ観戦文化論ゼミ	1前・後		2				○							兼1	
	テレビのメディアリテラシー (テレビ信州参与ゼミ)	1前		2				○							兼1	
	大学改革への学生参加ゼミ	1後		2				○							兼1	
	「考える」ゼミ	1前・後		2				○							兼1	
	しょうがいスポーツゼミ	1前		2				○							兼3	オムニバス
	心理学思考法ゼミ	1前		2				○							兼1	
	身体心理学ゼミ	1後		2				○							兼1	
	環境心理学ゼミ	1前		2				○							兼1	
	経済学の視点で考える企業行動ゼミ 基礎編	1前		2				○			1					
	経済学の視点で考える企業行動ゼミ 応用編	1後		2				○			1					
	社会科学文献講読ゼミ I	1後		2				○							兼1	
	社会科学文献講読ゼミ II	1後		2				○							兼1	
	地域ブランド実践ゼミ	1後		2				○							兼3	オムニバス

社会科学の方法ゼミ	1後	2							兼1	
社会格差を考えるゼミ：勝者と敗者の本当の姿	1後	2							兼1	
質問紙調査入門ゼミ	1後	2							兼1	
キャリアデザイン実践ゼミ	1後	2							兼3	
化学計算入門ゼミ	1前・後	2							兼1	
大学を知るゼミ	1後	2							兼1	
ロボティクス入門ゼミ	1前・後	2							兼1	
自然誌・博物学ゼミ	1前	2							兼3	オムニバス
ものづくり入門ゼミ	1後	2							兼2	オムニバス
文系学生のための野外地質学ゼミ	1前	2							兼3	集中
利己的遺伝子説から生物像を描くゼミ	1後	2							兼1	
統計図解ゼミ	1後	2							兼1	
アナログ再発見ゼミ	1前・後	2							兼1	
情報社会論ゼミ	1前・後	2							兼1	
Web制作ゼミ	1前・後	2							兼1	
新聞で広げる社会の見方ゼミ（信濃毎日新聞社寄付講義）	1後	2							兼1	
ネットワーク時代の古典を原著で読むゼミ	1後	2							兼1	
人工知能を知ろうゼミ	1前・後	2							兼1	
大学生基礎力ゼミ	1前・後	2							兼14	
新聞をつくらう！（MGプレス制作ゼミ）	1前	2							兼1	
スポーツ活動論ゼミ I	1前	2							兼1	
スポーツ活動論ゼミ II	1後	2							兼1	集中
ドイツ環境ゼミ	1後	2							兼1	集中
自然活動論ゼミ	1前	2							兼1	
自然と人間を考えるゼミ	1後	2							兼1	
臨床検査を体験するゼミ	1後	2							兼11	オムニバス
体と心のリハビリテーションを考えるゼミ	1前	2							兼11	オムニバス
身体運動科学ゼミ	1前	2							兼1	
課題解決実践ゼミ	1後	2							兼3	オムニバス
科学リテラシー入門ゼミ	1後	2							兼1	
経済数学ゼミ I	1前	2					1			
経済数学ゼミ II	1後	2					1			
民法入門ゼミ	1後	2							兼1	
税法入門ゼミ	1後	2							兼1	
リアル・プロジェクトマネジメントゼミ	1後	2							兼3	集中
国際関係論ゼミ	1後	2							兼1	
物理学入門ゼミ	1前	2							兼1	
幾何学入門ゼミ	1前	2							兼1	
素朴な集合論ゼミ	1前	2							兼1	
イノベーション・リテラシーゼミ	1前	2							兼3	集中
										※2単位 選択必修
環境社会学入門	1前・後	2							兼1	
熱帯雨林と社会	1前・後	2							兼1	
Low Energy Building（省エネルギー住宅）	1後	2							兼1	
ライフサイクルアセスメント入門	1前・後	2							兼1	
環境と生活とのかかわり	1前・後	2							兼1	
環境問題のしくみ	1前	2							兼1	
環境科学入門	1前	2							兼1	
グリーンテクノロジー	1前	2							兼9	オムニバス
環境配慮素材と自然エネルギー	1前	2							兼4	オムニバス
エコ水車の開発と地域バイオマス利用	1前	2							兼3	集中・オムニバス
地球環境の歴史	1前	2							兼1	
循環型社会入門	1前	2							兼1	
環境とエネルギー	1後	2							兼1	
環境エネルギー政策論	1後	2							兼1	
ネイチャーライティングのすすめ（環境文学Ⅰ）	1前	2							兼1	
環境文学のすすめ（環境文学Ⅱ）	1後	2							兼1	
自然環境と文化	1後	2							兼1	
環境法入門	1後	2							兼1	
材料の科学と技術（基礎編）	1前	2							兼13	オムニバス
材料の科学と技術（先端編）	1後	2							兼12	オムニバス

教養科目	生物と環境	1後	2	○						兼1	
	自然災害と環境	1前	2	○						兼2	オムニバス
	ナノテクと環境	1後	2	○						兼1	
	人とすまい	1前	2	○						兼6	
	水の環境科学	1後	2	○						兼1	
	森林サイエンス	1前	2	○						兼13	オムニバス
	農山村と環境	1前	2	○						兼10	オムニバス
	環境と緑の文化	1後	2	○						兼3	オムニバス
	農環境保全学	1後	2	○						兼4	オムニバス
	森林・環境共生学概論	1後	2	○						兼2	
	環境と生命の基礎化学	1後	2	○						兼1	
	映像・人類学	1前	2	○						兼1	
	Top Level English (トップレベルイングリッシュ)	1前・後	2	○						兼3	
	「田園環境健康都市須坂」を「共創」(須坂市寄付講義)	1後	2	○						兼1	
	映画史入門	1前	2	○						兼1	
	身体表現レクチャー&ワークショップ	1前	2	○						兼1	
	絶対王政期フランスの制度と社会	1前	2	○						兼1	
	モノの世界史	1前	2	○						兼1	
	世界の音楽	1前	2	○						兼1	
	方言からみた日本語	1後	2	○						兼1	
	江戸時代の本屋さんと本	1前	2	○						兼1	
英語基礎Ⅰ(たてなおしの英語Ⅰ)	1前	2	○						兼1		
英語基礎Ⅱ(たてなおしの英語Ⅱ)	1後	2	○						兼1		
自己発見の方法	1後	2	○						兼1		
日本古典文学入門	1前	2	○						兼1		
中国古典小説	1前	2	○						兼1		
生と死の哲学～哲学から宗教へ～	1前	2	○						兼1		
文学と美術を歴史学で読み解く～日本古代史入門～	1前	2	○						兼1		
山国信州の風土と暮らし(風土の中の衣食住)	1前	2	○						兼1		
日本の屋根・信州の風土と暮らし	1後	2	○						兼1		
モバイルデバイスで習うE-TOEICコース	1前・後	2	○						兼1		
中世英語文献学入門	1後	2	○						兼1		
「右肩下がり」の時代を生き抜くための倫理学	1前	2	○						兼1		
言語哲学入門	1後	2	○						兼1		
「優れた言語学習者」から考える日本語教育学	1後	2	○						兼1		
恋愛小説を読むー比較文学への招待ー	1後	2	○						兼1		
フランス文学概論	1前	2	○						兼1		
日本文学概論	1後	2	○						兼1		
映像で見て読んで考えるアメリカ	1後	2	○						兼1		
時に挑む科学と文学	1後	2	○						兼1		
アフリカ社会論	1前	2	○						兼1		
韓国の文化(食文化)	1前	2	○						兼1		
韓国の文化(映画で学ぶ)	1前	2	○						兼1		
韓国の文化(若者の世界)	1後	2	○						兼1		
韓国の文化(メディア)	1後	2	○						兼1		
ドイツ語圏の文化Ⅰ	1前	2	○						兼2	オムニバス	
ドイツ語圏の文化Ⅱ	1後	2	○						兼2	オムニバス	
アフリカ文化論	1前	2	○						兼1		
中国の文化(現代中国事情①)	1前	2	○						兼1		
中国の文化(現代中国事情②)	1後	2	○						兼1		
ロシアの文化(風土と歴史)	1前	2	○						兼1		
スペイン語圏の文化(ラテンアメリカ)	1後	2	○						兼1		
ドイツ語圏の文化Ⅲ	1前	2	○						兼1		
ドイツ語圏の文化Ⅳ	1後	2	○						兼1		
欧米文化(映画で見る未来像)	1前	2	○						兼1		
フランス語圏の文化	1後	2	○						兼1		
スペイン語圏の文化(スペイン)	1前	2	○						兼1		
科学論	1後	2	○						兼5	オムニバス	
囲碁で養う考える力	1前	2	○						兼1	集中	
明日を生きるための心理学 リスク社会と防災を学ぶ	1前	2	○						兼1		
ベンチャービジネス概論	1前	2	○						兼3	オムニバス	



共通教育科目	キャリアとしての公務員	1後	2	○							兼1	
	スポーツ考現学	1前・後	2	○							兼1	
	スポーツ文化を考える	1後	2	○							兼1	
	国際理解と多文化共生を考える I	1前	2	○							兼1	
	国際理解と多文化共生を考える II	1後	2	○							兼1	
	国際教養A	1前・後	2	○							兼2	集中
	国際教養B	1前・後	2	○							兼2	集中
	臨床心理学	1前	2	○							兼1	
	大学生が会おう法律問題	1前	2	○							兼14	オムニバス
	世界経済の歩み	1後	2	○			1					
	家族と法	1前	2	○							兼1	
	メディア心理学	1後	2	○							兼1	
	ポジティブ心理学	1前	2	○							兼1	
	消費社会学入門	1前	2	○							兼1	
	コミュニティの社会心理学	1後	2	○							兼1	
	臨床心理学概論	1後	2	○							兼1	
	青年の海外ボランティア活動	1後	2	○							兼1	
	キャリア形成論 I	1前	2	○							兼2	
	キャリア形成論 II	1後	2	○							兼2	
	手話コミュニケーションと社会	1後	2	○							兼2	
	手話と社会	1前	2	○							兼2	
	日本国憲法	1前・後	2	○							兼3	
	地域活性化システム論	1前	2	○							兼3	オムニバス
	公法入門	1後	2	○							兼1	
	法学入門	1前	2	○							兼1	
	現代政治分析	1前	2	○							兼1	
	社会科学群	ミクロ経済学入門	1後	2	○		2	2	1			オムニバス
		マクロ経済学入門	1前	2	○		3	2				オムニバス
		大学生が会おう経済・経営問題	1後	2	○		2	3				オムニバス
		障害と共生社会	1前	2	○						兼1	
		大学生から始めるキャリアデザイン	1前	2	○						兼3	オムニバス
		世界で今何が起きているのか? - I	1前	2	○						兼1	
		世界で今何が起きているのか? - II	1後	2	○						兼1	
		統計データから読み解く社会	1後	2	○						兼1	
		法学概論 I	1前	2	○						兼1	
		法学概論 II	1後	2	○						兼1	
		多様性の中で自分を活かす (異文化理解とコミュニケーション)	1前	2	○						兼1	
		多様性の中で自分を活かす (協働のスキル)	1後	2	○						兼1	
		グローバル人材論 (グローバルキャリアデザイン)	1前	2	○						兼1	
		グローバル人材論 (「グローバル」マインド養成)	1後	2	○						兼1	
		RESAS～教育を、社会を、地域研究を見据えたリーサス～	1後	2	○						兼1	
		心理学概論	1後	2	○						兼7	オムニバス
		知っておくべき知的財産と研究倫理の基本	1前	2	○						兼1	
		証券・投資から育む「生きる力・考える力」(証券証券寄付講義)	1前	2	○						兼1	
		この国はどんな国-グローバル社会を生きるために-I	1前	2	○						兼1	
		この国はどんな国-グローバル社会を生きるために-II	1後	2	○						兼1	
		戦後政策と公法	1後	2	○						兼1	
	ジェンダー論	1後	2	○						兼1		
	ヒューマンセクシュアリティ	1後	2	○						兼3	オムニバス	
	新聞と私たちの社会 (信濃毎日新聞社寄付講義)	1後	2	○						兼1		
	教を読む技術	1前・後	2	○						兼1		
	電子出版の現代	1前	2	○						兼1		
	家庭生活基礎A	1後	2	○						兼7	オムニバス	
	キャリアビジョンと男女共同参画:誰もが輝く社会を考える	1前	2	○						兼5		
	プログラミング入門	1後	2	○	○			1				
	基本法学	1後	2	○						兼1		
	税法入門講義	1前	2	○						兼1		
	市民社会と法	1前	2	○	○					兼1		
	伝えておきたい数学	1前	2	○						兼1		
	教養としての物理学	1前	2	○						兼1		
	観測天文学入門	1後	2	○						兼1		
	生活のなかの天文学	1前	2	○						兼1		

自然科学群	現代医療における物理学	1後	2	○									兼1		
	物理学の世界	1前	2	○									兼1		
	Activity-Based Astronomy--現代天文学入門	1前	2	○									兼1		
	時間と空間の物理学	1前	2	○									兼1		
	物理へのいざない	1後	2	○									兼11	オムニバス	
	応用化学～千夜一夜～	1前	2	○									兼13	オムニバス	
	生活の中の高分子	1前	2	○									兼13	オムニバス	
	基礎分子遺伝学の世界	1後	2	○									兼2	オムニバス	
	バイオリソースと生命科学	1後	2	○									兼2	オムニバス	
	生態学入門	1後	2	○									兼1		
	地域から学ぶ地球	1前	2	○									兼1		
	教養としての物質科学	1後	2	○									兼1		
	ニューバイオテクノロジー入門	1後	2	○									兼5	オムニバス	
	動物と私たちの暮らし	1前	2	○									兼8	オムニバス	
	動物生命科学	1後	2	○									兼7	オムニバス	
	食と植物の文化論	1後	2	○									兼4	オムニバス	
	応用生物学への招待	1前	2	○									兼14	オムニバス	
	食と微生物	1後	2	○									兼9	オムニバス	
	ネットワーク社会における情報科学	1前・後	2	○									兼1		
	統計学の基礎	1前・後	2	○									兼1		
	検索の科学	1前・後	2	○									兼1		
	情報学入門（コンピュータの構成、アルゴリズム）	1前	2	○									兼2	オムニバス	
	情報学入門（プログラミング、ネットワーク）	1後	2	○									兼2	オムニバス	
	統計学入門	1前	2	○									兼1		
	ベイズ統計学入門	1後	2	○									兼1		
	脳の不思議を探る（認知神経科学入門）	1前	2	○									兼1		
	脳の不思議をもっと探る（認知神経科学入門）	1後	2	○									兼1		
	宇宙から原子への旅	1前	2	○									兼10	オムニバス	
	国際看護学 I	1前	2	○									兼1		
	国際技術論	1前	2	○									兼1		
	科学技術政策と研究開発	1後	2	○									兼1		
	健康管理と生活習慣【佐久大学開講】	1後	2	○									兼1		
	体育・スポーツ群	ソフトボール	1前	1	○									兼1	
		テニス	1前	1	○									兼1	
		アダプテッドスポーツ	1後	1	○									兼1	
		弓道	1前	1	○									兼1	
		コーディネーションエクササイズ	1前	1	○									兼1	
		剣道形の世界	1前	1	○									兼1	
バドミントン		1前	1	○									兼2		
サッカー		1前・後	1	○									兼1		
バレーボール		1前	1	○									兼1		
フライングディスク		1前	1	○									兼1		
トレッキング		1前	1	○									兼5	集中	
ゴルフ		1前	1	○									兼2	集中	
スポーツフィッシング		1前	1	○									兼1	集中	
マリンスポーツ		1前	1	○									兼1	集中	
信大マラソン		1前	1	○									兼1	集中	
アウトドアの達人		1前	1	○									兼2	集中	
サバイバル活動		1前	1	○									兼1	集中	
スクーバダイビング		1後	1	○									兼2	集中	
レジャースポーツ		1前	1	○									兼1	集中	
スポーツボウリング		1後	1	○									兼1		
ニュースポーツ		1後	1	○									兼1	集中	
アスレティックトレーニング		1後	1	○									兼1		
バスケットボール		1後	1	○									兼1		
ネイチャースキー		1後	1	○									兼2	集中	
スノー・スポーツ	1後	1	○									兼12	集中		
アウトドアマスター I	2前	1	○									兼1	集中		
アウトドアマスター II	2前	1	○									兼4	集中		
ゴルフマスター I	2前	1	○									兼1	集中		
ゴルフマスター II	2前	1	○									兼1	集中		
小計（296科目）	—	0	563	0	—			7	8	2	0	0	兼345	—	

基礎科目 外国語科目	英語	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I (上級)	1前	1			○						兼11	
		フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I (中級)	1前	1			○						兼17	
		フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I (初級)	1前	1			○						兼14	
		フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I	1前・後	1			○						兼3	
		フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II (上級)	1後	1			○						兼11	
		フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II (中級)	1後	1			○						兼15	
		フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II (初級)	1後	1			○						兼14	
		フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II	1後	1			○						兼1	
		コミュニケーション・イングリッシュ I (上級)	1前	1			○						兼6	
		コミュニケーション・イングリッシュ I (中級)	1前	1			○						兼5	
		コミュニケーション・イングリッシュ I (初級)	1前	1			○						兼4	
		コミュニケーション・イングリッシュ II (上級)	1後	1			○						兼5	
		コミュニケーション・イングリッシュ II (中級)	1後	1			○						兼5	
		コミュニケーション・イングリッシュ II (初級)	1後	1			○						兼4	
		リスニング&リーディング I (上級)	1前	1			○						兼6	
		リスニング&リーディング I (中級)	1前	1			○						兼5	
		リスニング&リーディング I (初級)	1前	1			○						兼9	
		リスニング&リーディング I	1前	1			○						兼1	
		リスニング&リーディング II (上級)	1後	1			○						兼5	
		リスニング&リーディング II (中級)	1後	1			○						兼5	
		リスニング&リーディング II (初級)	1後	1			○						兼9	
		リスニング&リーディング II	1後	1			○						兼1	
		リーディング・プラス I	1前	1			○						兼1	
		リーディング・プラス II	1後	1			○						兼1	
		アカデミック・イングリッシュ I (上級)	2前	2			○						兼8	
		アカデミック・イングリッシュ I (中級)	2前	2			○						兼19	
		アカデミック・イングリッシュ I (初級)	2前	2			○						兼14	
		アカデミック・イングリッシュ II (上級)	2後	2			○						兼8	
		アカデミック・イングリッシュ II (中級)	2後	2			○						兼20	
		アカデミック・イングリッシュ II (初級)	2後	2			○						兼17	
		ドイツ語	ドイツ語初級 (総合) I	1前	1			○						兼2
			ドイツ語初級 (総合) II	1後	1			○						兼2
			ドイツ語初級 (文法) I	1前	1			○						兼3
			ドイツ語初級 (文法) II	1前・後	1			○						兼3
			ドイツ語初級 (読解・会話) I	1前・後	1			○						兼2
			ドイツ語初級 (読解・会話) II	1後	1			○						兼2
			ドイツ語中級 (読解) I	2前	2			○						兼2
			ドイツ語中級 (読解) II	2後	2			○						兼1
			ドイツ語中級 (会話) I	2前	2			○						兼1
			ドイツ語中級 (会話) II	2後	2			○						兼1
			ドイツ語演習 I	2前	2			○						兼2
			ドイツ語演習 II	2後	2			○						兼2
		フランス語	フランス語初級 (総合) I	1前	1			○						兼1
			フランス語初級 (総合) II	1後	1			○						兼1
			フランス語初級 (文法) I	1前	1			○						兼1
フランス語初級 (文法) II	1後		1			○						兼1		
フランス語初級 (読解・会話) I	1前		1			○						兼2		
フランス語初級 (読解・会話) II	1後		1			○						兼2		
フランス語中級 (読解・会話) I	2前		2			○						兼1		
フランス語中級 (読解・会話) II	2後		2			○						兼1		
フランス語演習 I	2前		2			○						兼1		
フランス語演習 II	2後	2			○						兼1			
中国語	中国語初級 (総合) I	1前	1			○						兼1		
	中国語初級 (総合) II	1後	1			○						兼1		
	中国語初級 (文法) I	1前	1			○						兼2		
	中国語初級 (文法) II	1後	1			○						兼2		
	中国語初級 (読解・会話) I	1前	1			○						兼4		
	中国語初級 (読解・会話) II	1後	1			○						兼4		
	中国語演習 I	2前	2			○						兼2		
	中国語演習 II	2後	2			○						兼2		
ハンデル初級 (総合) I	ハンデル初級 (総合) I	1前	1			○						兼1		
	ハンデル初級 (総合) II	1後	1			○						兼1		
	ハンデル初級 (文法) I	1前	1			○						兼1		

ハン グ ル	ハングル初級（文法）Ⅱ	1後	1			○								兼1	
	ハングル初級（読解・会話）Ⅰ	1前	1			○								兼1	
	ハングル初級（読解・会話）Ⅱ	1後	1			○								兼1	
	ハングル中級（読解・会話）Ⅰ	2前	2			○								兼1	
	ハングル中級（読解・会話）Ⅱ	2後	2			○								兼1	
	ハングル中級Ⅰ	2前	2			○								兼1	
	ハングル中級Ⅱ	2後	2			○								兼1	
	ハングル演習Ⅰ	2前	2			○								兼1	
	ハングル演習Ⅱ	2後	2			○								兼1	
	ス ペ イ ン 語	スペイン語初級（総合）Ⅰ	1前	1			○								兼1
スペイン語初級（総合）Ⅱ		1後	1			○								兼1	
スペイン語初級（文法）Ⅰ		1前	1			○								兼2	
スペイン語初級（文法）Ⅱ		1前	1			○								兼2	
スペイン語初級（読解・会話）Ⅰ		1後	1			○								兼1	
スペイン語初級（読解・会話）Ⅱ		1後	1			○								兼1	
スペイン語中級（読解・会話）Ⅰ		2前	2			○								兼1	
スペイン語中級（読解・会話）Ⅱ		2後	2			○								兼1	
スペイン語演習Ⅰ		2前	2			○								兼1	
スペイン語演習Ⅱ		2後	2			○								兼1	
小計（82科目）	—	0	110	0	—			0	0	0	0	0	0	兼69	—
健康科学・ 理 論 と 実 践	健康科学・理論と実践	1前	1			○								兼3	※実技・オムニバス
	小計（1科目）	—	1	0	0	—		0	0	0	0	0	0	兼3	—
	小計（1科目）	—	2	0	0	—		9	8	0	0	0	0	兼7	—
日 本 語 ・ 日 本 事 情	読解（日本語）Ⅰ	1前	1											兼2	※外国人 留 学 生 の み
	読解（日本語）Ⅱ	1後	1											兼2	
	作文（日本語）Ⅰ	1前	1											兼2	
	作文（日本語）Ⅱ	1後	1											兼2	
	科学技術日本語Ⅰ	1前	1											兼1	
	科学技術日本語Ⅱ	1後	1											兼1	
	ビジネス・ジャパニーズⅠ	1前	1											兼1	
	ビジネス・ジャパニーズⅡ	1後	1											兼1	
	日本語表現・文型Ⅰ	1前	1											兼1	
	日本語表現・文型Ⅱ	1後	1											兼1	
日 本 事 情	聴解（日本語）Ⅰ	1前	1											兼2	※外国人 留 学 生 の み オムニバス
	聴解（日本語）Ⅱ	1後	1											兼2	
	口頭表現Ⅰ	1前	1											兼1	
	口頭表現Ⅱ	1後	1											兼1	
	日本社会と日本人Ⅰ	1前	2			○								兼1	
	日本社会と日本人Ⅱ	1後	2			○								兼1	
武道・伝統文化実習Ⅰ	1前	1											兼2		
武道・伝統文化実習Ⅱ	1後	1											兼2		
小計（18科目）	—	0	20	0	—		0	0	0	0	0	0	兼8	—	
導 入 科 目	人文科学通論Ⅰ	1前	2			○		9	4						オムニバス
	人文科学通論Ⅱ	1後	2			○		9	4						オムニバス
基 礎 科 目	英語学概論Ⅰ	1・2前	2			○			1					兼1	
	英語学概論Ⅱ	1・2後	2			○			1					兼1	
	英語史Ⅰ	1・2前	2			○		1							
	英語史Ⅱ	1・2後	2			○		1							
	英語文学概論Ⅰ	1・2前	2			○			1						
	英語文学概論Ⅱ	1・2後	2			○			1						
英 語 学 特 論	英語学特論Ⅰ	2・3前	2			○								兼1	隔年
	英語学特論Ⅱ	2・3後	2			○								兼1	隔年
	英語学特論Ⅲ	2・3前	2			○								兼1	隔年
	英語学特論Ⅳ	2・3後	2			○								兼1	隔年
	英語学特論Ⅴ	2・3前	2			○								兼1	隔年
	英語学特論Ⅵ	2・3後	2			○								兼1	隔年
	英語学基幹演習Ⅰ	2・3前	2			○								兼1	隔年
	英語学基幹演習Ⅱ	2・3後	2			○		1						兼1	隔年
	英語学基幹演習Ⅲ	2・3前	2			○								兼1	隔年
	英語学基幹演習Ⅳ	2・3後	2			○		1						兼1	隔年
	英語学基幹演習Ⅴ	2・3前	2			○								兼1	隔年
	英語学基幹演習Ⅵ	2・3後	2			○		1						兼1	隔年

専門科目	基幹科目	英語学基幹演習Ⅶ	2・3前	2		○		1						兼1	隔年		
		英語学基幹演習Ⅷ	2・3後	2		○									兼1	隔年	
		英語学基幹演習Ⅸ	2・3前	2		○		1								隔年	
		英語文学特論Ⅰ	2・3前	2		○		1								隔年	
		英語文学特論Ⅱ	2・3後	2		○		1								隔年	
		英語文学特論Ⅲ	2・3前	2		○		1								隔年	
		英語文学特論Ⅳ	2・3後	2		○		1								隔年	
		英語文学特論Ⅴ	2・3前	2		○		1								隔年	
		英語文学特論Ⅵ	2・3後	2		○		1								隔年	
		英語文学特論Ⅶ	2・3前	2		○				1						隔年	
		英語文学特論Ⅷ	2・3前	2		○				1						隔年	
		英語文学特論Ⅸ	2・3前	2		○				1						隔年	
		英語文学特論Ⅹ	2・3後	2		○				1						隔年	
		英語文学特論ⅩⅠ	2・3前	2		○				1						隔年	
		英語文学特論ⅩⅡ	2・3後	2		○				1						隔年	
		英文学基幹演習Ⅰ	2・3前	2		○		1	1							隔年	
		英文学基幹演習Ⅱ	2・3後	2		○		1	1							隔年	
		英文学基幹演習Ⅲ	2・3前	2		○		1	1							隔年	
		英文学基幹演習Ⅳ	2・3後	2		○		1	1							隔年	
		英文学基幹演習Ⅴ	2・3前	2		○		1	1							隔年	
		英文学基幹演習Ⅵ	2・3後	2		○		1	1							隔年	
		発展科目	英語学発展演習Ⅰ	3・4前	2		○									兼1	隔年
			英語学発展演習Ⅱ	3・4後	2		○		1							兼1	隔年
			英語学発展演習Ⅲ	3・4前	2		○									兼1	隔年
			英語学発展演習Ⅳ	3・4後	2		○		1							兼1	隔年
			英語学発展演習Ⅴ	3・4前	2		○									兼1	隔年
英語学発展演習Ⅵ	3・4後		2		○									兼1	隔年		
英語学発展演習Ⅶ	3・4前		2		○		1							兼1	隔年		
英文学発展演習Ⅰ	3・4前		2		○		1								隔年		
英文学発展演習Ⅱ	3・4後		2		○				1						隔年		
英文学発展演習Ⅲ	3・4前		2		○		1								隔年		
英文学発展演習Ⅳ	3・4後		2		○				1						隔年		
英文学発展演習Ⅴ	3・4前		2		○		1								隔年		
英文学発展演習Ⅵ	3・4後		2		○		1								隔年		
コース一般科目	英語ライティングⅠ		2・3前	1			○								兼1	隔年 隔年	
	英語ライティングⅡ	2・3後	1			○								兼1			
	英語コミュニケーション初級Ⅰ	2・3前	1			○								兼1			
	英語コミュニケーション初級Ⅱ	2・3後	1			○								兼1			
	英語コミュニケーション中級Ⅰ	2・3前	1			○								兼1			
	英語コミュニケーション中級Ⅱ	2・3後	1			○								兼1			
	英語コミュニケーション上級Ⅰ	2・3前	1			○								兼1			
	英語コミュニケーション上級Ⅱ	2・3後	1			○								兼1			
	異文化間コミュニケーション論Ⅰ	2・3前	2		○		1										
	異文化間コミュニケーション論Ⅱ	2・3後	2		○		1										
	英米文化事情Ⅰ	2・3前	2		○									兼1			
	英米文化事情Ⅱ	2・3後	2		○									兼1			
	海外短期研修Ⅰ	3・4通	2				○	1									
探究科目	卒業論文	4通	10		○		2	1	0	0	0						
	小計（68科目）	—	14	122	0	—	10	4	0	0	0		兼7	—			
社会交流科目	現代職業論Ⅰ	2・3前		2		○								兼2	集中		
	現代職業論Ⅱ	2・3後		2		○		1									
	インターンシップ企業体験実習	3・4通		2			○	1									
学芸関係科目	生涯学習概論	1・2前		2		○								兼1	兼1 兼1 兼1 兼4 兼7 兼3 兼1 兼3		
	博物館概論	1・2後		2		○								兼1			
	博物館教育論	1・2前		2		○								兼1			
	博物館資料論	2・3後		2		○								兼4			
	博物館資料保存論	2・3前		2		○								兼7			
	博物館展示論	2・3後		2		○								兼3			
	博物館経営論	2・3前		2		○			1					兼1			
	博物館情報・メディア論	2・3後		2		○								兼3			
	博物館実習Ⅰ	3前		1			○	1	1								
	博物館実習Ⅱ	4後		1			○	1	1								
	博物館実習Ⅲ	4前		1			○	1	1								

特別 選択 科目	教職 関係 科目	教職論	2・3前後		2	○												兼1	
		教育学概論	2・3前後		2	○													兼1
		学校教育の歴史と現状（日本教育史）	2・3前後		1	○													兼1
		教育思想論	2・3前後		1	○													兼1
		教育心理学概論	2・3前後		2	○													兼1
		発達心理学概論	2・3前後		2	○													兼1
		特別支援教育の理論	2・3前後		1	○													兼1
		発達障害の理解と指導	2・3前後		2	○													兼1
		教育経営学概論	2・3前後		1	○													兼1
		教育行政学概論	2・3前後		2	○													兼1
		教育法学概論	2・3前後		2	○													兼1
		教育社会学概論	2・3前後		2	○													兼1
		教育課程の編成法	2・3前後		1	○													兼1
		教育方法論	2・3前後		1	○													兼1
		教育方法特論	2・3前後		1	○													兼1
		道德教育の理論と実践	2・3前後		2	○													兼1
		特別活動の理論と実践	2・3前後		1	○													兼1
		生徒指導の理論と実践	2・3前後		2	○													兼1
		キャリア教育の理論と実践	2・3前後		2	○													兼1
		教育相談の理論と実践	2・3前後		2	○													兼1
		カウンセリング概論	2・3前後		2	○													兼1
		障害の理解と指導	2・3前後		1	○													兼1
		現代社会と子どもの学習	2・3前後		2	○													兼1
		社会科・地理歴史科指導法	2・3前		2	○						1							
		社会科・公民科指導法	2・3後		2	○							2						
		教職のための情報・メディア活用	2・3前		2	○					1								
		社会科・地理歴史科指導法特論Ⅰ	2・3前		2	○							1						
		社会科・地理歴史科指導法特論Ⅱ	2・3後		2	○								1					
		社会科・公民科指導法特論Ⅰ	2・3前		2	○									2				
		社会科・公民科指導法特論Ⅱ	2・3後		2	○										2			
		中学校教育実習	4前		4				○		1								
		国語科指導法Ⅰ	2・3前		2	○					1								
		国語科指導法Ⅱ	2・3後		2	○							1						
		英語科指導法Ⅰ	2・3前		2	○								1					
		英語科指導法Ⅱ	2・3後		2	○									1				
		ドイツ語科指導法Ⅰ	2・3前		2	○										1			
		ドイツ語科指導法Ⅱ	2・3後		2	○											1		
		中国語科指導法Ⅰ	2・3前		2	○											1		
		中国語科指導法Ⅱ	2・3後		2	○												1	
		国語科指導法特論Ⅰ	2・3前		2	○					1								
		国語科指導法特論Ⅱ	2・3後		2	○									1				
		英語科指導法特論Ⅰ	2・3前		2	○										1			
		英語科指導法特論Ⅱ	2・3後		2	○											1		
		中国語科指導法特論Ⅰ	2・3前		2	○											1		
		中国語科指導法特論Ⅱ	2・3後		2	○												1	
		教育実習事前・事後指導	4前後		1	○						1							
		高等学校教育実習	4前後		2				○			1							
教職実践演習（中・高）	4前後		2			○											兼1		
公認 心理 士関 係科 目	発達心理学	2・3前		2		○												兼1	
	障害者・障害児心理学	2・3後		2		○												兼1	
	人体の構造と機能及び疾病	2・3前		2		○												兼1	
	精神疾患とその治療	2・3後		1		○												兼1	
	関係行政論	2・3前		2		○												兼1	
	小計（67科目）		—	0	21	101		—		3	9	1	0	0			兼37	—	
合計（533科目）				—	17	817	101		—	17	15	0	1	0			兼439	—	
学位又は称号	学士（文学）	学位又は学科の分野				文学関係													

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
1. 共通教育科目 38単位以上 (1) 教養科目 19単位以上 ①環境科学群 2単位以上 ②環境科学群, 人文科学群, 社会科学群, 自然科学群, 体育・スポーツ群のうち 3つ以上の科学群が必修 (2) 外国語科目 8単位 ①英語 8単位 ②初修外国語 8単位 (3) 健康科学科目 1単位 (4) 新入生ゼミナル科目 2単位  2. 専門科目 92単位以上  3. 履修科目の登録の上限 ①1年次は共通教育科目を含め1学期28単位 ②2年次以降1学期24単位	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	1 5 週
	1 時限の授業時間	9 0 分

別記様式第2号 (その2の1)

基礎となる学部		教育課程等の概要														
(人文学部人文学科 日本語文化コース)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養ゼミナール群	技術とエネルギーの入門ゼミ	1後		2				○							兼4	オムニバス
	生態資源論ゼミ	1前・後		2				○							兼1	
	地球白書ゼミ	1前・後		2				○							兼1	集中
	環境マインドを現場で体験するゼミ	1前		2				○							兼3	集中
	土壌学ゼミ	1前		2				○							兼1	
	植物生態学ゼミ	1前		2				○							兼1	集中
	環境マインドを現場で体験するゼミ (熱帯雨林)	1後		2				○							兼1	集中
	芸術教養美術ゼミ	1前・後		2				○							兼1	
	芸術教養音楽ゼミ	1後		2				○							兼7	オムニバス
	「時」について考えるゼミ	1後		2				○							兼1	
	アジアの中の日本ゼミ I	1前		2				○							兼1	
	アジアの中の日本ゼミ II	1後		2				○							兼1	
	原書で読むシャーロック・ホームズゼミ	1後		2				○							兼1	
	現代ドイツの言語と日常ゼミ	1前		2				○							兼1	
	現代ドイツ事情ゼミ	1後		2				○							兼1	
	異文化研究ゼミ	1後		2				○							兼1	
	感覚で攻める英文法ゼミ～覚える英文法から感じる英文法へ	1前・後		2				○							兼1	
	日本近現代史入門ゼミ	1後		2				○							兼1	
	西洋古典語の世界ゼミ	1後		2				○							兼1	
	古文書で学ぶ近世ゼミ	1前		2				○							兼1	
	比較哲学入門ゼミ	1後		2				○							兼1	
	フィールドワーク入門ゼミ	1前		2				○							兼1	
	日中比較文学ゼミ	1後		2				○							兼1	
	発信のためのやさしい英文文練習ゼミ	1前		2				○							兼1	
	中国古典小説ゼミ	1後		2				○							兼1	
	法言語学(司法制度とことば)ゼミ	1後		2				○							兼1	
	翻訳入門ゼミ	1後		2				○							兼1	
	シェイクスピアを読むゼミ	1後		2				○							兼1	
	異文化コミュニケーション(海外留学)ゼミ	1前・後		2				○							兼1	
	外国語教育を考えるゼミ	1後		2				○							兼1	
	ことばについて考えるゼミ	1後		2				○							兼1	
	中国思想の古典で学ぶゼミ	1前		2				○							兼1	
	変体仮名入門ゼミ	1前		2				○							兼1	
	フランス文学ゼミ	1前		2				○							兼1	
	英語資格試験対策ゼミ	1前		2				○							兼1	
	シルシル信知るゼミ	1前		2				○							兼2	オムニバス・集中
	もっと知りたい韓国ゼミ	1前		2				○							兼1	
	スポーツ・ホスピタリティゼミ 秋冬編(松本山雅FC連携ゼミ)	1後		2				○							兼1	
	スポーツ・ホスピタリティゼミ 春夏編(松本山雅FC連携ゼミ)	1前		2				○							兼1	
	スポーツ観戦文化論ゼミ	1前・後		2				○							兼1	
	テレビのメディアリテラシー(テレビ信州参与ゼミ)	1前		2				○							兼1	
	大学改革への学生参加ゼミ	1後		2				○							兼1	
「考える」ゼミ	1前・後		2				○							兼1		
しょうがいスポーツゼミ	1前		2				○							兼3	オムニバス	
心理学思考法ゼミ	1前		2				○							兼1		
身体心理学ゼミ	1後		2				○							兼1		
環境心理学ゼミ	1前		2				○							兼1		
経済学の視点で考える企業行動ゼミ 基礎編	1前		2				○			1						
経済学の視点で考える企業行動ゼミ 応用編	1後		2				○			1						
社会科学文献講読ゼミ I	1後		2				○							兼1		
社会科学文献講読ゼミ II	1後		2				○							兼1		
地域ブランド実践ゼミ	1後		2				○							兼3	オムニバス	



	社会科学の方法ゼミ	1後	2		○							兼1	
	社会格差を考えるゼミ：勝者と敗者の本当の姿	1後	2		○							兼1	
	質問紙調査入門ゼミ	1後	2		○							兼1	
	キャリアデザイン実践ゼミ	1後	2		○							兼3	
	化学計算入門ゼミ	1前・後	2		○							兼1	
	大学を知るゼミ	1後	2		○							兼1	
	ロボティクス入門ゼミ	1前・後	2		○							兼1	
	自然誌・博物学ゼミ	1前	2		○							兼3	オムニバス
	ものづくり入門ゼミ	1後	2		○							兼2	オムニバス
	文系学生のための野外地質学ゼミ	1前	2		○							兼3	集中
	利己的遺伝子説から生物像を描くゼミ	1後	2		○							兼1	
	統計図解ゼミ	1後	2		○							兼1	
	アナログ再発見ゼミ	1前・後	2		○							兼1	
	情報社会論ゼミ	1前・後	2		○							兼1	
	Web制作ゼミ	1前・後	2		○							兼1	
	新聞で広げる社会の見方ゼミ（信濃毎日新聞社寄付講義）	1後	2		○							兼1	
	ネットワーク時代の古典を原著で読むゼミ	1後	2		○							兼1	
	人工知能を知ろうゼミ	1前・後	2		○							兼1	
	大学生基礎力ゼミ	1前・後	2		○							兼14	
	新聞をつくろう！（MGプレス制作ゼミ）	1前	2		○							兼1	
	スポーツ活動論ゼミⅠ	1前	2		○							兼1	
	スポーツ活動論ゼミⅡ	1後	2		○							兼1	集中
	ドイツ環境ゼミ	1後	2		○							兼1	集中
	自然活動論ゼミ	1前	2		○							兼1	
	自然と人間を考えるゼミ	1後	2		○							兼1	
	臨床検査を体験するゼミ	1後	2		○							兼11	オムニバス
	体と心のリハビリテーションを考えるゼミ	1前	2		○							兼11	オムニバス
	身体運動科学ゼミ	1前	2		○							兼1	
	課題解決実践ゼミ	1後	2		○							兼3	オムニバス
	科学リテラシー入門ゼミ	1後	2		○							兼1	
	経済数学ゼミⅠ	1前	2		○				1				
	経済数学ゼミⅡ	1後	2		○				1				
	民法入門ゼミ	1後	2		○							兼1	
	税法入門ゼミ	1後	2		○							兼1	
	リアル・プロジェクトマネジメントゼミ	1後	2		○							兼3	集中
	国際関係論ゼミ	1後	2		○							兼1	
	物理学入門ゼミ	1前	2		○							兼1	
	幾何学入門ゼミ	1前	2		○							兼1	
	素朴な集合論ゼミ	1前	2		○							兼1	
	イノベーション・リテラシーゼミ	1前	2		○							兼3	集中
													※2単位 選択必修
環境科学群	環境社会学入門	1前・後	2		○							兼1	
	熱帯雨林と社会	1前・後	2		○							兼1	
	Low Energy Building（省エネルギー住宅）	1後	2		○							兼1	
	ライフサイクルアセスメント入門	1前・後	2		○							兼1	
	環境と生活とのかかわり	1前・後	2		○							兼1	
	環境問題のしくみ	1前	2		○							兼1	
	環境科学入門	1前	2		○							兼1	
	グリーンテクノロジー	1前	2		○							兼9	オムニバス
	環境配慮素材と自然エネルギー	1前	2		○							兼4	オムニバス
	エコ水車の開発と地域バイオマス利用	1前	2		○							兼3	集中・オムニバス
	地球環境の歴史	1前	2		○							兼1	
	循環型社会入門	1前	2		○							兼1	
	環境とエネルギー	1後	2		○							兼1	
	環境エネルギー政策論	1後	2		○							兼1	
	ネイチャーライティングのすすめ（環境文学Ⅰ）	1前	2		○							兼1	
	環境文学のすすめ（環境文学Ⅱ）	1後	2		○							兼1	
自然環境と文化	1後	2		○							兼1		
環境法入門	1後	2		○							兼1		
材料の科学と技術（基礎編）	1前	2		○							兼13	オムニバス	
材料の科学と技術（先端編）	1後	2		○							兼12	オムニバス	

	生物と環境	1後	2	○								兼1	
	自然災害と環境	1前	2	○								兼2	オムニハス
	ナノテクと環境	1後	2	○								兼1	
	人とすまい	1前	2	○								兼6	
	水の環境科学	1後	2	○								兼1	
	森林サイエンス	1前	2	○								兼13	オムニハス
	農山村と環境	1前	2	○								兼10	オムニハス
	環境と緑の文化	1後	2	○								兼3	オムニハス
	農環境保全学	1後	2	○								兼4	オムニハス
	森林・環境共生学概論	1後	2	○								兼2	
	環境と生命の基礎化学	1後	2	○								兼1	
教養科目	映像・人類学	1前	2	○								兼1	
	Top Level English (トップレベルイングリッシュ)	1前・後	2	○								兼3	
	「田園環境健康都市須坂」を「共創」(須坂市寄付講義)	1後	2	○								兼1	
	映画史入門	1前	2	○								兼1	
	身体表現レクチャー&ワークショップ	1前	2	○								兼1	
	絶対王政期フランスの制度と社会	1前	2	○								兼1	
	モノの世界史	1前	2	○								兼1	
	世界の音楽	1前	2	○								兼1	
	方言からみた日本語	1後	2	○								兼1	
	江戸時代の本屋さんと本	1前	2	○								兼1	
	英語基礎Ⅰ (たてなおしの英語Ⅰ)	1前	2	○								兼1	
	英語基礎Ⅱ (たてなおしの英語Ⅱ)	1後	2	○								兼1	
	自己発見の方法	1後	2	○								兼1	
	日本古典文学入門	1前	2	○								兼1	
	中国古典小説	1前	2	○								兼1	
	生と死の哲学～哲学から宗教へ～	1前	2	○								兼1	
	文学と美術を歴史学で読み解く～日本古代史入門～	1前	2	○								兼1	
	山国信州の風土と暮らし (風土の中の衣食住)	1前	2	○								兼1	
	日本の屋根・信州の風土と暮らし	1後	2	○								兼1	
	モバイルデバイスで習うE-TOEICコース	1前・後	2	○								兼1	
	中世英語文献学入門	1後	2	○								兼1	
	「右肩下がり」の時代を生き抜くための倫理学	1前	2	○								兼1	
	言語哲学入門	1後	2	○								兼1	
	「優れた言語学習者」から考える日本語教育学	1後	2	○								兼1	
	恋愛小説を読むー比較文学への招待ー	1後	2	○								兼1	
	フランス文学概論	1前	2	○								兼1	
	日本文学概論	1後	2	○								兼1	
	映像で見て読んで考えるアメリカ	1後	2	○								兼1	
	時に挑む科学と文学	1後	2	○								兼1	
	アフリカ社会論	1前	2	○								兼1	
	韓国の文化 (食文化)	1前	2	○								兼1	
	韓国の文化 (映画で学ぶ)	1前	2	○								兼1	
	韓国の文化 (若者の世界)	1後	2	○								兼1	
	韓国の文化 (メディア)	1後	2	○								兼1	
	ドイツ語圏の文化Ⅰ	1前	2	○								兼2	オムニハス
	ドイツ語圏の文化Ⅱ	1後	2	○								兼2	オムニハス
	アフリカ文化論	1前	2	○								兼1	
	中国の文化 (現代中国事情①)	1前	2	○								兼1	
	中国の文化 (現代中国事情②)	1後	2	○								兼1	
	ロシアの文化 (風土と歴史)	1前	2	○								兼1	
	スペイン語圏の文化 (ラテンアメリカ)	1後	2	○								兼1	
	ドイツ語圏の文化Ⅲ	1前	2	○								兼1	
	ドイツ語圏の文化Ⅳ	1後	2	○								兼1	
	欧米文化 (映画で見る未来像)	1前	2	○								兼1	
	フランス語圏の文化	1後	2	○								兼1	
	スペイン語圏の文化 (スペイン)	1前	2	○								兼1	
	科学論	1後	2	○								兼5	オムニハス
囲碁で養う考える力	1前	2	○								兼1	集中	
明日を生きるための心理学 リスク社会と防災を学ぶ	1前	2	○								兼1		
ベンチャービジネス概論	1前	2	○								兼3	オムニハス	

共通教育科目	社会科学群	キャリアとしての公務員	1後	2	○								兼1		
		スポーツ考現学	1前・後	2	○									兼1	
		スポーツ文化を考える	1後	2	○									兼1	
		国際理解と多文化共生を考えるⅠ	1前	2	○									兼1	
		国際理解と多文化共生を考えるⅡ	1後	2	○									兼1	
		国際教養A	1前・後	2	○									兼2	集中
		国際教養B	1前・後	2	○									兼2	集中
		臨床心理学	1前	2	○									兼1	
		大学生が会おう法律問題	1前	2	○									兼14	オムニバス
		世界経済の歩み	1後	2	○					1					
		家族と法	1前	2	○									兼1	
		メディア心理学	1後	2	○									兼1	
		ポジティブ心理学	1前	2	○									兼1	
		消費社会学入門	1前	2	○									兼1	
		コミュニティの社会心理学	1後	2	○									兼1	
		臨床心理学概論	1後	2	○									兼1	
		青年の海外ボランティア活動	1後	2	○									兼1	
		キャリア形成論Ⅰ	1前	2	○									兼2	
		キャリア形成論Ⅱ	1後	2	○									兼2	
		手話コミュニケーションと社会	1後	2	○									兼2	
		手話と社会	1前	2	○									兼2	
		日本国憲法	1前・後	2	○									兼3	
		地域活性化システム論	1前	2	○									兼3	オムニバス
		公法入門	1後	2	○									兼1	
		法学入門	1前	2	○									兼1	
		現代政治分析	1前	2	○									兼1	
		ミクロ経済学入門	1後	2	○			2	2	1					オムニバス
		マクロ経済学入門	1前	2	○			3	2						オムニバス
		大学生が会おう経済・経営問題	1後	2	○			2	3						オムニバス
		障害と共生社会	1前	2	○									兼1	
		大学生から始めるキャリアデザイン	1前	2	○									兼3	オムニバス
		世界で今何が起きているのか?Ⅰ	1前	2	○									兼1	
		世界で今何が起きているのか?Ⅱ	1後	2	○									兼1	
		統計データから読み解く社会	1後	2	○									兼1	
		法学概論Ⅰ	1前	2	○									兼1	
		法学概論Ⅱ	1後	2	○									兼1	
		多様性の中で自分を活かす(異文化理解とコミュニケーション)	1前	2	○									兼1	
		多様性の中で自分を活かす(協働のスキル)	1後	2	○									兼1	
		グローバル人材論(グローバルキャリアデザイン)	1前	2	○									兼1	
		グローバル人材論(「グローバル」マインド養成)	1後	2	○									兼1	
		RESAS～教育を、社会を、地域研究を見据えたリソース～	1後	2	○									兼1	
		心理学概論	1後	2	○									兼7	オムニバス
		知っておくべき知的財産と研究倫理の基本	1前	2	○									兼1	
		証券・投資から育む「生きる力・考える力」(藍澤證券寄付講義)	1前	2	○									兼1	
		この国はどんな国-グローバル社会を生きるためにⅠ	1前	2	○									兼1	
		この国はどんな国-グローバル社会を生きるためにⅡ	1後	2	○									兼1	
		戦後政策と公法	1後	2	○									兼1	
		ジェンダー論	1後	2	○									兼1	
ヒューマンセクシュアリティ	1後	2	○									兼3	オムニバス		
新聞と私たちの社会(信濃毎日新聞社寄付講義)	1後	2	○									兼1			
教を読む技術	1前・後	2	○									兼1			
電子出版の現代	1前	2	○									兼1			
家庭生活基礎A	1後	2	○									兼7	オムニバス		
キャリアビジョンと男女共同参画:誰もが輝く社会を考える	1前	2	○									兼5			
プログラミング入門	1後	2	○					1							
基本法学	1後	2	○									兼1			
税法入門講義	1前	2	○									兼1			
市民社会と法	1前	2	○									兼1			
伝えておきたい数学	1前	2	○									兼1			
教養としての物理学	1前	2	○									兼1			
観測天文学入門	1後	2	○									兼1			
生活のなかの天文学	1前	2	○									兼1			

	現代医療における物理学	1後	2	○												兼1	
	物理学の世界	1前	2	○												兼1	
	Activity-Based Astronomy--現代天文学入門	1前	2	○												兼1	
	時間と空間の物理学	1前	2	○												兼1	
	物理へのいざない	1後	2	○												兼11	オムニバス
	応用化学～千夜一夜～	1前	2	○												兼13	オムニバス
	生活の中の高分子	1前	2	○												兼13	オムニバス
	基礎分子遺伝学の世界	1後	2	○												兼2	オムニバス
	バイオリソースと生命科学	1後	2	○												兼2	オムニバス
	生態学入門	1後	2	○												兼1	
	地域から学ぶ地球	1前	2	○												兼1	
	教養としての物質科学	1後	2	○												兼1	
自然科学群	ニューバイオテクノロジー入門	1後	2	○												兼5	オムニバス
	動物と私たちの暮らし	1前	2	○												兼8	オムニバス
	動物生命科学	1後	2	○												兼7	オムニバス
	食と植物の文化論	1後	2	○												兼4	オムニバス
	応用生物学への招待	1前	2	○												兼14	オムニバス
	食と微生物	1後	2	○												兼9	オムニバス
	ネットワーク社会における情報科学	1前・後	2	○												兼1	
	統計学の基礎	1前・後	2	○												兼1	
	検索の科学	1前・後	2	○												兼1	
	情報学入門 (コンピュータの構成、アルゴリズム)	1前	2	○												兼2	オムニバス
	情報学入門 (プログラミング、ネットワーク)	1後	2	○												兼2	オムニバス
	統計学入門	1前	2	○												兼1	
	ベイズ統計学入門	1後	2	○												兼1	
	脳の不思議を探る (認知神経科学入門)	1前	2	○												兼1	
	脳の不思議をもっと探る (認知神経科学入門)	1後	2	○												兼1	
	宇宙から原子への旅	1前	2	○												兼10	オムニバス
	国際看護学 I	1前	2	○												兼1	
	国際技術論	1前	2	○												兼1	
	科学技術政策と研究開発	1後	2	○												兼1	
	健康管理と生活習慣【佐久大学開講】	1後	2	○												兼1	
	体育・スポーツ群	ソフトボール	1前	1	○												兼1
テニス		1前	1	○												兼1	
アダプテッドスポーツ		1後	1	○												兼1	
弓道		1前	1	○												兼1	
コーディネーションエクササイズ		1前	1	○												兼1	
剣道形の世界		1前	1	○												兼1	
バドミントン		1前	1	○												兼2	
サッカー		1前・後	1	○												兼1	
バレーボール		1前	1	○												兼1	
フライングディスク		1前	1	○												兼1	
トレッキング		1前	1	○												兼5	集中
ゴルフ		1前	1	○												兼2	集中
スポーツフィッシング		1前	1	○												兼1	集中
マリンスポーツ		1前	1	○												兼1	集中
信大マラソン		1前	1	○												兼1	集中
アウトドアの達人		1前	1	○												兼2	集中
サバイバル活動		1前	1	○												兼1	集中
スクーバダイビング		1後	1	○												兼2	集中
レジャースポーツ		1前	1	○												兼1	集中
スポーツボウリング		1後	1	○												兼1	
ニュースポーツ		1後	1	○												兼1	集中
アスレティックトレーニング		1後	1	○												兼1	
バスケットボール		1後	1	○												兼1	
ネイチャースキー		1後	1	○												兼2	集中
スノー・スポーツ		1後	1	○												兼12	集中
アウトドアマスター I		2前	1	○												兼1	集中
アウトドアマスター II		2前	1	○												兼4	集中
ゴルフマスター I	2前	1	○												兼1	集中	
ゴルフマスター II	2前	1	○												兼1	集中	
小計 (296科目)	—	0	563	0	—				7	8	2	0	0		兼345	—	

基礎科目 外国語科目	英語	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I (上級)	1前	1			○					兼11	
		フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I (中級)	1前	1			○					兼17	
		フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I (初級)	1前	1			○					兼14	
		フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I	1前・後	1			○					兼3	
		フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II (上級)	1後	1			○					兼11	
		フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II (中級)	1後	1			○					兼15	
		フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II (初級)	1後	1			○					兼14	
		フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II	1後	1			○					兼1	
		コミュニケーション・イングリッシュ I (上級)	1前	1			○					兼6	
		コミュニケーション・イングリッシュ I (中級)	1前	1			○					兼5	
		コミュニケーション・イングリッシュ I (初級)	1前	1			○					兼4	
		コミュニケーション・イングリッシュ II (上級)	1後	1			○					兼5	
		コミュニケーション・イングリッシュ II (中級)	1後	1			○					兼5	
		コミュニケーション・イングリッシュ II (初級)	1後	1			○					兼4	
		リスニング&リーディング I (上級)	1前	1			○					兼6	
		リスニング&リーディング I (中級)	1前	1			○					兼5	
		リスニング&リーディング I (初級)	1前	1			○					兼9	
		リスニング&リーディング I	1前	1			○					兼1	
		リスニング&リーディング II (上級)	1後	1			○					兼5	
		リスニング&リーディング II (中級)	1後	1			○					兼5	
		リスニング&リーディング II (初級)	1後	1			○					兼9	
		リスニング&リーディング II	1後	1			○					兼1	
		リーディング・プラス I	1前	1			○					兼1	
		リーディング・プラス II	1後	1			○					兼1	
		アカデミック・イングリッシュ I (上級)	2前	2			○					兼8	
		アカデミック・イングリッシュ I (中級)	2前	2			○					兼19	
		アカデミック・イングリッシュ I (初級)	2前	2			○					兼14	
		アカデミック・イングリッシュ II (上級)	2後	2			○					兼8	
		アカデミック・イングリッシュ II (中級)	2後	2			○					兼20	
		アカデミック・イングリッシュ II (初級)	2後	2			○					兼17	
		ドイツ語	ドイツ語初級 (総合) I	1前	1			○					兼2
			ドイツ語初級 (総合) II	1後	1			○					兼2
			ドイツ語初級 (文法) I	1前	1			○					兼3
			ドイツ語初級 (文法) II	1前・後	1			○					兼3
			ドイツ語初級 (読解・会話) I	1前・後	1			○					兼2
			ドイツ語初級 (読解・会話) II	1後	1			○					兼2
			ドイツ語中級 (読解) I	2前	2			○					兼2
			ドイツ語中級 (読解) II	2後	2			○					兼1
			ドイツ語中級 (会話) I	2前	2			○					兼1
			ドイツ語中級 (会話) II	2後	2			○					兼1
			ドイツ語演習 I	2前	2			○					兼2
			ドイツ語演習 II	2後	2			○					兼2
		フランス語	フランス語初級 (総合) I	1前	1			○					兼1
			フランス語初級 (総合) II	1後	1			○					兼1
			フランス語初級 (文法) I	1前	1			○					兼1
フランス語初級 (文法) II	1後		1			○					兼1		
フランス語初級 (読解・会話) I	1前		1			○					兼2		
フランス語初級 (読解・会話) II	1後		1			○					兼2		
フランス語中級 (読解・会話) I	2前		2			○					兼1		
フランス語中級 (読解・会話) II	2後		2			○					兼1		
フランス語演習 I	2前		2			○					兼1		
フランス語演習 II	2後	2			○					兼1			
中国語	中国語初級 (総合) I	1前	1			○					兼1		
	中国語初級 (総合) II	1後	1			○					兼1		
	中国語初級 (文法) I	1前	1			○					兼2		
	中国語初級 (文法) II	1後	1			○					兼2		
	中国語初級 (読解・会話) I	1前	1			○					兼4		
	中国語初級 (読解・会話) II	1後	1			○					兼4		
	中国語演習 I	2前	2			○					兼2		
	中国語演習 II	2後	2			○					兼2		
ハンデル初級 (総合) I	ハンデル初級 (総合) I	1前	1			○					兼1		
	ハンデル初級 (総合) II	1後	1			○					兼1		
	ハンデル初級 (文法) I	1前	1			○					兼1		

ハン グ ル	ハングル初級（文法）Ⅱ	1後	1				○									兼1	
	ハングル初級（読解・会話）Ⅰ	1前	1				○									兼1	
	ハングル初級（読解・会話）Ⅱ	1後	1				○									兼1	
	ハングル中級（読解・会話）Ⅰ	2前	2				○									兼1	
	ハングル中級（読解・会話）Ⅱ	2後	2				○									兼1	
	ハングル中級Ⅰ	2前	2				○									兼1	
	ハングル中級Ⅱ	2後	2				○									兼1	
	ハングル演習Ⅰ	2前	2				○									兼1	
	ハングル演習Ⅱ	2後	2				○									兼1	
	小計（82科目）	—	0	110	0	—				0	0	0	0	0	0	0	兼69
健康科学・理論と実践	健康科学・理論と実践	1前	1				○									兼3	※実技・オムニバス
	小計（1科目）	—	1	0	0	—			0	0	0	0	0	0	0	兼3	—
新入生ゼミナール	新入生ゼミナール	1前	2				○		9	8	0	0	0	0	0	兼7	
	小計（1科目）	—	2	0	0	—			9	8	0	0	0	0	0	兼7	—
日本 語 ・ 日 本 事 情 科 目	日本 語	読解（日本語）Ⅰ	1前	1				○								兼2	※外国人 留学生の み
		読解（日本語）Ⅱ	1後	1				○								兼2	
		作文（日本語）Ⅰ	1前	1				○								兼2	
		作文（日本語）Ⅱ	1後	1				○								兼2	
		科学技術日本語Ⅰ	1前	1				○								兼1	
		科学技術日本語Ⅱ	1後	1				○								兼1	
		ビジネス・ジャパニーズⅠ	1前	1				○								兼1	
		ビジネス・ジャパニーズⅡ	1後	1				○								兼1	
		日本語表現・文型Ⅰ	1前	1				○								兼1	
		日本語表現・文型Ⅱ	1後	1				○								兼1	
	日本 事 情	聴解（日本語）Ⅰ	1前	1				○								兼2	※外国人 留学生の み オムニバス
		聴解（日本語）Ⅱ	1後	1				○								兼2	
		口頭表現Ⅰ	1前	1				○								兼1	
		口頭表現Ⅱ	1後	1				○								兼1	
		日本社会と日本人Ⅰ	1前	2				○								兼1	
		日本社会と日本人Ⅱ	1後	2				○								兼1	
		武道・伝統文化実習Ⅰ	1前	1				○								兼2	
		武道・伝統文化実習Ⅱ	1後	1				○								兼2	
小計（18科目）	—	0	20	0	—			0	0	0	0	0	0	0	兼8	—	
導 入 科 目	人文科学通論Ⅰ	1前	2				○		9	4							オムニバス
	人文科学通論Ⅱ	1後	2				○		9	4							オムニバス
基 礎 科 目	日本文学概論Ⅰ	1・2前	2				○		1								
	日本文学概論Ⅱ	1・2後	2				○		1								
	日本文学史Ⅰ	1・2前	2				○			1							
	日本文学史Ⅱ	1・2後	2				○			1							
	日本語学概論Ⅰ	1・2前	2				○			1							
	日本語学概論Ⅱ	1・2後	2				○			1							
	日本語史Ⅰ	1・2前	2				○		1								
	日本語史Ⅱ	1・2後	2				○		1								
	日本語教育学概論Ⅰ	1・2前	2				○		1								
	日本語教育学概論Ⅱ	1・2後	2				○			1							
日 本 文 学 特 論	日本文学特論Ⅰ	2・3前	2				○		1								隔年
	日本文学特論Ⅱ	2・3前	2				○		1								隔年
	日本文学特論Ⅲ	2・3前	2				○		1								隔年
	日本文学特論Ⅳ	2・3前	2				○			1							隔年
	日本文学特論Ⅴ	2・3前	2				○			1							隔年
	日本文学特論Ⅵ	2・3前	2				○			1							隔年
	日本文学基幹演習Ⅰ	2・3前	2				○		1								隔年
	日本文学基幹演習Ⅱ	2・3前	2				○		1								隔年

専門科目	基幹科目	日本文学基幹演習Ⅲ	2・3前	2		○		1							隔年
		日本文学基幹演習Ⅳ	2・3前	2		○			1						隔年
		日本文学基幹演習Ⅴ	2・3前	2		○				1					隔年
		日本文学基幹演習Ⅵ	2・3前	2		○				1					隔年
		日本語学特論Ⅰ	2・3前	2		○			1						隔年
		日本語学特論Ⅱ	2・3後	2		○			1						隔年
		日本語学特論Ⅲ	2・3前	2		○			1						隔年
		日本語学特論Ⅳ	2・3後	2		○			1						隔年
		日本語学基幹演習Ⅰ	2・3前	2			○		1						隔年
		日本語学基幹演習Ⅱ	2・3後	2			○		1						隔年
		日本語学基幹演習Ⅲ	2・3前	2			○		1						隔年
		日本語学基幹演習Ⅳ	2・3後	2			○		1						隔年
		日本語学基幹演習Ⅴ	2・3前	2			○		1						隔年
		日本語学基幹演習Ⅵ	2・3後	2			○		1						隔年
		日本語教育学特論Ⅰ	2・3後	2		○			1						隔年
		日本語教育学特論Ⅱ	2・3後	2		○			1						隔年
		日本語教育学特論Ⅲ	2・3後	2		○			1						隔年
		日本語教育学特論Ⅳ	2・3前	2		○				1					隔年
		日本語教育学特論Ⅴ	2・3前	2		○				1					隔年
		日本語教育学特論Ⅵ	2・3前	2		○				1					隔年
		日本語教育学基幹演習Ⅰ	2・3前	2			○		1						隔年
		日本語教育学基幹演習Ⅱ	2・3前	2			○		1						隔年
		日本語教育学基幹演習Ⅲ	2・3前	2			○		1						隔年
日本語教育学基幹演習Ⅳ	2・3後	2			○			1					隔年		
日本語教育学基幹演習Ⅴ	2・3後	2			○			1					隔年		
日本語教育学基幹演習Ⅵ	2・3後	2			○			1					隔年		
日本語教育実習	2・3前	2				○			1					隔年	
発展科目	日本文学発展演習Ⅰ	3・4後	2			○		1						隔年	
	日本文学発展演習Ⅱ	3・4後	2			○		1						隔年	
	日本文学発展演習Ⅲ	3・4後	2			○		1						隔年	
	日本文学発展演習Ⅳ	3・4後	2			○			1					隔年	
	日本文学発展演習Ⅴ	3・4後	2			○			1					隔年	
	日本文学発展演習Ⅵ	3・4後	2			○			1					隔年	
	日本語学発展演習Ⅰ	3・4前	2			○		1						隔年	
	日本語学発展演習Ⅱ	3・4後	2			○		1						隔年	
	日本語学発展演習Ⅲ	3・4前	2			○		1						隔年	
	日本語学発展演習Ⅳ	3・4後	2			○		1						隔年	
	日本語学発展演習Ⅴ	3・4前	2			○		1						隔年	
	日本語学発展演習Ⅵ	3・4後	2			○		1						隔年	
	日本語教育学発展演習Ⅰ	3・4後	2			○		1						隔年	
	日本語教育学発展演習Ⅱ	3・4後	2			○		1						隔年	
	日本語教育学発展演習Ⅲ	3・4後	2			○		1						隔年	
	日本語教育学発展演習Ⅳ	3・4前	2			○			1					隔年	
日本語教育学発展演習Ⅴ	3・4前	2			○			1					隔年		
日本語教育学発展演習Ⅵ	3・4前	2			○			1					隔年		
コース一般科目	書道芸術Ⅰ	2・3前	2		○									兼1	
	書道芸術Ⅱ	2・3後	2		○									兼1	
	漢文学要説	2・3前	2		○			1							
探究科目	卒業論文	4通	10		○		3	2	0	0	0				
	小計（69科目）	—	14	132	0	—	10	6	0	0	0		兼1	—	
社会交流科目	現代職業論Ⅰ	2・3前		2	○									兼2	
	現代職業論Ⅱ	2・3後		2	○				1						
	インターンシップ企業体験実習	3・4通	2			○	1							集中	
学芸関係科目	生涯学習概論	1・2前	2		○									兼1	
	博物館概論	1・2後	2		○									兼1	
	博物館教育論	1・2前	2		○									兼1	
	博物館資料論	2・3後	2		○									兼4	
	博物館資料保存論	2・3前	2		○									兼7	
	博物館展示論	2・3後	2		○									兼3	
	博物館経営論	2・3前	2		○				1					兼1	
	博物館情報・メディア論	2・3後	2		○									兼3	
	博物館実習Ⅰ	3前	1			○	1	1							
	博物館実習Ⅱ	4後	1			○	1	1							

	博物館実習Ⅲ	4前		1			○	1	1										
特別 選択 科目	教職 関係 科目	教職論	2・3前後		2	○											兼1		
		教育学概論	2・3前後		2	○												兼1	
		学校教育の歴史と現状（日本教育史）	2・3前後		1	○												兼1	
		教育思想論	2・3前後		1	○													兼1
		教育心理学概論	2・3前後		2	○													兼1
		発達心理学概論	2・3前後		2	○													兼1
		特別支援教育の理論	2・3前後		1	○													兼1
		発達障害の理解と指導	2・3前後		2	○													兼1
		教育経営学概論	2・3前後		1	○													兼1
		教育行政学概論	2・3前後		2	○													兼1
		教育法学概論	2・3前後		2	○													兼1
		教育社会学概論	2・3前後		2	○													兼1
		教育課程の編成法	2・3前後		1	○													兼1
		教育方法論	2・3前後		1	○													兼1
		教育方法特論	2・3前後		1	○													兼1
		道德教育の理論と実践	2・3前後		2	○													兼1
		特別活動の理論と実践	2・3前後		1	○													兼1
		生徒指導の理論と実践	2・3前後		2	○													兼1
		キャリア教育の理論と実践	2・3前後		2	○													兼1
		教育相談の理論と実践	2・3前後		2	○													兼1
		カウンセリング概論	2・3前後		2	○													兼1
		障害の理解と指導	2・3前後		1	○													兼1
		現代社会と子どもの学習	2・3前後		2	○													兼1
		社会科・地理歴史科指導法	2・3前		2	○					1								兼1
		社会科・公民科指導法	2・3後		2	○						2							兼1
		教職のための情報・メディア活用	2・3前		2	○				1									兼1
		社会科・地理歴史科指導法特論Ⅰ	2・3前		2	○						1							兼1
		社会科・地理歴史科指導法特論Ⅱ	2・3後		2	○							1						兼1
		社会科・公民科指導法特論Ⅰ	2・3前		2	○							2						兼1
		社会科・公民科指導法特論Ⅱ	2・3後		2	○							2						兼1
		中学校教育実習	4前		4				○	1									兼1
		国語科指導法Ⅰ	2・3前		2	○				1									兼1
		国語科指導法Ⅱ	2・3後		2	○						1							兼1
		英語科指導法Ⅰ	2・3前		2	○							1						兼1
		英語科指導法Ⅱ	2・3後		2	○							1						兼1
		ドイツ語科指導法Ⅰ	2・3前		2	○							1						兼1
		ドイツ語科指導法Ⅱ	2・3後		2	○							1						兼1
中国語科指導法Ⅰ	2・3前		2	○							1						兼1		
中国語科指導法Ⅱ	2・3後		2	○							1						兼1		
国語科指導法特論Ⅰ	2・3前		2	○				1									兼1		
国語科指導法特論Ⅱ	2・3後		2	○							1						兼1		
英語科指導法特論Ⅰ	2・3前		2	○							1						兼1		
英語科指導法特論Ⅱ	2・3後		2	○							1						兼1		
中国語科指導法特論Ⅰ	2・3前		2	○							1						兼1		
中国語科指導法特論Ⅱ	2・3後		2	○							1						兼1		
教育実習事前・事後指導	4前後		1	○				1									兼1		
高等学校教育実習	4前後		2				○	1									兼1		
教職実践演習（中・高）	4前後		2				○										兼1		
公認 心理 士関 係科 目	発達心理学	2・3前		2	○												兼1		
	障害者・障害児心理学	2・3後		2	○												兼1		
	人体の構造と機能及び疾病	2・3前		2	○												兼1		
	精神疾患とその治療	2・3後		1	○												兼1		
	関係行政論	2・3前		2	○												兼1		
	小計（67科目）		—	0	21	101	—	3	9	1	0	0					兼37		
合計（534科目）				—	17	849	101	—	17	15	0	1	0				兼439		
学位又は称号	学士（文学）	学位又は学科の分野					文学関係												



卒業要件及び履修方法	授業期間等	
1. 共通教育科目 38単位以上 (1) 教養科目 19単位以上 ①環境科学群 2単位以上 ②環境科学群, 人文科学群, 社会科学群, 自然科学群, 体育・スポーツ群のうち 3つ以上の科学群が必修 (2) 外国語科目 8単位 ①英語 8単位 ②初修外国語 8単位 (3) 健康科学科目 1単位 (4) 新入生ゼミナール科目 2単位  2. 専門科目 92単位以上  3. 履修科目の登録の上限 ①1年次は共通教育科目を含め1学期28単位 ②2年次以降1学期24単位	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	1 5 週
	1 時限の授業時間	9 0 分

基礎となる学部 教育課程等の概要 (教育学部 学校教育教員養成課程)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養ゼミナール群	技術とエネルギーの入門ゼミ	1後		2				○						兼4	オムニバス
	生態資源論ゼミ	1前・後		2				○						兼1	
	地球白書ゼミ	1前・後		2				○						兼1	
	環境マインドを現場で体験するゼミ	1前		2				○						兼3	集中
	土壌学ゼミ	1前		2				○						兼1	
	植物生態学ゼミ	1前		2				○						兼1	
	環境マインドを現場で体験するゼミ（熱帯雨林）	1後		2				○						兼1	集中
	芸術教養美術ゼミ	1前・後		2				○						兼1	
	芸術教養音楽ゼミ	1後		2				○						兼7	オムニバス
	「時」について考えるゼミ	1後		2				○						兼1	
	アジアの中の日本ゼミⅠ	1前		2				○						兼1	
	アジアの中の日本ゼミⅡ	1後		2				○						兼1	
	原書で読むシャーロック・ホームズゼミ	1後		2				○						兼1	
	現代ドイツの言語と日常ゼミ	1前		2				○						兼1	
	現代ドイツ事情ゼミ	1後		2				○						兼1	
	異文化研究ゼミ	1後		2				○						兼1	
	感覚で攻める英文法ゼミ～覚える英文法から感じる英文法へ	1前・後		2				○						兼1	
	日本近現代史入門ゼミ	1後		2				○						兼1	
	西洋古典語の世界ゼミ	1後		2				○						兼1	
	古文書で学ぶ近世ゼミ	1前		2				○						兼1	
	比較哲学入門ゼミ	1後		2				○						兼1	
	フィールドワーク入門ゼミ	1前		2				○						兼1	
	日中比較文学ゼミ	1後		2				○						兼1	
	発信のためのやさしい英作文練習ゼミ	1前		2				○						兼1	
	中国古典小説ゼミ	1後		2				○						兼1	
	法言語学(司法制度とことば)ゼミ	1後		2				○						兼1	
	翻訳入門ゼミ	1後		2				○						兼1	
	シェイクスピアを読むゼミ	1後		2				○						兼1	
	異文化コミュニケーション(海外留学)ゼミ	1前・後		2				○						兼1	
	外国語教育を考えるゼミ	1後		2				○						兼1	
	ことばについて考えるゼミ	1後		2				○						兼1	
	中国思想の古典で学ぶゼミ	1前		2				○						兼1	
	変体仮名入門ゼミ	1前		2				○						兼1	
	フランス文学ゼミ	1前		2				○						兼1	
	英語資格試験対策ゼミ	1前		2				○						兼1	
	シルシル信知るゼミ	1前		2				○						兼2	オムニバス・集中
	もっと知りたい韓国ゼミ	1前		2				○						兼1	
	スポーツ・ホスピタリティゼミ 秋冬編(松本山種FC連携ゼミ)	1後		2				○						兼1	
	スポーツ・ホスピタリティゼミ 春夏編(松本山種FC連携ゼミ)	1前		2				○						兼1	
	スポーツ観戦文化論ゼミ	1前・後		2				○						兼1	
	テレビのメディアリテラシー(テレビ信州参与ゼミ)	1前		2				○						兼1	
	大学改革への学生参加ゼミ	1後		2				○						兼1	
	「考える」ゼミ	1前・後		2				○						兼1	
	しょうがいスポーツゼミ	1前		2				○						兼3	オムニバス
	心理学思考法ゼミ	1前		2				○						兼1	
身体心理学ゼミ	1後		2				○						兼1		
環境心理学ゼミ	1前		2				○						兼1		
経済学の視点で考える企業行動ゼミ 基礎編	1前		2				○						兼1		
経済学の視点で考える企業行動ゼミ 応用編	1後		2				○						兼1		
社会科学文献講読ゼミⅠ	1後		2				○						兼1		
社会科学文献講読ゼミⅡ	1後		2				○						兼1		
地域ブランド実践ゼミ	1後		2				○						兼3	オムニバス	
社会科学の方法ゼミ	1後		2				○						兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
	社会格差を考えるゼミ：勝者と敗者の本当の姿	1後		2				○							兼1		
	質問紙調査入門ゼミ	1後		2				○							兼1		
	キャリアデザイン実践ゼミ	1後		2				○							兼3		
	化学計算入門ゼミ	1前・後		2				○							兼1		
	大学を知るゼミ	1後		2				○							兼1		
	ロボティクス入門ゼミ	1前・後		2				○							兼1		
	自然誌・博物学ゼミ	1前		2				○						兼3	オムニバス		
	ものづくり入門ゼミ	1後		2				○						兼2	オムニバス		
	文系学生のための野外地質学ゼミ	1前		2				○						兼3	集中		
	利己的遺伝子説から生物像を描くゼミ	1後		2				○						兼1			
	統計図解ゼミ	1後		2				○						兼1			
	アナログ再発見ゼミ	1前・後		2				○						兼1			
	情報社会論ゼミ	1前・後		2				○						兼1			
	Web制作ゼミ	1前・後		2				○						兼1			
	新聞で広げる社会の見方ゼミ（信濃毎日新聞社寄付講義）	1後		2				○						兼1			
	ネットワーク時代の古典を原著で読むゼミ	1後		2				○						兼1			
	人工知能を知ろうゼミ	1前・後		2				○						兼1			
	大学生基礎力ゼミ	1前・後		2				○						兼14			
	新聞をつくらう！（MGプレス制作ゼミ）	1前		2				○						兼1			
	スポーツ活動論ゼミⅠ	1前		2				○						兼1			
	スポーツ活動論ゼミⅡ	1後		2				○						兼1	集中		
	ドイツ環境ゼミ	1後		2				○						兼1	集中		
	自然活動論ゼミ	1前		2				○						兼1			
	自然と人間を考えるゼミ	1後		2				○						兼1			
	臨床検査を体験するゼミ	1後		2				○						兼11	オムニバス		
	体と心のリハビリテーションを考えるゼミ	1前		2				○						兼11	オムニバス		
	身体運動科学ゼミ	1前		2				○						兼1			
	課題解決実践ゼミ	1後		2				○						兼3	オムニバス		
	科学リテラシー入門ゼミ	1後		2				○						兼1			
	経済数学ゼミⅠ	1前		2				○						兼1			
	経済数学ゼミⅡ	1後		2				○						兼1			
	民法入門ゼミ	1後		2				○						兼1			
	税法入門ゼミ	1後		2				○						兼1			
	リアル・プロジェクトマネジメントゼミ	1後		2				○						兼3	集中		
	国際関係論ゼミ	1後		2				○						兼1			
	物理学入門ゼミ	1前		2				○						兼1			
	幾何学入門ゼミ	1前		2				○						兼1			
	素朴な集合論ゼミ	1前		2				○						兼1			
	イノベーション・リテラシーゼミ	1前		2				○						兼3	集中		
環境科学群	環境社会学入門	1前・後		2				○							兼1		
	熱帯雨林と社会	1前・後		2				○							兼1		
	Low Energy Building（省エネルギー住宅）	1後		2				○							兼1		
	ライフサイクルアセスメント入門	1前・後		2				○							兼1		
	環境と生活とのかかわり	1前・後		2				○							兼1		
	環境問題のしくみ	1前		2				○							兼1		
	環境科学入門	1前		2				○							兼1		
	グリーンテクノロジー	1前		2				○							兼9	オムニバス	
	環境配慮素材と自然エネルギー	1前		2				○							兼4	オムニバス	
	エコ水車の開発と地域バイオマス利用	1前		2				○							兼3	集中・オムニバス	
	地球環境の歴史	1前		2				○							兼1		
	循環型社会入門	1前		2				○							兼1		
	環境とエネルギー	1後		2				○							兼1		
	環境エネルギー政策論	1後		2				○							兼1		
	ネイチャーライティングのすすめ（環境文学Ⅰ）	1前		2				○							兼1		
	環境文学のすすめ（環境文学Ⅱ）	1後		2				○							兼1		
	自然環境と文化	1後		2				○							兼1		
	環境法入門	1後		2				○							兼1		
	材料の科学と技術（基礎編）	1前		2				○							兼13	オムニバス	
材料の科学と技術（先端編）	1後		2				○							兼12	オムニバス		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
	生物と環境	1後		2		○								兼1	オムニバス
	自然災害と環境	1前		2		○								兼2	
	ナノテクと環境	1後		2		○								兼1	
	人とすまい	1前		2		○								兼6	
	水の環境科学	1後		2		○								兼1	
	森林サイエンス	1前		2		○								兼13	
	農山村と環境	1前		2		○								兼10	
	環境と緑の文化	1後		2		○								兼3	
	農環境保全学	1後		2		○								兼4	
	森林・環境共生学概論	1後		2		○								兼2	
環境と生命の基礎化学	1後		2		○								兼1		
教養科目 人文科学群	映像・人類学	1前		2		○								兼1	オムニバス
	Top Level English (トップレベルイングリッシュ)	1前・後		2		○								兼3	
	「田園環境健康都市須坂」を「共創」(須坂市寄付講義)	1後		2		○								兼1	
	映画史入門	1前		2		○								兼1	
	身体表現レクチャー&ワークショップ	1前		2		○								兼1	
	絶対王政期フランスの制度と社会	1前		2		○								兼1	
	モノの世界史	1前		2		○								兼1	
	世界の音楽	1前		2		○								兼1	
	方言からみた日本語	1後		2		○								兼1	
	江戸時代の本屋さん和本	1前		2		○								兼1	
	英語基礎Ⅰ(たてなおしの英語Ⅰ)	1前		2		○								兼1	
	英語基礎Ⅱ(たてなおしの英語Ⅱ)	1後		2		○								兼1	
	自己発見の方法	1後		2		○								兼1	
	日本古典文学入門	1前		2		○								兼1	
	中国古典小説	1前		2		○								兼1	
	生と死の哲学～哲学から宗教へ～	1前		2		○								兼1	
	文学と美術を歴史学で読み解く～日本古代史入門～	1前		2		○								兼1	
	山国信州の風土と暮らし(風土の中の衣食住)	1前		2		○								兼1	
	日本の屋根・信州の風土と暮らし	1後		2		○								兼1	
	モバイルデバイスで習うE-TOEICコース	1前・後		2		○								兼1	
	中世英語文献学入門	1後		2		○								兼1	
	「右肩下がり」の時代を生き抜くための倫理学	1前		2		○								兼1	
	言語哲学入門	1後		2		○								兼1	
	「優れた言語学習者」から考える日本語教育学	1後		2		○								兼1	
	恋愛小説を読むー比較文学への招待ー	1後		2		○								兼1	
	フランス文学概論	1前		2		○								兼1	
	日本文学概論	1後		2		○								兼1	
	映像で見て読んで考えるアメリカ	1後		2		○								兼1	
	時に挑む科学と文学	1後		2		○								兼1	
	アフリカ社会論	1前		2		○								兼1	
	韓国の文化(食文化)	1前		2		○								兼1	
	韓国の文化(映画で学ぶ)	1前		2		○								兼1	
	韓国の文化(若者の世界)	1後		2		○								兼1	
	韓国の文化(メディア)	1後		2		○								兼1	
	ドイツ語圏の文化Ⅰ	1前		2		○								兼2	
	ドイツ語圏の文化Ⅱ	1後		2		○								兼2	
	アフリカ文化論	1前		2		○								兼1	
	中国の文化(現代中国事情①)	1前		2		○								兼1	
	中国の文化(現代中国事情②)	1後		2		○								兼1	
	ロシアの文化(風土と歴史)	1前		2		○								兼1	
	スペイン語圏の文化(ラテンアメリカ)	1後		2		○								兼1	
	ドイツ語圏の文化Ⅲ	1前		2		○								兼1	
	ドイツ語圏の文化Ⅳ	1後		2		○								兼1	
	欧米文化(映画で見る未来像)	1前		2		○								兼1	
	フランス語圏の文化	1後		2		○								兼1	
スペイン語圏の文化(スペイン)	1前		2		○								兼1		
科学論	1後		2		○								兼5		
囲碁で養う考える力	1前		2		○								兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	明日を生きるための心理学 リスク社会と防災を学ぶ	1前		2		○									兼1	
	ベンチャービジネス概論	1前		2		○									兼3	オムニバス
	キャリアとしての公務員	1後		2		○									兼1	
	スポーツ考現学	1前・後		2		○									兼1	
	スポーツ文化を考える	1後		2		○									兼1	
	国際理解と多文化共生を考える I	1前		2		○									兼1	
	国際理解と多文化共生を考える II	1後		2		○									兼1	
	国際教養A	1前・後		2		○									兼2	集中
	国際教養B	1前・後		2		○									兼2	集中
	臨床心理学	1前		2		○									兼1	
	大学生が会おう法律問題	1前		2		○									兼14	オムニバス
	世界経済の歩み	1後		2		○									兼1	
	家族と法	1前		2		○									兼1	
	メディア心理学	1後		2		○									兼1	
	ポジティブ心理学	1前		2		○									兼1	
	消費社会学入門	1前		2		○									兼1	
	コミュニティの社会心理学	1後		2		○									兼1	
	臨床心理学概論	1後		2		○									兼1	
	青年の海外ボランティア活動	1後		2		○									兼1	
	キャリア形成論 I	1前		2		○									兼2	
	キャリア形成論 II	1後		2		○									兼2	
	手話コミュニケーションと社会	1後		2		○									兼2	
	手話と社会	1前		2		○									兼2	
	日本国憲法	1前・後		2		○									兼3	
	地域活性化システム論	1前		2		○									兼3	オムニバス
	公法入門	1後		2		○									兼1	
	法学入門	1前		2		○									兼1	
	現代政治分析	1前		2		○									兼1	
	マイクロ経済学入門	1後		2		○									兼5	オムニバス
	マクロ経済学入門	1前		2		○									兼5	オムニバス
	大学生が会おう経済・経営問題	1後		2		○									兼5	オムニバス
	障害と共生社会	1前		2		○									兼1	
	大学生から始めるキャリアデザイン	1前		2		○									兼3	オムニバス
	世界で今何が起きているのか? - I	1前		2		○									兼1	
	世界で今何が起きているのか? - II	1後		2		○									兼1	
	統計データから読み解く社会	1後		2		○									兼1	
	法学概論 I	1前		2		○									兼1	
	法学概論 II	1後		2		○									兼1	
	多様性の中で自分を活かす (異文化理解とコミュニケーション)	1前		2		○									兼1	
	多様性の中で自分を活かす (協働のスキル)	1後		2		○									兼1	
	グローバル人材論 (グローバルキャリアデザイン)	1前		2		○									兼1	
	グローバル人材論 (「グローバル」マインド養成)	1後		2		○									兼1	
	RESAS～教育を、社会を、地域研究を見据えたリソース～	1後		2		○									兼1	
	心理学概論	1後		2		○									兼7	オムニバス
	知っておくべき知的財産と研究倫理の基本	1前		2		○									兼1	
	証券・投資から育む「生きる力・考える力」(藍澤證券寄付講義)	1前		2		○									兼1	
	この国はどんな国-グローバル社会を生きるために-I	1前		2		○									兼1	
	この国はどんな国-グローバル社会を生きるために-II	1後		2		○									兼1	
	戦後政策と公法	1後		2		○									兼1	
	ジェンダー論	1後		2		○									兼1	
ヒューマンセクシュアリティ	1後		2		○									兼3	オムニバス	
新聞と私たちの社会 (信濃毎日新聞社寄付講義)	1後		2		○									兼1		
数を読む技術	1前・後		2		○									兼1		
電子出版の現代	1前		2		○									兼1		
家庭生活基礎A	1後		2		○									兼7	オムニバス	
キャリアビジョンと男女共同参画:誰もが輝く社会を考える	1前		2		○									兼5		
プログラミング入門	1後		2		○		○							兼1		
基本法学	1後		2		○									兼1		
税法入門講義	1前		2		○									兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
	市民社会と法	1前		2				○							兼1	
自然科学群	伝えておきたい数学	1前		2			○								兼1	
	教養としての物理学	1前		2			○								兼1	
	観測天文学入門	1後		2			○								兼1	
	生活のなかの天文学	1前		2			○								兼1	
	現代医療における物理学	1後		2			○								兼1	
	物理学の世界	1前		2			○								兼1	
	Activity-Based Astronomy--現代天文学入門	1前		2			○								兼1	
	時間と空間の物理学	1前		2			○								兼1	
	物理へのいざない	1後		2			○								兼11	オムコハス
	応用化学～千夜一夜～	1前		2			○								兼13	オムコハス
	生活の中の高分子	1前		2			○								兼13	オムコハス
	基礎分子遺伝学の世界	1後		2			○								兼2	オムコハス
	バイオリソースと生命科学	1後		2			○								兼2	オムコハス
	生態学入門	1後		2			○								兼1	
	地域から学ぶ地球	1前		2			○								兼1	
	教養としての物質科学	1後		2			○								兼1	
	ニューバイオテクノロジー入門	1後		2			○								兼5	オムコハス
	動物と私たちの暮らし	1前		2			○								兼8	オムコハス
	動物生命科学	1後		2			○								兼7	オムコハス
	食と植物の文化論	1後		2			○								兼4	オムコハス
	応用生物学への招待	1前		2			○								兼14	オムコハス
	食と微生物	1後		2			○								兼9	オムコハス
	ネットワーク社会における情報科学	1前・後		2			○								兼1	
	統計学の基礎	1前・後		2			○								兼1	
	検索の科学	1前・後		2			○								兼1	
	情報学入門 (コンピュータの構成、アルゴリズム)	1前		2			○								兼2	オムコハス
	情報学入門 (プログラミング、ネットワーク)	1後		2			○								兼2	オムコハス
	統計学入門	1前		2			○								兼1	
	ベイズ統計学入門	1後		2			○								兼1	
	脳の不思議を探る (認知神経科学入門)	1前		2			○								兼1	
	脳の不思議をもっと探る (認知神経科学入門)	1後		2			○								兼1	
	宇宙から原子への旅	1前		2			○								兼10	オムコハス
	国際看護学 I	1前		2			○								兼1	
国際技術論	1前		2			○								兼1		
科学技術政策と研究開発	1後		2			○								兼1		
健康管理と生活習慣【佐久大学開講】	1後		2			○								兼1		
体育・スポーツ群	ソフトボール	1前		1				○							兼1	
	テニス	1前		1				○							兼1	
	アダプトドスポーツ	1後		1				○							兼1	
	弓道	1前		1				○							兼1	
	コーディネーションエクササイズ	1前		1				○							兼1	
	剣道形の世界	1前		1				○							兼1	
	バドミントン	1前		1				○							兼2	
	サッカー	1前・後		1				○							兼1	
	バレーボール	1前		1				○							兼1	
	フライングディスク	1前		1				○							兼1	
	トレッキング	1前		1				○							兼5	集中
	ゴルフ	1前		1				○							兼2	集中
	スポーツフィッシング	1前		1				○							兼1	集中
	マリンスポーツ	1前		1				○							兼1	集中
	信大マラソン	1前		1				○							兼1	集中
	アウトドアの達人	1前		1				○							兼2	集中
	サバイバル活動	1前		1				○							兼1	集中
	スクーバダイビング	1後		1				○							兼2	集中
	レジャースポーツ	1前		1				○							兼1	集中
	スポーツボウリング	1後		1				○							兼1	
ニュースポーツ	1後		1				○							兼1	集中	
アスレティックトレーニング	1後		1				○							兼1		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
	バスケットボール	1後		1				○							兼1	集中 集中 集中 集中 集中 集中
	ネイチャースキー	1後		1				○							兼2	
	スノー・スポーツ	1後		1				○							兼12	
	アウトドアマスター I	2前		1				○							兼1	
	アウトドアマスター II	2前		1				○							兼4	
	ゴルフマスター I	2前		1				○							兼1	
	ゴルフマスター II	2前		1				○							兼1	
	小計 (296科目)	—	0	563	0			—	7	8	2	0	0	兼345	—	
英語	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I (上級)	1前		1				○							兼11	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I (中級)	1前		1				○							兼17	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I (初級)	1前		1				○							兼14	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I	1前・後		1				○							兼3	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II (上級)	1後		1				○							兼11	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II (中級)	1後		1				○							兼15	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II (初級)	1後		1				○							兼14	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II	1後		1				○							兼1	
	コミュニケーション・イングリッシュ I (上級)	1前		1				○							兼6	
	コミュニケーション・イングリッシュ I (中級)	1前		1				○							兼5	
	コミュニケーション・イングリッシュ I (初級)	1前		1				○							兼4	
	コミュニケーション・イングリッシュ II (上級)	1後		1				○							兼5	
	コミュニケーション・イングリッシュ II (中級)	1後		1				○							兼5	
	コミュニケーション・イングリッシュ II (初級)	1後		1				○							兼4	
	リスニング&リーディング I (上級)	1前		1					○						兼6	
	リスニング&リーディング I (中級)	1前		1					○						兼5	
	リスニング&リーディング I (初級)	1前		1					○						兼9	
	リスニング&リーディング I	1前		1					○						兼1	
	リスニング&リーディング II (上級)	1後		1					○						兼5	
	リスニング&リーディング II (中級)	1後		1					○						兼5	
	リスニング&リーディング II (初級)	1後		1					○						兼9	
	リスニング&リーディング II	1後		1					○						兼1	
	リーディング・プラス I	1前		1					○						兼1	
リーディング・プラス II	1後		1					○						兼1		
アカデミック・イングリッシュ I (上級)	2前		2				○							兼8		
アカデミック・イングリッシュ I (中級)	2前		2				○							兼19		
アカデミック・イングリッシュ I (初級)	2前		2				○							兼14		
アカデミック・イングリッシュ II (上級)	2後		2				○							兼8		
アカデミック・イングリッシュ II (中級)	2後		2				○							兼20		
アカデミック・イングリッシュ II (初級)	2後		2				○							兼17		
ドイツ語	ドイツ語初級 (総合) I	1前		1				○							兼2	
	ドイツ語初級 (総合) II	1後		1				○							兼2	
	ドイツ語初級 (文法) I	1前		1				○							兼3	
	ドイツ語初級 (文法) II	1前・後		1				○							兼3	
	ドイツ語初級 (読解・会話) I	1前・後		1				○							兼2	
	ドイツ語初級 (読解・会話) II	1後		1				○							兼2	
	ドイツ語中級 (読解) I	2前		2				○							兼2	
	ドイツ語中級 (読解) II	2後		2				○							兼1	
	ドイツ語中級 (会話) I	2前		2				○							兼1	
	ドイツ語中級 (会話) II	2後		2				○							兼1	
	ドイツ語演習 I	2前		2				○							兼2	
	ドイツ語演習 II	2後		2				○							兼2	
フランス語	フランス語初級 (総合) I	1前		1				○							兼1	
	フランス語初級 (総合) II	1後		1				○							兼1	
	フランス語初級 (文法) I	1前		1				○							兼1	
	フランス語初級 (文法) II	1後		1				○							兼1	
	フランス語初級 (読解・会話) I	1前		1				○							兼2	
	フランス語初級 (読解・会話) II	1後		1				○							兼2	
	フランス語中級 (読解・会話) I	2前		2				○							兼1	
	フランス語中級 (読解・会話) II	2後		2				○							兼1	
	フランス語演習 I	2前		2				○							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手					
外国語	フランス語演習Ⅱ	2後		2				○								兼1		
	中国語初級(総合)Ⅰ	1前		1					○							兼1		
	中国語初級(総合)Ⅱ	1後		1					○							兼1		
	中国語初級(文法)Ⅰ	1前		1					○							兼2		
	中国語初級(文法)Ⅱ	1後		1					○							兼2		
	中国語初級(読解・会話)Ⅰ	1前		1					○							兼4		
	中国語初級(読解・会話)Ⅱ	1後		1					○							兼4		
	中国語演習Ⅰ	2前		2				○								兼2		
	中国語演習Ⅱ	2後		2				○								兼2		
	ハンダ	ハンダ初級(総合)Ⅰ	1前		1					○							兼1	
		ハンダ初級(総合)Ⅱ	1後		1					○							兼1	
		ハンダ初級(文法)Ⅰ	1前		1					○							兼1	
		ハンダ初級(文法)Ⅱ	1後		1					○							兼1	
		ハンダ初級(読解・会話)Ⅰ	1前		1					○							兼1	
		ハンダ初級(読解・会話)Ⅱ	1後		1					○							兼1	
		ハンダ中級(読解・会話)Ⅰ	2前		2				○								兼1	
		ハンダ中級(読解・会話)Ⅱ	2後		2				○								兼1	
		ハンダ中級Ⅰ	2前		2				○								兼1	
		ハンダ中級Ⅱ	2後		2				○								兼1	
		ハンダ演習Ⅰ	2前		2				○								兼1	
	ハンダ演習Ⅱ	2後		2				○								兼1		
	スペイン語	スペイン語初級(総合)Ⅰ	1前		1					○							兼1	
		スペイン語初級(総合)Ⅱ	1後		1					○							兼1	
		スペイン語初級(文法)Ⅰ	1前		1					○							兼2	
		スペイン語初級(文法)Ⅱ	1前		1					○							兼2	
		スペイン語初級(読解・会話)Ⅰ	1後		1					○							兼1	
		スペイン語初級(読解・会話)Ⅱ	1後		1					○							兼1	
		スペイン語中級(読解・会話)Ⅰ	2前		2				○								兼1	
		スペイン語中級(読解・会話)Ⅱ	2後		2				○								兼1	
		スペイン語演習Ⅰ	2前		2				○								兼1	
	スペイン語演習Ⅱ	2後		2				○								兼1		
	小計(82科目)	—	0	110	0			—			0	0	0	0	0	兼69	—	
健康科学科目	健康科学・理論と実践	1前	1					○								兼3	※実技・オムニバス	
	小計(1科目)	—	1	0	0			—			0	0	0	0	0	兼3	—	
	小計(2科目)	—	4	0	0			—			9	8	3	0	0	兼11	—	
日本語・日本事情	新生ゼミナールⅠ	1前	2					○			9	8	3			兼7		
	新生ゼミナールⅡ	1後	2					○			9	8	3			兼4		
	小計(2科目)	—	4	0	0			—			9	8	3	0	0	兼11	—	
	読解(日本語)Ⅰ	1前		1					○							兼2	※外国人留学生のみ	
	読解(日本語)Ⅱ	1後		1					○							兼2		
	作文(日本語)Ⅰ	1前		1					○							兼2		
	作文(日本語)Ⅱ	1後		1					○							兼2		
	科学技術日本語Ⅰ	1前		1					○							兼1		
	科学技術日本語Ⅱ	1後		1					○							兼1		
	ビジネス・ジャパニーズⅠ	1前		1					○							兼1		
	ビジネス・ジャパニーズⅡ	1後		1					○							兼1		
	日本語表現・文型Ⅰ	1前		1					○							兼1		
	日本語表現・文型Ⅱ	1後		1					○							兼1		
	聴解(日本語)Ⅰ	1前		1					○							兼2		
	聴解(日本語)Ⅱ	1後		1					○							兼2		
	口頭表現Ⅰ	1前		1					○							兼1		
	口頭表現Ⅱ	1後		1					○							兼1		
	日本社会と日本人Ⅰ	1前		2				○								兼1		※外国人留学生のみ
日本社会と日本人Ⅱ	1後		2				○								兼1			
武道・伝統文化実習Ⅰ	1前		1					○							兼2	オムニバス		
武道・伝統文化実習Ⅱ	1後		1					○							兼2	オムニバス		
小計(18科目)	—	0	20	0			—			0	0	0	0	0	兼8	—		





科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	コミュニケーション論	2・3・4後		2		○				2					
	日本語教育学概論	2・3・4前		2		○				1					
	多文化教育方法論	2・3・4後		2		○				1					
	情報機器活用論	2・3前		2		○	○			1					※演習
	情報機器活用指導法	3・4後		2		○	○			1					※演習
	異文化間教育基礎演習Ⅰ	2後		2		○	○								
	異文化間教育基礎演習Ⅱ	3前		2		○	○								
	コミュニケーション論	2・3・4後		2		○				2					
	異文化間コミュニケーション教育	3・4後		2		○				1					
	日本語教育学概論	2・3・4前		2		○				1					
	多文化教育方法論	2・3・4後		2		○				1					
	異文化間コミュニケーション特別演習	4前		2			○			1					
	異文化間コミュニケーション特別演習	4後		2			○			1					
	多文化教育特別演習Ⅰ	4前		2			○			1					
	多文化教育特別演習Ⅱ	4後		2			○			1					
	教育実習Ⅱ(中等)	4通		2				○							
	マルチメディア教育論	3・4後		2		○	○			1		1			集中 ※演習
	情報機器活用指導法	3・4後		2		○	○			1		1			※演習
	情報機器活用論	2・3前		2		○	○			1		1			※演習
	情報機器活用指導法	3・4後		2		○	○			1		1			※演習
	教育実習Ⅱ(中等)	4通		2				○							集中
	ICT活用教育基礎演習Ⅰ	2後		2			○					1			
	ICT活用教育基礎演習Ⅱ	3後		2			○			1					
	幼児心理学	2・3・4後		2		○						1			兼1
	発達心理学	2・3・4前		2		○									集中
	コミュニケーション論	2・3・4後		2		○				2					
	異文化間コミュニケーション教育	3・4後		2		○				1					
	日本語教育学概論	2・3・4前		2		○				1					
	多文化教育方法論	2・3・4後		2		○				1					
	臨床教育学概論	2・3後		2		○						1			
	教育社会学概論	2・3前		2		○				1					
	ICT活用教育演習Ⅰ	3後		2			○			1		1			集中
	ICT活用教育演習Ⅱ	4前		2			○			1		1			集中
	授業開発論特講	2・3		2		○						1			隔年
	キャリア教育特講	2・3後		2		○						1			隔年
	マルチメディア教育論	3・4後		2		○	○			1		1			※演習
	幼児教育学概論	2・3後		2		○						1			
	社会教育演習	2・3通		4			○					1			
	幼児心理学	2・3・4後		2		○						1			
	発達心理学	2・3・4前		2		○									兼1
	教育心理学特別演習Ⅰ	3前		2			○			1					集中
	教育心理学特別演習Ⅱ	3後		2			○			1					集中
	教育実習Ⅱ(中等)	4通		2				○							集中
	幼児理解・教育相談	2・3・4前		2			○					1			
	人間関係概論	2・3・4前		2			○					1			
	マルチメディア教育論	3・4後		2		○	○			1		1			※演習
	心理学統計法	2後		2			○			1					
	心理学実験	3前		2			○			1					
	心理学研究法	3・4後		2			○			1					
	臨床心理学概論	2・3・4後		2		○						1			
	感情・人格心理学	2・3・4前		2		○						1			集中
	神経・生理心理学	2・3・4後		2		○				1					
	社会・集団・家族心理学	2・3・4前		2		○				1		1			集中
	基礎心理学	1前		2				○							兼1
	計量心理学	3・4前		2				○		1					
	情報機器活用指導法	3・4後		2			○	○		1		1			※演習
	教育内容・方法論	2前後	2				○			1		2			
	道德教育の基礎と実践	3前後	2				○			1					
	特別活動の理論と方法	3前後	1				○			1					
	総合的な学習の時間の指導法	2前・3後	1				○					2			
	キャリア教育と進路指導	3前後	1				○					1			
	総合的な学習の授業づくり	3・4前	2				○			1					
	教育相談の基礎と方法	2前・3後	2				○			2		2			
	児童理解・生徒指導概論	2前後	2				○			1		1			
	卒業研究	4通	5					○		39		41	2	10	集中
	小計(131科目)	—	80	186	0			—		39	41	2	10		兼12

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
野外教育コース	健康教育概論	3前	2			○			1								
	野外教育概論	2前	2			○			1								
	教育経営	2前	2			○											
	野外教育	1前	1				○		2		1					兼1	集中
	環境教育	1前	2				○			1		1				兼1	集中
	スポーツ・体育学入門	1後		2			○			1							
	体育学基礎	1前		2			○			1							
	運動学演習	2・3・4後		2				○		1							
	健康教育演習	2・3・4前		2				○		1							
	生理学基礎	2後		2			○			1							
	衛生学・公衆衛生学基礎	2・3後		2			○						1				隔年
	学校保健基礎	2・3後		2			○							1			
	中等体育実技基礎Ⅰ	2前		1					○		1						
	中等体育実技基礎Ⅱ	3前		1					○		1						
	教職実践演習(幼・小・中・高)	4通		2				○		17	15	1	4				※演習 集中
	教育実習事前・事後指導(中等)	3通		1			○	○			1						集中
	教育実習Ⅰ(中等)	3通		4					○								
	野外教育学外特別講義Ⅰ	2・3・4前		2			○									兼1	
	野外教育学外特別講義Ⅱ	2・3・4前		2			○									兼1	
	教育内容・方法論	2前後	2				○			1	2						
	道德教育の基礎と実践	3前後	2				○			1							
	特別活動の理論と方法	2前・3後	1				○				2						
	総合的な学習の時間の指導法	3前後	1				○			1							
	キャリア教育と進路指導	2前・3後	2				○			2	2						
	教育相談の基礎と方法	2前・3後	1				○				1						
	児童理解・生徒指導概論	2前後	2				○			1	1						
	コンピュータ利用教育	2前	2					○		9	5		1				
	教職・カリキュラム論	1通	2				○				1						
	教育原論	2通	2				○				1						
	発達・教育心理学概論	2前後	2				○				1						
	特別支援教育概論	2後・3後	2				○						1				
	教育臨床演習	2通	2					○		8	10	1	4				
	安全教育概論	2・3・4後	2				○				1						
	生涯スポーツ概論	2後	2				○					1					
	冬季スポーツ指導法	3前	2				○			1							
	野外教育指導法演習Ⅱ	2・3・4前	2						○			1					集中
	安全教育演習	2・3・4前	2				○					1					
	教育実習事前・事後指導(初等)	3通	1				○	○			1						※演習 集中
	教育実習Ⅰ(初等)	3通	4						○								集中
	生活基礎	2・3・4前後			2		○			1							
	音楽基礎	2・3・4前後			2		○	○			2						
	図画工作基礎	2・3・4前			2			○			2		1				
	家庭生活基礎	1・2・3・4後			2		○			4	1						
	体育基礎	2・3・4前			2			○		1	2		1				
	体づくり運動	2・3・4			1				○				1				隔年
	器械運動	2・3・4前			1				○		1						
	陸上競技	2・3・4前			1				○		1						
	サッカー	2・3・4前			1				○	1							
	バスケットボール	2・3・4後			1				○				1				
	バレーボール	2・3・4前			1				○					1			
ソフトボール	2・3・4前			1				○		1							
剣道	2・3・4前			1				○	1								
柔道	2前			1				○								兼1	
ダンス	2・3・4			1				○								隔年	
水泳	2・3・4			1				○	1							隔年	
体育社会学	2・3・4			2		○					1						
体育心理学	2・3・4			2		○				1							
体育史	2・3・4後			2		○			1								
運動方法学	2・3・4後			2		○				1							
運動学基礎	2前	2				○				1							
中等保健体育科指導法基礎	2・3・4前			2		○			1								
中等保健体育科教材論	2・3・4後			2					1								
中等保健体育科指導法演習	3・4後			2				○					1				
中等保健体育科指導法演習	3・4前			2				○					1				
国語基礎	1後・2前		2			○			2	3			1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
	社会基礎	1・2・3・4後	2			○				2					
	算数基礎	2前・3後	2			○			1						
	理科基礎	2前・3後	2			○			3	3					
	英語基礎	2・3前後	2			○				1					
	初等国語科指導法基礎	2後・3前	2			○			1	1					
	初等社会科指導法基礎	2前・3後	2			○			1		1				
	算数科指導法基礎	1後・2前後	2			○			1	2					
	初等理科指導法基礎	1前・2後・3前	2			○			1						
	生活科指導法基礎	3前後	2			○					1				
	初等音楽科指導法基礎	2後・3前	2			○			1						
	図画工作科指導法基礎	2後・3前	2			○			1			1			
	初等体育科指導法基礎	1・2・3・4前後	2			○							1		
	初等家庭科指導法基礎	2前・3後	2			○			1	1					
	初等英語科指導法基礎	2・3前後	2			○			1						
	体育のバイオメカニクス	2・3・4前		2		○			1						
	野外教育指導法演習Ⅰ	2・3・4前		2			○				1				集中
	冬季スポーツ指導法演習	2・3・4前		2			○		1						
	フィールド調査演習	2・3・4後		2			○				1				
	スケート実習	2・3・4後		1				○	1						集中
	スキー実習	2・3・4後		1				○		1					集中
	登山実習	2・3・4前		1				○			1				集中
	雪上キャンプ実習	2・3・4後		1				○			1				集中
	レクリエーション・スポーツ実習Ⅰ	2・3・4前		1				○			1				
	レクリエーション・スポーツ実習Ⅱ	2・3・4後		1				○		1					
	水辺活動実習	2・3・4前		1				○			1				集中
	バックカントリースキー実習	2・3・4後		1				○			1				集中
	体育史演習	2・3・4前		2				○	1						
	卒業研究	4通	5					○	39	41	2	10			集中
	小計 (93科目)	—	86	80	0	—			39	41	2	10		兼8	
国語教育コース	コンピュータ利用教育	2前	2				○		9	5		1			
	国語基礎	1後・2前	2			○			2	3		1			
	社会基礎	1・2・3・4後	2			○				2					
	算数基礎	2前・3後	2			○			1						
	理科基礎	2前・3後	2			○			3	3					
	英語基礎	2前・3後	2			○				1					
	教職・カリキュラム論	1通	2			○				2					
	教育原論	2前後	2			○				1					
	教育経営	2前	2			○								兼1	
	発達・教育心理学概論	2前後	2			○				1					
	特別支援教育概論	1後	2			○						1			
	教育内容・方法論	2前後	2			○			1	2					
	道徳教育の基礎と実践	3前後	2			○			1						
	総合的な学習の時間の指導法	2前・3後	1			○				2					
	特別活動の理論と方法	3前後	1			○			1						
	教育相談の基礎と方法	2前・3後	2			○			2	2					
	キャリア教育と進路指導	2前・3後	1			○				1					
	児童理解・生徒指導概論	2前後	2			○			1	1					
	初等国語科指導法基礎	2後・3前	2			○			1	1					
	初等社会科指導法基礎	2前・3後	2			○			1	1					
	算数科指導法基礎	1後・2前後	2			○			1	2					
	初等理科指導法基礎	1前・2後・3前	2			○			1						
	生活科指導法基礎	3前後	2			○			1						
	初等音楽科指導法基礎	2後・3前	2			○			1			1			
	図画工作科指導法基礎	2後・3前	2			○			1			1			
	初等体育科指導法基礎	1・2・3・4前後	2			○			1	1					
	初等家庭科指導法基礎	2前・3後	2			○				1			1		
	初等英語科指導法基礎	2前・3後	2			○			1						
	教職実践演習 (幼・小・中・高)	4通	2					○	17	15	1	4			
	野外教育	1前	1					○	2		2				集中
	環境教育	1前	2			○							1		集中
	教育臨床演習	2通	2					○	8	10	1	4			集中
	日本語学基礎	2前	2			○				1					
	日本文学基礎	2前	2			○			1				1		
	漢文学基礎	2後	2			○				1					
	中等国語科指導法基礎	2前	2			○			1	1					

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
	教育実習事前・事後指導 (初等)	3通	1			○	○			1					※演習 集中
	教育実習事前・事後指導 (中等)	3通	1			○	○			1					※演習 集中
	教育実習Ⅰ (初等)	3通	4					○							集中
	教育実習Ⅰ (中等)	3通	4					○							集中
	教育実習Ⅱ (初等)	4通	2					○							集中
	教育実習Ⅱ (中等)	4通	2					○							集中
	生活基礎	2・3・4前後		2		○				1					
	音楽基礎	2・3・4前後		2		○	○			2					※講義
	図画工作基礎	2・3・4前		2			○			2		1			
	家庭生活基礎	1・2・3・4後		2		○				4	1				
	体育基礎	2・3・4前		2			○			1	2	1			
	日本語史	2・3・4		2		○				1					隔年
	語彙論	2・3・4後		2		○				1					隔年
	日本語学演習	3・4前		2			○			1					
	近代文学講読	3・4後		2		○						1			
	古典文学講読	3・4後		2		○				1					
	近代文学史	2・3・4後		2		○						1			
	古典文学史	2・3・4後		2		○				1					
	近代文学演習	3・4前		2			○					1			
	古典文学演習	3・4前		2			○			1					
	書道演習	3・4前		2			○				1				
	日本語学特講	4		2		○				1					隔年
	日本文学特講	3・4後		2		○						1			
	日本語学特別演習	4後		2						1					
	近代文学特別演習	3・4後		2			○					1			
	古典文学特別演習	4後		2			○			1					
	漢文学概論	2・3・4		2		○					1				
	書道特別演習	2・3・4後		2			○				1				
	書道特講	4後		2		○				1					
	書道史	3・4		2		○				1					
	書論・鑑賞	2・3・4前		2		○				1					
	児童文学論	3・4前		2		○						1			
	文字・表記論	2・3・4後		2		○				1					隔年
	書写論	3・4		2		○				1					隔年
	国語科指導法特別演習Ⅰ	3・4後		2			○			1					
	国語科指導法特別演習Ⅱ	3・4後		2			○				1				
	国語科指導法特講	3・4		2		○					1				隔年
	国語科指導法特論	3・4前		2		○				1					隔年
	国語教育学外特別講義Ⅰ	2・3・4前		2		○								兼1	
	国語教育学外特別講義Ⅱ	2・3・4前		2		○								兼1	
	卒業研究	4通		5			○			39	41	2	10		集中
	小計 (77科目)	—	87	68	0	—	—	—	—	39	41	2	10		兼3
英語教育コース	コンピュータ利用教育	2前	2				○			9	5		1		
	国語基礎	1後・2前	2			○				2	3		1		
	社会基礎	1・2・3・4後	2			○					2				
	算数基礎	2前・3後	2			○				1					
	理科基礎	2前・3後	2			○				3	3				
	英語基礎	2前・3後	2			○					1				
	教職・カリキュラム論	1通	2			○					2				
	教育原論	2前後	2			○					1				
	教育経営	2前	2			○								兼1	
	発達・教育心理学概論	2前後	2			○					1				
	特別支援教育概論	1後	2			○						1			
	教育内容・方法論	2前後	2			○				1	2				
	道德教育の基礎と実践	3前後	2			○				1					
	総合的な学習の時間の指導法	2前・3後	1			○					2				
	特別活動の理論と方法	3前後	1			○				1					
	教育相談の基礎と方法	2前・3後	2			○				2	2				
	キャリア教育と進路指導	2前・3後	1			○					1				
	児童理解・生徒指導概論	2前後	2			○				1	1				
	初等国語科指導法基礎	2後・3前	2			○				1	1				
	初等社会科指導法基礎	2前・3後	2			○				1	1				
	算教科指導法基礎	1後・2前後	2			○				1	2				
	初等理科指導法基礎	1前・2後・3前	2			○				1					
	生活科指導法基礎	3前後	2			○				1					

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
	初等音楽科指導法基礎	2後・3前	2			○			1			1				
	図画工作科指導法基礎	2後・3前	2			○			1			1				
	初等体育科指導法基礎	1・2・3・4前後	2			○			1	1						
	初等家庭科指導法基礎	2前・3後	2			○				1		1				
	初等英語科指導法基礎	2前・3後	2			○			1							
	教職実践演習（幼・小・中・高）	4通	2				○		17	15	1	4				
	野外教育	1前	1				○		2		2					
	環境教育	1前	2			○						1				
	教育臨床演習	2通	2				○		8	10	1	4				
	英語学基礎	2・3・4前	2			○			1	1						
	英語コミュニケーション基礎	2前	2											兼1		
	異文化理解基礎	2・3・4前	2			○						1				
	英語学Ⅰ	2・3前	2					○			1					
	英語文学Ⅰ	2・3前	2					○			1					
	英語コミュニケーション・リーディングⅠ	2・3前	2					○			1					
	英語コミュニケーション・リーディングⅡ	2・3前	1					○						兼1		
	英語コミュニケーション・ライティングⅠ	2・3前	2					○		1						
	英語コミュニケーション・ライティングⅡ	2・3後	1					○						兼1		
	教室英語コミュニケーションⅠ	2・3・4前	1					○						兼1		
	英語科指導法基礎	2・3・4前	2			○			1							
	英語科授業学	2・3・4後	2			○						1				
	英語科評価論	2・3・4前	2			○			1							
	教育実習事前・事後指導（初等）	3通	1			○	○			1						※演習 集中
	教育実習事前・事後指導（中等）	3通	1			○	○			1						※演習 集中
	教育実習Ⅰ（初等）	3通	4					○								集中
	教育実習Ⅰ（中等）	3通	4					○								集中
	教育実習Ⅱ（初等）	4通	2					○								集中
	教育実習Ⅱ（中等）	4通	2					○								集中
	生活基礎	2・3・4前後		2		○			1							
	音楽基礎	2・3・4前後		2		○	○			2						※講義
	図画工作基礎	2・3・4前		2			○			2		1				
	家庭生活基礎	1・2・3・4後		2		○			4	1						
	体育基礎	2・3・4前		2			○		1	2		1				
	教室英語コミュニケーションⅡ	2・3・4後		1			○							兼1		
	教室英語コミュニケーションⅢ	2・3・4前		1			○							兼1		
	英語文化	2・3・4前		1			○							兼1		
	英語科指導法演習Ⅰ	2・3・4前		1			○					1				
	英語科指導法演習Ⅱ	2・3・4後		1			○		1							
	英語学特殊演習Ⅰ	2・3・4前		2			○		1							
	英語学特殊演習Ⅱ	2・3・4後		2			○		1							
	英語学特殊演習Ⅲ	2・3・4前		2			○			1						
	英語学特殊演習Ⅳ	2・3・4後		2			○			1						
	英語教育学特殊演習Ⅰ	2・3・4前		2			○		1							
	英語教育学特殊演習Ⅱ	2・3・4後		2			○		1							
	英語教育学外特別講義Ⅰ	2・3・4前		2		○								兼1		
	英語教育学外特別講義Ⅱ	2・3・4前		2		○								兼1		
	卒業研究	4通	5					○	39	41	2	10				集中
	小計（70科目）	—	102	31	0			—	39	41	2	10		兼4		
社会 科 教 育 コ ー ス	コンピュータ利用教育	2前	2					○	9	5		1				
	国語基礎	1後・2前	2					○	2	3		1				
	社会基礎	1・2・3・4後	2					○		2						
	算数基礎	2前・3後	2					○	1							
	理科基礎	2前・3後	2					○	3	3						
	教育経営	2前	2					○						兼1		
	発達・教育心理学概論	2前後	2					○		1						
	初等国語科指導法基礎	2後・3前	2					○	1	1						
	初等社会科指導法基礎	2前・3後	2					○	1			1				
	算数科指導法基礎	1後・2前後	2					○	1	2						
	初等理科指導法基礎	1前・2後・3前	2					○	1							
	生活科指導法基礎	3前後	2					○				1				
	初等音楽科指導法基礎	2後・3前	2					○	1							
	図画工作科指導法基礎	2後・3前	2					○	1				1			
	初等体育科指導法基礎	1・2・3・4前後	2					○					1			
	初等家庭科指導法基礎	2前・3後	2					○	1	1						
	教職実践演習（幼・小・中・高）	4通	2					○	17	15	1	4				

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
	野外教育	1前	1				○		2		1			兼1	集中
	環境教育	1前	2				○			1		1		兼1	集中
	教育臨床演習	2通	2				○		8	10	1	4			集中
	歴史学基礎	2後	2				○		1			1			
	地理学基礎	2前	2				○		1						
	中等社会科指導法基礎	2・3後	2				○		1			1			隔年
	中等社会科地理歴史教材研究	3前	2				○					1			
	中等社会科公民教材研究	3後	2				○		1						
	教育実習事前・事後指導（初等）	3通	1				○	○		1					※演習 集中
	教育実習事前・事後指導（中等）	3通	1				○	○		1					※演習 集中
	教育実習Ⅰ（初等）	3通	4					○							集中
	教育実習Ⅰ（中等）	3通	4					○							集中
	教育実習Ⅱ（初等）	4通	2					○							集中
	教育実習Ⅱ（中等）	4通	2					○							集中
	生活基礎	2・3・4前後		2			○		1						
	音楽基礎	2・3・4前後		2			○	○		2					※講義
	図画工作基礎	2・3・4前		2				○		2		1			
	家庭生活基礎	1・2・3・4後		2				○	4	1					
	体育基礎	2・3・4前		2				○	1	2		1			
	法学基礎	2後		2				○		1					
	政治学基礎	2前		2				○		1					
	社会学基礎	2・3・4後		2				○	1						
	経済学基礎	2・3前		2				○		1					
	哲学基礎	2後		2				○						兼1	
	倫理学基礎	2前		2				○						兼1	
	地誌学概論	2・3後		2				○	1						
	地理学野外実習Ⅰ	2・3・4後		2					2						集中
	地理学野外実習Ⅱ	2・3・4		2					2						
	文化人類学Ⅰ	2・3後		2				○	1						
	地理歴史教育指導法	3・4後		2				○				1			
	公民教育指導法	3・4前		2				○	1						
	日本史演習Ⅰ	2・3前		2					1						
	日本史演習Ⅱ	2・3後		2					1						
	外国史演習Ⅰ	2・3前		2								1			
	外国史演習Ⅱ	2・3後		2								1			
	地形学	2・3・4後		2				○	1						
	文化人類学Ⅱ	2・3前		2				○	1						
	地理学実習Ⅰ	2・3・4後		2					2						隔年
	地理学実習Ⅱ	2・3・4		2					2						隔年
	自然地理学演習Ⅰ	2・3・4前		2					1						隔年
	自然地理学演習Ⅱ	2・3・4後		2					1						隔年
	法学演習Ⅰ	3前		2						1					
	法学演習Ⅱ	3後		2						1					
	政治学演習Ⅰ	3前		2						1					隔年
	政治学演習Ⅱ	3前		2						1					隔年
	文化人類学演習Ⅰ	2・3後		2					1						
	文化人類学演習Ⅱ	2・3前		2					1						
	社会調査特講	2・3・4前		2				○	1						
	社会調査実習	2・3・4前		2					1						集中
	経済学演習Ⅰ	2・3前		2						1					
	経済学演習Ⅱ	2・3後		2						1					
	哲学演習Ⅰ	2・3・4		2										兼1	隔年
	哲学演習Ⅱ	2・3・4		2										兼1	隔年
	倫理学演習Ⅰ	3		2										兼1	隔年
	倫理学演習Ⅱ	3		2										兼1	隔年
	新聞活用教育概論	2・3・4後		2				○	1						
	社会科教育学外特別講義Ⅰ	2・3・4前		2				○						兼1	
	社会科教育学外特別講義Ⅱ	2・3・4前		2				○						兼1	
	卒業研究	4通	5					○	39	41	2	10			集中
	小計（76科目）	—	68	88	0			—	39	41	2	10		兼4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
数学教育コース	コンピュータ利用教育	2前	2				○		9	5		1		兼1
	国語基礎	1後・2前	2			○		2	3		1			
	社会基礎	1・2・3・4後	2			○			2					
	算数基礎	2前・3後	2			○		1						
	理科基礎	2前・3後	2			○		3	3					
	英語基礎	2前・3後	2			○			1					
	教職・カリキュラム論	1通	2			○			2					
	教育原論	2前後	2			○			1					
	教育経営	2前	2			○								
	発達・教育心理学概論	2前後	2			○			1					
	特別支援教育概論	1後	2			○					1			
	教育内容・方法論	2前後	2			○			1	2				
	道德教育の基礎と実践	3前後	2			○			1					
	総合的な学習の時間の指導法	2前・3後	1			○				2				
	特別活動の理論と方法	3前後	1			○			1					
	教育相談の基礎と方法	2前・3後	2			○			2	2				
	キャリア教育と進路指導	2前・3後	1			○				1				
	児童理解・生徒指導概論	2前後	2			○			1	1				
	初等国語科指導法基礎	2後・3前	2			○			1	1				
	初等社会科指導法基礎	2前・3後	2			○			1	1				
	算数科指導法基礎	1後・2前後	2			○			1	2				
	初等理科指導法基礎	1前・2後・3前	2			○			1					
	生活科指導法基礎	3前後	2			○			1					
	初等音楽科指導法基礎	2後・3前	2			○			1		1			
	図画工作科指導法基礎	2後・3前	2			○			1		1			
	初等体育科指導法基礎	1・2・3・4前後	2			○			1	1				
	初等家庭科指導法基礎	2前・3後	2			○				1	1			
	初等英語科指導法基礎	2前・3後	2			○			1					
	教職実践演習(幼・小・中・高)	4通	2				○		17	15	1	4		
	野外教育	1前	1				○		2		2			
	環境教育	1前	2				○					1		
	教育臨床演習	2通	2					○	8	10	1	4		
	代教基礎	2後	2				○		1					
	幾何基礎	2前	2				○			1				
	解析基礎	2通	2				○					1		
	数理統計学基礎	2後	2				○		1					
	コンピュータ基礎	3前	2				○		1	3				
	線形代数学	1後	2				○		1					
	幾何学Ⅰ	2後	2				○			1				
	中等数学科指導法基礎	2後	2				○		1					
	数学教育評価論	3後	2				○			1				
	数学教育教材論	1後	2				○		1	2				
	数学教育カリキュラム論	2前	2				○			1				
	教育実習事前・事後指導(初等)	3通	1				○	○		1			※演習 集中	
	教育実習事前・事後指導(中等)	3通	1				○	○		1			※演習 集中	
	教育実習Ⅰ(初等)	3通	4										集中	
	教育実習Ⅰ(中等)	3通	4										集中	
	教育実習Ⅱ(初等)	4通	2										集中	
	教育実習Ⅱ(中等)	4通	2										集中	
	生活基礎	2・3・4前後		2			○		1					
音楽基礎	2・3・4前後		2			○	○		2			※講義		
図画工作基礎	2・3・4前		2			○	○		2		1			
家庭生活基礎	1・2・3・4後		2			○		4	1					
体育基礎	2・3・4前		2				○	1	2		1			
代数学	3前		2			○		1						
線形空間論	2通		2			○		1						
幾何学Ⅱ	2前		2			○			1					
解析学Ⅰ	3前		2			○					1			
解析学Ⅱ	3前		2			○					1			
確率論	2		2			○						兼1		
代数学統論	4前		2			○					1			
幾何学統論	4前		2	○				1						
解析学統論	4前		2								1			



科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
	代数学特別演習	4通		2			○					1				
	微分幾何学特別演習	4通		2			○			1						
	解析学特別演習	4通		2			○					1				
	数学教育法特別演習	4通		2			○		1	1						
	数学教育学外特別講義Ⅰ	2・3・4前		2		○									兼1	
	数学教育学外特別講義Ⅱ	2・3・4前		2		○									兼1	
	卒業研究	4通	5				○		39	41	2	10				集中
	小計 (70科目)	—	101	40	0		—		39	41	2	10			兼8	
理 科 教 育 コ ー ス	コンピュータ利用教育	2前	2				○		9	5		1				
	国語基礎	1後・2前	2			○			2	3		1				
	社会基礎	1・2・3・4後	2			○				2						
	算数基礎	2前・3後	2			○			1							
	理科基礎	2前・3後	2			○			3	3						
	英語基礎	2前・3後	2			○				1						
	教職・カリキュラム論	1通	2			○				2						
	教育原論	2前後	2			○				1						
	教育経営	2前	2			○									兼1	
	発達・教育心理学概論	2前後	2			○				1						
	特別支援教育概論	1後	2			○						1				
	教育内容・方法論	2前後	2			○			1	2						
	道德教育の基礎と実践	3前後	2			○			1							
	総合的な学習の時間の指導法	2前・3後	1			○				2						
	特別活動の理論と方法	3前後	1			○			1							
	教育相談の基礎と方法	2前・3後	2			○			2	2						
	キャリア教育と進路指導	2前・3後	2			○				1						
	児童理解・生徒指導概論	2前後	2			○			1	1						
	初等国語科指導法基礎	2後・3前	2			○			1	1						
	初等社会科指導法基礎	2前・3後	2			○			1	1						
	算数科指導法基礎	1後・2前後	2			○			1	2						
	初等理科指導法基礎	1前・2後・3前	2			○			1							
	生活科指導法基礎	3前後	2			○			1							
	初等音楽科指導法基礎	2後・3前	2			○			1			1				
	図画工作科指導法基礎	2後・3前	2			○			1			1				
	初等体育科指導法基礎	1・2・3・4前後	2			○			1	1						
	初等家庭科指導法基礎	2前・3後	2			○			1	1		1				
	初等英語科指導法基礎	2前・3後	2			○			1							
	教職実践演習 (幼・小・中・高)	4通	2					○	17	15	1	4				
	野外教育	1前	1					○	2		2					集中
	環境教育	1前	2				○					1				集中
	教育臨床演習	2通	2					○	8	10	1	4				集中
	物理学基礎	2前後	2				○	○	1	1						※演習
	力学	2前	2				○			1						
	物理学基礎実験	2前後	1					○	1	1						
	化学基礎	2前後	2				○	○	1						兼1	※講義
	無機化学	2後	2				○		1							
	化学基礎実験	2前後	1					○	1						兼1	
	生物学基礎	2後	2				○			1					兼1	
	生化学	2後	2				○			1					兼1	
	生物学基礎実験	2前	1					○	1						兼1	
	地学基礎	2後	2				○			1						
	地質学概論	2前	2				○			1						
地学基礎実験	2前	1					○	1								
中等理科指導法基礎	3前	2				○		1								
理科授業研究基礎	3後	2				○		1								
理科教育教材論	3後	2				○		1								
教育実習事前・事後指導 (初等)	3通	1				○	○		1						※演習 集中	
教育実習事前・事後指導 (中等)	3通	1				○	○		1						※演習 集中	
教育実習Ⅰ (初等)	3通	4													集中	
教育実習Ⅰ (中等)	3通	4													集中	
教育実習Ⅱ (初等)	4通	2													集中	
教育実習Ⅱ (中等)	4通	2													集中	
生活基礎	2・3・4前後			2		○		1								
音楽基礎	2・3・4前後			2		○	○			2						※講義

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
	図画工作基礎	2・3・4前		2			○			2		1				
	家庭生活基礎	1・2・3・4後		2		○			4	1						
	体育基礎	2・3・4前		2			○		1	2		1				
	電磁気学	2・3・4前		2		○			1							
	物理学実験Ⅰ	3・4前		1				○		1						
	有機化学	2・3・4		2		○				1						
	物理化学	3・4後		2		○			1							
	化学実験Ⅰ	3・4前		1				○	1							
	遺伝学	2・3・4前		2		○				1						
	生物学実験Ⅰ	3・4前		1				○		1						
	気象学概論	2・3・4		2		○								兼1		
	天文学概論	2・3・4		2		○								兼1		隔年
	地学実験Ⅰ	3・4前		1				○		1						
	量子力学	3・4前		2		○			1							
	熱学・統計力学	3・4後		2		○			1							
	固体物理学	3・4後		2		○			1							
	物理学演習Ⅰ	3・4前		1			○			1						
	物理学演習Ⅱ	3・4後		1			○			1						
	物理学実験Ⅱ	3・4後		1				○		1						
	有機反応論	3・4		2		○				1						隔年
	有機物理化学	3・4		2		○				1						隔年
	化学演習Ⅰ	3・4前		1			○		1					兼1		
	化学演習Ⅱ	3・4後		1			○		1							
	化学実験Ⅱ	3・4後		1				○	1							
	生物学演習Ⅰ	3・4後		1			○			1						
	生物学演習Ⅱ	3		1			○							兼1		
	生物学実験Ⅱ	2・3		1				○						兼1		
	層位学	2・3・4		2		○				1						隔年
	地史学	2・3・4後		2		○				1						隔年
	地学演習Ⅰ	3・4前		1			○			1						
	地学演習Ⅱ	3・4後		1			○			1						
	地学実験Ⅱ	3後		1				○		1						
	理科教育演習Ⅰ	3前		1			○		2							
	理科教育演習Ⅱ	3後		1			○		2							
	理科教育学外特別講義Ⅰ	2・3・4前		2		○								兼1		
	理科教育学外特別講義Ⅱ	2・3・4前		2		○								兼1		
	卒業研究	4通		5				○	39	41	2	10				集中
	小計(92科目)	—		105	58	0		—	39	41	2	10		兼11		
音楽教育コース	コンピュータ利用教育	2前		2			○		9	5		1				
	国語基礎	1後・2前		2			○		2	3		1				
	社会基礎	1・2・3・4後		2			○			2						
	算数基礎	2前・3後		2			○		1							
	理科基礎	2前・3後		2			○		3	3						
	英語基礎	2前・3後		2			○			1						
	教職・カリキュラム論	1通		2			○			2						
	教育原論	2前後		2			○			1						
	教育経営	2前		2			○							兼1		
	発達・教育心理学概論	2前後		2			○			1						
	特別支援教育概論	1後		2			○					1				
	教育内容・方法論	2前後		2			○		1	2						
	道德教育の基礎と実践	3前後		2			○		1							
	総合的な学習の時間の指導法	2前・3後		1			○			2						
	特別活動の理論と方法	3前後		1			○		1							
	教育相談の基礎と方法	2前・3後		2			○		2	2						
	キャリア教育と進路指導	2前・3後		1			○			1						
	児童理解・生徒指導概論	2前後		2			○		1	1						
	初等国語科指導法基礎	2後・3前		2			○		1	1						
	初等社会科指導法基礎	2前・3後		2			○		1	1						
	算数科指導法基礎	1後・2前後		2			○		1	2						
	初等理科指導法基礎	1前・2後・3前		2			○		1							
	生活科指導法基礎	3前後		2			○		1							
	初等音楽科指導法基礎	2後・3前		2			○		1			1				
	図画工作科指導法基礎	2後・3前		2			○		1			1				

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
	初等体育科指導法基礎	1・2・3・4前後	2			○			1	1						
	初等家庭科指導法基礎	2前・3後	2			○				1			1			
	初等英語科指導法基礎	2前・3後	2			○			1							
	教職実践演習(幼・小・中・高)	4通	2				○		17	15	1	4				集中
	野外教育	1前	1				○		2		2					集中
	環境教育	1前	2			○						1				集中
	教育臨床演習	2通	2				○		8	10	1	4				集中
	ソルフェージュ基礎	2前	2				○		1							
	歌唱法基礎	2前	2				○		1	1						
	器楽表現法基礎	2前	2				○		1	1						
	和楽器奏法	2前	1					○							兼1	
	指揮法基礎	3前	2				○				1					
	音楽理論基礎	2前	2			○					1					
	中等音楽科指導法基礎	2前	2			○			1							
	中等音楽科指導法演習	2後	2				○		1							
	中等音楽科教材論	3・4前	2				○		1							
	教育実習事前・事後指導(初等)	3通	1			○	○				1					※演習 集中
	教育実習事前・事後指導(中等)	3通	1			○	○				1					※演習 集中
	教育実習Ⅰ(初等)	3通	4					○								集中
	教育実習Ⅰ(中等)	3通	4					○								集中
	教育実習Ⅱ(初等)	4通	2					○								集中
	教育実習Ⅱ(中等)	4通	2					○								集中
	生活基礎	2・3・4前後		2		○			1							
	音楽基礎	2・3・4前後		2		○	○			2						※講義
	図画工作基礎	2・3・4前		2			○			2		1				
	家庭生活基礎	1・2・3・4後		2		○			4	1						
	体育基礎	2・3・4前		2			○		1	2		1				
	ソルフェージュ演習	3・4前		1			○			1						
	歌唱法演習	2後		1			○		1	1						
	独唱法基礎	2・3・4後		1			○		1							
	独唱法演習	2・3・4後		1			○			1						
	合唱法	2後		2			○			1						
	伝統的歌唱法	2後		1				○							兼1	
	器楽表現法演習	2前		1			○		1	1						
	ピアノ表現法	2後		1			○		1	1						
	器楽アンサンブル基礎	3前		1			○			1						
	ピアノ演奏法Ⅰ	3前		1			○		1							
	ピアノ演奏法Ⅱ	3後		1			○		1							
	管楽合奏	2後		2				○		1						
	指揮法演習	3後		1			○			1						
	音楽理論演習	3・4前		1			○			1						
	作曲法	3・4後		1			○			1						
	編曲法	3・4前		1			○			1						
	日本音楽史	3・4後		2		○			1							
	西洋音楽史	3前		2		○				1						
	演奏表現法Ⅰ	4前		1			○		1							
	演奏表現法Ⅱ	4後		1			○		1							
	音楽教育学外特別講義Ⅰ	2・3・4前		2		○									兼1	
	音楽教育学外特別講義Ⅱ	2・3・4前		2		○									兼1	
	卒業研究	4通	5				○		39	41	2	10				集中
	小計(75科目)	—	96	38	0		—		39	41	2	10			兼5	
図 画 工 作 ・ 美 術 教 育 コ ー ス	コンピュータ利用教育	2前	2				○		9	5		1				
	国語基礎	1後・2前	2			○			2	3		1				
	社会基礎	1・2・3・4後	2			○				2						
	算数基礎	2前・3後	2			○			1							
	理科基礎	2前・3後	2			○			3	3						
	英語基礎	2前・3後	2			○				1						
	教職・カリキュラム論	1通	2			○				2						
	教育原論	2前後	2			○				1						
	教育経営	2前	2			○									兼1	
	発達・教育心理学概論	2前後	2			○				1						
	特別支援教育概論	1後	2			○						1				

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	教育内容・方法論	2前後	2			○			1	2					
	道徳教育の基礎と実践	3前後	2			○			1						
	総合的な学習の時間の指導法	2前・3後	1			○				2					
	特別活動の理論と方法	3前後	1			○			1						
	教育相談の基礎と方法	2前・3後	2			○			2	2					
	キャリア教育と進路指導	2前・3後	1			○				1					
	児童理解・生徒指導概論	2前後	2			○			1	1					
	初等国語科指導法基礎	2後・3前	2			○			1	1					
	初等社会科指導法基礎	2前・3後	2			○			1	1					
	算数科指導法基礎	1後・2前後	2			○			1	2					
	初等理科指導法基礎	1前・2後・3前	2			○			1						
	生活科指導法基礎	3前後	2			○			1						
	初等音楽科指導法基礎	2後・3前	2			○			1			1			
	図画工作科指導法基礎	2後・3前	2			○			1			1			
	初等体育科指導法基礎	1・2・3・4前後	2			○			1	1					
	初等家庭科指導法基礎	2前・3後	2			○				1		1			
	初等英語科指導法基礎	2前・3後	2			○			1						
	教職実践演習(幼・小・中・高)	4通	2				○		17	15	1	4			
	野外教育	1前	1				○		2		2				集中
	環境教育	1前	2			○						1			集中
	教育臨床演習	2通	2				○		8	10	1	4			集中
	絵画基礎	2前	1					○	1						兼1
	絵画実習	2	1					○							
	彫刻基礎	2前	1					○		1					
	彫塑実習	2後	1					○		1					
	工芸基礎	2前	1					○							兼2
	工芸実習	2後	1					○							兼1
	デザイン基礎	2前	1					○				1			
	デザイン実習	2後	1					○				1			
	美術史・美術理論基礎	2前	2			○				1					
	美術史・美術理論演習	2後	2				○			1					
	美術科指導法基礎	2前	2			○			1			1			
	教育実習事前・事後指導(初等)	3通	1			○	○			1					※演習 集中
	教育実習事前・事後指導(中等)	3通	1			○	○			1					※演習 集中
	教育実習Ⅰ(初等)	3通	4					○							集中
	教育実習Ⅰ(中等)	3通	4					○							集中
	教育実習Ⅱ(初等)	4通	2					○							集中
	教育実習Ⅱ(中等)	4通	2					○							集中
	生活基礎	2・3・4前後		2		○			1						
	音楽基礎	2・3・4前後		2		○	○			2					※講義
	図画工作基礎	2・3・4前		2			○			2		1			
	家庭生活基礎	1・2・3・4後		2		○			4	1					
	体育基礎	2・3・4前		2			○		1	2		1			
	版画演習	3・4		2			○	○							兼1
	抽象表現演習	3・4		1			○	○							兼1
	裸婦絵画演習	2・3・4		1			○	○							兼1
	絵画研究	3・4		2			○	○							隔年
	彫塑演習	3・4		2			○	○		1					隔年
	木彫演習	3・4前		2			○	○		1					
	裸婦彫刻演習	2・3・4		1			○	○		1					隔年
	彫刻研究	3・4		2			○	○		1					隔年
	デザイン論	3・4前		2				○				1			
	デザイン研究	3・4後		2				○				1			
	視覚デザイン演習	3・4前		2				○				1			
	やきもの演習	3・4後		2				○							兼1
	西洋近代美術史	3・4		2		○				1					隔年
	美術史・美術理論研究	3・4後		2		○				1					
	西洋美術史	3・4前		2		○				1					隔年
	日本美術史	3・4後		2		○				1					
	造形指導演習	3・4		2				○		1					隔年
	美術科指導法演習	2・3・4後		2				○				1			隔年
	美術科教材論	2・3・4		2		○						1			隔年
	美術教育論	3・4前		2		○			1						隔年

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
	美術教育学外特別講義Ⅰ	2・3・4前		2		○									兼1	集中
	美術教育学外特別講義Ⅱ	2・3・4前		2		○									兼1	
	卒業研究	4通	5				○		39	41	2	10				
	小計 (77科目)	—	93	51	0		—		39	41	2	10			兼7	
保健 体育 コース	コンピュータ利用教育	2前	2				○		9	5		1			兼1	
	国語基礎	1後・2前	2			○			2	3		1				
	社会基礎	1・2・3・4後	2			○				2						
	算数基礎	2前・3後	2			○			1							
	理科基礎	2前・3後	2			○			3	3						
	英語基礎	2前・3後	2			○				1						
	教職・カリキュラム論	1通	2			○				2						
	教育原論	2前後	2			○				1						
	教育経営	2前	2			○										
	発達・教育心理学概論	2前後	2			○				1						
	特別支援教育概論	1後	2			○						1				
	教育内容・方法論	2前後	2			○			1	2						
	道徳教育の基礎と実践	3前後	2			○			1							
	総合的な学習の時間の指導法	2前・3後	1			○					2					
	特別活動の理論と方法	3前後	1			○			1							
	教育相談の基礎と方法	2前・3後	2			○			2	2						
	キャリア教育と進路指導	2前・3後	1			○					1					
	児童理解・生徒指導概論	2前後	2			○			1	1						
	初等国語科指導法基礎	2後・3前	2			○			1	1						
	初等社会科指導法基礎	2前・3後	2			○			1	1						
	算数科指導法基礎	1後・2前後	2			○			1	2						
	初等理科指導法基礎	1前・2後・3前	2			○			1							
	生活科指導法基礎	3前後	2			○			1							
	初等音楽科指導法基礎	2後・3前	2			○			1			1				
	図画工作科指導法基礎	2後・3前	2			○			1			1				
	初等体育科指導法基礎	1・2・3・4前後	2			○			1	1						
	初等家庭科指導法基礎	2前・3後	2			○				1		1				
	初等英語科指導法基礎	2前・3後	2			○			1							
	教職実践演習 (幼・小・中・高)	4通	2					○	17	15	1	4				
	野外教育	1前	1					○	2		2					
	環境教育	1前	2				○					1				
	教育臨床演習	2通	2					○	8	10	1	4				
	中等体育実技基礎Ⅰ	2前	1							1						
	中等体育実技基礎Ⅱ	3前	1							1						
	体育学基礎	1前	2				○		1							
	運動学基礎	2前	2				○			1						
	生理学基礎	2後	2				○		1							
	衛生学・公衆衛生学基礎	2・3後	2				○					1				
	学校保健基礎	2・3後	2				○					1				
	中等保健体育科指導法基礎	2・3・4前	2				○		1							
	中等保健体育科教材論	2・3・4後	2					○	1							
	中等体育科指導法演習	3・4後	2					○				1				
	中等保健科指導法演習	3・4前	2					○				1				
教育実習事前・事後指導 (初等)	3通	1					○		1							
教育実習事前・事後指導 (中等)	3通	1					○		1							
教育実習Ⅰ (初等)	3通	4														
教育実習Ⅰ (中等)	3通	4														
教育実習Ⅱ (初等)	4通	2														
教育実習Ⅱ (中等)	4通	2														
スポーツ・体育学入門	1後		2				○	1								
生活基礎	2・3・4前後		2				○	1								
音楽基礎	2・3・4前後		2				○		2							
図画工作基礎	2・3・4前		2				○		2		1					
家庭生活基礎	1・2・3・4後		2				○	4	1							
体育基礎	2・3・4前		2					1	2		1					
体づくり運動	2・3・4		1								1					
器械運動	2・3・4前		1						1							
陸上競技	2・3・4前		1						1							
サッカー	2・3・4前		1					1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考					
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手						
	バスケットボール	2・3・4後		1				○					1						
	バレーボール	2・3・4前		1				○					1					隔年	
	ソフトボール	2・3・4前		1				○											
	剣道	2・3・4前		1				○											
	柔道	2前		1				○									兼1	隔年	
	ダンス	2・3・4		1				○									兼1	隔年	
	水泳	2・3・4		1				○										隔年	
	体育社会学	2・3・4		2			○							1					
	体育心理学	2・3・4		2			○							1					
	体育史	2・3・4後		2			○							1					
	運動方法学	2・3・4後		2			○							1					
	体育史演習	2・3・4前		2				○						1					
	保健体育科教育学外特別講義Ⅰ	2・3・4前		2				○									兼1		
	保健体育科教育学外特別講義Ⅱ	2・3・4前		2				○									兼1		
	卒業研究	4通		5				○										集中	
	小計(74科目)	—	99	37	0			—					39	41	2	10		兼5	
ものづくり・技術教育コース	コンピュータ利用教育	2前	2					○					9	5		1			
	国語基礎	1後・2前	2				○						2	3		1			
	社会基礎	1・2・3・4後	2				○							2					
	算数基礎	2前・3後	2				○						1						
	理科基礎	2前・3後	2				○						3	3					
	英語基礎	2前・3後	2				○							1					
	教職・カリキュラム論	1通	2				○							2					
	教育原論	2前後	2				○							1					
	教育経営	2前	2				○											兼1	
	発達・教育心理学概論	2前後	2				○							1					
	特別支援教育概論	1後	2				○									1			
	教育内容・方法論	2前後	2				○						1	2					
	道徳教育の基礎と実践	3前後	2				○						1						
	総合的な学習の時間の指導法	2前・3後	1				○							2					
	特別活動の理論と方法	3前後	1				○						1						
	教育相談の基礎と方法	2前・3後	2				○						2	2					
	キャリア教育と進路指導	2前・3後	1				○							1					
	児童理解・生徒指導概論	2前後	2				○						1	1					
	初等国語科指導法基礎	2後・3前	2				○						1	1					
	初等社会科指導法基礎	2前・3後	2				○						1	1					
	算数科指導法基礎	1後・2前後	2				○						1	2					
	初等理科指導法基礎	1前・2後・3前	2				○						1						
	生活科指導法基礎	3前後	2				○						1						
	初等音楽科指導法基礎	2後・3前	2				○						1			1			
	図画工作科指導法基礎	2後・3前	2				○						1			1			
	初等体育科指導法基礎	1・2・3・4前後	2				○						1	1					
	初等家庭科指導法基礎	2前・3後	2				○							1		1			
	初等英語科指導法基礎	2前・3後	2				○						1						
	教職実践演習(幼・小・中・高)	4通	2						○				17	15	1	4			
	野外教育	1前	1						○				2		2				集中
	環境教育	1前	2					○								1			集中
	教育臨床演習	2通	2						○				8	10	1	4			集中
	木材加工基礎	2・3前	2				○		○				1						※講義
	金属加工基礎	2・3前	2				○		○				1						※講義
	機械基礎	2・3後	2				○		○					1					※実習
	電気電子基礎	2・3・4後	2				○		○										※実習
	栽培基礎	2・3・4前	2				○		○				1						※講義
	情報基礎	1・2・3・4前	2				○		○				1						※実習
	木材加工実習	2・3・4後	1						○				1						
	金属加工実習	2・3・4前	1						○				1						
機械実習	2・3前	1						○					1						
電気電子実習	2・3前	1						○											
情報基礎実習	2・3後	1						○				1						隔年	
技術科指導法基礎	2・3前	2						○				1							
技術科教育概論	2・3後	2						○				1						隔年	
技術科教材論	2・3・4後	2						○				1						隔年	
技術科基礎演習	2・3・4	2						○				3	1						

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
	教育実習事前・事後指導（初等）	3通	1			○	○			1					※演習 集中	
	教育実習事前・事後指導（中等）	3通	1			○	○			1					※演習 集中	
	教育実習Ⅰ（初等）	3通	4					○							集中	
	教育実習Ⅰ（中等）	3通	4					○							集中	
	教育実習Ⅱ（初等）	4通	2					○							集中	
	教育実習Ⅱ（中等）	4通	2					○							集中	
	生活基礎	2・3・4前後		2		○				1						
	音楽基礎	2・3・4前後		2		○	○			2					※講義	
	図画工作基礎	2・3・4前		2			○			2		1				
	家庭生活基礎	1・2・3・4後		2		○				4	1					
	体育基礎	2・3・4前		2			○			1	2		1			
	木材加工学	2・3・4後		2		○				1					集中	
	材料科学	3・4前		2		○				1						
	機械応用力学	3・4前		2		○					1					
	エネルギー変換	3・4後		2		○					2					
	技術と環境	3・4前		2		○				1						
	情報応用	3・4後		2		○				1					隔年	
	木材加工応用実習	3・4		1				○		2					隔年	
	金属加工応用実習	3・4後		1				○		1						
	機械応用実習	3・4後		1				○			1					
	電気電子応用実習	3・4		1				○						兼1		
	情報応用実習	3・4後		1				○		1					隔年	
	ものづくりの入門	3・4後		2			○			1						
	ものづくり・技術教育学外特別講義Ⅰ	2・3・4前		2		○								兼1		
	ものづくり・技術教育学外特別講義Ⅱ	2・3・4前		2		○								兼1		
	卒業研究	4通	5				○			39	41	2	10		集中	
	小計（73科目）	—	104	33	0		—			39	41	2	10		兼6	
家庭科 教育 コース	コンピュータ利用教育	2前	2				○			9	5		1			
	国語基礎	1後・2前	2			○				2	3		1			
	社会基礎	1・2・3・4後	2			○					2					
	算数基礎	2前・3後	2			○				1						
	理科基礎	2前・3後	2			○				3	3					
	英語基礎	2前・3後	2			○					1					
	教職・カリキュラム論	1通	2			○					2					
	教育原論	2前後	2			○					1					
	教育経営	2前	2			○									兼1	
	発達・教育心理学概論	2前後	2			○					1					
	特別支援教育概論	1後	2			○							1			
	教育内容・方法論	2前後	2			○				1	2					
	道徳教育の基礎と実践	3前後	2			○				1						
	総合的な学習の時間の指導法	2前・3後	1			○					2					
	特別活動の理論と方法	3前後	1			○				1						
	教育相談の基礎と方法	2前・3後	2			○				2	2					
	キャリア教育と進路指導	2前・3後	1			○					1					
	児童理解・生徒指導概論	2前後	2			○				1	1					
	初等国語科指導法基礎	2後・3前	2			○				1	1					
	初等社会科指導法基礎	2前・3後	2			○				1	1					
	算数科指導法基礎	1後・2前後	2			○				1	2					
	初等理科指導法基礎	1前・2後・3前	2			○				1						
	生活科指導法基礎	3前後	2			○				1						
	初等音楽科指導法基礎	2後・3前	2			○				1			1			
	図画工作科指導法基礎	2後・3前	2			○				1			1			
	初等体育科指導法基礎	1・2・3・4前後	2			○				1	1					
	初等家庭科指導法基礎	2前・3後	2			○					1		1			
	初等英語科指導法基礎	2前・3後	2			○				1						
	教職実践演習（幼・小・中・高）	4通	2					○		17	15	1	4			
	野外教育	1前	1					○		2		2				集中
	環境教育	1前	2				○						1			集中
	教育臨床演習	2通	2					○		8	10	1	4			集中
	生活経営学基礎	2前	2				○								兼1	集中
被服学基礎	2前	2				○		○	1						※実習	
食物学基礎	2前	2				○		○	1						※実習	
住居学基礎	2前	2				○		○	1						※実習	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手				
	現代生活論	3・4後	2			○			1								
	アパレル科学	2・3・4後	2			○			1								
	食品・栄養学	3後	2			○			1								
	住居環境学	3前	2			○			1								
	児童家庭福祉論	3・4前	2			○								兼1	集中		
	中等家庭科指導法基礎I	2前	2			○				1							
	中等家庭科指導法基礎II	2後	2			○				1							
	中等家庭科教材研究	3・4前	2			○			3			1			集中		
	中等家庭科授業論とその実践	3・4前	2			○				1			1		集中		
	教育実習事前・事後指導（初等）	3通	1			○	○			1					※演習 集中		
	教育実習事前・事後指導（中等）	3通	1			○	○			1					※演習 集中		
	教育実習Ⅰ（初等）	3通	4					○							集中		
	教育実習Ⅰ（中等）	3通	4					○							集中		
	教育実習Ⅱ（初等）	4通	2					○							集中		
	教育実習Ⅱ（中等）	4通	2					○							集中		
	生活基礎	2・3・4前後		2		○			1								
	音楽基礎	2・3・4前後		2		○	○			2					※講義		
	図画工作基礎	2・3・4前		2			○			2			1				
	家庭生活基礎	1・2・3・4後		2		○			4	1							
	体育基礎	2・3・4前		2			○		1	2			1				
	消費者教育論	2・3後		2		○	○								兼1	※演習 隔年集中	
	消費生活と環境	3・4		2		○								兼1	隔年		
	被服製作実習	2・3・4後		1				○	1	1					※実験		
	被服整理学	3・4前		2		○		○		1							
	アパレル実験	3・4前		1				○	1								
	食物学実験	3前		1				○	1								
	調理科学	3後		2		○		○	1						※実習		
	調理実習	2後		1				○	1								
	住環境変遷論	2・3・4後		2		○	○		1						※演習		
	住居学実験	3後		1				○	1								
	生活工学基礎	2・3・4後		2		○	○		1						※演習		
	生活情報処理	2後		2		○		○	1						※実習		
	家庭科教育学外特別講義Ⅰ	2・3・4前		2		○								兼1			
	家庭科教育学外特別講義Ⅱ	2・3・4前		2		○								兼1			
	卒業研究	4通	5					○	39	41	2	10			集中		
	小計（71科目）	—	105	33	0	—	—	—	39	41	2	10		兼7			
特別 支援 教育 コー ス	コンピュータ利用教育	2前	2					○	9	5		1					
	国語基礎	1後・2前	2			○			2	3		1					
	社会基礎	1・2・3・4後	2			○				2							
	算数基礎	2前・3後	2			○			1								
	理科基礎	2前・3後	2			○			3	3							
	英語基礎	2前・3後	2			○				1							
	教職・カリキュラム論	1通	2			○				2							
	教育原論	2前後	2			○				1							
	教育経営	2前	2			○									兼1		
	発達・教育心理学概論	2前後	2			○				1							
	特別支援教育概論	1後	2			○							1				
	教育内容・方法論	2前後	2			○				1	2						
	道德教育の基礎と実践	3前後	2			○				1							
	総合的な学習の時間の指導法	2前・3後	1			○					2						
	特別活動の理論と方法	3前後	1			○				1							
	教育相談の基礎と方法	2前・3後	2			○				2	2						
	キャリア教育と進路指導	2前・3後	1			○					1						
	児童理解・生徒指導概論	2前後	2			○				1	1						
	初等国語科指導法基礎	2後・3前	2			○				1	1						
	初等社会科指導法基礎	2前・3後	2			○				1	1						
	算数科指導法基礎	1後・2前後	2			○				1	2						
	初等理科指導法基礎	1前・2後・3前	2			○				1							
	生活科指導法基礎	3前後	2			○				1							
	初等音楽科指導法基礎	2後・3前	2			○				1			1				
	図画工作科指導法基礎	2後・3前	2			○				1			1				
	初等体育科指導法基礎	1・2・3・4前後	2			○				1	1						
	初等家庭科指導法基礎	2前・3後	2			○					1		1				



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
	初等英語科指導法基礎	2前・3後	2			○			1							
	教職実践演習(幼・小・中・高)	4通	2				○		17	15	1	4				集中
	野外教育	1前	1				○		2		2					集中
	環境教育	1前	2			○						1				
	特別支援教育概説	2・3前	2			○			1							
	知的障害児の心理・生理・病理	2・3前	2			○				1			1			
	障害児教育課程概説	3前	2			○			1							
	障害児療育指導法実習	3後	2					○	1							集中
	肢体不自由児の心理・生理・病理	2・3後	2							1						
	障害児自立活動演習Ⅱ	3後	2				○		1							
	病弱児の心理・生理・病理	2・3後	2			○				1						兼1
	視覚障害教育総論	2・3・4	2			○										兼1
	聴覚障害教育総論	2・3・4前	2			○										兼1
	発達障害・重複障害概論	2後	2			○			2		1					
	教育実習事前・事後指導(初等)	3通	1			○	○			1						※演習 集中
	教育実習Ⅰ(初等)	3通	4					○								集中
	特別支援教育実習(事前・事後指導を含む)	4通	3					○	1							集中
	生活基礎	2・3・4前後		2		○			1							
	音楽基礎	2・3・4前後		2		○	○			2						※講義
	図画工作基礎	2・3・4前		2			○			2		1				
	家庭生活基礎	1・2・3・4後		2		○			4	1						
	体育基礎	2・3・4前		2			○		1	2		1				
	教育臨床演習	2通		2			○		8	10	1	4				集中
	臨床教育学概論	2・3後		2		○						1				
	教育社会学概論	2・3前		2		○			1							
	知覚・認知心理学	2・3・4前		2		○			1							
	学習・言語心理学	3後		2		○			1							
	幼児心理学	2・3・4後		2		○						1				
	発達心理学	2・3・4前		2		○										兼1
	コミュニケーション障害の心理学	2後		2		○			1							集中
	障害児指導法実習Ⅰ	2通		2				○	1		1					集中
	障害児指導法実習Ⅱ	2・3通		2				○	1		1					集中
	障害児自立活動演習Ⅰ	3後		2			○		1							
	肢体不自由児の言語指導	3前		2			○		1							
	障害児臨床学実習	3通		4				○	1							集中
	障害児教育学演習	3・4後		2			○		1							
	障害児心理学演習	3・4後		2			○		1							
	障害児病理学演習	3・4後		2			○				1					
	障害児教育学外特別講義Ⅰ	2・3・4前		2		○										兼1
	障害児教育学外特別講義Ⅱ	2・3・4前		2		○										兼1
	卒業研究	4通		5				○	39	41	2	10				集中
	小計(68科目)	—	91	48	0	—			39	41	2	10				兼6
心理支援教育コース	コンピュータ利用教育	2前	2				○		9	5		1				
	国語基礎	1後・2前	2			○			2	3		1				
	社会基礎	1・2・3・4後	2			○				2						
	算数基礎	2前・3後	2			○			1							
	理科基礎	2前・3後	2			○			3	3						
	英語基礎	2前・3後	2			○				1						
	教職・カリキュラム論	1通	2			○				2						
	教育原論	2前後	2			○				1						
	教育経営	2前	2			○										兼1
	発達・教育心理学概論	2前後	2			○				1						
	特別支援教育概論	1後	2			○						1				
	教育内容・方法論	2前後	2			○			1	2						
	道德教育の基礎と実践	3前後	2			○			1							
	総合的な学習の時間の指導法	2前・3後	1			○				2						
	特別活動の理論と方法	3前後	1			○			1							
	教育相談の基礎と方法	2前・3後	2			○			2	2						
	キャリア教育と進路指導	2前・3後	1			○				1						
	児童理解・生徒指導概論	2前後	2			○			1	1						
	初等国語科指導法基礎	2後・3前	2			○			1	1						
	初等社会科指導法基礎	2前・3後	2			○			1	1						
	算数科指導法基礎	1後・2前後	2			○			1	2						

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	初等理科指導法基礎	1前・2後・3前	2			○			1						
	生活科指導法基礎	3前後	2			○			1						
	初等音楽科指導法基礎	2後・3前	2			○			1			1			
	図画工作科指導法基礎	2後・3前	2			○			1			1			
	初等体育科指導法基礎	1・2・3・4前後	2			○			1	1					
	初等家庭科指導法基礎	2前・3後	2			○				1			1		
	初等英語科指導法基礎	2前・3後	2			○			1						
	教職実践演習(幼・小・中・高)	4通	2				○		17	15	1	4			
	野外教育	1前	1				○		2		2				集中
	環境教育	1前	2			○							1		集中
	教育臨床演習	2通	2				○		8	10	1	4			集中
	臨床心理学概論	2後	2			○				1					
	心理学研究法	3後	2			○			1						
	心理学統計法	2後	2					○	1						
	心理学実験	3前	2					○	1						
	心理的アセスメント	2前	2					○		1					
	心理学的支援法	2・3前	2					○	1						
	教育・学校心理学	2・3前	2			○				1					
	心理演習	2前後	2				○			2					
	心理実習Ⅰ	2・3通	2				○		1	2					集中
	心理実習Ⅱ	4通	2					○	1	1					集中
	心理支援演習Ⅰ	3前	2				○		3	4					集中
	心理支援演習Ⅱ	3後	2				○		3	4					集中
	教育実習事前・事後指導(初等)	3通	1			○	○			1					※演習 集中
	教育実習Ⅰ(初等)	3通	4					○							集中
	生活基礎	2・3・4前後		2		○				1				兼1	
	音楽基礎	2・3・4前後		2		○	○			1			1		※講義
	図画工作基礎	2・3・4前		2		○	○		1	2			1		
	家庭生活基礎	1・2・3・4後		2		○	○		3	1			1		
	体育基礎	2・3・4前		2			○		1	2					
	公認心理師の職責	3・4前		1		○			1						
	知覚・認知心理学	2・3・4前		2		○			1						
	学習・言語心理学	2・3・4後		2		○			1						
	感情・人格心理学	2・3・4前		2		○			1	1				兼1	集中
	神経・生理心理学	2・3・4前		2		○			1						
	社会・集団・家族心理学	2・3・4前		2		○			1	1					集中
	発達心理学	2・3・4前		2		○				1					集中
	障害者・障害児心理学	3・4後		1		○				1					
	健康・医療心理学	3・4後		1		○				1					
	福祉心理学	2・3・4前		2			○		2	1					集中
	司法・犯罪心理学	3・4後		1		○			1						
	産業・組織心理学	3・4後		1		○								兼1	集中
	人体の構造と機能及び疾病	3・4後		2		○				1					
	精神疾患とその治療	2・3・4後		2		○			1						
	関係行政論	3・4前		1		○			1						
	幼児心理学	2・3・4後		2		○				1					
	基礎心理学	1前		2			○							兼1	
	計量心理学	3・4前		2			○		1						
	幼児理解・教育相談	2・3・4前		2			○			1					
	人間関係概論	2・3・4前		2			○			1					
	心理学特講Ⅰ	2・3・4		2		○			3	2					
	心理学特講Ⅱ	2・3・4		2		○				1					
	心理学特講Ⅲ	2・3・4		2		○				1					
	心理学特講Ⅳ	2・3・4		2		○				1					
	心理支援教育学外特別講義Ⅰ	2・3・4前		2		○								兼1	
	心理支援教育学外特別講義Ⅱ	2・3・4前		2		○								兼1	
	卒業研究	4通		5			○		39	41	2	10			集中
	小計(78科目)	—	89	61	0	—			39	41	2	10		兼6	
	合計(1,524科目)	—	1,311	1,545	0	—			39	41	2	10		兼528	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
学位又は称号		学士（教育学）		学位又は学科の分野			教育学・保育学関係							
卒業要件及び履修方法						授業期間等								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代教育コース 共通教育科目単位、専門科目102単位、計138単位を修得すること。</li> <li>・野外教育コース 共通教育科目36単位、専門科目101単位、計137単位を修得すること。</li> <li>・国語教育、英語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、音楽教育、図画工作・美術教育、保健体育、ものづくり・技術教育及び家庭科教育各コース 共通教育科目36単位、専門科目104単位、計140単位を修得すること。</li> <li>・特別支援教育コース 共通教育科目36単位、専門科目101単位、計137単位を修得すること。</li> <li>・心理支援教育コース 共通教育科目36単位、専門科目106単位、計142単位を修得すること。</li> </ul>						1 学年の学期区分			2 学期					
						1 学期の授業期間			1 5 週					
						1 時限の授業時間			9 0 分					

(注)

- 1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

別記様式第2号（その2の1）

基礎となる学部 教育課程等の概要															
(経法学部応用経済学科 リスク分析コース)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
	技術とエネルギーの入門ゼミ	1後		2				○						兼4	※2単位選択必修 オムニバス
	生態資源論ゼミ	1前・後		2				○						兼1	
	地球白書ゼミ	1前・後		2				○						兼1	
	環境マインドを現場で体験するゼミ	1前		2				○						兼3	集中
	土壌学ゼミ	1前		2				○						兼1	
	植物生態学ゼミ	1前		2				○						兼1	
	環境マインドを現場で体験するゼミ (熱帯雨林)	1後		2				○						兼1	集中
	芸術教養美術ゼミ	1前・後		2				○						兼1	
	芸術教養音楽ゼミ	1後		2				○						兼7	オムニバス
	「時」について考えるゼミ	1後		2				○						兼1	
	アジアの中の日本ゼミ I	1前		2				○						兼1	
	アジアの中の日本ゼミ II	1後		2				○						兼1	
	原書で読むシャーロック・ホームズゼミ	1後		2				○						兼1	
	現代ドイツの言語と日常ゼミ	1前		2				○						兼1	
	現代ドイツ事情ゼミ	1後		2				○						兼1	
	異文化研究ゼミ	1後		2				○						兼1	
	感覚で攻める英文法ゼミ～覚える英文法から感じる英文法へ	1前・後		2				○						兼1	
	日本近現代史入門ゼミ	1後		2				○						兼1	
	西洋古典語の世界ゼミ	1後		2				○						兼1	
	古文書で学ぶ近世ゼミ	1前		2				○						兼1	
	比較哲学入門ゼミ	1後		2				○						兼1	
	フィールドワーク入門ゼミ	1前		2				○						兼1	
	日中比較文学ゼミ	1後		2				○						兼1	
	発信のためのやさしい英作文練習ゼミ	1前		2				○						兼1	
	中国古典小説ゼミ	1後		2				○						兼1	
	法言語学(司法制度とことば)ゼミ	1後		2				○						兼1	
	翻訳入門ゼミ	1後		2				○						兼1	
	シェイクスピアを読むゼミ	1後		2				○						兼1	
	異文化コミュニケーション(海外留学)ゼミ	1前・後		2				○						兼1	
	外国語教育を考えるゼミ	1後		2				○						兼1	
	ことばについて考えるゼミ	1後		2				○						兼1	
	中国思想の古典で学ぶゼミ	1前		2				○						兼1	
	変体仮名入門ゼミ	1前		2				○						兼1	
	フランス文学ゼミ	1前		2				○						兼1	
	英語資格試験対策ゼミ	1前		2				○						兼1	
	シルシル信知るゼミ	1前		2				○						兼2	オムニバス・集中
	もっと知りたい韓国ゼミ	1前		2				○						兼1	
	スポーツ・ホスピタリティゼミ 秋冬編(松本山雅FC連携ゼミ)	1後		2				○						兼1	
	スポーツ・ホスピタリティゼミ 春夏編(松本山雅FC連携ゼミ)	1前		2				○						兼1	
	スポーツ観戦文化論ゼミ	1前・後		2				○						兼1	
	テレビメディアリテラシー(テレビ信州参与ゼミ)	1前		2				○						兼1	
	大学改革への学生参加ゼミ	1後		2				○						兼1	
教養ゼミナール群	「考える」ゼミ	1前・後		2				○						兼1	
	しょうがいスポーツゼミ	1前		2				○						兼3	オムニバス
	心理学思考法ゼミ	1前		2				○						兼1	
	身体心理学ゼミ	1後		2				○						兼1	
	環境心理学ゼミ	1前		2				○						兼1	
	経済学の視点で考える企業行動ゼミ 基礎編	1前		2				○			1				
	経済学の視点で考える企業行動ゼミ 応用編	1後		2				○			1				
	社会科学文献講読ゼミ I	1後		2				○						兼1	
	社会科学文献講読ゼミ II	1後		2				○						兼1	
	地域ブランド実践ゼミ	1後		2				○						兼3	オムニバス
	社会科学の方法ゼミ	1後		2				○						兼1	
	社会格差を考えるゼミ：勝者と敗者の本当の姿	1後		2				○						兼1	
質問紙調査入門ゼミ	1後		2				○						兼1		

	キャリアデザイン実践ゼミ	1後	2									兼3	
	化学計算入門ゼミ	1前・後	2									兼1	
	大学を知るゼミ	1後	2									兼1	
	ロボティクス入門ゼミ	1前・後	2									兼1	
	自然誌・博物学ゼミ	1前	2									兼3	オムニバス
	ものづくり入門ゼミ	1後	2									兼2	オムニバス
	文系学生のための野外地質学ゼミ	1前	2									兼3	集中
	利己的遺伝子説から生物像を描くゼミ	1後	2									兼1	
	統計図解ゼミ	1後	2									兼1	
	アナログ再発見ゼミ	1前・後	2									兼1	
	情報社会論ゼミ	1前・後	2									兼1	
	Web制作ゼミ	1前・後	2									兼1	
	新聞で広げる社会の見方ゼミ (信濃毎日新聞社寄付講義)	1後	2									兼1	
	ネットワーク時代の古典を原著で読むゼミ	1後	2									兼1	
	人工知能を知ろうゼミ	1前・後	2									兼1	
	大学生基礎力ゼミ	1前・後	2									兼14	
	新聞をつくらう! (MGプレス制作ゼミ)	1前	2									兼1	
	スポーツ活動論ゼミ I	1前	2									兼1	
	スポーツ活動論ゼミ II	1後	2									兼1	集中
	ドイツ環境ゼミ	1後	2									兼1	集中
	自然活動論ゼミ	1前	2									兼1	
	自然と人間を考えるゼミ	1後	2									兼1	
	臨床検査を体験するゼミ	1後	2									兼11	オムニバス
	体と心のリハビリテーションを考えるゼミ	1前	2									兼11	オムニバス
	身体運動科学ゼミ	1前	2									兼1	
	課題解決実践ゼミ	1後	2									兼3	オムニバス
	科学リテラシー入門ゼミ	1後	2									兼1	
	経済数学ゼミ I	1前	2							1			
	経済数学ゼミ II	1後	2							1			
	民法入門ゼミ	1後	2									兼1	
	税法入門ゼミ	1後	2									兼1	
	リアル・プロジェクトマネジメントゼミ	1後	2									兼3	集中
	国際関係論ゼミ	1後	2									兼1	
	物理学入門ゼミ	1前	2									兼1	
	幾何学入門ゼミ	1前	2									兼1	
	素朴な集合論ゼミ	1前	2									兼1	
	イノベーション・リテラシーゼミ	1前	2									兼3	集中
													※2単位選択必修
環境科学群	環境社会学入門	1前・後	2			○						兼1	
	熱帯雨林と社会	1前・後	2			○						兼1	
	Low Energy Building (省エネルギー住宅)	1後	2			○						兼1	
	ライフサイクルアセスメント入門	1前・後	2			○						兼1	
	環境と生活とのかかわり	1前・後	2			○						兼1	
	環境問題のしくみ	1前	2			○						兼1	
	環境科学入門	1前	2			○						兼1	
	グリーンテクノロジー	1前	2			○						兼9	オムニバス
	環境配慮素材と自然エネルギー	1前	2			○						兼4	オムニバス
	エコ水車の開発と地域バイオマス利用	1前	2			○						兼3	集中・オムニバス
	地球環境の歴史	1前	2			○						兼1	
	循環型社会入門	1前	2			○						兼1	
	環境とエネルギー	1後	2			○						兼1	
	環境エネルギー政策論	1後	2			○						兼1	
	ネイチャーライティングのすすめ (環境文学 I)	1前	2			○						兼1	
	環境文学のすすめ (環境文学 II)	1後	2			○						兼1	
	自然環境と文化	1後	2			○						兼1	
	環境法入門	1後	2			○						兼1	
	材料の科学と技術 (基礎編)	1前	2			○						兼13	オムニバス
	材料の科学と技術 (先端編)	1後	2			○						兼12	オムニバス
	生物と環境	1後	2			○						兼1	
	自然災害と環境	1前	2			○						兼2	オムニバス
	ナノテクと環境	1後	2			○						兼1	
人とすまい	1前	2			○						兼6		
水の環境科学	1後	2			○						兼1		
森林サイエンス	1前	2			○						兼13	オムニバス	
農山村と環境	1前	2			○						兼10	オムニバス	
環境と緑の文化	1後	2			○						兼3	オムニバス	

	農環境保全学	1後	2	○						兼4	オムニバス
	森林・環境共生学概論	1後	2	○						兼2	
	環境と生命の基礎化学	1後	2	○						兼1	
	映像・人類学	1前	2	○						兼1	※2単位選択必修
	Top Level English (トップレベルイングリッシュ)	1前・後	2	○						兼3	
	「田園環境健康都市須坂」を「共創」(須坂市寄付講義)	1後	2	○						兼1	
	映画史入門	1前	2	○						兼1	
	身体表現レクチャー&ワークショップ	1前	2	○						兼1	
	絶対王政期フランスの制度と社会	1前	2	○						兼1	
	モノの世界史	1前	2	○						兼1	
	世界の音楽	1前	2	○						兼1	
	方言からみた日本語	1後	2	○						兼1	
	江戸時代の本屋さん和本	1前	2	○						兼1	
	英語基礎Ⅰ(たてなおしの英語Ⅰ)	1前	2	○						兼1	
	英語基礎Ⅱ(たてなおしの英語Ⅱ)	1後	2	○						兼1	
	自己発見の方法	1後	2	○						兼1	
	日本古典文学入門	1前	2	○						兼1	
	中国古典小説	1前	2	○						兼1	
	生と死の哲学～哲学から宗教へ～	1前	2	○						兼1	
	文学と美術を歴史学で読み解く～日本古代史入門～	1前	2	○						兼1	
	山国信州の風土と暮らし(風土の中の衣食住)	1前	2	○						兼1	
	日本の屋根・信州の風土と暮らし	1後	2	○						兼1	
	モバイルデバイスで習うE-TOEICコース	1前・後	2	○						兼1	
	中世英語文献学入門	1後	2	○						兼1	
	「右肩下がり」の時代を生き抜くための倫理学	1前	2	○						兼1	
	言語哲学入門	1後	2	○						兼1	
	「優れた言語学習者」から考える日本語教育学	1後	2	○						兼1	
	恋愛小説を読むー比較文学への招待ー	1後	2	○						兼1	
	フランス文学概論	1前	2	○						兼1	
	日本文学概論	1後	2	○						兼1	
	映像で見て読んで考えるアメリカ	1後	2	○						兼1	
	時に挑む科学と文学	1後	2	○						兼1	
	アフリカ社会論	1前	2	○						兼1	
	韓国の文化(食文化)	1前	2	○						兼1	
	韓国の文化(映画で学ぶ)	1前	2	○						兼1	
	韓国の文化(若者の世界)	1後	2	○						兼1	
	韓国の文化(メディア)	1後	2	○						兼1	
	ドイツ語圏の文化Ⅰ	1前	2	○						兼2	オムニバス
	ドイツ語圏の文化Ⅱ	1後	2	○						兼2	オムニバス
	アフリカ文化論	1前	2	○						兼1	
	中国の文化(現代中国事情①)	1前	2	○						兼1	
	中国の文化(現代中国事情②)	1後	2	○						兼1	
	ロシアの文化(風土と歴史)	1前	2	○						兼1	
	スペイン語圏の文化(ラテンアメリカ)	1後	2	○						兼1	
	ドイツ語圏の文化Ⅲ	1前	2	○						兼1	
	ドイツ語圏の文化Ⅳ	1後	2	○						兼1	
	欧米文化(映画で見る未来像)	1前	2	○						兼1	
	フランス語圏の文化	1後	2	○						兼1	
	スペイン語圏の文化(スペイン)	1前	2	○						兼1	
	科学論	1後	2	○						兼5	オムニバス
	囲碁で養う考える力	1前	2	○						兼1	集中
	明日を生きるための心理学 リスク社会と防災を学ぶ	1前	2	○						兼1	
	ベンチャービジネス概論	1前	2	○						兼3	オムニバス
	キャリアとしての公務員	1後	2	○						兼1	
	スポーツ考現学	1前・後	2	○						兼1	
	スポーツ文化を考える	1後	2	○						兼1	
	国際理解と多文化共生を考えるⅠ	1前	2	○						兼1	
	国際理解と多文化共生を考えるⅡ	1後	2	○						兼1	
	国際教養A	1前・後	2	○						兼2	集中
	国際教養B	1前・後	2	○						兼2	集中
	臨床心理学	1前	2	○						兼1	
	大学生が会おう法律問題	1前	2	○						兼14	オムニバス
	世界経済の歩み	1後	2	○							

教養科目

人文科学群

共通教育科目	社会科学群		1前	2	○				1	2	3					
家族と法			1前	2	○											兼1
メディア心理学			1後	2	○											兼1
ポジティブ心理学			1前	2	○											兼1
消費社会学入門			1前	2	○											兼1
コミュニティの社会心理学			1後	2	○											兼1
臨床心理学概論			1後	2	○											兼1
青年の海外ボランティア活動			1後	2	○											兼1
キャリア形成論 I			1前	2	○											兼2
キャリア形成論 II			1後	2	○											兼2
手話コミュニケーションと社会			1後	2	○											兼2
手話と社会			1前	2	○											兼2
日本国憲法			1前・後	2	○											兼3
地域活性化システム論			1前	2	○										オムニバース	兼3
公法入門			1後	2	○											兼1
法学入門			1前	2	○											兼1
現代政治分析			1前	2	○											兼1
ミクロ経済学入門			1後	2	○		2	2	1							オムニバース
マクロ経済学入門			1前	2	○		3	2								オムニバース
大学生が会う経済・経営問題			1後	2	○		2	3								オムニバース
障害と共生社会			1前	2	○											兼1
大学生から始めるキャリアデザイン			1前	2	○											兼3
世界で今何が起きているのか？-I			1前	2	○											兼1
世界で今何が起きているのか？-II			1後	2	○											兼1
統計データから読み解く社会			1後	2	○											兼1
法学概論 I			1前	2	○											兼1
法学概論 II			1後	2	○											兼1
多様性の中で自分を活かす (異文化理解とコミュニケーション)			1前	2	○											兼1
多様性の中で自分を活かす (協働のスキル)			1後	2	○											兼1
グローバル人材論 (グローバルキャリアデザイン)			1前	2	○											兼1
グローバル人材論 (「グローバル」マインド養成)			1後	2	○											兼1
RESAS～教育を、社会を、地域研究を見据えたリーサス～			1後	2	○											兼1
心理学概論			1後	2	○											兼7
知っておくべき知的財産と研究倫理の基本			1前	2	○											兼1
証券・投資から育む「生きる力・考える力」(藍澤證券寄付講義)			1前	2	○											兼1
この国はどんな国-グローバル社会を生きるために-I			1前	2	○											兼1
この国はどんな国-グローバル社会を生きるために-II			1後	2	○											兼1
戦後政策と公法			1後	2	○											兼1
ジェンダー論			1後	2	○											兼1
ヒューマンセクシュアリティ			1後	2	○											兼3
新聞と私たちの社会 (信濃毎日新聞社寄付講義)			1後	2	○											兼1
数を読む技術			1前・後	2	○											兼1
電子出版の現代			1前	2	○											兼1
家庭生活基礎A			1後	2	○											兼7
キャリアビジョンと男女共同参画：誰もが輝く社会を考える			1前	2	○											兼5
プログラミング入門			1後	2		○			1							兼1
基本法学			1後	2	○											兼1
税法入門講義			1前	2	○											兼1
市民社会と法			1前	2		○										兼1
																※当科学群または「体育・スポーツ群」から2単位選択必修
伝えておきたい数学			1前	2	○											兼1
教養としての物理学			1前	2	○											兼1
観測天文学入門			1後	2	○											兼1
生活の中の天文学			1前	2	○											兼1
現代医療における物理学			1後	2	○											兼1
物理学の世界			1前	2	○											兼1
Activity-Based Astronomy--現代天文学入門			1前	2	○											兼1
時間と空間の物理学			1前	2	○											兼1
物理へのいざない			1後	2	○											兼11
応用化学～千夜一夜～			1前	2	○											兼13
生活の中の高分子			1前	2	○											兼13
基礎分子遺伝学の世界			1後	2	○											兼2
バイオリソースと生命科学			1後	2	○											兼2
生態学入門			1後	2	○											兼1
地域から学ぶ地球			1前	2	○											兼1

〔自然科学群〕	教養としての物質科学	1後	2	○											兼1	
	ニューバイオテクノロジー入門	1後	2	○											兼5	オムニバス
	動物と私たちの暮らし	1前	2	○											兼8	オムニバス
	動物生命科学	1後	2	○											兼7	オムニバス
	食と植物の文化論	1後	2	○											兼4	オムニバス
	応用生物学への招待	1前	2	○											兼14	オムニバス
	食と微生物	1後	2	○											兼9	オムニバス
	ネットワーク社会における情報科学	1前・後	2	○											兼1	
	統計学の基礎	1前・後	2	○											兼1	
	検索の科学	1前・後	2	○											兼1	
	情報学入門 (コンピュータの構成、アルゴリズム)	1前	2	○											兼2	オムニバス
	情報学入門 (プログラミング、ネットワーク)	1後	2	○											兼2	オムニバス
	統計学入門	1前	2	○											兼1	
	ベイズ統計学入門	1後	2	○											兼1	
	脳の不思議を探る (認知神経科学入門)	1前	2	○											兼1	
	脳の不思議をもっと探る (認知神経科学入門)	1後	2	○											兼1	
	宇宙から原子への旅	1前	2	○											兼10	オムニバス
	国際看護学 I	1前	2	○											兼1	
	国際技術論	1前	2	○											兼1	
	科学技術政策と研究開発	1後	2	○											兼1	
健康管理と生活習慣【佐久大学開講】	1後	2	○											兼1		
体育・スポーツ群																※当科学群または「自然科学群」から2単位選択必修
	ソフトボール	1前	1	○											兼1	
	テニス	1前	1	○											兼1	
	アダブテッドスポーツ	1後	1	○											兼1	
	弓道	1前	1	○											兼1	
	コーディネーションエクササイズ	1前	1	○											兼1	
	剣道形の世界	1前	1	○											兼1	
	パドミントン	1前	1	○											兼2	
	サッカー	1前・後	1	○											兼1	
	バレーボール	1前	1	○											兼1	
	フライングディスク	1前	1	○											兼1	
	トレッキング	1前	1	○											兼5	集中
	ゴルフ	1前	1	○											兼2	集中
	スポーツフィッシング	1前	1	○											兼1	集中
	マリンスポーツ	1前	1	○											兼1	集中
	信大マラソン	1前	1	○											兼1	集中
	アウトドアの達人	1前	1	○											兼2	集中
	サバイバル活動	1前	1	○											兼1	集中
	スクーバダイビング	1後	1	○											兼2	集中
	レジャースポーツ	1前	1	○											兼1	集中
	スポーツボウリング	1後	1	○											兼1	
	ニュースポーツ	1後	1	○											兼1	集中
	アスレティックトレーニング	1後	1	○											兼1	
	バスケットボール	1後	1	○											兼1	
	ネイチャースキー	1後	1	○											兼2	集中
	スノー・スポーツ	1後	1	○											兼12	集中
	アウトドアマスター I	2前	1	○											兼1	集中
	アウトドアマスター II	2前	1	○											兼4	集中
ゴルフマスター I	2前	1	○											兼1	集中	
ゴルフマスター II	2前	1	○											兼1	集中	
小計 (296科目)	296	—	0	563	0	—	7	8	2	0	0	兼345	—			
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I (上級)	1前	1	○											兼11	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I (中級)	1前	1	○											兼17	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I (初級)	1前	1	○											兼14	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I	1前・後	1	○											兼3	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II (上級)	1後	1	○											兼11	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II (中級)	1後	1	○											兼15	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II (初級)	1後	1	○											兼14	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II	1後	1	○											兼1	
	コミュニケーション・イングリッシュ I (上級)	1前	1	○											兼6	
	コミュニケーション・イングリッシュ I (中級)	1前	1	○											兼5	
	コミュニケーション・イングリッシュ I (初級)	1前	1	○											兼4	
コミュニケーション・イングリッシュ II (上級)	1後	1	○											兼5		



基礎科目

外国語科目

英語	コミュニケーション・イングリッシュⅡ (中級)	1後	1			○				兼5
	コミュニケーション・イングリッシュⅡ (初級)	1後	1			○				兼4
	リスニング&リーディングⅠ (上級)	1前	1			○				兼6
	リスニング&リーディングⅠ (中級)	1前	1			○				兼5
	リスニング&リーディングⅠ (初級)	1前	1			○				兼9
	リスニング&リーディングⅠ	1前	1			○				兼1
	リスニング&リーディングⅡ (上級)	1後	1			○				兼5
	リスニング&リーディングⅡ (中級)	1後	1			○				兼5
	リスニング&リーディングⅡ (初級)	1後	1			○				兼9
	リスニング&リーディングⅡ	1後	1			○				兼1
	リーディング・プラスⅠ	1前	1			○				兼1
	リーディング・プラスⅡ	1後	1			○				兼1
	アカデミック・イングリッシュⅠ (上級)	2前	2			○				兼8
	アカデミック・イングリッシュⅠ (中級)	2前	2			○				兼19
	アカデミック・イングリッシュⅠ (初級)	2前	2			○				兼14
	アカデミック・イングリッシュⅡ (上級)	2後	2			○				兼8
	アカデミック・イングリッシュⅡ (中級)	2後	2			○				兼20
	アカデミック・イングリッシュⅡ (初級)	2後	2			○				兼17
	ドイツ語	ドイツ語初級 (総合)Ⅰ	1前	1			○			
ドイツ語初級 (総合)Ⅱ		1後	1			○				兼2
ドイツ語初級 (文法)Ⅰ		1前	1			○				兼3
ドイツ語初級 (文法)Ⅱ		1前・後	1			○				兼3
ドイツ語初級 (読解・会話)Ⅰ		1前・後	1			○				兼2
ドイツ語初級 (読解・会話)Ⅱ		1後	1			○				兼2
ドイツ語中級 (読解)Ⅰ		2前	2			○				兼2
ドイツ語中級 (読解)Ⅱ		2後	2			○				兼1
ドイツ語中級 (会話)Ⅰ		2前	2			○				兼1
ドイツ語中級 (会話)Ⅱ		2後	2			○				兼1
ドイツ語演習Ⅰ		2前	2			○				兼2
ドイツ語演習Ⅱ	2後	2			○				兼2	
フランス語	フランス語初級 (総合)Ⅰ	1前	1			○				兼1
	フランス語初級 (総合)Ⅱ	1後	1			○				兼1
	フランス語初級 (文法)Ⅰ	1前	1			○				兼1
	フランス語初級 (文法)Ⅱ	1後	1			○				兼1
	フランス語初級 (読解・会話)Ⅰ	1前	1			○				兼2
	フランス語初級 (読解・会話)Ⅱ	1後	1			○				兼2
	フランス語中級 (読解・会話)Ⅰ	2前	2			○				兼1
	フランス語中級 (読解・会話)Ⅱ	2後	2			○				兼1
	フランス語演習Ⅰ	2前	2			○				兼1
フランス語演習Ⅱ	2後	2			○				兼1	
中国語	中国語初級 (総合)Ⅰ	1前	1			○				兼1
	中国語初級 (総合)Ⅱ	1後	1			○				兼1
	中国語初級 (文法)Ⅰ	1前	1			○				兼2
	中国語初級 (文法)Ⅱ	1後	1			○				兼2
	中国語初級 (読解・会話)Ⅰ	1前	1			○				兼4
	中国語初級 (読解・会話)Ⅱ	1後	1			○				兼4
	中国語演習Ⅰ	2前	2			○				兼2
	中国語演習Ⅱ	2後	2			○				兼2
ハンガール	ハンガール初級 (総合)Ⅰ	1前	1			○				兼1
	ハンガール初級 (総合)Ⅱ	1後	1			○				兼1
	ハンガール初級 (文法)Ⅰ	1前	1			○				兼1
	ハンガール初級 (文法)Ⅱ	1後	1			○				兼1
	ハンガール初級 (読解・会話)Ⅰ	1前	1			○				兼1
	ハンガール初級 (読解・会話)Ⅱ	1後	1			○				兼1
	ハンガール中級 (読解・会話)Ⅰ	2前	2			○				兼1
	ハンガール中級 (読解・会話)Ⅱ	2後	2			○				兼1
	ハンガール中級Ⅰ	2前	2			○				兼1
	ハンガール中級Ⅱ	2後	2			○				兼1
	ハンガール演習Ⅰ	2前	2			○				兼1
	ハンガール演習Ⅱ	2後	2			○				兼1
スペイン	スペイン語初級 (総合)Ⅰ	1前	1			○				兼1
	スペイン語初級 (総合)Ⅱ	1後	1			○				兼1
	スペイン語初級 (文法)Ⅰ	1前	1			○				兼2
	スペイン語初級 (文法)Ⅱ	1前	1			○				兼2
	スペイン語初級 (読解・会話)Ⅰ	1後	1			○				兼1
	スペイン語初級 (読解・会話)Ⅱ	1後	1			○				兼1

	語	スペイン語中級（読解・会話）Ⅰ	2前		2			○										兼1			
		スペイン語中級（読解・会話）Ⅱ	2後		2			○										兼1			
		スペイン語演習Ⅰ	2前		2			○										兼1			
		スペイン語演習Ⅱ	2後		2			○										兼1			
小計（82科目）		82	—	0	110	0		—		0	0	0	0	0	0	0	0	兼69	—		
健康科学科目	健康科学・理論と実践	健康科学・理論と実践	1前		1			○										兼3	※実技・ホムパス		
		小計（1科目）	1	—	1	0	0		—		0	0	0	0	0	0	0	兼3	—		
		新入生ゼミナールⅠ	1前		2				○		9	8	3					兼7			
新入生ゼミナールⅡ	1後		2				○		9	8	3						兼4				
小計（2科目）		2	—	4	0	0		—		9	8	3	0	0	0	0	0	兼11	—		
日本語・日本事情	日本語	読解（日本語）Ⅰ	1前		1				○									兼2	※外国人留学生のみ		
		読解（日本語）Ⅱ	1後		1				○									兼2			
		作文（日本語）Ⅰ	1前		1				○									兼2			
		作文（日本語）Ⅱ	1後		1				○									兼2			
		科学技術日本語Ⅰ	1前		1				○									兼1			
		科学技術日本語Ⅱ	1後		1				○									兼1			
		ビジネス・ジャパニーズⅠ	1前		1				○									兼1			
		ビジネス・ジャパニーズⅡ	1後		1				○									兼1			
		日本語表現・文型Ⅰ	1前		1				○											兼1	
		日本語表現・文型Ⅱ	1後		1				○											兼1	
	日本事情	聴解（日本語）Ⅰ	1前		1				○										兼2		
		聴解（日本語）Ⅱ	1後		1				○										兼2		
		口頭表現Ⅰ	1前		1				○										兼1		
		口頭表現Ⅱ	1後		1				○										兼1		
		日本社会と日本人Ⅰ	1前		2			○											兼1		
		日本社会と日本人Ⅱ	1後		2			○											兼1		
		武道・伝統文化実習Ⅰ	1前		1				○										兼2		
		武道・伝統文化実習Ⅱ	1後		1				○										兼2		
		小計（18科目）		18	—	0	20	0		—		0	0	0	0	0	0	0	0	兼8	—
		経済学基礎科目	統計学Ⅰ	1後		2				○		1									
統計学Ⅱ	2前			4				○		1											
経済数学A	1前			2				○					1								
経済数学B	1後			2				○					1								
ミクロ経済学Ⅰ	2前			4				○		1											
マクロ経済学Ⅰ	1後			4				○			1										
ミクロ経済学Ⅱ	2・3後			2				○		1											
マクロ経済学Ⅱ	2・3前			2				○			1										
ゲーム理論入門	2後			2				○					1								
環境経済学Ⅰ	2・3後			2				○					1								
社会経済学	2・3後			4				○					1						隔年		
経済史	2・3前			4				○					1						隔年		
世界経済論	2・3後			2				○					1						隔年		
経営学	2・3前			2				○					1								
簿記・会計入門	2・3前		2					○					1								
情報処理A	2・3前・後			2				○		1											
情報処理B	2・3前・後			2				○		1											
国際金融	2・3後			2				○		1									隔年		
財政学	2・3後			4				○		1											
国際経済学	2・3後			2				○		1									隔年		
金融論A	2・3前			2				○		1											
金融論B	2・3後			2				○			1										
産業組織	2・3前			4				○					1								
アジア経済論	2・3前			2				○		1											
現代産業論	2・3前			2				○		3									共同		
現代職業論	2・3前			2				○		1											
経営者と企業	2・3後			2				○		1	2								共同		
英語文献研究	2・3前・後			2				○		1	2										
現代史基礎	2・3前			2				○											兼1		
現代世界史基礎	2・3前			2				○											兼1		
小計（30科目）		30	—	20	54	0		—		8	5	2	1	0	0	0	0	兼1	—		
リス	ファイナンス理論	3・4前		2				○			1										
	ファイナンス応用	3・4後		2				○			1										
	確率過程論	3・4前		2				○			1										
	数理統計学	3・4後		2				○		1											
	計量経済学	3・4後		2				○					1								

専門科目	ク 分 析 コ ー ス 専 門 科 目 I	生保数理	3・4前	2		○								兼1	集中  隔年  ※実習 ※実習			
		年金数理	3・4前	2		○								兼1				
		損保数理	3・4前	2		○								兼1				
		数理モデル論	3・4前	2		○								兼1				
		確率論基礎	3・4前	2		○								兼1				
		公共経済学	3・4前	2		○				1								
		経済学演習Ⅰ	2後	2			○		9	8	3							
		経済学演習Ⅱ	3通	4			○		9	8	3							
		健康・スポーツ・自然演習Ⅰ	3・4前	2			○							兼1				
		健康・スポーツ・自然演習Ⅱ	3・4後	2			○							兼1				
		卒業論文	4通	6			○		9	8	3	0	0					
		小計(16科目)	16	—	10	28	0	—	9	8	3	0	0	兼6		—		
		専門科目	リ ス ク 分 析 コ ー ス 専 門 科 目 II	医療経済学	3・4後	4		○			1						隔年          隔年  兼1 隔年                兼1 兼1 兼1 兼1	
				医療制度論	3・4前	2		○			1							
				社会政策論	3・4後	2		○			1							
				社会保障政策論	3・4前	2		○			1							
経営組織論	3・4前			2		○				1								
都市政策論	3・4後			2		○				1								
産業政策論	3・4前			4		○			1									
環境政策論	3・4後			2		○			1									
地方財政	3・4後			2		○				1								
経済地理学	3・4前			2		○				1								
自然環境概論	3・4後			2		○			1									
自然環境フィールドワークの理論と実践	3・4後			2		○								兼1				
経営労務論	3・4前			2		○				1								
財務会計	3・4前			2		○				1								
管理会計	3・4後			2		○				1								
公認会計士実務	3・4後			2		○				1								
会社法Ⅱ	3・4後	2		○								兼1						
行政学概論	3・4後	2		○								兼1						
自治行政	3・4前	2		○								兼1						
政治学基礎	3・4前	2		○								兼1						
国際政治	3・4後	2		○								兼1						
国際政治演習	3・4後	2			○							兼1						
小計(22科目)	22	—	0	50	0	—	3	5	0	0	0	兼4	—					
専門科目	実 践 教 育 科 目	実証日本経済論	3・4前	2		○			1					※実習・隔年 ※実習・共同  兼1 ※実習 ※実習・共同 ※実習・集中 兼2				
		行動・実験経済学	3・4後	2		○			1									
		計量分析	3・4前	2		○				1								
		地域調査法	3・4前	2		○				1								
		地域包括ケアシステム論	3・4前	2		○			1	1								
		地域社会統計分析	3・4前	2		○			1									
		経済規制の実務	3・4後	2		○			1									
		会計事例	3・4後	2		○				1								
		政策企画実習	3・4前	2		○			1	1								
		都市・まちづくり演習	3・4前	2		○				1								
税務実習	3・4通	2			○		1					兼2						
小計(11科目)	11	—	0	22	0	—	6	4	1	0	0	兼3	—					
専門科目	法 学 系 選 択 科 目	憲法	3・4前	4		○								兼1	共同			
		統治機構論	3・4前	2		○								兼1				
		行政救済法	3・4前	2		○								兼1				
		民法総則	3・4前	2		○								兼1				
		契約法Ⅰ	3・4前	2		○								兼1				
		契約法Ⅱ	3・4後	2		○								兼1				
		契約法Ⅲ	3・4前	2		○								兼1				
		不法行為法	3・4後	2		○								兼1				
		担保法	3・4後	2		○								兼1				
		民事執行・保全法	3・4後	2		○								兼1				
		刑法Ⅰ	3・4後	4		○								兼1				
		刑法Ⅱ	3・4前	2		○					1			兼1				
		市民税法	3・4前	2		○								兼2				
		法人税法	3・4後	2		○								兼1				
		租税法実務	3・4後	2		○			1					兼2				
知的財産法基礎	3・4後	2		○								兼1						
知的財産法Ⅰ	3・4前	2		○								兼1						

	知的財産法Ⅱ	3・4後	2		○									兼1	
	危機管理法務	3・4後	2		○									兼1	
	行政実務	3・4前	2		○									兼1	
	現代法務	3・4後	2		○									兼8	オムニバス
	情報通信技術の発展と法制度	3・4前	2		○									兼1	
	小計(22科目)	22	—	0	48	0	—		1	0	0	1	0	兼17	—
キャリア リア ンテ トデ 科ベ 目ロ ッ プ メ	ボランティア	2・3・4前・後	2					○	1					兼1	共同
	インターンシップ	2・3・4前・後	2					○	1					兼1	共同
	Global Political Economy	2・3・4前	2					○						兼1	
	Global Business	2・3・4後	2					○						兼1	
	American Law and Society	2・3・4前	2					○						兼1	集中
	海外短期演習	2・3・4後	4					○						兼1	※実習・集中
	社会科学のための基礎力演習	2通	4					○				1			
小計(7科目)	7	—	0	18	0	—		1	0	0	1	0	兼2	—	
合計(507科目)			—	35	913	0	—		9	8	3	2	0	兼417	—
学位又は称号		学士(経済学)		学位又は学科の分野				経済学関係							
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
1. 共通教育科目 37単位以上 (1) 教養科目 24単位以上 ① 教養ゼミナール群 2単位以上 ② 環境科学群 2単位以上 ③ 人文科学群 2単位以上 ④ 社会科学群 2単位以上 ⑤ 自然科学群または体育・スポーツ群 2単位以上 (2) 外国語科目 8単位 英語または中国語 同一言語で8単位 (3) 健康科学科目 1単位 (4) 新入生ゼミナール科目 4単位 ※(2)の要件を超えて修得した外国語科目の単位については、4単位まで(1)の単位に算入することができる。 ※外国人留学生は、日本語・日本事情科目のうち「日本語」4単位が必修。「日本語」4単位は(2)の単位に算入することができる。また、(2)に算入した単位を超える日本語・日本事情科目の単位数は、(1)の単位に算入することができる。 2. 専門科目 90単位以上 (1) 経済学基礎科目 必修科目 20単位 選択科目 22単位以上 (2) リスク分析コース専門科目Ⅰ 必修科目 10単位 選択科目 18単位以上 (3) 実践教育科目 2単位以上 3. 履修科目の登録の上限 ① 共通教育科目は1学期あたり24単位 ② 共通教育科目と専門科目を合わせて、年間44単位								1 学年の学期区分				2 期			
								1 学期の授業期間				1 5 週			
								1 時限の授業時間				9 0 分			



別記様式第2号（その2の1）

基礎となる学部 教育課程等の概要																
(経法学部応用経済学科 公共経済コース)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養ゼミナール群	技術とエネルギーの入門ゼミ	1後		2				○							兼4 オムニバス	※2単位選択必修
	生態資源論ゼミ	1前・後		2				○							兼1	
	地球白書ゼミ	1前・後		2				○							兼1	
	環境マインドを現場で体験するゼミ	1前		2				○							兼3	集中
	土壌学ゼミ	1前		2				○							兼1	
	植物生態学ゼミ	1前		2				○							兼1	
	環境マインドを現場で体験するゼミ（熱帯雨林）	1後		2				○							兼1	集中
	芸術教養美術ゼミ	1前・後		2				○							兼1	
	芸術教養音楽ゼミ	1後		2				○							兼7	オムニバス
	「時」について考えるゼミ	1後		2				○							兼1	
	アジアの中の日本ゼミⅠ	1前		2				○							兼1	
	アジアの中の日本ゼミⅡ	1後		2				○							兼1	
	原書で読むシャーロック・ホームズゼミ	1後		2				○							兼1	
	現代ドイツの言語と日常ゼミ	1前		2				○							兼1	
	現代ドイツ事情ゼミ	1後		2				○							兼1	
	異文化研究ゼミ	1後		2				○							兼1	
	感覚で攻める英文法ゼミ～覚える英文法から感じる英文法へ	1前・後		2				○							兼1	
	日本近現代史入門ゼミ	1後		2				○							兼1	
	西洋古典語の世界ゼミ	1後		2				○							兼1	
	古文書で学ぶ近世ゼミ	1前		2				○							兼1	
	比較哲学入門ゼミ	1後		2				○							兼1	
	フィールドワーク入門ゼミ	1前		2				○							兼1	
	日中比較文学ゼミ	1後		2				○							兼1	
	発信のためのやさしい英作文練習ゼミ	1前		2				○							兼1	
	中国古典小説ゼミ	1後		2				○							兼1	
	法言語学(司法制度とことば)ゼミ	1後		2				○							兼1	
	翻訳入門ゼミ	1後		2				○							兼1	
	シェイクスピアを読むゼミ	1後		2				○							兼1	
	異文化コミュニケーション(海外留学)ゼミ	1前・後		2				○							兼1	
	外国語教育を考えるゼミ	1後		2				○							兼1	
	ことばについて考えるゼミ	1後		2				○							兼1	
	中国思想の古典で学ぶゼミ	1前		2				○							兼1	
	変体仮名入門ゼミ	1前		2				○							兼1	
	フランス文学ゼミ	1前		2				○							兼1	
	英語資格試験対策ゼミ	1前		2				○							兼1	
	シルシル信知るゼミ	1前		2				○							兼2	オムニバス・集中
	もっと知りたい韓国ゼミ	1前		2				○							兼1	
	スポーツ・ホスピタリティゼミ 秋冬編(松本山雅FC連携ゼミ)	1後		2				○							兼1	
	スポーツ・ホスピタリティゼミ 春夏編(松本山雅FC連携ゼミ)	1前		2				○							兼1	
	スポーツ観戦文化論ゼミ	1前・後		2				○							兼1	
	テレビのメディアリテラシー(テレビ信州参与ゼミ)	1前		2				○							兼1	
	大学改革への学生参加ゼミ	1後		2				○							兼1	
	「考える」ゼミ	1前・後		2				○							兼1	
	しょうがいスポーツゼミ	1前		2				○							兼3	オムニバス
	心理学思考法ゼミ	1前		2				○							兼1	
身体心理学ゼミ	1後		2				○							兼1		
環境心理学ゼミ	1前		2				○							兼1		
経済学の視点で考える企業行動ゼミ 基礎編	1前		2				○				1					
経済学の視点で考える企業行動ゼミ 応用編	1後		2				○				1					
社会科学文献講読ゼミⅠ	1後		2				○							兼1		
社会科学文献講読ゼミⅡ	1後		2				○							兼1		
地域ブランド実践ゼミ	1後		2				○							兼3	オムニバス	
社会科学の方法ゼミ	1後		2				○							兼1		
社会格差を考えるゼミ：勝者と敗者の本当の姿	1後		2				○							兼1		
質問紙調査入門ゼミ	1後		2				○							兼1		

	キャリアデザイン実践ゼミ	1後	2		○					兼3	
	化学計算入門ゼミ	1前・後	2		○					兼1	
	大学を知るゼミ	1後	2		○					兼1	
	ロボティクス入門ゼミ	1前・後	2		○					兼1	
	自然誌・博物学ゼミ	1前	2		○					兼3	オムニバス
	ものづくり入門ゼミ	1後	2		○					兼2	オムニバス
	文系学生のための野外地質学ゼミ	1前	2		○					兼3	集中
	利己的遺伝子説から生物像を描くゼミ	1後	2		○					兼1	
	統計図解ゼミ	1後	2		○					兼1	
	アナログ再発見ゼミ	1前・後	2		○					兼1	
	情報社会論ゼミ	1前・後	2		○					兼1	
	Web制作ゼミ	1前・後	2		○					兼1	
	新聞で広げる社会の見方ゼミ (信濃毎日新聞社寄付講義)	1後	2		○					兼1	
	ネットワーク時代の古典を原著で読むゼミ	1後	2		○					兼1	
	人工知能を知ろうゼミ	1前・後	2		○					兼1	
	大学生基礎力ゼミ	1前・後	2		○					兼14	
	新聞をつくらう! (MGプレス制作ゼミ)	1前	2		○					兼1	
	スポーツ活動論ゼミ I	1前	2		○					兼1	
	スポーツ活動論ゼミ II	1後	2		○					兼1	集中
	ドイツ環境ゼミ	1後	2		○					兼1	集中
	自然活動論ゼミ	1前	2		○					兼1	
	自然と人間を考えるゼミ	1後	2		○					兼1	
	臨床検査を体験するゼミ	1後	2		○					兼11	オムニバス
	体と心のリハビリテーションを考えるゼミ	1前	2		○					兼11	オムニバス
	身体運動科学ゼミ	1前	2		○					兼1	
	課題解決実践ゼミ	1後	2		○					兼3	オムニバス
	科学リテラシー入門ゼミ	1後	2		○					兼1	
	経済数学ゼミ I	1前	2		○			1			
	経済数学ゼミ II	1後	2		○			1			
	民法入門ゼミ	1後	2		○					兼1	
	税法入門ゼミ	1後	2		○					兼1	
	リアル・プロジェクトマネジメントゼミ	1後	2		○					兼3	集中
	国際関係論ゼミ	1後	2		○					兼1	
	物理学入門ゼミ	1前	2		○					兼1	
	幾何学入門ゼミ	1前	2		○					兼1	
	素朴な集合論ゼミ	1前	2		○					兼1	
	イノベーション・リテラシーゼミ	1前	2		○					兼3	集中
											※2単位選択必修
環境科学群	環境社会学入門	1前・後	2		○					兼1	
	熱帯雨林と社会	1前・後	2		○					兼1	
	Low Energy Building (省エネルギー住宅)	1後	2		○					兼1	
	ライフサイクルアセスメント入門	1前・後	2		○					兼1	
	環境と生活とのかかわり	1前・後	2		○					兼1	
	環境問題のしくみ	1前	2		○					兼1	
	環境科学入門	1前	2		○					兼1	
	グリーンテクノロジー	1前	2		○					兼9	オムニバス
	環境配慮素材と自然エネルギー	1前	2		○					兼4	オムニバス
	エコ水車の開発と地域バイオマス利用	1前	2		○					兼3	集中・オムニバス
	地球環境の歴史	1前	2		○					兼1	
	循環型社会入門	1前	2		○					兼1	
	環境とエネルギー	1後	2		○					兼1	
	環境エネルギー政策論	1後	2		○					兼1	
	ネイチャーライティングのすすめ (環境文学 I)	1前	2		○					兼1	
	環境文学のすすめ (環境文学 II)	1後	2		○					兼1	
	自然環境と文化	1後	2		○					兼1	
	環境法入門	1後	2		○					兼1	
	材料の科学と技術 (基礎編)	1前	2		○					兼13	オムニバス
	材料の科学と技術 (先端編)	1後	2		○					兼12	オムニバス
	生物と環境	1後	2		○					兼1	
	自然災害と環境	1前	2		○					兼2	オムニバス
ナノテクと環境	1後	2		○					兼1		
人とすまい	1前	2		○					兼6		
水の環境科学	1後	2		○					兼1		
森林サイエンス	1前	2		○					兼13	オムニバス	
農山村と環境	1前	2		○					兼10	オムニバス	
環境と緑の文化	1後	2		○					兼3	オムニバス	

	農環境保全学	1後	2	○							兼4	オムニバス	
	森林・環境共生学概論	1後	2	○							兼2		
	環境と生命の基礎化学	1後	2	○							兼1		
教養科目	映像・人類学	1前	2	○							兼1	※2単位選択必修	
	Top Level English (トップレベルイングリッシュ)	1前・後	2	○							兼3		
	「田園環境健康都市須坂」を「共創」(須坂市寄付講義)	1後	2	○							兼1		
	映画史入門	1前	2	○							兼1		
	身体表現レクチャー&ワークショップ	1前	2	○							兼1		
	絶対王政期フランスの制度と社会	1前	2	○							兼1		
	モノの世界史	1前	2	○							兼1		
	世界の音楽	1前	2	○							兼1		
	方言からみた日本語	1後	2	○							兼1		
	江戸時代の本屋さん和本	1前	2	○							兼1		
	英語基礎Ⅰ(たてなおしの英語Ⅰ)	1前	2	○							兼1		
	英語基礎Ⅱ(たてなおしの英語Ⅱ)	1後	2	○							兼1		
	自己発見の方法	1後	2	○							兼1		
	日本古典文学入門	1前	2	○							兼1		
	中国古典小説	1前	2	○							兼1		
	生と死の哲学～哲学から宗教へ～	1前	2	○							兼1		
	文学と美術を歴史学で読み解く～日本古代史入門～	1前	2	○							兼1		
	山国信州の風土と暮らし(風土の中の衣食住)	1前	2	○							兼1		
	日本の屋根・信州の風土と暮らし	1後	2	○							兼1		
	モバイルデバイスで習うE-TOEICコース	1前・後	2	○							兼1		
	中世英語文献学入門	1後	2	○							兼1		
	「右肩下がり」の時代を生き抜くための倫理学	1前	2	○							兼1		
	言語哲学入門	1後	2	○							兼1		
	「優れた言語学習者」から考える日本語教育学	1後	2	○							兼1		
	恋愛小説を読むー比較文学への招待ー	1後	2	○							兼1		
	フランス文学概論	1前	2	○							兼1		
	日本文学概論	1後	2	○							兼1		
	映像で見て読んで考えるアメリカ	1後	2	○							兼1		
	時に挑む科学と文学	1後	2	○							兼1		
	アフリカ社会論	1前	2	○							兼1		
	韓国の文化(食文化)	1前	2	○							兼1		
	韓国の文化(映画で学ぶ)	1前	2	○							兼1		
	韓国の文化(若者の世界)	1後	2	○							兼1		
	韓国の文化(メディア)	1後	2	○							兼1		
	ドイツ語圏の文化Ⅰ	1前	2	○							兼2		オムニバス
	ドイツ語圏の文化Ⅱ	1後	2	○							兼2		オムニバス
	アフリカ文化論	1前	2	○							兼1		
	中国の文化(現代中国事情①)	1前	2	○							兼1		
	中国の文化(現代中国事情②)	1後	2	○							兼1		
	ロシアの文化(風土と歴史)	1前	2	○							兼1		
スペイン語圏の文化(ラテンアメリカ)	1後	2	○							兼1			
ドイツ語圏の文化Ⅲ	1前	2	○							兼1			
ドイツ語圏の文化Ⅳ	1後	2	○							兼1			
欧米文化(映画で見る未来像)	1前	2	○							兼1			
フランス語圏の文化	1後	2	○							兼1			
スペイン語圏の文化(スペイン)	1前	2	○							兼1			
科学論	1後	2	○							兼5	オムニバス		
囲碁で養う考える力	1前	2	○							兼1	集中		
明日を生きるための心理学 リスク社会と防災を学ぶ	1前	2	○							兼1			
ベンチャービジネス概論	1前	2	○							兼3	オムニバス		
キャリアとしての公務員	1後	2	○							兼1			
スポーツ考現学	1前・後	2	○							兼1			
スポーツ文化を考える	1後	2	○							兼1			
国際理解と多文化共生を考えるⅠ	1前	2	○							兼1			
国際理解と多文化共生を考えるⅡ	1後	2	○							兼1			
国際教養A	1前・後	2	○							兼2	集中		
国際教養B	1前・後	2	○							兼2	集中		
臨床心理学	1前	2	○							兼1			
大学生が会おう法律問題	1前	2	○							兼14	オムニバス		
世界経済の歩み	1後	2	○										



社会科学群	家族と法	1前	2	○					兼1	
	メディア心理学	1後	2	○					兼1	
	ポジティブ心理学	1前	2	○					兼1	
	消費社会学入門	1前	2	○					兼1	
	コミュニティの社会心理学	1後	2	○					兼1	
	臨床心理学概論	1後	2	○					兼1	
	青年の海外ボランティア活動	1後	2	○					兼1	
	キャリア形成論 I	1前	2	○					兼2	
	キャリア形成論 II	1後	2	○					兼2	
	手話コミュニケーションと社会	1後	2	○					兼2	
	手話と社会	1前	2	○					兼2	
	日本国憲法	1前・後	2	○					兼3	
	地域活性化システム論	1前	2	○					兼3	オムニバース
	公法入門	1後	2	○					兼1	
	法学入門	1前	2	○					兼1	
	現代政治分析	1前	2	○					兼1	
	ミクロ経済学入門	1後	2	○		2	2	1		オムニバース
	マクロ経済学入門	1前	2	○		3	2			オムニバース
	大学生が出会う経済・経営問題	1後	2	○		2	3			オムニバース
	障害と共生社会	1前	2	○					兼1	
	大学生から始めるキャリアデザイン	1前	2	○					兼3	オムニバース
	世界で今何が起きているのか?ーI	1前	2	○					兼1	
	世界で今何が起きているのか?ーII	1後	2	○					兼1	
	統計データから読み解く社会	1後	2	○					兼1	
	法学概論 I	1前	2	○					兼1	
	法学概論 II	1後	2	○					兼1	
	多様性の中で自分を活かす (異文化理解とコミュニケーション)	1前	2	○					兼1	
	多様性の中で自分を活かす (協働のスキル)	1後	2	○					兼1	
	グローバル人材論 (グローバルキャリアデザイン)	1前	2	○					兼1	
	グローバル人材論 (「グローバル」マインド養成)	1後	2	○					兼1	
	RESAS～教育を、社会を、地域研究を見据えたリーサス～	1後	2	○					兼1	
	心理学概論	1後	2	○					兼7	オムニバース
	知っておくべき知的財産と研究倫理の基本	1前	2	○					兼1	
	証券・投資から育む「生きる力・考える力」(藍澤證券寄付講義)	1前	2	○					兼1	
	この国はどんな国-グローバル社会を生きるために-I	1前	2	○					兼1	
	この国はどんな国-グローバル社会を生きるために-II	1後	2	○					兼1	
	戦後政策と公法	1後	2	○					兼1	
	ジェンダー論	1後	2	○					兼1	
	ヒューマンセクシュアリティ	1後	2	○					兼3	オムニバース
	新聞と私たちの社会 (信濃毎日新聞社寄付講義)	1後	2	○					兼1	
	数を読む技術	1前・後	2	○					兼1	
	電子出版の現代	1前	2	○					兼1	
	家庭生活基礎A	1後	2	○					兼7	オムニバース
	キャリアビジョンと男女共同参画:誰もが輝く社会を考える	1前	2	○					兼5	
	プログラミング入門	1後	2	○	○			1		
	基本法学	1後	2	○					兼1	
	税法入門講義	1前	2	○					兼1	
	市民社会と法	1前	2	○	○				兼1	
自										※当科学群または「体育・スポーツ群」から2単位選択必修
	伝えておきたい数学	1前	2	○					兼1	
	教養としての物理学	1前	2	○					兼1	
	観測天文学入門	1後	2	○					兼1	
	生活の中の天文学	1前	2	○					兼1	
	現代医療における物理学	1後	2	○					兼1	
	物理学の世界	1前	2	○					兼1	
	Activity-Based Astronomy--現代天文学入門	1前	2	○					兼1	
	時間と空間の物理学	1前	2	○					兼1	
	物理へのいざない	1後	2	○					兼11	オムニバース
	応用化学～千夜一夜～	1前	2	○					兼13	オムニバース
	生活の中の高分子	1前	2	○					兼13	オムニバース
	基礎分子遺伝学の世界	1後	2	○					兼2	オムニバース
	バイオリソースと生命科学	1後	2	○					兼2	オムニバース
	生態学入門	1後	2	○					兼1	
	地域から学ぶ地球	1前	2	○					兼1	

〔自然科学群〕	教養としての物質科学	1後	2	○											兼1	
	ニューバイオテクノロジー入門	1後	2	○											兼5	オムニバス
	動物と私たちの暮らし	1前	2	○											兼8	オムニバス
	動物生命科学	1後	2	○											兼7	オムニバス
	食と植物の文化論	1後	2	○											兼4	オムニバス
	応用生物学への招待	1前	2	○											兼14	オムニバス
	食と微生物	1後	2	○											兼9	オムニバス
	ネットワーク社会における情報科学	1前・後	2	○											兼1	
	統計学の基礎	1前・後	2	○											兼1	
	検索の科学	1前・後	2	○											兼1	
	情報学入門 (コンピュータの構成、アルゴリズム)	1前	2	○											兼2	オムニバス
	情報学入門 (プログラミング、ネットワーク)	1後	2	○											兼2	オムニバス
	統計学入門	1前	2	○											兼1	
	ベイズ統計学入門	1後	2	○											兼1	
	脳の不思議を探る (認知神経科学入門)	1前	2	○											兼1	
	脳の不思議をもっと探る (認知神経科学入門)	1後	2	○											兼1	
	宇宙から原子への旅	1前	2	○											兼10	オムニバス
	国際看護学 I	1前	2	○											兼1	
	国際技術論	1前	2	○											兼1	
	科学技術政策と研究開発	1後	2	○											兼1	
健康管理と生活習慣【佐久大学開講】	1後	2	○											兼1		
体育・スポーツ群																※当科学群または「自然科学群」から2単位選択必修
	ソフトボール	1前	1	○											兼1	
	テニス	1前	1	○											兼1	
	アダブテッドスポーツ	1後	1	○											兼1	
	弓道	1前	1	○											兼1	
	コーディネーションエクササイズ	1前	1	○											兼1	
	剣道形の世界	1前	1	○											兼1	
	パドミントン	1前	1	○											兼2	
	サッカー	1前・後	1	○											兼1	
	バレーボール	1前	1	○											兼1	
	フライングディスク	1前	1	○											兼1	
	トレッキング	1前	1	○											兼5	集中
	ゴルフ	1前	1	○											兼2	集中
	スポーツフィッシング	1前	1	○											兼1	集中
	マリンスポーツ	1前	1	○											兼1	集中
	信大マラソン	1前	1	○											兼1	集中
	アウトドアの達人	1前	1	○											兼2	集中
	サバイバル活動	1前	1	○											兼1	集中
	スクーバダイビング	1後	1	○											兼2	集中
	レジャースポーツ	1前	1	○											兼1	集中
	スポーツボウリング	1後	1	○											兼1	
	ニュースポーツ	1後	1	○											兼1	集中
	アスレティックトレーニング	1後	1	○											兼1	
	バスケットボール	1後	1	○											兼1	
	ネイチャースキー	1後	1	○											兼2	集中
	スノー・スポーツ	1後	1	○											兼12	集中
	アウトドアマスター I	2前	1	○											兼1	集中
アウトドアマスター II	2前	1	○											兼4	集中	
ゴルフマスター I	2前	1	○											兼1	集中	
ゴルフマスター II	2前	1	○											兼1	集中	
小計 (296科目)	296	—	0	563	0	—	7	8	2	0	0	兼345	—			
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I (上級)	1前	1	○											兼11	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I (中級)	1前	1	○											兼17	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I (初級)	1前	1	○											兼14	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I	1前・後	1	○											兼3	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II (上級)	1後	1	○											兼11	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II (中級)	1後	1	○											兼15	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II (初級)	1後	1	○											兼14	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II	1後	1	○											兼1	
	コミュニケーション・イングリッシュ I (上級)	1前	1	○											兼6	
	コミュニケーション・イングリッシュ I (中級)	1前	1	○											兼5	
	コミュニケーション・イングリッシュ I (初級)	1前	1	○											兼4	
コミュニケーション・イングリッシュ II (上級)	1後	1	○											兼5		

基礎科目

外国語科目

英語	コミュニケーション・イングリッシュⅡ(中級)	1後	1			○				兼5
	コミュニケーション・イングリッシュⅡ(初級)	1後	1			○				兼4
	リスニング&リーディングⅠ(上級)	1前	1			○				兼6
	リスニング&リーディングⅠ(中級)	1前	1			○				兼5
	リスニング&リーディングⅠ(初級)	1前	1			○				兼9
	リスニング&リーディングⅠ	1前	1			○				兼1
	リスニング&リーディングⅡ(上級)	1後	1			○				兼5
	リスニング&リーディングⅡ(中級)	1後	1			○				兼5
	リスニング&リーディングⅡ(初級)	1後	1			○				兼9
	リスニング&リーディングⅡ	1後	1			○				兼1
	リーディング・プラスⅠ	1前	1			○				兼1
	リーディング・プラスⅡ	1後	1			○				兼1
	アカデミック・イングリッシュⅠ(上級)	2前	2			○				兼8
	アカデミック・イングリッシュⅠ(中級)	2前	2			○				兼19
	アカデミック・イングリッシュⅠ(初級)	2前	2			○				兼14
	アカデミック・イングリッシュⅡ(上級)	2後	2			○				兼8
	アカデミック・イングリッシュⅡ(中級)	2後	2			○				兼20
	アカデミック・イングリッシュⅡ(初級)	2後	2			○				兼17
	ドイツ語	ドイツ語初級(総合)Ⅰ	1前	1			○			
ドイツ語初級(総合)Ⅱ		1後	1			○				兼2
ドイツ語初級(文法)Ⅰ		1前	1			○				兼3
ドイツ語初級(文法)Ⅱ		1前・後	1			○				兼3
ドイツ語初級(読解・会話)Ⅰ		1前・後	1			○				兼2
ドイツ語初級(読解・会話)Ⅱ		1後	1			○				兼2
ドイツ語中級(読解)Ⅰ		2前	2			○				兼2
ドイツ語中級(読解)Ⅱ		2後	2			○				兼1
ドイツ語中級(会話)Ⅰ		2前	2			○				兼1
ドイツ語中級(会話)Ⅱ		2後	2			○				兼1
ドイツ語演習Ⅰ		2前	2			○				兼2
ドイツ語演習Ⅱ	2後	2			○				兼2	
フランス語	フランス語初級(総合)Ⅰ	1前	1			○				兼1
	フランス語初級(総合)Ⅱ	1後	1			○				兼1
	フランス語初級(文法)Ⅰ	1前	1			○				兼1
	フランス語初級(文法)Ⅱ	1後	1			○				兼1
	フランス語初級(読解・会話)Ⅰ	1前	1			○				兼2
	フランス語初級(読解・会話)Ⅱ	1後	1			○				兼2
	フランス語中級(読解・会話)Ⅰ	2前	2			○				兼1
	フランス語中級(読解・会話)Ⅱ	2後	2			○				兼1
	フランス語演習Ⅰ	2前	2			○				兼1
フランス語演習Ⅱ	2後	2			○				兼1	
中国語	中国語初級(総合)Ⅰ	1前	1			○				兼1
	中国語初級(総合)Ⅱ	1後	1			○				兼1
	中国語初級(文法)Ⅰ	1前	1			○				兼2
	中国語初級(文法)Ⅱ	1後	1			○				兼2
	中国語初級(読解・会話)Ⅰ	1前	1			○				兼4
	中国語初級(読解・会話)Ⅱ	1後	1			○				兼4
	中国語演習Ⅰ	2前	2			○				兼2
	中国語演習Ⅱ	2後	2			○				兼2
ハンブル	ハンブル初級(総合)Ⅰ	1前	1			○				兼1
	ハンブル初級(総合)Ⅱ	1後	1			○				兼1
	ハンブル初級(文法)Ⅰ	1前	1			○				兼1
	ハンブル初級(文法)Ⅱ	1後	1			○				兼1
	ハンブル初級(読解・会話)Ⅰ	1前	1			○				兼1
	ハンブル初級(読解・会話)Ⅱ	1後	1			○				兼1
	ハンブル中級(読解・会話)Ⅰ	2前	2			○				兼1
	ハンブル中級(読解・会話)Ⅱ	2後	2			○				兼1
	ハンブル中級Ⅰ	2前	2			○				兼1
	ハンブル中級Ⅱ	2後	2			○				兼1
	ハンブル演習Ⅰ	2前	2			○				兼1
	ハンブル演習Ⅱ	2後	2			○				兼1
スペイン	スペイン語初級(総合)Ⅰ	1前	1			○				兼1
	スペイン語初級(総合)Ⅱ	1後	1			○				兼1
	スペイン語初級(文法)Ⅰ	1前	1			○				兼2
	スペイン語初級(文法)Ⅱ	1前	1			○				兼2
	スペイン語初級(読解・会話)Ⅰ	1後	1			○				兼1
	スペイン語初級(読解・会話)Ⅱ	1後	1			○				兼1

	語	スペイン語中級（読解・会話）Ⅰ	2前	2			○									兼1	
		スペイン語中級（読解・会話）Ⅱ	2後	2			○									兼1	
		スペイン語演習Ⅰ	2前	2			○									兼1	
		スペイン語演習Ⅱ	2後	2			○									兼1	
		小計（82科目）	82	—	0	110	0	—	0	0	0	0	0	0	0	兼69	—
	健康科学科目	健康科学・理論と実践	1前	1				○								兼3	※実技・オムニバス
		小計（1科目）	1	—	1	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	兼3	—
	新入生ゼミナール	新入生ゼミナールⅠ	1前	2				○		9	8	3				兼7	
		新入生ゼミナールⅡ	1後	2				○		9	8	3				兼4	
		小計（2科目）	2	—	4	0	0	—	9	8	3	0	0	0	0	兼11	—
	日本語・日本事情科目	読解（日本語）Ⅰ	1前	1					○							兼2	※外国人留学生のみ
		読解（日本語）Ⅱ	1後	1					○							兼2	
		作文（日本語）Ⅰ	1前	1					○							兼2	
		作文（日本語）Ⅱ	1後	1					○							兼2	
		科学技術日本語Ⅰ	1前	1					○							兼1	
		科学技術日本語Ⅱ	1後	1					○							兼1	
		ビジネス・ジャパニーズⅠ	1前	1					○							兼1	
		ビジネス・ジャパニーズⅡ	1後	1					○							兼1	
		日本語表現・文型Ⅰ	1前	1					○							兼1	
		日本語表現・文型Ⅱ	1後	1					○							兼1	
		聴解（日本語）Ⅰ	1前	1					○							兼2	
		聴解（日本語）Ⅱ	1後	1					○							兼2	
		口頭表現Ⅰ	1前	1					○							兼1	
		口頭表現Ⅱ	1後	1					○							兼1	
		日本社会と日本人Ⅰ	1前	2			○									兼1	※外国人留学生のみ
		日本社会と日本人Ⅱ	1後	2			○									兼1	
		武道・伝統文化実習Ⅰ	1前	1					○							兼2	オムニバス
		武道・伝統文化実習Ⅱ	1後	1					○							兼2	オムニバス
		小計（18科目）	18	—	0	20	0	—	0	0	0	0	0	0	0	兼8	—
	経済学基礎科目	統計学Ⅰ	1後	2				○		1							
		統計学Ⅱ	2前	4				○		1							
		経済数学A	1前	2				○				1					
		経済数学B	1後	2				○				1					
		ミクロ経済学Ⅰ	2前	4				○		1							
		マクロ経済学Ⅰ	1後	4				○			1						
		ミクロ経済学Ⅱ	2・3後	2				○		1							
		マクロ経済学Ⅱ	2・3前	2				○			1						
		ゲーム理論入門	2後	2				○				1					
		環境経済学Ⅰ	2・3後	2				○				1					
		社会経済学	2・3後	4				○			1						隔年
		経済史	2・3前	4				○			1						隔年
		世界経済論	2・3後	2				○			1						隔年
		経営学	2・3前	2				○			1						
		簿記・会計入門	2・3前	2				○			1						
		情報処理A	2・3前・後	2				○		1							
		情報処理B	2・3前・後	2				○		1							
		国際金融	2・3後	2				○		1							隔年
		財政学	2・3後	4				○		1							
		国際経済学	2・3後	2				○		1							隔年
		金融論A	2・3前	2				○		1							
		金融論B	2・3後	2				○			1						
		産業組織	2・3前	4				○				1					
		アジア経済論	2・3前	2				○		1							
		現代産業論	2・3前	2				○		3							共同
		現代職業論	2・3前	2				○		1							
		経営者と企業	2・3後	2				○		1	2						共同
		英語文献研究	2・3前・後	2				○		1	2						
		現代史基礎	2・3前	2				○									兼1
		現代世界史基礎	2・3前	2				○									兼1
		小計（30科目）	30	—	20	54	0	—	8	5	2	1	0	0	0	兼1	—
		医療経済学	3・4後	4				○			1						
		社会政策論	3・4後	2				○		1							
		地方財政	3・4後	2				○			1						
		公共経済学	3・4前	2				○			1						
		医療制度論	3・4前	2				○			1						

専 門 科 目	公 共 経 済 コ ー ス 専 門 科 目 I	社会保障政策論	3・4前	2		○			1								隔年	
		比較社会保障論	3・4後	2		○			1									
		計量経済学	3・4後	2		○					1							
		経済地理学	3・4前	2		○				1								隔年
		自然環境概論	3・4後	2		○				1								
		医療社会学	3・4前	2		○												兼1
		健康政策論	3・4前	2		○				1	1							兼3
		都市政策論	3・4後	2		○						1						
		環境政策論	3・4後	2		○				1								
		環境経済学Ⅱ	3・4前	2		○								1				
		自然環境フィールドワークの理論と実践	3・4後	2		○												兼1
		経済学演習Ⅰ	2後	2				○		9	8	3						
		経済学演習Ⅱ	3通	4				○		9	8	3						
		健康・スポーツ・自然演習Ⅰ	3・4前	2				○										兼1
		健康・スポーツ・自然演習Ⅱ	3・4後	2				○										兼1
	卒業論文	4通	6				○		9	8	3							
	小計(21科目)	21	—	10	40	0	—		9	8	3	0	0				兼4	—
	公 共 経 済 コ ー ス 専 門 科 目 II	法と経済学Ⅰ	3・4前	2		○			1									
		経営組織論	3・4前	2		○				1								
		経営労務論	3・4前	2		○					1							隔年
		産業政策論	3・4前	4		○			1									
		財務会計	3・4前	2		○					1							
		管理会計	3・4後	2		○						1						
		公認会計士実務	3・4後	2		○						1						
		生保数理	3・4前	2		○												兼1
		年金数理	3・4前	2		○												兼1
		損保数理	3・4前	2		○												兼1
		数理モデル論	3・4前	2		○												兼1
		確率論基礎	3・4前	2		○												兼1
		数理統計学	3・4後	2		○				1								
		労働法	3・4前	4		○												兼1
		社会保障法	3・4後	2		○												兼1
		行政法	3・4後	4		○												兼1
		行政学概論	3・4後	2		○												兼1
		自治行政	3・4前	2		○												兼1
		政治学基礎	3・4前	2		○												兼1
	国際政治	3・4後	4		○												兼1	
	国際政治演習	3・4後	2		○		○										兼1	
	小計(21科目)	21	—	0	50	0	—		3	2	0	0	0				兼9	—
	実 践 教 育 科 目	実証日本経済論	3・4前	2			○		1									
		行動・実験経済学	3・4後	2			○		1									
		計量分析	3・4前	2			○					1						※実習・隔年
		地域調査法	3・4前	2			○				1							※実習・共同
		地域包括ケアシステム論	3・4前	2			○		1	1								
		地域社会統計分析	3・4前	2			○		1									
		経済規制の実務	3・4後	2			○		1									兼1
会計事例		3・4後	2			○				1							※実習	
政策企画実習		3・4前	2			○		1	1								※実習・共同	
都市・まちづくり演習		3・4前	2			○				1							※実習・集中	
税務実習	3・4通	2				○	1									兼2		
小計(11科目)	11	—	0	22	0	—		6	4	1	0	0				兼3	—	
法 学 系 選 択 科 目	憲法	3・4前	4		○												兼1	
	統治機構論	3・4前	2		○												兼1	
	行政救済法	3・4前	2		○												兼1	
	民法総則	3・4前	2		○												兼1	
	契約法Ⅰ	3・4前	2		○												兼1	
	契約法Ⅱ	3・4後	2		○												兼1	
	契約法Ⅲ	3・4前	2		○												兼1	
	不法行為法	3・4後	2		○												兼1	
	担保法	3・4後	2		○												兼1	
	民事執行・保全法	3・4後	2		○												兼1	
	刑法Ⅰ	3・4後	4		○												兼1	
	刑法Ⅱ	3・4前	2		○							1					兼1	
市民税法	3・4前	2		○												兼2		
法人税法	3・4後	2		○												兼1		

	租税法実務	3・4後	2		○			1						兼2	共同
	知的財産法基礎	3・4後	2		○									兼1	
	知的財産法Ⅰ	3・4前	2		○									兼1	
	知的財産法Ⅱ	3・4後	2		○									兼1	
	危機管理法務	3・4後	2		○									兼1	
	行政実務	3・4前	2		○									兼1	
	現代法務	3・4後	2		○									兼8	オムニバス
	情報通信技術の発展と法制度	3・4前	2		○									兼1	
	小計(22科目)	22	—	0	48	0	—	1	0	0	1	0	兼17	—	
キャリア ンア トデ 科ベ ロ ッ プ メ	ボランティア	2・3・4前・後	2				○	1						兼1	共同
	インターンシップ	2・3・4前・後	2				○	1						兼1	共同
	Global Political Economy	2・3・4前	2				○							兼1	
	Global Business	2・3・4後	2				○							兼1	
	American Law and Society	2・3・4前	2				○							兼1	集中
	海外短期演習	2・3・4後	4				○							兼1	※実習・集中
社会科学のための基礎力演習	2通	4				○				1					
	小計(7科目)	7	—	0	18	0	—	1	0	0	1	0	兼2	—	
合計(511科目)			—	35	925	0	—	9	8	3	2	0	兼412	—	
学位又は称号		学士(経済学)		学位又は学科の分野				経済学関係							
卒業要件		及び履修方法				授業期間等									
1. 共通教育科目 37単位以上						1 学年の学期区分				2 期					
(1) 教養科目 24単位以上															
① 教養ゼミナール群 2単位以上															
② 環境科学群 2単位以上															
③ 人文科学群 2単位以上															
④ 社会科学群 2単位以上															
⑤ 自然科学群または体育・スポーツ群 2単位以上															
(2) 外国語科目 8単位															
英語または中国語 同一言語で8単位															
(3) 健康科学科目 1単位															
(4) 新入生ゼミナール科目 4単位															
※(2)の要件を超えて修得した外国語科目の単位については、4単位まで(1)の単位に算入することができる。															
※外国人留学生は、日本語・日本事情科目のうち「日本語」4単位が必修。「日本語」4単位は(2)の単位に算入することができる。また、(2)に算入した単位を超える日本語・日本事情科目の単位数は、(1)の単位に算入することができる。						1 学期の授業期間				1 5 週					
2. 専門科目 90単位以上															
(1) 経済学基礎科目															
必修科目 20単位															
選択科目 22単位以上															
(2) 公共経済コース専門科目Ⅰ															
必修科目 10単位															
選択科目 18単位以上															
(3) 実践教育科目 2単位以上															
3. 履修科目の登録の上限															
① 共通教育科目は1学期あたり24単位															
② 共通教育科目と専門科目を合わせて、年間44単位						1 時限の授業時間				9 0 分					



別記様式第2号（その2の1）

基礎となる学部 教育課程等の概要															
(経法学部応用経済学科 企業と制度の経済分析コース)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
	技術とエネルギーの入門ゼミ	1後		2			○							兼4	※2単位選択必修 オムニバス
	生態資源論ゼミ	1前・後		2			○							兼1	
	地球白書ゼミ	1前・後		2			○							兼1	
	環境マインドを現場で体験するゼミ	1前		2			○							兼3	集中
	土壌学ゼミ	1前		2			○							兼1	
	植物生態学ゼミ	1前		2			○							兼1	
	環境マインドを現場で体験するゼミ（熱帯雨林）	1後		2			○							兼1	集中
	芸術教養美術ゼミ	1前・後		2			○							兼1	
	芸術教養音楽ゼミ	1後		2			○							兼7	オムニバス
	「時」について考えるゼミ	1後		2			○							兼1	
	アジアの中の日本ゼミⅠ	1前		2			○							兼1	
	アジアの中の日本ゼミⅡ	1後		2			○							兼1	
	原書で読むシャーロック・ホームズゼミ	1後		2			○							兼1	
	現代ドイツの言語と日常ゼミ	1前		2			○							兼1	
	現代ドイツ事情ゼミ	1後		2			○							兼1	
	異文化研究ゼミ	1後		2			○							兼1	
	感覚で攻める英文法ゼミ～覚える英文法から感じる英文法へ	1前・後		2			○							兼1	
	日本近現代史入門ゼミ	1後		2			○							兼1	
	西洋古典語の世界ゼミ	1後		2			○							兼1	
	古文書で学ぶ近世ゼミ	1前		2			○							兼1	
	比較哲学入門ゼミ	1後		2			○							兼1	
	フィールドワーク入門ゼミ	1前		2			○							兼1	
	日中比較文学ゼミ	1後		2			○							兼1	
	発信のためのやさしい英作文練習ゼミ	1前		2			○							兼1	
	中国古典小説ゼミ	1後		2			○							兼1	
	法言語学(司法制度とことば)ゼミ	1後		2			○							兼1	
	翻訳入門ゼミ	1後		2			○							兼1	
	シェイクスピアを読むゼミ	1後		2			○							兼1	
	異文化コミュニケーション(海外留学)ゼミ	1前・後		2			○							兼1	
	外国語教育を考えるゼミ	1後		2			○							兼1	
	ことばについて考えるゼミ	1後		2			○							兼1	
	中国思想の古典で学ぶゼミ	1前		2			○							兼1	
	変体仮名入門ゼミ	1前		2			○							兼1	
	フランス文学ゼミ	1前		2			○							兼1	
	英語資格試験対策ゼミ	1前		2			○							兼1	
	シルシル信知るゼミ	1前		2			○							兼2	オムニバス・集中
	もっと知りたい韓国ゼミ	1前		2			○							兼1	
	スポーツ・ホスピタリティゼミ 秋冬編(松本山雅FC連携ゼミ)	1後		2			○							兼1	
	スポーツ・ホスピタリティゼミ 春夏編(松本山雅FC連携ゼミ)	1前		2			○							兼1	
	スポーツ観戦文化論ゼミ	1前・後		2			○							兼1	
	テレビのメディアリテラシー(テレビ信州参与ゼミ)	1前		2			○							兼1	
	大学改革への学生参加ゼミ	1後		2			○							兼1	
	「考える」ゼミ	1前・後		2			○							兼1	
	しょうがいスポーツゼミ	1前		2			○							兼3	オムニバス
	心理学思考法ゼミ	1前		2			○							兼1	
	身体心理学ゼミ	1後		2			○							兼1	
	環境心理学ゼミ	1前		2			○							兼1	
	経済学の視点で考える企業行動ゼミ 基礎編	1前		2			○				1				
	経済学の視点で考える企業行動ゼミ 応用編	1後		2			○				1				
	社会科学文献講読ゼミⅠ	1後		2			○							兼1	
	社会科学文献講読ゼミⅡ	1後		2			○							兼1	
	地域ブランド実践ゼミ	1後		2			○							兼3	オムニバス
	社会科学の方法ゼミ	1後		2			○							兼1	
	社会格差を考えるゼミ：勝者と敗者の本当の姿	1後		2			○							兼1	
	質問紙調査入門ゼミ	1後		2			○							兼1	



	キャリアデザイン実践ゼミ	1後	2			○							兼3	
	化学計算入門ゼミ	1前・後	2			○							兼1	
	大学を知るゼミ	1後	2			○							兼1	
	ロボティクス入門ゼミ	1前・後	2			○							兼1	
	自然誌・博物学ゼミ	1前	2			○							兼3	オムニバス
	ものづくり入門ゼミ	1後	2			○							兼2	オムニバス
	文系学生のための野外地質学ゼミ	1前	2			○							兼3	集中
	利己的遺伝子説から生物像を描くゼミ	1後	2			○							兼1	
	統計図解ゼミ	1後	2			○							兼1	
	アナログ再発見ゼミ	1前・後	2			○							兼1	
	情報社会論ゼミ	1前・後	2			○							兼1	
	We b制作ゼミ	1前・後	2			○							兼1	
	新聞で広げる社会の見方ゼミ (信濃毎日新聞社寄付講義)	1後	2			○							兼1	
	ネットワーク時代の古典を原著で読むゼミ	1後	2			○							兼1	
	人工知能を知ろうゼミ	1前・後	2			○							兼1	
	大学生基礎力ゼミ	1前・後	2			○							兼14	
	新聞をつくろう！(MGプレス制作ゼミ)	1前	2			○							兼1	
	スポーツ活動論ゼミⅠ	1前	2			○							兼1	
	スポーツ活動論ゼミⅡ	1後	2			○							兼1	集中
	ドイツ環境ゼミ	1後	2			○							兼1	集中
	自然活動論ゼミ	1前	2			○							兼1	
	自然と人間を考えるゼミ	1後	2			○							兼1	
	臨床検査を体験するゼミ	1後	2			○							兼11	オムニバス
	体と心のリハビリテーションを考えるゼミ	1前	2			○							兼11	オムニバス
	身体運動科学ゼミ	1前	2			○							兼1	
	課題解決実践ゼミ	1後	2			○							兼3	オムニバス
	科学リテラシー入門ゼミ	1後	2			○							兼1	
	経済数学ゼミⅠ	1前	2			○				1				
	経済数学ゼミⅡ	1後	2			○				1				
	民法入門ゼミ	1後	2			○							兼1	
	税法入門ゼミ	1後	2			○							兼1	
	リアル・プロジェクトマネジメントゼミ	1後	2			○							兼3	集中
	国際関係論ゼミ	1後	2			○							兼1	
	物理学入門ゼミ	1前	2			○							兼1	
	幾何学入門ゼミ	1前	2			○							兼1	
	素朴な集合論ゼミ	1前	2			○							兼1	
	イノベーション・リテラシーゼミ	1前	2			○							兼3	集中
														※2単位選択必修
環境科学群	環境社会学入門	1前・後	2			○							兼1	
	熱帯雨林と社会	1前・後	2			○							兼1	
	Low Energy Building (省エネルギー住宅)	1後	2			○							兼1	
	ライフサイクルアセスメント入門	1前・後	2			○							兼1	
	環境と生活とのかかわり	1前・後	2			○							兼1	
	環境問題のしくみ	1前	2			○							兼1	
	環境科学入門	1前	2			○							兼1	
	グリーンテクノロジー	1前	2			○							兼9	オムニバス
	環境配慮素材と自然エネルギー	1前	2			○							兼4	オムニバス
	エコ水車の開発と地域バイオマス利用	1前	2			○							兼3	集中・オムニバス
	地球環境の歴史	1前	2			○							兼1	
	循環型社会入門	1前	2			○							兼1	
	環境とエネルギー	1後	2			○							兼1	
	環境エネルギー政策論	1後	2			○							兼1	
	ネイチャーライティングのすすめ (環境文学Ⅰ)	1前	2			○							兼1	
	環境文学のすすめ (環境文学Ⅱ)	1後	2			○							兼1	
	自然環境と文化	1後	2			○							兼1	
	環境法入門	1後	2			○							兼1	
	材料の科学と技術 (基礎編)	1前	2			○							兼13	オムニバス
	材料の科学と技術 (先端編)	1後	2			○							兼12	オムニバス
生物と環境	1後	2			○							兼1		
自然災害と環境	1前	2			○							兼2	オムニバス	
ナノテクと環境	1後	2			○							兼1		
人とすまい	1前	2			○							兼6		
水の環境科学	1後	2			○							兼1		
森林サイエンス	1前	2			○							兼13	オムニバス	
農山村と環境	1前	2			○							兼10	オムニバス	
環境と緑の文化	1後	2			○							兼3	オムニバス	

	農環境保全学	1後	2	○						兼4	オムニバス	
	森林・環境共生学概論	1後	2	○						兼2		
	環境と生命の基礎化学	1後	2	○						兼1		
教養科目	映像・人類学	1前	2	○						兼1	※2単位選択必修	
	Top Level English (トップレベルイングリッシュ)	1前・後	2	○						兼3		
	「田園環境健康都市須坂」を「共創」(須坂市寄付講義)	1後	2	○						兼1		
	映画史入門	1前	2	○						兼1		
	身体表現レクチャー&ワークショップ	1前	2	○						兼1		
	絶対王政期フランスの制度と社会	1前	2	○						兼1		
	モノの世界史	1前	2	○						兼1		
	世界の音楽	1前	2	○						兼1		
	方言からみた日本語	1後	2	○						兼1		
	江戸時代の本屋さん和本	1前	2	○						兼1		
	英語基礎Ⅰ(たてなおしの英語Ⅰ)	1前	2	○						兼1		
	英語基礎Ⅱ(たてなおしの英語Ⅱ)	1後	2	○						兼1		
	自己発見の方法	1後	2	○						兼1		
	日本古典文学入門	1前	2	○						兼1		
	中国古典小説	1前	2	○						兼1		
	生と死の哲学～哲学から宗教へ～	1前	2	○						兼1		
	文学と美術を歴史学で読み解く～日本古代史入門～	1前	2	○						兼1		
	山国信州の風土と暮らし(風土の中の衣食住)	1前	2	○						兼1		
	日本の屋根・信州の風土と暮らし	1後	2	○						兼1		
	モバイルデバイスで習うE-TOEICコース	1前・後	2	○						兼1		
	中世英語文献学入門	1後	2	○						兼1		
	「右肩下がり」の時代を生き抜くための倫理学	1前	2	○						兼1		
	言語哲学入門	1後	2	○						兼1		
	「優れた言語学習者」から考える日本語教育学	1後	2	○						兼1		
	恋愛小説を読むー比較文学への招待ー	1後	2	○						兼1		
	フランス文学概論	1前	2	○						兼1		
	日本文学概論	1後	2	○						兼1		
	映像で見て読んで考えるアメリカ	1後	2	○						兼1		
	時に挑む科学と文学	1後	2	○						兼1		
	アフリカ社会論	1前	2	○						兼1		
	韓国の文化(食文化)	1前	2	○						兼1		
	韓国の文化(映画で学ぶ)	1前	2	○						兼1		
	韓国の文化(若者の世界)	1後	2	○						兼1		
	韓国の文化(メディア)	1後	2	○						兼1		
	ドイツ語圏の文化Ⅰ	1前	2	○						兼2		オムニバス
	ドイツ語圏の文化Ⅱ	1後	2	○						兼2		オムニバス
	アフリカ文化論	1前	2	○						兼1		
	中国の文化(現代中国事情①)	1前	2	○						兼1		
	中国の文化(現代中国事情②)	1後	2	○						兼1		
	ロシアの文化(風土と歴史)	1前	2	○						兼1		
スペイン語圏の文化(ラテンアメリカ)	1後	2	○						兼1			
ドイツ語圏の文化Ⅲ	1前	2	○						兼1			
ドイツ語圏の文化Ⅳ	1後	2	○						兼1			
欧米文化(映画で見る未来像)	1前	2	○						兼1			
フランス語圏の文化	1後	2	○						兼1			
スペイン語圏の文化(スペイン)	1前	2	○						兼1			
科学論	1後	2	○						兼5	オムニバス		
囲碁で養う考える力	1前	2	○						兼1	集中		
明日を生きるための心理学 リスク社会と防災を学ぶ	1前	2	○						兼1			
ベンチャービジネス概論	1前	2	○						兼3	オムニバス		
キャリアとしての公務員	1後	2	○						兼1			
スポーツ考現学	1前・後	2	○						兼1			
スポーツ文化を考える	1後	2	○						兼1			
国際理解と多文化共生を考えるⅠ	1前	2	○						兼1			
国際理解と多文化共生を考えるⅡ	1後	2	○						兼1			
国際教養A	1前・後	2	○						兼2	集中		
国際教養B	1前・後	2	○						兼2	集中		
臨床心理学	1前	2	○						兼1			
大学生が会おう法律問題	1前	2	○						兼14	オムニバス		
世界経済の歩み	1後	2	○									

社会科学群	家族と法	1前	2	○								兼1
	メディア心理学	1後	2	○								兼1
	ポジティブ心理学	1前	2	○								兼1
	消費社会学入門	1前	2	○								兼1
	コミュニティの社会心理学	1後	2	○								兼1
	臨床心理学概論	1後	2	○								兼1
	青年の海外ボランティア活動	1後	2	○								兼1
	キャリア形成論 I	1前	2	○								兼2
	キャリア形成論 II	1後	2	○								兼2
	手話コミュニケーションと社会	1後	2	○								兼2
	手話と社会	1前	2	○								兼2
	日本国憲法	1前・後	2	○								兼3
	地域活性化システム論	1前	2	○								兼3 オムニバス
	公法入門	1後	2	○								兼1
	法学入門	1前	2	○								兼1
	現代政治分析	1前	2	○								兼1
	マイクロ経済学入門	1後	2	○		2	2	1				オムニバス
	マクロ経済学入門	1前	2	○		3	2					オムニバス
	大学生が会える経済・経営問題	1後	2	○		2	3					オムニバス
	障害と共生社会	1前	2	○								兼1
	大学生から始めるキャリアデザイン	1前	2	○								兼3 オムニバス
	世界で今何が起きているのか? - I	1前	2	○								兼1
	世界で今何が起きているのか? - II	1後	2	○								兼1
	統計データから読み解く社会	1後	2	○								兼1
	法学概論 I	1前	2	○								兼1
	法学概論 II	1後	2	○								兼1
	多様性の中で自分を活かす (異文化理解とコミュニケーション)	1前	2	○								兼1
	多様性の中で自分を活かす (協働のスキル)	1後	2	○								兼1
	グローバル人材論 (グローバルキャリアデザイン)	1前	2	○								兼1
	グローバル人材論 (「グローバル」マインド養成)	1後	2	○								兼1
	RESAS～教育を、社会を、地域研究を見据えたリーサス～	1後	2	○								兼1
	心理学概論	1後	2	○								兼7 オムニバス
	知っておくべき知的財産と研究倫理の基本	1前	2	○								兼1
	証券・投資から育む「生きる力・考える力」(藍澤證券寄付講義)	1前	2	○								兼1
	この国はどんな国-グローバル社会を生きるために-I	1前	2	○								兼1
	この国はどんな国-グローバル社会を生きるために-II	1後	2	○								兼1
	戦後政策と公法	1後	2	○								兼1
	ジェンダー論	1後	2	○								兼1
	ヒューマンセクシュアリティ	1後	2	○								兼3 オムニバス
	新聞と私たちの社会 (信濃毎日新聞社寄付講義)	1後	2	○								兼1
	数を読む技術	1前・後	2	○								兼1
	電子出版の現代	1前	2	○								兼1
	家庭生活基礎A	1後	2	○								兼7 オムニバス
	キャリアビジョンと男女共同参画：誰もが輝く社会を考える	1前	2	○								兼5
	プログラミング入門	1後	2	○	○		1					
	基本法学	1後	2	○								兼1
税法入門講義	1前	2	○								兼1	
市民社会と法	1前	2	○	○							兼1	
自												※当科学群または「体育・スポーツ群」から2単位選択必修
	伝えておきたい数学	1前	2	○								兼1
	教養としての物理学	1前	2	○								兼1
	観測天文学入門	1後	2	○								兼1
	生活のなかの天文学	1前	2	○								兼1
	現代医療における物理学	1後	2	○								兼1
	物理学の世界	1前	2	○								兼1
	Activity-Based Astronomy--現代天文学入門	1前	2	○								兼1
	時間と空間の物理学	1前	2	○								兼1
	物理へのいざない	1後	2	○								兼11 オムニバス
	応用化学～千夜一夜～	1前	2	○								兼13 オムニバス
	生活の中の高分子	1前	2	○								兼13 オムニバス
	基礎分子遺伝学の世界	1後	2	○								兼2 オムニバス
	バイオリソースと生命科学	1後	2	○								兼2 オムニバス
	生態学入門	1後	2	○								兼1
	地域から学ぶ地球	1前	2	○								兼1

〔自然科学群〕	教養としての物質科学	1後	2	○											兼1	
	ニューバイオテクノロジー入門	1後	2	○											兼5	オムニバス
	動物と私たちの暮らし	1前	2	○											兼8	オムニバス
	動物生命科学	1後	2	○											兼7	オムニバス
	食と植物の文化論	1後	2	○											兼4	オムニバス
	応用生物学への招待	1前	2	○											兼14	オムニバス
	食と微生物	1後	2	○											兼9	オムニバス
	ネットワーク社会における情報科学	1前・後	2	○											兼1	
	統計学の基礎	1前・後	2	○											兼1	
	検索の科学	1前・後	2	○											兼1	
	情報学入門 (コンピュータの構成、アルゴリズム)	1前	2	○											兼2	オムニバス
	情報学入門 (プログラミング、ネットワーク)	1後	2	○											兼2	オムニバス
	統計学入門	1前	2	○											兼1	
	ベイズ統計学入門	1後	2	○											兼1	
	脳の不思議を探る (認知神経科学入門)	1前	2	○											兼1	
	脳の不思議をもっと探る (認知神経科学入門)	1後	2	○											兼1	
	宇宙から原子への旅	1前	2	○											兼10	オムニバス
	国際看護学 I	1前	2	○											兼1	
	国際技術論	1前	2	○											兼1	
	科学技術政策と研究開発	1後	2	○											兼1	
健康管理と生活習慣【佐久大学開講】	1後	2	○											兼1		
体育・スポーツ群																※当科学群または「自然科学群」から2単位選択必修
	ソフトボール	1前	1	○											兼1	
	テニス	1前	1	○											兼1	
	アダブテッドスポーツ	1後	1	○											兼1	
	弓道	1前	1	○											兼1	
	コーディネーションエクササイズ	1前	1	○											兼1	
	剣道形の世界	1前	1	○											兼1	
	パドミントン	1前	1	○											兼2	
	サッカー	1前・後	1	○											兼1	
	バレーボール	1前	1	○											兼1	
	フライングディスク	1前	1	○											兼1	
	トレッキング	1前	1	○											兼5	集中
	ゴルフ	1前	1	○											兼2	集中
	スポーツフィッシング	1前	1	○											兼1	集中
	マリンスポーツ	1前	1	○											兼1	集中
	信大マラソン	1前	1	○											兼1	集中
	アウトドアの達人	1前	1	○											兼2	集中
	サバイバル活動	1前	1	○											兼1	集中
	スクーバダイビング	1後	1	○											兼2	集中
	レジャースポーツ	1前	1	○											兼1	集中
	スポーツボウリング	1後	1	○											兼1	
	ニュースポーツ	1後	1	○											兼1	集中
	アスレティックトレーニング	1後	1	○											兼1	
	バスケットボール	1後	1	○											兼1	
	ネイチャースキー	1後	1	○											兼2	集中
	スノー・スポーツ	1後	1	○											兼12	集中
アウトドアマスター I	2前	1	○											兼1	集中	
アウトドアマスター II	2前	1	○											兼4	集中	
ゴルフマスター I	2前	1	○											兼1	集中	
ゴルフマスター II	2前	1	○											兼1	集中	
小計 (296科目)	296	—	0	563	0	—	7	8	2	0	0	兼345	—			
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I (上級)	1前	1	○											兼11	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I (中級)	1前	1	○											兼17	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I (初級)	1前	1	○											兼14	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I	1前・後	1	○											兼3	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II (上級)	1後	1	○											兼11	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II (中級)	1後	1	○											兼15	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II (初級)	1後	1	○											兼14	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II	1後	1	○											兼1	
	コミュニケーション・イングリッシュ I (上級)	1前	1	○											兼6	
	コミュニケーション・イングリッシュ I (中級)	1前	1	○											兼5	
	コミュニケーション・イングリッシュ I (初級)	1前	1	○											兼4	
コミュニケーション・イングリッシュ II (上級)	1後	1	○											兼5		

基礎科目

外国語科目

英語	コミュニケーション・イングリッシュⅡ (中級)	1後	1				○					兼5
	コミュニケーション・イングリッシュⅡ (初級)	1後	1				○					兼4
	リスニング&リーディングⅠ (上級)	1前	1				○					兼6
	リスニング&リーディングⅠ (中級)	1前	1				○					兼5
	リスニング&リーディングⅠ (初級)	1前	1				○					兼9
	リスニング&リーディングⅠ	1前	1				○					兼1
	リスニング&リーディングⅡ (上級)	1後	1				○					兼5
	リスニング&リーディングⅡ (中級)	1後	1				○					兼5
	リスニング&リーディングⅡ (初級)	1後	1				○					兼9
	リスニング&リーディングⅡ	1後	1				○					兼1
	リーディング・プラスⅠ	1前	1				○					兼1
	リーディング・プラスⅡ	1後	1				○					兼1
	アカデミック・イングリッシュⅠ (上級)	2前	2			○						兼8
	アカデミック・イングリッシュⅠ (中級)	2前	2			○						兼19
	アカデミック・イングリッシュⅠ (初級)	2前	2			○						兼14
	アカデミック・イングリッシュⅡ (上級)	2後	2			○						兼8
	アカデミック・イングリッシュⅡ (中級)	2後	2			○						兼20
	アカデミック・イングリッシュⅡ (初級)	2後	2			○						兼17
	ドイツ語	ドイツ語初級 (総合)Ⅰ	1前	1				○				
ドイツ語初級 (総合)Ⅱ		1後	1				○					兼2
ドイツ語初級 (文法)Ⅰ		1前	1				○					兼3
ドイツ語初級 (文法)Ⅱ		1前・後	1				○					兼3
ドイツ語初級 (読解・会話)Ⅰ		1前・後	1				○					兼2
ドイツ語初級 (読解・会話)Ⅱ		1後	1				○					兼2
ドイツ語中級 (読解)Ⅰ		2前	2			○						兼2
ドイツ語中級 (読解)Ⅱ		2後	2			○						兼1
ドイツ語中級 (会話)Ⅰ		2前	2			○						兼1
ドイツ語中級 (会話)Ⅱ		2後	2			○						兼1
ドイツ語演習Ⅰ	2前	2				○					兼2	
ドイツ語演習Ⅱ	2後	2				○					兼2	
フランス語	フランス語初級 (総合)Ⅰ	1前	1				○					兼1
	フランス語初級 (総合)Ⅱ	1後	1				○					兼1
	フランス語初級 (文法)Ⅰ	1前	1				○					兼1
	フランス語初級 (文法)Ⅱ	1後	1				○					兼1
	フランス語初級 (読解・会話)Ⅰ	1前	1				○					兼2
	フランス語初級 (読解・会話)Ⅱ	1後	1				○					兼2
	フランス語中級 (読解・会話)Ⅰ	2前	2			○						兼1
	フランス語中級 (読解・会話)Ⅱ	2後	2			○						兼1
	フランス語演習Ⅰ	2前	2				○					兼1
フランス語演習Ⅱ	2後	2				○					兼1	
中国語	中国語初級 (総合)Ⅰ	1前	1				○					兼1
	中国語初級 (総合)Ⅱ	1後	1				○					兼1
	中国語初級 (文法)Ⅰ	1前	1				○					兼2
	中国語初級 (文法)Ⅱ	1後	1				○					兼2
	中国語初級 (読解・会話)Ⅰ	1前	1				○					兼4
	中国語初級 (読解・会話)Ⅱ	1後	1				○					兼4
	中国語演習Ⅰ	2前	2			○						兼2
	中国語演習Ⅱ	2後	2			○						兼2
ハンガール	ハンガール初級 (総合)Ⅰ	1前	1				○					兼1
	ハンガール初級 (総合)Ⅱ	1後	1				○					兼1
	ハンガール初級 (文法)Ⅰ	1前	1				○					兼1
	ハンガール初級 (文法)Ⅱ	1後	1				○					兼1
	ハンガール初級 (読解・会話)Ⅰ	1前	1				○					兼1
	ハンガール初級 (読解・会話)Ⅱ	1後	1				○					兼1
	ハンガール中級 (読解・会話)Ⅰ	2前	2			○						兼1
	ハンガール中級 (読解・会話)Ⅱ	2後	2			○						兼1
	ハンガール中級Ⅰ	2前	2				○					兼1
	ハンガール中級Ⅱ	2後	2				○					兼1
	ハンガール演習Ⅰ	2前	2				○					兼1
	ハンガール演習Ⅱ	2後	2				○					兼1
スペイン	スペイン語初級 (総合)Ⅰ	1前	1				○					兼1
	スペイン語初級 (総合)Ⅱ	1後	1				○					兼1
	スペイン語初級 (文法)Ⅰ	1前	1				○					兼2
	スペイン語初級 (文法)Ⅱ	1前	1				○					兼2
	スペイン語初級 (読解・会話)Ⅰ	1後	1				○					兼1
	スペイン語初級 (読解・会話)Ⅱ	1後	1				○					兼1

	語	スペイン語中級（読解・会話）Ⅰ	2前		2			○								兼1		
		スペイン語中級（読解・会話）Ⅱ	2後		2			○								兼1		
		スペイン語演習Ⅰ	2前		2			○								兼1		
		スペイン語演習Ⅱ	2後		2			○								兼1		
		小計（82科目）	82	—	0	110	0	—		0	0	0	0	0	0	兼69	—	
	健康科学科目	健康科学・理論と実践	1前		1			○								兼3	※実技・ホムパス	
		小計（1科目）	1	—	1	0	0	—		0	0	0	0	0	0	兼3	—	
	新入生ゼミナール	新入生ゼミナールⅠ	1前		2			○		9	8	3				兼7		
		新入生ゼミナールⅡ	1後		2			○		9	8	3				兼4		
		小計（2科目）	2	—	4	0	0	—		9	8	3	0	0	0	兼11	—	
日本語・日本事情	日本語	読解（日本語）Ⅰ	1前		1				○							兼2	※外国人留学生のみ	
		読解（日本語）Ⅱ	1後		1				○							兼2		
		作文（日本語）Ⅰ	1前		1				○							兼2		
		作文（日本語）Ⅱ	1後		1				○							兼2		
		科学技術日本語Ⅰ	1前		1				○							兼1		
		科学技術日本語Ⅱ	1後		1				○							兼1		
		ビジネス・ジャパニーズⅠ	1前		1				○							兼1		
		ビジネス・ジャパニーズⅡ	1後		1				○							兼1		
		日本語表現・文型Ⅰ	1前		1				○							兼1		
		日本語表現・文型Ⅱ	1後		1				○							兼1		
	日本事情	聴解（日本語）Ⅰ	1前		1				○								兼2	
		聴解（日本語）Ⅱ	1後		1				○							兼2		
		口頭表現Ⅰ	1前		1				○							兼1		
		口頭表現Ⅱ	1後		1				○							兼1		
		日本社会と日本人Ⅰ	1前		2			○								兼1	※外国人留学生のみ	
		日本社会と日本人Ⅱ	1後		2			○								兼1		
		武道・伝統文化実習Ⅰ	1前		1				○							兼2		ホムパス
		武道・伝統文化実習Ⅱ	1後		1				○							兼2		ホムパス
		小計（18科目）	18	—	0	20	0	—		0	0	0	0	0	0	兼8	—	
経済学基礎科目	統計学Ⅰ	1後		2				○		1								
	統計学Ⅱ	2前		4				○		1								
	経済数学A	1前		2				○					1					
	経済数学B	1後		2				○					1					
	ミクロ経済学Ⅰ	2前		4				○		1								
	マクロ経済学Ⅰ	1後		4				○			1							
	ミクロ経済学Ⅱ	2・3後		2				○		1								
	マクロ経済学Ⅱ	2・3前		2				○			1							
	ゲーム理論入門	2後		2				○					1					
	環境経済学Ⅰ	2・3後		2				○					1					
	社会経済学	2・3後		4				○					1				隔年	
	経済史	2・3前		4				○					1				隔年	
	世界経済論	2・3後		2				○					1				隔年	
	経営学	2・3前		2				○					1					
	簿記・会計入門	2・3前		2				○					1					
	情報処理A	2・3前・後		2				○		1								
	情報処理B	2・3前・後		2				○		1								
	国際金融	2・3後		2				○		1							隔年	
	財政学	2・3後		4				○		1								
	国際経済学	2・3後		2				○		1							隔年	
	金融論A	2・3前		2				○		1								
	金融論B	2・3後		2				○				1						
	産業組織	2・3前		4				○					1					
	アジア経済論	2・3前		2				○		1								
	現代産業論	2・3前		2				○		3							共同	
	現代職業論	2・3前		2				○		1								
	経営者と企業	2・3後		2				○		1	2						共同	
英語文献研究	2・3前・後		2				○		1	2								
現代史基礎	2・3前		2				○									兼1		
現代世界史基礎	2・3前		2				○									兼1		
		小計（30科目）	30	—	20	54	0	—		8	5	2	1	0	0	兼1	—	
	法と経済学Ⅰ	3・4前		2				○		1								
	独占禁止法の経済学	3・4後		2				○					1					
	環境経済学Ⅱ	3・4前		2				○					1					
	経営組織論	3・4前		2				○					1					
	財務会計	3・4前		2				○					1					



法学系 選択科目	契約法Ⅲ	3・4前	2		○										兼1		
	不法行為法	3・4後	2		○										兼1		
	担保法	3・4後	2		○										兼1		
	民事執行・保全法	3・4後	2		○										兼1		
	刑法Ⅰ	3・4後	4		○										兼1		
	刑法Ⅱ	3・4前	2		○						1				兼1		
	市民税法	3・4前	2		○										兼2		
	法人税法	3・4後	2		○										兼1		
	租税法実務	3・4後	2		○					1					兼2	共同	
	知的財産法基礎	3・4後	2		○										兼1		
	知的財産法Ⅰ	3・4前	2		○										兼1		
	知的財産法Ⅱ	3・4後	2		○										兼1		
	危機管理法務	3・4後	2		○										兼1		
	行政実務	3・4前	2		○										兼1		
	現代法務	3・4後	2		○										兼8	オムニバス	
	情報通信技術の発展と法制度	3・4前	2		○										兼1		
	小計(22科目)	22	—	0	48	0	—			1	0	0	1	0	兼17	—	
	キャリア ンア トデ ベロ ップ メ 科目	ボランティア	2・3・4前・後	2				○		1						兼1	共同
		インターンシップ	2・3・4前・後	2				○		1						兼1	共同
Global Political Economy		2・3・4前	2				○								兼1		
Global Business		2・3・4後	2				○								兼1		
American Law and Society		2・3・4前	2				○								兼1	集中	
海外短期演習		2・3・4後	4				○								兼1	※実習・集中	
社会科学のための基礎力演習		2通	4				○					1					
小計(7科目)	7	—	0	18	0	—			1	0	0	1	0	兼2	—		
合計(519科目)		—	35	943	0	—			9	8	3	2	0	兼420	—		
学位又は称号	学士(経済学)	学位又は学科の分野	経済学関係														
卒業要件	及び履修方法										授業期間等						
1. 共通教育科目 37単位以上 (1) 教養科目 24単位以上 ① 教養ゼミナール群 2単位以上 ② 環境科学群 2単位以上 ③ 人文科学群 2単位以上 ④ 社会科学群 2単位以上 ⑤ 自然科学群または体育・スポーツ群 2単位以上 (2) 外国語科目 8単位 英語または中国語 同一言語で8単位 (3) 健康科学科目 1単位 (4) 新入生ゼミナール科目 4単位 ※(2)の要件を超えて修得した外国語科目の単位については、4単位まで(1)の単位に算入することができる。 ※外国人留学生は、日本語・日本事情科目のうち「日本語」4単位が必修。「日本語」4単位は(2)の単位に算入することができる。また、(2)に算入した単位を超える日本語・日本事情科目の単位数は、(1)の単位に算入することができる。																	
2. 専門科目 90単位以上 (1) 経済学基礎科目 必修科目 20単位 選択科目 22単位以上 (2) 企業と制度の経済分析コース専門科目Ⅰ 必修科目 10単位 選択科目 18単位以上 (3) 実践教育科目 2単位以上																	
3. 履修科目の登録の上限 ① 共通教育科目は1学期あたり24単位 ② 共通教育科目と専門科目を合わせて、年間44単位																	
										1 学年の学期区分			2 期				
										1 学期の授業期間			1 5 週				
										1 時限の授業時間			9 0 分				





別記様式第2号（その2の1）

基礎となる学部 教育課程等の概要															
(経法学部総合法律学科 環境法務コース)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養ゼミナール群	技術とエネルギーの入門ゼミ	1後		2				○						兼4	※2単位選択必修 オムニバス
	生態資源論ゼミ	1前・後		2				○						兼1	
	地球白書ゼミ	1前・後		2				○						兼1	
	環境マインドを現場で体験するゼミ	1前		2				○						兼3	集中
	土壌学ゼミ	1前		2				○						兼1	
	植物生態学ゼミ	1前		2				○						兼1	
	環境マインドを現場で体験するゼミ（熱帯雨林）	1後		2				○						兼1	集中
	芸術教養美術ゼミ	1前・後		2				○						兼1	
	芸術教養音楽ゼミ	1後		2				○						兼7	オムニバス
	「時」について考えるゼミ	1後		2				○						兼1	
	アジアの中の日本ゼミⅠ	1前		2				○						兼1	
	アジアの中の日本ゼミⅡ	1後		2				○						兼1	
	原書で読むシャーロック・ホームズゼミ	1後		2				○						兼1	
	現代ドイツの言語と日常ゼミ	1前		2				○						兼1	
	現代ドイツ事情ゼミ	1後		2				○						兼1	
	異文化研究ゼミ	1後		2				○						兼1	
	感覚で攻める英文法ゼミ～覚える英文法から感じる英文法へ	1前・後		2				○						兼1	
	日本近現代史入門ゼミ	1後		2				○						兼1	
	西洋古典語の世界ゼミ	1後		2				○						兼1	
	古文書で学ぶ近世ゼミ	1前		2				○						兼1	
	比較哲学入門ゼミ	1後		2				○						兼1	
	フィールドワーク入門ゼミ	1前		2				○						兼1	
	日中比較文学ゼミ	1後		2				○						兼1	
	発信のためのやさしい英作文練習ゼミ	1前		2				○						兼1	
	中国古典小説ゼミ	1後		2				○						兼1	
	法言語学(司法制度とことば)ゼミ	1後		2				○						兼1	
	翻訳入門ゼミ	1後		2				○						兼1	
	シェイクスピアを読むゼミ	1後		2				○						兼1	
	異文化コミュニケーション(海外留学)ゼミ	1前・後		2				○						兼1	
	外国語教育を考えるゼミ	1後		2				○						兼1	
	ことばについて考えるゼミ	1後		2				○						兼1	
	中国思想の古典で学ぶゼミ	1前		2				○						兼1	
	変体仮名入門ゼミ	1前		2				○						兼1	
	フランス文学ゼミ	1前		2				○						兼1	
	英語資格試験対策ゼミ	1前		2				○						兼1	
	シルシル信知るゼミ	1前		2				○						兼2	集中・オムニバス
	もっと知りたい韓国ゼミ	1前		2				○						兼1	
	スポーツ・ホスピタリティゼミ 秋冬編(松本山雅FC連携ゼミ)	1後		2				○						兼1	
	スポーツ・ホスピタリティゼミ 春夏編(松本山雅FC連携ゼミ)	1前		2				○						兼1	
	スポーツ観戦文化論ゼミ	1前・後		2				○						兼1	
	テレビのメディアリテラシー(テレビ信州参与ゼミ)	1前		2				○						兼1	
	大学改革への学生参加ゼミ	1後		2				○						兼1	
	「考える」ゼミ	1前・後		2				○						兼1	
	しょうがいスポーツゼミ	1前		2				○						兼3	オムニバス
	心理学思考法ゼミ	1前		2				○						兼1	
身体心理学ゼミ	1後		2				○						兼1		
環境心理学ゼミ	1前		2				○						兼1		
経済学の視点で考える企業行動ゼミ 基礎編	1前		2				○						兼1		
経済学の視点で考える企業行動ゼミ 応用編	1後		2				○						兼1		
社会科学文献講読ゼミⅠ	1後		2				○			1					
社会科学文献講読ゼミⅡ	1後		2				○			1					
地域ブランド実践ゼミ	1後		2				○						兼3	オムニバス	
社会科学の方法ゼミ	1後		2				○			1					
社会格差を考えるゼミ：勝者と敗者の本当の姿	1後		2				○						兼1		
質問紙調査入門ゼミ	1後		2				○						兼1		

	キャリアデザイン実践ゼミ	1後	2									兼3	
	化学計算入門ゼミ	1前・後	2									兼1	
	大学を知るゼミ	1後	2									兼1	
	ロボティクス入門ゼミ	1前・後	2									兼1	
	自然誌・博物学ゼミ	1前	2									兼3	オムニバス
	ものづくり入門ゼミ	1後	2									兼2	オムニバス
	文系学生のための野外地質学ゼミ	1前	2									兼3	集中
	利己的遺伝子説から生物像を描くゼミ	1後	2									兼1	
	統計図解ゼミ	1後	2									兼1	
	アナログ再発見ゼミ	1前・後	2									兼1	
	情報社会論ゼミ	1前・後	2									兼1	
	Web制作ゼミ	1前・後	2									兼1	
	新聞で広げる社会の見方ゼミ (信濃毎日新聞社寄付講義)	1後	2									兼1	
	ネットワーク時代の古典を原著で読むゼミ	1後	2									兼1	
	人工知能を知ろうゼミ	1前・後	2									兼1	
	大学生基礎力ゼミ	1前・後	2									兼14	
	新聞をつくろう! (MGプレス制作ゼミ)	1前	2									兼1	
	スポーツ活動論ゼミ I	1前	2									兼1	
	スポーツ活動論ゼミ II	1後	2									兼1	集中
	ドイツ環境ゼミ	1後	2									兼1	集中
	自然活動論ゼミ	1前	2									兼1	
	自然と人間を考えるゼミ	1後	2									兼1	
	臨床検査を体験するゼミ	1後	2									兼11	オムニバス
	体と心のリハビリテーションを考えるゼミ	1前	2									兼11	オムニバス
	身体運動科学ゼミ	1前	2									兼1	
	課題解決実践ゼミ	1後	2									兼3	オムニバス
	科学リテラシー入門ゼミ	1後	2									兼1	
	経済数学ゼミ I	1前	2									兼1	
	経済数学ゼミ II	1後	2									兼1	
	民法入門ゼミ	1後	2					1					
	税法入門ゼミ	1後	2							1			
	リアル・プロジェクトマネジメントゼミ	1後	2									兼3	集中
	国際関係論ゼミ	1後	2									兼1	
	物理学入門ゼミ	1前	2									兼1	
	幾何学入門ゼミ	1前	2									兼1	
	素朴な集合論ゼミ	1前	2									兼1	
	イノベーション・リテラシーゼミ	1前	2									兼3	集中
													※2単位選択必修
環境科学群	環境社会学入門	1前・後	2									兼1	
	熱帯雨林と社会	1前・後	2									兼1	
	Low Energy Building (省エネルギー住宅)	1後	2									兼1	
	ライフサイクルアセスメント入門	1前・後	2									兼1	
	環境と生活とのかかわり	1前・後	2									兼1	
	環境問題のしくみ	1前	2									兼1	
	環境科学入門	1前	2									兼1	
	グリーンテクノロジー	1前	2									兼9	オムニバス
	環境配慮素材と自然エネルギー	1前	2									兼4	オムニバス
	エコ水車の開発と地域バイオマス利用	1前	2									兼3	集中・オムニバス
	地球環境の歴史	1前	2									兼1	
	循環型社会入門	1前	2									兼1	
	環境とエネルギー	1後	2									兼1	
	環境エネルギー政策論	1後	2									兼1	
	ネイチャーライティングのすすめ (環境文学 I)	1前	2									兼1	
	環境文学のすすめ (環境文学 II)	1後	2									兼1	
	自然環境と文化	1後	2									兼1	
	環境法入門	1後	2									兼1	
	材料の科学と技術 (基礎編)	1前	2									兼13	オムニバス
	材料の科学と技術 (先端編)	1後	2									兼12	オムニバス
生物と環境	1後	2									兼1		
自然災害と環境	1前	2									兼2	オムニバス	
ナノテクと環境	1後	2									兼1		
人とすまい	1前	2									兼6		
水の環境科学	1後	2									兼1		
森林サイエンス	1前	2									兼13	オムニバス	
農山村と環境	1前	2									兼10	オムニバス	
環境と緑の文化	1後	2									兼3	オムニバス	

	農環境保全学	1後	2	○								兼4	オムニバス
	森林・環境共生学概論	1後	2	○								兼2	オムニバス
	環境と生命の基礎化学	1後	2	○								兼1	
													※2単位選択必修
教養科目	映像・人類学	1前	2	○								兼1	
	Top Level English (トップレベルイングリッシュ)	1前・後	2	○								兼3	
	「田園環境健康都市須坂」を「共創」(須坂市寄付講義)	1後	2	○								兼1	
	映画史入門	1前	2	○								兼1	
	身体表現レクチャー&ワークショップ	1前	2	○								兼1	
	絶対王政期フランスの制度と社会	1前	2	○								兼1	
	モノの世界史	1前	2	○								兼1	
	世界の音楽	1前	2	○								兼1	
	方言からみた日本語	1後	2	○								兼1	
	江戸時代の本屋さん和本	1前	2	○								兼1	
	英語基礎Ⅰ(たてなおしの英語Ⅰ)	1前	2	○								兼1	
	英語基礎Ⅱ(たてなおしの英語Ⅱ)	1後	2	○								兼1	
	自己発見の方法	1後	2	○								兼1	
	日本古典文学入門	1前	2	○								兼1	
	中国古典小説	1前	2	○								兼1	
	生と死の哲学～哲学から宗教へ～	1前	2	○								兼1	
	文学と美術を歴史学で読み解く～日本古代史入門～	1前	2	○								兼1	
	山国信州の風土と暮らし(風土の中の衣食住)	1前	2	○								兼1	
	日本の屋根・信州の風土と暮らし	1後	2	○								兼1	
	モバイルデバイスで習うE-TOEICコース	1前・後	2	○								兼1	
	中世英語文献学入門	1後	2	○								兼1	
	「右肩下がり」の時代を生き抜くための倫理学	1前	2	○								兼1	
	言語哲学入門	1後	2	○								兼1	
	「優れた言語学習者」から考える日本語教育学	1後	2	○								兼1	
	恋愛小説を読むー比較文学への招待ー	1後	2	○								兼1	
	フランス文学概論	1前	2	○								兼1	
	日本文学概論	1後	2	○								兼1	
	映像で見て読んで考えるアメリカ	1後	2	○								兼1	
	時に挑む科学と文学	1後	2	○								兼1	
	アフリカ社会論	1前	2	○								兼1	
	韓国の文化(食文化)	1前	2	○								兼1	
	韓国の文化(映画で学ぶ)	1前	2	○								兼1	
	韓国の文化(若者の世界)	1後	2	○								兼1	
	韓国の文化(メディア)	1後	2	○								兼1	
	ドイツ語圏の文化Ⅰ	1前	2	○								兼2	オムニバス
	ドイツ語圏の文化Ⅱ	1後	2	○								兼2	オムニバス
アフリカ文化論	1前	2	○								兼1		
中国の文化(現代中国事情①)	1前	2	○								兼1		
中国の文化(現代中国事情②)	1後	2	○								兼1		
ロシアの文化(風土と歴史)	1前	2	○								兼1		
スペイン語圏の文化(ラテンアメリカ)	1後	2	○								兼1		
ドイツ語圏の文化Ⅲ	1前	2	○								兼1		
ドイツ語圏の文化Ⅳ	1後	2	○								兼1		
欧米文化(映画で見る未来像)	1前	2	○								兼1		
フランス語圏の文化	1後	2	○								兼1		
スペイン語圏の文化(スペイン)	1前	2	○								兼1		
科学論	1後	2	○								兼5	オムニバス	
囲碁で養う考える力	1前	2	○								兼1	集中	
明日を生きるための心理学 リスク社会と防災を学ぶ	1前	2	○								兼1		
													※2単位選択必修
	ベンチャービジネス概論	1前	2	○								兼3	オムニバス
	キャリアとしての公務員	1後	2	○								兼1	
	スポーツ考現学	1前・後	2	○								兼1	
	スポーツ文化を考える	1後	2	○								兼1	
	国際理解と多文化共生を考えるⅠ	1前	2	○								兼1	
	国際理解と多文化共生を考えるⅡ	1後	2	○								兼1	
	国際教養A	1前・後	2	○								兼2	集中
	国際教養B	1前・後	2	○								兼2	集中
	臨床心理学	1前	2	○								兼1	
	大学生が会おう法律問題	1前	2	○			5	5	3			兼1	オムニバス
	世界経済の歩み	1後	2	○								兼1	



〔自然科学群〕	教養としての物質科学	1後	2	○										兼1	
	ニューバイオテクノロジー入門	1後	2	○										兼5	オムニバス
	動物と私たちの暮らし	1前	2	○										兼8	オムニバス
	動物生命科学	1後	2	○										兼7	オムニバス
	食と植物の文化論	1後	2	○										兼4	オムニバス
	応用生物学への招待	1前	2	○										兼14	オムニバス
	食と微生物	1後	2	○										兼9	オムニバス
	ネットワーク社会における情報科学	1前・後	2	○										兼1	
	統計学の基礎	1前・後	2	○										兼1	
	検索の科学	1前・後	2	○										兼1	
	情報学入門 (コンピュータの構成、アルゴリズム)	1前	2	○										兼2	オムニバス
	情報学入門 (プログラミング、ネットワーク)	1後	2	○										兼2	オムニバス
	統計学入門	1前	2	○										兼1	
	ベイズ統計学入門	1後	2	○										兼1	
	脳の不思議を探る (認知神経科学入門)	1前	2	○										兼1	
	脳の不思議をもっと探る (認知神経科学入門)	1後	2	○										兼1	
	宇宙から原子への旅	1前	2	○										兼10	オムニバス
	国際看護学 I	1前	2	○										兼1	
	国際技術論	1前	2	○										兼1	
	科学技術政策と研究開発	1後	2	○										兼1	
健康管理と生活習慣【佐久大学開講】	1後	2	○										兼1		
体育・スポーツ群															※当科学群または「自然科学群」から2単位選択必修
	ソフトボール	1前	1				○							兼1	
	テニス	1前	1				○							兼1	
	アダブテッドスポーツ	1後	1				○							兼1	
	弓道	1前	1				○							兼1	
	コーディネーションエクササイズ	1前	1				○							兼1	
	剣道形の世界	1前	1				○							兼1	
	パドミントン	1前	1				○							兼2	
	サッカー	1前・後	1				○							兼1	
	バレーボール	1前	1				○							兼1	
	フライングディスク	1前	1				○							兼1	
	トレッキング	1前	1				○							兼5	集中
	ゴルフ	1前	1				○							兼2	集中
	スポーツフィッシング	1前	1				○							兼1	集中
	マリンスポーツ	1前	1				○							兼1	集中
	信大マラソン	1前	1				○							兼1	集中
	アウトドアの達人	1前	1				○		1					兼1	集中
	サバイバル活動	1前	1				○		1					兼1	集中
	スクーバダイビング	1後	1				○		1					兼1	集中
	レジャースポーツ	1前	1				○		1					兼1	集中
	スポーツボウリング	1後	1				○							兼1	
	ニュースポーツ	1後	1				○							兼1	集中
	アスレティックトレーニング	1後	1				○							兼1	
	バスケットボール	1後	1				○							兼1	
	ネイチャースキー	1後	1				○							兼2	集中
	スノー・スポーツ	1後	1				○							兼12	集中
アウトドアマスター I	2前	1				○							兼1	集中	
アウトドアマスター II	2前	1				○							兼4	集中	
ゴルフマスター I	2前	1				○							兼1	集中	
ゴルフマスター II	2前	1				○							兼1	集中	
小計 (296科目)	296	—	0	563	0	—		9	5	3	0	0	兼346	—	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I (上級)	1前	1				○							兼11	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I (中級)	1前	1				○							兼17	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I (初級)	1前	1				○							兼14	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I	1前・後	1				○							兼3	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II (上級)	1後	1				○							兼11	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II (中級)	1後	1				○							兼15	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II (初級)	1後	1				○							兼14	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II	1後	1				○							兼1	
	コミュニケーション・イングリッシュ I (上級)	1前	1				○							兼6	
	コミュニケーション・イングリッシュ I (中級)	1前	1				○							兼5	
	コミュニケーション・イングリッシュ I (初級)	1前	1				○							兼4	
コミュニケーション・イングリッシュ II (上級)	1後	1				○							兼5		

英語	コミュニケーション・イングリッシュⅡ (中級)	1後	1					○								兼5
	コミュニケーション・イングリッシュⅡ (初級)	1後	1					○								兼4
	リスニング&リーディングⅠ (上級)	1前	1					○								兼6
	リスニング&リーディングⅠ (中級)	1前	1					○								兼5
	リスニング&リーディングⅠ (初級)	1前	1					○								兼9
	リスニング&リーディングⅠ	1前	1					○								兼1
	リスニング&リーディングⅡ (上級)	1後	1					○								兼5
	リスニング&リーディングⅡ (中級)	1後	1					○								兼5
	リスニング&リーディングⅡ (初級)	1後	1					○								兼9
	リスニング&リーディングⅡ	1後	1					○								兼1
	リーディング・プラスⅠ	1前	1					○								兼1
	リーディング・プラスⅡ	1後	1					○								兼1
	アカデミック・イングリッシュⅠ (上級)	2前	2				○									兼8
	アカデミック・イングリッシュⅠ (中級)	2前	2				○									兼19
	アカデミック・イングリッシュⅠ (初級)	2前	2				○									兼14
	アカデミック・イングリッシュⅡ (上級)	2後	2				○									兼8
	アカデミック・イングリッシュⅡ (中級)	2後	2				○									兼20
	アカデミック・イングリッシュⅡ (初級)	2後	2				○									兼17
	ドイツ語	ドイツ語初級 (総合) Ⅰ	1前	1					○							
ドイツ語初級 (総合) Ⅱ		1後	1					○								兼2
ドイツ語初級 (文法) Ⅰ		1前	1					○								兼3
ドイツ語初級 (文法) Ⅱ		1前・後	1					○								兼3
ドイツ語初級 (読解・会話) Ⅰ		1前・後	1					○								兼2
ドイツ語初級 (読解・会話) Ⅱ		1後	1					○								兼2
ドイツ語中級 (読解) Ⅰ		2前	2				○									兼2
ドイツ語中級 (読解) Ⅱ		2後	2				○									兼1
ドイツ語中級 (会話) Ⅰ		2前	2				○									兼1
ドイツ語中級 (会話) Ⅱ		2後	2				○									兼1
ドイツ語演習Ⅰ		2前	2				○									兼2
ドイツ語演習Ⅱ	2後	2				○									兼2	
フランス語	フランス語初級 (総合) Ⅰ	1前	1					○								兼1
	フランス語初級 (総合) Ⅱ	1後	1					○								兼1
	フランス語初級 (文法) Ⅰ	1前	1					○								兼1
	フランス語初級 (文法) Ⅱ	1後	1					○								兼1
	フランス語初級 (読解・会話) Ⅰ	1前	1					○								兼2
	フランス語初級 (読解・会話) Ⅱ	1後	1					○								兼2
	フランス語中級 (読解・会話) Ⅰ	2前	2				○									兼1
	フランス語中級 (読解・会話) Ⅱ	2後	2				○									兼1
	フランス語演習Ⅰ	2前	2				○									兼1
フランス語演習Ⅱ	2後	2				○									兼1	
中国語	中国語初級 (総合) Ⅰ	1前	1					○								兼1
	中国語初級 (総合) Ⅱ	1後	1					○								兼1
	中国語初級 (文法) Ⅰ	1前	1					○								兼2
	中国語初級 (文法) Ⅱ	1後	1					○								兼2
	中国語初級 (読解・会話) Ⅰ	1前	1					○								兼4
	中国語初級 (読解・会話) Ⅱ	1後	1					○								兼4
	中国語演習Ⅰ	2前	2				○									兼2
	中国語演習Ⅱ	2後	2				○									兼2
ハンブル	ハンブル初級 (総合) Ⅰ	1前	1					○								兼1
	ハンブル初級 (総合) Ⅱ	1後	1					○								兼1
	ハンブル初級 (文法) Ⅰ	1前	1					○								兼1
	ハンブル初級 (文法) Ⅱ	1後	1					○								兼1
	ハンブル初級 (読解・会話) Ⅰ	1前	1					○								兼1
	ハンブル初級 (読解・会話) Ⅱ	1後	1					○								兼1
	ハンブル中級 (読解・会話) Ⅰ	2前	2				○									兼1
	ハンブル中級 (読解・会話) Ⅱ	2後	2				○									兼1
	ハンブル中級Ⅰ	2前	2				○									兼1
	ハンブル中級Ⅱ	2後	2				○									兼1
	ハンブル演習Ⅰ	2前	2				○									兼1
	ハンブル演習Ⅱ	2後	2				○									兼1
	スペイン	スペイン語初級 (総合) Ⅰ	1前	1					○							
スペイン語初級 (総合) Ⅱ		1後	1					○								兼1
スペイン語初級 (文法) Ⅰ		1前	1					○								兼2
スペイン語初級 (文法) Ⅱ		1前	1					○								兼2
スペイン語初級 (読解・会話) Ⅰ		1後	1					○								兼1
スペイン語初級 (読解・会話) Ⅱ		1後	1					○								兼1

	語	スペイン語中級（読解・会話）Ⅰ	2前	2			○								兼1		
		スペイン語中級（読解・会話）Ⅱ	2後	2			○								兼1		
		スペイン語演習Ⅰ	2前	2			○								兼1		
		スペイン語演習Ⅱ	2後	2			○								兼1		
		小計（82科目）	82	—	0	110	0	—		0	0	0	0	0	兼69	—	
健康科学科目	健康科学・理論と実践	健康科学・理論と実践	1前	1			○								兼3	※実技・ホムバス	
		小計（1科目）	1	—	1	0	0	—		0	0	0	0	0	兼3	—	
		新入生ゼミナールⅠ	1前	2				○		5		3			兼20		
		新入生ゼミナールⅡ	1後	2				○	1	3				兼20			
		小計（2科目）	2	—	4	0	0	—	6	3	3	0	0	兼20	—		
日本語・日本事情	日本語・日本事情科目	読解（日本語）Ⅰ	1前	1				○							兼2	※外国人留学生のみ	
		読解（日本語）Ⅱ	1後	1				○							兼2		
		作文（日本語）Ⅰ	1前	1				○							兼2		
		作文（日本語）Ⅱ	1後	1				○							兼2		
		科学技術日本語Ⅰ	1前	1				○							兼1		
		科学技術日本語Ⅱ	1後	1				○							兼1		
		ビジネス・ジャパニーズⅠ	1前	1				○							兼1		
		ビジネス・ジャパニーズⅡ	1後	1				○							兼1		
		日本語表現・文型Ⅰ	1前	1				○							兼1		
		日本語表現・文型Ⅱ	1後	1				○							兼1		
		聴解（日本語）Ⅰ	1前	1				○							兼2		
		聴解（日本語）Ⅱ	1後	1				○							兼2		
		口頭表現Ⅰ	1前	1				○							兼1		
		口頭表現Ⅱ	1後	1				○							兼1		
		日本社会と日本人Ⅰ	1前	2				○							兼1		※外国人留学生のみ
		日本社会と日本人Ⅱ	1後	2				○							兼1		
		武道・伝統文化実習Ⅰ	1前	1					○						兼2		ホムバス
		武道・伝統文化実習Ⅱ	1後	1					○						兼2		ホムバス
		小計（18科目）	18	—	0	20	0	—	0	0	0	0	0	兼8	—		
法律基礎科目	法律基礎科目	憲法	2前	4			○			1							
		刑法Ⅰ	1後	4			○				1						
		刑法Ⅱ	2前	2			○					1				兼1	
		民法総則	1前	2			○			1							
		物権法	1後	2			○			1							
		契約法Ⅰ	2前	2			○				1						
		契約法Ⅱ	2後	2			○					1					
		契約法Ⅲ	3・4前	2			○					1					
		不法行為法	2後	2			○			1							
		会社法Ⅰ	2前	4			○					1					
		刑事訴訟法	2前	4			○			1							
		民事訴訟法	2・3前	4			○			1							
		民事執行・保全法	2・3・4後	2			○			1							
		行政法	2後	4			○				1						
		政治学基礎	2前	2			○			1							
		自然環境概論	2後	2			○									兼1	
		知的財産法基礎	2後	2			○									兼1	
		現代史基礎	2・3前	2			○									兼1	
		現代世界史基礎	2・3前	2			○									兼1	
		小計（19科目）	19	—	16	32	0	—	5	4	2	0	0	兼4	—		
環境法務科目	環境法務科目	環境法Ⅰ	2前	2			○			1							
		環境法Ⅱ	2後	2			○			1							
		水環境法	3・4後	2			○									兼1	
		国際環境法	3・4前	2			○									兼2	
		都市環境と行政法	3・4後	2			○				1						
		環境と刑法	3・4前	2			○			1							
		環境経済学Ⅰ	3・4後	2			○									兼1	
		環境経済学Ⅱ	3・4前	2			○									兼1	
		環境テクノロジー	3・4前	2			○									兼1	
		環境理学概論	3・4前	2			○									兼1	
		環境社会学概論	3・4後	2			○									兼1	
		環境教育概論	3・4通	2			○									兼1	
		環境農学概論	3・4後	2			○									兼1	
		環境と憲法訴訟	3・4後	2			○				1						
自然環境フィールドワークの理論と実践	3・4後	2			○				1								
国際政治	3・4後	4			○				1								



専 門 科 目	こ ー ス 専 門 科 目	小計 (16科目)	16	—	8	26	0	—	5	1	0	0	0	兼9	—		
		労働法	3・4前	4	○				1								
		企業取引法	3・4後	2	○						1						
		会社法Ⅱ	3・4後	2	○							1					
		担保法	3・4後	2	○					1							
		親族・相続法	3・4前	2	○				1								
		倒産法	3・4前	2	○				1								
		簿記・会計入門	3・4前	2	○										兼1		
		管理会計	3・4後	2	○										兼1		
		経営学	3・4前	2	○										兼1		
		法人税法	3・4後	2	○							1					
		テクノロジー概論	3・4前	2	○										兼1		
		知的財産法Ⅰ	3・4前	2	○										兼1		
		知的財産法Ⅱ	3・4後	2	○										兼1		
		経済法	3・4後	2	○										兼1		
		危機管理法務	3・4後	2	○										兼1		
		小計 (15科目)	15	—	0	32	0	—	2	2	2	0	0	兼7	—		
		都 市 ・ 行 政 法 務 科 目	統治機構論	2前	2	○				1							
			行政救済法	3・4前	2	○					1						
			自治体法	3・4後	2	○					1						
			都市行政と刑法	3・4前	2	○				1							
			社会保障法	3・4後	2	○					1						
			行政学概論	2後	2	○				1							
			自治行政	2前	2	○				1							
			都市テクノロジー	3・4前	2	○										兼1	
			統計学Ⅰ	3・4後	2	○										兼1	
			都市政策論	3・4後	2	○										兼1	
ミクロ経済学Ⅰ	3・4前		4	○										兼1			
マクロ経済学Ⅰ	3・4後		4	○										兼1			
計量経済学	3・4後		2	○										兼1			
市民税法	3・4前	2	○										兼2				
小計 (14科目)	14	—	0	32	0	—	3	2	0	0	0	兼8	—				
実 務 講 義 科 目	行政実務	2前	2	○					1								
	現代法務	2後	2	○				2	5	1				オムニバス 共同			
	租税法実務	3・4後	2	○				1		1				兼1			
	情報通信技術の発展と法制度	3・4前	2	○										兼1			
	小計 (4科目)	4	—	0	8	0	—	3	5	2	0	0	兼2	—			
実 務 系 科 目	行政法務実習	3・4通	2			○			1					※演習			
	環境法務実習	3・4通	2			○		1						※演習			
	税務実習	3・4通	2			○		1		1				兼1  ※演習・共同			
	労働法務実習	3・4通	2			○			1					※演習			
	契約法務実習	3・4通	2			○			2					※演習・共同			
	知財法務実習	3・4通	2			○								兼1  ※演習			
	裁判法務実習	3・4通	2			○		1						※演習			
	捜査法務実習	3・4通	2			○								兼1  ※演習			
	政策企画実習	3・4前	2			○								兼2  ※実習・共同			
	こども法務実習	4通	2			○		1	2	1				※演習・共同			
小計 (10科目)	9	—	0	20	0	—	3	5	2	0	0	兼4	—				
基 礎 演 習 科 目	基礎演習Ⅰ	2通	4			○		5	3	2							
	基礎演習Ⅱ	3通	4			○		5	3	2							
小計 (2科目)	2	—	4	4	0	—	5	3	2	0	0	0	—				
演 習 系 科 目	行政法演習	3・4後	2			○			1								
	刑事訴訟法演習Ⅰ	3・4前	2			○		1									
	刑事訴訟法演習Ⅱ	4前	2			○		1									
	民事訴訟法演習	3・4前	2			○		1									
	倒産法演習	3・4後	2			○		1									
	労働法演習	3・4前	2			○			1								
	社会保障法演習	3・4後	2			○			1								
	環境法演習Ⅰ	3・4前	2			○		1									
	環境法演習Ⅱ	3・4後	2			○		1									
	租税法演習	3・4前	2			○				1							
	国際政治演習	3・4後	2			○		1			1						
	行政学演習	3・4前	2			○		1									
	健康・スポーツ・自然演習Ⅰ	3・4前	2			○		1						※実習			
	健康・スポーツ・自然演習Ⅱ	3・4後	2			○		1						※実習			
総合法律学演習Ⅰ	3・4前	2			○		1										

	総合法律学演習Ⅱ	3・4後	2			○		1							
	小計 (16科目)	15	—	0	32	0	—	6	2	1	0	0	0	—	
論文科目	卒業論文	4通			6		○	10	5	3					
	小計 (1科目)	1	—	0	6	0	—	10	5	3	0	0	0	—	
経済系 選択科目	ミクロ経済学Ⅱ	3・4後	2			○								兼1	
	マクロ経済学Ⅱ	3・4前	2			○								兼1	
	ゲーム理論入門	3・4後	2			○								兼1	
	経営組織論	3・4前	2			○								兼1	
	財務会計	3・4前	2			○								兼1	
	公認会計士実務	3・4後	2			○								兼1	
	社会保障政策論	3・4前	2			○								兼1	隔年
	財政学	3・4後	4			○								兼1	
	地方財政	3・4後	2			○								兼1	
	経済史	3・4前	4			○								兼1	隔年
	経営労務論	3・4前	2			○								兼1	隔年
	独占禁止法の経済学	3・4後	2			○								兼1	
	法と経済学Ⅰ	3・4前	2			○								兼1	
	法と経済学Ⅱ	3・4後	2			○								兼1	隔年
	医療制度論	3・4前	2			○								兼1	
	社会政策論	3・4後	2			○								兼1	
	健康政策論	3・4前	2			○		1						兼4	隔年・ホニバス
	情報処理A	3・4前・後	2			○								兼1	
	情報処理B	3・4前・後	2			○								兼1	
	現代産業論	3・4前	2			○								兼3	共同
	現代職業論	3・4前	2			○								兼1	
	経営者と企業	3・4後	2			○								兼3	共同
	産業政策論	3・4前	4			○								兼1	
環境政策論	3・4後	2			○								兼1		
	小計 (24科目)	24	—	0	54	0	—	1	0	0	0	0	0	兼16	—
キャリア シア トデ ロツ プ メ	ボランティア	2・3・4前・後	2				○	1						兼1	共同
	インターンシップ	2・3・4前・後	2				○	1						兼1	共同
	Global Political Economy	2・3・4前	2				○	1							
	Global Business	2・3・4後	2				○							兼1	
	American Law and Society	2・3・4前	2				○	1							集中
	海外短期演習	2・3・4後	4				○	1							※実習・集中
	社会科学のための基礎力演習	2通	4				○							兼1	
	小計 (7科目)	7	—	0	18	0	—	1	0	0	0	0	0	兼3	—
合計 (527科目)			—	33	957	0	—	10	5	3	0	0	0	兼424	—

学位又は称号	学士 (法学)	学位又は学科の分野	法学関係
卒業要件及び履修方法		授業期間等	
<p>1. 共通教育科目 37単位以上</p> <p>(1) 教養科目 24単位以上</p> <p>①教養ゼミナール群 2単位以上</p> <p>②環境科学群 2単位以上</p> <p>③人文科学群 2単位以上</p> <p>④社会科学群 2単位以上</p> <p>⑤自然科学群または体育・スポーツ群 2単位以上</p> <p>(2) 外国語科目 8単位</p> <p>英語または中国語 同一言語で8単位</p> <p>(3) 健康科学科目 1単位</p> <p>(4) 新入生ゼミナール科目 4単位</p> <p>※(2)の要件を超えて修得した外国語科目の単位については、4単位まで(1)の単位に算入することができる。</p> <p>※外国人留学生は、日本語・日本事情科目のうち「日本語」4単位が必修。「日本語」4単位は(2)の単位に算入することができる。また、(2)に算入した単位を超える日本語・日本事情科目の単位数は、(1)の単位に算入することができる。</p> <p>2. 専門科目 90単位以上</p> <p>(1) 法律基礎科目 36単位以上</p> <p>必修科目 16単位</p> <p>選択科目 20単位以上</p> <p>(2) コース専門科目 30単位以上</p> <p>環境法務科目 24単位以上 (うち必修8単位)</p> <p>(3) 実務系科目</p> <p>法務実習科目 2単位以上</p> <p>(4) 演習系科目 14単位以上 (うち必修4単位)</p> <p>3. 履修科目の登録の上限</p> <p>①共通教育科目は1学期あたり24単位</p> <p>②共通教育科目と専門科目を合わせて、年間44単位</p>		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週
		1時限の授業時間	90分

別記様式第2号（その2の1）

基礎となる学部 教育課程等の概要															
(経法学部総合法律学科 経済・企業法務コース)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
	技術とエネルギーの入門ゼミ	1後		2			○							兼4	※2単位選択必修 オムニバス
	生態資源論ゼミ	1前・後		2			○							兼1	
	地球白書ゼミ	1前・後		2			○							兼1	
	環境マインドを現場で体験するゼミ	1前		2			○							兼3	集中
	土壌学ゼミ	1前		2			○							兼1	
	植物生態学ゼミ	1前		2			○							兼1	
	環境マインドを現場で体験するゼミ (熱帯雨林)	1後		2			○							兼1	集中
	芸術教養美術ゼミ	1前・後		2			○							兼1	
	芸術教養音楽ゼミ	1後		2			○							兼7	オムニバス
	「時」について考えるゼミ	1後		2			○							兼1	
	アジアの中の日本ゼミⅠ	1前		2			○							兼1	
	アジアの中の日本ゼミⅡ	1後		2			○							兼1	
	原書で読むシャーロック・ホームズゼミ	1後		2			○							兼1	
	現代ドイツの言語と日常ゼミ	1前		2			○							兼1	
	現代ドイツ事情ゼミ	1後		2			○							兼1	
	異文化研究ゼミ	1後		2			○							兼1	
	感覚で攻める英文法ゼミ～覚える英文法から感じる英文法へ	1前・後		2			○							兼1	
	日本近現代史入門ゼミ	1後		2			○							兼1	
	西洋古典語の世界ゼミ	1後		2			○							兼1	
	古文書で学ぶ近世ゼミ	1前		2			○							兼1	
	比較哲学入門ゼミ	1後		2			○							兼1	
	フィールドワーク入門ゼミ	1前		2			○							兼1	
	日中比較文学ゼミ	1後		2			○							兼1	
	発信のためのやさしい英作文練習ゼミ	1前		2			○							兼1	
	中国古典小説ゼミ	1後		2			○							兼1	
	法言語学(司法制度とことば)ゼミ	1後		2			○							兼1	
	翻訳入門ゼミ	1後		2			○							兼1	
	シェイクスピアを読むゼミ	1後		2			○							兼1	
	異文化コミュニケーション(海外留学)ゼミ	1前・後		2			○							兼1	
	外国語教育を考えるゼミ	1後		2			○							兼1	
	ことばについて考えるゼミ	1後		2			○							兼1	
	中国思想の古典で学ぶゼミ	1前		2			○							兼1	
	変体仮名入門ゼミ	1前		2			○							兼1	
	フランス文学ゼミ	1前		2			○							兼1	
	英語資格試験対策ゼミ	1前		2			○							兼1	
	シルシル信知るゼミ	1前		2			○							兼2	集中・オムニバス
	もっと知りたい韓国ゼミ	1前		2			○							兼1	
	スポーツ・ホスピタリティゼミ 秋冬編(松本山雅FC連携ゼミ)	1後		2			○							兼1	
	スポーツ・ホスピタリティゼミ 春夏編(松本山雅FC連携ゼミ)	1前		2			○							兼1	
	スポーツ観戦文化論ゼミ	1前・後		2			○							兼1	
	テレビメディアリテラシー(テレビ信州参与ゼミ)	1前		2			○							兼1	
	大学改革への学生参加ゼミ	1後		2			○							兼1	
教養ゼミナール群	「考える」ゼミ	1前・後		2			○							兼1	
	しょうがいスポーツゼミ	1前		2			○							兼3	オムニバス
	心理学思考法ゼミ	1前		2			○							兼1	
	身体心理学ゼミ	1後		2			○							兼1	
	環境心理学ゼミ	1前		2			○							兼1	
	経済学の視点で考える企業行動ゼミ 基礎編	1前		2			○							兼1	
	経済学の視点で考える企業行動ゼミ 応用編	1後		2			○							兼1	
	社会科学文献講読ゼミⅠ	1後		2			○			1					
	社会科学文献講読ゼミⅡ	1後		2			○			1					
	地域ブランド実践ゼミ	1後		2			○							兼3	オムニバス
社会科学の方法ゼミ	1後		2			○			1						
社会格差を考えるゼミ：勝者と敗者の本当の姿	1後		2			○								兼1	
質問紙調査入門ゼミ	1後		2			○								兼1	

	キャリアデザイン実践ゼミ	1後	2								兼3	
	化学計算入門ゼミ	1前・後	2								兼1	
	大学を知るゼミ	1後	2								兼1	
	ロボティクス入門ゼミ	1前・後	2								兼1	
	自然誌・博物学ゼミ	1前	2								兼3	オムニバス
	ものづくり入門ゼミ	1後	2								兼2	オムニバス
	文系学生のための野外地質学ゼミ	1前	2								兼3	集中
	利己的遺伝子説から生物像を描くゼミ	1後	2								兼1	
	統計図解ゼミ	1後	2								兼1	
	アナログ再発見ゼミ	1前・後	2								兼1	
	情報社会論ゼミ	1前・後	2								兼1	
	Web制作ゼミ	1前・後	2								兼1	
	新聞で広げる社会の見方ゼミ (信濃毎日新聞社寄付講義)	1後	2								兼1	
	ネットワーク時代の古典を原著で読むゼミ	1後	2								兼1	
	人工知能を知ろうゼミ	1前・後	2								兼1	
	大学生基礎力ゼミ	1前・後	2								兼14	
	新聞をつくろう! (MGプレス制作ゼミ)	1前	2								兼1	
	スポーツ活動論ゼミ I	1前	2								兼1	
	スポーツ活動論ゼミ II	1後	2								兼1	集中
	ドイツ環境ゼミ	1後	2								兼1	集中
	自然活動論ゼミ	1前	2								兼1	
	自然と人間を考えるゼミ	1後	2								兼1	
	臨床検査を体験するゼミ	1後	2								兼11	オムニバス
	体と心のリハビリテーションを考えるゼミ	1前	2								兼11	オムニバス
	身体運動科学ゼミ	1前	2								兼1	
	課題解決実践ゼミ	1後	2								兼3	オムニバス
	科学リテラシー入門ゼミ	1後	2								兼1	
	経済数学ゼミ I	1前	2								兼1	
	経済数学ゼミ II	1後	2								兼1	
	民法入門ゼミ	1後	2				1					
	税法入門ゼミ	1後	2					1				
	リアル・プロジェクトマネジメントゼミ	1後	2								兼3	集中
	国際関係論ゼミ	1後	2								兼1	
	物理学入門ゼミ	1前	2								兼1	
	幾何学入門ゼミ	1前	2								兼1	
	素朴な集合論ゼミ	1前	2								兼1	
	イノベーション・リテラシーゼミ	1前	2								兼3	集中
												※2単位選択必修
環境科学群	環境社会学入門	1前・後	2								兼1	
	熱帯雨林と社会	1前・後	2								兼1	
	Low Energy Building (省エネルギー住宅)	1後	2								兼1	
	ライフサイクルアセスメント入門	1前・後	2								兼1	
	環境と生活とのかわり	1前・後	2								兼1	
	環境問題のしくみ	1前	2								兼1	
	環境科学入門	1前	2								兼1	
	グリーンテクノロジー	1前	2								兼9	オムニバス
	環境配慮素材と自然エネルギー	1前	2								兼4	オムニバス
	エコ水車の開発と地域バイオマス利用	1前	2								兼3	集中・オムニバス
	地球環境の歴史	1前	2								兼1	
	循環型社会入門	1前	2								兼1	
	環境とエネルギー	1後	2								兼1	
	環境エネルギー政策論	1後	2								兼1	
	ネイチャーライティングのすすめ (環境文学 I)	1前	2								兼1	
	環境文学のすすめ (環境文学 II)	1後	2								兼1	
	自然環境と文化	1後	2								兼1	
	環境法入門	1後	2								兼1	
材料の科学と技術 (基礎編)	1前	2								兼13	オムニバス	
材料の科学と技術 (先端編)	1後	2								兼12	オムニバス	
生物と環境	1後	2								兼1		
自然災害と環境	1前	2								兼2	オムニバス	
ナノテクと環境	1後	2								兼1		
人とすまい	1前	2								兼6		
水の環境科学	1後	2								兼1		
森林サイエンス	1前	2								兼13	オムニバス	
農山村と環境	1前	2								兼10	オムニバス	
環境と緑の文化	1後	2								兼3	オムニバス	

	農環境保全学	1後	2	○							兼4	オムニバス
	森林・環境共生学概論	1後	2	○							兼2	オムニバス
	環境と生命の基礎化学	1後	2	○							兼1	
												※2単位選択必修
教養科目	映像・人類学	1前	2	○							兼1	
	Top Level English (トップレベルイングリッシュ)	1前・後	2	○							兼3	
	「田園環境健康都市須坂」を「共創」(須坂市寄付講義)	1後	2	○							兼1	
	映画史入門	1前	2	○							兼1	
	身体表現レクチャー&ワークショップ	1前	2	○							兼1	
	絶対王政期フランスの制度と社会	1前	2	○							兼1	
	モノの世界史	1前	2	○							兼1	
	世界の音楽	1前	2	○							兼1	
	方言からみた日本語	1後	2	○							兼1	
	江戸時代の本屋さん和本	1前	2	○							兼1	
	英語基礎Ⅰ(たてなおしの英語Ⅰ)	1前	2	○							兼1	
	英語基礎Ⅱ(たてなおしの英語Ⅱ)	1後	2	○							兼1	
	自己発見の方法	1後	2	○							兼1	
	日本古典文学入門	1前	2	○							兼1	
	中国古典小説	1前	2	○							兼1	
	生と死の哲学～哲学から宗教へ～	1前	2	○							兼1	
	文学と美術を歴史学で読み解く～日本古代史入門～	1前	2	○							兼1	
	山国信州の風土と暮らし(風土の中の衣食住)	1前	2	○							兼1	
	日本の屋根・信州の風土と暮らし	1後	2	○							兼1	
	モバイルデバイスで習うE-TOEICコース	1前・後	2	○							兼1	
	中世英語文献学入門	1後	2	○							兼1	
	「右肩下がり」の時代を生き抜くための倫理学	1前	2	○							兼1	
	言語哲学入門	1後	2	○							兼1	
	「優れた言語学習者」から考える日本語教育学	1後	2	○							兼1	
	恋愛小説を読むー比較文学への招待ー	1後	2	○							兼1	
	フランス文学概論	1前	2	○							兼1	
	日本文学概論	1後	2	○							兼1	
	映像で見て読んで考えるアメリカ	1後	2	○							兼1	
	時に挑む科学と文学	1後	2	○							兼1	
	アフリカ社会論	1前	2	○							兼1	
	韓国の文化(食文化)	1前	2	○							兼1	
	韓国の文化(映画で学ぶ)	1前	2	○							兼1	
	韓国の文化(若者の世界)	1後	2	○							兼1	
	韓国の文化(メディア)	1後	2	○							兼1	
	ドイツ語圏の文化Ⅰ	1前	2	○							兼2	オムニバス
	ドイツ語圏の文化Ⅱ	1後	2	○							兼2	オムニバス
アフリカ文化論	1前	2	○							兼1		
中国の文化(現代中国事情①)	1前	2	○							兼1		
中国の文化(現代中国事情②)	1後	2	○							兼1		
ロシアの文化(風土と歴史)	1前	2	○							兼1		
スペイン語圏の文化(ラテンアメリカ)	1後	2	○							兼1		
ドイツ語圏の文化Ⅲ	1前	2	○							兼1		
ドイツ語圏の文化Ⅳ	1後	2	○							兼1		
欧米文化(映画で見る未来像)	1前	2	○							兼1		
フランス語圏の文化	1後	2	○							兼1		
スペイン語圏の文化(スペイン)	1前	2	○							兼1		
科学論	1後	2	○							兼5	オムニバス	
囲碁で養う考える力	1前	2	○							兼1	集中	
明日を生きるための心理学 リスク社会と防災を学ぶ	1前	2	○							兼1		
												※2単位選択必修
	ベンチャービジネス概論	1前	2	○							兼3	オムニバス
	キャリアとしての公務員	1後	2	○							兼1	
	スポーツ考現学	1前・後	2	○							兼1	
	スポーツ文化を考える	1後	2	○							兼1	
	国際理解と多文化共生を考えるⅠ	1前	2	○							兼1	
	国際理解と多文化共生を考えるⅡ	1後	2	○							兼1	
	国際教養A	1前・後	2	○							兼2	集中
	国際教養B	1前・後	2	○							兼2	集中
	臨床心理学	1前	2	○							兼1	
	大学生が会おう法律問題	1前	2	○			5	5	3		兼1	オムニバス
	世界経済の歩み	1後	2	○							兼1	

共通教育科目	社会科学群	家族と法	1前	2		○		1								
		メディア心理学	1後	2		○										兼1
		ポジティブ心理学	1前	2		○									兼1	
		消費社会学入門	1前	2		○									兼1	
		コミュニティの社会心理学	1後	2		○									兼1	
		臨床心理学概論	1後	2		○									兼1	
		青年の海外ボランティア活動	1後	2		○									兼1	
		キャリア形成論 I	1前	2		○									兼2	オムニバス
		キャリア形成論 II	1後	2		○									兼2	オムニバス
		手話コミュニケーションと社会	1後	2		○									兼2	
		手話と社会	1前	2		○									兼2	
		日本国憲法	1前・後	2		○		1							兼2	
		地域活性化システム論	1前	2		○			1						兼3	オムニバス
		公法入門	1後	2		○				1						
		法学入門	1前	2		○		1								
		現代政治分析	1前	2		○		1								
		ミクロ経済学入門	1後	2		○									兼5	オムニバス
		マクロ経済学入門	1前	2		○									兼5	オムニバス
		大学生が出会う経済・経営問題	1後	2		○									兼5	オムニバス
		障害と共生社会	1前	2		○									兼1	
		大学生から始めるキャリアデザイン	1前	2		○									兼3	オムニバス
		世界で今何が起っているのか? - I	1前	2		○									兼1	
		世界で今何が起っているのか? - II	1後	2		○									兼1	
		統計データから読み解く社会	1後	2		○									兼1	
		法学概論 I	1前	2		○		1								
		法学概論 II	1後	2		○		1								
		多様性の中で自分を活かす (異文化理解とコミュニケーション)	1前	2		○									兼1	
		多様性の中で自分を活かす (協働のスキル)	1後	2		○									兼1	
		グローバル人材論 (グローバルキャリアデザイン)	1前	2		○									兼1	
		グローバル人材論 (「グローバル」マインド養成)	1後	2		○									兼1	
		RESAS～教育を、社会を、地域研究を見据えたリーサス～	1後	2		○									兼1	
		心理学概論	1後	2		○									兼7	オムニバス
		知っておくべき知的財産と研究倫理の基本	1前	2		○									兼1	
		証券・投資から育む「生きる力・考える力」(藍澤證券寄付講義)	1前	2		○									兼1	
		この国はどんな国-グローバル社会を生かすために-I	1前	2		○									兼1	
		この国はどんな国-グローバル社会を生かすために-II	1後	2		○									兼1	
		戦後政策と公法	1後	2		○									兼1	
		ジェンダー論	1後	2		○									兼1	
		ヒューマンセクシュアリティ	1後	2		○									兼3	オムニバス
		新聞と私たちの社会 (信濃毎日新聞社寄付講義)	1後	2		○									兼1	
		数を読む技術	1前・後	2		○									兼1	
		電子出版の現代	1前	2		○									兼1	
		家庭生活基礎A	1後	2		○									兼7	オムニバス
		キャリアビジョンと男女共同参画:誰もが輝く社会を考える	1前	2		○									兼5	
		プログラミング入門	1後	2			○								兼1	
		基本法学	1後	2		○		1								
		税法入門講義	1前	2		○				1						
		市民社会と法	1前	2			○								兼1	
	自															※当科学群または「体育・スポーツ群」から2単位選択必修
		伝えておきたい数学	1前	2		○									兼1	
		教養としての物理学	1前	2		○									兼1	
		観測天文学入門	1後	2		○									兼1	
		生活のなかの天文学	1前	2		○									兼1	
		現代医療における物理学	1後	2		○									兼1	
		物理学の世界	1前	2		○									兼1	
		Activity-Based Astronomy--現代天文学入門	1前	2		○									兼1	
		時間と空間の物理学	1前	2		○									兼1	
		物理へのいざない	1後	2		○									兼11	オムニバス
		応用化学～千夜一夜～	1前	2		○									兼13	オムニバス
		生活の中の高分子	1前	2		○									兼13	オムニバス
		基礎分子遺伝学の世界	1後	2		○									兼2	
		バイオリソースと生命科学	1後	2		○									兼2	オムニバス
		生態学入門	1後	2		○									兼1	
		地域から学ぶ地球	1前	2		○									兼1	

〔自然科学群〕	教養としての物質科学	1後	2	○										兼1	
	ニューバイオテクノロジー入門	1後	2	○										兼5	オムニバス
	動物と私たちの暮らし	1前	2	○										兼8	オムニバス
	動物生命科学	1後	2	○										兼7	オムニバス
	食と植物の文化論	1後	2	○										兼4	オムニバス
	応用生物学への招待	1前	2	○										兼14	オムニバス
	食と微生物	1後	2	○										兼9	オムニバス
	ネットワーク社会における情報科学	1前・後	2	○										兼1	
	統計学の基礎	1前・後	2	○										兼1	
	検索の科学	1前・後	2	○										兼1	
	情報学入門 (コンピュータの構成、アルゴリズム)	1前	2	○										兼2	オムニバス
	情報学入門 (プログラミング、ネットワーク)	1後	2	○										兼2	オムニバス
	統計学入門	1前	2	○										兼1	
	ベイズ統計学入門	1後	2	○										兼1	
	脳の不思議を探る (認知神経科学入門)	1前	2	○										兼1	
	脳の不思議をもっと探る (認知神経科学入門)	1後	2	○										兼1	
	宇宙から原子への旅	1前	2	○										兼10	オムニバス
	国際看護学 I	1前	2	○										兼1	
	国際技術論	1前	2	○										兼1	
	科学技術政策と研究開発	1後	2	○										兼1	
健康管理と生活習慣【佐久大学開講】	1後	2	○										兼1		
体育・スポーツ群	ソフトボール	1前	1				○							兼1	
	テニス	1前	1				○							兼1	
	アダブテッドスポーツ	1後	1				○							兼1	
	弓道	1前	1				○							兼1	
	コーディネーションエクササイズ	1前	1				○							兼1	
	剣道形の世界	1前	1				○							兼1	
	パドミントン	1前	1				○							兼2	
	サッカー	1前・後	1				○							兼1	
	バレーボール	1前	1				○							兼1	
	フライングディスク	1前	1				○							兼1	
	トレッキング	1前	1				○							兼5	集中
	ゴルフ	1前	1				○							兼2	集中
	スポーツフィッシング	1前	1				○							兼1	集中
	マリンスポーツ	1前	1				○							兼1	集中
	信大マラソン	1前	1				○							兼1	集中
	アウトドアの達人	1前	1				○		1					兼1	集中
	サバイバル活動	1前	1				○		1					兼1	集中
	スクーバダイビング	1後	1				○		1					兼1	集中
	レジャースポーツ	1前	1				○		1					兼1	集中
	スポーツボウリング	1後	1				○							兼1	
	ニュースポーツ	1後	1				○							兼1	集中
	アスレティックトレーニング	1後	1				○							兼1	
	バスケットボール	1後	1				○							兼1	
	ネイチャースキー	1後	1				○							兼2	集中
	スノー・スポーツ	1後	1				○							兼12	集中
	アウトドアマスター I	2前	1				○							兼1	集中
アウトドアマスター II	2前	1				○							兼4	集中	
ゴルフマスター I	2前	1				○							兼1	集中	
ゴルフマスター II	2前	1				○							兼1	集中	
小計 (296科目)	296	—	0	563	0	—		9	5	3	0	0	兼346	—	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I (上級)	1前	1				○							兼11	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I (中級)	1前	1				○							兼17	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I (初級)	1前	1				○							兼14	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I	1前・後	1				○							兼3	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II (上級)	1後	1				○							兼11	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II (中級)	1後	1				○							兼15	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II (初級)	1後	1				○							兼14	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II	1後	1				○							兼1	
	コミュニケーション・イングリッシュ I (上級)	1前	1				○							兼6	
	コミュニケーション・イングリッシュ I (中級)	1前	1				○							兼5	
	コミュニケーション・イングリッシュ I (初級)	1前	1				○							兼4	
コミュニケーション・イングリッシュ II (上級)	1後	1				○							兼5		

※当科学群または「自然科学群」から2単位選択必修



## 基礎科目

英語	コミュニケーション・イングリッシュⅡ(中級)	1後	1							○										兼5	
	コミュニケーション・イングリッシュⅡ(初級)	1後	1							○										兼4	
	リスニング&リーディングⅠ(上級)	1前	1							○										兼6	
	リスニング&リーディングⅠ(中級)	1前	1							○										兼5	
	リスニング&リーディングⅠ(初級)	1前	1							○										兼9	
	リスニング&リーディングⅠ	1前	1							○										兼1	
	リスニング&リーディングⅡ(上級)	1後	1							○										兼5	
	リスニング&リーディングⅡ(中級)	1後	1							○										兼5	
	リスニング&リーディングⅡ(初級)	1後	1							○										兼9	
	リスニング&リーディングⅡ	1後	1							○										兼1	
	リーディング・プラスⅠ	1前	1							○										兼1	
	リーディング・プラスⅡ	1後	1							○										兼1	
	アカデミック・イングリッシュⅠ(上級)	2前	2							○											兼8
	アカデミック・イングリッシュⅠ(中級)	2前	2							○											兼19
	アカデミック・イングリッシュⅠ(初級)	2前	2							○											兼14
	アカデミック・イングリッシュⅡ(上級)	2後	2							○											兼8
	アカデミック・イングリッシュⅡ(中級)	2後	2							○											兼20
	アカデミック・イングリッシュⅡ(初級)	2後	2							○											兼17
	ドイツ語	ドイツ語初級(総合)Ⅰ	1前	1							○										兼2
ドイツ語初級(総合)Ⅱ		1後	1							○										兼2	
ドイツ語初級(文法)Ⅰ		1前	1							○										兼3	
ドイツ語初級(文法)Ⅱ		1前・後	1							○										兼3	
ドイツ語初級(読解・会話)Ⅰ		1前・後	1							○										兼2	
ドイツ語初級(読解・会話)Ⅱ		1後	1							○										兼2	
ドイツ語中級(読解)Ⅰ		2前	2							○										兼2	
ドイツ語中級(読解)Ⅱ		2後	2							○										兼1	
ドイツ語中級(会話)Ⅰ		2前	2							○										兼1	
ドイツ語中級(会話)Ⅱ		2後	2							○										兼1	
ドイツ語演習Ⅰ		2前	2							○										兼2	
ドイツ語演習Ⅱ	2後	2							○										兼2		
フランス語	フランス語初級(総合)Ⅰ	1前	1							○										兼1	
	フランス語初級(総合)Ⅱ	1後	1							○										兼1	
	フランス語初級(文法)Ⅰ	1前	1							○										兼1	
	フランス語初級(文法)Ⅱ	1後	1							○										兼1	
	フランス語初級(読解・会話)Ⅰ	1前	1							○										兼2	
	フランス語初級(読解・会話)Ⅱ	1後	1							○										兼2	
	フランス語中級(読解・会話)Ⅰ	2前	2							○										兼1	
	フランス語中級(読解・会話)Ⅱ	2後	2							○										兼1	
	フランス語演習Ⅰ	2前	2							○										兼1	
フランス語演習Ⅱ	2後	2							○										兼1		
中国語	中国語初級(総合)Ⅰ	1前	1							○										兼1	
	中国語初級(総合)Ⅱ	1後	1							○										兼1	
	中国語初級(文法)Ⅰ	1前	1							○										兼2	
	中国語初級(文法)Ⅱ	1後	1							○										兼2	
	中国語初級(読解・会話)Ⅰ	1前	1							○										兼4	
	中国語初級(読解・会話)Ⅱ	1後	1							○										兼4	
	中国語演習Ⅰ	2前	2							○										兼2	
	中国語演習Ⅱ	2後	2							○										兼2	
ハンブル	ハンブル初級(総合)Ⅰ	1前	1							○										兼1	
	ハンブル初級(総合)Ⅱ	1後	1							○										兼1	
	ハンブル初級(文法)Ⅰ	1前	1							○										兼1	
	ハンブル初級(文法)Ⅱ	1後	1							○										兼1	
	ハンブル初級(読解・会話)Ⅰ	1前	1							○										兼1	
	ハンブル初級(読解・会話)Ⅱ	1後	1							○										兼1	
	ハンブル中級(読解・会話)Ⅰ	2前	2							○										兼1	
	ハンブル中級(読解・会話)Ⅱ	2後	2							○										兼1	
	ハンブル中級Ⅰ	2前	2							○										兼1	
	ハンブル中級Ⅱ	2後	2							○										兼1	
	ハンブル演習Ⅰ	2前	2							○										兼1	
	ハンブル演習Ⅱ	2後	2							○										兼1	
スペイン	スペイン語初級(総合)Ⅰ	1前	1							○										兼1	
	スペイン語初級(総合)Ⅱ	1後	1							○										兼1	
	スペイン語初級(文法)Ⅰ	1前	1							○										兼2	
	スペイン語初級(文法)Ⅱ	1前	1							○										兼2	
	スペイン語初級(読解・会話)Ⅰ	1後	1							○										兼1	
	スペイン語初級(読解・会話)Ⅱ	1後	1							○										兼1	

	語	スペイン語中級（読解・会話）Ⅰ	2前		2			○								兼1			
		スペイン語中級（読解・会話）Ⅱ	2後		2			○								兼1			
		スペイン語演習Ⅰ	2前		2			○								兼1			
		スペイン語演習Ⅱ	2後		2			○								兼1			
		小計（82科目）	82	—	0	110	0	—		0	0	0	0	0	0	兼69	—		
健康科学科目	健康科学・理論と実践	健康科学・理論と実践	1前		1			○								兼3	※実技・ホムバス		
		小計（1科目）	1	—	1	0	0	—		0	0	0	0	0	0	兼3	—		
		新入生ゼミナールⅠ	1前		2				○		5		3			兼20			
		新入生ゼミナールⅡ	1後		2			○		1	3				兼20				
		小計（2科目）	2	—	4	0	0	—		6	3	3	0	0	兼20	—			
日本語・日本事情	日本語・日本事情科目	読解（日本語）Ⅰ	1前		1				○							兼2	※外国人留学生のみ		
		読解（日本語）Ⅱ	1後		1				○							兼2			
		作文（日本語）Ⅰ	1前		1				○							兼2			
		作文（日本語）Ⅱ	1後		1				○							兼2			
		科学技術日本語Ⅰ	1前		1				○							兼1			
		科学技術日本語Ⅱ	1後		1				○							兼1			
		ビジネス・ジャパニーズⅠ	1前		1				○							兼1			
		ビジネス・ジャパニーズⅡ	1後		1				○							兼1			
		日本語表現・文型Ⅰ	1前		1				○							兼1			
		日本語表現・文型Ⅱ	1後		1				○							兼1			
		聴解（日本語）Ⅰ	1前		1				○							兼2			
		聴解（日本語）Ⅱ	1後		1				○							兼2			
		口頭表現Ⅰ	1前		1				○							兼1			
		口頭表現Ⅱ	1後		1				○							兼1			
		日本社会と日本人Ⅰ	1前		2				○							兼1		※外国人留学生のみ	
		日本社会と日本人Ⅱ	1後		2				○							兼1			
		武道・伝統文化実習Ⅰ	1前		1					○						兼2			ホムバス
		武道・伝統文化実習Ⅱ	1後		1					○						兼2			ホムバス
		小計（18科目）	18	—	0	20	0	—		0	0	0	0	0	兼8	—			
法律基礎科目	法律基礎科目	憲法	2前		4			○			1								
		刑法Ⅰ	1後		4			○				1							
		刑法Ⅱ	2前		2			○					1				兼1		
		民法総則	1前		2			○			1								
		物権法	1後		2			○			1								
		契約法Ⅰ	2前		2			○				1							
		契約法Ⅱ	2後		2			○				1							
		契約法Ⅲ	3・4前		2			○				1							
		不法行為法	2後		2			○			1								
		会社法Ⅰ	2後		4			○					1						
		刑事訴訟法	2前		4			○			1								
		民事訴訟法	2・3前		2			○			1								
		民事執行・保全法	2・3・4後		2			○			1								
		行政法	2後		4			○				1							
		政治学基礎	2前		2			○			1								
		自然環境概論	2後		2			○									兼1		
		知的財産法基礎	2後		2			○									兼1		
		現代史基礎	2・3前		2			○									兼1		
		現代世界史基礎	2・3前		2			○									兼1		
		小計（19科目）	19	—	16	32	0	—		5	4	2	0	0	兼4	—			
環境法務科目	環境法務科目	環境法Ⅰ	2前		2			○			1								
		環境法Ⅱ	2後		2			○			1								
		水環境法	3・4後		2			○									兼1		
		国際環境法	3・4前		2			○									兼2		
		都市環境と行政法	3・4後		2			○				1							
		環境と刑法	3・4前		2			○			1								
		環境経済学Ⅰ	3・4後		2			○									兼1		
		環境経済学Ⅱ	3・4前		2			○									兼1		
		環境テクノロジー	3・4前		2			○									兼1		
		環境理学概論	3・4前		2			○									兼1		
		環境社会学概論	3・4前		2			○									兼1		
		環境教育概論	3・4前		2			○									兼1		
		環境農学概論	3・4後		2			○									兼1		
		環境と憲法訴訟	3・4後		2			○				1							
		自然環境フィールドワークの理論と実践	3・4後		2			○				1							
国際政治	3・4後		4			○				1									

専 門 科 目	コ ー ス 専 門 科 目	小計 (16科目)	16	—	0	34	0	—	5	1	0	0	0	兼9	—	
		労働法	3・4前		4		○				1					
		企業取引法	3・4前		2		○					1				
		会社法Ⅱ	3・4後	2			○					1				
		担保法	3・4後	2			○				1					
		親族・相続法	3・4前		2		○			1						
		倒産法	3・4前		2		○			1						
		簿記・会計入門	3・4前		2		○								兼1	
		管理会計	3・4後		2		○								兼1	
		経営学	3・4前		2		○								兼1	
		法人税法	3・4後		2		○					1				
		テクノロジー概論	3・4前	2			○								兼1	
		知的財産法Ⅰ	3・4前		2		○								兼1	
		知的財産法Ⅱ	3・4後		2		○								兼1	
		経済法	3・4後		2		○								兼1	
	危機管理法務	3・4後		2		○								兼1		
	小計 (15科目)	15	—	6	26	0	—		2	2	2	0	0	兼7	—	
	都 市 ・ 行 政 法 務 科 目	統治機構論	2前		2		○			1						
		行政救済法	3・4前		2		○				1					
		自治体法	3・4後		2		○				1					
		都市行政と刑法	3・4前		2		○			1						
		社会保障法	3・4後		2		○				1					
		行政学概論	2後		2		○			1						
		自治行政	2前		2		○			1						
		都市テクノロジー	3・4前		2		○								兼1	
		統計学Ⅰ	3・4後		2		○								兼1	
都市政策論		3・4後		2		○								兼1		
ミクロ経済学Ⅰ		3・4前		4		○								兼1		
マクロ経済学Ⅰ	3・4後		4		○								兼1			
計量経済学	3・4後		2		○								兼1			
市民税法	3・4前		2		○								兼2			
小計 (14科目)	14	—	0	32	0	—		3	2	0	0	0	兼8	—		
実 務 講 義 科 目	行政実務	2前		2		○				1						
	現代法務	2後		2		○			2	5	1				オムニバス 共同	
	租税法実務	3・4後		2		○			1		1			兼1		
	情報通信技術の発展と法制度	3・4前		2		○								兼1		
	小計 (4科目)	4	—	0	8	0	—		3	5	2	0	0	兼2	—	
実 務 系 科 目	行政法務実習	3・4通		2				○		1					※演習	
	環境法務実習	3・4通		2				○	1						※演習	
	税務実習	3・4通		2				○	1		1			兼1	※演習・共同	
	労働法務実習	3・4通		2				○		1					※演習	
	契約法務実習	3・4通		2				○		2					※演習・共同	
	知財法務実習	3・4通		2				○						兼1	※演習	
	裁判法務実習	3・4通		2				○	1						※演習	
	捜査法務実習	3・4通		2				○						兼1	※演習	
	政策企画実習	3・4前		2				○						兼2	※実習・共同	
	こども法務実習	4通		2				○	1	2	1				※演習・共同	
小計 (10科目)	9	—	0	20	0	—		3	5	2	0	0	兼4	—		
基 礎 演 習 科 目	基礎演習Ⅰ	2通	4					○	5	3	2					
	基礎演習Ⅱ	3通		4				○	5	3	2					
小計 (2科目)	2	—	4	4	0	—		5	3	2	0	0	0	—		
演 習 系 科 目	行政法演習	3・4後		2				○		1						
	刑事訴訟法演習Ⅰ	3・4前		2				○	1							
	刑事訴訟法演習Ⅱ	4前		2				○	1							
	民事訴訟法演習	3・4前		2				○	1							
	倒産法演習	3・4後		2				○	1							
	労働法演習	3・4前		2				○		1						
	社会保障法演習	3・4後		2				○		1						
	環境法演習Ⅰ	3・4前		2				○	1							
	環境法演習Ⅱ	3・4後		2				○	1							
	租税法演習	3・4前		2				○			1					
	国際政治演習	3・4後		2				○	1							
	行政学演習	3・4前		2				○	1							
	健康・スポーツ・自然演習Ⅰ	3・4前		2				○	1						※実習	
	健康・スポーツ・自然演習Ⅱ	3・4後		2				○	1						※実習	
総合法律学演習Ⅰ	3・4前		2				○	1								

	総合法律学演習Ⅱ	3・4後		2			○		1							
	小計 (16科目)	15	—	0	32	0	—		6	2	1	0	0	0	—	
論文科目	卒業論文	4通		6			○		10	5	3					
	小計 (1科目)	1	—	0	6	0	—		10	5	3	0	0	0	—	
経済系 選択科目	ミクロ経済学Ⅱ	3・4後		2			○								兼1	
	マクロ経済学Ⅱ	3・4前		2			○								兼1	
	ゲーム理論入門	3・4後		2			○								兼1	
	経営組織論	3・4前		2			○								兼1	
	財務会計	3・4前		2			○								兼1	
	公認会計士実務	3・4後		2			○								兼1	
	社会保障政策論	3・4前		2			○								兼1 隔年	
	財政学	3・4後		4			○								兼1	
	地方財政	3・4後		2			○								兼1	
	経済史	3・4前		4			○								兼1 隔年	
	経営労務論	3・4前		2			○								兼1 隔年	
	独占禁止法の経済学	3・4後		2			○								兼1	
	法と経済学Ⅰ	3・4前		2			○								兼1	
	法と経済学Ⅱ	3・4後		2			○								兼1 隔年	
	医療制度論	3・4前		2			○								兼1	
	社会政策論	3・4後		2			○								兼1	
	健康政策論	3・4前		2			○		1						兼4 隔年・ホニバス	
	情報処理A	3・4前・後		2			○								兼1	
	情報処理B	3・4前・後		2			○								兼1	
	現代産業論	3・4前		2			○								兼3 共同	
	現代職業論	3・4前		2			○								兼1	
	経営者と企業	3・4後		2			○								兼3 共同	
	産業政策論	3・4前		4			○								兼1	
	環境政策論	3・4後		2			○								兼1	
	小計 (24科目)	24	—	0	54	0	—		1	0	0	0	0	兼16	—	
キャリア ンア トデ ロツ プ メ	ボランティア	2・3・4前・後		2			○		1						兼1 共同	
	インターンシップ	2・3・4前・後		2			○		1						兼1 共同	
	Global Political Economy	2・3・4前		2			○		1							
	Global Business	2・3・4後		2			○								兼1	
	American Law and Society	2・3・4前		2			○		1						集中	
	海外短期演習	2・3・4後		4			○		1						※実習・集中	
	社会科学のための基礎力演習	2通		4			○								兼1	
	小計 (7科目)	7	—	0	18	0	—		1	0	0	0	0	兼3	—	
合計 (527科目)			—	31	959	0	—		10	5	3	0	0	兼424	—	

学位又は称号	学士 (法学)	学位又は学科の分野	法学関係
卒業要件及び履修方法		授業期間等	
<p>1. 共通教育科目 37単位以上</p> <p>(1) 教養科目 24単位以上</p> <p>①教養ゼミナール群 2単位以上</p> <p>②環境科学群 2単位以上</p> <p>③人文科学群 2単位以上</p> <p>④社会科学群 2単位以上</p> <p>⑤自然科学群または体育・スポーツ群 2単位以上</p> <p>(2) 外国語科目 8単位</p> <p>英語または中国語 同一言語で8単位</p> <p>(3) 健康科学科目 1単位</p> <p>(4) 新入生ゼミナール科目 4単位</p> <p>※(2)の要件を超えて修得した外国語科目の単位については、4単位まで(1)の単位に算入することができる。</p> <p>※外国人留学生は、日本語・日本事情科目のうち「日本語」4単位が必修。「日本語」4単位は(2)の単位に算入することができる。また、(2)に算入した単位を超える日本語・日本事情科目の単位数は、(1)の単位に算入することができる。</p> <p>2. 専門科目 90単位以上</p> <p>(1) 法律基礎科目 36単位以上</p> <p>必修科目 16単位</p> <p>選択科目 20単位以上</p> <p>(2) コース専門科目 30単位以上</p> <p>経済・企業法務科目 24単位以上(うち必修6単位)</p> <p>環境法務科目 2単位以上</p> <p>(3) 実務系科目</p> <p>法務実習科目 2単位以上</p> <p>(4) 演習系科目 14単位以上(うち必修4単位)</p> <p>3. 履修科目の登録の上限</p> <p>①共通教育科目は1学期あたり24単位</p> <p>②共通教育科目と専門科目を合わせて、年間44単位</p>		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週
		1時限の授業時間	90分

別記様式第2号（その2の1）

基礎となる学部 教育課程等の概要															
(経法学部総合法律学科 都市・行政法務コース)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
	技術とエネルギーの入門ゼミ	1後		2			○								兼4 ※2単位選択必修 オムニバス
	生態資源論ゼミ	1前・後		2			○								兼1
	地球白書ゼミ	1前・後		2			○								兼1
	環境マインドを現場で体験するゼミ	1前		2			○								兼3 集中
	土壌学ゼミ	1前		2			○								兼1
	植物生態学ゼミ	1前		2			○								兼1
	環境マインドを現場で体験するゼミ (熱帯雨林)	1後		2			○								兼1 集中
	芸術教養美術ゼミ	1前・後		2			○								兼1
	芸術教養音楽ゼミ	1後		2			○								兼7 オムニバス
	「時」について考えるゼミ	1後		2			○								兼1
	アジアの中の日本ゼミⅠ	1前		2			○								兼1
	アジアの中の日本ゼミⅡ	1後		2			○								兼1
	原書で読むシャーロック・ホームズゼミ	1後		2			○								兼1
	現代ドイツの言語と日常ゼミ	1前		2			○								兼1
	現代ドイツ事情ゼミ	1後		2			○								兼1
	異文化研究ゼミ	1後		2			○								兼1
	感覚で攻める英文法ゼミ～覚える英文法から感じる英文法へ	1前・後		2			○								兼1
	日本近現代史入門ゼミ	1後		2			○								兼1
	西洋古典語の世界ゼミ	1後		2			○								兼1
	古文書で学ぶ近世ゼミ	1前		2			○								兼1
	比較哲学入門ゼミ	1後		2			○								兼1
	フィールドワーク入門ゼミ	1前		2			○								兼1
	日中比較文学ゼミ	1後		2			○								兼1
	発信のためのやさしい英作文練習ゼミ	1前		2			○								兼1
	中国古典小説ゼミ	1後		2			○								兼1
	法言語学(司法制度とことば)ゼミ	1後		2			○								兼1
	翻訳入門ゼミ	1後		2			○								兼1
	シェイクスピアを読むゼミ	1後		2			○								兼1
	異文化コミュニケーション(海外留学)ゼミ	1前・後		2			○								兼1
	外国語教育を考えるゼミ	1後		2			○								兼1
	ことばについて考えるゼミ	1後		2			○								兼1
	中国思想の古典で学ぶゼミ	1前		2			○								兼1
	変体仮名入門ゼミ	1前		2			○								兼1
	フランス文学ゼミ	1前		2			○								兼1
	英語資格試験対策ゼミ	1前		2			○								兼1
	シルシル信知るゼミ	1前		2			○								兼2 集中・オムニバス
	もっと知りたい韓国ゼミ	1前		2			○								兼1
	スポーツ・ホスピタリティゼミ 秋冬編(松本山雅FC連携ゼミ)	1後		2			○								兼1
	スポーツ・ホスピタリティゼミ 春夏編(松本山雅FC連携ゼミ)	1前		2			○								兼1
	スポーツ観戦文化論ゼミ	1前・後		2			○								兼1
	テレビのメディアリテラシー(テレビ信州参与ゼミ)	1前		2			○								兼1
	大学改革への学生参加ゼミ	1後		2			○								兼1
教養ゼミナール群	「考える」ゼミ	1前・後		2			○								兼1
	しょうがいスポーツゼミ	1前		2			○								兼3 オムニバス
	心理学思考法ゼミ	1前		2			○								兼1
	身体心理学ゼミ	1後		2			○								兼1
	環境心理学ゼミ	1前		2			○								兼1
	経済学の視点で考える企業行動ゼミ 基礎編	1前		2			○								兼1
	経済学の視点で考える企業行動ゼミ 応用編	1後		2			○								兼1
	社会科学文献講読ゼミⅠ	1後		2			○			1					
	社会科学文献講読ゼミⅡ	1後		2			○			1					
	地域ブランド実践ゼミ	1後		2			○								兼3 オムニバス
社会科学の方法ゼミ	1後		2			○			1						
社会格差を考えるゼミ：勝者と敗者の本当の姿	1後		2			○								兼1	
質問紙調査入門ゼミ	1後		2			○								兼1	

	キャリアデザイン実践ゼミ	1後	2									兼3	
	化学計算入門ゼミ	1前・後	2									兼1	
	大学を知るゼミ	1後	2									兼1	
	ロボティクス入門ゼミ	1前・後	2									兼1	
	自然誌・博物学ゼミ	1前	2									兼3	オムニバス
	ものづくり入門ゼミ	1後	2									兼2	オムニバス
	文系学生のための野外地質学ゼミ	1前	2									兼3	集中
	利己的遺伝子説から生物像を描くゼミ	1後	2									兼1	
	統計図解ゼミ	1後	2									兼1	
	アナログ再発見ゼミ	1前・後	2									兼1	
	情報社会論ゼミ	1前・後	2									兼1	
	Web制作ゼミ	1前・後	2									兼1	
	新聞で広げる社会の見方ゼミ (信濃毎日新聞社寄付講義)	1後	2									兼1	
	ネットワーク時代の古典を原著で読むゼミ	1後	2									兼1	
	人工知能を知ろうゼミ	1前・後	2									兼1	
	大学生基礎力ゼミ	1前・後	2									兼14	
	新聞をつくろう! (MGプレス制作ゼミ)	1前	2									兼1	
	スポーツ活動論ゼミ I	1前	2									兼1	
	スポーツ活動論ゼミ II	1後	2									兼1	集中
	ドイツ環境ゼミ	1後	2									兼1	集中
	自然活動論ゼミ	1前	2									兼1	
	自然と人間を考えるゼミ	1後	2									兼1	
	臨床検査を体験するゼミ	1後	2									兼11	オムニバス
	体と心のリハビリテーションを考えるゼミ	1前	2									兼11	オムニバス
	身体運動科学ゼミ	1前	2									兼1	
	課題解決実践ゼミ	1後	2									兼3	オムニバス
	科学リテラシー入門ゼミ	1後	2									兼1	
	経済数学ゼミ I	1前	2									兼1	
	経済数学ゼミ II	1後	2									兼1	
	民法入門ゼミ	1後	2					1					
	税法入門ゼミ	1後	2							1			
	リアル・プロジェクトマネジメントゼミ	1後	2									兼3	集中
	国際関係論ゼミ	1後	2									兼1	
	物理学入門ゼミ	1前	2									兼1	
	幾何学入門ゼミ	1前	2									兼1	
	素朴な集合論ゼミ	1前	2									兼1	
	イノベーション・リテラシーゼミ	1前	2									兼3	集中
													※2単位選択必修
環境科学群	環境社会学入門	1前・後	2									兼1	
	熱帯雨林と社会	1前・後	2									兼1	
	Low Energy Building (省エネルギー住宅)	1後	2									兼1	
	ライフサイクルアセスメント入門	1前・後	2									兼1	
	環境と生活とのかかわり	1前・後	2									兼1	
	環境問題のしくみ	1前	2									兼1	
	環境科学入門	1前	2									兼1	
	グリーンテクノロジー	1前	2									兼9	オムニバス
	環境配慮素材と自然エネルギー	1前	2									兼4	オムニバス
	エコ水車の開発と地域バイオマス利用	1前	2									兼3	集中・オムニバス
	地球環境の歴史	1前	2									兼1	
	循環型社会入門	1前	2									兼1	
	環境とエネルギー	1後	2									兼1	
	環境エネルギー政策論	1後	2									兼1	
	ネイチャーライティングのすすめ (環境文学 I)	1前	2									兼1	
	環境文学のすすめ (環境文学 II)	1後	2									兼1	
	自然環境と文化	1後	2									兼1	
	環境法入門	1後	2									兼1	
	材料の科学と技術 (基礎編)	1前	2									兼13	オムニバス
	材料の科学と技術 (先端編)	1後	2									兼12	オムニバス
生物と環境	1後	2									兼1		
自然災害と環境	1前	2									兼2	オムニバス	
ナノテクと環境	1後	2									兼1		
人とすまい	1前	2									兼6		
水の環境科学	1後	2									兼1		
森林サイエンス	1前	2									兼13	オムニバス	
農山村と環境	1前	2									兼10	オムニバス	
環境と緑の文化	1後	2									兼3	オムニバス	

	農環境保全学	1後	2	○							兼4	オムニバス
	森林・環境共生学概論	1後	2	○							兼2	オムニバス
	環境と生命の基礎化学	1後	2	○							兼1	
												※2単位選択必修
教養科目	映像・人類学	1前	2	○							兼1	
	Top Level English (トップレベルイングリッシュ)	1前・後	2	○							兼3	
	「田園環境健康都市須坂」を「共創」(須坂市寄付講義)	1後	2	○							兼1	
	映画史入門	1前	2	○							兼1	
	身体表現レクチャー&ワークショップ	1前	2	○							兼1	
	絶対王政期フランスの制度と社会	1前	2	○							兼1	
	モノの世界史	1前	2	○							兼1	
	世界の音楽	1前	2	○							兼1	
	方言からみた日本語	1後	2	○							兼1	
	江戸時代の本屋さんと本	1前	2	○							兼1	
	英語基礎Ⅰ(たてなおしの英語Ⅰ)	1前	2	○							兼1	
	英語基礎Ⅱ(たてなおしの英語Ⅱ)	1後	2	○							兼1	
	自己発見の方法	1後	2	○							兼1	
	日本古典文学入門	1前	2	○							兼1	
	中国古典小説	1前	2	○							兼1	
	生と死の哲学～哲学から宗教へ～	1前	2	○							兼1	
	文学と美術を歴史学で読み解く～日本古代史入門～	1前	2	○							兼1	
	山国信州の風土と暮らし(風土の中の衣食住)	1前	2	○							兼1	
	日本の屋根・信州の風土と暮らし	1後	2	○							兼1	
	モバイルデバイスで習うE-TOEICコース	1前・後	2	○							兼1	
	中世英語文献学入門	1後	2	○							兼1	
	「右肩下がり」の時代を生き抜くための倫理学	1前	2	○							兼1	
	言語哲学入門	1後	2	○							兼1	
	「優れた言語学習者」から考える日本語教育学	1後	2	○							兼1	
	恋愛小説を読むー比較文学への招待ー	1後	2	○							兼1	
	フランス文学概論	1前	2	○							兼1	
	日本文学概論	1後	2	○							兼1	
	映像で見て読んで考えるアメリカ	1後	2	○							兼1	
	時に挑む科学と文学	1後	2	○							兼1	
	アフリカ社会論	1前	2	○							兼1	
	韓国の文化(食文化)	1前	2	○							兼1	
	韓国の文化(映画で学ぶ)	1前	2	○							兼1	
	韓国の文化(若者の世界)	1後	2	○							兼1	
	韓国の文化(メディア)	1後	2	○							兼1	
ドイツ語圏の文化Ⅰ	1前	2	○							兼2	オムニバス	
ドイツ語圏の文化Ⅱ	1後	2	○							兼2	オムニバス	
アフリカ文化論	1前	2	○							兼1		
中国の文化(現代中国事情①)	1前	2	○							兼1		
中国の文化(現代中国事情②)	1後	2	○							兼1		
ロシアの文化(風土と歴史)	1前	2	○							兼1		
スペイン語圏の文化(ラテンアメリカ)	1後	2	○							兼1		
ドイツ語圏の文化Ⅲ	1前	2	○							兼1		
ドイツ語圏の文化Ⅳ	1後	2	○							兼1		
欧米文化(映画で見る未来像)	1前	2	○							兼1		
フランス語圏の文化	1後	2	○							兼1		
スペイン語圏の文化(スペイン)	1前	2	○							兼1		
科学論	1後	2	○							兼5	オムニバス	
囲碁で養う考える力	1前	2	○							兼1	集中	
明日を生きるための心理学 リスク社会と防災を学ぶ	1前	2	○							兼1		
												※2単位選択必修
	ベンチャービジネス概論	1前	2	○							兼3	オムニバス
	キャリアとしての公務員	1後	2	○							兼1	
	スポーツ考現学	1前・後	2	○							兼1	
	スポーツ文化を考える	1後	2	○							兼1	
	国際理解と多文化共生を考えるⅠ	1前	2	○							兼1	
	国際理解と多文化共生を考えるⅡ	1後	2	○							兼1	
	国際教養A	1前・後	2	○							兼2	集中
	国際教養B	1前・後	2	○							兼2	集中
	臨床心理学	1前	2	○							兼1	
	大学生が会おう法律問題	1前	2	○			5	5	3		兼1	オムニバス
	世界経済の歩み	1後	2	○							兼1	





〔自然科学群〕	教養としての物質科学	1後	2	○								兼1	
	ニューバイオテクノロジー入門	1後	2	○								兼5	オムニバス
	動物と私たちの暮らし	1前	2	○								兼8	オムニバス
	動物生命科学	1後	2	○								兼7	オムニバス
	食と植物の文化論	1後	2	○								兼4	オムニバス
	応用生物学への招待	1前	2	○								兼14	オムニバス
	食と微生物	1後	2	○								兼9	オムニバス
	ネットワーク社会における情報科学	1前・後	2	○								兼1	
	統計学の基礎	1前・後	2	○								兼1	
	検索の科学	1前・後	2	○								兼1	
	情報学入門 (コンピュータの構成、アルゴリズム)	1前	2	○								兼2	オムニバス
	情報学入門 (プログラミング、ネットワーク)	1後	2	○								兼2	オムニバス
	統計学入門	1前	2	○								兼1	
	ベイズ統計学入門	1後	2	○								兼1	
	脳の不思議を探る (認知神経科学入門)	1前	2	○								兼1	
	脳の不思議をもっと探る (認知神経科学入門)	1後	2	○								兼1	
	宇宙から原子への旅	1前	2	○								兼10	オムニバス
	国際看護学 I	1前	2	○								兼1	
	国際技術論	1前	2	○								兼1	
	科学技術政策と研究開発	1後	2	○								兼1	
健康管理と生活習慣【佐久大学開講】	1後	2	○								兼1		
体育・スポーツ群													※当科学群または「自然科学群」から2単位選択必修
	ソフトボール	1前	1	○								兼1	
	テニス	1前	1	○								兼1	
	アダブテッドスポーツ	1後	1	○								兼1	
	弓道	1前	1	○								兼1	
	コーディネーションエクササイズ	1前	1	○								兼1	
	剣道形の世界	1前	1	○								兼1	
	パドミントン	1前	1	○								兼2	
	サッカー	1前・後	1	○								兼1	
	バレーボール	1前	1	○								兼1	
	フライングディスク	1前	1	○								兼1	
	トレッキング	1前	1	○								兼5	集中
	ゴルフ	1前	1	○								兼2	集中
	スポーツフィッシング	1前	1	○								兼1	集中
	マリンスポーツ	1前	1	○								兼1	集中
	信大マラソン	1前	1	○								兼1	集中
	アウトドアの達人	1前	1	○				1				兼1	集中
	サバイバル活動	1前	1	○				1					集中
	スクーバダイビング	1後	1	○				1				兼1	集中
	レジャースポーツ	1前	1	○				1					集中
	スポーツボウリング	1後	1	○								兼1	
	ニュースポーツ	1後	1	○								兼1	集中
	アスレティックトレーニング	1後	1	○								兼1	
	バスケットボール	1後	1	○								兼1	
	ネイチャースキー	1後	1	○								兼2	集中
	スノー・スポーツ	1後	1	○								兼12	集中
	アウトドアマスター I	2前	1	○								兼1	集中
アウトドアマスター II	2前	1	○								兼4	集中	
ゴルフマスター I	2前	1	○								兼1	集中	
ゴルフマスター II	2前	1	○								兼1	集中	
<b>小計 (296科目)</b>	<b>296</b>	—	0	563	0	—	9	5	3	0	0	兼346	—
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I (上級)	1前	1				○					兼11	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I (中級)	1前	1				○					兼17	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I (初級)	1前	1				○					兼14	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ I	1前・後	1				○					兼3	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II (上級)	1後	1				○					兼11	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II (中級)	1後	1				○					兼15	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II (初級)	1後	1				○					兼14	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュ II	1後	1				○					兼1	
	コミュニケーション・イングリッシュ I (上級)	1前	1				○					兼6	
	コミュニケーション・イングリッシュ I (中級)	1前	1				○					兼5	
	コミュニケーション・イングリッシュ I (初級)	1前	1				○					兼4	
	コミュニケーション・イングリッシュ II (上級)	1後	1				○					兼5	

基礎科目	英語	コミュニケーション・イングリッシュⅡ (中級)	1後	1			○															兼5	
		コミュニケーション・イングリッシュⅡ (初級)	1後	1				○															兼4
		リスニング&リーディングⅠ (上級)	1前	1				○															兼6
		リスニング&リーディングⅠ (中級)	1前	1				○															兼5
		リスニング&リーディングⅠ (初級)	1前	1				○															兼9
		リスニング&リーディングⅠ	1前	1				○															兼1
		リスニング&リーディングⅡ (上級)	1後	1				○															兼5
		リスニング&リーディングⅡ (中級)	1後	1				○															兼5
		リスニング&リーディングⅡ (初級)	1後	1				○															兼9
		リスニング&リーディングⅡ	1後	1				○															兼1
		リーディング・プラスⅠ	1前	1				○															兼1
		リーディング・プラスⅡ	1後	1				○															兼1
		アカデミック・イングリッシュⅠ (上級)	2前	2				○															兼8
		アカデミック・イングリッシュⅠ (中級)	2前	2				○															兼19
		アカデミック・イングリッシュⅠ (初級)	2前	2				○															兼14
		アカデミック・イングリッシュⅡ (上級)	2後	2				○															兼8
		アカデミック・イングリッシュⅡ (中級)	2後	2				○															兼20
		アカデミック・イングリッシュⅡ (初級)	2後	2				○															兼17
		ドイツ語	ドイツ語初級 (総合)Ⅰ	1前	1				○														
	ドイツ語初級 (総合)Ⅱ		1後	1				○															兼2
	ドイツ語初級 (文法)Ⅰ		1前	1				○															兼3
	ドイツ語初級 (文法)Ⅱ		1前・後	1				○															兼3
	ドイツ語初級 (読解・会話)Ⅰ		1前・後	1				○															兼2
	ドイツ語初級 (読解・会話)Ⅱ		1後	1				○															兼2
	ドイツ語中級 (読解)Ⅰ		2前	2				○															兼2
	ドイツ語中級 (読解)Ⅱ		2後	2				○															兼1
	ドイツ語中級 (会話)Ⅰ		2前	2				○															兼1
	ドイツ語中級 (会話)Ⅱ		2後	2				○															兼1
	ドイツ語演習Ⅰ		2前	2				○															兼2
	ドイツ語演習Ⅱ	2後	2				○															兼2	
	フランス語	フランス語初級 (総合)Ⅰ	1前	1				○															兼1
		フランス語初級 (総合)Ⅱ	1後	1				○															兼1
		フランス語初級 (文法)Ⅰ	1前	1				○															兼1
		フランス語初級 (文法)Ⅱ	1後	1				○															兼1
		フランス語初級 (読解・会話)Ⅰ	1前	1				○															兼2
		フランス語初級 (読解・会話)Ⅱ	1後	1				○															兼2
		フランス語中級 (読解・会話)Ⅰ	2前	2				○															兼1
		フランス語中級 (読解・会話)Ⅱ	2後	2				○															兼1
		フランス語演習Ⅰ	2前	2				○															兼1
	フランス語演習Ⅱ	2後	2				○															兼1	
	中国語	中国語初級 (総合)Ⅰ	1前	1				○															兼1
		中国語初級 (総合)Ⅱ	1後	1				○															兼1
		中国語初級 (文法)Ⅰ	1前	1				○															兼2
		中国語初級 (文法)Ⅱ	1後	1				○															兼2
		中国語初級 (読解・会話)Ⅰ	1前	1				○															兼4
		中国語初級 (読解・会話)Ⅱ	1後	1				○															兼4
中国語演習Ⅰ		2前	2				○															兼2	
中国語演習Ⅱ		2後	2				○															兼2	
ハングル	ハングル初級 (総合)Ⅰ	1前	1				○															兼1	
	ハングル初級 (総合)Ⅱ	1後	1				○															兼1	
	ハングル初級 (文法)Ⅰ	1前	1				○															兼1	
	ハングル初級 (文法)Ⅱ	1後	1				○															兼1	
	ハングル初級 (読解・会話)Ⅰ	1前	1				○															兼1	
	ハングル初級 (読解・会話)Ⅱ	1後	1				○															兼1	
	ハングル中級 (読解・会話)Ⅰ	2前	2				○															兼1	
	ハングル中級 (読解・会話)Ⅱ	2後	2				○															兼1	
	ハングル中級Ⅰ	2前	2				○															兼1	
	ハングル中級Ⅱ	2後	2				○															兼1	
	ハングル演習Ⅰ	2前	2				○															兼1	
	ハングル演習Ⅱ	2後	2				○															兼1	
スペイン	スペイン語初級 (総合)Ⅰ	1前	1				○															兼1	
	スペイン語初級 (総合)Ⅱ	1後	1				○															兼1	
	スペイン語初級 (文法)Ⅰ	1前	1				○															兼2	
	スペイン語初級 (文法)Ⅱ	1前	1				○															兼2	
	スペイン語初級 (読解・会話)Ⅰ	1後	1				○															兼1	
	スペイン語初級 (読解・会話)Ⅱ	1後	1				○															兼1	

	語	スペイン語中級（読解・会話）Ⅰ	2前		2			○								兼1		
		スペイン語中級（読解・会話）Ⅱ	2後		2			○								兼1		
		スペイン語演習Ⅰ	2前		2			○								兼1		
		スペイン語演習Ⅱ	2後		2			○								兼1		
		小計（82科目）	82	—	0	110	0	—			0	0	0	0	0	兼69	—	
健康科学科目	健康科学・理論と実践	健康科学・理論と実践	1前		1			○								兼3	※実技・ホムバス	
		小計（1科目）	1	—	1	0	0	—			0	0	0	0	0	兼3	—	
		新入生ゼミナールⅠ	1前		2				○			5		3			兼20	
		新入生ゼミナールⅡ	1後		2				○		1	3				兼20		
		小計（2科目）	2	—	4	0	0	—			6	3	3	0	0	兼20	—	
日本語・日本事情	日本語・日本事情科目	読解（日本語）Ⅰ	1前		1				○							兼2	※外国人留学生のみ	
		読解（日本語）Ⅱ	1後		1				○							兼2		
		作文（日本語）Ⅰ	1前		1					○						兼2		
		作文（日本語）Ⅱ	1後		1					○						兼2		
		科学技術日本語Ⅰ	1前		1					○						兼1		
		科学技術日本語Ⅱ	1後		1					○						兼1		
		ビジネス・ジャパニーズⅠ	1前		1					○						兼1		
		ビジネス・ジャパニーズⅡ	1後		1					○						兼1		
		日本語表現・文型Ⅰ	1前		1					○						兼1		
		日本語表現・文型Ⅱ	1後		1					○						兼1		
		聴解（日本語）Ⅰ	1前		1					○						兼2		
		聴解（日本語）Ⅱ	1後		1					○						兼2		
		口頭表現Ⅰ	1前		1					○						兼1		
		口頭表現Ⅱ	1後		1					○						兼1		
		日本社会と日本人Ⅰ	1前		2				○							兼1		※外国人留学生のみ
		日本社会と日本人Ⅱ	1後		2				○							兼1		
		武道・伝統文化実習Ⅰ	1前		1					○						兼2		ホムバス
		武道・伝統文化実習Ⅱ	1後		1					○						兼2		ホムバス
		小計（18科目）	18	—	0	20	0	—			0	0	0	0	0	兼8	—	
法律基礎科目	法律基礎科目	憲法	2前		4			○				1						
		刑法Ⅰ	1後		4			○					1					
		刑法Ⅱ	2前		2			○						1			兼1	
		民法総則	1前		2			○				1						
		物権法	1後		2			○				1						
		契約法Ⅰ	2前		2			○					1					
		契約法Ⅱ	2後		2			○					1					
		契約法Ⅲ	3・4前		2			○					1					
		不法行為法	2後		2			○				1						
		会社法Ⅰ	2後		4			○						1				
		刑事訴訟法	2前		4			○				1						
		民事訴訟法	2・3前		2			○				1						
		民事執行・保全法	2・3・4後		2			○				1						
		行政法	2後		4			○					1					
		政治学基礎	2前		2			○				1						
		自然環境概論	2後		2			○									兼1	
		知的財産法基礎	2後		2			○									兼1	
		現代史基礎	2・3前		2			○									兼1	
		現代世界史基礎	2・3前		2			○									兼1	
		小計（19科目）	19	—	16	32	0	—			5	4	2	0	0	兼4	—	
環境法務科目	環境法務科目	環境法Ⅰ	2前		2			○				1						
		環境法Ⅱ	2後		2			○				1						
		水環境法	3・4後		2			○									兼1	
		国際環境法	3・4前		2			○									兼2	集中・ホムバス
		都市環境と行政法	3・4後		2			○					1					
		環境と刑法	3・4前		2			○				1						
		環境経済学Ⅰ	3・4後		2			○									兼1	
		環境経済学Ⅱ	3・4前		2			○									兼1	
		環境テクノロジー	3・4前		2			○									兼1	
		環境理学概論	3・4前		2			○									兼1	
		環境社会学概論	3・4前		2			○									兼1	
		環境教育概論	3・4前		2			○									兼1	
		環境農学概論	3・4後		2			○									兼1	
		環境と憲法訴訟	3・4後		2			○					1					
		自然環境フィールドワークの理論と実践	3・4後		2			○					1					
国際政治	3・4後		4			○					1							

専 門 科 目	コ ー ス 専 門 科 目	小計 (16科目)	16	—	0	34	0	—	—	—	5	1	0	0	0	兼9	—		
		労働法	3・4前	4				○				1							
		企業取引法	3・4前	2				○						1					
		会社法Ⅱ	3・4後	2				○						1					
		担保法	3・4後	2				○				1							
		親族・相続法	3・4前	2				○				1							
		倒産法	3・4前	2				○				1							
		簿記・会計入門	3・4前	2				○										兼1	
		管理会計	3・4後	2				○										兼1	
		経営学	3・4前	2				○							1			兼1	
		法人税法	3・4後	2				○											
		テクノロジー概論	3・4前	2				○										兼1	
		知的財産法Ⅰ	3・4前	2				○										兼1	
		知的財産法Ⅱ	3・4後	2				○										兼1	
		経済法	3・4後	2				○										兼1	
		危機管理法務	3・4後	2				○										兼1	
		小計 (15科目)	15	—	0	32	0	—	—	—	—	2	2	2	0	0	兼7	—	
		都 市 ・ 行 政 法 務 科 目	統治機構論	2前	2				○				1						
			行政救済法	3・4前	2				○					1					
			自治体法	3・4後	2				○					1					
			都市行政と刑法	3・4前	2				○				1						
			社会保障法	3・4後	2				○					1					
			行政学概論	2後	2				○				1						
			自治行政	2前	2				○				1						
			都市テクノロジー	3・4前	2				○										兼1
			統計学Ⅰ	3・4後	2				○										兼1
			都市政策論	3・4後	2				○										兼1
ミクロ経済学Ⅰ	3・4前		4				○										兼1		
マクロ経済学Ⅰ	3・4後		4				○										兼1		
計量経済学	3・4後		2				○										兼1		
市民税法	3・4前	2				○										兼2			
小計 (14科目)	14	—	6	26	0	—	—	—	—	3	2	0	0	0	兼8	—			
実 務 講 義 科 目	行政実務	2前	2				○					1							
	現代法務	2後	2				○				2	5	1				オムニバス 共同		
	租税法実務	3・4後	2				○				1		1				兼1		
	情報通信技術の発展と法制度	3・4前	2				○										兼1		
	小計 (4科目)	4	—	0	8	0	—	—	—	3	5	2	0	0	兼2	—			
実 務 系 科 目	行政法務実習	3・4通	2						○			1					※演習		
	環境法務実習	3・4通	2						○		1						※演習		
	税務実習	3・4通	2						○		1		1				兼1 ※演習・共同		
	労働法務実習	3・4通	2						○			1					※演習		
	契約法務実習	3・4通	2						○			2					※演習・共同		
	知財法務実習	3・4通	2						○								兼1 ※演習		
	裁判法務実習	3・4通	2						○		1						※演習		
	捜査法務実習	3・4通	2						○								兼1 ※演習		
	政策企画実習	3・4前	2						○								兼2 ※実習・共同		
	こども法務実習	4通	2						○		1	2	1				※演習・共同		
小計 (10科目)	9	—	0	20	0	—	—	—	3	5	2	0	0	兼4	—				
基 礎 演 習 科 目	基礎演習Ⅰ	2通	4						○		5	3	2						
	基礎演習Ⅱ	3通	4						○		5	3	2						
小計 (2科目)	2	—	4	4	0	—	—	—	—	5	3	2	0	0	0	—			
演 習 系 科 目	行政法演習	3・4後	2						○			1							
	刑事訴訟法演習Ⅰ	3・4前	2						○		1								
	刑事訴訟法演習Ⅱ	4前	2						○		1								
	民事訴訟法演習	3・4前	2						○		1								
	倒産法演習	3・4後	2						○		1								
	労働法演習	3・4前	2						○			1							
	社会保障法演習	3・4後	2						○			1							
	環境法演習Ⅰ	3・4前	2						○		1								
	環境法演習Ⅱ	3・4後	2						○		1								
	租税法演習	3・4前	2						○				1						
	国際政治演習	3・4後	2						○		1								
	行政学演習	3・4前	2						○		1								
	健康・スポーツ・自然演習Ⅰ	3・4前	2						○		1						※実習		
	健康・スポーツ・自然演習Ⅱ	3・4後	2						○		1						※実習		
総合法律学演習Ⅰ	3・4前	2						○		1									

	総合法律学演習Ⅱ	3・4後	2			○		1								
	小計 (16科目)	15	—	0	32	0	—	6	2	1	0	0	0	—		
論文科目	卒業論文	4通			6		○	10	5	3						
	小計 (1科目)	1	—	0	6	0	—	10	5	3	0	0	0	—		
経済系 選択科目	ミクロ経済学Ⅱ	3・4後	2			○										兼1
	マクロ経済学Ⅱ	3・4前	2			○										兼1
	ゲーム理論入門	3・4後	2			○										兼1
	経営組織論	3・4前	2			○										兼1
	財務会計	3・4前	2			○										兼1
	公認会計士実務	3・4後	2			○										兼1
	社会保障政策論	3・4前	2			○										兼1 隔年
	財政学	3・4後	4			○										兼1
	地方財政	3・4後	2			○										兼1
	経済史	3・4前	4			○										兼1 隔年
	経営労務論	3・4前	2			○										兼1 隔年
	独占禁止法の経済学	3・4後	2			○										兼1
	法と経済学Ⅰ	3・4前	2			○										兼1
	法と経済学Ⅱ	3・4後	2			○										兼1 隔年
	医療制度論	3・4前	2			○										兼1
	社会政策論	3・4後	2			○										兼1
	健康政策論	3・4前	2			○		1								兼4 隔年・ホニバス
	情報処理A	3・4前・後	2			○										兼1
	情報処理B	3・4前・後	2			○										兼1
	現代産業論	3・4前	2			○										兼3 共同
	現代職業論	3・4前	2			○										兼1
	経営者と企業	3・4後	2			○										兼3 共同
	産業政策論	3・4前	4			○										兼1
	環境政策論	3・4後	2			○										兼1
	小計 (24科目)	24	—	0	54	0	—	1	0	0	0	0	0	兼16	—	
キャリア シア トデ ベ ロッ プ メ	ボランティア	2・3・4前・後	2				○	1								兼1 共同
	インターンシップ	2・3・4前・後	2				○	1								兼1 共同
	Global Political Economy	2・3・4前	2				○	1								
	Global Business	2・3・4後	2				○									兼1
	American Law and Society	2・3・4前	2				○	1								集中
	海外短期演習	2・3・4後	4				○	1								※実習・集中
	社会科学のための基礎力演習	2通	4				○									兼1
	小計 (7科目)	7	—	0	18	0	—	1	0	0	0	0	0	兼3	—	
合計 (527科目)			—	31	959	0	—	10	5	3	0	0	0	兼424	—	

学位又は称号	学士 (法学)	学位又は学科の分野	法学関係
卒業要件及び履修方法		授業期間等	
<p>1. 共通教育科目 37単位以上</p> <p>(1) 教養科目 24単位以上</p> <p>①教養ゼミナール群 2単位以上</p> <p>②環境科学群 2単位以上</p> <p>③人文科学群 2単位以上</p> <p>④社会科学群 2単位以上</p> <p>⑤自然科学群または体育・スポーツ群 2単位以上</p> <p>(2) 外国語科目 8単位</p> <p>英語または中国語 同一言語で8単位</p> <p>(3) 健康科学科目 1単位</p> <p>(4) 新入生ゼミナール科目 4単位</p> <p>※(2)の要件を超えて修得した外国語科目の単位については、4単位まで(1)の単位に算入することができる。</p> <p>※外国人留学生は、日本語・日本事情科目のうち「日本語」4単位が必修。「日本語」4単位は(2)の単位に算入することができる。また、(2)に算入した単位を超える日本語・日本事情科目の単位数は、(1)の単位に算入することができる。</p> <p>2. 専門科目 90単位以上</p> <p>(1) 法律基礎科目 36単位以上</p> <p>必修科目 16単位</p> <p>選択科目 20単位以上</p> <p>(2) コース専門科目 30単位以上</p> <p>都市・行政法務科目 24単位以上(うち必修6単位)</p> <p>環境法務科目 2単位以上</p> <p>(3) 実務系科目</p> <p>法務実習科目 2単位以上</p> <p>(4) 演習系科目 14単位以上(うち必修4単位)</p> <p>3. 履修科目の登録の上限</p> <p>①共通教育科目は1学期あたり24単位</p> <p>②共通教育科目と専門科目を合わせて、年間44単位</p>		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週
		1時限の授業時間	90分

授 業 科 目 の 概 要			
(総合人文社会科学研究科 総合人文社会科学専攻)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通 基幹 科目 群	共通 基礎 科目	解析手法論 I	共同
		解析手法論 I・心理統計法 特論	
		解析手法論 II	共同



	解析手法論Ⅱ・心理学研究法特論	人文社会系学問、特に心理学で求められる基本的統計手法を身につける。種々の統計手法との関係や理論的背景も合わせて、具体的な教育心理学的研究で用いられている共分散構造分析を理解し、実際の心理学的研究に対して実践的に応用する力をつけることを目標とする。共分散構造分析の解説と演習を行う。ソフトウェアはRを用いる。	
	人文社会科学研究者倫理A	開講時の入門講義により、研究者倫理（研究公正）に関する基礎知識の習得を図り、その後、研究者倫理e-ラーニングプログラム「APRIN (IHCITI Japan)」の受講及び対象学生を分野横断的グループに配置したグループワークの実施により、研究者・地域中核人材としてのあるべき倫理的行為、してはならない不正行為について理解の深化を図る。本講義の締めくくりとなる集中講義では、研究者倫理分野における我が国第一線の講師による講義及び優秀グループワークの講評を通じ、それまでの過程で習得した知識及び倫理観のまとめを図る。一連の授業を通じて受講学生がその後の修士学生としての学習・研究生活を送る上での基本的な倫理指針を習得できるような内容とする。	共同
	人文社会科学研究者倫理B	開講時の入門講義により、研究者倫理（研究公正）に関する基礎知識の習得を図り、その後、研究者倫理e-ラーニングプログラム「APRIN (IHCITI Japan)」の受講及び対象学生を分野横断的グループに配置したグループワークの実施により、研究者・地域中核人材としてのあるべき倫理的行為、してはならない不正行為について理解の深化を図る。本講義の締めくくりとなる集中講義では、研究者倫理分野における我が国第一線の講師による講義及び優秀グループワークの講評を通じ、それまでの過程で習得した知識及び倫理観のまとめを図る。一連の授業を通じて受講学生がその後の修士学生としての学習・研究生活を送る上での基本的な倫理指針を習得できるような内容とする。	共同
分野横断科目	人文社会科学修論課題合同発表A	地域のリーダーとして活躍する人材は、自ら取組んでいる以外の課題についてもその原因、解決すべき問題点と解決の方法を見出すために必要な知識、情報と手法を学習することは、直面する自らの研究課題の解決ばかりでなく、将来の未知なる課題への対応に極めて有用である。この「人文社会科学修論課題合同発表」では、分野を超えた院生が一堂に会して、研究発表を行う。 取り組んでいる研究課題に対しての他分野の教員からの指導や他分野の院生との討論を通じて所属する研究室における指導教員や院生間の議論からでは得られない、他分野における独自の方法論や思考過程を理解し、吸収することを目的とする。これにより、「社会課題別PBL A・B」と同様に自身の研究課題の理解がより深まると同時に新規の課題に対する俯瞰力・応用力を養成することが狙いである。	共同
	社会課題別PBLA	多くの課題は複数の原因が入乱れた複層構造をとったり、一つの結果が新たな原因となるなど結果と原因が複雑に絡み合ったりしている場合が多い。このため、これまでの単独の専門分野の知識や技能のみでは解決方法を見出だせない場合がある。地域のリーダーとして活躍する人材は、このような新たな複雑な課題に対しても柔軟に対処できる応用力が必要となる。一つの課題を専門分野以外の院生と一緒に議論しその解決方法を考えることは、直面する自らの研究課題の解決ばかりでなく、将来の未知なる課題への対応に極めて有用である。 この「社会課題別PBL A・B」では、一つの課題にたいして分野を超えた院生が一緒に議論し、専門分野の異なる複数の教員から指導を受ける。プロジェクト・ベースド・ラーニング(PBL)かつ双方向のアクティブラーニング(AL)授業である。これにより、「人文社会科学修論課題合同発表 A・B」と同様に、自身の研究課題の理解がより深まると同時に新規の課題に対する俯瞰力・応用力・提案力を養成することが狙いである。	共同

		人文社会科学修論課題合同発表B	地域のリーダーとして活躍する人材は、自ら取組んでいる以外の課題についてもその原因、解決すべき問題点と解決の方法を見出すために必要な知識、情報と手法を学習することは、直面する自らの研究課題の解決ばかりでなく、将来の未知なる課題への対応に極めて有用である。この「人文社会科学修論課題合同発表」では、分野を超えた院生が一堂に会して、研究発表を行う。 取組んでいる研究課題に対しての他分野の教員からの指導や他分野の院生との討論を通じて所属する研究室における指導教員や院生間の議論からでは得られない、他分野における独自の方法論や思考過程を理解し、吸収することを目的とする。これにより、「社会課題別PBL A・B」と同様に自身の研究課題の理解がより深まると同時に新規の課題に対する俯瞰力・応用力を養成することが狙いである。	共同
		社会課題別PBLB	多くの課題は複数の原因が入乱れた複層構造をとったり、一つの結果が新たな原因となるなど結果と原因が複雑に絡み合ったりしている場合が多い。このため、これまでの単独の専門分野の知識や技能のみでは解決方法を見出だせない場合がある。地域のリーダーとして活躍する人材は、このような新たな複雑な課題に対しても柔軟に対処できる応用力が必要となる。一つの課題を専門分野以外の院生と一緒に議論しその解決方法を考えることは、直面する自らの研究課題の解決ばかりでなく、将来の未知なる課題への対応に極めて有用である。 この「社会課題別PBL A・B」では、一つの課題にたいして分野を超えた院生と一緒に議論し、専門分野の異なる複数の教員から指導を受ける。プロジェクト・ベースド・ラーニング(PBL)かつ双方向のアクティブラーニング(AL)授業である。これにより、「人文社会科学修論課題合同発表 A・B」と同様に、自身の研究課題の理解がより深まると同時に新規の課題に対する俯瞰力・応用力・提案力を養成することが狙いである。	共同
人間文化学分野	専門基盤科目群	人間文化学分野コア科目 哲学思想論	(概要) 哲学者・思想家たちが取り組んできた問題そのものに取り組むこと、そうした個々の問題を世界諸地域の思想史的文脈において理解すること、さらにはそれらを比較思想的な視野において捉え直すこと——哲学・思想研究におけるこれら三つの側面における基本的な知識と方法の教授を行います。  (オムニバス方式／全15回)  (1 篠原成彦／3回) 哲学的問題に取り組むことの意義・方法について担当する。 (2 早坂俊廣／5回) 思想史研究の意義・方法、文献探索から、仮説形成、論証を担当する。 (3 護山真也／5回) 比較思想研究の意義・方法、文献探索から、仮説形成、論証を担当する。 (31 三谷尚澄／2回) 哲学的問題と思想史・比較思想について担当する。	オムニバス方式
		文化情報論・社会学論	(概要) 授業の前半では、社会事象を多面的にとらえる社会情報リテラシーとしての批判的思考(クリティカルシンキング)の基本的な知識と技術を修得する。そしてその知識と技術をもって、現代の科学技術が関係する社会事象に問題意識をもって取り組み、背景や隠れた特質を批判的に読み解き、他者に表現・説明できる情報活用能力を身に付ける。後半では近年の科学技術と社会との関係を読み解く上で世界的に重要な鍵概念となっている「サステナビリティ」「レジリエンス」「ガバナンス」に着目し、前半で身につけた批判的思考法を活用しつつ、現実の地域社会に応用可能な環境基礎力と問題発見・解決能力を確実に身につけていく。  (オムニバス方式／全15回)  (4 菊池聡／7回) 文化情報論の観点から、批判的思考とリスク・コミュニケーションについて担当する。 (33 茅野恒秀／7回) 設計科学としての社会学の観点から、サステナビリティとレジリエンス論について担当する。 (4 菊池聡・33 茅野恒秀／1回) (共同) 社会と人間と 「心理主義」化する社会のとらえ方について担当する。	オムニバス方式・共同(一部)

歴史学論	<p>(概要) 歴史学の諸分野の研究状況について受講者に幅広い知識を持たせ、同時に受講者はこれまでの研究成果を批判的に摂取して、現在の歴史学研究全体を俯瞰し、そのなかに受講者みずからの研究テーマを位置づけ、その上で深く掘り下げる能力を養う。</p> <p>(オムニバス方式／全15回)</p> <p>(6 山本英二／3回) 日本前近代史研究における国家・社会・地域の問題について担当する。</p> <p>(5 大串潤児／3回) 日本近現代史研究における国家・社会・地域の問題について担当する。</p> <p>(36 豊岡康史／3回) 東洋史研究における国家・社会・地域の問題について担当する。</p> <p>(35 佐藤真紀／3回) 西洋史研究における国家・社会・地域の問題について担当する。</p> <p>(6 山本英二・5 大串潤児・36 豊岡康史・35 佐藤真紀／3回) (共同) オリエンテーション(歴史学研究の構造と授業の進め方)、各受講生による総括的プレゼンテーション及びまとめを担当する。</p>	オムニバス方式・共同(一部)
日本語文化論	<p>(概要) 授業テーマは「日本語文献学論」とする。日本語で書かれた古写本等の古文書から、近代の活字印刷文献までを題材として、その解読・読解に関わる諸問題を、日本語学研究および、日本文学研究の立場から講ずる。授業理解に基づき、受講者が課題発表で十分な説明ができるようになることを到達目標とする。</p> <p>(オムニバス方式／全15回)</p> <p>(7 山田健三担当／7回) 主として日本語を「書く・記録する」という視点、および日本語の文字の多様性(漢字・ひらがな・カタカナ)という視点から、日本語文献の在り方について講じる。</p> <p>(8 渡邊匡一担当／7回) 主として日本語で書かれたものを「読む」という視点、および読むべきものを「収集する」という蔵書形成の視点から、日本語文献の在り方について講じる。</p> <p>(7 山田健三・8 渡邊匡一／1回)(共同) 全15回の授業の概要説明(ガイダンス)を担当する。</p>	オムニバス方式・共同(一部)
英米言語文化論	<p>(概要) 授業では特に以下の点を重視しながら、英米言語文化の諸領域に関する講義を行い、その諸問題に関する理解を深めるとともに、その後質疑応答とディスカッションを行う。</p> <p>1 英語圏の言語文化の理解を深める。／2 特定のテキストに関して研究テーマを設定し、それが妥当かどうかを判断できる。／3 研究テーマのための資料及び資料分析の方法が妥当かどうかを判断できる。／4 研究テーマにかかわる先行研究の収集範囲が妥当かどうかを判断できる。／5 研究テーマについて考えをまとめ発表し議論できる。</p> <p>(オムニバス方式／全15回)</p> <p>(9 伊藤盡／7回) 英語学の諸問題を担当する。</p> <p>(10 杉野健太郎／5回) 英語文学の諸問題を担当する。</p> <p>(39 飯岡詩朗／2回) 英語映画の諸問題を担当する。</p> <p>(9 伊藤盡・10 杉野健太郎・39 飯岡詩朗／1回)(共同) まとめを共同で担当する。</p>	オムニバス方式・共同(一部)

比較言語文化論	<p>(概要)ヨーロッパやアジアの多様な言語文化（フランス、ドイツ、西洋古典、中国等）にかかわる諸問題を、文学、言語、思想、社会等の多角的な視点から取り上げ検討することにより、比較論的・学際的な考察力を培い、新たな認識を構築し得る思索力を鍛える。</p> <p>(オムニバス方式／全15回)</p> <p>(14 野津寛／1回) 西洋古典学の立場から比較言語文化について担当する。 (13 澁谷豊／2回) 比較文学の立場から比較言語文化について担当する。 (11 氏岡真士／1回) 中国文学の立場から比較言語文化について担当する。 (41 伊藤加奈子／2回) 中国語学の立場から比較言語文化について担当する。 (40 磯部美穂／1回) ドイツ語学の立場から比較言語文化について担当する。 (72 葛西敬之／2回) ドイツ文学の立場から比較言語文化について担当する。 (15 吉田正明／2回) フランス文学（韻文）の立場から比較言語文化について担当する。 (12 鎌田隆行／4回) フランス文学（散文）の立場から比較言語文化について担当する。また、主担当として全体の統括とガイダンス・まとめを担当する。</p>	オムニバス方式
芸術コミュニケーション論	<p>(概要)芸術文化研究の諸相を、通時的また共時的に、個々のジャンルと方法に応じて検討し、その現状と課題を明らかにする。音楽については、グローバリゼーションやディアスポラなどのトピックが扱われる。身体表現については、世界の舞踊舞台芸術の現状を批評的視点から捉え、個々の作品の分析・解釈が進められる。美術については、とくに芸術概念の変容と拡張に注目する。</p> <p>(オムニバス方式／全15回)</p> <p>(43濱崎友絵／5回) 導入と芸術文化の社会的側面の検討を担当する。 (42北村明子／5回) 芸術生産とその身体論的側面の検討を担当する。 (16金井直／5回) 芸術文化の受容・美学的側面の検討と総括を担当する</p>	オムニバス方式
哲学思想論総合演習Ⅰ（哲学総合）	<p>(概要)英文で書かれた、自己や心の在り方に関する哲学思想の学術書や論文を講読します。毎回、担当を決めて解説・分析結果を報告してもらい、それを全員で検討し、内容に関して討議を行います。また、各受講者の研究関心に基づくプレゼンテーションも行います。</p> <p>(オムニバス方式／全15回)</p> <p>(1 篠原成彦／7回) 哲学的問題に関する文献調査・分析を担当する。 (3 護山真也／8回) 比較思想研究の問題に関する文献調査・分析を担当する。</p>	オムニバス方式
哲学思想論総合演習Ⅱ（比較思想）	<p>(概要)文化横断型哲学の重要文献を5冊読破し、各自の読解に基づいて原稿用紙15枚程度のレポートを計5本作成したうえで、個別にチュートリアル形式の指導（計5回）を行う。 受講希望者は、初回のオリエンテーションにかならず参加すること。</p> <p>(オムニバス方式／全15回)</p> <p>(2 早坂俊廣／7回) 東洋思想的問題関心から文献調査・分析を行う。 (31 三谷尚澄／7回) 西洋思想的問題関心から文献調査・分析を行う。 (2 早坂俊廣・31 三谷尚澄／1回)（共同） オリエンテーションを共同で担当する。</p>	オムニバス方式・共同（一部）

文化情報論・社会学総合演習Ⅰ（現代文化）	<p>(概要)上記の目標に到達するため、本演習では、まず人文社会科学における研究法、理論と方法の関係について、文献を用いて丁寧に理解を深める。次に、現代の消費社会における先進的な消費社会・文化現象を、講義をとおして俯瞰する。続いて、そうした先進的な現象である脱物質主義的消費・持続可能な消費文化について、資料を収集して歴史的経緯・現状について十分に理解するとともに、国内外の量的・質的な先行研究を精査して、社会的・理論的な問題意識を深める。次に、人文社会科学の理論的視点から、脱物質主義的消費・持続可能な消費文化の現代的課題（研究課題）を絞り込み、明確化させる。そして、それらの研究課題に学術的に適切なアプローチを試みる調査計画を綿密に立てる。以上の講義を除くいずれ取り組みにおいても、学生による研究発表・ディスカッションの形式で授業を進める。なお、本授業に参加するには、社会学における主要な学説・理論・概念について、さらに、社会統計学、または心理統計学における記述統計・推測統計の基礎的事項について学部卒業レベルの習得を済ませていることを必要とする。</p> <p>(オムニバス方式／全15回)</p> <p>(34 水原俊博／7回) ガイダンス、人文社会科学における研究法、先進的な消費社会・文化研究概論、持続可能な消費文化研究（国内・海外）の検討、持続可能な消費文化の現代的課題検討、持続可能な消費文化の調査計画検討を担当</p> <p>(32 佐藤広英／5回) 人文社会科学における研究法、脱物質主義的消費研究（国内・海外）の検討、脱物質主義的消費の現代的課題検討、脱物質主義的消費の調査計画検討を担当</p> <p>(34 水原俊博・32 佐藤広英／3回)（共同） 資料・文献サーベイレポートの合評、最終プレゼンテーション、総括討議について担当する。</p>	オムニバス方式・共同（一部）
文化情報論・社会学総合演習Ⅱ（社会情報）	<p>(概要)授業では、現代の地域文化や社会情報系人文学に関する領域の問題意識をもとに、各自が設定した課題について文献・論文による情報収集や調査を行い、プレゼンテーションを行う。参加者同士のディスカッションを通して、社会情報に関わる学際領域に対する問題意識の交換と、適切に議論を進める総合的な情報活用能力を養成することを重視する。学部生を議論に参加させることもある。</p> <p>(オムニバス方式／全15回)</p> <p>(32 佐藤広英／7回) 社会情報に関する課題に関する講義、情報リテラシー、情報モラル、デジタルデバイドに関する情報収集・調査、発表、ディスカッションを担当。</p> <p>(34 水原俊博／6回) Society5.0, Iot, ウェブ上の消費行動に関する情報収集・調査、発表、ディスカッションを担当。</p> <p>(32 佐藤広英・34 水原俊博／2回)（共同） ガイダンスおよびまとめを担当する。</p>	オムニバス方式・共同（一部）
歴史学総合演習Ⅰ（日本史学研究法）	<p>(概要)主に日本史学について、時代区分に従って代表的な研究を取り上げ、内容を吟味した上で、その分析手法や分析結果について批判的に検討する。</p> <p>内容の検討者と分析手法・分析結果の批判的検討については、それぞれ受講者に担当を振り分け、報告する。</p> <p>(オムニバス方式／全15回)</p> <p>(6 山本英二／10回) 日本史研究における古代史・中世史・近世史について担当する。</p> <p>(5 大串潤児／5回) 日本史研究における近代史・現代史について担当する。</p>	オムニバス方式

<p>歴史学総合演習Ⅱ（西洋史・東洋史学研究法）</p>	<p>(概要)歴史学における先行研究・研究史の取扱いについて、受講生の関心にも即しつつ、幅広い視野から問題をとりあげていく。歴史を学ぶことと共に、どのように歴史を伝えるか(教えるか)にも目を配り、外国史にかかわる歴史学(おもに中国史・フランス史)という学問がどのように社会と関連するのかを考察していく。具体的には研究史の概要を時代区分ごとにとりあげ、その意義と位置について自らの学問・研究と関わらせながら批判的に検討していく。報告は受講生の分担とし、報告のあり方が成績評価の対象となる。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(36 豊岡康史/5回) 東洋史学研究の観点から先行研究・研究史の取扱いについて担当する。</p> <p>(35 佐藤真紀/5回) 西洋史学研究の観点から先行研究・研究史の取扱いについて担当する</p> <p>(36 豊岡康史・35 佐藤真紀/5回) (共同) 先行研究・研究史とはなにか(ガイダンス)、先行研究をいかにサーベイするか、及び先行研究を読み返し、位置づけることについて、最後に歴史学研究のトレンドを読む(社会史と海域史)ことについて担当する。</p>	<p>オムニバス方式・共同(一部)</p>
<p>日本語文化総合演習Ⅰ(異文化としての日本語・日本文学)</p>	<p>(概要)日本文学作品を複数点取り上げ、各時代背景に留意しつつ精読する。読解のための注釈作業等に基づいて受講者自身が作成した資料を教材として活用し、日本語を母語としない話者に対して明確かつ効果的なプレゼンテーションを行う。言語面に関しては、日本語母語話者にとって無意識的な日本語問題を、日本語学習者に対して明示的に説明するための日本語分析技術やメタ言語を演習などを通して具体的に学ぶ。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(37 坂口和寛/7回) 外国人学習者の日本語問題に関する分析と指導・説明の技術について担当する。</p> <p>(8 速水香織/6回) 文学作品精読・読解のための注釈作業ならびに教材作成とプレゼンテーションの方法について担当する。</p> <p>(37 坂口和寛・38 速水香織/2回) (共同) ガイダンス、教室と文学の接点構築の観点から行うフィールドワーク(日本近代文学館見学)について担当する。</p>	<p>オムニバス方式・共同(一部)</p>
<p>日本語文化総合演習Ⅱ(古代日本語文献コミュニケーション論)</p>	<p>(概要)授業テーマは「古代日本語文献コミュニケーション論」とする。日本語で書かれた古写本等の古文献を題材として、その解説・読解に関わる諸問題を講ずる。授業理解に基づき、受講者が課題発表で十全な説明ができるようになることを到達目標とする。到達目標達成のため、授業形式は、教員による講義・質問と受講生による質問・回答を往還的に行うアクティブ・ラーニング方式で行う。受講生には課題論文の読み込みや、資料読解・読解の実践を課す。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(7 山田健三担当/7回) 日本語で書かれた古写本等の古文献を題材として、その解説・読解に関わる諸問題を、特に「書記方法(文字)」という視点から扱う。</p> <p>(8 渡邊匡一担当/7回) 日本語で書かれた古写本等の古文献を題材として、その解説・読解に関わる諸問題を、特に「書物の形態」という視点から扱う。</p> <p>(7 山田健三・8 渡邊匡一/1回) (共同) 全15回の授業の概要説明(ガイダンス)を担当する。</p>	<p>オムニバス方式・共同(一部)</p>

<p>英米言語文化総合演習 I (英語学)</p>	<p>(概要)授業では特に以下の点を重視しながら、関連英語文献をみながら読み、その領域の問題に関して英語で議論します。Iは英語学関係を中心とし、主に理論とその主要問題を英語文献読解によって理解し、そこから新テーマを考え発表し議論します。 1 英語圏の言語文化の理解を深める。/ 2 特定のテキストに関して研究テーマを設定し、それが妥当かどうかを判断できる。/ 3 研究テーマのための資料及び資料分析の方法が妥当かどうかを判断できる。/ 4 研究テーマにかかわる先行研究の収集範囲が妥当かどうかを判断できる。/ 5 研究テーマについて考えをまとめ発表し議論できる。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(9 伊藤盡/13回) 英語学研究の諸理論・諸問題を担当する。 (9 伊藤盡・10 杉野健太郎・39 飯岡詩朗/2回) (共同) ガイダンスおよびまとめを共同で担当する。</p>	<p>オムニバス方式・ 共同 (一部)</p>
<p>英米言語文化総合演習 II (英米文学文化)</p>	<p>(概要)授業では特に以下の点を重視しながら、関連英語文献をみながら読み、その領域の問題に関して英語で議論します。Iは英米文学文化研究関係を中心とし、主に理論とその主要問題を英語文献読解によって理解し、そこから新テーマを考え発表し議論します。 1 英語圏の言語文化の理解を深める。/ 2 特定のテキストに関して研究テーマを設定し、それが妥当かどうかを判断できる。/ 3 研究テーマのための資料及び資料分析の方法が妥当かどうかを判断できる。/ 4 研究テーマにかかわる先行研究の収集範囲が妥当かどうかを判断できる。/ 5 研究テーマについて考えをまとめ発表し議論できる。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(10 杉野健太郎/9回) イギリス文学・アメリカ文学の諸問題を担当する。 (39 飯岡詩朗/4回) イギリス映画・アメリカ映画の諸問題を担当する。 (10 杉野健太郎・9 伊藤盡・39 飯岡詩朗/2回) (共同) ガイダンスおよびまとめを共同で担当する。</p>	<p>オムニバス方式・ 共同 (一部)</p>
<p>比較言語文化総合演習 I (散文)</p>	<p>(概要)研究テーマに関する認識を深め、さらに新たな知見を得るために、受講生の専門領域と現在関心を抱いているテーマが、比較論的地平において、多様な言語文化の歴史的変遷のなかにどのように位置付けられるかを検討し、総合的・比較論的に考察する。この授業では特に「散文」および「散文芸術」(小説等)に関する諸問題を取りあげることとし、受講生は各教員の授業に続いて、授業内容と自らの専門領域及び現在関心を抱いているテーマとの関連(接点・類似・差異)を主題にした発表を行い、さらにその発表をめぐる質疑応答を通じて問を深め、新たな認識の構築を試みる。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(15 吉田正明/4回) 全体を統括し、ガイダンスを担当するとともに、特にフランス文学研究の観点から散文にかかわる言語文化の諸問題を扱い、研究の方法・進め方を指導する。 (13 澁谷豊/4回) 特に比較文学研究の観点から散文にかかわる言語文化の諸問題を扱い、研究の方法と進め方を指導する。 (72 葛西敬之/3回) 特にドイツ文学研究の観点から散文にかかわる言語文化の諸問題を扱い、研究の方法と進め方を指導する。 (41 伊藤加奈子/3回) 特に中国語学研究の観点から散文にかかわる言語文化の諸問題を扱い、研究の方法と進め方を指導する。 (15 吉田正明・13 澁谷豊・72 葛西敬之・41 伊藤加奈子/ 1回) (共同) 合評会として受講生との質疑応答をもとに本授業に対する理解度を確認し、参考文献等の補完および学習アドバイスを行うことを担当する。</p>	<p>オムニバス方式・ 共同 (一部)</p>

<p>比較言語文化総合演習Ⅱ (韻文)</p>	<p>(概要)研究テーマに関する認識を深め、さらに新たな知見を得るために、受講生の専門領域と現在関心を抱いているテーマが、比較論的地平において、多様な言語文化の歴史の変遷のなかにどのように位置付けられるかを検討し、総合的・比較論的に考察する。この授業では特に「詩」ないし「韻文」に関する諸問題を取りあげることとし、受講生は各教員の授業に続いて、授業内容と自らの専門領域及び現在関心を抱いているテーマとの関連(接点・類似・差異)を主題にした発表を行い、さらにその発表をめぐる質疑応答を通じて問を深め、新たな認識の構築を試みる。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(15 吉田正明/4回) 全体を統括し、ガイダンスを担当するとともに、特にフランス文学研究の観点から韻文にかかわる言語文化の諸問題を扱い、研究の方法・進め方を指導する。 (13 澁谷豊/4回) 特に比較文学研究の観点から韻文にかかわる言語文化の諸問題を扱い、研究の方法と進め方を指導する。 (72 葛西敬之/3回) 特にドイツ文学研究の観点から韻文にかかわる言語文化の諸問題を扱い、研究の方法と進め方を指導する。 (41 伊藤加奈子/3回) 特に中国語学研究の観点から韻文にかかわる言語文化の諸問題を扱い、研究の方法と進め方を指導する。 (15 吉田正明・13 澁谷豊・72 葛西敬之・41 伊藤加奈子/1回)(共同) 合評会として受講生との質疑応答をもとに本授業に対する理解度を確認し、参考文献等の補完および学習アドヴァイスを行うことを担当する。</p>	<p>オムニバス方式・ 共同(一部)</p>
<p>芸術コミュニケーション総合演習Ⅰ(理論と歴史)</p>	<p>(概要)外国語文献の精読を集中的におこない、芸術文化の諸相を、通時的また共時的に、個々のジャンルと方法に応じて検討し、その現状と課題を明らかにする。音楽については、通時的観点からグローバル化や音楽変容を中心としたトピックが扱われる。身体表現については、世界の舞踊舞台芸術の歴史と現在について批評的視点からの分析・解釈が進められる。美術については、とくに芸術概念の変容と拡張に着目する。 授業全体としては、芸術文化研究の理論的側面の変遷が示される。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(43濱崎友絵/5回) 導入と芸術文化の社会的側面に関する文献読解を担当する。 (42北村明子/5回) 芸術生産とその身体論的側面に関する文献読解を担当する。 (16金井直/5回) 芸術文化の美学的側面に関する文献読解と総括を担当する。</p>	<p>オムニバス方式</p>
<p>芸術コミュニケーション総合演習Ⅱ(個別研究)</p>	<p>(概要)芸術コミュニケーション総合演習Ⅰ(理論と歴史)で得る知見を踏まえつつ、外国語文献の精読をさらに集中的におこない、芸術文化の諸相を、通時的また共時的に、個々のジャンルと方法に応じて検討し、その現状と課題を明らかにする。音楽については、グローバル化やローカリゼーション、ディアスポラなどのトピックがより個別に扱われる。身体表現については、世界の舞踊舞台芸術の現状を批評的視点から捉え、個々の作品の分析・解釈が進められる。美術については、とくに20世紀以後の彫刻・立体作品の制作と受容に着目する。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(16金井直/5回) 導入と美術領域の文献精読を担当する。 (43濱崎友絵/5回) 音楽領域の文献精読と、グローバル・ローカルリサーチを担当する。 (42北村明子/5回) 身体表現領域の文献精読と総括を担当する。</p>	<p>オムニバス方式</p>



哲学思想論実践実習Ⅰ（アカデミックリテラシー）	「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」と題された中教審答申は、「知識集約型社会」の到来を前に、2040年の中等・高等教育を担う未来人材が身につけておくべき「基盤的リテラシー」のあり方を提案している。この授業では、中教審答申の前提をなしているOECDによる「キー・コンピテンシー」の定義を出発点に採用しつつ、その発想を「哲学」という領域に固有の方法と融合させることを試みる。すなわち、現代社会を生きる「21世紀型市民」に必須の「基盤的リテラシー」のあり方を、「哲学を学習するもの」に固有の知的技術や思考の方法との連続性のもとに明確化し、そのことをもって日常的な「哲学」の学習を「現代社会の諸問題に適用可能な実践的知の技法」へと接続することがこの授業では試みられる。	共同
哲学思想論実践実習Ⅱ（イノベーションコンピテンシー）	「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」と題された中教審答申は、「知識集約型社会」の到来を前に、2040年の中等・高等教育を担う未来人材が身につけておくべき「基盤的リテラシー」のあり方を提案している。また、その前提となるOECDの提言は、「変革を起こすコンピテンシー」として、3つの能力——すなわち「新たな価値を想像する力、対立やジレンマを克服する力、責任ある行動をとる力」——を挙げている。 この授業では、OECDによる「変革を起こすコンピテンシー」の定義を出発点に採用しつつ、その発想を「哲学」という領域に固有の方法と融合させることを試みる。すなわち、現代社会を生きる「21世紀型市民」に必須の「変革を起こすコンピテンシー」のあり方を、「哲学を学習するもの」に固有の知的技術や思考の方法との連続性のもとに明確化し、そのことをもって日常的な「哲学」の学習を「現代社会の諸問題に適用可能な実践的知の技法」へと接続することがこの授業では試みられる。	共同
社会学実践演習Ⅰ（社会学の理論と実証）	社会学における〈実証を通じた理論形成〉を志向した方法論の入門書である船橋晴俊『社会学をいかに学ぶか』をテキストに、社会学方法論における理論と実証の関係について把握した上で、実証的研究の手法としての社会調査法の基礎を学び、教員がすでに協力関係を構築している長野県内のフィールドにおいて、地域社会と住民生活を対象とした社会調査（主として聞きとり調査）を経験する。調査によって得られたミクロな住民生活のデータを現代社会学の歴史的文脈に接続して理解・解釈するために、小熊英二編著『平成史』をテキストに用いた演習を行う。これらを通じて、C. W. ミルズの提唱する「社会学的想像力」を習得する。	
社会学実践演習Ⅱ（質的研究法）	社会学における質的社会調査の体系的なテキストである岸他『質的社会調査の方法』を用いて、方法論のレパートリーについて俯瞰した上で、保健医療社会学、教育・労働社会学、都市社会学、文化社会学等の領域社会学における代表的な研究成果の内容的読解と、リサーチ・デザインの批判的検討、質的社会調査の様々な方法論について理解を深めるための演習を実施する。	
文化情報論実践演習Ⅰ（内容分析）	科学技術と人間のかかわりに関して、主として科学哲学や科学論分野で議論される境界設定問題と反証主義や理論負荷性などの主要理論とその応用について基礎文献の読解・発表・ディスカッションを通して理解する。これらを通して科学と倫理や現代社会と関係について多面的な理解を形成した上で、科学コミュニケーションの不全が生じる諸課題（リスクリテラシーやネットリテラシー、フェイク・ニュースなど）をフィールドとして、院生それぞれの問題意識にもとづいて具体的な調査課題を設定し、インターネット上や出版物に蓄積されているテキスト情報を計量的に分析するテキストマイニングの手法を用いて分析し、その成果の発表と議論を行う。これらを通して、科学の境界設定と公共倫理の問題がかかわる科学コミュニケーションのありかたを深く考察するとともに、自然言語処理と統計的解析に必要なプログラミングの技法を習得しながら、膨大な情報の信頼性や妥当性を評価して、現代社会と科学技術に対する倫理的・批判的な思考力を養っていく。	共同

文化情報論実践演習Ⅱ(行動調査)	自社会的推論プロセスをもとにした人の意志決定が、規範的合理性から逸脱してしまう現象は、公的な問題解決から日常的な判断の場までしばしば見られる。これらを統一的に説明する有用なモデルとして、直観的自動的な処理過程(システム1)と合理的意識的な処理過程(システム2)を想定する二重過程理論が広く応用されている。その概要と応用実践について、院生それぞれが文献精読と発表・ディスカッションを行う。その過程で、社会的なリスク事態にヒューリスティック処理や認知的不協和といった自動的な処理過程が影響を与えることを理解する。さらに、こうして習得した二重過程理論の諸知見や仮定を応用し、現代の高度情報化社会におけるリスク事態と、それにかかわる諸問題(消費者問題、SNSとネットのリスク、サブカルチャーなど)を院生それぞれの問題意識から取り上げ、研究対象と質問紙手法によらない行動調査方法を用いてデータ収集と分析を実施し、結果を考察・発表する。これらの中で、概念の潜在連合を利用した潜在連合テスト(IAT)を活用する方法も実践的に理解する。	共同
歴史学実践演習Ⅰ(史学概論・日本史)	史学概論・歴史学の方法論について、受講生の関心にも即しつつ、幅広い視野から問題をとりあげていく。歴史を学ぶことと共に、どのように歴史を伝えるか(教えるか)にも目を配り、歴史学(主として日本史学)という学問がどのように社会と関連するのかを考察していく。 具体的にはすぐれた歴史書を史学史の観点からとりあげ、その方法論や社会的な位置について自らの学問・研究と関わらせながら批判的に検討していく。報告は受講生の分担とし、報告のあり方が成績評価の対象となる。	共同
歴史学実践演習Ⅱ(史学概論・西洋史・東洋史)	20世紀の歴史学に大きな影響を与えた潮流として、アナーラル派歴史学がある。日本においては、このアナーラル学派の独特な形での受容がみられた。その受容のあり方を、独自性の原因となった日本の状況にも目を配りながら、いくつかのテキストを精読することで確認し、今日、西洋史・東洋史を研究するあるいは教えることの意味を考える。	共同
日本文学実践演習Ⅰ(韻文)	人間の文化的活動の一環としてなされる文学作品のうち、韻文学について研究するにあたり、その手法と、研究の前提となる情報収集など、日本文学の基礎的な研究方法を実践的に学ぶことをテーマとする。担当者による講義と受講者による課題発表を往還的に行いながら、受講者が課題発表で十全な説明ができるようになることを到達目標とする。その目標達成のため、授業形式は、教員による講義・質問と受講生による質問・課題発表を往還的に行うアクティブ・ラーニング方式で行う。受講生には課題論文の読み込みや、資料読解・解説の実践を課す。	共同
日本文学実践演習Ⅱ(散文)	古典から近現代までの幅広い時代を取り上げ、受講者各自が任意のテーマを設定し、先行研究の概要・また課題となっている点を見出し、自己の調査に基づいて課題についての資料を作成し、プレゼンテーションを行う。調査に際しては、書籍とともにデータベースの活用方法修得、またフィールドワークを実施する。	共同
日本語学実践演習Ⅰ(古代語)	古代日本語研究の能力を養うため、研究方法を実践的に学ぶことをテーマとする。(なお、ここでいう古代日本語とは、日本語史を古代と近代に二分した場合の古代日本語を指す。)担当者による講義と受講者による課題発表を往還的に行いながら、受講者が課題発表で十全な説明ができるようになることを到達目標とする。その目標達成のため、授業形式は、教員による講義・質問と受講生による質問・課題発表を往還的に行うアクティブ・ラーニング方式で行う。ケーススタディとして『土佐日記』を扱う。受講生には課題論文の読み込みや、資料読解・解説の実践を課す。	

日本語学実践演習Ⅱ（近代語）	近代日本語研究の能力を養うため、研究方法を実践的に学ぶことをテーマとする。（なお、ここでいう近代日本語とは、日本語史を古代と近代に二分した場合の近代日本語を指す。）担当者による講義と受講者による課題発表を往還的に行いながら、受講者が課題発表で十全な説明ができるようになることを到達目標とする。その目標達成のため、授業形式は、教員による講義・質問と受講生による質問・課題発表を往還的に行う アクティブ・ラーニング方式で行う。ケーススタディとして『徒然草』を扱う。受講生には課題論文の読み込みや、資料読解・解説の実践を課す。	
日本語教育学実践演習Ⅰ（言語研究と言語教育）	本授業では、日本語教育学研究で扱われる主要な事象を、テキストの精読や補足的な文献調査を通じて学ぶ。また受講者が準備してきた疑問点や批判的意見を基に討論を行い、日本語教育学研究での研究課題や手法、問題意識について理解を深める。さらに、テキストから得られる研究の知見をふまえて、日本語教育実践や日本語学習指導への応用の可能性を検討する。	
日本語教育学実践演習Ⅱ（第二言語習得・学習）	本授業では、日本語教育の文脈を中心に、第二言語習得論とその研究に関するテキストの精読や補足的な文献調査を行うことで学ぶ。第二言語習得を取り巻く様々な問題について、受講者が準備してきた疑問や批判的意見を基に討論を行い、日本語教育学における第二言語習得研究の研究課題や手法、問題意識について理解を深める。さらに、テキストから得られる研究の知見をふまえ、外国人への日本語指導や日本語学習への援用・実践の可能性を検討する。	
中国語学・文学実践演習Ⅰ（中国文学）	担当教員は中国文学関係の学術論文を講読し、受講生とともに必要な検討を加える。講読対象は斯界の代表的な学術誌掲載論文であり、年一回発行の同誌には先秦から近現代に至るまで、日本漢文学も含めた研究成果がバランスよく発表される。そこで最新号を中心に、受講生の方向性も加味しつつ数編の論文を選び、講読によって内容や論者の主張を理解したうえで、討論形式により批判的に検討を行なう。	共同
中国語学・文学実践演習Ⅱ（現代中国語学）	最初に受講生と授業で取り上げる中国語学的トピックについて話し合い、調査する為の指導をしつつ、受講生本人からのアイデアは勿論、教員からの分析視点を加え討論することで、最終的に語学の興味ある具体的な問題についてレポートの形にまとめあげます。	共同
比較文学実践演習Ⅰ（詩）	比較文学の観点から詩というジャンルを研究する方法を実践的に学び、専門的研究を行うのに必要な能力を養う。教員による「解説」と受講者による「課題発表」を往還的に行い、受講者が文献の分析とディスカッションを積み重ねながら課題発表で十全な説明ができるようになり、その成果をレポートにまとめられるようになることを到達目標とする。その目標達成のため、授業形式は、教員による解説・質問と受講生による質問・課題発表を往還的に行うアクティブ・ラーニング方式で行う。ケーススタディとして 古代ギリシア・ローマ抒情詩及びフランスの近代詩人アルチュール・ランボーの『イルミネーション』を扱う。受講生には課題論文の読み込みや、資料読解の実践を課す。	共同
比較文学実践演習Ⅱ（小説）	比較文学の観点から小説というジャンルを研究する方法を実践的に学び、専門的な研究を行うのに必要な能力を養う。教員による「解説」と受講者による「課題発表」を往還的に行い、受講者が文献の分析とディスカッションを積み重ねながら課題発表で十全な説明ができるようになり、その成果をレポートにまとめられるようになることを到達目標とする。その目標達成のため、授業形式は、教員による解説・質問と受講生による質問・課題発表を往還的に行うアクティブ・ラーニング方式で行う。ケーススタディとしてアプレーユス『変身物語』及び現代作家ジャン・ルオーの『偉人伝』を扱う。受講生には課題論文の読み込みや、資料読解の実践を課す。	共同

フランス語学・フランス文学実践演習Ⅰ（基礎的方法論）	フランス文学の基礎的能力を養うため、基礎的研究方法を実践的に学ぶことをテーマとする。担当者による講義と受講者による課題発表を往還的に行いながら、受講者が課題発表で十全な説明ができるようになることを到達目標とする。その目標達成のため、授業形式は、教員による講義・質問と受講生による質問・課題発表を往還的に行うアクティブ・ラーニング方式で行う。ケーススタディとしてボードレール『悪の華』およびバルザック『ゴリオ爺さん』を扱う。受講生には課題論文の読み込みや、資料読解・解説の実践を課す。	共同
フランス語学・フランス文学実践演習Ⅱ（発展的方法論）	フランス文学の発展的能力を養うため、発展的研究方法を実践的に学ぶことをテーマとする。担当者による講義と受講者による課題発表を往還的に行いながら、受講者が課題発表で十全な説明ができるようになることを到達目標とする。その目標達成のため、授業形式は、教員による講義・質問と受講生による質問・課題発表を往還的に行うアクティブ・ラーニング方式で行う。ケーススタディとしてヴェルレーヌ『言葉なき恋歌』およびフローベール『ボヴァリー夫人』を扱う。受講生には課題論文の読み込みや、資料読解・解説の実践を課す。	共同
ドイツ語学・ドイツ文学実践演習Ⅰ（ドイツ語学研究）	本授業では、ドイツ語学・ドイツ文学研究における基本的な研究方法を実践的に学ぶことを目的とする。一次文献、二次文献を批判的に読解する能力を涵養し、様々な方法論を検討する。発表、レポートにおいてより多面的に思考することで、基礎的な方法論を基に、実際の分析・解釈への応用方法・手段を見つけ出すことを目標とする。その目的達成のために、授業は教員による講義・質問と受講生による課題発表・質問を往還的に行うアクティブ・ラーニングの形式をとる。ドイツ語学研究の基礎的な研究方法について理解し、それに基づいて実際のドイツ語テキストの分析・解釈をおこなっていく。	共同
ドイツ語学・ドイツ文学実践演習Ⅱ（文学研究方法論）	ドイツ語学・ドイツ文学研究における基本的な研究方法を実践的に学ぶことを目的とする。受講生は一次文献、二次文献を批判的に読解する能力を涵養すると同時に、様々な方法論を検討することで、発表、レポートにおいてより多面的に思考し、説得力を有した立論により言語化できるようになることが、到達目標となる。その目的達成のために、授業は教員による講義・質問と受講生による課題発表・質問を往還的に行うアクティブ・ラーニング形式をとる。本講義ではスイスの作家ローベルト・ヴァルザーの長編小説『盗賊（Der Rauber, 1925年）』をケーススタディとして扱う。受講生には課題論文の読み込みや、資料読解・読解の実践を課す。	共同
英語学実践演習Ⅰ（英語学概論）	通時的言語研究と共時的言語研究の境界域を学ぶことで、どちらか一方に偏るのではなく、英語を総合的に研究するアプローチを学びます。特にreference books（辞書、辞典、ハンドブック、コンコーダンス等）の使い方をより専門的に行うことで、研究者としての基礎を確立します。	
英語学実践演習Ⅱ（英語学方法論研究）	修論執筆に向けて、より専門的な演習活動を行い、最先端の英語学研究によって自説を補強・補完することで、完成度の高い研究を目指す。	
英語文学実践演習Ⅰ（イギリス文学文化）	本授業では、特に以下の点を重視しつつ検討かつ議論しながら、イギリス文学文化の諸問題を見定め、テーマを決め、資料を集め、構想と章立てを決め、実際に短い英語の論文を書き、みなで評価し、リライトを行います。 1 英語圏の言語文化の理解を深める。／2 特定のテキストに関して研究テーマを設定し、それが妥当かどうかを判断できる。／3 研究テーマのための資料及び資料分析の方法が妥当かどうかを判断できる。／4 研究テーマにかかわる先行研究の収集範囲が妥当かどうかを判断できる。／5 研究テーマについて考えをまとめ発表し議論できる。	共同

		英語文学実践演習Ⅱ（アメリカ文学文化）	本授業では、特に以下の点を重視しつつ検討かつ議論しながら、アメリカ文学文化の諸問題を見定め、テーマを決め、資料を集め、構想と章立てを決め、実際に短い英語の論文を書き、みなで評価し、リライトを行います。 1 英語圏の言語文化の理解を深める。／2 特定のテキストに関して研究テーマを設定し、それが妥当かどうかを判断できる。／3 研究テーマのための資料及び資料分析の方法が妥当かどうかを判断できる。／4 研究テーマにかかわる先行研究の収集範囲が妥当かどうかを判断できる。／5 研究テーマについて考えをまとめ発表し議論できる。	共同
		芸術コミュニケーション実践演習Ⅰ（リサーチ・ベース）	受講者が独自の視点と問題意識に支えられた研究活動を進め、その研究成果をまとめるための方法を、課題発見・解決モデルをベースとするアクティヴ・ラーニング方式で、理論・実践の両面において教授する。導入的なテーマ（コア・コンセプト）を「境域の芸術」とし、芸術をめぐる横断的・総合的視点を重視する。	共同
		芸術コミュニケーション実践演習Ⅱ（パブリケーション・ベース）	芸術コミュニケーション実践演習（リサーチ・ベース）の学修成果を基盤に、受講者独自の視点と問題意識に支えられた研究活動をアクティヴ・ラーニング方式でひきつづき指導・支援し、その研究成果を公表するための方法を、理論・実践の両面において教授する。キー・コンセプトは「コミュニケーションとハイブリディティ」。開かれた知と他者理解をあわせて実現する芸術をめぐる学の可能性について、実践的に考察する。	共同
専門 発展 科目 群	ア ク シ ョ ン リ サ ー チ 系 科 目	哲学思想論ARI（哲学的対話の方法）	(概要)「意見を発信し、議論すること」および「実り多い討論の場を実現するために必要な技術」の習得を目指す。より具体的には、以下の内容に重点をおいた授業を行う。 1) ファシリテーションの基本となる技術の習得。（「批判的思考」の練習から、発声の仕方、座席配置の仕方、目線の取り方等の実践的技術までを含む。） 2) 具体的テーマを設置したうえでの「哲学的対話」の実践的練習。 3) 「かならずしも哲学・倫理学を専門としない」生徒・市民にも積極的に参加してもらえるテーマの選定・準備の仕方。  (オムニバス方式／全15回)  (1 篠原成彦／8回) 情報収集の仕方とその哲学的対話への活用を担当する。 (3 護山真也／6回) 哲学カフェ型対話の実践を担当する。 (1 篠原成彦・3 護山真也／ 1回)（共同） 批判的思考と議論の作法について担当する。	オムニバス方式・ 共同（一部）
		哲学思想論ARⅡ（哲学的対話の実践）	(概要)本授業の受講生は、以下の実践的取組みについて、i)その具体的な企画案をたて、ii)イベントの告知・広報活動を行い、iii)当日の運営・管理の全般を担当する。 1. 信州大学所属の学部生・大学院生を対象としたスピーカーズ・コーナーの企画・開催・運営。 2. 信州大学所属の学部生・大学院生を対象とした哲学カフェの企画・開催・運営。 3. 学外の方々を対象とした哲学的対話イベントの企画・開催・運営 (オムニバス方式／全15回)  (2 早坂俊廣／5回) スピーカーズコーナーの開催に関わる企画と実践を担当する。 (31 三谷尚澄／10回) 哲学カフェの開催に関わる企画と実践を担当する。	オムニバス方式

<p>文化情報論・社会学AR I (調査企画設計)</p>	<p>(概要)KahnemanとTverskyによって提唱されたプロスペクト理論(Prospect theory)は、確率的に不確実な状況下での意思決定についての記述モデルとして、人の行動と社会現象を理解する上で重要な枠組みを提供している。参加者はまず、指定テキストを理解した上で、この理論を応用した先行研究を選定して精読発表とディスカッションを行い、十分に認識を深める。その上で、この理論を応用した具体的な調査対象として、地方活性化、文化共生、環境、災害対策といった現代の地域社会の共通課題を選定した上で、プロスペクト理論が説明する利得損失場面での価値関数や参照点移動、フレーミング効果などの概念が関連する公共的意思決定についての院生共同調査研究を実施する。具体的には、確率値が数値として与えられる選択場面での意思決定を測定変数とした仮説構成を行い、調査票の作成、サンプリングと実査、調査データ整理、比較的簡単な量的分析とグラフ作成、質的な分析に基づく報告ペーパーの作成などを行う。また、調査にあたっては、アクションリサーチの主旨に照らし、自治体や公共組織などとの関係を院生自身が企画し実現する。本実習への参加のためには学部卒業レベルの推測統計学・多変量解析などの理解と、統計分析を実行できる能力を習得していることを必要とする。意思決定理論にもとづく社会調査データの応用的な分析と価値のある情報発信に取り組む文化情報論社会学ARII(総合調査法)とセットで受講することを推奨する。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(4 菊池聡/4回) 意思決定理論の詳説と、データの分析、可視化表現の過程について担当する。</p> <p>(33 茅野恒秀/3回) 地域社会の現状と課題把握をふまえた調査設計について担当する。</p> <p>(34 水原俊博/4回) 実査からデータ集計・分析の過程について担当する。</p> <p>(32 佐藤広英/2回) 仮説から実査に至るまでの過程について担当する。</p> <p>(4 菊池聡・33 茅野恒秀・34 水原俊博・32 佐藤広英/2回) (共同) 社会調査を用いた実習の概要及び調査の振り返りと反省会を行い調査の企画設計に関する認識を深めることについて担当する。</p>	<p>オムニバス方式・ 共同(一部)</p>
-----------------------------------	--	----------------------------

<p>文化情報論・社会学AR II (総合調査法)</p>	<p>(概要)前期の文化情報論社会学AR I (調査企画設計)において、意思決定にかかわる諸理論の概要を理解し、地域社会の課題に関する調査研究を完了していることを前提とする。この調査データを利用して、新たにLibertarian PaternalismとNudgeの概念をもとに社会課題への具体的発信を行うために多変量解析など応用的な複数の分析手法を用いて析考察する。中でも前期調査で見いだされた社会的変数の群間差を埋めるために、Nudgeによる働きかけがどの程度有効かという観点から、追加社会調査や行動分析などの補足調査も実施し、総合的な調査結果としてまとめるものとする。この成果をもとに、自治体や機関と連携して地域社会に向けてのワークショップやフォーラムなどのイベント企画など社会的にNudgeの応用を促進する価値のある情報発信を行う。</p> <p>本実習への参加のためには学部卒業レベルの推測統計学・多変量解析などの理解と、統計分析を実行できる能力を習得しており、文化情報論社会学AR I (調査企画設計)に参加していることを必要とする。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(4 菊池聡/3回) 調査テーマの理論的背景、および情報発信の企画と実施の過程について担当する。</p> <p>(33 茅野恒秀/3回) 調査方針の立案と量的データを補う質的データの収集法について担当する。</p> <p>(34 水原俊博/3回) 多変量解析の手法について担当する。</p> <p>(32 佐藤広英/3回) 情報発信の実施過程について担当する。</p> <p>(4 菊池聡・33 茅野恒秀・34 水原俊博・32 佐藤広英/3回) (共同) 社会調査の応用分析と情報発信の方針について及び調査の振り返りと反省会を行い、認識を深めることについて担当する。</p>	<p>オムニバス方式・ 共同 (一部)</p>
<p>歴史学AR I (史料調査法・ 日本史)</p>	<p>(概要)日本の地域史料の解説を通じて、歴史研究に必要な古文書解説の技術を習得することを目標とする。具体的には、古文書読解力を獲得し、古文書整理方法の基礎知識を身につけることを目指す。また、信州大学日本史研究室所蔵の古文書を利用して、現状記録・古文書解説・古文書目録編成・古文書データベース入力・マイクロカメラ撮影などの古文書整理の実務について具体的に学んでいく。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(6 山本英二/7回) 日本史研究における史料調査法の技法について担当する。</p> <p>(5 大串潤児/5回) 日本史研究におけるデータベースの構築・活用について担当する。</p> <p>(6 山本英二・5 大串潤児/3回) 共同 史料調査とは何か(オリエンテーション)、テキスト講読:古文書学と記録史科学及びまとめについて担当する。</p>	<p>オムニバス方式・ 共同 (一部)</p>

<p>歴史学AR II (史料調査法・西洋史・東洋史)</p>	<p>(概要)歴史学における史料と史料調査のあり方について、受講生の関心にも即しつつ、幅広い視野から問題をとりあげていく。歴史を学ぶことと共に、どのように歴史を伝えるか(教えるか)にも目を配り、外国史にかかわる歴史学(おもに中国史・フランス史)という学問がどのように社会と関連するのかを考察していく。具体的には史料取扱においてメルクマールとなる研究書をとりあげ、その方法論や社会的な位置について自らの学問・研究と関わらせながら批判的に検討していく。調査・報告は受講生の分担とし、報告内容とプレゼンテーションのあり方が成績評価の対象となる。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(36 豊岡康史/7回) 東洋史学研究の観点から史料調査のあり方について担当する。 (35 佐藤真紀/6回) 西洋史学研究の観点から史料調査のあり方について担当する。 (36 豊岡康史・35 佐藤真紀/2回) (共同) 歴史学の根幹としての史料と史料調査(ガイダンス)及び収集した史料の整理と利用について担当する。</p>	<p>オムニバス方式・共同(一部)</p>
<p>日本語文化AR I (コミュニケーションツールとしての日本語・日本文学)</p>	<p>(概要)翻訳され、海外に発信された古典作品と原典との比較を通して効果的な情報発信の方法をリサーチする。またフィールドワークとして、海外への日本文化発信の拠点である国文学研究資料館訪問を実施する。言語面については、日本語教育用の教材や日本語試験の分析を通して、外国人日本語母語話者と外国人の日本語知識を対比的に学び、日本語学習者に対して明示的に説明するための日本語分析技術やメタ言語を、演習などを通して具体的に学ぶ。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(37 坂口和寛/7回) 外国人日本語学習者が要する日本語・日本事情の問題とその教育方法について担当する。 (38 速水香織/6回) 海外に発信された古典作品と原典との比較分析・情報発信の方法について担当する。 (37 坂口和寛・38 速水香織/2回) (共同) 初回ガイダンス(外国語としての日本語、外国文学としての日本文学について)及び第15回ディスカッション(第14回のフィールドワークを終えて—日本語の文化的蓄積とその発信について)を担当する。</p>	<p>オムニバス方式・共同(一部)</p>
<p>日本語文化AR II (近代を中心とする日本語文献コミュニケーション論)</p>	<p>(概要)授業テーマは「近代を中心とする日本語文献コミュニケーション論」とする。近代日本語で書かれた文献を題材として、その解説・読解に関わる諸問題への対処方法を実習的に学ぶ。授業理解に基づき、受講者が課題発表で十全な説明ができるようになることを到達目標とする。その目標達成のため、授業形式は、教員による講義・質問と受講生による質問・回答を往還的に行うアクティブ・ラーニング方式で行う。受講生には課題論文の読み込みや、資料読解・読解の実践を課す。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(7 山田健三/7回) 近代日本語で書かれた文献を題材として、その解説・読解に関わる諸問題への対処方法を、特に「言語思想」や「印刷技術」の問題を視点として、実習的に学ばせる。 (8 渡邊匡一/7回) 近代日本語で書かれた文献を題材として、その解説・読解に関わる諸問題への対処方法を、特に「文学史」「古典」といった概念の形成問題を視点として、実習的に学ばせる。 (7 山田健三・8 渡邊匡一/1回) (共同) ガイダンス(全15回の概要説明)を共同で担当する。</p>	<p>オムニバス方式・共同(一部)</p>



<p>英米言語文化AR I (英語学)</p>	<p>(概要)本授業は、アクションリサーチ系科目である。授業では特に以下の点を重視しながら、主に英語学分野から自分が選んだ問題やテキストについて英語でプレゼンテーションを行い、みなで質問し、修正し、国際学会で発表できるように訓練を行う。 1 英語圏の言語文化の理解を深める。／2 特定のテキストに関して研究テーマを設定し、それが妥当かどうかを判断できる。／3 研究テーマのための資料及び資料分析の方法が妥当かどうかを判断できる。／4 研究テーマにかかわる先行研究の収集範囲が妥当かどうかを判断できる。／5 研究テーマについて考えをまとめ発表し議論できる。</p> <p>(オムニバス方式／全15回)</p> <p>(9 伊藤盡／9回) 英語学関連の授業を担当する。 (9 伊藤盡・10 杉野健太郎・39 飯岡詩朗／6回) (共同) ガイダンス、まとめ、フォローアップを共同で担当する。</p>	<p>オムニバス方式・共同 (一部)</p>
<p>英米言語文化AR II (英米文学文化)</p>	<p>(概要)本授業は、アクションリサーチ系科目である。授業では特に以下の点を重視しながら、主に英米文学文化分野から自分が選んだ問題やテキストについて英語でプレゼンテーションを行い、みなで質問し、修正し、国際学会で発表できるように訓練を行う。 1 英米文学の理解を深める。／2 特定のテキストに関して研究テーマを設定し、それが妥当かどうかを判断できる。／3 研究テーマのための資料及び資料分析の方法が妥当かどうかを判断できる。／4 研究テーマにかかわる先行研究の収集範囲が妥当かどうかを判断できる。／5 研究テーマについて考えをまとめ発表し議論できる。</p> <p>(オムニバス方式／全15回)</p> <p>(10 杉野健太郎／6回) プレゼンテーション能力や方法と、大学研究について担当する。 (39 飯岡詩朗／3回) プレゼンテーション能力や方法と、映画研究について担当する。 (10 杉野健太郎・39 飯岡詩朗・9 伊藤盡／6回) (共同) ガイダンス、まとめ、プレゼンテーション能力や方法、フォローアップを共同で担当する。</p>	<p>オムニバス方式・共同 (一部)</p>
<p>比較言語文化AR I (多文化交流サロン)</p>	<p>(概要)受講生は、担当教員の講義を聴くと共に、自らも発表を行い、ディスカッションにより、専門領域と現在関心を抱いているテーマが現代社会との間にどのような関係を有しているかを考察すると共に、それらが、古代から現代に至る比較論的地平において、文化的・社会論的な発展過程のなかにどのように位置付けられるかを検討し、文学、言語、思想、社会等の多角的な視点から、実際のイベントを企画立案し、実現することを義務付けられる。イベント開催の終了後は、レポートにより発表する。</p> <p>(オムニバス方式／全15回)</p> <p>(14 野津寛／5回) 西洋古典学の立場から比較言語文化について担当する。また、主担当として全体の統括とガイダンス・多文化交流サロンの準備を担当する。 (11 氏岡真士／4回) 中国文学の立場から比較言語文化について担当する。また、全体の統括とガイダンス・多文化交流サロンの準備を担当する。 (40 磯部美穂／4回) ドイツ文学の立場から比較言語文化について担当する。また、全体の統括とガイダンス・多文化交流サロンの準備を担当する。 (14 野津寛, 11 氏岡真士, 40 磯部美穂, 12 鎌田隆行／2回) (共同) 全体の統括とガイダンス・多文化交流サロンの準備を担当する。</p>	<p>オムニバス方式・共同 (一部)</p>

<p>比較言語文化ARⅡ(外国語サロン)</p>	<p>(概要)受講生は、担当教員の講義を聴くと共に、自らも発表を行い、ディスカッションにより専門領域と現在関心を抱いているテーマが現代社会との間にどのような関係を有しているかを考察すると共に、それらが、古代から現代に至る比較論的地平において、文化的・社会論的な発展過程のなかにもどのように位置付けられるかを検討し、文学、言語、思想、社会等の多角的な視点から実際のイベントを企画立案し、実現する。イベント開催の終了後は、レポートにより発表する。</p> <p>(オムニバス方式／全15回)</p> <p>(14 野津寛／3回) 西洋古典学の立場から比較言語文化について担当する。また、主担当として全体の統括とガイダンス・外国語サロンの準備を担当する。</p> <p>(11 氏岡真士／4回) 中国文学の立場から比較言語文化について担当する。</p> <p>(12 鎌田隆行／4回) フランス文学(散文)の立場から比較言語文化について担当する。</p> <p>(14 野津寛, 11 氏岡真士, 40 磯部美穂, 12 鎌田隆行/ 4回) (共同) 全体の統括とガイダンス・外国語サロンの準備を担当する。</p>	<p>オムニバス方式・共同(一部)</p>
<p>芸術コミュニケーションARⅠ(創作と芸術実践)</p>	<p>(概要)芸術文化の諸相を、共時的に、多分野のインターフェイスとして捉えるためのリサーチ。フィールドリサーチや学外プロジェクトの実施、あるいは芸術系イベント・機関における参与観察を中心に、その準備とコミュニケーション実践、成果の分析を授業のコアカリキュラムとする。芸術の表現・鑑賞経験にとどまらず、その社会的基盤や機能に対する理解の深化をめざすアクティブな授業。本授業では創作サイドへのアプローチを重視する。</p> <p>(オムニバス方式／全15回)</p> <p>(43濱崎友絵／5回) 導入とリサーチテーマの検討・決定を担当する。</p> <p>(42北村明子／5回) リサーチ方法の検討・決定を担当する。</p> <p>(16金井直／5回) リサーチの実施と総括を担当する。</p>	<p>オムニバス方式</p>
<p>芸術コミュニケーションARⅡ(芸術実践と展開)</p>	<p>(概要)芸術文化の諸相を、共時的に、多分野のインターフェイスとして捉えるためのリサーチ。芸術コミュニケーションAR(創作と芸術実践)の成果ないし課題を踏まえつつすすめる。フィールドリサーチや学外プロジェクトの実施、あるいは芸術系イベント・機関における参与観察を中心に、その準備と、成果の分析を授業のコアカリキュラムとする。芸術の表現・鑑賞経験にとどまらず、その社会的基盤や機能に対する理解の深化をめざすアクティブな授業。本授業ではとくに組織・支援・受容サイドへのアプローチを重視する。</p> <p>(オムニバス方式／全15回)</p> <p>(43濱崎友絵／5回) 導入とリサーチテーマの検討・決定を担当する。</p> <p>(42北村明子／5回) リサーチ方法の検討・決定を担当する。</p> <p>(16金井直／5回) リサーチの実施と総括を担当する。</p>	<p>オムニバス方式</p>

人間文化学分野 発展科目	哲学思想論研究Ⅰ（心と科学）	The Stanford Encyclopedia of Philosophy 所収の解説論文を用いて、心の哲学と科学哲学における知見を身につけながら、受講者全員で問題を検討します。2回目以降は、担当者による報告とディスカッションのサイクルを繰り返し、8回目には前半（心の哲学）の、15回目には後半（科学哲学）の重要事項を確認します。	隔年
	哲学思想論研究Ⅱ（言語と形而上学）	The Stanford Encyclopedia of Philosophy 所収の解説論文を用いて、言語哲学と形而上学における知見を身につけながら、受講者全員で問題を検討します。2回目以降は、担当者による報告とディスカッションのサイクルを繰り返し、8回目には前半（言語哲学）の、15回目には後半（形而上学）の重要事項を確認します。	隔年
	哲学思想論研究Ⅲ（西洋哲学）	西洋哲学史上の重要文献を5冊読破し、各自の読解に基づいて原稿用紙15枚程度のレポートを計5本作成したうえで、個別にチュートリアル形式の指導（計5回）を行う。受講希望者は、初回のオリエンテーションにかならず参加すること。	隔年
	哲学思想論研究Ⅳ（現代哲学）	「芸術」や「美」と「哲学」の関係をテーマとする最先端の英語文献（今年度は、Alva Noe, &quot;StrangeTools: Art and Human Nature&quot;）を講読し、「哲学的美学」の最前線における知識を修得するとともに、芸術や美をめぐって自発的に思考するための土台を構築することを目指す。ただし、完全な「上級者向け」授業である。この授業を受講する生徒は、それ相応の覚悟をもって登録を行うこと。	隔年
	哲学思想論研究Ⅴ（比較思想の理論）	認識論・存在論・時間論・宗教思想に関する比較思想の学術書や論文を講読します。毎回、担当を決めて解説・分析結果を報告してもらい、それを全員で検討し、内容に関して討議を行います。また、各受講者の研究関心に基づくプレゼンテーションも行います。	隔年
	哲学思想論研究Ⅵ（比較思想の方法）	英文で書かれた、認識論・存在論・時間論・宗教思想に関する比較思想研究の学術書や論文を講読し、その方法論の課題をまとめます。毎回、担当を決めて解説・分析結果を報告してもらい、それを全員で検討し内容に関して討議を行います。また、各受講者の研究関心に基づくプレゼンテーションも行います。	隔年
	哲学思想論研究Ⅶ（中国思想）	中国思想の原典およびそれを比較哲学的な視点から論じた先行研究を講読します。毎回、担当を決めて解説・分析結果を報告してもらい、それを全員で検討し、内容に関して討議を行います。また、各受講者の研究関心に基づくプレゼンテーションも行います。このような研鑽を通して、哲学を实践する姿勢や哲学史に関する知識や見識を身につけることとなります。	隔年
	哲学思想論研究Ⅷ（東洋思想）	東洋思想の原典およびそれを比較哲学的な視点から論じた先行研究を講読します。毎回、担当を決めて解説・分析結果を報告してもらい、それを全員で検討し、内容に関して討議を行います。また、各受講者の研究関心に基づくプレゼンテーションも行います。このような研鑽を通して、哲学を实践する姿勢や哲学史に関する知識や見識を身につけることとなります。	隔年
	社会学研究Ⅰ（社会学理論構築法）	経験科学としての社会学方法論の、とくに理論形成の側面について論じた古典的文献であるW. フラスのThe Logic of Science in Sociology（邦訳『科学論理の社会学』）をテキストに、社会学理論の構造と実証研究との関係を講義する。次いで、社会学の良質な数例の研究を取り上げ、その科学的手続きの妥当性と現実社会へのインプリケーションについて学ぶ。終盤では、P. ブルデューのLa Distinctionの問題設定と方法論を英国で検証したT. ベネットらによるCulture, Class, Distinction（邦訳『文化・階級・卓越化』）をテキストに、最新の研究成果について演習する。	隔年
社会学研究Ⅱ（環境・地域社会学）	環境社会学、地域社会学の領域における代表的な実証研究の蓄積を俯瞰し、受講生がオリジナリティのある研究を実施するために必要な、研究対象の選定と主題の構成の相互関係、また実証と理論の相互関係について経験的に理解する。第一に、被害構造論、受益圏・受苦圏論、生活環境主義、社会的ジレンマ論の4つの理論の形成過程を把握し、これら理論に対する批判的検討を行っている文献を確認しつつ、その意義と限界を把握する。第二に、環境社会学、地域社会学において多く参照されている論文9編を取り上げ、それらのリサーチデザインを批判的に検討する。	隔年	

文化情報論研究Ⅰ（批判的思考）	広い視野に立って現代の社会について主体的に考察し、理解を深めるための重要なスキルとしての批判的思考（クリティカルシンキング）の知識と技術を向上させていく。その素材として、科学的主張を装って現代の社会に流布される疑似科学(pseudoscience)に見られる情報リテラシーの欠如と非合理的思考の実態をとりあげる。批判的思考の疑似科学と基本的な文献を読み解き、そこから自分の問題意識と広い視野をもって解決すべき課題を設定し、学生自ら考察を深めその回答を見いだしていく。	隔年
文化情報論研究Ⅱ（科学的懐疑論）	現代の社会において、実証的なエビデンスを伴って主張されるさまざまな言説の妥当性を検証し、知識の確実性を評価する科学的懐疑論(scientific skepticism)の考え方を習得する。その対象として超常信奉(paranormal belief)などの非合理的思考とその主張に着目し、広い視野に立って現代の社会を流れる情報について主体的に考察する重要なスキルとしての批判的思考（クリティカルシンキング）の知識と技術を向上させていく。これらの目標のもとに、科学的懐疑主義の基本的な文献を読み解き、そこから自分の問題意識と広い視野をもって解決すべき課題を設定し、学生自ら考察を深めその回答を見いだしていく。	隔年
文化情報論研究Ⅲ（多変量解析）	上記の目標を達成するため、本授業では、記述・推測統計の基本的な理解を簡単に確認した後、おもに分散分析、重回帰分析、ロジスティック回帰分析、因子分析、主成分分析、コレスポンデンス分析について、実習形式で取り組む。そこでは既存の社会調査データをソフトウェアSPSS, R, あるいはHADを用いて分析する。また、本授業では取り上げる各分析についてレポートを課すとともに、最終的には仮説・分析モデルを設定し、データ分析によって検討した結果の発表を行う。	隔年
文化情報論研究Ⅳ（消費行動）	消費社会学における近年の研究成果を、学生が修士論文で取り組んでいる研究を念頭におきながら批判的に検討し、現代の消費行動・文化の様態について社会学視点から理解を深める。それによって、学生は現代社会の趨勢に対して批判的に問題分析する能力を身につける。その目標を達成するため、本授業では、消費行動・文化に関する近年刊行された国内外の文献を検討する。そこでは消費に関連する領域、たとえば、観光、余暇、メディア文化も扱い、さらに、文化社会学、メディア社会学など社会学の他分野はもちろん、経営学、思想・批評、文化研究における消費研究文献も扱う。また、本授業では、こうした文献のサーベイとともに、学生自身に取り組んでいる修士論文の研究経過・結果に関する発表も行う。	隔年
文化情報論研究Ⅴ（社会的行動）	人間は「社会的動物」と言われ、人間は他者、集団、社会との関係性の中で生活をしてきた。この授業では、人間の社会的行動に関わる現象（例えば、自己、対人関係、集団力学）についての新聞記事や文献を購読し、受講者とのディスカッションを通して、心理学分野の理論や概念、代表的な研究手法を習得すること、諸問題を客観的・学問的に解明し、独自に理論を構築する能力や仮説を検証する社会的応用能力を身につけることを中心的な課題とする。なお、本授業への参加のためには、学部卒業レベルの推測統計学・多変量解析などを理解していることを必要とする。	隔年
文化情報論研究Ⅵ（メディアコミュニケーション）	我々は、スマートフォンやテレビ・ゲームなどを用いたメディアコミュニケーションを行っている。この授業では、メディアコミュニケーションに関わる諸問題（例えば、ネット依存、ネットいじめ）に関する新聞記事や文献を購読し、受講者とのディスカッションを行う。本授業を通して、メディアコミュニケーションに関する理論や概念、代表的な研究手法を習得すること、諸問題を客観的・学問的に解明し、独自に理論を構築する能力や仮説を検証する社会的応用能力を身につけることを中心的な課題とする。なお、本授業への参加のためには、学部卒業レベルの推測統計学・多変量解析などを理解していることを必要とする。	隔年
日本史研究Ⅰ（日本近世史研究）	近世日本における国家の特徴は、兵農分離を経て武士の都市集住が実現し、地域はイエを基本単位とした村や町といった社会集団によって構成されていることにある。そこで近世日本史、なかでも国家論に関わる代表的な先行研究を講読して、研究史を理解し、批判的に議論していく。	隔年

日本史研究Ⅱ（日本近世史料論）	近世日本における地域社会の構造について、信州を事例として分析・検討する。具体的には日本史近世史の地域社会論に関する学術図書・論文の講読、『長野県史』をはじめとする史・資料集の講読をおこない、史料読解にもとづく新たな近世史像の構築作業を進める。	隔年
日本史研究Ⅲ（日本近代史研究）	現代史における主要な研究業績を検討し、それぞれの時代の専門性および「現代史における地域」「世界史的視野のなかの日本史」という観点に立ちつつ、人びとの歴史をめぐるさまざまな諸活動を意識して論点を作る。方法論もふくめて代表的な研究を取り上げ、内容を吟味した上で、その分析手法や分析結果について批判的に検討し、同時に歴史教育として実践する場合の論点を議論する。内容の検討者と、分析手法・分析結果の批判的検討についてはそれぞれ受講者に担当を振り分け、報告することを求める。報告のあり方が、成績評価の対象となる。	隔年
日本史研究Ⅳ（日本現代史研究）	現代史における主要な研究業績を検討し、それぞれの時代の専門性および「現代史における地域」「世界史的視野のなかの日本史」という観点に立ちつつ、人びとの歴史をめぐるさまざまな諸活動を意識して論点を作る。方法論もふくめて代表的な研究を取り上げ、内容を吟味した上で、その分析手法や分析結果について批判的に検討し、同時に歴史教育として実践する場合の論点について議論する。内容の検討者と、分析手法・分析結果の批判的検討についてはそれぞれ受講者に担当を振り分け、報告することを求める。報告のあり方が、成績評価の対象となる。	隔年
東洋史研究Ⅰ（アジア近世・近代史）	近年刊行された、タグリャコツォ他編『循環する華人、資本、商品』（2011）、村上衛『海の近代中国』（2013）、李伯重『銃と帳簿』（2017）などの、中国と東南アジア、あるいは世界経済との関係についての研究の内容を、受講生で分担して検討し、その上でそれぞれの研究の研究史上における位置づけを確認し、受講生自身の研究テーマとの比較・連関についてプレゼンテーションを行う。	隔年
東洋史研究Ⅱ（中国近世・近代史）	近年刊行された、フォン・グラン『中国経済史：古代から19世紀まで』（2016）、呉承明『中国的現代化：市場と社会』（2001）、岡本隆司編『中国経済史』（2013）などの、中国経済史についての研究を、受講生で分担して検討し、その上でそれぞれの研究の研究史上における位置づけを確認し、受講生自身の研究テーマとの比較・連関についてプレゼンテーションを行う。	隔年
西洋史研究Ⅰ（経済）	フランスは近世から近代への時期に、経済活動における「自由」原則を確立し、資本主義的な発展を遂げたといわれる。しかし、この時代の経済政策およびその実態は、それほど単純なものではない。教える側も、その複雑な経緯を踏まえておくことが必要である。文献をもとに、その経緯を辿りながら、この時代の経済を再考する。	隔年
西洋史研究Ⅱ（社会）	近年の研究において、周縁世界に住む人々、つまりアウトロー社会の人々に関する作品が発表されたことで、ヨーロッパ近世・近代の社会に対する解釈は大きく変化した。この変化を理解しておくことが、研究にも教育にも必要である。海の周縁社会に焦点をあてて文献を読み、さらに、陸の周縁世界と比較を行うことで、近世・近代の社会をより深く知ることに努める。	隔年
日本文学研究Ⅰ（古代－中世期文学）	授業テーマは「日本古代・中世期文学研究を考える」。日本古代・中世期文学研究は、対象とする資料の拡大とともに、大きく変わりつつある。中世文学会編『中世文学研究は日本文化を解明できるか』をテキストとして、最新の研究動向について学ぶ。授業理解に基づき、受講者が課題発表で十全な説明ができるようになることを到達目標とする。授業形式は、教員による講読・補説と受講生による課題発表、討論とを往還的に行うアクティブ・ラーニング方式で行う。受講生にはテキストの読み込みや、理解を促すための課題を課す。	隔年

日本文学研究Ⅱ（散文）	授業テーマは「日本散文学研究を考える」。佐々木孝浩『日本古典書誌学論』、紅野謙介『書物の近代』をベース・テキストとして講読しながら、作家・作品研究からではなく、書物から散文学への理解を深め、課題発表で十全な説明ができるようになることを到達目標とする。授業形式は、教員による講義・補説と受講生による課題発表、討論とを往還的に行うアクティブ・ラーニング方式で行う。受講生にはテキストの読み込みや、理解を促すための課題を課す。	隔年
日本文学研究Ⅲ（近世－明治期文学）	近世末期から明治初期にかけて成立した寺門静軒作『江戸繁昌記』ならびに成島柳北『柳橋新誌』を素材とする。幕末当時から明治初期における社会状況を作品背景として把握し、本文に注釈・現代語訳を施したのち、参加者各自が問題点を見出し、考察を加える。なお、解釈のための調査・注釈作業にあたっては、ディスカッションによって精度を高めるとともに、全体の言語運用能力、ひいては問題解決能力の向上を図る。	隔年
日本文学研究Ⅳ（韻文）	勅撰集をはじめとする和歌集及び歌論・連歌論書、江戸時代および近代以降成立の俳句集を幅広く取り上げる。まず講義により基本的な情報を共有したのち、各時代の作品解釈を行う。解釈のための調査・注釈作業にあたっては、ディスカッションによって精度を高めるとともに、全体の言語運用能力、ひいては問題解決能力の向上を図る。 なお、近現代における俳文芸の文化史的広がりや実作の有り方については、ゲストスピーカーによる講義を実施した上で、より実践的な知識に基づいた討議を行う。また、到達度をはかるための定期試験を実施する。	隔年
日本語学研究Ⅰ（歴史言語学）	授業テーマは「歴史言語学」。日本語に限らず全ての言語は変化する。しかしその変化には、歴史的要因が必ず潜む。授業担当者がこれまで扱った自身の研究事例を紹介しながら、言語変化そのものを最も深く扱った、E.コセリウ『言語変化という問題：共時態、通時態、歴史』をテキストとして言語変化そのものの考え方を学ぶ。授業理解に基づき、受講者が課題発表で十全な説明ができるようになることを到達目標とする。授業形式は、受講生による講読説明・質問と教員による補説・課題とを往還的に行うアクティブ・ラーニング方式で行う。受講生にはテキストの読み込みや、理解を促すための課題を課す。	隔年
日本語学研究Ⅱ（言語の社会性）	テーマは「言語の社会性」。人類史的に多様な社会のポライトネス問題や、平安期の万葉集訓詁問題を導入としながら、特に「言語のディスコミュニケーション性」を扱う。水村早苗『日本語が亡びるとき：英語の世紀の中で』をベース・テキストとして講読しながら、受講者がコミュニケーションツールとしての言語の側面以外に関する言語理解を深め、課題発表で十全な説明ができるようになることを到達目標とする。授業形式は、教員による講義・質問と受講生による質問・課題回答とを往還的に行うアクティブ・ラーニング方式で行う。受講生にはテキストの読み込みや、理解を促すための課題を課す。	隔年
日本語教育学研究Ⅰ（第二言語指導の理論と技術）	本授業では、第二言語の教育と学習を支える理論や考え方を学びながら、日本語教師の日本語指導や教室活動運営、技能別指導、言語運用を専門的に分析し、効果的指導や指導技術向上の方策を討議により検討する。日本語教育学研究に関わる専門書や研究論文の批判的読解や補足的な文献調査などを事前に行い、研究課題や研究手法にも着目し討議を行う。同時に、日本語の指導や学習について深く高度に理解するための必要な概念や専門知識を身につける。	隔年
日本語教育学研究Ⅱ（第二言語学習者の特性）	本授業では、第二言語の教育と学習に関する理論を学ぶことを通して、日本語教師の日本語指導や教室活動、技能別指導に関して効果的な手法や技術向上の方策を考える。日本語学習者の具体的な日本語使用や、受講者の外国語学習経験を事前に分析したものを手がかりに、第二言語習得とその研究課題について学び、日本語の指導や学習への応用を検討する。	隔年

中国文学研究Ⅰ（古典詩）	担当教員は白居易（白樂天）の代表的な古典詩（韻文）を、受講生とともに講読する。講読対象は白居易の代表的な作品から「新樂府」五十首のうち若干と「長恨歌」「琵琶引（琵琶行）」をとりあげ、日本の漢文学にも影響を与えた諸作品の内容や特徴はもちろん、中国古典文法や語彙あるいは韻律等について日本語との相違にも注意を促す。	隔年
中国文学研究Ⅱ（古典文）	担当教員は白居易（白樂天）の代表的な古典文（散文）を、受講生とともに講読する。講読対象は白居易の代表的な作品から彼の人生の転機に書かれ、彼の文学観を知る上でも重要な「元九（＝元稹）に与ふる書」をとりあげ、日本の漢文学にも影響を与えたこの作品の内容や特徴はもちろん、中国古典文法や語彙あるいは散文の文体等について日本語との相違にも注意を促す。	隔年
中国語学研究Ⅰ（現代中国語文法）	最初に受講生と授業で取り上げる中国語学的トピックについて話し合い、調査する為の指導をしつつ、受講生本人からのアイディアは勿論、教員からの分析視点を加え討論することで、最終的に語学の興味ある具体的な問題についてレポートの形にまとめあげます。	隔年
中国語学研究Ⅱ（現代中国語意味論）	最初に受講生と授業で取り上げる中国語学的トピックについて話し合い、調査する為の指導をしつつ、受講生本人からのアイディアは勿論、教員からの分析視点を加え討論することで、最終的に語学の興味ある具体的な問題についてレポートの形にまとめあげます。	隔年
比較文学研究Ⅰ（西洋古典韻文講読）	西洋古典文学の韻文作品の原典講読を通じて、西洋文学の比較研究に必要な語学的知識(特にギリシア語とラテン語)に磨きをかける。同時に、様々な立場と方法によって書かれた研究論文を原典で読むことにより（特に英語、フランス語、ドイツ語）、西洋古典文学研究の実態と歴史を理解し、受講者が実際に修士論文を書く上で必要な知識と技術を習得させる。本年度は Homeros の Odyssea の講読を行う。なお、この授業を受講するためには、ギリシア語とラテン語をそれぞれ2年以上学習し、初等文法と原典講読の基礎知識を備えていること、また、英語、フランス語、ドイツ語で研究論文を読みこなせることを条件とする。	隔年
比較文学研究Ⅱ（西洋古典散文講読）	西洋古典文学作品の散文文学の原典講読を通じて、西洋文学の比較研究に必要な語学的知識(特にギリシア語とラテン語)に磨きをかける。同時に、様々な立場と方法によって書かれた研究論文を原典で読むことにより（特に英語、フランス語、ドイツ語）、西洋古典文学研究の実態と歴史を理解し、受講者が実際に修士論文を書く上で必要な知識と技術を習得させる。本年度は Apuleius の Metamorphoses（アモールとプシケの挿話）の講読を行う。なお、この授業を受講するためには、ギリシア語とラテン語をそれぞれ2年以上学習し、初等文法と原典講読の基礎知識を備えていること、また、英語、フランス語、ドイツ語で研究論文を読みこなせることを条件とする。	隔年
比較文学研究Ⅲ（近代詩）	まず比較文学研究の方法論を確認し、日仏の近代詩を対象とした比較文学研究の現状を理解する。その上で、フランス近代詩の歩みを辿り、その代表作を原語で読解・分析する。次いで、日本におけるフランス近代詩の受容の歩みを辿り、近代日本の詩と訳詩を比較論的観点から読解・分析する。さらに、フランスにおける日本の詩の受容の歩みを辿り、フランスの近代詩を比較論的観点から読解・分析する。以上の作業を通して、詩というジャンルにおける日仏両国の文学的交流についての展望を獲得しつつ、研究の今後の可能性と課題を探り、発見した新たな課題の解決の道筋について考察する。	隔年
比較文学研究Ⅳ（近代小説）	まず比較文学研究の基本的な方法を確認し、日仏の心理小説を対象とした比較文学研究の現状を理解する。その上で、フランス心理小説の伝統を辿り、その代表作の抜粋を原語で読解・分析する。次いで、日本におけるフランス心理小説の受容の歩みを辿り、近代日本の小説を比較論的観点から読解・分析する。さらに、フランスにおける日本の心理小説の受容の実態を探る。以上の作業を通して、小説というジャンルにおける日仏両国の文学的交流についての展望を獲得しつつ、研究の今後の可能性と課題を探り、発見した新たな課題の解決の道筋について考察する。	隔年

フランス語学・フランス文学研究Ⅰ（文学と思想）	この授業ではアントワーヌ・コンパニョンの『アンチモダン 反近代の精神史』をもとに、フランス革命後の文学・思想における「アンチモダン」の系譜を考察し、反革命、反啓蒙思想、悲観主義、原罪、崇高、罵詈雑言といった概念を明らかにするとともに、ド・メーストルからバルトにいたる作家・思想家・批評家の著作における精神史の展開を小説史との関連で跡付けることを試みる。この作業を通じてフランス文学の理解を深めるとともに、多様な研究方法論の検討を行い、院生の研究内容や関心に応じてさらに特定の問題の考察を行う。	隔年
フランス語学・フランス文学研究Ⅱ（文学とメディア）	19世紀中葉のフランスにおける人気作家ウージェーヌ・シュエの代表作『パリの秘密』を、当時のパリの社会状況を参照しながら精読する。当時のマス・メディアであった新聞連載小説の特徴の検討に基づいて、同時代の庶民階級の人々の生活を描いたこの小説のエスティックを分析し、大衆小説の意義について考察し、この作業を通じて多様な研究方法論の検討を行い、院生の研究内容や関心に応じてさらに特定の問題の考察を行う。	隔年
フランス語学・フランス文学研究Ⅲ（詩法）	まずはフランス詩法の変遷を16世紀から19世紀まで辿り、その歴史を概観する。次に音節の区切り方、リズム分節の区切り方、詩句とその形式的特徴などの基礎を学んだ後、脚韻や句型や詩節など詩法の諸規則を具体的な作品に即して学んでいく。そして詩法への理解を深めた上で、実際にボードレールやランボーやヴェルレーヌの詩を分析していく。	隔年
フランス語学・フランス文学研究Ⅳ（19世紀フランス詩研究）	まずは19世紀フランス詩の変遷について概観した後、ロマン主義から象徴主義に至るフランス詩の流れと特質を把握し、ユゴー、ヴィニエ、ネルヴァル、ルコント・ド・リール、パンヴィル、ボードレール、ヴェルレーヌ、ランボー、マルメ、ラフォルクなどの具体的な作品を分析してフランス詩への理解を深めていく。	隔年
ドイツ語学・ドイツ文学研究Ⅰ（ドイツ語造語論）	本授業では、ドイツ語学・ドイツ文学研究における発展的な研究方法を実践的に学ぶことを目的とする。一次文献、二次文献を批判的に読解する能力を涵養すると同時に、様々な方法論を検討する。講義内容を反映した課題の発表、レポートにおいてより多面的に思考することで、自ら問題を設定し、分析・解釈できる研究能力の習得を目指す。授業は教員による講義・質問と受講生による課題発表・質問を往還的に行うアクティブ・ラーニングの形式をとる。ドイツ語造語論の研究手法について理解し、それに基づいて実際のドイツ語テキストの分析・解釈をおこなっていく。	隔年
ドイツ語学・ドイツ文学研究Ⅱ（ドイツ語テキスト分析）	本授業では、ドイツ語学・ドイツ文学研究における発展的な研究方法を実践的に学ぶことを目的とする。一次文献、二次文献を批判的に読解する能力を涵養すると同時に、様々な方法論を検討する。講義内容を反映した課題の発表、レポートにおいてより多面的に思考することで、自ら問題を設定し、分析・解釈できる研究能力の習得を目指す。授業は教員による講義・質問と受講生による課題発表・質問を往還的に行うアクティブ・ラーニングの形式をとる。ドイツ語テキストの分析方法について理解し、それに基づいて実際のテキストの分析・解釈をおこなっていく。	隔年
ドイツ語学・ドイツ文学研究Ⅲ（20世紀ドイツ文学）	20世紀ドイツ文学の新たな古典的作家と評価されているローベルト・ヴェルザーの諸作品をドイツ語で精読しながら、様々な方法論によってなされた解釈を検討し、それぞれの妥当性、またその方法論の応用可能性を議論する。受講生は授業内で扱われた方法論を自身の研究対象に対して批判的に応用したものを発表し、引き続いて行われる質疑応答を経て、より深く多面的な理解を得る。	隔年



ドイツ語学・ドイツ文学研究Ⅳ（ドイツ文学と記憶）	古典的な文学作品や二次文献を原典で読解できるだけのドイツ語力を身につけるとともに、文学と記憶というテーマについて多面的な理解を得ることで、受講生が自らの研究対象に対しても新たなアスペクトから思考し、適切に言語化できることをめざす。授業は記憶をめぐるドイツ文学の作品及び、理論的著作の読解を行う。また受講生は最低一回、授業内で扱われたテーマと自身の研究対象との関連について発表し、引き続き行われる質疑応答を経て、より深く多面的な理解を得る。	隔年
英語学研究Ⅰ（通時的研究）	英語の通時的研究の概説を読み、古英語、中英語、初期近代英語までの言語データの分析方法を学び、それらを現代英語やこれからの英語の姿を予測するための考察方法として活用する。地域的方言や年代格差など、現代の言語現象を観察するための言語学的な知識に習熟する。	隔年
英語学研究Ⅱ（共時的研究）	英語教員として十分な英語の教示的な理解と英語力と指導力を確保することをねらいとし、授業は英語教員として十分な英語の教示的な理解と英語力を確保することを目的に、英語の文献を担当者がレポートし、その素材をもとに「教室でどう教えるか」をディスカッションする。	隔年
英語学研究Ⅲ（英語構造論）	英語教員として十分な英語の構造面の理解と英語力と指導力を確保することをねらいとし、授業は英語教員として十分な英語の構造面の理解と英語力を確保することを目的に、英語の文献を担当者がレポートし、その素材をもとに「教室でどう教えるか」をディスカッションする。	隔年
英語学研究Ⅳ（英語テキスト分析）	中世から初期近代の英語テキストを読解する。グロサリー、OED、MEDなどの辞書類の使い方を学ぶことで、独力で中世のテキストを読解する。活用テキストは古英語散文・韻文、古北欧語散文と韻文、中英語韻文と散文、初期現代英語の台本テキストである。	隔年
英語文学研究Ⅰ（イギリス文学文化）	英語圏短編小説の代表例として、日本ではイギリス文学で扱われるアイルランドの大作作家James JoyceのDubliners(1914)を読み分析する。授業では特に以下の点を重視しながら、テキストの精読と議論を経てテーマの設定を行い、適切な英語レポートにまとめる作業を行う。 1 英語文学の理解を深める。／2 特定のテキストに関して研究テーマを設定し、それが妥当かどうかを判断できる。／3 研究テーマのための資料及び資料分析の方法が妥当かどうかを判断できる。／4 研究テーマにかかわる先行研究の収集範囲が妥当かどうかを判断できる。／5 研究テーマについて考えをまとめ発表し議論できる。	隔年
英語文学研究Ⅱ（英語圏文化と映画）	1930年代から1960年代にかけて製作・公開された現代アメリカ演劇の映画化作品について、英語で書かれた学術論文を精読した上で批判的に検討し、担当教員も交えたディスカッションをとおして演劇の映画化作品を分析・考察する方法論を修得していきます。毎回、担当者を決め論文の要約および批判的考察の発表後、ディスカッションをしていきます。学期末には、アメリカ現代演劇の映画化作品を分析・考察する口頭発表・レポート作成に履修者は取り組みます。	隔年
英語文学研究Ⅲ（アメリカ文学文化）	アメリカ小説の代表例としてのF. Scott FitzgeraldのThe Great Gatsby(1925)の小説を解説するとともに、映画化作品を分析し映画アダプテーション（映画化作品）研究を習得する。授業では特に以下の点を重視した訓練を行う。授業では特に以下の点を重視しながら、テキストの精読と議論を経てテーマの設定を行い、適切な英語レポートにまとめる作業を行う。 1 英語文学とそのアダプテーションの理解を深める。／2 特定のテキストに関して研究テーマを設定し、それが妥当かどうかを判断できる。／3 研究テーマのための資料及び資料分析の方法が妥当かどうかを判断できる。／4 研究テーマにかかわる先行研究の収集範囲が妥当かどうかを判断できる。／5 研究テーマについて考えをまとめ発表し議論できる。	隔年

英語文学研究Ⅳ（英語圏文化批評と映画）	1930年代から1950年代にかけて、ジャーナリスト、詩人、小説家、映画批評家、映画脚本家として活躍したアメリカの文学者 James Agee が残した映画批評や映画レビュー（とりわけTime 誌、Nation 誌で書き分けたレビュー）を発表された時代順に精読していきます。それにより、Agee が映画批評や映画レビューを発表した時代のアメリカ映画産業と政治・社会のネゴシエーションや、流行した映画ジャンルへの理解を深めるとともに、簡潔な表現で映画を批評的に語る方法論を修得していきます。毎回、担当者を決め映画批評や映画レビューの要約および英語表現の分析と批判的考察の発表後、ディスカッションをしていきます。学期末には、Agee が論じた作品を彼とは別のアングルから論じる英語による口頭発表と英語によるレビュー作成に履修者は取り組みます。	隔年
芸術コミュニケーション研究Ⅰ（現代舞踊論）	舞踊表現とその背景にかかわる批評や論文（主に外国語文献）を精読する。本授業では舞踊表現技法や振付言語を中心とし、芸術表現を取り巻く技術、環境などとパフォーマンスの形式、表現方法の変遷を思考し、歴史的背景にも触れつつ、現代の身体表現における方法論の可能性を探求する。	隔年
芸術コミュニケーション研究Ⅱ（身体論）	パフォーマンスの現在と表現、その背景にかかわる批評や論文（主に外国語文献）を精読する。本授業では身体とその表現に関わる他メディアとの関係性を中心とし、芸術表現を取り巻く技術、環境などとパフォーマンスの形式、表現方法の変遷を思考し、歴史的背景にも触れつつ、現代の身体表現における解釈論の可能性を探求する。	隔年
芸術コミュニケーション研究Ⅲ（現代美術論）	「現代美術と批評、そして社会」をテーマに、作品と関連テキストを多角的に照合・分析する。講義形式の授業ではあるが、必要に応じて、（１）関連資料読解（主に英文）（２）受講者間のディスカッション（３）実地調査を組み合わせてながら進める。講義のキーワードは批評、制度、社会である。現在優勢な現代美術のみならず、その周縁の状況にも注意深く触れつつ、現代美術の範囲・射程を批判的に検討する。	隔年
芸術コミュニケーション研究Ⅳ（彫刻論）	「彫刻史の再検討」をテーマに、作品と関連テキストを多角的に照合・分析する。講義形式の授業ではあるが、必要に応じて、（１）関連資料読解（主に英文）（２）受講者間のディスカッション（３）実地調査を組み合わせてながら進める。講義のキーワードは身体・物質、批評、社会である。現在優勢な彫刻観のみならず、過去ないし周縁的なそれにも注意深く触れつつ、彫刻概念の拡張の「可能性」を探る。	隔年
芸術コミュニケーション研究Ⅴ（音楽学研究）	本授業では、音楽学的観点から音楽と人をめぐる諸問題を考察する方法を学ぶことをねらいとする。とくに音楽領域においてこれまで得られてきた知見とともに、近年注目される音楽と身体の関係性などのトピックを含めながら、音楽学的アプローチ方法や分析方法について検討し、自らの問題意識を整理していく。発表およびディスカッションを通して、音楽と人との関係を読み解く可能性を考察していく。	隔年
芸術コミュニケーション研究Ⅵ（音楽と社会）	音楽は歴史や社会と密接に結びつきながら、演奏され、享受され、保存、変容、消滅を繰り返してきた。そうした音楽をめぐる営みをどのように分析し解釈していいのか。本授業では、受講生による講読とその発表、さらに教員による補説と課題提示による双方向的におこなうアクティブ・ラーニング方式を通じて、トルコを事例とした音楽と社会をめぐる諸問題を検討するとともに、こうした一連の課題に向き合うための手法を学んでいく。	隔年

	(研究指導)	<p>(概要) 人間文化学分野の研究を行う学生を対象に、修士論文執筆に必要な指導を行う。所定の手続に従い、人間文化学の教員の何れかを主指導教員として決定した学生がこの授業の履修者となる。</p> <p>この授業において、履修者は、主に主指導教員のもとで研究指導を受けるが(主に主指導教員のもとの報告、質疑を内容とする)、履修者全員が参加する中間報告会では、担当教員全員による幅広い助言・指導を受ける。</p> <p>(1 篠原 成彦) 哲学思想論(言語哲学, 心の哲学)について研究指導を行う。</p> <p>(2 早坂 俊廣) 哲学思想論(中国哲学)について研究指導を行う。</p> <p>(3 護山 真也) 哲学思想論(仏教認識論, 比較思想)について研究指導を行う。</p> <p>(4 菊池 聡) 文化情報論(認知心理学, クリティカルシンキング)について研究指導を行う。</p> <p>(5 大串 潤児) 日本史(日本現代史, 現代地域社会史)について研究指導を行う。</p> <p>(6 山本 英二) 日本史(日本近世史, 日本近世史料論)について研究指導を行う。</p> <p>(7 山田 健三) 日本語学(日本語史学, 日本語学)について研究指導を行う。</p> <p>(8 渡邊 匡一) 日本文学(古代 - 中世期文学)について研究指導を行う。</p> <p>(9 伊藤 盡) 英語学(英語史, 中世英語文献学, 北欧神話)について研究指導を行う。</p> <p>(10 杉野 健太郎) 英語文学(アメリカ文学・文化, 映画学)について研究指導を行う。</p>
--	--------	---

				<p>(11 氏岡 真士) 中国文学（中国古典文学，近世の戯曲小説）について研究指導を行う。</p> <p>(12 鎌田 隆行) フランス語学・フランス文学（19世紀フランス文学，生成論）について研究指導を行う。</p> <p>(13 澁谷 豊) 比較文学（日仏比較文学，フランス文学）について研究指導を行う。</p> <p>(14 野津 寛) 比較文学（西洋古典学，ギリシア語，ラテン語）について研究指導を行う。</p> <p>(15 吉田 正明) フランス語学・フランス文学（フランス詩法，19世紀フランス詩）について研究指導を行う。</p> <p>(16 金井 直) 芸術コミュニケーション（美学美術史学，キュレーション）について研究指導を行う。</p> <p>(31 三谷 尚澄) 哲学思想論（西洋哲学，倫理学，分析アジア哲学，社会哲学）について研究指導を行う。</p> <p>(32 佐藤 広英) 文化情報論（社会心理学，情報コミュニケーション学）について研究指導を行う。</p> <p>(33 茅野 恒秀) 社会学（環境社会学，社会計画論，サステイナビリティ（持続性）学）について研究指導を行う。</p> <p>(34 水原 俊博) 文化情報論（社会理論，消費社会学）について研究指導を行う。</p> <p>(35 佐藤(田村) 真紀) 西洋史（フランス近代）について研究指導を行う。</p> <p>(36 豊岡 康史) 東洋史（清朝政治史，経済史）について研究指導を行う。</p> <p>(37 坂口 和寛) 日本語教育学（第二言語指導の理論と技術，第二言語学習者の特性）について研究指導を行う。</p> <p>(38 速水 香織) 日本文学（日本近世文学，出版文化研究）について研究指導を行う。</p> <p>(39 飯岡 詩朗) 英語文学（アメリカ映画史，映像文化）について研究指導を行う。</p> <p>(40 磯部 美穂) ドイツ語学・ドイツ文学（ドイツ語造語法，ドイツ語史）について研究指導を行う。</p> <p>(41 伊藤 加奈子) 中国語学（現代中国語学）について研究指導を行う。</p> <p>(42 北村 明子) 芸術コミュニケーション（舞踊学，身体論）について研究指導を行う。</p> <p>(43 濱崎 友絵) 芸術コミュニケーション（音楽学）について研究指導を行う。</p> <p>(72 葛西 敬之) ドイツ語学・ドイツ文学（近現代ドイツ語文学）について研究指導を行う。</p>
--	--	--	--	--

心理学分野	専門基盤科目群	心理学分野コア科目	<p>心理学研究指導 I</p> <p>(概要) 心理学研究には、対象とする各領域に応じた適切な研究方法論を身につけることが不可欠である。そこで、教育心理学、発達心理学を中心に、隣接諸科学に関する研究方法を身につける。心理学総合演習 I、II に引き続き、修士論文を念頭に置きながら、主に研究の組み立て方についての研究方法論の理解を深める。教育心理学、発達心理学を中心に、隣接諸科学に関する基本的な研究手法を解説する。また、受講生が自らの研究計画を発表し、受講生同士の議論を行い、教員から助言を行う。</p> <p>(18 高橋知音) 限局性学習症、自閉スペクトラム症、心理的アセスメント等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(19 上村恵津子) 学校心理学関連・特別支援教育関連等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(20 越智康詞) 教育学、教育社会学、臨床教育人間学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(21 島田英昭) 教育心理学、認知心理学、教育工学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(46 茅野理恵) 学校心理学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(47 水口 崇) 発達心理学・認知科学に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(48 高柳充利) 人間形成論等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(49 友川 幸) 国内外の精神保健活動等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(50 高橋 史) 臨床心理学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(51 小野貴史) 音楽心理学的視点から音楽芸術の受容構造及び人間の知覚現象等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(52 森下 孟) 認知工学、学習科学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(65 瀧 直也) 野外教育の心理的効果に関連する課題の研究指導を行う。</p>	共同
-------	---------	-----------	--	----

<p>心理学研究指導Ⅱ</p>	<p>(概要) 心理学研究には、対象とする各領域に応じた適切な研究方法論を身につけることが不可欠である。そこで、教育心理学、発達心理学を中心に、隣接諸科学に関する研究方法を身につける。心理学総合演習Ⅰ、Ⅱに引き続き、修士論文を念頭に置きながら、主に研究のまとめ方についての研究方法論の理解を深める。教育心理学、発達心理学を中心に、隣接諸科学に関する基本的な研究手法を解説する。また、受講生が自らの研究計画を発表し、受講生同士の議論を行い、教員から助言を行う。</p> <p>(18 高橋知音) 限局性学習症、自閉スペクトラム症、心理的アセスメント等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(19 上村恵津子) 学校心理学関連・特別支援教育関連等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(20 越智康詞) 教育学、教育社会学、臨床教育人間学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(21 島田英昭) 教育心理学、認知心理学、教育工学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(46 茅野理恵) 学校心理学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(47 水口 崇) 発達心理学・認知科学に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(48 高柳充利) 人間形成論等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(49 友川 幸) 国内外の精神保健活動等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(50 高橋 史) 臨床心理学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(51 小野貴史) 音楽心理学的視点から音楽芸術の受容構造及び人間の知覚現象等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(52 森下 孟) 認知工学、学習科学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(65 瀧 直也) 野外教育の心理的効果に関連する課題の研究指導を行う。</p>	<p>共同</p>
-----------------	---	-----------

<p>心理学総合演習 I</p>	<p>(概要) 心理学研究には、対象とする各領域に応じた適切な研究方法論を身につけることが不可欠である。そこで、教育心理学、発達心理学を中心に、隣接諸科学に関する研究方法を身につける。主に研究の組み立て方についての研究方法論の理解を深める。教育心理学、発達心理学を中心に、隣接諸科学に関する基本的な研究手法を解説する。また、受講生が自らの研究計画を発表し、受講生同士の議論を行い、教員から助言を行う。</p> <p>(18 高橋知音) 限局性学習症, 自閉スペクトラム症, 心理的アセスメント等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(19 上村恵津子) 学校心理学関連・特別支援教育関連等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(20 越智康詞) 教育学, 教育社会学, 臨床教育人間学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(21 島田英昭) 教育心理学, 認知心理学, 教育工学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(46 茅野理恵) 学校心理学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(47 水口 崇) 発達心理学・認知科学に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(48 高柳充利) 人間形成論等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(49 友川 幸) 国内外の精神保健活動等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(50 高橋 史) 臨床心理学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(51 小野貴史) 音楽心理学的視点から音楽芸術の受容構造及び人間の知覚現象等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(52 森下 孟) 認知工学, 学習科学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(65 瀧 直也) 野外教育の心理的効果に関連する課題の研究指導を行う。</p>	<p>共同</p>
------------------	---	-----------

心理学総合演習Ⅱ	<p>(概要) 心理学研究には、対象とする各領域に応じた適切な研究方法論を身につけることが不可欠である。そこで、教育心理学、発達心理学を中心に、隣接諸科学に関する研究方法を身につける。主に研究のまとめ方についての研究方法論の理解を深める。教育心理学、発達心理学を中心に、隣接諸科学に関する基本的な研究手法を解説する。また、受講生が自らの研究計画を発表し、受講生同士の議論を行い、教員から助言を行う。</p> <p>(18 高橋知音) 限局性学習症、自閉スペクトラム症、心理的アセスメント等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(19 上村恵津子) 学校心理学関連・特別支援教育関連等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(20 越智康詞) 教育学、教育社会学、臨床教育人間学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(21 島田英昭) 教育心理学、認知心理学、教育工学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(46 茅野理恵) 学校心理学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(47 水口 崇) 発達心理学・認知科学に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(48 高柳充利) 人間形成論等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(49 友川 幸) 国内外の精神保健活動等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(50 高橋 史) 臨床心理学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(51 小野貴史) 音楽心理学的視点から音楽芸術の受容構造及び人間の知覚現象等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(52 森下 孟) 認知工学、学習科学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(65 瀧 直也) 野外教育の心理的効果に関連する課題の研究指導を行う。</p>	共同
心理学理論研究	<p>(概要) 実証科学としての心理学における研究に基づく心理学的知見について、過去の論文を調べ、その原著論文を講読し、その論文の意義や重要性、さらには心理学に与えた影響について考察する。このことを通じて心理学的思考法、方法論、実験技法、データ解析法などについての基礎的知識を確固としたものに深化させ、自らの研究基盤をより強固なものとする。オムニバス形式で参加する教員と、受講生がコメントの発表に基づいてディスカッションをし、論文の現代的意義について考察を加える。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(17 今井 章/4回) 実験心理学と基礎心理学の論文検索と選定、講読と議論、批判的思考法</p> <p>(44 高瀬弘樹/4回) 基礎心理学と認知心理学の論文検索と選定、講読と議論、批判的思考法</p> <p>(45 岡本卓也/4回) 社会心理学とグループダイナミックスの論文検索と選定、講読と議論、批判的思考法</p> <p>今井、高瀬、岡本/3回(共同) ガイダンス、心理学における知見の批判的評価方法、まとめ</p>	オムニバス方式 共同(一部)



		心理学総合演習	<p>(概要) 実証科学としての心理学における研究をどのように進めていくのかについて、様々な領域の教員がオムニバス形式で概説し、さらに受講生とディスカッションすることによって、自らの研究計画を構築する。特定領域における特徴的な問題意識、方法論、データ取得と解析技法などを幅広く学ぶことによって、自らがテーマとする研究をより多角的な視点から深化させ、オリジナリティのある研究論文作成へと繋げる。各受講生は毎回、授業に先立って担当教員から提示される課題書籍について購読して授業に臨む。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(17 今井 章/4回)</p> <p>実験心理学と基礎心理学における理論の特質と意義、実験心理学と基礎心理学におけるデータの数量化とその理論的意義、実験心理学と基礎心理学における理論と実践の関係</p> <p>(44 高瀬弘樹/4回) 認知心理学と生理心理学における理論の特質と意義、認知心理学と生理心理学におけるデータの数量化とその理論的意義、認知心理学と生理心理学における理論と実践の関係</p> <p>(45 岡本卓也/4回)</p> <p>・社会心理学とグループダイナミクスにおける理論の特質と意義、社会心理学とグループダイナミクスにおけるデータの数量化とその理論的意義、社会心理学とグループダイナミクスにおける理論と実践の関係</p> <p>今井、高瀬、岡本/3回(共同)</p> <p>ガイダンス、心理学の基礎と応用に関する理論的考察、まとめ</p>	オムニバス方式 共同(一部)
専門 発展 科目 群	ア ク シ ョ ン リ サ ー チ 系 科 目	発達・教育心理学実習	<p>(概要) 発達心理学、教育心理学は、具体的な現場を離れた実験室研究や統計的な調査研究を背景に発展してきた。これらの知見の価値は確かにあり、現場に活かされる事例も多数ある。しかし、具体的に現場に活かす方法を身につけなければ、学修した知見を活かすことができない。そこで本授業では、発達心理学、教育心理学、および隣接諸科学に関して、現場を知り、現場に学術的知見を具体的に活かす方法を身につける。原則として「現場を知る」「現場に入る」「現場を振り返る」の3つの段階により学ぶ。現場を知るでは、現場に関して文献やインターネット上の情報を集めて、現場について知る。現場に入るでは、実際に現場に赴き、現場に入って実習を行う。現場を振り返るでは、現場を知る、現場に入るの内容を総合して、現場に学術的知見を具体的に活かす方法議論する。複数の現場に入り、受講生同士の議論を中心に進める。</p> <p>(20 越智康詞) 教育学、教育社会学、臨床教育人間学等に関連する課題の実習指導を行う。</p> <p>(21 島田英昭) 教育心理学、認知心理学、教育工学等に関連する課題の実習指導を行う。</p> <p>(47 水口 崇) 発達心理学・認知科学に関連する課題の実習指導を行う。</p> <p>(48 高柳充利) 人間形成論等に関連する課題の実習指導を行う。</p> <p>(49 友川 幸) 国内外の精神保健活動等に関連する課題の実習指導を行う。</p> <p>(51 小野貴史) 音楽心理学的視点から音楽芸術の受容構造及び人間の知覚現象等に関連する課題の実習指導を行う。</p> <p>(52 森下 孟) 認知工学、学習科学等に関連する課題の実習指導を行う。</p> <p>(65 瀧 直也) 野外教育の心理的効果に関連する課題の実習指導を行う。</p> <p>(74 安達 仁美) 学習過程論、質的心理学に関連する課題の実習指導を行う。</p> <p>(75 林 寛平) 比較教育学に関連する課題の実習指導を行う。</p>	共同

	実験心理学実習	<p>担当教員が実験心理学の領域における様々な問題意識、その解決方法、さらに心理学的現象の数量化についてまず概説し、受講生とその内容についてディスカッションをする。各受講生は、その後、それぞれの興味にしたがって、心理学における実験的研究についての最新の諸文献をレポーターとして紹介する。そして、その文献で得られた知見の意義やその後の研究への影響力などを考察する。これにより、受講生がオリジナリティのある研究計画を立案し、その計画について、さらにディスカッションを重ねる。この過程を経て研究計画を確定させ、その計画に従って、受講生が実験を実施し得られたデータを解析して結果を得る。この結果について、さらにレポーターとして発表し考察を深める。最終的には、一連の成果をレポート論文としてまとめる。</p>	共同
	社会心理学実習	<p>社会心理学における研究がいかに行われるか、その全体的な流れを学びながら、自らの問題意識を整理し、リサーチ・クエスチョンとして表現し仮説にする。さらに、仮説を検証するためのデータ収集の方法を決定し、実験や調査実施のためのシナリオや質問紙を構成する。</p> <p>このような一連の研究遂行をしていく中で、グループ・ディスカッションを行い、自らの問題のみに終始することなく、学んだことを全体の知としてフィードバックすることで、受講生相互に刺激を与え合う授業構成とする。受講生は、本授業を通して実用的な研究活動の過程を学ぶことによって、様々な社会的な疑問に対して、“実証”してゆくための実際的手順を主体的に運営する力を涵養できる。</p>	
心理学分野発展科目	人間の精神と社会環境特論	<p>現在、こころの病理現象が広がっている。カウンセリングへのニーズが高まっているのもそのためだ。とはいえ、事後対応・個別対応を超えて、そもそもこころが困難に陥るその要因を知って、予防的＝根源的＝制度的(社会的)に対応していくことが必要だ。また、個別相談の場面でも、当人のこころを、当人の置かれた状況から切り離すのではなく、その状況・文脈・背景を含め、関係論的に理解することが必要である。本講義では、現代社会に生きる人々の生きづらさがどこからそもそもどこから来るのか。その由来を社会関係の内部に探究していく。人間を取り巻く(精神に困難を与える)現代社会の構造や仕掛けについて認知するとともに、人間の精神がいかにか社会と不可分のものであるかを深く理解し、人間を支える社会の可能性について探究する(思考しはじめるきっかけを与える)ことが狙いである。まずは、私たちの常識となっているデカルト的二元論やプラトンの本質主義から解放され、スピノザ的な関係論的視点を学ぶ。人間の傾向性(社会的存在としての性質)を理解するだけでなく、人間を取り囲み巻き込む社会の傾向性を理解する。続いて、私たちがその中に生きる社会や制度や環境がいったいどのようなものなのか、その傾向性や構造を理解する。資本主義や新自由主義などマクロな傾向性から、家族、学校、地域、メディアなど人間(子ども)を取り巻く制度的環境が人間のこころ(精神)にとってどのような意味をもつものなのかについて、様々な観点からアプローチする。講義ではあるが、受講生は受動的に話を聞くのではなく、受講生自身が、自ら文献資料や様々な情報源から情報を集め分析し、そこで得られた知見を提示＝共有しながらディスカッションし、社会とこころのかかわりについて互いに理解を深め合う。また、ディスカッションでは、そうした(正解のない)社会の課題に対し、いかにして対応すればよいか、個別相談的な方法に加え、どのような社会づくりが必要であるかについても同時に考えられるようになる。</p>	

人間の精神と社会環境演習	<p>私たちは人間には「こころ」があることを前提に思考し行為しているが、そもそも「こころ」とは何か。「こころ」はどこから来たのか。本講義では、人類の進化の中で、技術・メディア、社会関係・制度と共に、「こころ」がいかに生まれ変化してきたのか、さらには（「こころの理論」を持つことが）人類の進化や社会の構成を支えてきた経緯について理解する。人間の精神は、言葉のような道具、周囲の環境（アフォーダンス）、他者との関係と深くつながっている。実際、「こころ」を扱う心理学もその環境要因（社会的影響）を無視できないし、逆に社会の成り立ちを理解し、新たな社会を制度設計していくうえで、社会や制度やメディア・技術がいかに「こころ」に影響を及ぼすものなのかについて深く理解しておくことは重要である。本講義は、「こころ」と社会にかかわる関係性や（問題）現象について、多様な立場からアプローチする。言葉などのメディア・道具がいかに人間の「こころ」を進化させてきたのか、近代社会における個人やプライバシーなどの観念が私たちの「こころ」の扱いにいかなる影響を及ぼしているのかといったことについて理解を深め、「こころ」に対する受け止め方や「こころ」に配慮した新しい社会や制度の可能性について課題意識をもち、自分の頭で考えられるようになることを目指す。</p>	
学習過程論特論	<p>人の生涯にわたる学習過程を質的心理学の見地から捉え、キャリア意識の形成や問題解決学習の理論に基づきながら、多角的な視点から取り上げ検討することにより、学際的な考察力を培うと共に学習過程を捉えるための知識を習得することを目的とする。前半は、質的心理学や職業心理学の見地から学習過程に関連する諸理論について講義し、後半は文献レビューとディスカッションを通して発達段階ごとに学習過程を検討し深めていく。</p>	
学習過程論演習	<p>質的心理学の見地から、学習過程において学習者がいかに認知・習得つつあるのかを捉えるための分析手法を用いた論文を中心に、文献レビューとディスカッションを行うことを通して、質的研究に関連する理論を理解することを目的とする。質的心理学について解説し、文献レビューを通して質的分析に関して議論する。</p>	
人間形成論特論	<p>人間形成について、人間の変化という事項に関わる文献を読み、討議を行う。人間形成という問題圏についての自分なりの課題意識を、文献（主に、教育哲学に関わる領域）に提示されている議論と交流させつつ、他者の論との双方向的な対話を通し、新たな視点でもって人間形成について表出する道筋を模索する。授業の概要は、1. 人間形成という問題圏について自分なりの課題意識をもつ。2. 課題意識と文献（教育哲学に関わる領域）に提示されている議論とを交流させ自分なりの論を展開させる。3. 自らの論と他者のそれとの双方向的な対話を通して新たな視点でもって人間形成について表出する。</p>	
人間形成論演習	<p>人間形成について、人間の変化という事項に関わる文献をもとに、発表と討論を行う。文献（主に、教育哲学に関わる領域）に内在する論理や他者の論との対話を通し、人間形成に関する自らの議論を研究的な文脈において展開させることを目指す。授業の概要は、1. 人間形成という問題圏にかかわる文献に内在する論理を読み取る。2. 人間形成に関しての先行研究について自分なりに見取り図をつくる。3. 人間形成に関する自らの議論を、先行研究の文脈のなかに位置づけつつ提示する。</p>	
音楽心理学特論	<p>人間の行動について考察する方法は様々に考えられるが、この授業では、音楽心理学的視点から検討する方法を学ぶことをねらいとする。音楽心理学は、資質・スキル・知能・想像力・社会的行動についての臨床的研究にも関わる広範囲な実践に関連する研究分野である。本授業では非心理学的な視点の音楽学や音楽活動を明確にすることも目的の範疇とする。音楽作品と聴取者間の知覚的・情緒的・社会的反応の心理学的解析のみならず、楽理的構造側面の分析や知覚研究・コンピュータモデリングを行うことによってパフォーマンスや創作プロセスにおける音楽芸術の体系的分析法を学ぶ。</p>	

音楽心理学演習	この授業では、音楽心理学的視点から人間の知覚現象を分析する方法を学ぶ。音楽心理学は、資質・スキル・知能・想像力・社会的行動についての臨床的研究にも関わる広範囲な実践に関連する研究分野である。本授業では非心理学的な視点の音楽学や音楽活動を明確にすることも目的の範疇とする。音楽作品と聴取者間の知覚的・情緒的・社会的反応の心理学的解析に加えて、音響解析ならびに楽理的構造側面の分析やパフォーマンスも含めた知覚研究・コンピュータモデリングを行うことによって受講生が各自設定した対象を実際に音楽心理学的手法により分析する演習である。	
野外教育グループカウンセリング特論	野外教育は、組織的かつ計画的に一定の教育目標をもって行われる自然体験活動である。そこには小集団での効果的な教育手法が用いられている。野外教育に関する専門的な知識について学び、野外教育の指導者として必要な高度な知見を習得する。講義、ディスカッション、指導演習をとおして、野外教育をはじめとする体験学習の教育的効果や効果的なグループ指導に関する指導法を学び、専門的な知識を習得する。	
野外教育グループカウンセリング演習	野外教育は組織的かつ計画的に一定の教育目標をもって行われる自然体験活動であり、そこには小集団での効果的な教育手法が用いられている。また、野外教育プログラムの成果分析として、心理尺度を用いた量的研究や、行動を観察しまとめていく質的研究が行われている。野外教育における心理学的な研究課題、研究方法、分析方法について理解を深める。先行研究の講読や野外教育に関する研究課題に関するディスカッションをとおして、自らの研究課題を持つようになるとともに、論理的・客観的な研究方法を習得する。	
比較教育学特論	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）をよりよく理解するために、英語その他の外国語による各国教育情報の収集と読解の方法を学び、正確な事実やデータにもとづく比較分析の基礎的方法を身につける。本授業では、文献講読を通じて各国の教育制度の概要を学ぶとともに、「比較教育学」が射程とする学術研究の蓄積と課題を学習することを通じて、世界各国の学校教育制度とカリキュラムが幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程に与える影響について分析する視点を学習する。	
比較教育学演習	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）をよりよく理解するために、各国の教育環境に着目し、教育制度の累計に関する知識を習得するとともに、正確な事実やデータにもとづく比較分析の基礎的方法を身につける。本授業では、資料収集、調査等の演習を通じて「比較教育学」の理論と歴史、方法論を学ぶとともに、その視点から世界各国の学校教育制度とカリキュラムが幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程に与える影響について分析する手法を学習する。	
国際精神保健学特論	授業のねらいとして、① 国際的な精神保健活動の歴史と近年の動向、行政、学校や地域で行われている精神保健上の諸問題に対する対策等を包括的に理解する。② 国際社会で生じている、ライフステージごとでの様々な精神保健上の問題や、経済、社会的な環境要因によって生じている精神保健上の問題を理解する。③ 海外で実施されている実際の精神保健活動を学ぶことを通して、ライフステージに応じた適切な精神保健対策と、教育現場における精神保健の向上のための活動の重要性を理解する。授業の概要として、国際機関のレポートや統計データなどから、近年の精神保健活動の課題と、対策の動向とその対策の重要性について解説する。また、グループでの議論を通して、精神保健を阻害する経済、社会的な要因、および精神保健が経済発展や開発に与える影響について知り、自分なりの考えを持ち、議論することができるようにする。また、海外で実施されている実際の精神保健活動を学ぶことを通して、ライフステージに応じた適切な精神保健管理の方策と、教育現場における精神保健の向上のための活動の重要性を理解し、学校現場における適切な精神保健活動の必要性を説明できるようになる。	

国際精神保健学演習	<p>授業のねらいとして、① 国際的な精神保健活動の歴史と近年の動向、行政、学校や地域で行われている精神保健上の諸問題に対する対策等を包括的に理解する。② 国際社会で生じている、ライフステージごとの様々な精神保健上の問題や、経済、社会的な環境要因によって生じている精神保健上の問題を理解する。③ 海外で実施されている実際の精神保健活動を学ぶことを通して、ライフステージに応じた適切な精神保健対策と、教育現場における精神保健の向上のための活動の重要性を理解する。授業の概要として、国際機関のレポートや統計データなどを用いたり、特定の国または地域のレベルでの情報を収集し、当該国または当該地域の子ども及び成人に関する近年の精神保健活動の課題とその対策について、受講学生がプレゼンテーションをする。また、グループでの議論を通して、精神保健を阻害する経済、社会的な要因、および精神保健が経済発展や開発に与える影響について知り、自分なりの考えを持ち、議論することができるようにする。また、海外で実施されている実際の精神保健活動を学ぶことを通して、ライフステージに応じた適切な精神保健管理の方策と、教育現場における精神保健の向上のための活動の重要性を理解し、学校現場における適切な精神保健活動の必要性を説明できるようになる。</p>	
認知工学特論	<p>認知工学が対象とする領域の全体像をつかむとともに、ICTを活用した授業に関する各種資料、論文、実践事例などの検討を通して、教育的視点から情報を加工して使いやすい形態で提供するシステムの設計や人間とのインターフェースを考えたシステムの構築方法、コンピュータと人間との協調的な協働作業システムのあり方など、教育諸課題の解決手法を工学的なアプローチにより提案・説明できるようになる。日本教育工学会が出版する書籍、論文、文部科学省が示す教育の情報化に関する資料、ICTを活用した実践事例集などをとりあげ、分担部分の発表と全体での討論を行い、最終的に工学的なアプローチを用いて教育諸課題の解決提案手法をレポートにまとめる。</p>	
認知工学演習	<p>認知工学的な観点から教育活動を分析・考察し、Society5.0に求められる資質・能力を子ども達に身に付けさせるために、主体的・対話的で深い学びの視点からICTをどのように活用すればよいか、理論や実践事例に基づいて自らの考えを持ち説明することができるようになる。全国のなかで先進的にICTを活用している幼稚園、小中高等学校などを訪問し、その授業や教育活動を参観する。授業などの参観を通じて学んだことや考えたことなどを各自がレポートにまとめ、その内容をもとに全体でディスカッションを行う。</p>	
家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	<p>授業で得られる「学位授与の方針」の項目として、専門学問分野における知識・技能を備え、それらに応用できること。  授業の達成目標として、①実習で出会う事例について、家族心理学の重要な概念を用いた説明とディスカッションができるようになる。②家族心理学の理論に基づくアセスメントをもとに、家族関係・集団・地域社会（学校・病院など）におけるクライアントを支援できるようになること。  授業のねらいとして、①家族心理学および家族療法に関する理解を深めることで、家族療法におけるアセスメントと支援法の基礎技能を高めること。  授業は、大きく分けて講義とロールプレイの2部で構成される。講義では、教科書やDVDといった教材を用いて、家族心理学の理論やアセスメント法、支援法を学ぶ。担当教員が精神科医療での家族支援の実務経験を活かして講義を行う。ロールプレイでは、家族の問題を抱える仮想の事例を設定し、クライアントと治療者に分かれて実際に面接を行う。その後、振り返りとディスカッションを実施し、学習を深める。</p>	隔年
学校カウンセリング総論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	<p>障害者・障害児福祉、児童福祉の領域を中心に、福祉分野に関する理論と支援について理解を深める。学齢期における心理臨床の重要テーマである発達障害／神経発達症および、そのアセスメント方法について理解を深める。準備されたテーマについて、受講生が資料にまとめ、パワーポイントを使って発表する。その内容について、ディスカッションを行う。自分の発表内容に関して、4肢選択の問題を3問作成する（最後に確認テスト）。発達障害に関するビデオを見て、その内容についてのディスカッションを行う。各授業の最後に、感想、残された疑問、新たな疑問を記入。</p>	

<p>学校臨床心理学演習（教育分野に関する理論と支援の展開）</p>	<p>学校現場で見受けられる児童生徒の問題について、児童生徒の特性および環境的要因などを総合的な視点から考察し、学校内で生じる様々な問題へ対処するために必要な知識と技能を身につけることを目的とする。本講義は講義形式部分、演習部分を往還しつつ学習を深める。全員参加型の授業となる。全体を通して、担当教員が公立小中高等学校および教育専門機関における教育相談の実務経験を活かして講義を行う。</p>	
<p>教育心理学特論</p>	<p>教育心理学に関する講義を受け、議論することを通して、既存の教育を評価・改善し、新しい教育を提案し、実行するための力をつける。その際に、教育心理学の成り立ちに関して、その根拠である実験・調査の方法までさかのぼり、理論の一般化可能性や限界を批判的に吟味する力をつける。また、学校現場経験、職業経験、研究経験をもとに、研究成果を教育現場、研究現場で活かす方法を議論し、実践的応用力をつける。広い意味での教育心理学に関する知見を教員が紹介し、論文を代表者が発表し、受講者全員で議論する。発表者は、他の受講者が理解しやすいようにプレゼンテーションを工夫する。特に、実験や調査の方法について、授業中に受講者が体験できるようにする。受講者は、自分の考えを積極的に述べる。特に、発表論文の内容について批判的に意見を述べるようにする。さらに、各受講者の学校現場経験、職業経験、研究経験をもとに、研究成果を教育現場、研究現場で活かす方法を議論する。なお、教育心理学の主要な知見や方法論について、教員が講義を行う。</p>	
<p>教育心理学演習</p>	<p>教育心理学に関する学術論文を読み、議論することを通して、既存の教育を評価・改善し、新しい教育を提案し、実行するための力をつける。その際に、教育心理学の成り立ちに関して、その根拠である実験・調査の方法までさかのぼり、理論の一般化可能性や限界を批判的に吟味する力をつける。また、学校現場経験、職業経験、研究経験をもとに、研究成果を教育現場、研究現場で活かす方法を議論し、実践的応用力をつける。広い意味での教育心理学に関する論文を代表者が発表し、受講者全員で議論する。発表者は、他の受講者が理解しやすいようにプレゼンテーションを工夫する。特に、実験や調査の方法について、授業中に受講者が体験できるようにする。受講者は、自分の考えを積極的に述べる。特に、発表論文の内容について批判的に意見を述べるようにする。さらに、各受講者の学校現場経験、職業経験、研究経験をもとに、研究成果を教育現場、研究現場で活かす方法を議論する。</p>	
<p>司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開</p>	<p>司法・犯罪領域における公認心理師の実践について概説できる。各種犯罪および司法・犯罪領域に関する基本的な事項について説明できる。司法。犯罪領域における公認心理師の実践について解説した後、各種犯罪に関する解説と背景となる事項、および公認心理師を目指すにあたり必要な司法・犯罪領域において身に付けておくべき事項について説明する。全体を通して、担当教員が司法領域での実務経験を活かして指導を行う。</p>	<p>隔年</p>
<p>社会心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）</p>	<p>授業のねらいとして、社会心理学の基礎知識にもとづいて自分自身の日常生活を具体的に改善することができるようになること及び集団構造や状況要因が人間の判断や行動におよぼす影響について理解を深めることで、対人援助におけるアセスメントの基礎技能を高めること。 授業の概要として、社会心理学の基礎知識について講義を行った後、特定の実験研究を取り上げて、日常生活とのつながりについてディスカッションを行うこと及び以上の活動を通して、心理学の基礎知識による日常生活および人間の行動の理解のプロセスを体得すること。</p>	<p>隔年</p>
<p>心の健康教育に関する理論と実践</p>	<p>本授業では、以下の2点をねらいとする。①学校教育における心の健康教育について、その必要性と目標・内容について正しく理解する。②心の健康教育に関する具体的内容について、自ら授業内容を立案し実施することを通して実践力を高める。 学校教育における心の健康教育の位置づけ、またその目標・内容等について、心の健康教育に関する様々な実践事例を紹介しながら理解を深める。また、心の健康教育に関する具体的な内容について各自テーマを決め、授業案を作成し実施する。</p>	

精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	<p>本授業の到達目標は、次の5点である。①基本的な精神症状について述べる事ができる。②主な精神医学的検査とその意義について説明できる。③精神科診断の方法について述べる事ができる。④代表的な精神疾患の概念、疫学、症状、診断、治療、転帰・予後について説明できる。⑤心理臨床・教育臨床の観点と精神医学の観定の異同について論じることができる。</p> <p>将来、心理相談業務、教育相談業務に携わることを志す者を対象に、相談業務に必要な精神医学について講ずる。授業は、精神疾患の古典的および今日的なトピックについて受講者にレポートを課し、その発表を通じてより深い学びの機会を得るよう進めていく。</p>	隔年
認知心理学特論	<p>認知（cognition）とは、知ることを意味するラテン語に由来する。現代心理学では、知識を獲得する精神過程を意味している。つまり、知覚・注意・記憶・問題解決・概念形成などの知的な活動を研究テーマとしている。この授業では、人間の知的な精神活動について幅広く学ぶと同時に、各々の研究テーマが成立した発端と現在のフロントについて深く学習することをねらいとしている。</p> <p>まず、外界の情報処理の基礎をなす視覚・聴覚的な認知について論じる。次に、知識や概念の形成、それらを使った実際的な問題解決や意志決定等について議論する。最後に、比較的近年のテーマであるワーキングメモリー、感情等と認知の関係、未だ測定が困難な創造性とその能力の実態、社会構造や対人関係の処理と関係する社会脳や文化学習について論じる。</p>	
認知心理学演習	<p>認知心理学は、初発においては情報処理理論の影響を強く受け、人間の知的な活動をコンピューター・アナロジーとして捉えてきた。現在は神経科学、計算論、哲学、言語学、生態学等の影響を受けながら、人間の知的な活動をグローバルな観点から説明しようとしている。この授業では幅広い研究テーマを取り上げながら、ディスカッションを行って認知心理学の考え方や研究手法について学ぶことをねらいとしている。</p> <p>毎回、各テーマに関する文献をまとめて発表する。それに対してグループによるディスカッションを行った後に発表をする。それらに対して評価とコメントを提示していく。</p>	
発達心理学特論	<p>発達心理学は学際的な様相を呈している。初期、生物学の影響が強かったことから、霊長類の系統発生等の進化論、神経科学や遺伝学等の知見が取り入れられている。さらに、社会制度や人工物の生態学、広義のコミュニケーション学等、社会や文化の影響も重要視している。この授業ではヒトの発達について幅広く学ぶと同時に、各々の研究テーマの成立過程と現在について深く学習することをねらいとしている。</p> <p>ヒトの発達の諸相について講義する。主に認知や言語、及び社会性とパーソナリティの発達を扱う。言語や認知については、ヒト固有の能力の発達を明確にするため、ヒト以外の霊長類と比較したり、ヒトが有する社会制度や人工物がその生態に与える影響を論じたりする。社会性とパーソナリティの発達については、ヒトのコミュニケーションの特徴や社会の構造やその変化から論じる。</p>	
発達心理学演習	<p>発達研究は、ダーウィンの進化論の影響を受けて成立した。そして、ブライヤーによる子どもの発達の研究、ホルの青年期の研究等を下地として発展してきた。その後、機械論や有機体論の影響を受けながら、その時代の有力な先端科学を取り入れて現在に至っている。この授業では幅広い研究テーマを取り上げながら、ディスカッションを行って発達心理学の考え方や研究手法について学ぶことをねらいとしている。</p> <p>毎回、各テーマに関する文献をまとめて発表する。それに対してグループによるディスカッションを行った後に発表をする。それらに対して評価とコメントを行う。</p>	
実験心理学研究	<p>この授業では、実験心理学的視点から人間行動を考察する方法を学ぶことをねらいとする。これまで実験心理学における研究で得られた知見を、歴史的な考察を含めて学ぶ。人間行動の実証科学的解明についての問題意識、技法、データの解釈、そして、知見の蓄積に関わる諸問題について理解を深める。実験心理学の領域における様々な問題意識、その解決に関わる技法、さらには心理学的現象の数量化について担当教員が概説し、受講生とその内容についてディスカッションする。さらに、実験心理学における重要研究について文献を読み教員とともに考察を深め、その学んだ成果をレポートとしてまとめる。</p>	隔年

基礎心理学研究	この授業では、基礎心理学的視点から人間行動を考察する方法を学ぶことをねらいとする。これまで基礎心理学における研究で得られた知見を、歴史的な考察を含めて学ぶ。人間行動の実証科学的解明についての問題意識、技法、データの解釈、そして、知見の蓄積に関わる諸問題について理解を深める。基礎心理学の領域における様々な問題意識、その解決に関わる技法、さらには心理学的現象の数量化について担当教員が概説し、受講生とその内容についてディスカッションする。さらに、基礎心理学における重要研究について文献を読み教員とともに考察を深め、その学んだ成果をレポートとしてまとめる。	隔年
認知心理学研究	人間の行動について、認知心理学的視点から検討する方法を実践的に学ぶことをねらいとする。授業では、複雑で多様な環境の中で、人間はいかに意味のある情報を知覚し行為を組織化しているかに関して研究するための方法論を学ぶ。その後、眼球運動および身体動作を扱った知覚と行為に関する研究を取り上げ、受講生による発表・討論を行う。また、測定機器を操作して、実際に眼球運動と身体動作を測定、分析を行う。	隔年
生理心理学研究	生理心理学は、人間の行動や心理の生理学的基礎を研究する学問領域である。人間の心理的機能と生理的機能の関連を科学的に解明するための研究方法を習得することを目的とする。授業では、生理心理学研究で指標として用いられることが多い心臓循環器系および呼吸器系の活動に焦点を当て、その機序や測定法と分析法を学ぶ。その後、心理的機能との関連を扱った生理心理学的研究を取り上げ、受講生による発表・討論を行う。	隔年
社会心理学研究	人は個人で行動するときと、集団へ所属したときではどのような違いがあるのだろうか。この講義では、まず社会心理学や関連領域における、人が集団へ所属することの意味や、その時の行動の傾向に関する基本的な理論や知見を概説する。その上で、受講生の研究関心に基づき、関連する最新の文献を元に討論を行う。これらを通して、社会心理学の基本的な研究枠組みを理解し、自らが研究を遂行することが出来る力を涵養する。	隔年
グループダイナミクス	グループダイナミクスが扱う集団には、小規模な集団から、コミュニティレベルの集団まで様々である。まずは、小集団の現象を理解するために、グループダイナミクスの知見や理論を解説する。その上で、受講生の研究に関連する最新の研究事例について詳細に検討することで、人が集団に所属することで生じる様々な現象の理解する力を涵養する。また、コミュニティで生じる様々な現象を理解するために、コミュニティの問題に関する知見や理論を解説する。その後、グループダイナミクスの知見や理論がコミュニティの問題解決にどのように役立つのかを考察していく。最終的に、人間行動のメカニズムや、グループダイナミクスの考え方を理解し、それらの知識を自分の普通の生活にも生かせるようになることを目指す。	隔年
(研究指導)	<p>(概要) 心理学分野の研究を行う学生を対象に、修士論文執筆に必要な指導を行う。所定の手続に従い、心理学の教員の何れかを主指導教員として決定した学生がこの授業の履修者となる。</p> <p>この授業において、履修者は、主に主指導教員のもとで研究指導を受けるが(主に主指導教員のもとでの報告、質疑を内容とする)、履修者全員が参加する中間報告会では、担当教員全員による幅広い助言・指導を受ける。</p> <p>(17 今井 章) 実験心理学, 基礎心理学について研究指導を行う。 (44 高瀬 弘樹) 認知心理学, 生理心理学について研究指導を行う。 (45 岡本 卓也) 社会心理学, グループダイナミクスについて研究指導を行う。</p>	



心理学分野臨床心理学コース	専門基盤科目群	心理学分野コア科目	<p>心理学研究指導 I</p> <p>(概要) 心理学研究には、対象とする各領域に応じた適切な研究方法論を身につけることが不可欠である。そこで、教育心理学、発達心理学を中心に、隣接諸科学に関する研究方法を身につける。心理学総合演習 I、II に引き続き、修士論文を念頭に置きながら、主に研究の組み立て方についての研究方法論の理解を深める。教育心理学、発達心理学を中心に、隣接諸科学に関する基本的な研究手法を解説する。また、受講生が自らの研究計画を発表し、受講生同士の議論を行い、教員から助言を行う。</p> <p>(18 高橋知音) 限局性学習症、自閉スペクトラム症、心理的アセスメント等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(19 上村恵津子) 学校心理学関連・特別支援教育関連等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(20 越智康詞) 教育学、教育社会学、臨床教育人間学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(21 島田英昭) 教育心理学、認知心理学、教育工学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(46 茅野理恵) 学校心理学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(47 水口 崇) 発達心理学・認知科学に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(48 高柳充利) 人間形成論等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(49 友川 幸) 国内外の精神保健活動等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(50 高橋 史) 臨床心理学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(51 小野貴史) 音楽心理学的視点から音楽芸術の受容構造及び人間の知覚現象等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(52 森下 孟) 認知工学、学習科学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(65 瀧 直也) 野外教育の心理的効果に関連する課題の研究指導を行う。</p>	共同
---------------	---------	-----------	--	----

<p>心理学研究指導Ⅱ</p>	<p>(概要) 心理学研究には、対象とする各領域に応じた適切な研究方法論を身につけることが不可欠である。そこで、教育心理学、発達心理学を中心に、隣接諸科学に関する研究方法を身につける。心理学総合演習Ⅰ、Ⅱに引き続き、修士論文を念頭に置きながら、主に研究のまとめ方についての研究方法論の理解を深める。教育心理学、発達心理学を中心に、隣接諸科学に関する基本的な研究手法を解説する。また、受講生が自らの研究計画を発表し、受講生同士の議論を行い、教員から助言を行う。</p> <p>(18 高橋知音) 限局性学習症、自閉スペクトラム症、心理的アセスメント等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(19 上村恵津子) 学校心理学関連・特別支援教育関連等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(20 越智康詞) 教育学、教育社会学、臨床教育人間学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(21 島田英昭) 教育心理学、認知心理学、教育工学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(46 茅野理恵) 学校心理学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(47 水口 崇) 発達心理学・認知科学に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(48 高柳充利) 人間形成論等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(49 友川 幸) 国内外の精神保健活動等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(50 高橋 史) 臨床心理学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(51 小野貴史) 音楽心理学的視点から音楽芸術の受容構造及び人間の知覚現象等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(52 森下 孟) 認知工学、学習科学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(65 瀧 直也) 野外教育の心理的効果に関連する課題の研究指導を行う。</p>	<p>共同</p>
-----------------	---	-----------

<p>心理学総合演習 I</p>	<p>(概要) 心理学研究には、対象とする各領域に応じた適切な研究方法論を身につけることが不可欠である。そこで、教育心理学、発達心理学を中心に、隣接諸科学に関する研究方法を身につける。主に研究の組み立て方についての研究方法論の理解を深める。教育心理学、発達心理学を中心に、隣接諸科学に関する基本的な研究手法を解説する。また、受講生が自らの研究計画を発表し、受講生同士の議論を行い、教員から助言を行う。</p> <p>(18 高橋知音) 限局性学習症, 自閉スペクトラム症, 心理的アセスメント等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(19 上村恵津子) 学校心理学関連・特別支援教育関連等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(20 越智康詞) 教育学, 教育社会学, 臨床教育人間学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(21 島田英昭) 教育心理学, 認知心理学, 教育工学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(46 茅野理恵) 学校心理学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(47 水口 崇) 発達心理学・認知科学に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(48 高柳充利) 人間形成論等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(49 友川 幸) 国内外の精神保健活動等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(50 高橋 史) 臨床心理学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(51 小野貴史) 音楽心理学的視点から音楽芸術の受容構造及び人間の知覚現象等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(52 森下 孟) 認知工学, 学習科学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(65 瀧 直也) 野外教育の心理的効果に関連する課題の研究指導を行う。</p>	<p>共同</p>
------------------	---	-----------

		心理学総合演習Ⅱ	<p>(概要) 心理学研究には、対象とする各領域に応じた適切な研究方法論を身につけることが不可欠である。そこで、教育心理学、発達心理学を中心に、隣接諸科学に関する研究方法を身につける。主に研究のまとめ方についての研究方法論の理解を深める。教育心理学、発達心理学を中心に、隣接諸科学に関する基本的な研究手法を解説する。また、受講生が自らの研究計画を発表し、受講生同士の議論を行い、教員から助言を行う。</p> <p>(18 高橋知音) 限局性学習症、自閉スペクトラム症、心理的アセスメント等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(19 上村恵津子) 学校心理学関連・特別支援教育関連等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(20 越智康詞) 教育学、教育社会学、臨床教育人間学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(21 島田英昭) 教育心理学、認知心理学、教育工学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(46 茅野理恵) 学校心理学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(47 水口 崇) 発達心理学・認知科学に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(48 高柳充利) 人間形成論等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(49 友川 幸) 国内外の精神保健活動等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(50 高橋 史) 臨床心理学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(51 小野貴史) 音楽心理学的視点から音楽芸術の受容構造及び人間の知覚現象等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(52 森下 孟) 認知工学、学習科学等に関連する課題の研究指導を行う。</p> <p>(65 瀧 直也) 野外教育の心理的効果に関連する課題の研究指導を行う。</p>	共同
専門 発展 科目 群	ア ク シ ョ ン リ サ ー チ 系 科 目	臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習）	<p>(概要) 臨床心理学的援助サービスの知識・技能を、教育・医療・福祉・司法領域などの現場で展開できる。教育・医療・福祉・司法領域などにおける臨床心理援助サービスの能力を獲得できる。授業の概要として、① 心理教育相談室におけるケース担当、② 月例事例検討会、③ 外部実習の事前・事後指導、④ 外部実習（病院実習、学校臨床実習、少年鑑別所実習、発達支援センター他）及び全体を通して、担当教員が精神科医療、学校教育、障害児福祉、司法矯正分野での心理支援の実務経験を活かして指導を行う。</p> <p>(18 高橋知音) 主に発達障害を対象とした教育、医療、福祉での心理支援について担当する。</p> <p>(19 上村恵津子) 学校教育、障害児教育での心理支援について担当する。</p> <p>(46 茅野理恵) 学校教育、司法矯正分野での心理支援について担当する。</p> <p>(50 高橋 史) 精神科医療、司法矯正分野での心理支援について担当する。</p> <p>(76 栗林千聡) 精神科医療、産業分野での心理支援について担当する。</p>	共同

発達・教育心理学実習	<p>(概要) 発達心理学、教育心理学は、具体的な現場を離れた実験室研究や統計的な調査研究を背景に発展してきた。これらの知見の価値は確かにあり、現場に活かされる事例も多数ある。しかし、具体的に現場に活かす方法を身につけなければ、学修した知見を活かすことができない。そこで本授業では、発達心理学、教育心理学、および隣接諸科学に関して、現場を知り、現場に学術的知見を具体的に活かす方法を身につける。原則として「現場を知る」「現場に入る」「現場を振り返る」の3つの段階により学ぶ。現場を知るでは、現場に関して文献やインターネット上の情報を集めて、現場について知る。現場に入るでは、実際に現場に赴き、現場に入って実習を行う。現場を振り返るでは、現場を知る、現場に入るの内容を総合して、現場に学術的知見を具体的に活かす方法議論する。複数の現場に入り、受講生同士の議論を中心に進める。</p> <p>(20 越智康詞) 教育学、教育社会学、臨床教育人間学等に関連する課題の実習指導を行う。</p> <p>(21 島田英昭) 教育心理学、認知心理学、教育工学等に関連する課題の実習指導を行う。</p> <p>(47 水口 崇) 発達心理学・認知科学に関連する課題の実習指導を行う。</p> <p>(48 高柳充利) 人間形成論等に関連する課題の実習指導を行う。</p> <p>(49 友川 幸) 国内外の精神保健活動等に関連する課題の実習指導を行う。</p> <p>(51 小野貴史) 音楽心理学的視点から音楽芸術の受容構造及び人間の知覚現象等に関連する課題の実習指導を行う。</p> <p>(52 森下 孟) 認知工学、学習科学等に関連する課題の実習指導を行う。</p> <p>(65 瀧 直也) 野外教育の心理的効果に関連する課題の実習指導を行う。</p> <p>(74 安達 仁美) 学習過程論、質的心理学に関連する課題の実習指導を行う。</p> <p>(75 林 寛平) 比較教育学に関連する課題の実習指導を行う。</p>	共同
臨床心理学基礎実習	<p>(概要) 臨床心理学的援助サービスの基礎技法を習得し、模擬面接により臨床心理学的援助サービスができる。授業の概要として、① 様々なエクササイズを通して、マイクロカウンセリング、親子面接・学校関係の相談、認知行動療法を習得する。② 模擬面接を行い、スーパービジョンを受けて、初回面接から最終報告書までを作成して事例を発表する。</p> <p>(オムニバス方式／全30回)</p> <p>(19 上村恵津子／7回) 親子面接・学校関係の相談を担当する。</p> <p>(46 茅野理恵／15回) マイクロカウンセリング、臨床面接の総括・事例発表を担当する。</p> <p>(50 高橋史／8回) 認知行動療法を担当する。</p>	オムニバス方式
臨床心理実習Ⅱ	<p>(概要) 臨床心理学的援助サービスの知識・技能を、教育・医療・福祉・司法領域などの現場で展開できる。教育・医療・福祉・司法領域などにおける臨床心理援助サービスの能力を獲得できる。授業の概要として、① 外部実習の事前指導、② 外部実習、③ 各実習におけるグループスーパービジョン、④ 外部実習事後指導及び全体を通して、担当教員が精神科医療、司法矯正、学校教育分野での心理支援の実務経験を活かして指導を行う。</p> <p>(18 高橋知音) 発達障害を中心とした児童福祉、障害者福祉での心理支援について担当する。</p> <p>(19 上村恵津子) 学校教育、障害児教育での心理支援について担当する。</p> <p>(46 茅野理恵) 学校教育での心理支援について担当する。</p> <p>(50 高橋 史) 精神科医療、司法矯正分野での心理支援について担当する。</p>	共同

心理学分野発展科目	人間の精神と社会環境特論	<p>現在、こころの病理現象が広がっている。カウンセリングへのニーズが高まっているのもそのためだ。とはいえ、事後対応・個別対応を超えて、そもそもこころが困難に陥るその要因を知って、予防的＝根源的＝制度的(社会的)に対応していくことが必要だ。また、個別相談の場面でも、当人のこころを、当人の置かれた状況から切り離すのではなく、その状況・文脈・背景を含め、関係論的に理解することが必要である。本講義では、現代社会に生きる人々の生きづらさがどこからそもそもどこから来るのか。その由来を社会関係の内部に探究していく。人間を取り巻く(精神に困難を与える)現代社会の構造や仕掛けについて認知するとともに、人間の精神がいかに社会と不可分のものであるかを深く理解し、人間を支える社会の可能性について探究する(思考しはじめるきっかけを与える)ことが狙いである。まずは、私たちの常識となっているデカルト的二元論やプラトンの本質主義から解放され、スピノザ的な関係論的視点を学ぶ。人間の傾向性(社会的存在としての性質)を理解するだけでなく、人間を取り囲み巻き込む社会の傾向性を理解する。続いて、私たちがその中に生きる社会や制度や環境がいったいどのようなものなのか、その傾向性や構造を理解する。資本主義や新自由主義などマクロな傾向性から、家族、学校、地域、メディアなど人間(子ども)を取り巻く制度的環境が人間のこころ(精神)にとってどのような意味をもつものなのかについて、様々な観点からアプローチする。講義ではあるが、受講生は受動的に話を聞くのではなく、受講生自身が、自ら文献資料や様々な情報源から情報を集め分析し、そこで得られた知見を提示＝共有しながらディスカッションし、社会とこころのかかわりについて互いに理解を深め合う。また、ディスカッションでは、そうした(正解のない)社会の課題に対し、いかにして対応すればよいか、個別相談的な方法に加え、どのような社会づくりが必要であるかについても同時に考えられるようになる。</p>	
	人間の精神と社会環境演習	<p>私たちは人間には「こころ」があることを前提に思考し行為しているが、そもそも「こころ」とは何か。「こころ」はどこから来たのか。本講義では、人類の進化の中で、技術・メディア、社会関係・制度と共に、「こころ」がいかに生まれ変化してきたのか、さらには(「こころの理論」を持つことが)人類の進化や社会の構成を支えてきた経緯について理解する。人間の精神は、言葉のような道具、周囲の環境(アフォーダンス)、他者との関係と深くつながっている。実際、「こころ」を扱う心理学もその環境要因(社会的影響)を無視できないし、逆に社会の成り立ちを理解し、新たな社会を制度設計していくうえで、社会や制度やメディア・技術がいかに「こころ」に影響を及ぼすものなのかについて深く理解しておくことは重要である。本講義は、「こころ」と社会にかかわる関係性や(問題)現象について、多様な立場からアプローチする。言葉などのメディア・道具がいかに人間の「こころ」を進化させてきたのか、近代社会における個人やプライバシーなどの観念が私たちの「こころ」の扱いにいかなる影響を及ぼしているのかといったことについて理解を深め、「こころ」に対する受け止め方や「こころ」に配慮した新しい社会や制度の可能性について課題意識をもち、自分の頭で考えられるようになることを目指す。</p>	
	学習過程論特論	<p>人の生涯にわたる学習過程を質的心理学の見地から捉え、キャリア意識の形成や問題解決学習の理論に基づきながら、多角的な視点から取り上げ検討することにより、学際的な考察力を培うと共に学習過程を捉えるための知識を習得することを目的とする。前半は、質的心理学や職業心理学の見地から学習過程に関連する諸理論について講義し、後半は文献レビューとディスカッションを通して発達段階ごとに学習過程を検討し深めていく。</p>	
	学習過程論演習	<p>質的心理学の見地から、学習過程において学習者がいかに認知・習得つつあるのかを捉えるための分析手法を用いた論文を中心に、文献レビューとディスカッションを行うことを通して、質的研究に関連する理論を理解することを目的とする。質的心理学について解説し、文献レビューを通して質的分析に関して議論する。</p>	

人間形成論特論	人間形成について、人間の変化という事項に関わる文献を読み、討議を行う。人間形成という問題圏についての自分なりの課題意識を、文献（主に、教育哲学に関わる領域）に提示されている議論と交流させつつ、他者の論との双方向的な対話を通し、新たな視点でもって人間形成について表出する道筋を模索する。授業の概要は、1. 人間形成という問題圏について自分なりの課題意識をもつ。2. 課題意識と文献（教育哲学に関わる領域）に提示されている議論とを交流させ自分なりの論を展開させる。3. 自らの論と他者のそれとの双方向的な対話を通して新たな視点でもって人間形成について表出する。	
人間形成論演習	人間形成について、人間の変化という事項に関わる文献をもとに、発表と討議を行う。文献（主に、教育哲学に関わる領域）に内在する論理や他者の論との対話を通し、人間形成に関する自らの議論を研究的な文脈において展開させることを目指す。授業の概要は、1. 人間形成という問題圏にかかわる文献に内在する論理を読み取る。2. 人間形成に関しての先行研究について自分なりに見取り図をつくる。3. 人間形成に関する自らの議論を、先行研究の文脈のなかに位置づけつつ提示する。	
音楽心理学特論	人間の行動について考察する方法は様々に考えられるが、この授業では、音楽心理学的視点から検討する方法を学ぶことをねらいとする。音楽心理学は、資質・スキル・知能・想像力・社会的行動についての臨床的研究にも関わる広範囲な実践に関連する研究分野である。本授業では非心理学的な視点の音楽学や音楽活動を明確にすることも目的の範疇とする。 音楽作品と聴取者間の知覚的・情緒的・社会的反応の心理学的解析のみならず、楽理的構造側面の分析や知覚研究・コンピュータモデリングを行うことによってパフォーマンスや創作プロセスにおける音楽芸術の体系的分析法を学ぶ。	
音楽心理学演習	この授業では、音楽心理学的視点から人間の知覚現象を分析する方法を学ぶ。音楽心理学は、資質・スキル・知能・想像力・社会的行動についての臨床的研究にも関わる広範囲な実践に関連する研究分野である。本授業では非心理学的な視点の音楽学や音楽活動を明確にすることも目的の範疇とする。音楽作品と聴取者間の知覚的・情緒的・社会的反応の心理学的解析に加えて、音響解析ならびに楽理的構造側面の分析やパフォーマンスも含めた知覚研究・コンピュータモデリングを行うことによって受講生が各自設定した対象を実際に音楽心理学的手法により分析する演習である。	
野外教育グループカウンセリング特論	野外教育は、組織的かつ計画的に一定の教育目標をもって行われる自然体験活動である。そこには小集団での効果的な教育手法が用いられている。野外教育に関する専門的な知識について学び、野外教育の指導者として必要な高度な知見を習得する。講義、ディスカッション、指導演習をとおして、野外教育をはじめとする体験学習の教育的効果や効果的なグループ指導に関する指導法を学び、専門的な知識を習得する。	
野外教育グループカウンセリング演習	野外教育は組織的かつ計画的に一定の教育目標をもって行われる自然体験活動であり、そこには小集団での効果的な教育手法が用いられている。また、野外教育プログラムの成果分析として、心理尺度を用いた量的研究や、行動を観察しまとめていく質的研究が行われている。野外教育における心理学的な研究課題、研究方法、分析方法について理解を深める。先行研究の講義や野外教育に関する研究課題に関するディスカッションをとおして、自らの研究課題を持つようになるとともに、論理的・客観的な研究方法を習得する。	
比較教育学特論	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）をよりよく理解するために、英語その他の外国語による各国教育情報の収集と読解の方法を学び、正確な事実やデータにもとづく比較分析の基礎的方法を身につける。本授業では、文献講読を通じて各国の教育制度の概要を学ぶとともに、「比較教育学」が射程とする学術研究の蓄積と課題を学習することを通じて、世界各国の学校教育制度とカリキュラムが幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程に与える影響について分析する視点を学習する。	

比較教育学演習	<p>幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）をよりよく理解するために、各国の教育環境に着目し、教育制度の累計に関する知識を習得するとともに、正確な事実やデータにもとづく比較分析の基礎的方法を身につける。本授業では、資料収集、調査等の演習を通じて「比較教育学」の理論と歴史、方法論を学ぶとともに、その視点から世界各国の学校教育制度とカリキュラムが幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程に与える影響について分析する手法を学習する。</p>	
国際精神保健学特論	<p>授業のねらいとして、① 国際的な精神保健活動の歴史と近年の動向、行政、学校や地域で行われている精神保健上の諸問題に対する対策等を包括的に理解する。② 国際社会で生じている、ライフステージごとでの様々な精神保健上の問題や、経済、社会的な環境要因によって生じている精神保健上の問題を理解する。③ 海外で実施されている実際の精神保健活動を学ぶことを通して、ライフステージに応じた適切な精神保健対策と、教育現場における精神保健の向上のための活動の重要性を理解する。授業の概要として、国際機関のレポートや統計データなどから、近年の精神保健活動の課題と、対策の動向とその対策の重要性について解説する。また、グループでの議論を通して、精神保健を阻害する経済、社会的な要因、および精神保健が経済発展や開発に与える影響について知り、自分なりの考えを持ち、議論することができるようにする。また、海外で実施されている実際の精神保健活動を学ぶことを通して、ライフステージに応じた適切な精神保健管理の方策と、教育現場における精神保健の向上のための活動の重要性を理解し、学校現場における適切な精神保健活動の必要性を説明できるようになる。</p>	
国際精神保健学演習	<p>授業のねらいとして、① 国際的な精神保健活動の歴史と近年の動向、行政、学校や地域で行われている精神保健上の諸問題に対する対策等を包括的に理解する。② 国際社会で生じている、ライフステージごとでの様々な精神保健上の問題や、経済、社会的な環境要因によって生じている精神保健上の問題を理解する。③ 海外で実施されている実際の精神保健活動を学ぶことを通して、ライフステージに応じた適切な精神保健対策と、教育現場における精神保健の向上のための活動の重要性を理解する。授業の概要として、国際機関のレポートや統計データなどを用いたり、特定の国または地域のレベルでの情報を収集し、当該国または当該地域の子ども及び成人に関する近年の精神保健活動の課題とその対策について、受講生がプレゼンテーションをする。また、グループでの議論を通して、精神保健を阻害する経済、社会的な要因、および精神保健が経済発展や開発に与える影響について知り、自分なりの考えを持ち、議論することができるようにする。また、海外で実施されている実際の精神保健活動を学ぶことを通して、ライフステージに応じた適切な精神保健管理の方策と、教育現場における精神保健の向上のための活動の重要性を理解し、学校現場における適切な精神保健活動の必要性を説明できるようになる。</p>	
認知工学特論	<p>認知工学が対象とする領域の全体像をつかむとともに、ICTを活用した授業に関する各種資料、論文、実践事例などの検討を通して、教育的視点から情報を加工して使いやすい形態で提供するシステムの設計や人間とのインターフェースを考えたシステムの構築方法、コンピュータと人間との協調的な協働作業システムのあり方など、教育諸課題の解決手法を工学的なアプローチにより提案・説明できるようになる。日本教育工学会が出版する書籍、論文、文部科学省が示す教育の情報化に関する資料、ICTを活用した実践事例集などをとりあげ、分担部分の発表と全体での討論を行い、最終的に工学的なアプローチを用いて教育諸課題の解決提案手法をレポートにまとめる。</p>	
認知工学演習	<p>認知工学的な観点から教育活動を分析・考察し、Society5.0に求められる資質・能力を子ども達に身に付けさせるために、主体的・対話的で深い学びの視点からICTをどのように活用すればよいか、理論や実践事例に基づいて自らの考えを持ち説明することができるようになる。全国のなかで先進的にICTを活用している幼稚園、小中高等学校などを訪問し、その授業や教育活動を参観する。授業などの参観を通じて学んだことや考えたことなどを各自がレポートにまとめ、その内容をもとに全体でディスカッションを行う。</p>	



<p>家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）</p>	<p>授業で得られる「学位授与の方針」の項目として、専門学問分野における知識・技能を備え、それらを活用できること。          授業の達成目標として、①実習で出会う事例について、家族心理学の重要な概念を用いた説明とディスカッションができるようになる。②家族心理学の理論に基づくアセスメントをもとに、家族関係・集団・地域社会（学校・病院など）におけるクライアントを支援できるようになること。          授業のねらいとして、①家族心理学および家族療法に関する理解を深めることで、家族療法におけるアセスメントと支援法の基礎技能を高めること。          授業は、大きく分けて講義とロールプレイの2部で構成される。講義では、教科書やDVDといった教材を用いて、家族心理学の理論やアセスメント法、支援法を学ぶ。担当教員が精神科医療での家族支援の実務経験を活かして講義を行う。ロールプレイでは、家族の問題を抱える仮想の事例を設定し、クライアントと治療者に分かれて実際に面接を行う。その後、振り返りとディスカッションを実施し、学習を深める。</p>	<p>隔年</p>
<p>学校カウンセリング総論（福祉分野に関する理論と支援の展開）</p>	<p>障害者・障害児福祉、児童福祉の領域を中心に、福祉分野に関する理論と支援について理解を深める。学齢期における心理臨床の重要テーマである発達障害／神経発達症および、そのアセスメント方法について理解を深める。準備されたテーマについて、受講生が資料にまとめ、パワーポイントを使って発表する。その内容について、ディスカッションを行う。自分の発表内容に関して、4肢選択の問題を3問作成する（最後に確認テスト）。発達障害に関するビデオを見て、その内容についてのディスカッションを行う。各授業の最後に、感想、残された疑問、新たな疑問を記入。</p>	
<p>学校臨床心理学演習（教育分野に関する理論と支援の展開）</p>	<p>学校現場で見受けられる児童生徒の問題について、児童生徒の特性および環境的要因などを総合的な視点から考察し、学校内で生じる様々な問題へ対処するために必要な知識と技能を身につけることを目的とする。本講義は講義形式部分、演習部分を往還しつつ学習を深める。全員参加型の授業となる。全体を通して、担当教員が公立小中高等学校および教育専門機関における教育相談の実務経験を活かして講義を行う。</p>	
<p>学校臨床心理学特論</p>	<p>様々なニーズを有する子どもに対して学校教育を基盤とした援助を展開するにあたり、子どもの問題状況を個人的要因と環境要因との相互作用から捉え、子どもを援助するチームのメンバーそれぞれの役割・特性を活かしつつ援助を行うために必要な知識と技能を修得することを旨とする。授業の概要として、講義およびディスカッションを通して、①学校における子どもへの援助の全体像とプロセスを理解する。②行動観察の手法を理解すると共に、これに基づき問題状況を環境要因との関連から捉える。③心理職及び教育職の働きかけの特徴を理解する。④異なる専門性を有する援助チームのメンバーそれぞれの役割・特徴を活かした援助を検討する。</p>	
<p>教育心理学特論</p>	<p>教育心理学に関する講義を受け、議論することを通して、既存の教育を評価・改善し、新しい教育を提案し、実行するための力をつける。その際に、教育心理学の成り立ちに関して、その根拠である実験・調査の方法までさかのぼり、理論の一般化可能性や限界を批判的に吟味する力をつける。また、学校現場経験、職業経験、研究経験をもとに、研究成果を教育現場、研究現場で活かす方法を議論し、実践的応用力をつける。広い意味での教育心理学に関する知見を教員が紹介し、論文を代表者が発表し、受講者全員で議論する。発表者は、他の受講者が理解しやすいようにプレゼンテーションを工夫する。特に、実験や調査の方法について、授業中に受講者が体験できるようにする。受講者は、自分の考えを積極的に述べる。特に、発表論文の内容について批判的に意見を述べるようにする。さらに、各受講者の学校現場経験、職業経験、研究経験をもとに、研究成果を教育現場、研究現場で活かす方法を議論する。なお、教育心理学の主要な知見や方法論について、教員が講義を行う。</p>	

教育心理学演習	<p>教育心理学に関する学術論文を読み、議論することを通して、既存の教育を評価・改善し、新しい教育を提案し、実行するための力をつける。その際に、教育心理学の成り立ちに関して、その根拠である実験・調査の方法までさかのぼり、理論の一般化可能性や限界を批判的に吟味する力をつける。また、学校現場経験、職業経験、研究経験をもとに、研究成果を教育現場、研究現場で活かす方法を議論し、実践的応用力をつける。</p> <p>広い意味での教育心理学に関する論文を代表者が発表し、受講者全員で議論する。発表者は、他の受講者が理解しやすいようにプレゼンテーションを工夫する。特に、実験や調査の方法について、授業中に受講者が体験できるようにする。受講者は、自分の考えを積極的に述べる。特に、発表論文の内容について批判的に意見を述べるようにする。さらに、各受講者の学校現場経験、職業経験、研究経験をもとに、研究成果を教育現場、研究現場で活かす方法を議論する。</p>	
司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	<p>司法・犯罪領域における公認心理師の実践について概説できる。各種犯罪および司法・犯罪領域に関する基本的な事項について説明できる。司法。犯罪領域における公認心理師の実践について解説した後、各種犯罪に関する解説と背景となる事項、および公認心理師を目指すにあたり必要な司法・犯罪領域において身に付けておくべき事項について説明する。全体を通して、担当教員が司法領域での実務経験を活かして指導を行う。</p>	隔年
社会心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）	<p>授業のねらいとして、社会心理学の基礎知識にもとづいて自分自身の日常生活を具体的に改善することができるようになること及び集団構造や状況要因が人間の判断や行動におよぼす影響について理解を深めることで、対人援助におけるアセスメントの基礎技能を高めること。</p> <p>授業の概要として、社会心理学の基礎知識について講義を行った後、特定の実験研究を取り上げて、日常生活とのつながりについてディスカッションを行うこと及び以上の活動を通して、心理学の基礎知識による日常生活および人間の行動の理解のプロセスを体得すること。</p>	隔年
心の健康教育に関する理論と実践	<p>本授業では、以下の2点をねらいとする。①学校教育における心の健康教育について、その必要性と目標・内容について正しく理解する。②心の健康教育に関する具体的内容について、自ら授業内容を立案し実施することを通して実践力を高める。</p> <p>学校教育における心の健康教育の位置づけ、またその目標・内容等について、心の健康教育に関する様々な実践事例を紹介しながら理解を深める。また、心の健康教育に関する具体的な内容について各自テーマを決め、授業案を作成し実施する。</p>	
精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	<p>本授業の到達目標は、次の5点である。①基本的な精神症状について述べる事ができる。②主な精神医学的検査とその意義について説明できる。③精神科診断の方法について述べる事ができる。④代表的な精神疾患の概念、疫学、症状、診断、治療、転帰・予後について説明できる。⑤心理臨床・教育臨床の観点と精神医学の観念の異同について論じることができる。</p> <p>将来、心理相談業務、教育相談業務に携わることを志す者を対象に、相談業務に必要な精神医学について講ずる。授業は、精神疾患の古典的および今日的なトピックについて受講者にレポートを課し、その発表を通じてより深い学びの機会を得るよう進めていく。</p>	隔年
認知心理学特論	<p>認知 (cognition) とは、知ることを意味するラテン語に由来する。現代心理学では、知識を獲得する精神過程を意味している。つまり、知覚・注意・記憶・問題解決・概念形成などの知的な活動を研究テーマとしている。この授業では、人間の知的な精神活動について幅広く学ぶと同時に、各々の研究テーマが成立した発端と現在のフロントについて深く学習することをねらいとしている。</p> <p>まず、外界の情報処理の基礎をなす視覚・聴覚的な認知について論じる。次に、知識や概念の形成、それらを使った実際的な問題解決や意志決定等について議論する。最後に、比較的近年のテーマであるワーキングメモリー、感情等と認知の関係、未だ測定が困難な創造性とその能力の実態、社会構造や対人関係の処理と関係する社会脳や文化学習について論じる。</p>	

認知心理学演習	<p>認知心理学は、初発においては情報処理理論の影響を強く受け、人間の知的な活動をコンピューター・アナロジーとして捉えてきた。現在は神経科学、計算論、哲学、言語学、生態学等の影響を受けながら、人間の知的な活動をグローバルな観点から説明しようとしている。この授業では幅広い研究テーマを取り上げながら、ディスカッションを行って認知心理学の考え方や研究手法について学ぶことをねらいとしている。</p> <p>毎回、各テーマに関する文献をまとめて発表する。それに対してグループによるディスカッションを行った後に発表をする。それらに対して評価とコメントを提示していく。</p>	
発達心理学特論	<p>発達心理学は学際的な様相を呈している。初期、生物学の影響が強かったことから、霊長類の系統発生等の進化論、神経科学や遺伝学等の知見が取り入れられている。さらに、社会制度や人工物の生態学、広義のコミュニケーション学等、社会や文化の影響も重要視している。この授業ではヒトの発達について幅広く学ぶと同時に、各々の研究テーマの成立過程と現在について深く学習することをねらいとしている。</p> <p>ヒトの発達の諸相について講義する。主に認知や言語、及び社会性とパーソナリティの発達を扱う。言語や認知については、ヒト固有の能力の発達を明確にするため、ヒト以外の霊長類と比較したり、ヒトが有する社会制度や人工物がその生態に与える影響を論じたりする。社会性とパーソナリティの発達については、ヒトのコミュニケーションの特徴や社会の構造やその変化から論じる。</p>	
発達心理学演習	<p>発達研究は、ダーウィンの進化論の影響を受けて成立した。そして、ブライヤーによる子どもの発達の研究、ホルの青年期の研究等を下地として発展してきた。その後、機械論や有機体論の影響を受けながら、その時代の有力な先端科学を取り入れて現在に至っている。この授業では幅広い研究テーマを取り上げながら、ディスカッションを行って発達心理学の考え方や研究手法について学ぶことをねらいとしている。</p> <p>毎回、各テーマに関する文献をまとめて発表する。それに対してグループによるディスカッションを行った後に発表をする。それらに対して評価とコメントを行う。</p>	
臨床心理学特論 I	<p>(概要) 臨床心理士の職能および責務に関する理解を深め、これらをテーマにディスカッションを行うことにより、心理援助の専門職を目指す教育プロセスにおける自らの課題を明確にする。職業倫理について理解を深め、倫理が関係する状況での適切な判断ができるようになる。授業の概要として、①心理臨床に関わる資格・職域・責務に関する基本的な知識を獲得する。②心理臨床における倫理の問題について、事例をもとにディスカッションを行う。③テキストの内容を、自らの経験や知識に基づき理解する。④援助者としてのスタンスや基本的態度についてのディスカッションを行う。⑤獲得した知識およびディスカッションに基づき、自らの実践を振り返り、心理援助における課題を検討する。</p> <p>(オムニバス方式／全15回)</p> <p>(18 高橋知音／7回) 心理臨床に関わる資格・職域・責務に関する基本、心理臨床における倫理を担当する。</p> <p>(46 茅野理恵／8回) 援助者としてのスタンスや基本的態度について担当する。</p>	オムニバス方式
臨床心理学特論 II	<p>授業で得られる『学位授与の方針』の項目として、専門学問分野における知識・技能を備え、それらを活用できること。</p> <p>授業の達成目標として、日常生活での出来事や実習で出会う事例について、学習理論にもとづくディスカッションができるようになること及び学習理論にもとづく自分自身の日常生活を具体的に改善することができるようになること。</p> <p>授業のねらいは、学習理論および行動分析に関する理解を深めることで、認知行動療法におけるアセスメントの基礎技能を高めること及び教科書の各章の概要について受講者が発表し、ディスカッションを行うことで、行動分析の基本的知識を獲得すること。</p>	
臨床心理査定演習 I (心理的アセスメントに関する理論と実践)	<p>認知機能検査、パーソナリティテストを実施、結果を解釈し、報告書を作成することができるようになることを目的とする。PFスタディ、SCTの理論的背景や心理測定学的特性について調べ、理解を深める。WAIS-IVの下位検査の実施法について受講生が分担して調べ、説明する。WAIS-IV、PFスタディ、SCTを一人(授業の受講生以外)に実施し、結果を報告書にまとめる。</p> <p>実施事例の解釈について、授業内でディスカッションを行う。</p>	

		臨床心理査定演習Ⅱ	投影法パーソナリティテストを実施、結果を解釈し、報告書を作成することができるようになることを目的とする。ロールシャッハテストおよびHTPPや家族画等の描画法パーソナリティテストの理論的背景や心理測定学的特性について調べ、理解を深める。ロールシャッハテストおよびHTPPや家族画を一人（授業の受講生以外）に実施し、結果を報告書にまとめる。 実施事例の解釈について、授業内でディスカッションを行う。		
		臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）	授業で得られる『学位授与の方針』の項目』として、専門学問分野における知識・技能を備え、それらを応用できる専門知識と応用力。授業の達成目標として、心理に関する支援を要する者について、さまざまな理論的立場からディスカッションができるようになること及び心理専門職としての自らの軸となる理論的立場が明確になること。授業のねらいとして、①複数の理論的立場から支援計画を立案する力を習得すること、②初回面接から終結までの一連の流れの疑似体験を通して、心理面接の基礎技能を高めるとともに、自身が最も得意とする技能を明らかにすること。		
		臨床心理面接特論Ⅱ	臨床心理士の基本4業務の一つである「臨床心理面接」の基本的考え方、実践方法について、演習を交えながら学習を行う。本講義を通して、①基本的な治療構造の構築、②面接の進め方、③フィードバックを反映する方法等について習得する。本講義は講義形式部分、演習部分を往還しつつ学習を深める。全員参加型の授業となる。		
経済学分野	専門基盤科目群	経済学分野コア科目	上級マイクロ経済学	上級レベルのマイクロ経済学の数理モデルについて学ぶ。具体的には消費者理論、生産者理論、一般均衡理論、ゲーム理論を学ぶ。また、これらを学ぶうえで基礎となる数学についても学ぶ。	
		上級マクロ経済学	この授業のねらいは、学部レベルのマクロ経済学を習得している学生に、より上級のマクロ経済学を理解する上で橋渡しとなる知識を習得してもらうことにある。この科目では、近年のマクロ経済理論で核となる異時点間の最適化やマクロ経済学のミクロ的基礎付けの考え方を習得することを目標とする。 授業では、閉鎖経済のマクロ経済理論を教科書に沿って学習していく。家計・企業の異時点間の効用・利潤最大化問題の解き方を学習する。次に、家計や企業が将来を予想する行動を取っていることが、マクロ経済にどのような帰結をもたらすのかを分析する。これらの授業の中で、適宜、学部のマクロ経済学の復習を行う。		
		上級計量経済学	計量経済学の統計理論に関するテキスト・論文の読解を行い、既存の研究結果を批判的に検討を行う。		
		財務会計特論	この講義では、財務会計の制度や基準および評価、手続き方法などの理論を学びます。また、近年のIFRS（国際財務報告基準）についても取り上げ、我が国の会計制度との相違点についても説明をしていきます。さらにそうした財務会計の基本的な理論を学んだうえで、毎回の講義では制度や理論、実務事例に関する研究論文等を読むことによって、実際の経済社会における財務会計の果たす役割について議論をします。講義での理解力と応用力を培うため1回の講義90分のなかで、理論・講義の説明、議論などを行いません。また財務会計の有用性に関する研究として、実務事例研究、実証会計研究もとりあげ会計研究についての知見も広げていきます。		
		法制度の経済分析特論	法制度が社会に与える影響について、マイクロ経済学の分析手法を用いた分析事例を紹介する。そこで、近年この分野で活発に研究が行われている企業金融、労働法、環境規制、知的財産権の分野の事例を取り上げ、法制度設計の違いがもたらす影響を解説する。授業では、取り上げるトピックスについて理論モデルを提示し、基本的な構造を説明する。その上で、現実に対応した摩擦をモデルに加えることで、法制度が状況を改善する可能性を検討する。当事者の自由な交渉に委ねず、法制度によって行為を規制する必要性について、主体的に考えられるようになることを、授業の目標とする。		

		環境経済学特講	<p>環境経済学の特徴は経済学的に環境問題を取り扱うことにあるが、環境問題の重要な問題点として、しばしば市場が無いために価格が存在せず環境の価値が不明な場合がある。価格の存在しない環境の価値を測定する方法として、貨幣単位で評価する環境評価手法があり、世界的にも関心が高まる一方で近年学術的にも進展が見られている。</p> <p>本講義では、この環境評価手法の顕示選好法と表明選好法について、理論から研究事例、実際の分析、解釈までの一連を学ぶことで、実際に様々な環境の価値を評価できるようになることを目標とする。顕示選好法では、基本モデルとして代替法とヘドニック法、トラベルコスト法（シングルサイトモデル、マルチサイトモデル）など、近年の展開として端点解モデルと空間ヘドニック法などを学ぶ。表明選好法では、基本モデルとして仮想評価法（CVM）とコンジョイント分析など、近年の展開として選好の多様性の考慮と審議型貨幣評価などを学ぶ。</p> <p>講義の手順として、まず各モデルの概要や経済理論、調査の設計方法、研究事例等を説明する。次に、例題データと統計ソフトウェア（Excel, R, Octaveなど）を用いて、実際の推計を行う。最後に、推計の解釈を行う。この一連の手順を行うことで、受講生が各モデルの理論を理解し、調査設計や実証分析の方法を身に付けることを狙いとする。なお、学生の履修要件として、学部レベルの『計量経済学』や『統計学』で扱う回帰分析や最尤法の基本的な概念を理解しておくことと、学部レベルの『環境経済学』で習う環境の価値についての基礎知識を習得していることが望ましい。</p>	
専門 発展 科目 目録	アクション リサーチ 系科目	経済政策演習	<p>本授業においては、財務省・金融庁等に33年間務めた教員が担当し、その知見を踏まえ、中央省庁を受入機関として、政策の企画立案や予算折衝を模擬体験する。</p> <p>まず受講生と相談の上、授業で取り扱うテーマを決める。決めたテーマに沿って、中央省庁職員による講義を受けてテーマとなる政策の現状と課題について解説を受けたのち、自らのアイデアで必要な政策に関する提言内容をまとめる。その後、中央省庁（財務省等）にむき、実際の担当者（現役の予算査定担当者（主計局主査）等）に対して提言内容を説明したり、予算折衝したりすることによって、政策の企画立案過程を模擬体験するとともに、中央省庁幹部職員との意見交換を行う。最後に、成果報告会において政策提言の内容を報告する。</p>	
		社会政策演習	<p>この授業は「社会政策演習」である。社会政策とは、個人の方だけでは解決できない社会問題を解決するための公共政策であり、社会保障、社会福祉、労働問題、生活支援、地域づくり、健康づくりなどの課題群から成り立っている。</p> <p>この授業の受講生は、社会政策が対象とする課題群から各自で、①調査課題を選定し、②課題の掘り下げを行い（事前研究）、③調査仮説を構築し、④調査対象への社会調査を実施し、⑤科学的な分析を経て、⑥報告書にまとめるまでのプロセスを、演習形式で身につけることになる。</p> <p>この授業の目的は、受講生が社会問題から社会調査の研究課題を構築し、社会調査の方法で当該課題の背景を科学的に分析すると共に、社会資源の制約のなかで解決方法を創り出すまでの能力を身につけることである。</p>	
経済学 分野 発展 科目 目録		公共経済学特講	<p>国や地方政府における財政の現状と課題に触れながら、政府の財政活動のあり方について経済学的な視点から考察する。まず、市場経済の中で政府の果たすべき役割について扱い、市場の失敗をもたらす要因（公共財、外部性、情報の非対称性など）とその政策対応について議論する。その後、望ましい税制のあり方について扱い、課税が経済主体にもたらす影響を考察するとともに、それを考慮した最適課税論について議論する。</p>	
		都市政策特講	<p>この授業では、都市政策やまちづくりのなかで語られる常識的な考え方からいったん離れ、都市で生起している現象を現場の目線から捉え直し、都市政策めぐる問題の構造や因果関係についてオリジナルな問いと仮説を立てる力を養うことをねらいとしている。そのために、2つの事例地域でフィールドワークを実施する。</p> <p>授業の序盤では、フィールドワークに向けての「道具立て」をそろえるため、問題意識や視点、分析枠組みを共有するとともに、事例とする地域の情報を整理する。それらをふまえて、中山間地域と都市地域それぞれでフィールドワークを実施し、最後にそこで得られた知見を報告し合い、受講者間で議論することを通じて問題に対する理解を深める。</p>	

行動経済学特講	<p>行動科学における経済学分野の研究は、「行動経済学」と呼ばれ、「科学(Science)としての経済学」を標榜して始まった新しい経済学的手法です。厳密な環境や条件付けの下で人間の意思決定や集団における行動パターンを、実験によってどのように観測してデータ化するのかを学び、実験室データとフィールドデータの違いを理解すること、特定の目的に則した実験デザインを構築できること、採取したデータを適切に解析・解釈できるようになることを目的とします。</p> <p>本講義の前半では効用理論に、後半では戦略分析に関する部分を扱います。前半では、意思決定の合理性に関する議論を概観したうえで、伝統的経済学が要求する「合理性」と整合的でないけれども一定の法則性を持って繰り返し観測されている意思決定パターンを説明し、近年の効用理論がどのようにそれを取り込むよう発展したのかを検証します。後半では、オークションのような市場取引や公共財供給ゲームのような非市場取引などの場面で生じるプレーヤー間の戦略的相互作用を扱い、前半で確認した意思決定パターンとの対応や齟齬を考察します。講義中に受講生のみなさんが参加する模擬実験を実施し、得られたデータを基に解析します。</p>	
ファイナンス論特講	<p>この講義では、確率過程論とそのファイナンス理論への応用を学ぶ。確率過程論では、株価や為替レートなど不確実に変化する量を数学的に記述する方法を学習し、ファイナンス理論では確率過程論を使って、金融派生商品の価格付けとリスク分析を行う。また、理論の理解だけでなく、プログラミングを行い数値的な感覚も養う。</p>	
恐慌論	<p>この授業では、資本主義経済における「恐慌」・景気循環を、主にマルクス経済学の理論的観点から、理論的および歴史的・実証的に検討する。大まかな内容としては、資本主義経済に特徴的に見られる恐慌・景気循環という経済事象を、(1)それが論理的に何ゆえに起こるのかという理論的な側面と、(2)歴史的にどのように展開してきたのかという歴史的・実証的な側面とに分けて、考察する。具体的には、①理論的な側面では、マルクス経済学による恐慌論・景気循環論における商品過剰論、資本過剰論のそれぞれの代表的な学説を検討し、また主流派経済学における景気循環論、あるいはポスト・ケインジアンなど非主流派の景気循環論などについても広く鳥瞰し、基礎的な理論的思考を身につける。②歴史的・実証的側面としては、19世紀の循環性恐慌、19世紀後半の「大不況」、戦間期における「大恐慌」、第二次世界大戦後のさまざまな経済変動や金融危機などについて、それぞれを分析した代表的な研究業績を学ぶ。③現代の経済分析としては、近年における様々な論文や書籍を通じて、今日のマルクス経済学の現代資本主義分析の動向を、その他の理論的見地からの諸研究にも言及しながら、理解していく予定である。</p>	
日本経済特講	<p>この講義は、日本経済をサプライサイドから分析する際のキーワードである「生産性」に焦点を当てて、生産性計測に関連した理論概念、データの作成方法、計測結果を使った様々な分析を説明します。また、そのことを通じて、「生産性」が日本経済の諸問題にどのように関連しているのかを学びます。講義を通じて、日本経済の生産性を題材に、様々な実証分析の手法を紹介します。この講義では、日本経済をサプライサイドから分析する際のキーワードである「生産性」を題材に、データの作成方法や、様々な実証分析の方法を身につけることをねらいとしています。</p>	
医療経済学特講	<p>この講義では、医療を経済学的な思考に基づいて分析する方法論を身につけることをねらいとしています。根拠に基づく政策を実行するためには、適切な方法論でデータを分析しなければいけません。患者の受療行動や医療政策の改正による効果、さらに医療機関の生産性などを、データにより明らかにするために、様々な実証分析の方法を身につけることが目標となります。</p> <p>具体的には、まず厚生労働省が公表しているデータを分析するための方法論としての回帰分析、パネルデータ分析を身につけ、供給者誘発需要仮説の検証を行います。次に、個票データを分析するための方法論として、2値分析、多値分析、カウントデータ分析の方法論を使い、患者の受療行動を分析します。医療政策の効果を測定するために、差の差の分析や、操作変数法、傾向スコアマッチング、回帰非連続デザインなどを学びます。さらに医療機関の生産性の分析として、確率的フロンティア分析を修得します。</p>	

<p>マイクロ計量経済学</p>	<p>この授業では、マイクロ統計データを用いた実証分析を行う際に必要となる主要な統計手法を学ぶ。経済理論を、データを使ってどのように実証（反証）すればよいのかを学ぶことが目的となる。標本調査等によって得られたマイクロデータは、標本数が多いだけでなく多様な経済主体がそこに含まれており、学部レベルの統計学・計量経済学で学んだ基本的な分析手法では、分析が困難なことが多い。こうしたデータに関して、そのデータの特性に応じた様々な統計手法の理論を学んでいく。それと同時に、それらの手法を、R等の統計言語を使いながら、パソコン上で現実のデータに適用してみることで、その有用性や限界を体験する。</p>	
<p>マネジメント特論</p>	<p>この講義は、マネジメントの全体像をつかみ、理解を深めてもらうことを目的とします。まず、マネジメントを円滑に進めるために、マネジャー（管理者）がどのような仕事をしているのかを理解し、この中で、マネジャーと部下からなる組織の運営についての検討を行います。近年、マネジャーの仕事は、意思決定とイノベーションが重要な要素となっています。したがって、両者を検討することで、マネジメントとイノベーションの関係について議論したいと思います。最後に、マネジャーの仕事として重要な、企業内のコミュニケーションと、公的組織やNPOなどの多様な組織におけるマネジメントについて議論します。</p>	
<p>労務管理特講</p>	<p>この講義では、日本企業における従業員の働き方や、その結果として生じるいろいろな側面について検討することを目的とする。労務管理に関連する基本的な用語の理解ならびに、最新研究の検討を通じて、労務管理の基本項目の理解ならびに、その項目がどのように検証されているかを検討する。具体的には、従業員の働き方について、企業側・従業員側の双方からのアプローチを検証することで、労務管理の全体像をつかむことを目的とする。企業側については、企業が行う労務管理に関連する施策が、従業員の働き方にどのような影響を与えているかを検討する。従業員側については、従業員の態度や行動が、どのように企業の生産性につながっているか、あるいは、つながっていないかを検討する。本講義である飼う従業員の側面については、アンケート調査の分析を用いることが多いため、アンケート調査の分析結果を理解しつつ、より詳細な内容に進める方法を取る。</p>	
<p>理論経済学演習 I</p>	<p>（概要）本演習では、修士論文の執筆のために必要な、経済学における基礎的知識の修得を目的とする。とりわけ本演習においては、実証・制度を見据えつつ、経済理論に軸足を置きながら、学生の研究テーマに密接に関わる体系化された知識・技術を修得する。①理論経済学を対象とする修士論文を執筆するための基礎的な研究能力を培うこと、②理論経済学に必要な数理的素養を身につけること、③論文のテーマに関する先行研究を収集・読解し、的確に要約することができること、④論文を「書く」力を養うこと、⑤経済学論文の形式・作法を修得すること、である。</p> <p>具体的には、地域・社会・経済の課題を解決するための経済理論的アプローチからの研究を行う学生を対象に、修士論文執筆のための指導を行う。履修者の研究テーマに可能な限り沿うよう、また担当教員の選考分野を考慮して、履修者ごとに当該学生への論文指導を担当する指導教員が決定される。さらに、履修者の希望があれば、当該委員会が副指導教員も決定する。演習では課題についての報告と議論を中心に進め、演習での成果をレポートにまとめる。また必要に応じて、履修者全員によるテーマ報告会、中間報告会を実施し、担当教員全員による指導・助言も行う。詳細は、開講時に担当教員と相談して決定する。</p> <p>各指導教員の専攻・研究分野は次の通り。  (53 吉村 信之)  資本主義経済における恐慌・景気循環を、理論と歴史との観点から分析する。  (58 青木 周平)  所得不平等や経済成長の長期的な変動要因を、マクロ経済学的に研究する。  (59 都築 幸宏)  数理モデルを用いて、金融取引のリスクなどを分析する。  (66 矢部 竜太)  計量経済学、特に時系列解析の理論的な側面の研究を行う。  (68 坂東 桂介)  ゲーム理論を用いて様々な社会問題を数理的に分析する。</p>	

<p>応用経済学演習 I</p>	<p>(概要) 本演習では、修士論文の執筆のために必要な、経済学における基礎的知識の修得を目的とする。とりわけ本演習においては、理論を視野に入れながらも、実証・制度に軸足を置きつつ、学生の研究テーマに密接に関わる体系化された知識・技術を修得する。① 応用経済学を対象とする修士論文を執筆するための基礎的な研究能力を培うこと、② 統計分析や社会調査など応用経済に必要な素養を身につけること、③ 論文のテーマに関する先行研究を収集・読解し、的確に要約することができること、④ 論文を「書く」力を養うこと、⑤ 経済学論文の形式・作法を修得すること、である。</p> <p>具体的には、地域・社会・経済の課題を解決するために、応用経済学分野の研究を行う学生を対象に、修士論文執筆のための指導を行う。履修者の研究テーマに可能な限り沿うよう、また担当教員の選考分野を考慮して、履修者ごとに当該学生への論文指導を担当する指導教員が決定される。さらに、履修者の希望があれば、当該委員会が副指導教員も決定する。演習では課題についての報告と議論を中心に進め、演習での成果をレポートにまとめる。また必要に応じて、履修者全員によるテーマ報告会、中間報告会を実施し、担当教員全員による指導・助言も行う。詳細は、開講時に担当教員と相談して決定する。</p> <p>各指導教員の専攻・研究分野は次の通り。</p> <p>(22 山沖 義和) 金融規制改革や地域金融の活動に関して実証的に分析する。</p> <p>(23 徳井 丞次) 日本経済と地域経済をサプライサイドの観点から実証分析する。</p> <p>(25 廣瀬 純夫) 法制度が社会へ及ぼす影響について、ミクロ経済学の分析手法で検討し、適切な制度デザインを考察する。また、現実の法制度が及ぼしている影響を、実証的に検証する。</p> <p>(26 井上 信宏) 社会調査に基づく社会政策課題の実証研究</p> <p>(54 関 利恵子) 会計理論について会計数値を用いた実証分析をする。</p> <p>(55 岩田 一哲) 専門分野：労務管理論 企業で働く従業員のストレスを削減する方法を研究する。</p> <p>(57 武者 忠彦) 人文地理学の視点から都市の構造や空間形成の論理を読み解く。</p> <p>(60 増原 宏明) 個票データと医療経済学的手法で患者の受療行動を実証分析する。</p> <p>(62 大野 太郎) 公共経済学・地方財政分野の実証分析を行う。</p>	
------------------	---	--



理論経済学演習 II	<p>(概要) 本演習では、理論経済学研究指導 I を踏まえて、理論経済学分野の修士論文の執筆のために必要な発展的知識を修得し、修士論文を完成させることを目的とする。とりわけ本演習においては、実証・制度を見据えつつ、経済理論に軸足を置きながら、学生の研究テーマに密接に関わる修士論文の完成を目指す。①理論経済学を対象とする修士論文を執筆するための基礎的な知識を使いこなすようになること、②先行研究では解決されていない仮説を、理論経済学の手法を用いて検証すること、③自らの研究成果を論文としての形式と作法を遵守しまとめること、である。</p> <p>具体的には、地域・社会・経済の課題を解決するために、理論経済学分野からの解決策を提示することを希望する学生を対象に、修士論文執筆に必要な指導を行う。理論経済学研究指導 I での指導教員（希望があれば副指導教員）が、当該演習でも引き続き指導にあたるが、履修者の進捗状況や希望を踏まえ、必要に応じて指導教員・副指導教員を変更することもある。主に指導教員（または副指導教員）のもとで修士論文のための報告、質疑応答、および指導を実施するが、必要に応じて履修者全員を集めて中間報告会を実施し、当該演習を担当する教員全員が助言・指導を行う。</p> <p>各指導教員の専攻・研究分野は次の通り。  (53 吉村 信之)  資本主義経済における恐慌・景気循環を、理論と歴史との観点から分析する。  (58 青木 周平)  所得不平等や経済成長の長期的な変動要因を、マクロ経済学的に研究する。  (59 都築 幸宏)  数理モデルを用いて、金融取引のリスクなどを分析する。  (66 矢部 竜太)  計量経済学、特に時系列解析の理論的な側面の研究を行う。  (68 坂東 桂介)  ゲーム理論を用いて様々な社会問題を数理的に分析する。</p>	
------------	---	--

		応用経済学演習Ⅱ	<p>(概要) 本演習では、応用経済学研究指導Ⅰを踏まえて、応用経済学分野の修士論文の執筆のために必要な発展的知識を修得し、修士論文を完成させることを目的とする。とりわけ本演習においては、理論を視野に入れながらも、実証・制度に軸足を置きつつ、学生の研究テーマに密接に関わる修士論文の完成を目指す。①応用経済学を対象とする修士論文を執筆するための基礎的な知識を使いこなすようになること、②自ら収集したデータを用いるなど、根拠に基づき自らの仮説を検証すること、③自らの研究成果を論文としての形式と作法を遵守しまとめること、である。</p> <p>具体的には、地域・社会・経済の課題を解決するために、応用経済学分野からの解決策を提示することを希望する学生を対象に、修士論文執筆に必要な指導を行う。応用経済学研究指導Ⅰでの指導教員(希望があれば副指導教員)が、当該演習でも引き続き指導にあたるが、履修者の進捗状況や希望を踏まえ、必要に応じて指導教員・副指導教員を変更することもある。主に指導教員(または副指導教員)のもとで修士論文のための報告、質疑応答、および指導を実施するが、必要に応じて履修者全員を集めて中間報告会を実施し、当該演習を担当する教員全員が助言・指導を行う。</p> <p>各指導教員の専攻・研究分野は次の通り。</p> <p>(22 山沖 義和) 金融規制改革や地域金融の活動に関して実証的に分析する。</p> <p>(23 徳井 丞次) 日本経済と地域経済をサブライサイドの観点から実証分析する。</p> <p>(25 廣瀬 純夫) 法制度が社会へ及ぼす影響について、ミクロ経済学の分析手法で検討し、適切な制度デザインを考察する。また、現実の法制度が及ぼしている影響を、実証的に検証する。</p> <p>(26 井上 信宏) 社会調査に基づく社会政策課題の実証研究</p> <p>(54 関 利恵子) 会計理論について会計数値を用いた実証分析をする。</p> <p>(55 岩田 一哲) 専門分野：労務管理論 企業で働く従業員のストレスを削減する方法を研究する。</p> <p>(57 武者 忠彦) 人文地理学の視点から都市の構造や空間形成の論理を読み解く。</p> <p>(60 増原 宏明) 個票データと医療経済学的な手法で患者の受療行動を実証分析する。</p> <p>(62 大野 太郎) 公共経済学・地方財政分野の実証分析を行う。</p>	
法学分野	専門基盤科目群	法学分野コア科目	<p>憲法学</p> <p>①日本国憲法が実際にどのような理念および構造を有しているかを正確に理解するという目標を達成するため、また、②日本国憲法の理念および構造についての正確な理解を踏まえて、裁判例などに現実にあられた、あるいは、将来あらわれる可能性のある憲法問題に対して、法学的観点から考察する力を身につけるという目標を達成するため、違憲審査制と憲法訴訟という観点から憲法の各分野を学んでいくことにします。そのために、まず、統治機構の基礎理論を学び、違憲審査制と憲法訴訟について基本的理解を得ることにします。その上で、違憲審査制と憲法訴訟の基本的理解に基づいて、憲法学説による検討を踏まえつつ、基本的人権の各分野について判例分析を中心として学んでいくことにします。</p>	
		租税法	<p>租税法の原理的理解を目指して、租税法主義や公平原則などの全ての税法に共通する基礎的な概念や租税の賦課徴収手続に関する基本原則に触れたのち、基幹税である所得税に関するルールやその背後にある考えについて学ぶ。</p> <p>この授業のねらいは、我が国の租税法において中心的に取り扱われてきた所得課税の構造および理念を理解し、その構造および理念のために生じる問題を法学的観点から考察できるようにすることである。所得課税に代表される直接税は、我が国の税収の半分以上を占めており、人的要素を考慮した課税が可能とされてきた。人的要素を考慮する所得課税のなかでも、社会の基礎となる個人に対する所得課税である所得税を取り上げ、個人の担税力を探求しようとする所得税に存在する法的問題点を検討する。課税ルールの根拠について理解を深め、課税に関する政策を論ずるための基礎的な能力を身につけることも目標とする。</p>	

		特別刑法概論	一般刑法（刑法典）以外の刑罰法規である特別刑法に関する知見を深め、現在の刑事実務の状況や課題について自ら考察できるようにすることを目的とする。授業では、実務上問題となることの多い特別刑法（交通犯罪・インターネット犯罪に関する特別刑法や、薬物・風俗関係・経済等に関する特別刑法）を取り扱う。各テーマにおいて、立法の経緯や、最新の関連判例を取り上げ、現在の刑事実務の状況や課題について検討する。また、一般刑法の基本的知識を前提に、対応する一般刑法と特別刑法との関係を整理することで、相互の横断的理解の習得も目指す。	
		民法学Ⅰ	民法の財産法（物権法、債権法）に関する諸問題について多様な視点から検討する。財産法がカバーする領域は広範囲に及ぶが、この授業では契約法及び担保法を中心に問題となる点を示し、重点的に検討を行う。日本の民法は、明治時代に、フランス・ドイツを中心とするヨーロッパの法を継受し、その後の社会の変化に対応しつつ発展してきたものである。民法起草過程における議論状況を踏まえつつ、歴史的背景と関連付けながら検討する。テーマによっては、外国法との比較も行う。比較的最近の議論の展開についても紹介しながら、現在の解釈論を伝える。	
		民法学Ⅱ	民法親族法・相続法分野の主要論点の基礎的な理解を試みるとともに、それらのうち、身分行為の特殊性、夫婦財産法改正の動向、内縁・パートナーシップ保護法理の変遷、同性パートナーシップ保護法理、「嫡出推定の及ばない子」論の再構築、同性パートナーシップと親子関係、相続回復請求の今日的意義、少子・高齢化社会と相続分、婚姻外関係と相続分、遺産共有と遺産管理、相続と登記、など、特に近時検討を要すると思われるものにつき、判例・論文を網羅的に読み込み、双方向的な議論を通して解決策を探る。	
		商法学	本講義は、会社法の中でも、コーポレート・ガバナンス、コーポレート・ファイナンス、計算・開示、組織再編・M&Aという4分野について解説を行い、「会社法の主な目的は、会社の利害関係者間で生じる利害対立の調整である」ということの意味を理解してもらうことをねらいとするものである。講義の主な対象は、わが国の会社法に定められたルールであるが、その他の法ルールのうち会社の経営と密接に関わるものに関しては、外国法を根拠とするものであっても、必要に応じて解説することを予定している。各回の講義では、その回のテーマに関する会社法の基本的なルールを簡単に確認しうえて、理論的あるいは実務上重要度の高い問題を検討する。こうした検討は、受講生間での意見交換を中心に進める予定である。	
専門 発展 科目 群	ア ク シ ョ ン リ サ ー チ 系 科 目	地域法律実務演習	本演習は、長野県で法律実務に関わっている専門家から提示された地域の抱える法律問題を検討することによって、以下の三つのねらいを達成しようとするものである。①民事、刑事、行政事件について、具体的に学ぶ、②法律実務からみえてくる「地域」の抱える社会問題を考える、③長野県の抱える法律問題について具体的に学び、法による妥当な解決を目指すようになる。 演習の内容としては、長野県で法律実務に携わっている専門家をゲスト講師に招き、各回ごとに、地域が抱える法律問題を提示してもらい、参加者全員で検討する。 地域が抱える法律問題を検討することによって、その地域社会の具体的な姿がみえてくるはずである。たとえば、企業法務、倒産処理、労使紛争から地域の産業のあり方が、外国人法務から地域の寛容度が、行政訴訟から、その地方公共団体の特色がみえてくることが期待される。 以上のように、本演習では、「地域」において発生する法的問題を、実務家の知見と経験をもとに考察することによって、地域法務の現状とその課題を理解するとともに、法というものが、具体的な紛争の解決とともに生成されることを学ぶ。	
		地域プロジェクト演習	地域社会において生起する諸課題について、法学的方法論を用いて解決する能力を身に付けることを目的とする。 地域における典型的な課題として、交通、医療、安全を取り上げて、過去の先鋭的な事例研究を通じて、法学的方法論を修得させる。 そして、この方法論を用いて、軽井沢町の協力を得て、地域社会の解決されていない生事案に対して、妥当な解決案を提案させ、多角的にブラッシュアップさせることによって、より実践的な法学解決能力を身に付けさせる。	

法学分野発展科目	比較憲法学	<p>近代西洋において出現した個人の自由を保障することを目的とする統治構造（近代立憲主義）の内容とその現代の変容を「比較」の手法によって明らかにすることによって、憲法の価値の重要性を再確認することをねらいとする。</p> <p>個人の自由を基調とする近代法を実現するためには、人権を保障する統治機構（近代憲法）の創設が必要であった。この講義では、近代憲法の母国であるイギリス、アメリカ合衆国、フランス、ドイツの憲法史を比較することによって、近代憲法の特徴およびその現代の変容を明らかにし、また、それらの差異に着目することによって、自由民主主義に基づく憲法に複数のモデルが存在することを提示する。</p> <p>具体的には、イギリス革命、フランス革命、アメリカ独立革命が、近代市民革命として一つの共通の性格をもつと同時に、それらの時代背景と社会構造の違いが、三つの憲法の差異と関係があることを明らかにする。また、後発資本主義国であるドイツにおける、近代法の継受とナチズムによる失敗、戦後のボン基本法の下での展開を、イギリス、フランス、アメリカの経験と比較する。この4つの憲法を比較することによって、憲法の特徴を明らかにすることは、日本国憲法の解釈にとっても得るものがあるはずである。</p>	
	行政法学	<p>学部レベルの行政法学の理解を踏まえて、主要な争点に関するより深く体系的な理解を得るとともに、最新の問題状況について自ら調査し、理解する能力を養うことをねらいとし、高木光・宇賀克也編『行政法の争点』（有斐閣、2014年）を教材とし、前の回に実施する担当教員による概説を踏まえ、受講生による報告を受け、全員で議論する。報告担当者は、教材を読み込み自ら問題状況を整理し、その後の法制度、判例、学説の展開を調査して、報告する。報告を受け、予め指名するコメンテーターがコメントを加え、報告とコメントを踏まえて全員で議論する。</p>	
	法人税法特論	<p>租税法の緻密な理解を目指して、所得課税に共通する基礎的な概念や法人に対する課税上の取扱いに関する原理に触れたのち、詳細かつ複雑なルールの体系を読み解き、法人税に関するルールやその背後にある考えについて学ぶ。</p> <p>この授業のねらいは、我が国の租税法において中心的に取り扱われてきた所得課税の構造および理念への理解を深めるため、所得課税の発展的内容を多く含む法人税を取り上げ、その構造および理念のために生じる問題を法学的観点から考察できるようになることである。法人税は、対象となる法人の組織形態の多様性から複雑な規律になりがちであり、その全体像を把握するのは容易ではない。法人課税における複雑な規律を整理しつつ、法人税を含めた所得課税に通底する法的問題点を検討する。課税ルールの根拠について理解したうえで、課税に関する政策を論ずる分析的な能力を身につけることも目標とする。</p>	
	社会保障法学	<p>我が国の社会保障法において中心的に取り扱われてきた社会保険の構造および理念を理解し、その構造および理念のために生じる問題を法学的観点から考察する。わが国の社会保障制度の多くは社会保険方式をとっているが、その構造は制度ごとに一様ではなく、複雑である。そこで、各制度を丹念に分析し、共通点と相違点を抽出し、社会保険の全体像を把握する。さらに社会保険の複雑な規律を整理しつつ、法的問題点を検討する。こうした作業によって、社会保険に関する政策を論ずる分析的な能力を身につけることを目指す。</p>	
	刑事手続法学	<p>わが国の刑事訴訟法に関わる基礎理論を踏まえて、実務における問題を自らの研究によって手続的に解決する能力を身につけることを目的とする。</p> <p>刑事手続の全体像をイメージさせながら、捜査の基本構造を理解させたい。任意捜査の各論として、職務質問・所持品検査、写真・ビデオ撮影、おとり捜査、宿泊を伴う取調べ、強制捜査として、逮捕・勾留、搜索・押収、検証・鑑定、身体検査、強制採尿・採血、会話の傍受の意義や要件論、また公判においては、公判手続の構造と原則、公訴の基本原則、訴因制度、証拠法、自白法則、伝聞法則・例外、上訴、裁判員法の基本原則の修得を前提に、現実社会における事象を適切に分析して、自らの積極的な研究によって、妥当な解決を導く能力を身につけさせる。</p>	
	民事手続法特殊研究	<p>民事手続法についての発展的知見を獲得するために、民事訴訟法、民事執行法、民事保全法、倒産法、非訟事件手続法、ADR法等の手続法分野全体を鳥瞰しつつ、裁判手続による国家権力の行使（判決・執行）に着目しながら、民事手続法の全体像を把握することを目的とする。</p>	

環境法学	<p>この講義は、環境法が目指す社会のキーワードである「循環型社会」（廃棄物の適正処理やリサイクルなど）、「低（脱）炭素社会」（省エネ・再エネなど）、「自然共生社会」（生物多様性や自然公園など）に焦点を当て、それに関連する法制度の基本構造・意義・課題および紛争事例の解決の在り方を解説する（Input）。受講者がレポートを複数回に分けて作成・発表することによって、上記について調査・分析・提言する（Output）。かかるInputとOutputを繰り返すことによって、この授業のねらいである環境問題の法的な解決手法について調査・分析・提言する能力を身に付けることができる。</p>	
公法・刑事法学演習 I	<p>（概要）公法・刑事法学分野の研究を行う学生を対象に、学生の研究テーマにあわせて修士論文執筆に必要な指導を行う。 この授業は、公法・刑事法学分野を専門とする教員全員が共同で担当する授業である。所定の手続に従い、公法・刑事法学分野の教員の何れかを主指導教員として決定した学生がこの授業の履修者となる。 この授業において、履修者は、主に主指導教員のもとで研究指導を受けるが（主に主指導教員のもとでの報告、質疑を内容とする）、履修者全員が参加するテーマ発表会、中間報告会では、公法・刑事法学分野を専攻する担当教員全員による幅広い助言・指導を受ける。</p> <p>各指導教員の専攻・研究分野は次の通り。  (27 成澤 孝人)  基本的な人権を保障するための統治の仕組みについて、総合的に検討する。  (30 丸橋 昌太郎)  刑事法の基礎理論を踏まえて、国内外の犯罪現象を手続法の観点から分析する。  (56 赤川 理)  教育を受ける権利の考察を通して基本的人権を理論的に検討する。  (61 大江 裕幸)  行政に関する現行の法制度の解釈・運用および新たな課題解決のための法制度の構築について考察を加える。  (64 島村 暁代)  我が国の社会保障法制について法的に考察分析する。  (67 橋本 彩)  費用控除や人的控除等の所得課税を中心とした租税法を研究する。  (70 濱田 新)  刑法。特に共犯の成立範囲について研究する。</p>	
民事法学演習 I	<p>（概要）民事法学分野の研究を行う学生を対象に、学生の研究テーマにあわせて修士論文執筆に必要な指導を行う。 この授業は、民事法学分野を専門とする教員全員が共同で担当する授業である。所定の手続に従い、民事法学分野の教員の何れかを主指導教員として決定した学生がこの授業の履修者となる。 この授業において、履修者は、主に主指導教員のもとで研究指導を受けるが（主指導教員のもとでの報告、質疑を内容とする）、履修者全員が参加するテーマ発表会、中間報告会では、民事法学分野を専攻する担当教員全員による幅広い助言・指導を受ける。</p> <p>各指導教員の専攻・研究分野は次の通り。  (24 宗村 和広)  民法親族法・相続法分野、英米家族法  (28 河崎 祐子)  民事上の紛争を調整する公権的な手続のよりよいあり方の研究  (29 小林 寛)  専門領域：環境法学、民事法学  近時の研究テーマ：再生可能エネルギー法制の日米比較研究  (63 栗田 晶)  約款契約における内容の適正さを確保するための理論や規制について検討する。  (71 寺前 慎太郎)  商法・会社法。特に、コーポレート・ガバナンスや組織再編・企業買収に関する法的問題について検討する。</p>	

<p>公法・刑事法学演習Ⅱ</p>	<p>(概要) 公法・刑事法学分野の研究を行う学生を対象に、研究指導Ⅰの成果も踏まえて、修士論文執筆に必要な指導を行う。この授業は、公法・刑事法学を専門とする教員全員が共同で担当する授業である。所定の手続に従い、公法・刑事法学の教員の何れかを主指導教員として決定した学生がこの授業の履修者となる。</p> <p>この授業において、履修者は、主に主指導教員のもとで研究指導を受けるが(主に主指導教員のもとでの報告、質疑を内容とする)、履修者全員が参加する中間報告会では、民事法学分野を専攻する担当教員全員による幅広い助言・指導を受ける。</p> <p>各指導教員の専攻・研究分野は次の通り。</p> <p>(27 成澤 孝人)      基本的人権を保障するための統治の仕組みについて、総合的に検討する。</p> <p>(30 丸橋 昌太郎)      刑事法の基礎理論を踏まえて、国内外の犯罪現象を手続法の観点から分析する。</p> <p>(56 赤川 理)      教育を受ける権利の考察を通して基本的人権を理論的に検討する。</p> <p>(61 大江 裕幸)      行政に関する現行の法制度の解釈・運用および新たな課題解決のための法制度の構築について考察を加える。</p> <p>(64 島村 暁代)      我が国の社会保障法制について法的に考察分析する。</p> <p>(67 橋本 彩)      費用控除や人的控除等の所得課税を中心とした租税法を研究する。</p> <p>(70 濱田 新)      刑法。特に共犯の成立範囲について研究する。</p>	
<p>民事法学演習Ⅱ</p>	<p>(概要) 民事法学分野の研究を行う学生を対象に、研究指導Ⅰの成果も踏まえて、修士論文執筆に必要な指導を行う。この授業は、民事法学分野を専門とする教員全員が共同で担当する授業である。所定の手続に従い、民事法学分野の教員の何れかを主指導教員として決定した学生がこの授業の履修者となる。</p> <p>この授業において、履修者は、主に主指導教員のもとで研究指導を受けるが(主に主指導教員のもとでの報告、質疑を内容とする)、履修者全員が参加する中間報告会では、民事法学分野を専攻する担当教員全員による幅広い助言・指導を受ける。</p> <p>各指導教員の専攻・研究分野は次の通り。</p> <p>(24 宗村 和広)      民法親族法・相続法分野、英米家族法</p> <p>(28 河崎 祐子)      民事上の紛争を調整する公権的な手続のよりよいあり方の研究</p> <p>(29 小林 寛)      専門領域：環境法学、民事法学      近時の研究テーマ：再生可能エネルギー法制の日米比較研究</p> <p>(63 栗田 晶)      約款契約における内容の適正さを確保するための理論や規制について検討する。</p> <p>(71 寺前 慎太郎)      商法・会社法。特に、コーポレート・ガバナンスや組織再編・企業買収に関する法的問題について検討する。</p>	